
新宿区 障害者生活実態調査報告書



平成 29 年 3 月

新 宿 区

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査の概要	3
第2章 調査結果の詳細	5
I. 在宅の方を対象とした調査	5
1 ご本人について	7
2 障害や健康の状況について	12
3 相談や福祉の情報について	43
4 日中活動や仕事について	57
5 外出やバリアフリーについて	72
6 福祉サービスについて	79
7 権利擁護について	98
8 収入について	107
9 災害対策について	111
10 将来について	117
11 自由意見	123
II. 施設に入所している方を対象とした調査	125
1 ご本人について	127
2 施設入所について	130
3 施設での生活について	134
4 相談や福祉の情報について	144
5 権利擁護について	147
6 今後の暮らし方について	152
7 自由意見	158
III. 児童（18歳未満）の保護者の方を対象とした調査	159
1 お子さんについて	161
2 障害や健康の状況について	164
3 相談や福祉の情報について	184
4 教育・保育について	197
5 外出やバリアフリーについて	217

6	福祉サービスについて	223
7	権利擁護について	235
8	収入・利用者負担について	243
9	災害対策について	245
10	将来について	249
11	自由意見	254
IV.	サービス事業者の方を対象とした調査	255
1	事業運営について	257
2	職員について	263
3	サービス提供について	267
4	特例子会社について	274
5	自由意見	278
6	特例子会社 問 23、24 の回答内容	279
	資料編	287

第1章 調査の概要

1 調査の概要

(1) 調査の目的

「障害者計画（平成30年度～平成39年度）」・「第5期障害福祉計画（平成30年度～平成32年度）」及び「障害児福祉計画（平成30年度～平成32年度）」を平成29年度に策定するにあたり、新宿区内在住の障害者・障害児の生活実態、障害福祉サービス等の利用意向及び利用状況等を把握するための調査を実施しました。

(2) 調査の対象

調査の種類		調査の対象	抽出方法
I	在宅の方 (18歳以上)	①身体障害者：身体障害者手帳の所持者	層別抽出
		②知的障害者：愛の手帳の所持者	
		③精神障害者：精神障害者保健福祉手帳所持者、自立支援医療（精神通院医療）受給者	
		④難病医療の給付を受けている者	
II	施設に入所している方	①施設入所支援の利用者 ②療養介護の利用者 ※区民であった方で、施設所在地に住民票を移した者を含む。	悉皆調査
III	18歳未満の方の保護者の方	①身体障害者：身体障害者手帳の所持者	悉皆調査
		②知的障害者：愛の手帳の所持者	
		③精神障害者：精神障害者保健福祉手帳所持者、自立支援医療（精神通院医療）受給者	
		④難病医療の給付を受けている者	
		⑤障害者手帳を不所持で児童福祉法に基づく障害児通所支援を現に利用している者	
IV	サービス事業者の方	①区内の指定障害福祉サービス事業者	悉皆調査
		②区内の指定特定相談支援事業者	
		③区内の指定障害児通所支援事業者	
		④区内の特例子会社	

(3) 調査方法

郵送配付、郵送回収

(4) 調査期間

平成28年11月14日（月）から平成28年11月28日（月）まで

(5) 配布・回収状況

配布・回収状況	配布数	回収数	回収率
1 在宅の方	4,861	2,411	49.6%
身体障害	2,288	1,174	51.3%
知的障害	693	386	55.7%
精神障害	1,685	757	44.9%
難病患者	195	94	48.2%
2 施設に入所している方	238	149	62.6%
3 18歳未満の方の保護者の方	688	389	56.5%
4 サービス事業者の方	163	116	71.2%
全体	5,950	3,065	51.5%

(6) 調査結果について

調査結果については、以下のように整理を行っています。

- 集計した数値（％）は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。このため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値（％）を全て合計しても、100%にならない場合があります。
- 回答者数を分母として割合（％）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100%を越えます。
- 表では、特別の表記がない限り、上段が実数、下段が％（小数点以下第1位まで）を表示しています。
- 回答結果を見やすくするため、グラフや表では無回答など一部の項目を省略している場合があります。
- 障害等の属性別の集計では、2つ以上の障害等の属性を重複して回答されている方は、それぞれの障害等の集計結果に含まれています。このため、障害等の属性別の集計を合計したのべ人数は、全体の人数よりも多くなります。ただし、「在宅の方を対象とした調査」の身体障害、知的障害、精神障害については、調査対象者の抽出時に把握できていた障害種別に基づき集計を行っています。

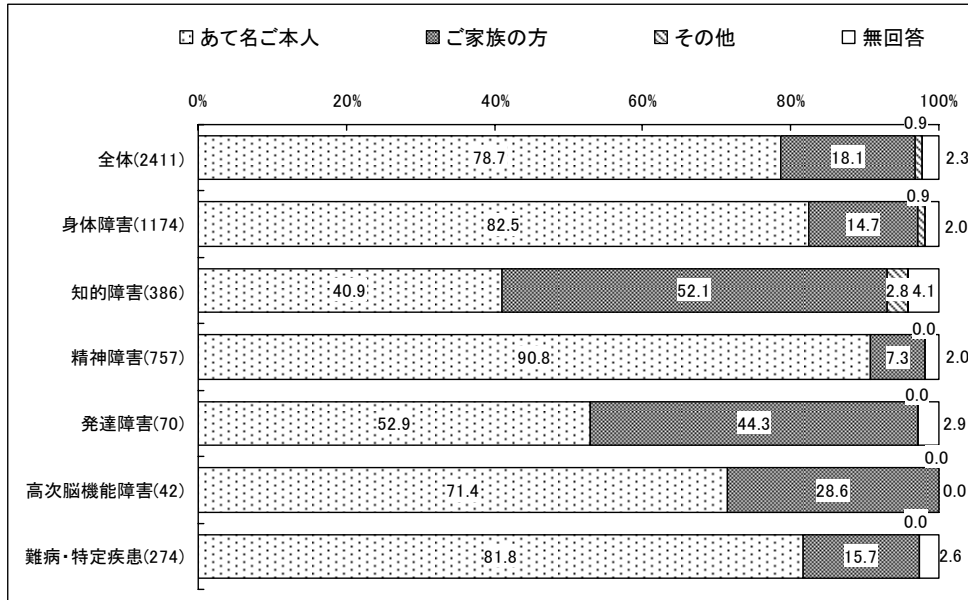
第2章 調査結果の詳細

I. 在宅の方を対象とした調査

1 ご本人について

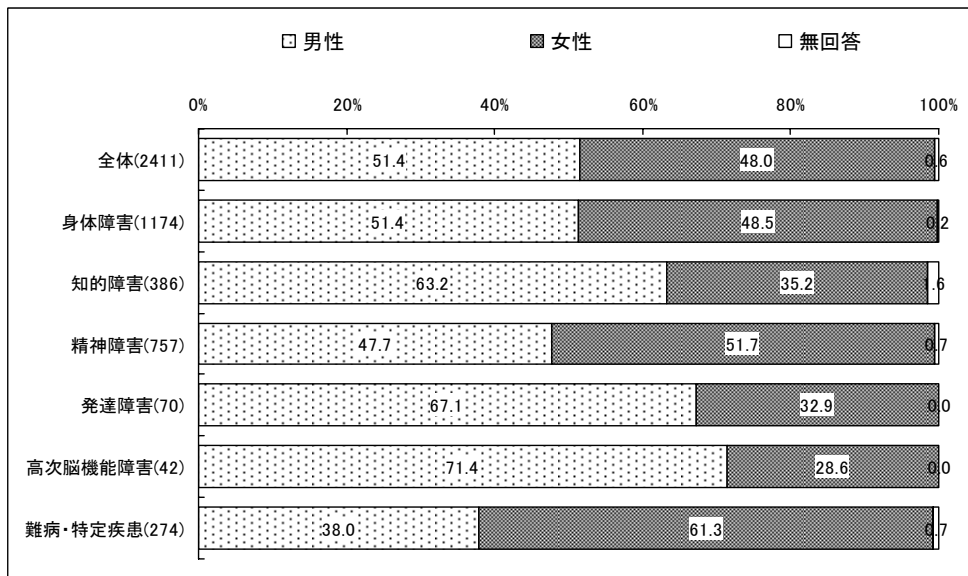
問1 この調査票に回答していただく方はどなたですか。(〇はひとつ)

全体では「あて名ご本人」が 78.7%、「ご家族の方」が 18.1%となっています。障害別にみると、知的障害及び発達障害では「ご家族の方」が多くなっています。



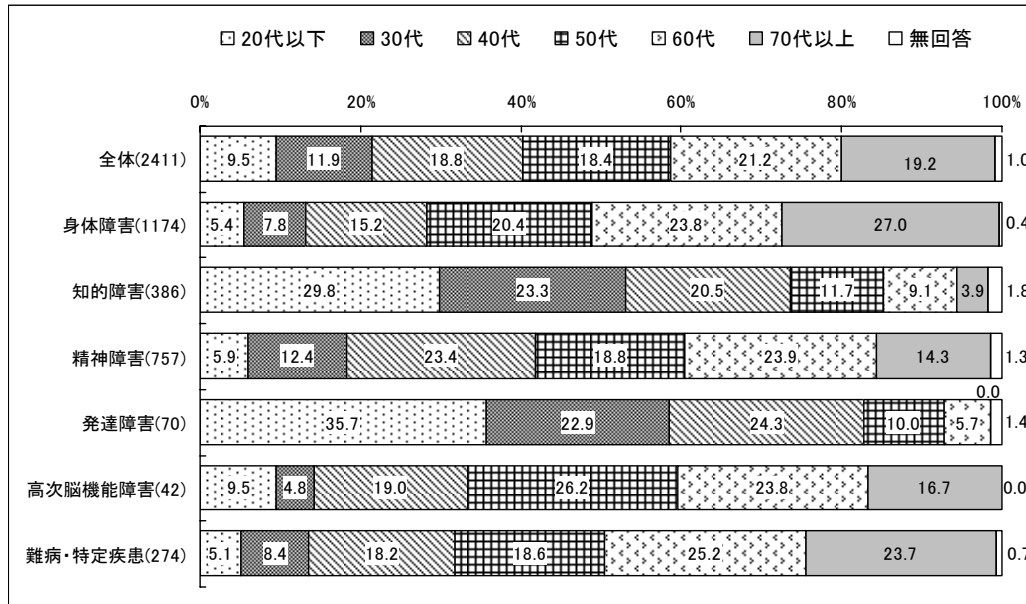
問2 あなたの性別をお聞きします。(〇はひとつ)

全体では「男性」が 51.4%、「女性」が 48.0%となっています。障害別にみると、高次脳機能障害では「男性」が7割を超えて多く、発達障害と知的障害も「男性」が6割を超えて多くなっています。



問3 あなたの年齢をお聞きします。平成28年11月1日現在の満年齢をお書きください。

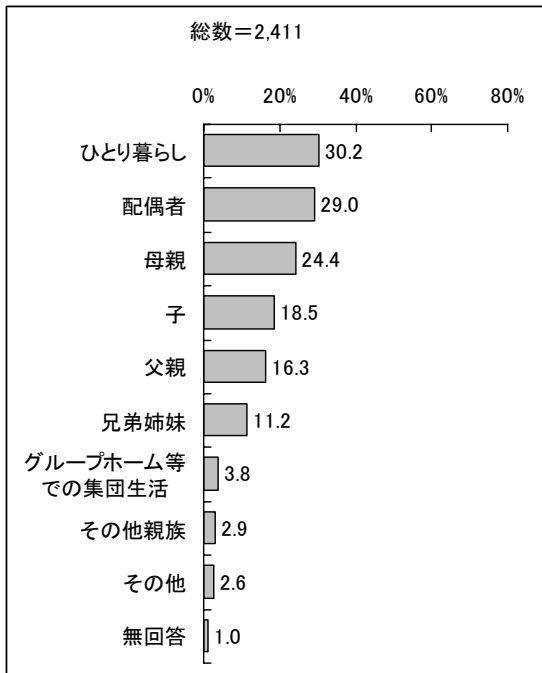
全体では「60代」が21.2%で最も多く、次いで「70代以上」が19.2%、「40代」が18.8%などとなっています。障害別に見ると、身体障害では「70代以上」が特に多く、知的障害では「20代以下」、精神障害では「60代」と「40代」がやや多くなっています。



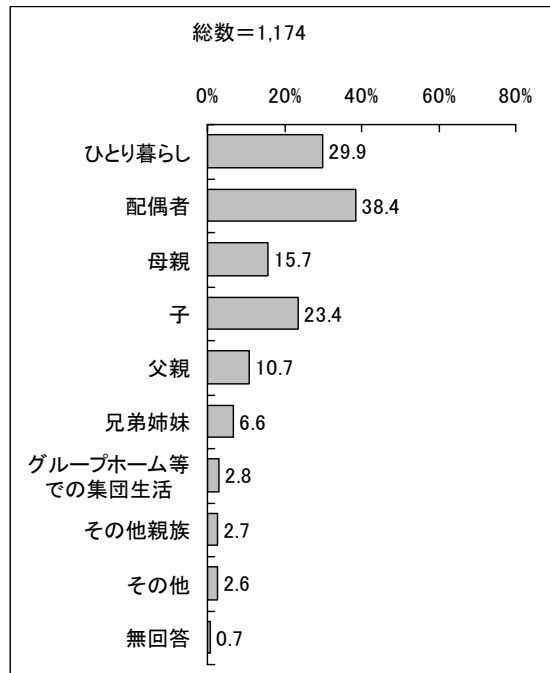
問4 あなたと一緒に住んでいるのは誰ですか。※「4子」を回答した方は「18歳未満・18歳以上」のどちらかあてはまる方にも○を) (○はいくつでも)

全体では「ひとり暮らし」が30.2%と最も多く、次いで「配偶者」が29.0%、「母親」が24.4%などとなっています。障害別に見ると、身体障害、高次脳機能障害、難病・特定疾患では「配偶者」、精神障害では「ひとり暮らし」、知的障害、発達障害では「母親」、「父親」、「兄弟姉妹」が多くなっています。

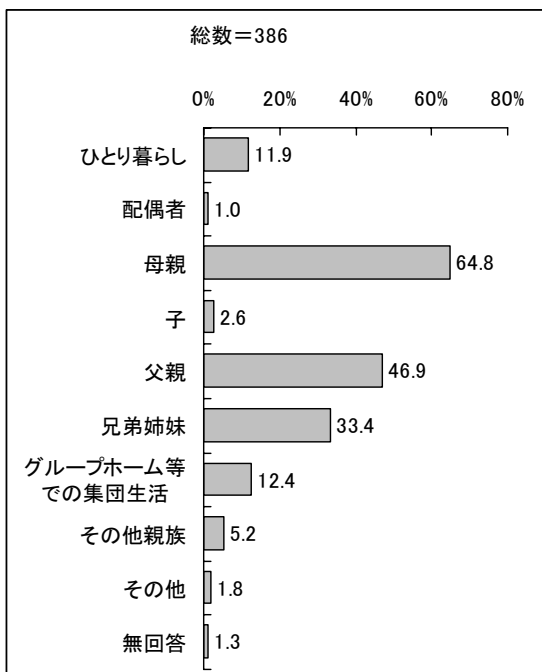
■全体



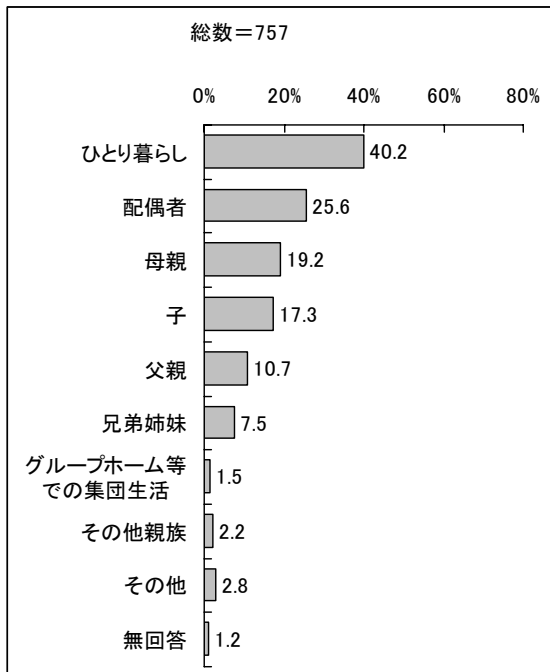
■身体障害



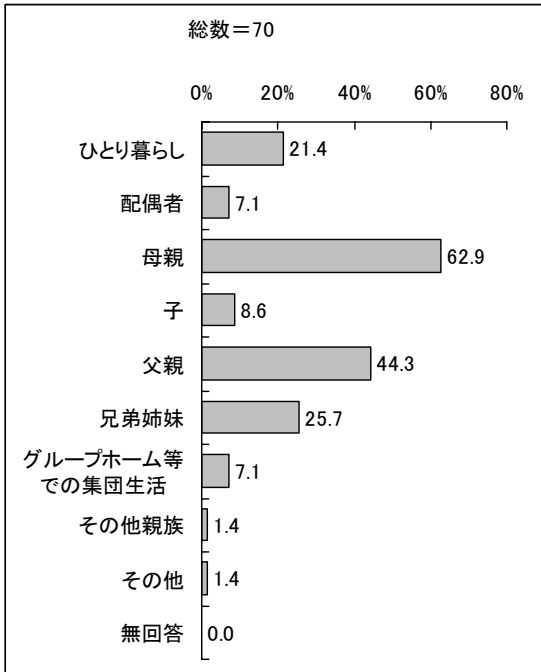
■知的障害



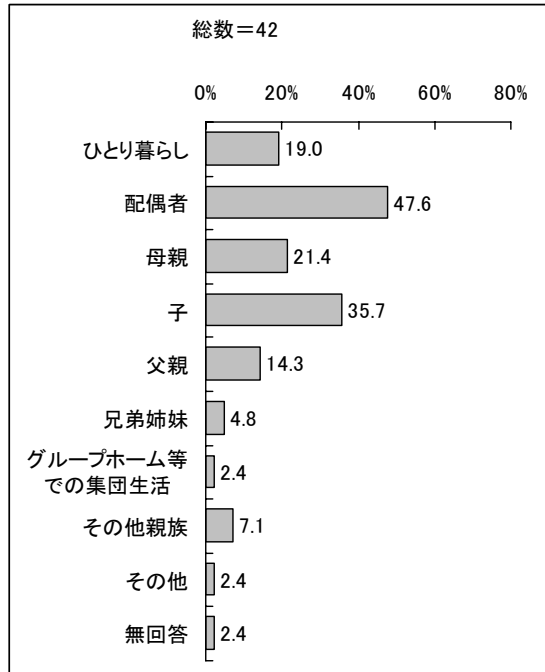
■精神障害



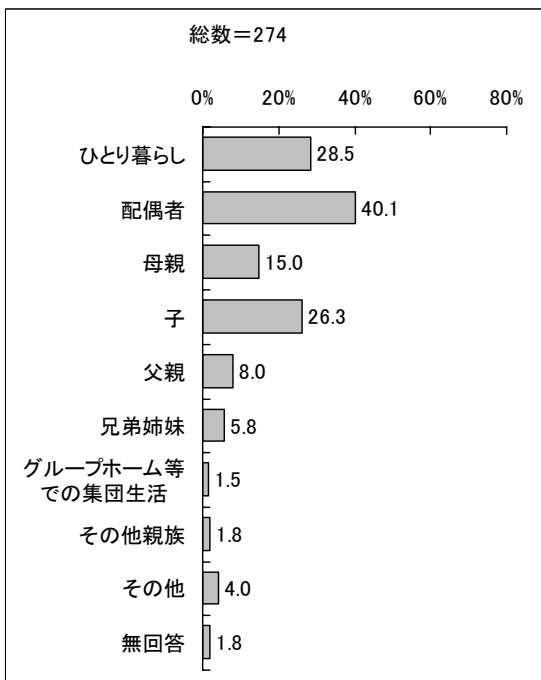
■発達障害



■高次脳機能障害



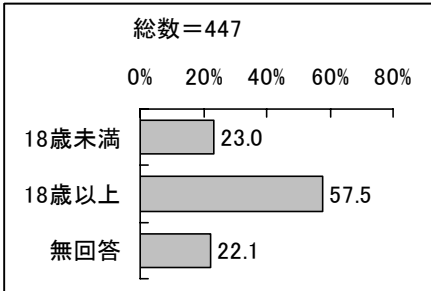
■難病・特定疾患



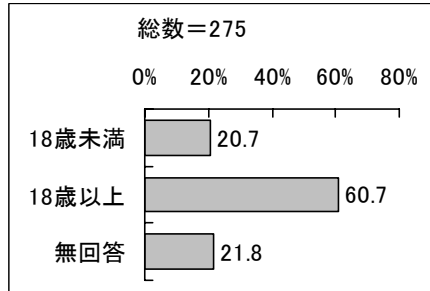
○子どもの年齢

同居家族に「子ども」と回答した方にその年齢をうかがったところ、全体では「18歳以上」が57.5%、「18歳未満」が23.0%となっています。年齢層の高い方が多い身体障害では、全体と比較して「18歳以上」がやや多く、精神障害では「18歳未満」がやや多くなっています。

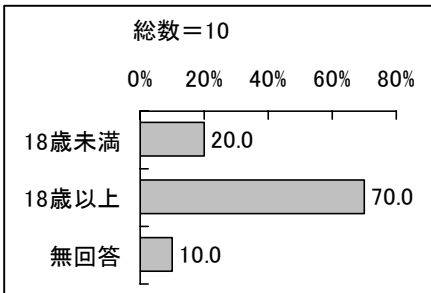
■全体



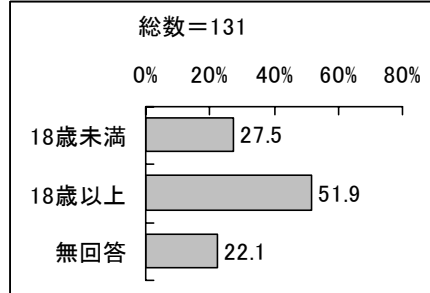
■身体障害



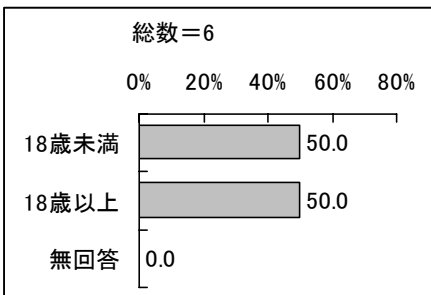
■知的障害



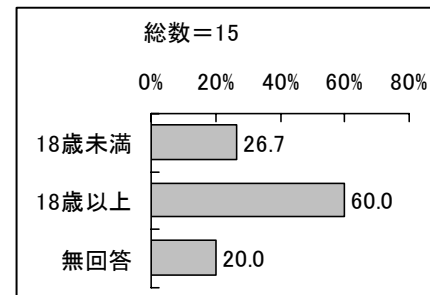
■精神障害



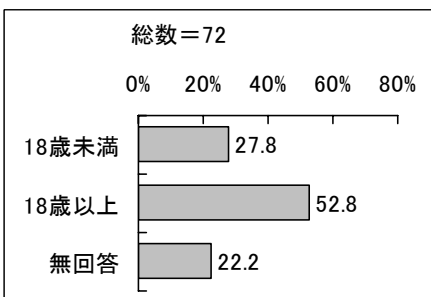
■発達障害



■高次脳機能障害



■難病・特定疾患

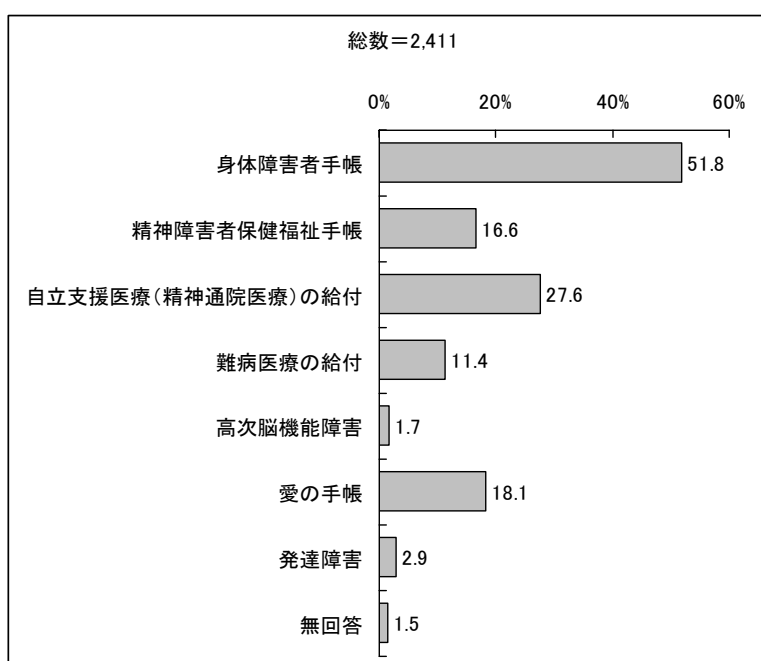


2 障害や健康の状況について

問5 あなたが持っている手帳や医療券などの種類をお聞きします。手帳をお持ちの方は、等級・程度もご記入ください。また、自立支援医療や難病医療の給付を受けていたり、発達障害、高次脳機能障害などの診断を受けている方は、あてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）

(1) 手帳・診断等の種類

「身体障害者手帳」が51.8%と最も多く、次いで「自立支援医療（精神通院医療）の給付」が27.6%、「愛の手帳」が18.1%などとなっています。

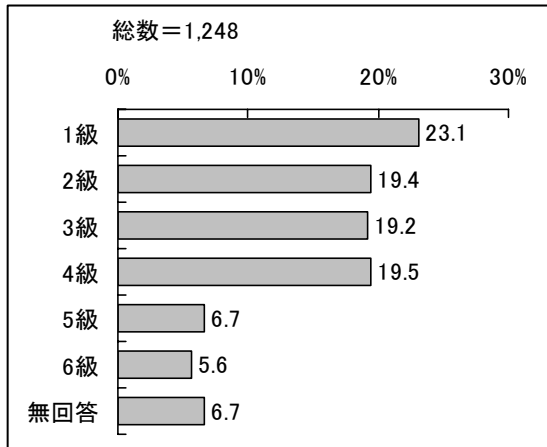


手帳・診断等の重複状況

上段：件 下段：%	合計	身体障害者手帳	保健福祉障害者手帳	自立支援医療(精神通院医療)の給付	難病医療の給付	高次脳機能障害	愛の手帳	発達障害	無回答
全体	2411 100.0	1248 51.8	401 16.6	666 27.6	274 11.4	42 1.7	437 18.1	70 2.9	37 1.5
身体障害者手帳	1248 100.0	1248 100.0	36 2.9	77 6.2	150 12.0	33 2.6	83 6.7	5 0.4	0 0.0
精神障害者保健福祉手帳	401 100.0	36 9.0	401 100.0	274 68.3	18 4.5	13 3.2	25 6.2	26 6.5	0 0.0
自立支援医療(精神通院医療)の給付	666 100.0	77 11.6	274 41.1	666 100.0	22 3.3	10 1.5	23 3.5	27 4.1	0 0.0
難病医療の給付	274 100.0	150 54.7	18 6.6	22 8.0	274 100.0	3 1.1	18 6.6	1 0.4	0 0.0
高次脳機能障害	42 100.0	33 78.6	13 31.0	10 23.8	3 7.1	42 100.0	1 2.4	3 7.1	0 0.0
愛の手帳	437 100.0	83 19.0	25 5.7	23 5.3	18 4.1	1 0.2	437 100.0	39 8.9	0 0.0
発達障害	70 100.0	5 7.1	26 37.1	27 38.6	1 1.4	3 4.3	39 55.7	70 100.0	0 0.0
無回答	37 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	37 100.0

(2) 手帳の等級等

①身体障害者手帳の等級

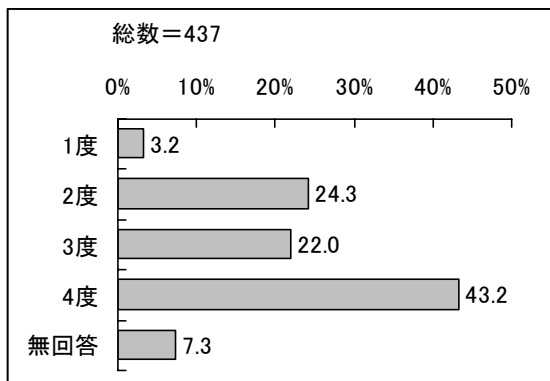


「1級」が23.1%と最も多く、次いで「4級」、「2級」、「3級」がそれぞれ20%弱となっています。

身体障害者手帳の等級と年齢

上段：件 下段：%	合計	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
全体	1248 100.0	69 5.5	101 8.1	188 15.1	250 20.0	294 23.6	340 27.2	6 0.5
1級	288 100.0	24 8.3	21 7.3	42 14.6	63 21.9	60 20.8	76 26.4	2 0.7
2級	242 100.0	14 5.8	30 12.4	46 19.0	45 18.6	57 23.6	50 20.7	0 0.0
3級	239 100.0	5 2.1	18 7.5	40 16.7	49 20.5	53 22.2	73 30.5	1 0.4
4級	243 100.0	11 4.5	9 3.7	25 10.3	42 17.3	71 29.2	84 34.6	1 0.4
5級	83 100.0	4 4.8	7 8.4	13 15.7	22 26.5	25 30.1	11 13.3	1 1.2
6級	70 100.0	6 8.6	7 10.0	14 20.0	14 20.0	10 14.3	19 27.1	0 0.0
無回答	83 100.0	5 6.0	9 10.8	8 9.6	15 18.1	18 21.7	27 32.5	1 1.2

②愛の手帳の等級

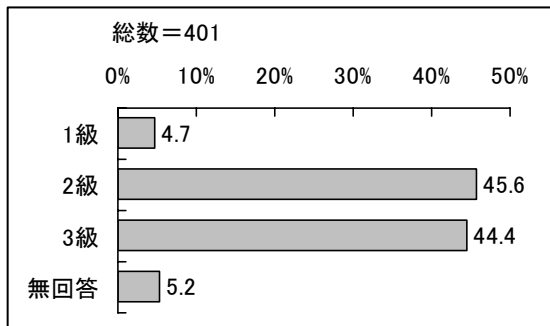


「4度」が43.2%で最も多く、次いで「2度」が24.3%、「3度」が22.0%となっています。

愛の手帳の等級と年齢

上段：件 下段：%	合計	2 0 代 以下	3 0 代	4 0 代	5 0 代	6 0 代	7 0 代 以上	無 回 答
全体	437 100.0	132 30.2	100 22.9	89 20.4	50 11.4	42 9.6	17 3.9	7 1.6
1度	14 100.0	7 50.0	2 14.3	0 0.0	1 7.1	4 28.6	0 0.0	0 0.0
2度	106 100.0	35 33.0	29 27.4	28 26.4	7 6.6	2 1.9	3 2.8	2 1.9
3度	96 100.0	29 30.2	25 26.0	16 16.7	14 14.6	7 7.3	5 5.2	0 0.0
4度	189 100.0	53 28.0	38 20.1	37 19.6	28 14.8	25 13.2	7 3.7	1 0.5
無回答	32 100.0	8 25.0	6 18.8	8 25.0	0 0.0	4 12.5	2 6.3	4 12.5

③精神障害者保健福祉手帳の等級

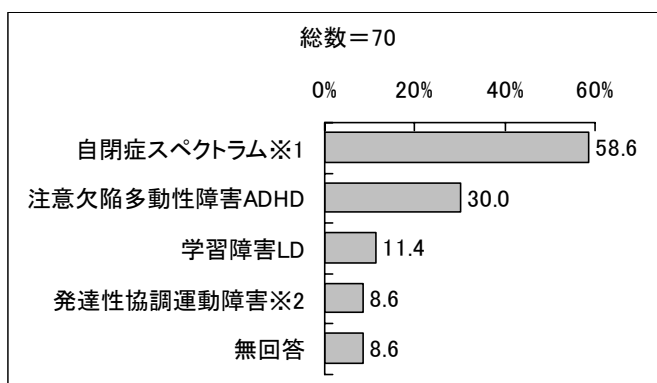


「2級」が45.6%で最も多く、次いで「3級」が44.4%、「1級」が4.7%となっています。

精神障害者保健福祉手帳の等級と年齢

上段：件 下段：%	合計	2 0 代 以下	3 0 代	4 0 代	5 0 代	6 0 代	7 0 代 以上	無 回 答
全体	401 100.0	27 6.7	61 15.2	98 24.4	94 23.4	80 20.0	34 8.5	7 1.7
1級	19 100.0	1 5.3	2 10.5	3 15.8	3 15.8	4 21.1	5 26.3	1 5.3
2級	183 100.0	7 3.8	27 14.8	42 23.0	45 24.6	42 23.0	17 9.3	3 1.6
3級	178 100.0	18 10.1	31 17.4	49 27.5	43 24.2	27 15.2	9 5.1	1 0.6
無回答	21 100.0	1 4.8	1 4.8	4 19.0	3 14.3	7 33.3	3 14.3	2 9.5

④発達障害の診断名



「自閉症スペクトラム」が 58.6%で最も多く、次いで「注意欠陥多動性障害ADHD」が 30.0%、「学習障害LD」が 11.4%などとなっています。

発達障害の診断名と年齢

上段：件 下段：%	合計	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
全体	70 100.0	25 35.7	16 22.9	17 24.3	7 10.0	4 5.7	0 0.0	1 1.4
自閉症スペクトラム	41 100.0	17 41.5	8 19.5	7 17.1	6 14.6	2 4.9	0 0.0	1 2.4
注意欠陥多動性障害ADHD	21 100.0	7 33.3	4 19.0	6 28.6	2 9.5	2 9.5	0 0.0	0 0.0
学習障害LD	8 100.0	3 37.5	2 25.0	2 25.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
発達性協調運動障害	6 100.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	2 33.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0
無回答	6 100.0	1 16.7	1 16.7	4 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

※1 自閉症スペクトラム

現在の国際的診断基準の診断カテゴリーである広汎性発達障害(PDD)とほぼ同じ群を指しており、自閉症、アスペルガー症候群、そのほかの広汎性発達障害が含まれます。症状の強さに従って、いくつかの診断名に分類されますが、本質的には同じ1つの障害単位だと考えられています(スペクトラムとは「連続体」の意味です)。典型的には、相互的な対人関係の障害、コミュニケーションの障害、興味や行動の偏り(こだわり)の3つの特徴が現れます。

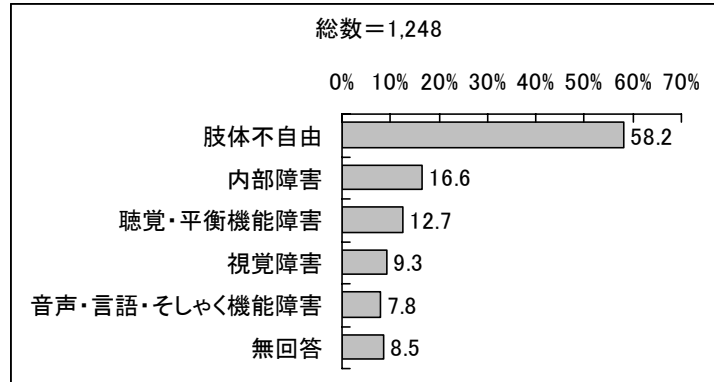
※2 発達性協調運動障害

筋肉や神経、視覚・聴覚などに異常がないにもかかわらず、「ボールを蹴る」「字を書く」などの協調運動に困難を呈する障害のことで、発達障害の類型の一つとされています。

問6 問5で「1 身体障害者手帳」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は問7へお進みください。

どのような障害がありますか。(〇はいくつでも)

「肢体不自由」が58.2%で最も多く、次いで「内部障害」が16.6%、「聴覚・平衡機能障害」が12.7%などとなっています。

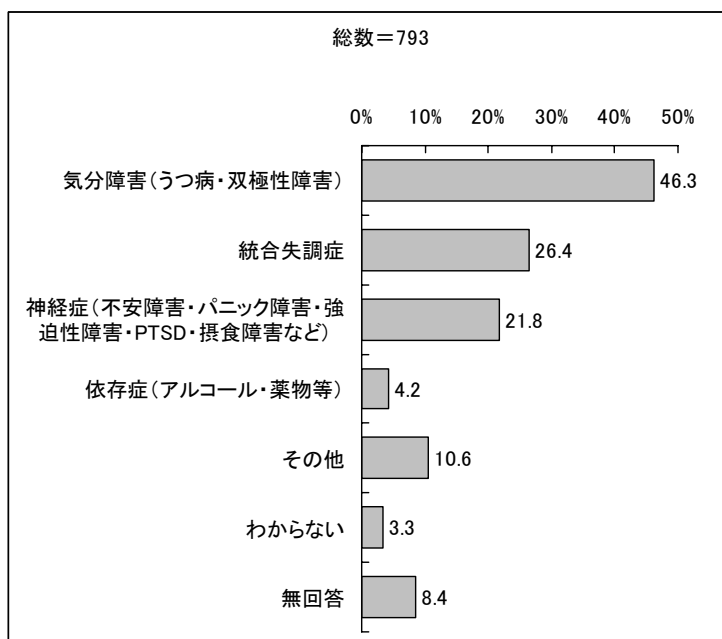


身体障害の種類と年齢

上段：件 下段：%	合計	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
全体	1248 100.0	69 5.5	101 8.1	188 15.1	250 20.0	294 23.6	340 27.2	6 0.5
肢体不自由（上肢・下肢・体幹等）	726 100.0	49 6.7	49 6.7	114 15.7	156 21.5	175 24.1	180 24.8	3 0.4
音声・言語・そしゃく機能障害	97 100.0	8 8.2	2 2.1	13 13.4	18 18.6	26 26.8	29 29.9	1 1.0
視覚障害	116 100.0	5 4.3	13 11.2	15 12.9	24 20.7	25 21.6	33 28.4	1 0.9
聴覚・平衡機能障害	158 100.0	6 3.8	16 10.1	25 15.8	29 18.4	26 16.5	55 34.8	1 0.6
内部障害（心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能、肝臓）	207 100.0	7 3.4	21 10.1	37 17.9	40 19.3	46 22.2	55 26.6	1 0.5
無回答	106 100.0	4 3.8	7 6.6	10 9.4	13 12.3	31 29.2	39 36.8	2 1.9

問7 問5で「2 精神障害者保健福祉手帳」または「3 自立支援医療(精神通院医療)の給付」、もしくは両方を回答された方にお聞きします。それ以外の方は問8へお進みください。どのような障害がありますか。(〇はいくつでも)

「気分障害(うつ病・双極性障害)」が46.3%で最も多く、次いで「統合失調症」が26.4%、「神経症(不安障害・パニック障害・強迫性障害・PTSD・摂食障害など)」が21.8%などとなっています。



※その他…「てんかん」「認知症・アルツハイマー」「不眠症」「解離性障害」など

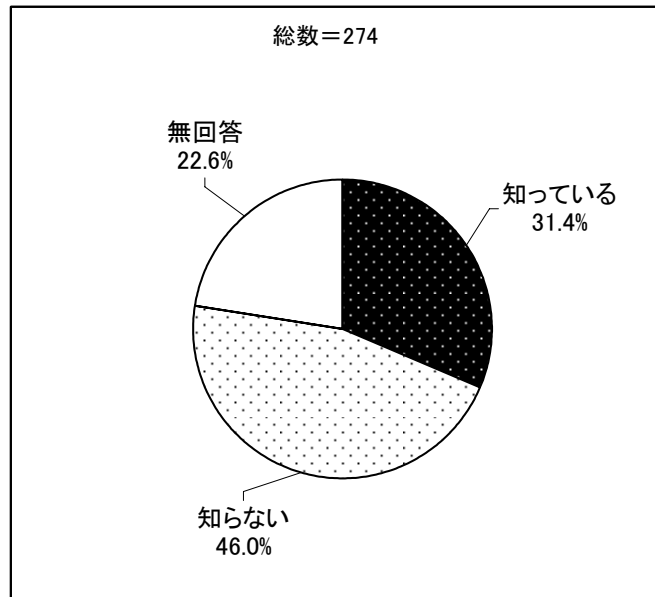
精神障害の種類と年齢

上段：件 下段：%	合計	統合失調症	気分障害 (うつ病・ 双極性障害)	PTSD・強 迫性障害・ 不安障害・ パニック 摂食障害 など	依存症 (アルコール・ 薬物等)	その他	わからない	無回答
全体	793 100.0	209 26.4	367 46.3	173 21.8	33 4.2	84 10.6	26 3.3	67 8.4
20代以下	56 100.0	10 17.9	21 37.5	14 25.0	1 1.8	12 21.4	0 0.0	7 12.5
30代	111 100.0	33 29.7	58 52.3	27 24.3	1 0.9	15 13.5	3 2.7	4 3.6
40代	197 100.0	49 24.9	103 52.3	53 26.9	8 4.1	19 9.6	6 3.0	13 6.6
50代	162 100.0	41 25.3	79 48.8	32 19.8	12 7.4	16 9.9	3 1.9	18 11.1
60代	172 100.0	53 30.8	67 39.0	30 17.4	9 5.2	16 9.3	11 6.4	12 7.0
70代以上	87 100.0	21 24.1	34 39.1	15 17.2	2 2.3	6 6.9	3 3.4	12 13.8
無回答	8 100.0	2 25.0	5 62.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5

問 8 問5で「4 難病医療の給付」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は問9へお進みください。

平成25年4月以降、障害福祉サービスの対象者に難病の方が追加されていますが、知っていましたか。（※平成27年7月時点での指定難病は332疾病となっています。）（○はひとつ）

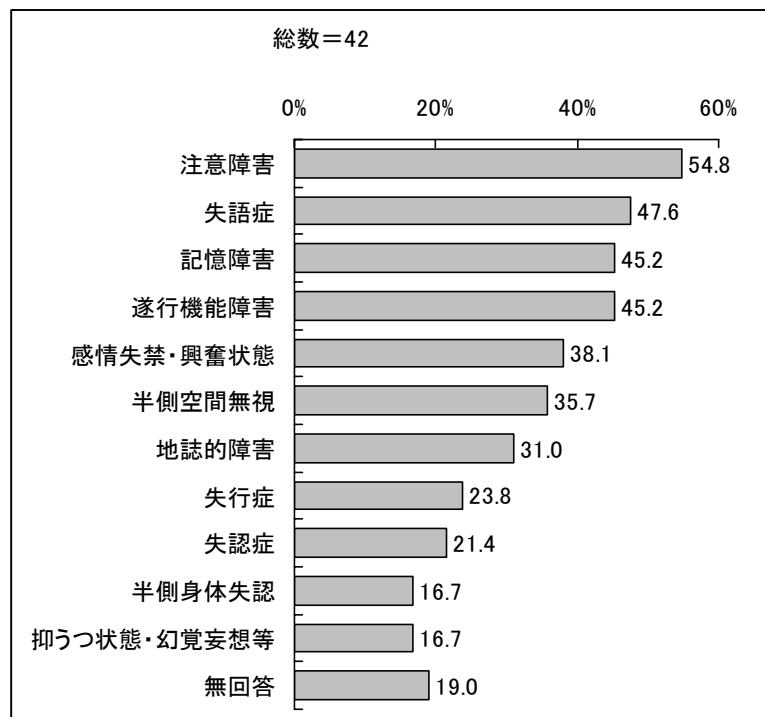
「知っている」が31.4%に対し、「知らない」は46.0%となっています。



問9 問5で「5 高次脳機能障害」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は問10へお進みください。

あなたには、次のような症状がありますか。(○はいくつでも)

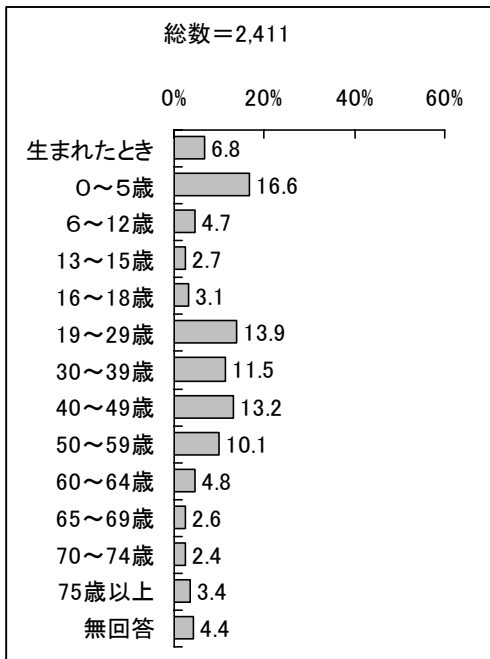
「注意障害」が54.8%で最も多く、次いで「失語症」が47.6%、「記憶障害」と「遂行機能障害」が45.2%などとなっています。



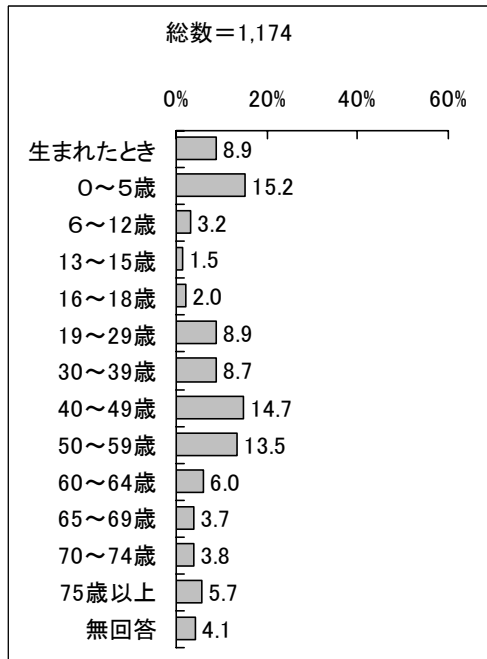
問10 あなたの障害や心身の不調について、あなたやご家族の方などが最初に気づいた時期をお聞きします。(〇はひとつ)

全体では「0～5歳」が16.6%で最も多く、次いで「19～29歳」が13.9%、「40～49歳」が13.2%などとなっています。障害別に見ると、身体障害では「0～5歳」と40代から50代の壮年期と回答した人の割合がやや高くなっています。精神障害では「19～29歳」が最も多く、20代から40代の間と回答した人の割合が高くなっています。

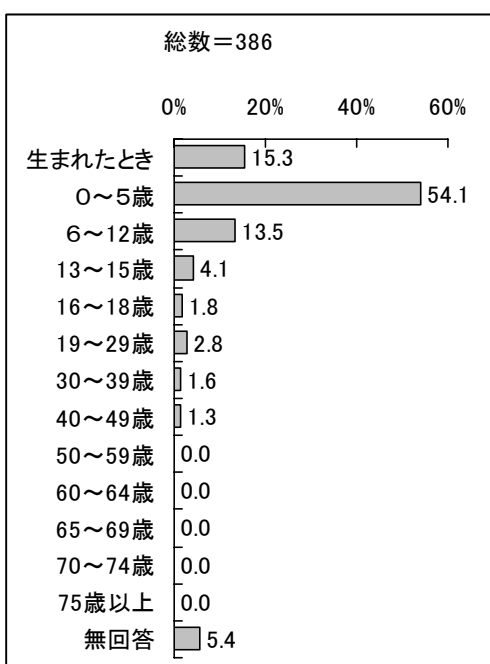
■全体



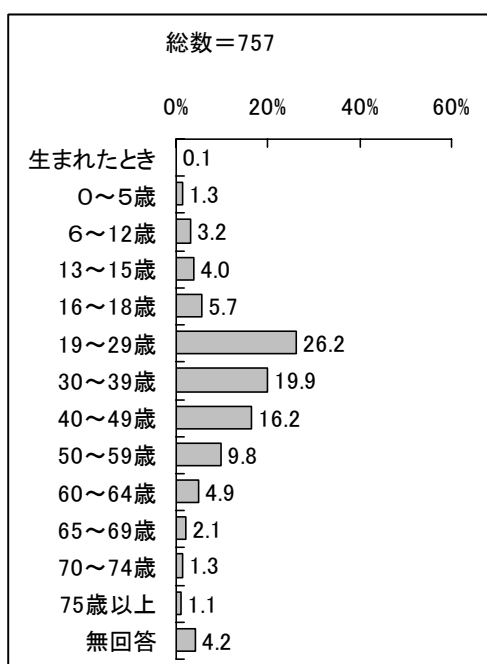
■身体障害



■知的障害

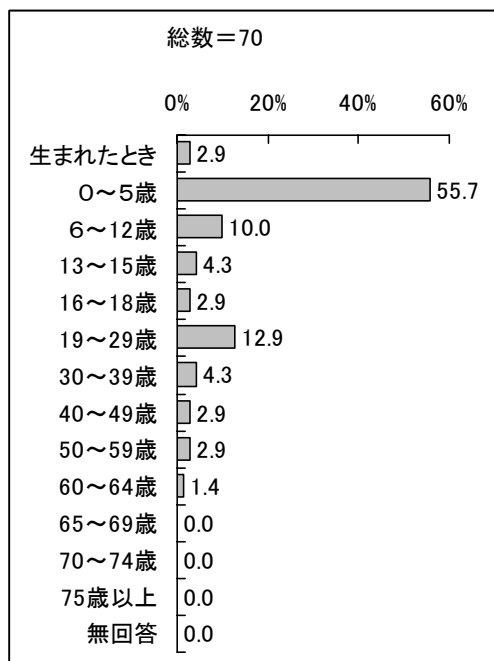


■精神障害

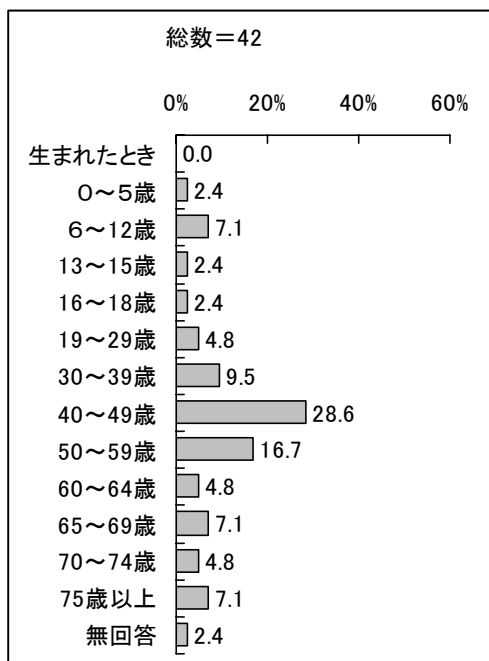


発達障害では「0～5歳」が最も多く、次いで「19～29歳」となっています。「高次脳機能障害」では、40代から50代の壮年期と回答した人の割合が高くなっています。難病・特定疾患では、20代から50代と回答した人の割合がやや高くなっています。

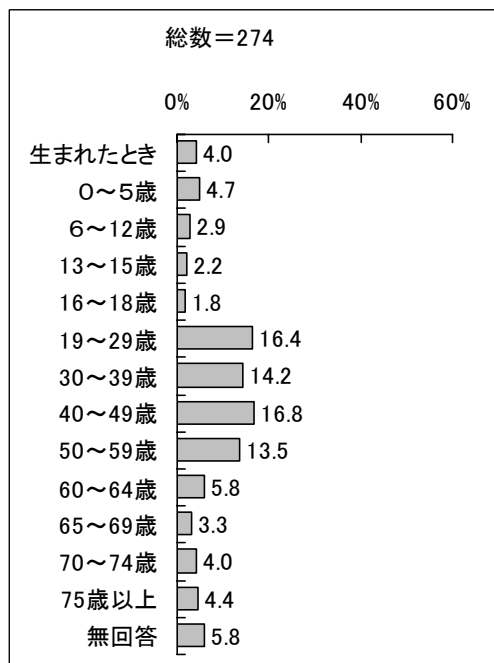
■発達障害



■高次脳機能障害



■難病・特定疾患



精神障害の種類と障害や心身の不調に気づいた時期

上段：件 下段：%	合計	統合失調症	気分障害 (うつ病・ 双極性障害)	PTSD・強 迫性障害・ 摂食障害など	神経症(不安障害・パニック 障害)	依存症 (アルコール・薬物等)	その他	わからない	無回答
全体	793 100.0	209 26.4	367 46.3	173 21.8	33 4.2	84 10.6	26 3.3	67 8.4	
生まれたとき	6 100.0	0 0.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0	2 33.3	0 0.0	2 33.3	
0～5歳	27 100.0	3 11.1	6 22.2	6 22.2	0 0.0	8 29.6	2 7.4	6 22.2	
6～12歳	30 100.0	11 36.7	11 36.7	11 36.7	0 0.0	4 13.3	0 0.0	3 10.0	
13～15歳	34 100.0	10 29.4	13 38.2	12 35.3	0 0.0	6 17.6	0 0.0	1 2.9	
16～18歳	42 100.0	20 47.6	17 40.5	11 26.2	3 7.1	4 9.5	0 0.0	2 4.8	
19～29歳	202 100.0	70 34.7	96 47.5	40 19.8	7 3.5	24 11.9	7 3.5	9 4.5	
30～39歳	167 100.0	49 29.3	77 46.1	35 21.0	4 2.4	12 7.2	5 3.0	15 9.0	
40～49歳	128 100.0	19 14.8	77 60.2	27 21.1	10 7.8	10 7.8	5 3.9	7 5.5	
50～59歳	74 100.0	14 18.9	33 44.6	18 24.3	4 5.4	7 9.5	2 2.7	9 12.2	
60～64歳	33 100.0	5 15.2	14 42.4	6 18.2	3 9.1	5 15.2	2 6.1	0 0.0	
65～69歳	12 100.0	0 0.0	8 66.7	1 8.3	0 0.0	1 8.3	1 8.3	1 8.3	
70～74歳	6 100.0	1 16.7	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	
75歳以上	5 100.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	
無回答	27 100.0	6 22.2	9 33.3	5 18.5	2 7.4	0 0.0	2 7.4	8 29.6	

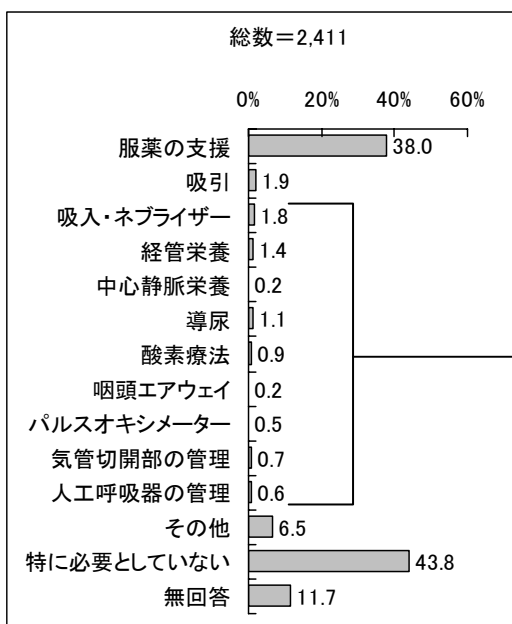
問11 あなたは日常的に必要としている医療的ケアがありますか。

(○はいくつでも)

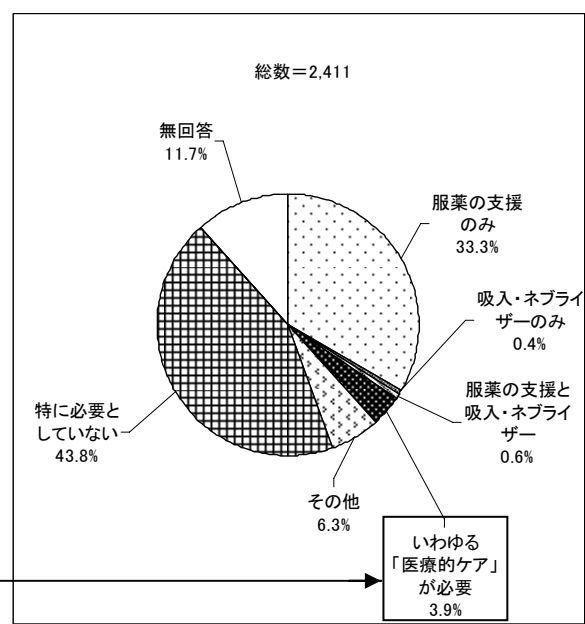
全体では「服薬の支援」が38.0%で最も多く、次いで「吸引」が1.9%、「吸入・ネブライザー」が1.8%などとなっています。「特に必要としていない」は43.8%となっています。

「服薬の支援」、「吸入・ネブライザー」、「その他」を除き、「吸引」から「人工呼吸器の管理」までを統合した「いわゆる『医療的ケア』が必要」な状態に当てはまる人は3.9%となっています。

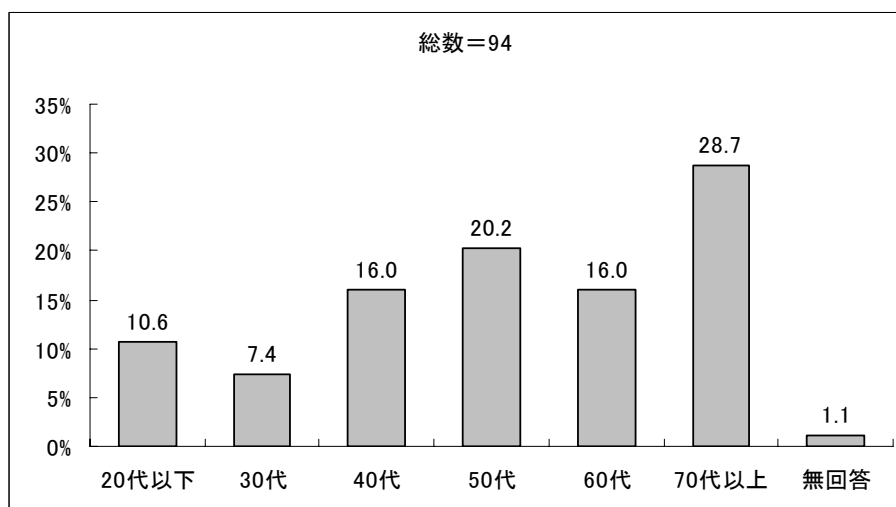
■全体



●回答項目の統合

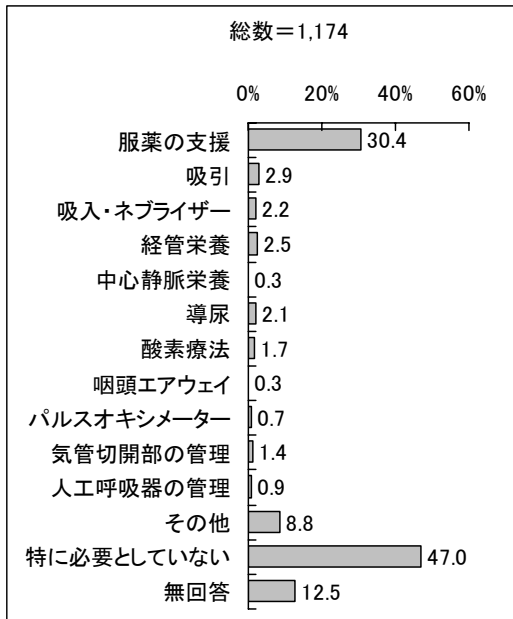


いわゆる「医療的ケア」が必要と回答した方の年齢

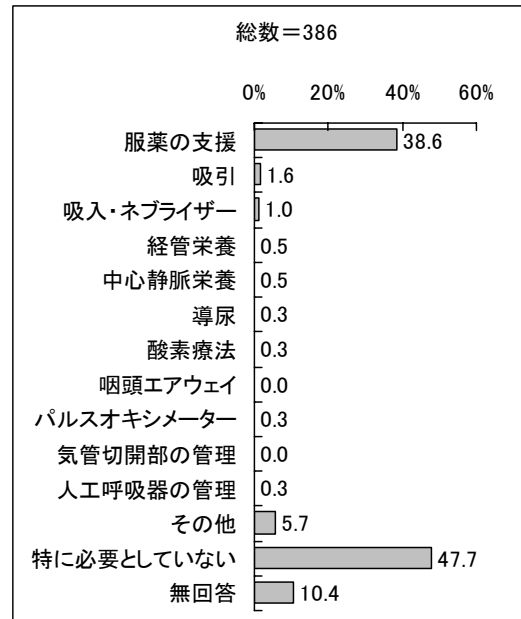


障害別に見ると、身体障害、難病・特定疾患では「服薬の支援」以外の医療的ケアが必要と回答した人の割合がやや高くなっています。高次脳機能障害と精神障害では「特に必要としていない」と回答した人の割合が低くなっています。

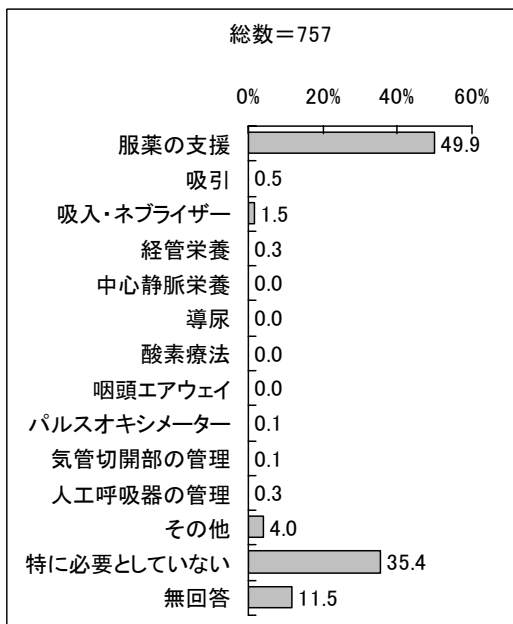
■身体障害



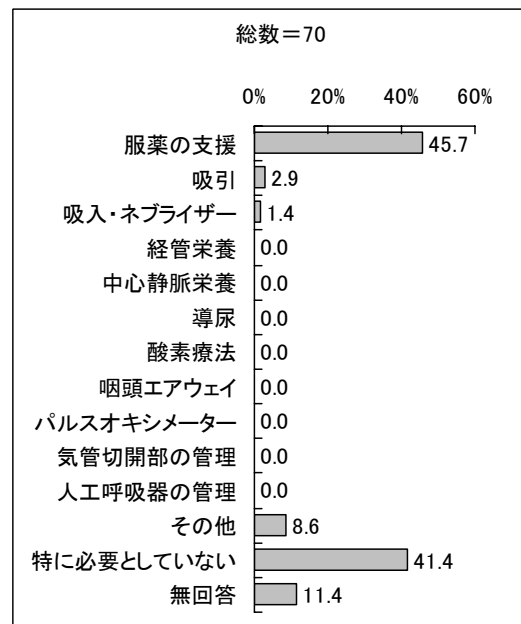
■知的障害



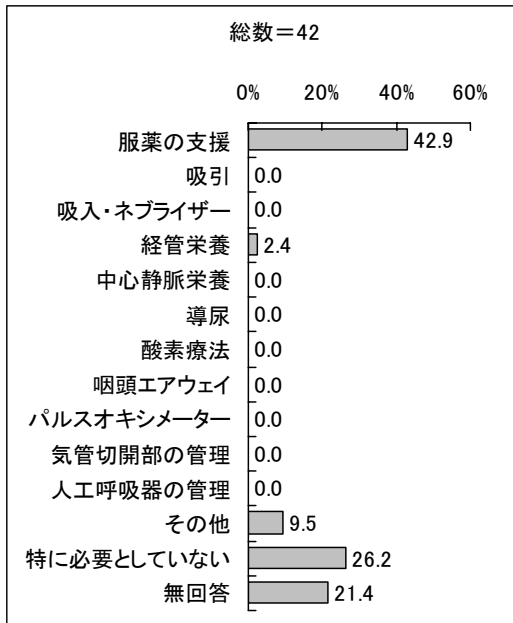
■精神障害



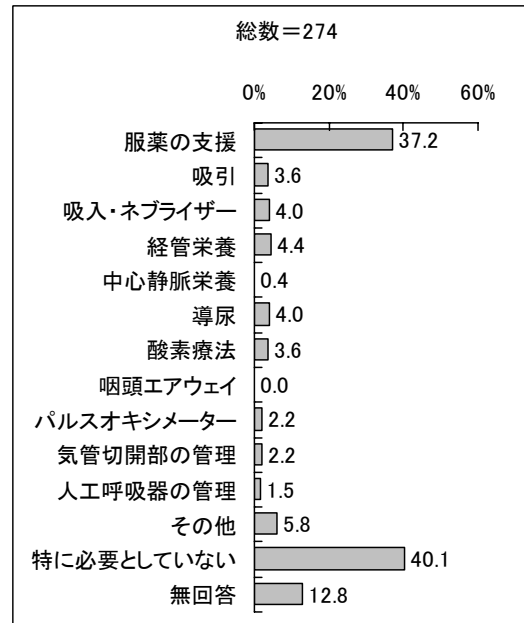
■発達障害



■高次脳機能障害



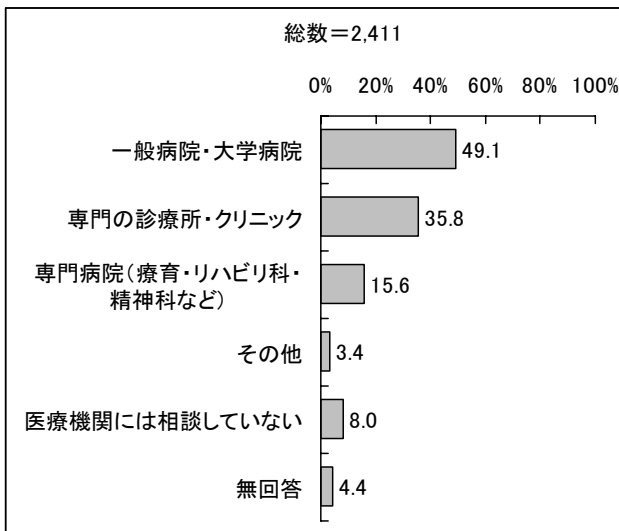
■難病・特定疾患



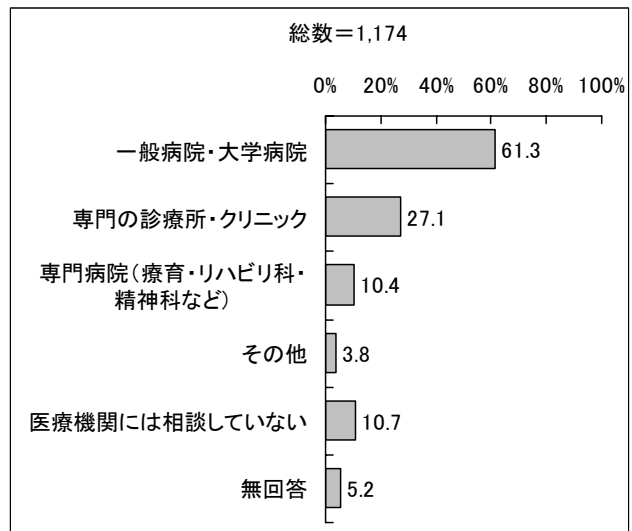
問12 あなたは、障害や心身の不調について、どのような医療機関で治療を受けたり、相談をしたりしていますか。(〇はいくつでも)

全体では「一般病院・大学病院」が49.1%、次いで「専門の診療所・クリニック」が35.8%、「専門病院(療育・リハビリ科・精神科など)」が15.6%となっています。一方、「医療機関には相談していない」は8.0%となっています。障害別に見ると、難病・特定疾患、高次脳機能障害、身体障害では「一般病院・大学病院」、精神障害、発達障害では「専門の診療所・クリニック」が特に多くなっています。

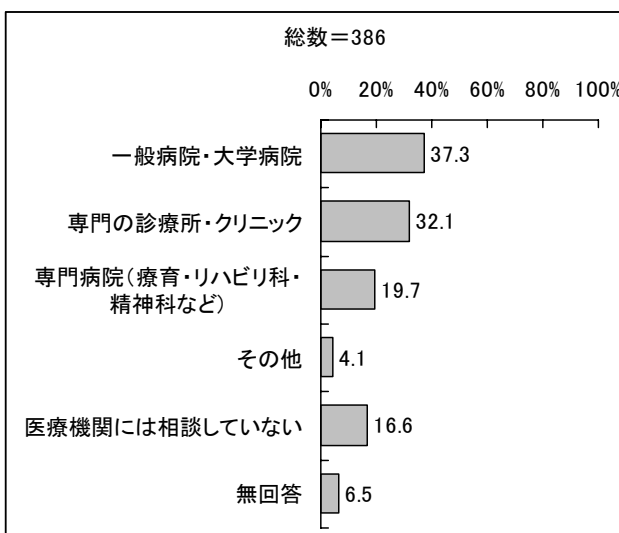
■全体



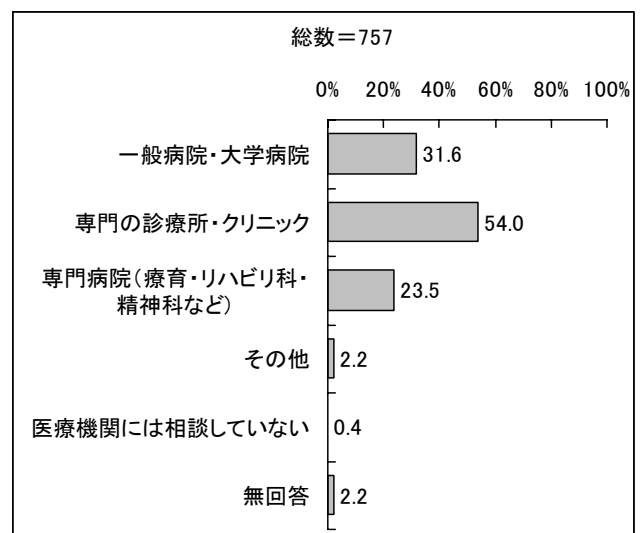
■身体障害



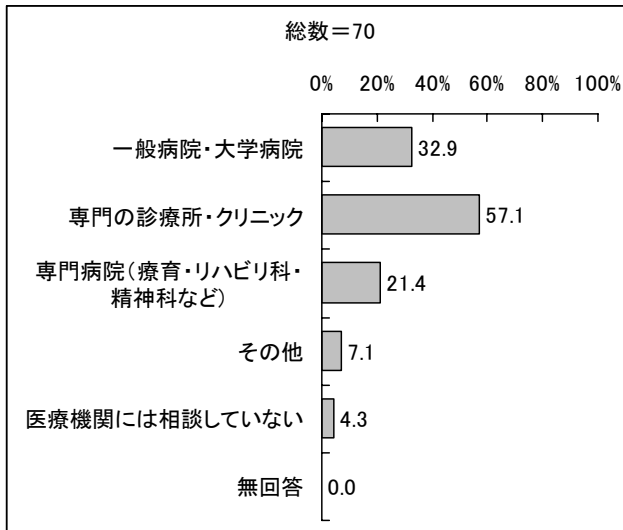
■知的障害



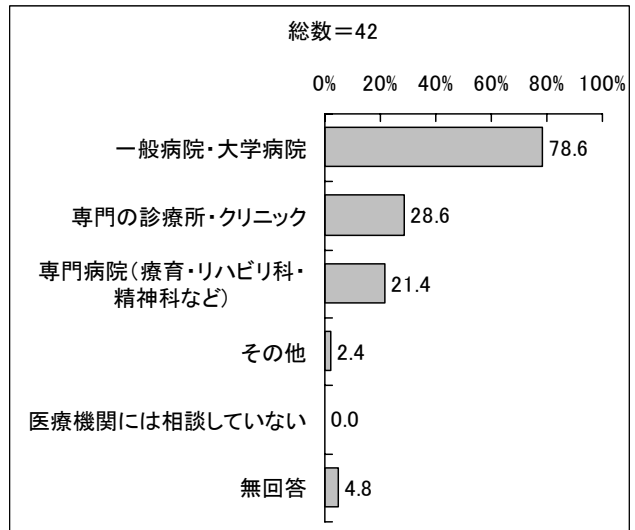
■精神障害



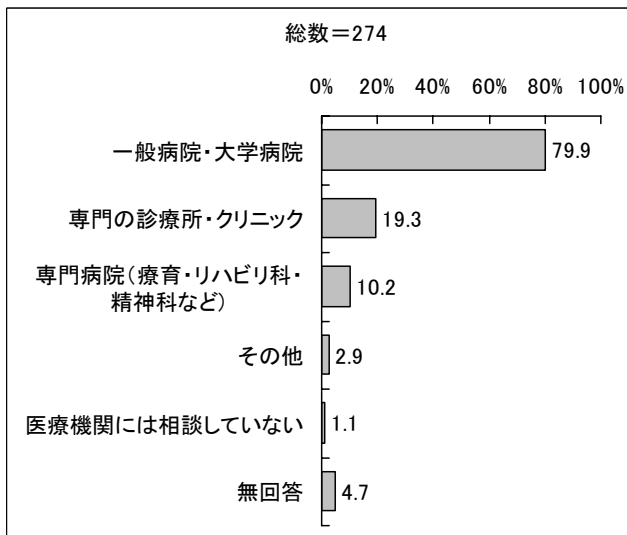
■発達障害



■高次脳機能障害



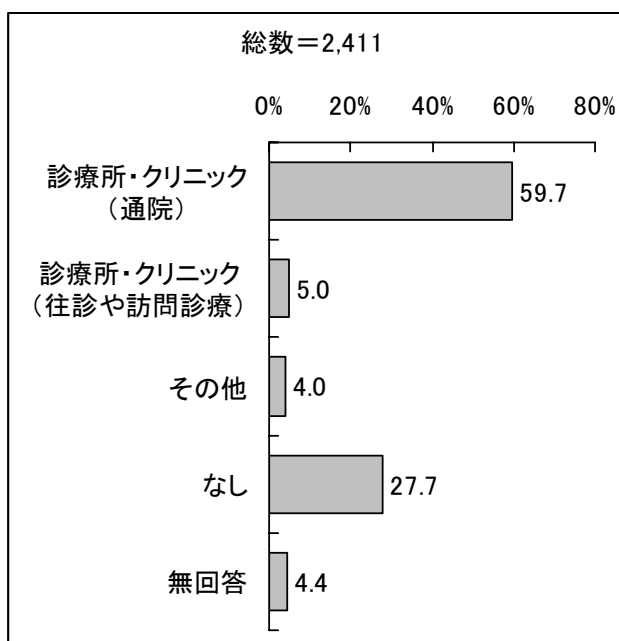
■難病・特定疾患



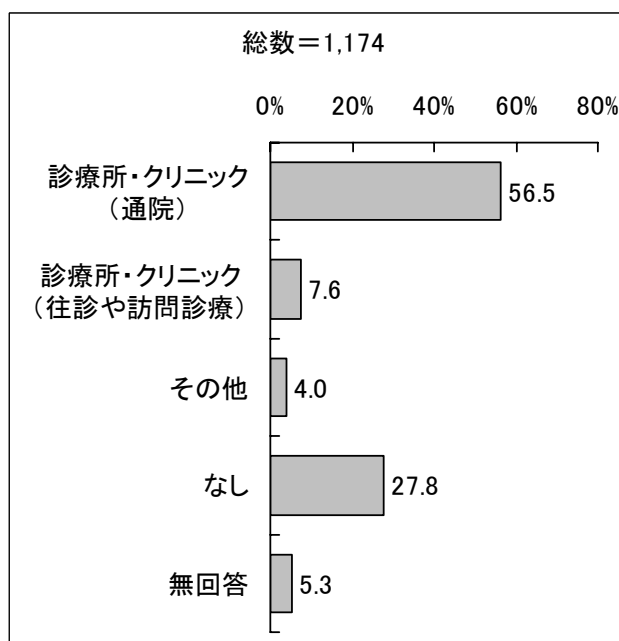
問13 あなたは、問12の医療機関以外に、普段の健康や体調が悪い時（風邪など）に気軽に相談できる診療所などの「かかりつけ医」がいますか。
（あてはまるものに○）

全体では「診療所・クリニック（通院）」が59.7%、次いで「診療所・クリニック（往診や訪問診療）」が5.0%となっています。一方、「なし」は27.7%となっています。障害別に見ると、知的障害、発達障害では「診療所・クリニック（通院）」が比較的多くなっています。

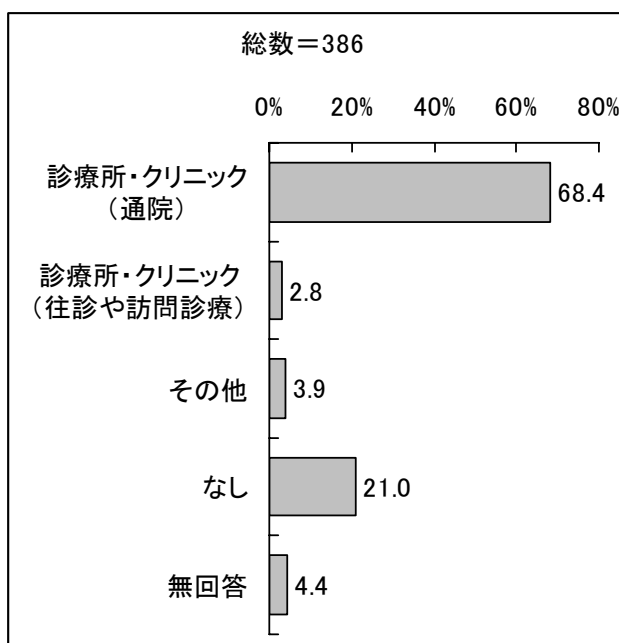
■全体



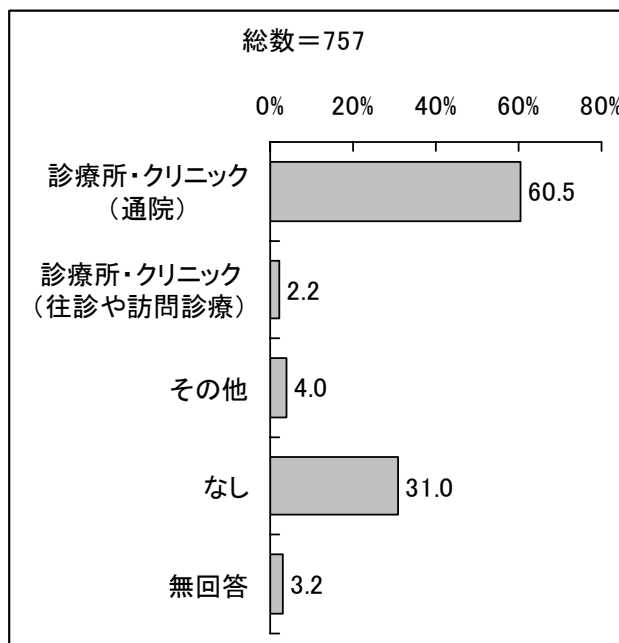
■身体障害



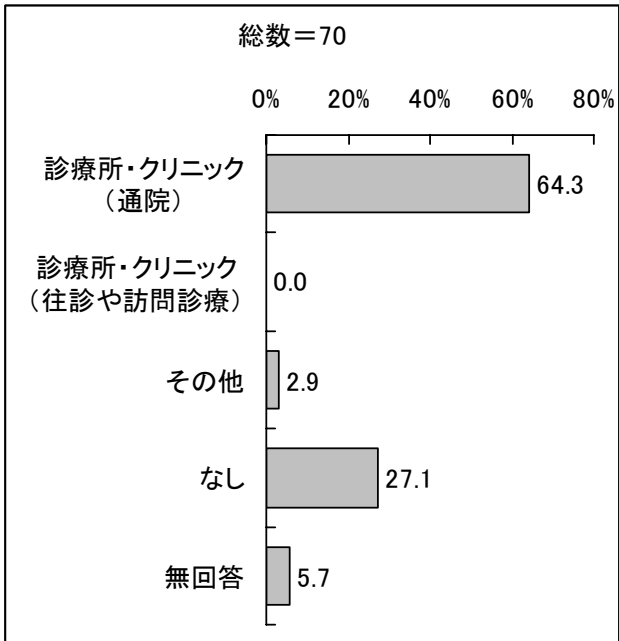
■知的障害



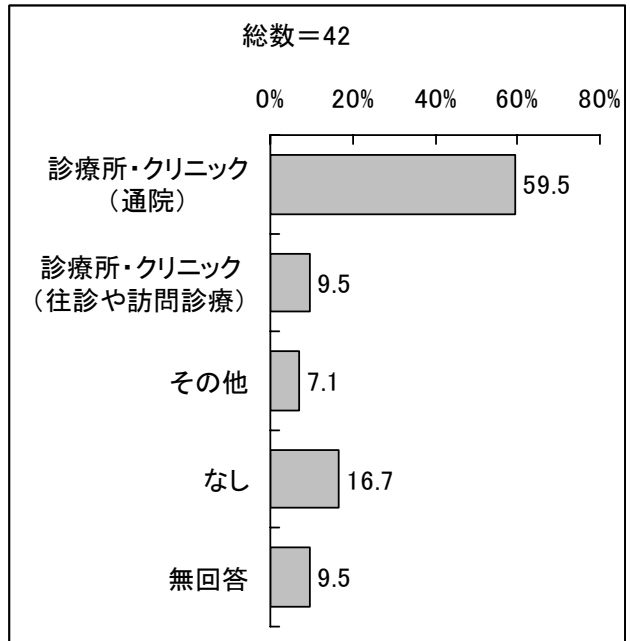
■精神障害



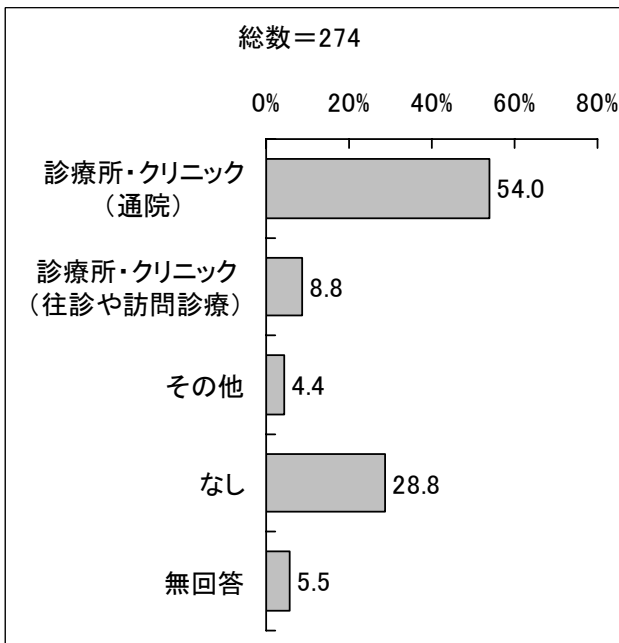
■発達障害



■高次脳機能障害



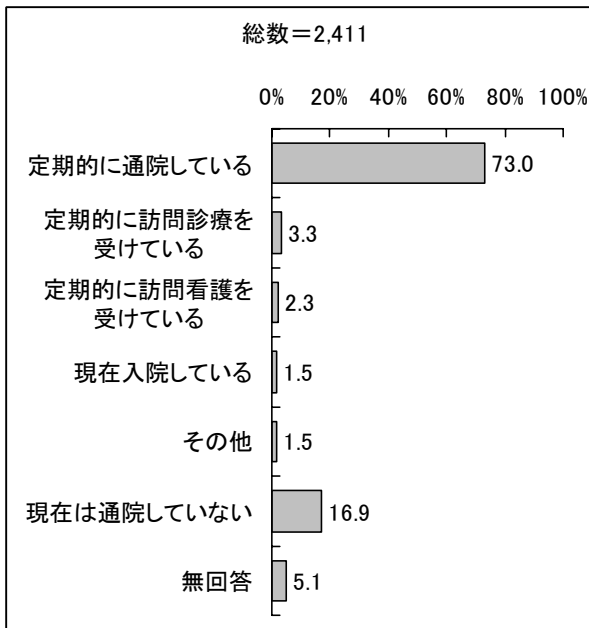
■難病・特定疾患



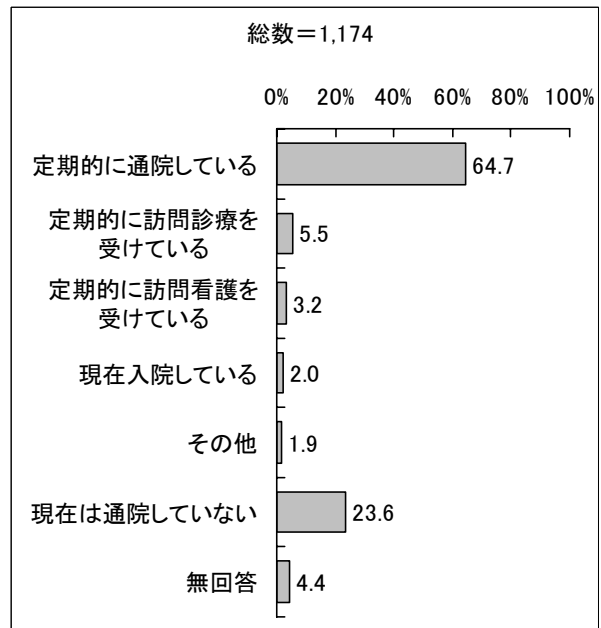
問14 障害等について、受診状況等をお聞きします。(あてはまるものに○)

全体では「定期的に通院している」が73.0%と最も多く、次いで「定期的に訪問診療を受けている」が3.3%、「定期的に訪問看護を受けている」が2.3%などとなっています。障害別に見ると、精神障害、難病・特定疾患、高次脳機能障害、発達障害で「定期的に通院している」が特に多くなっています。知的障害では「現在は通院していない」がやや多くなっています。

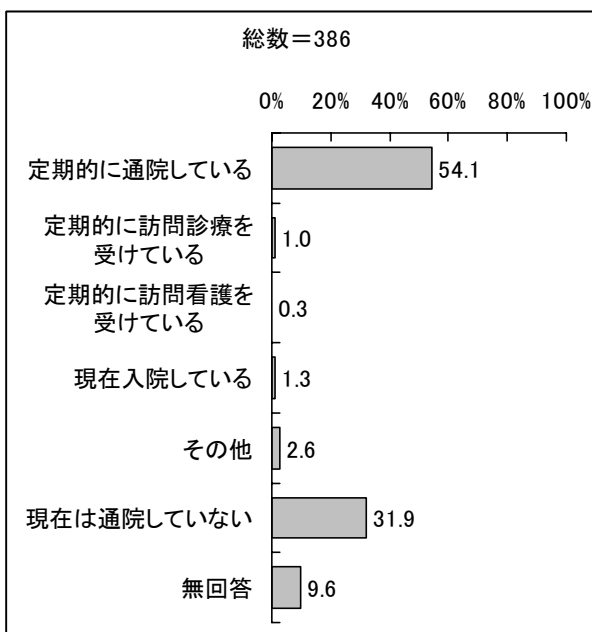
■全体



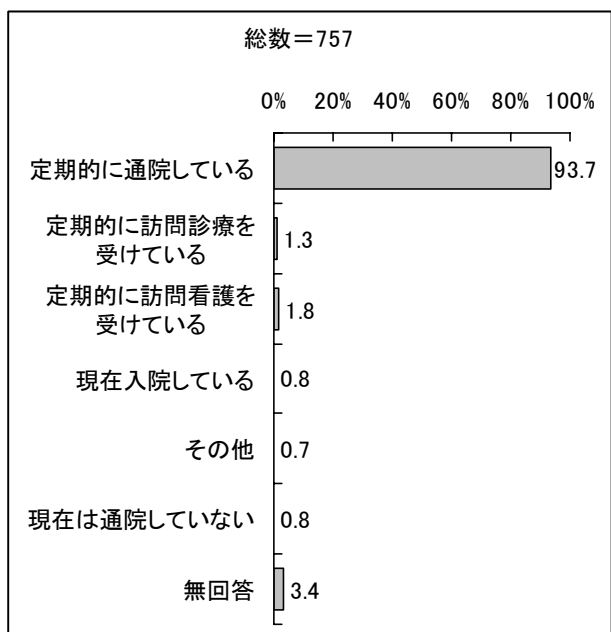
■身体障害



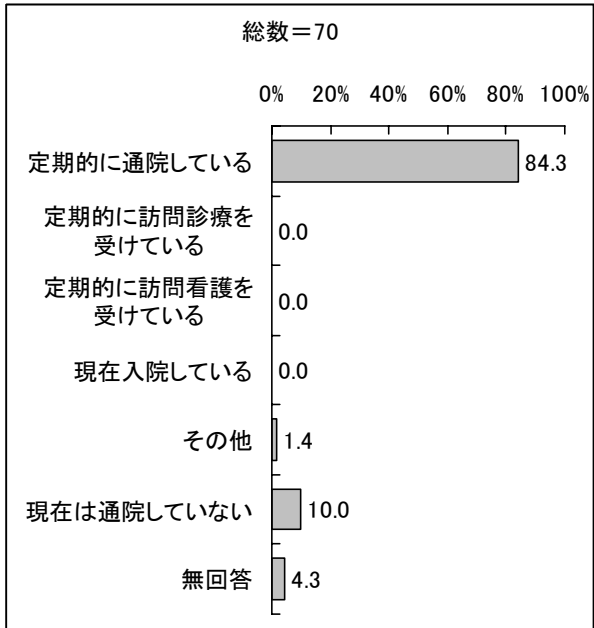
■知的障害



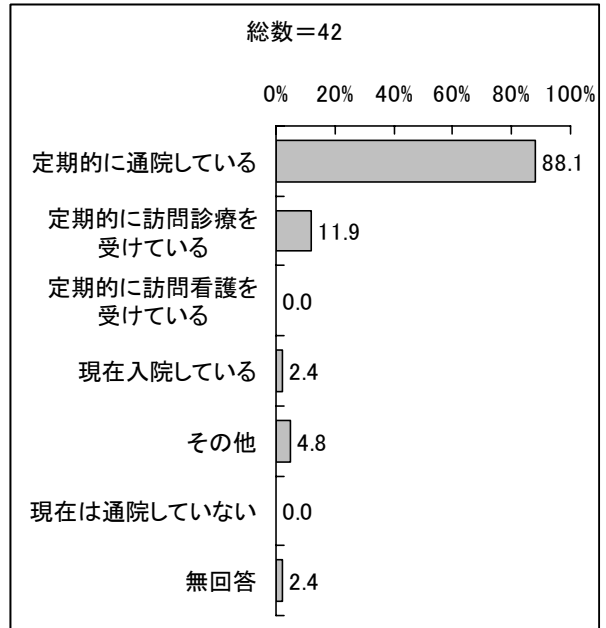
■精神障害



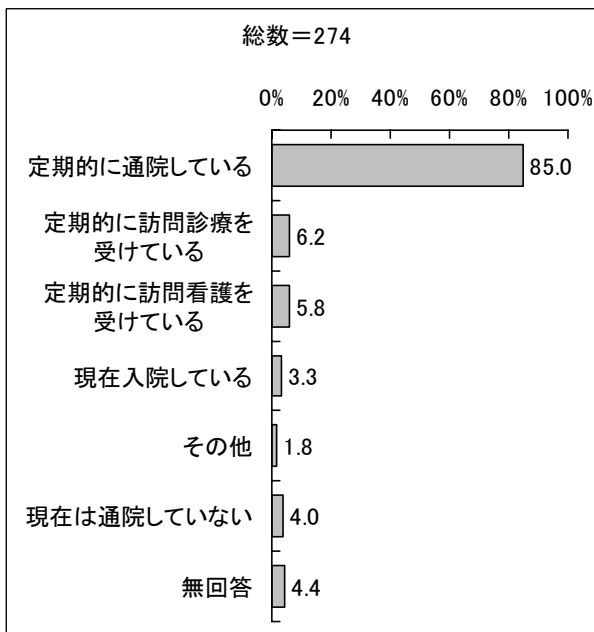
■発達障害



■高次脳機能障害



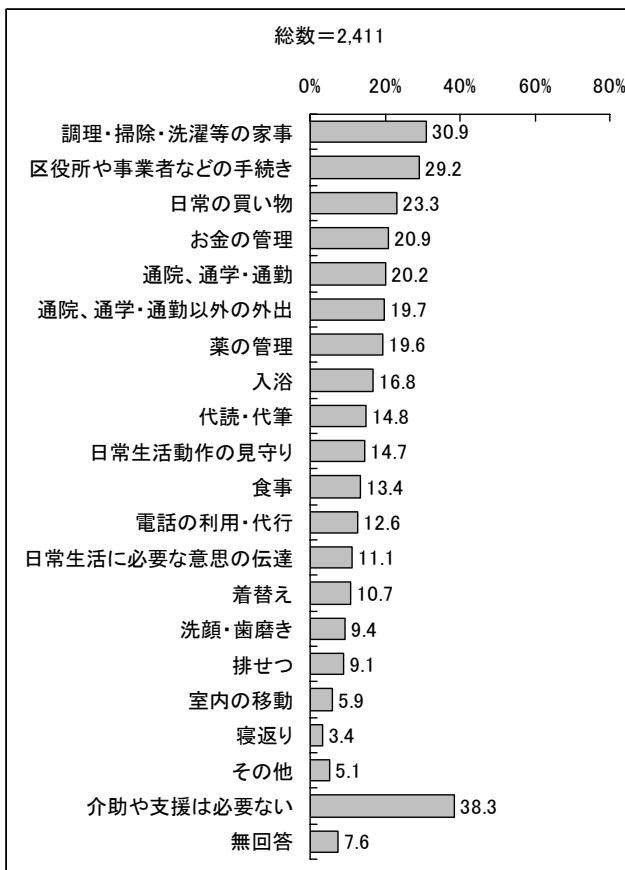
■難病・特定疾患



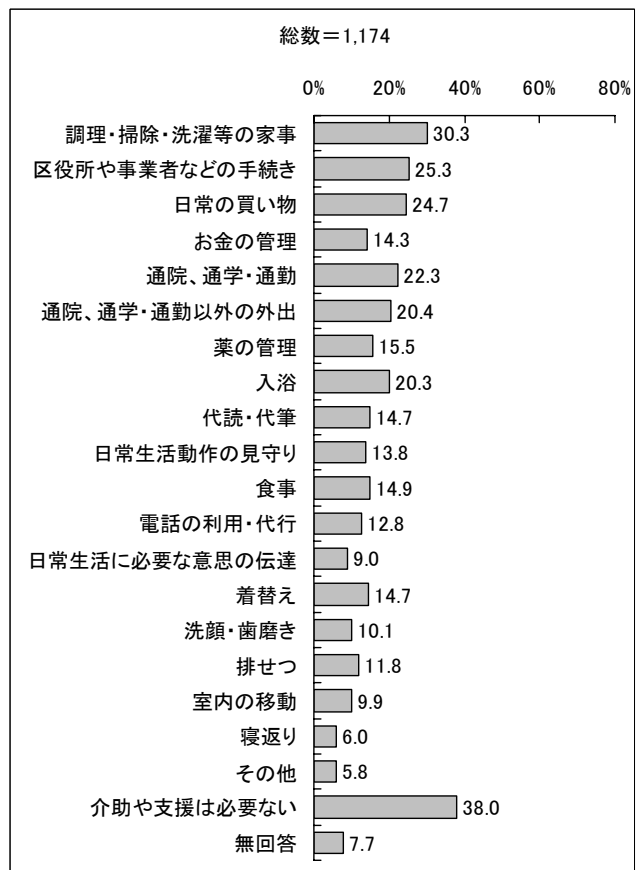
問15 あなたは、毎日の生活の中のどのような場面で、介助や支援が必要ですか。
 (〇はいくつでも)

全体では「調理・掃除・洗濯等の家事」が30.9%と最も多く、次いで「区役所や事業者などの手続き」が29.2%、「日常の買い物」が23.3%などとなっています。障害別に見ると、知的障害、高次脳機能障害では、ほとんどの項目で“介助や支援が必要”と回答した人の割合が高くなっており、特に知的障害では「区役所や事業者などの手続き」、「お金の管理」の割合が高くなっています。

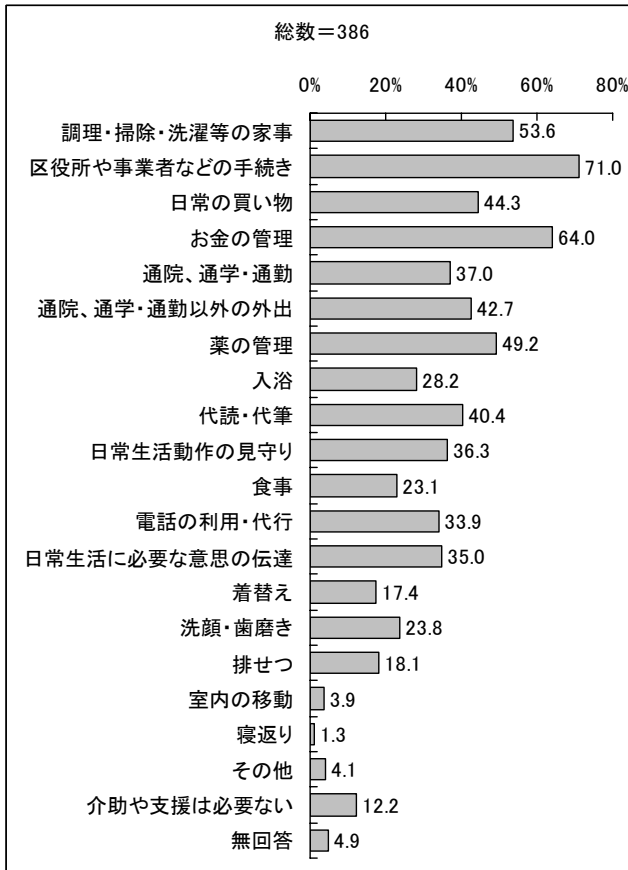
■全体



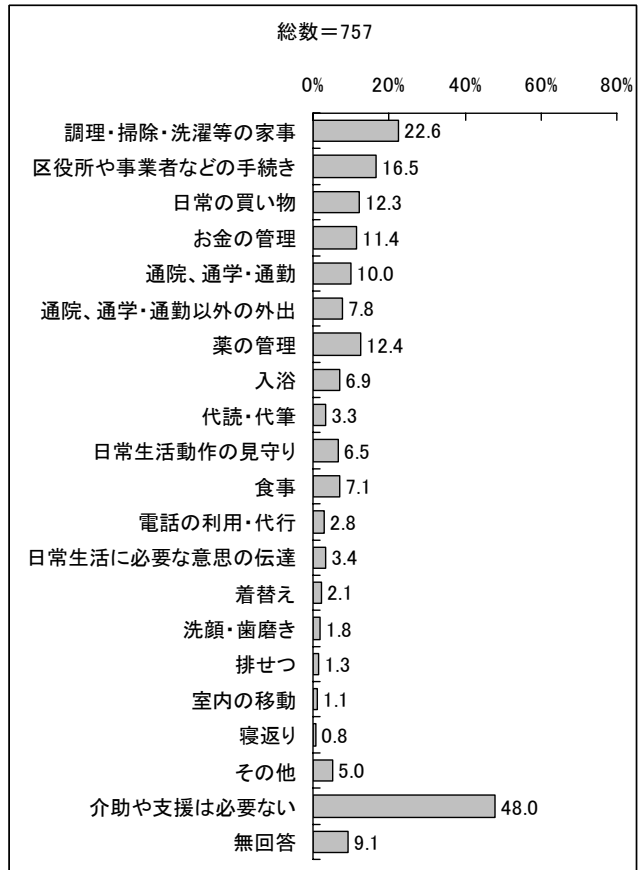
■身体障害



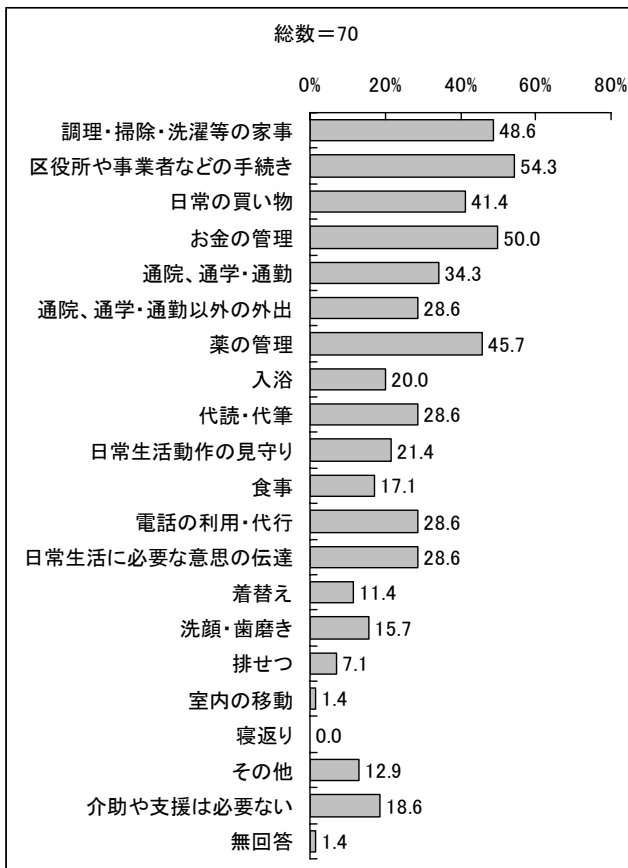
知的障害



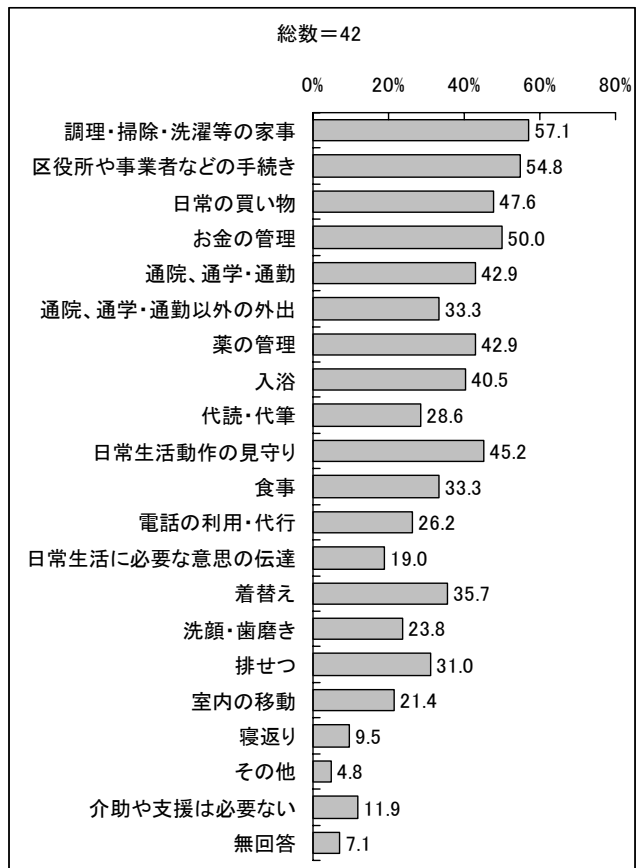
精神障害



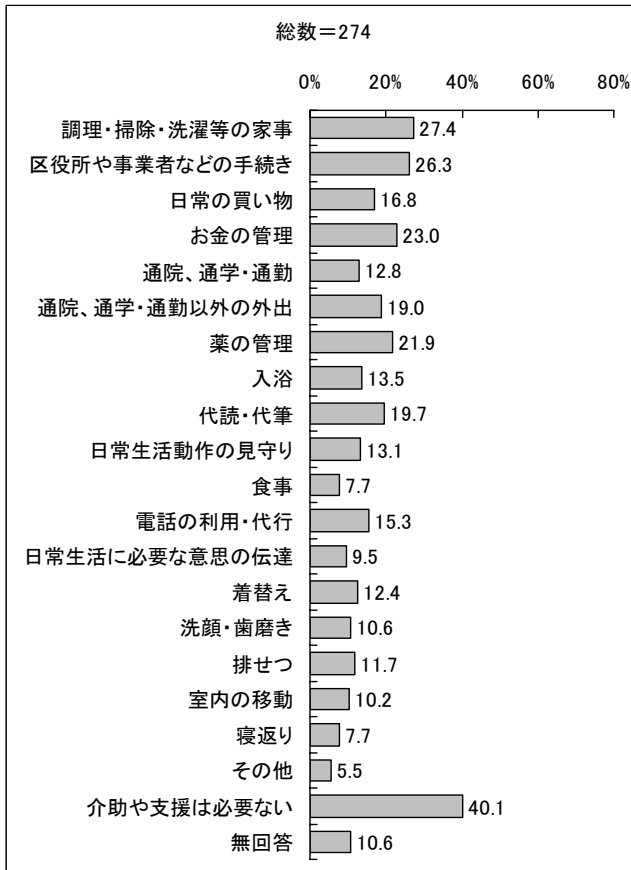
発達障害



高次脳機能障害



■難病・特定疾患

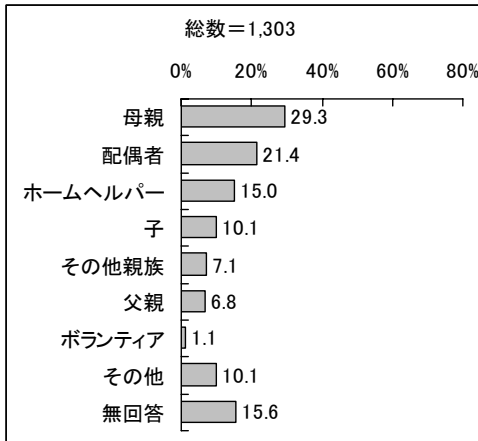


問16 毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きします。

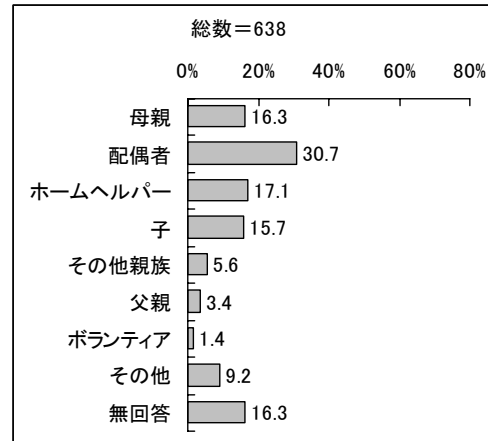
あなたを主に介助・支援している人はどなたですか。(〇はひとつ)

全体では「母親」が29.3%と最も多く、次いで配偶者が21.4%、「ホームヘルパー」が15.0%などとなっています。障害別に見ると、高次脳機能障害、身体障害では「配偶者」、発達障害、知的障害では「母親」が特に多くなっています。

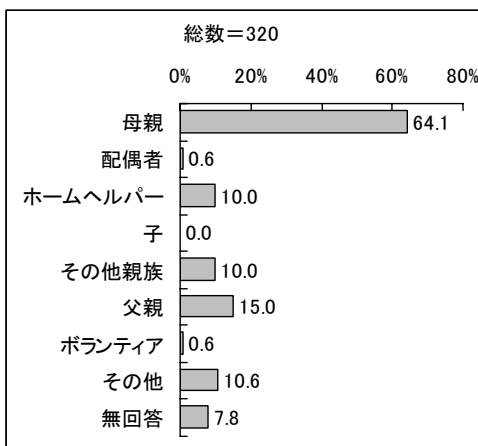
■全体



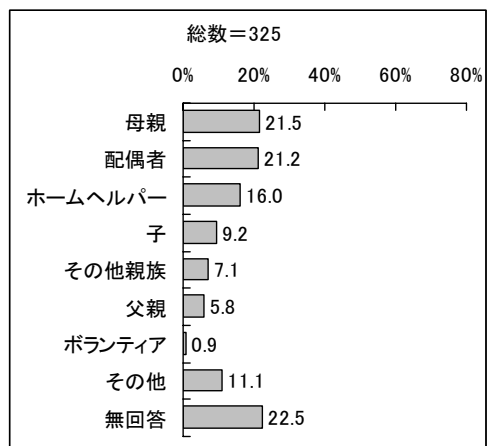
■身体障害



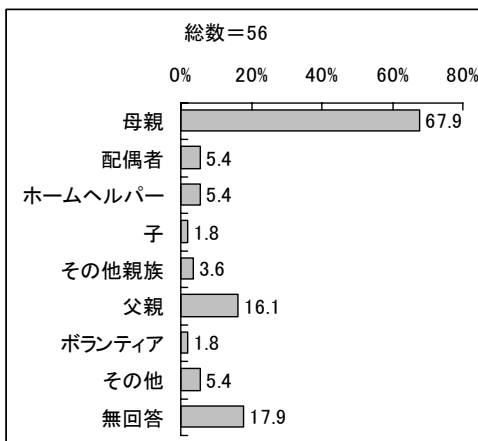
■知的障害



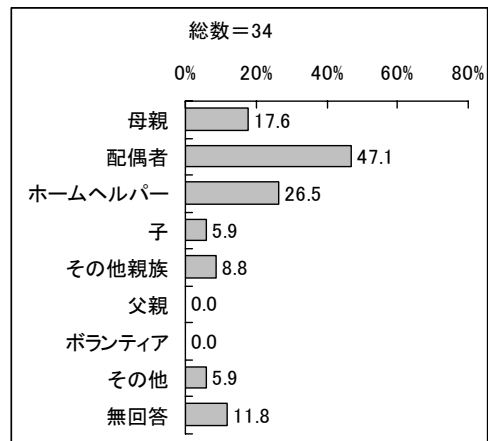
■精神障害



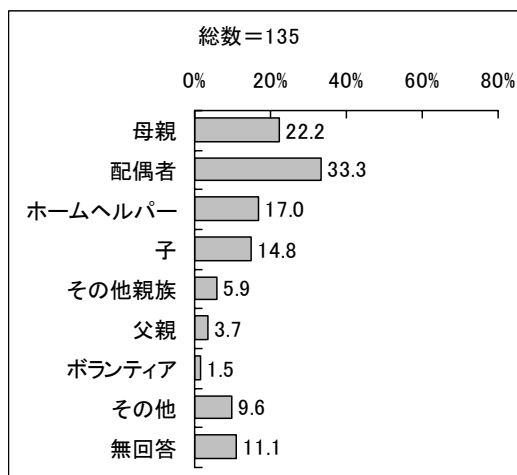
■発達障害



■高次脳機能障害



■難病・特定疾患



主に介助・支援している人と年齢

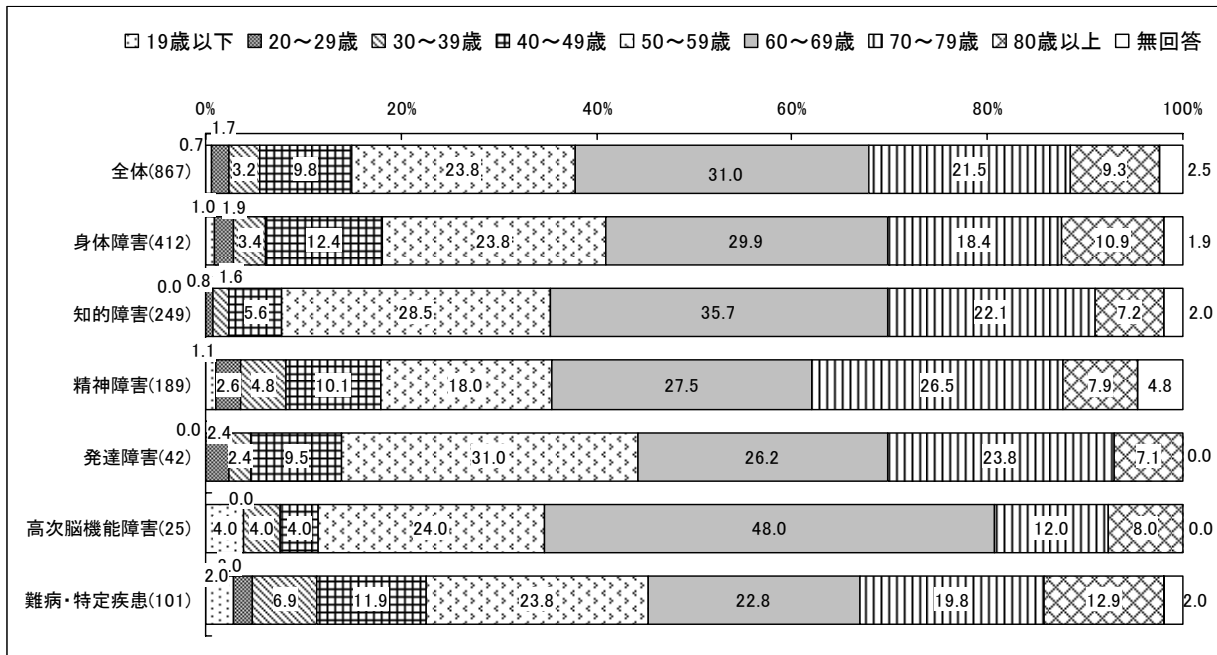
年代別の結果を見ると、「18～39歳」では「母親」、「40～64歳」では「母親」や「配偶者」、「65～74歳」では「配偶者」、「75歳以上」では「配偶者」や「子」が多くなっています。

上段：件 下段：%	合計	父親	母親	配偶者	子	その他親族	ホームヘルパー	ボランティア	その他	無回答
全体	1303 100.0	89 6.8	382 29.3	279 21.4	132 10.1	92 7.1	195 15.0	14 1.1	131 10.1	203 15.6
18～39歳	318 100.0	56 17.6	221 69.5	6 1.9	1 0.3	13 4.1	26 8.2	3 0.9	28 8.8	29 9.1
40～64歳	583 100.0	31 5.3	152 26.1	144 24.7	33 5.7	44 7.5	93 16.0	5 0.9	66 11.3	103 17.7
65～74歳	170 100.0	1 0.6	3 1.8	58 34.1	20 11.8	21 12.4	38 22.4	3 1.8	14 8.2	37 21.8
75歳以上	215 100.0	1 0.5	0 0.0	70 32.6	77 35.8	13 6.0	37 17.2	3 1.4	18 8.4	31 14.4

問17 問16で「1 父親」「2 母親」「3 配偶者」「4 子」「5 その他親族」のうちいずれかを回答された方にお聞きします。

あなたを主に介助・支援している人は何歳ですか。(〇はひとつ)

全体では「60～69歳」が31.0%と最も多く、次いで「50～59歳」が23.8%、「70～79歳」が21.5%などとなっており、「60～69歳」、「70～79歳」、「80歳以上」を合わせた『60歳代以上』の回答は61.8%となっています。障害別に見ても、すべての属性で『60歳代以上』の回答が半数を超えています。



主に介助・支援している人の年齢と（回答者の）年齢

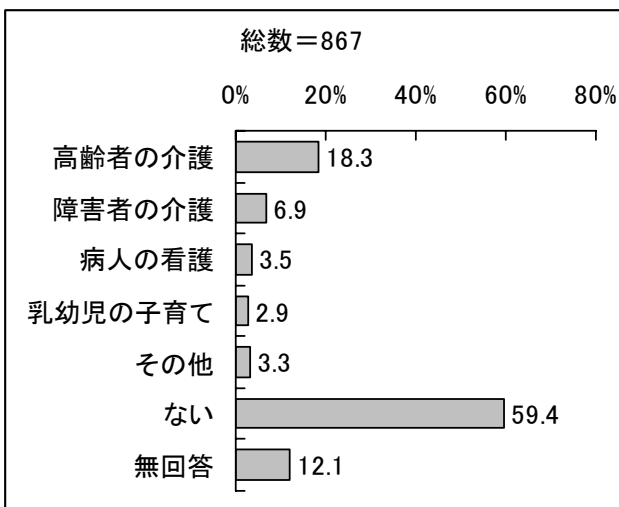
年代別の結果を見ると、回答者の年齢が上がるほど、主に介助・支援している人の年齢も高くなる傾向がうかがえます。

上段：件 下段：%	合計	1	2	3	4	5	6	7	8	無 回 答
		9 歳 以下	0 5 9 歳	0 5 9 歳	0 5 9 歳	0 5 9 歳	0 5 9 歳	0 5 9 歳	0 歳 以上	
全体	867 100.0	6 0.7	15 1.7	28 3.2	85 9.8	206 23.8	269 31.0	186 21.5	81 9.3	22 2.5
18～39歳	251 100.0	0 0.0	5 2.0	4 1.6	19 7.6	98 39.0	103 41.0	25 10.0	2 0.8	4 1.6
40～64歳	359 100.0	6 1.7	9 2.5	14 3.9	36 10.0	69 19.2	110 30.6	87 24.2	35 9.7	8 2.2
65～74歳	96 100.0	0 0.0	1 1.0	8 8.3	10 10.4	5 5.2	30 31.3	35 36.5	6 6.3	4 4.2
75歳以上	152 100.0	0 0.0	0 0.0	1 0.7	19 12.5	33 21.7	24 15.8	37 24.3	38 25.0	4 2.6

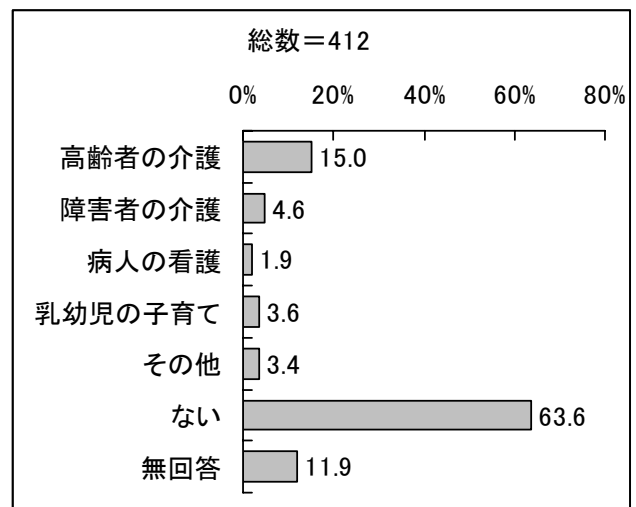
問18 あなたを主に介助・支援している人は、あなた以外の人を介助・支援することがありますか。あなた以外への介助・支援がある場合、それはどのようなものですか。(〇はいくつでも)

全体では「高齢者の介護」が18.3%で最も多く、次いで「障害者の介護」が6.9%、「病人の看護」が3.5%などとなっています。一方、「ない」は59.4%となっています。障害別に見ると、発達障害、高次脳機能障害、知的障害で「高齢者の介護」がやや多くなっています。

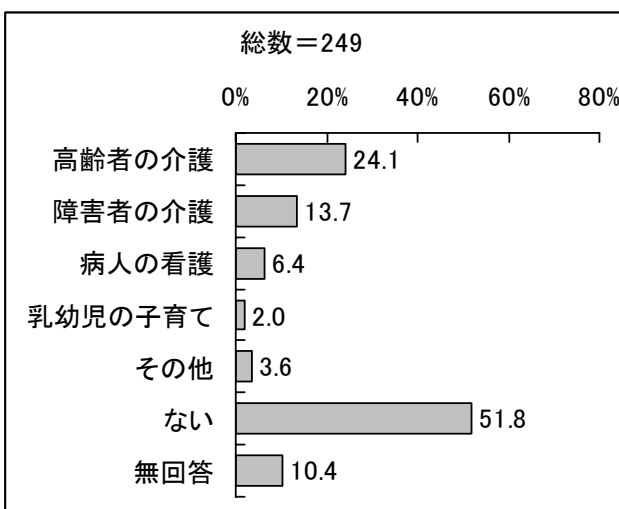
■全体



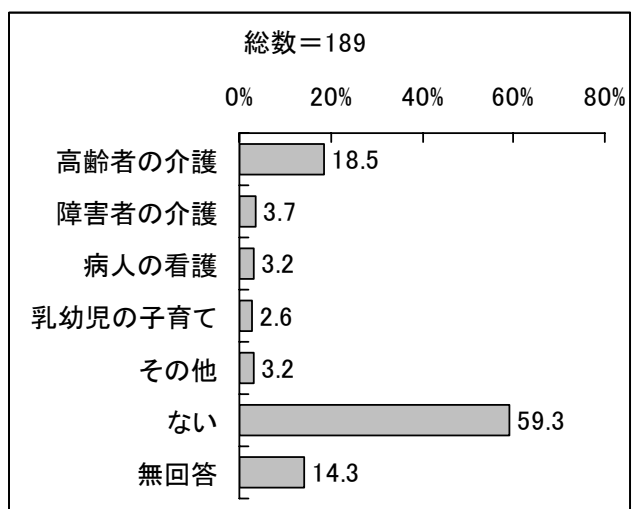
■身体障害



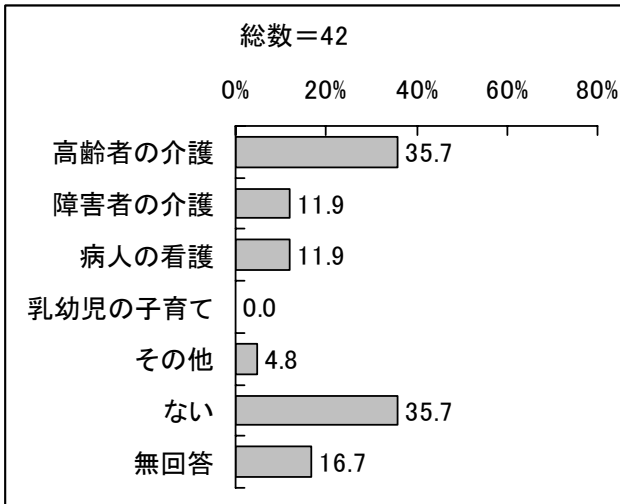
■知的障害



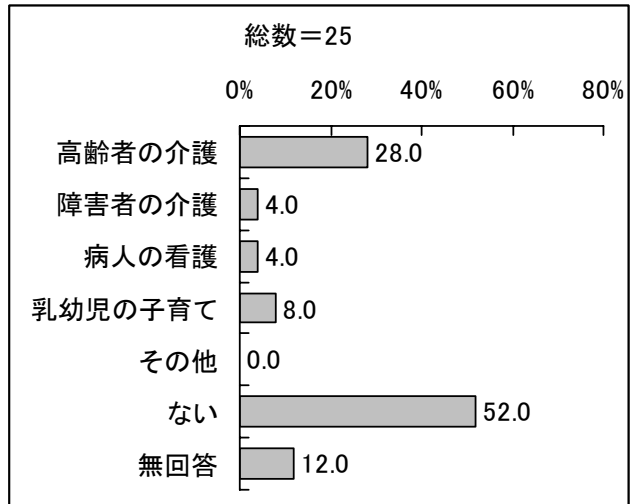
■精神障害



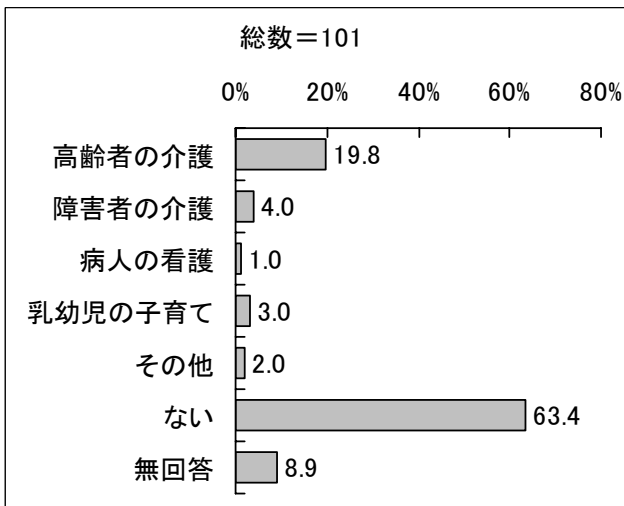
■発達障害



■高次脳機能障害



■難病・特定疾患



主な介助・支援者のご本人以外への介助・支援状況と年齢

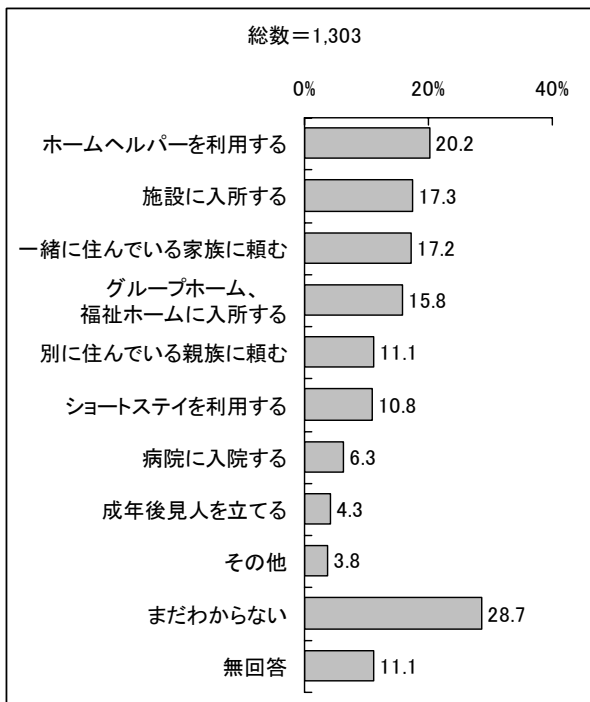
上段: 件 下段: %	合計	高齢者の介護	乳幼児の子育て	病人の看護	障害者の介護	その他	ない	無回答
全体	867 100.0	159 18.3	25 2.9	30 3.5	60 6.9	29 3.3	515 59.4	105 12.1
18~39歳	251 100.0	65 25.9	9 3.6	12 4.8	26 10.4	7 2.8	136 54.2	18 7.2
40~64歳	359 100.0	62 17.3	10 2.8	12 3.3	23 6.4	13 3.6	219 61.0	40 11.1
65~74歳	96 100.0	13 13.5	2 2.1	5 5.2	7 7.3	2 2.1	61 63.5	14 14.6
75歳以上	152 100.0	17 11.2	4 2.6	1 0.7	4 2.6	5 3.3	94 61.8	32 21.1

問19 主な介助者があなたを介助・支援できなくなった場合はどうしますか。

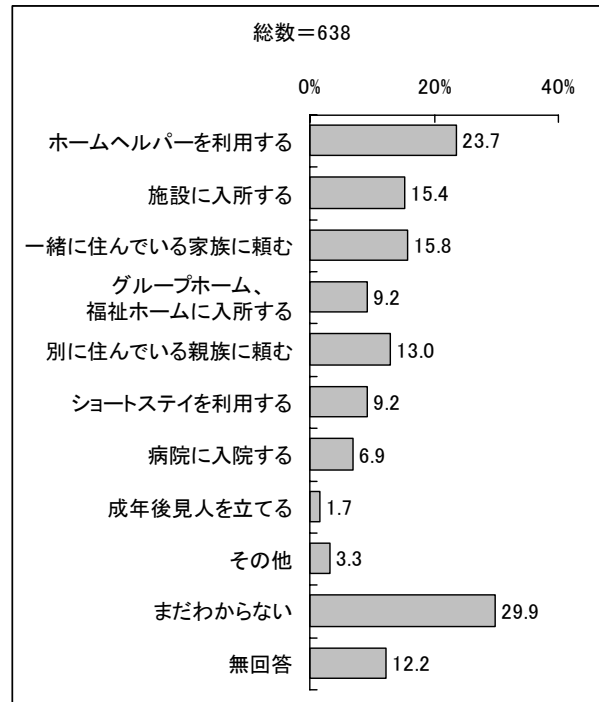
(〇はいくつでも)

全体では「ホームヘルパーを利用する」が20.2%と最も多く、次いで「施設に入所する」が17.3%、「一緒に住んでいる家族に頼む」が17.2%などとなっています。障害別に見ると、知的障害では「グループホーム、福祉ホームに入所する」、精神障害、難病・特定疾患では「まだわからない」が特に多くなっています。

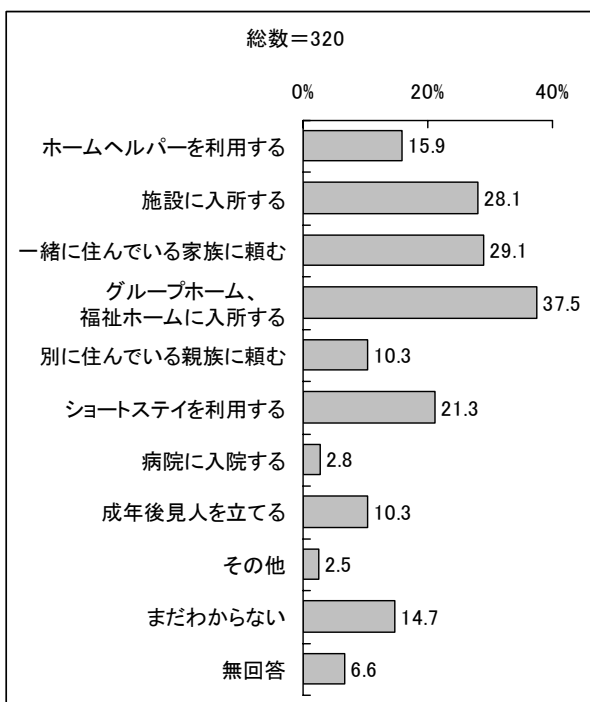
■全体



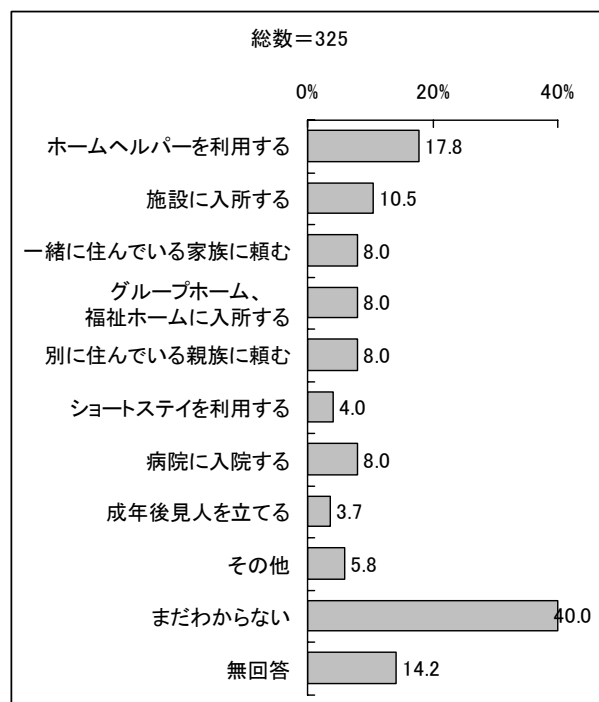
■身体障害



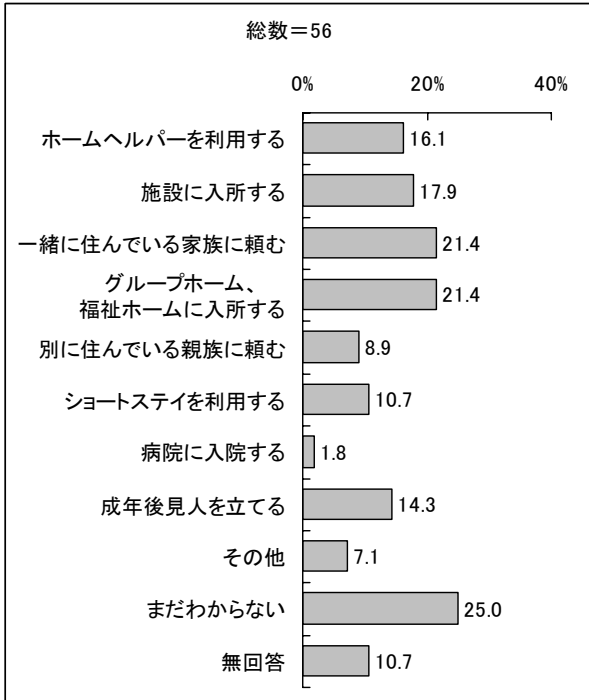
■知的障害



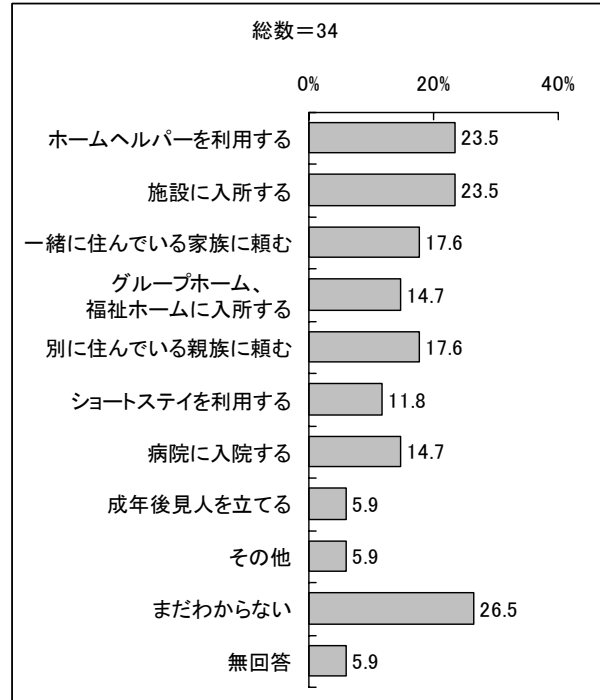
■精神障害



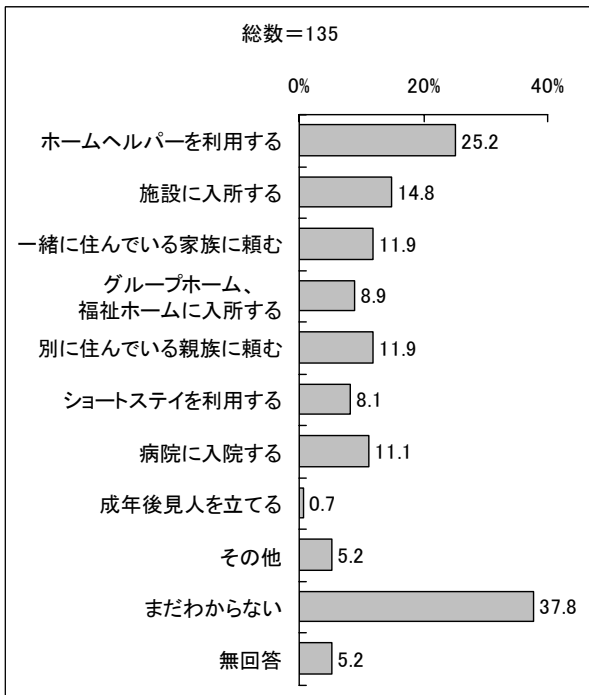
■発達障害



■高次脳機能障害



■難病・特定疾患



主な介助者があなたを介助・支援できなくなった場合と年齢

年代別の結果を見ると、「18～39 歳」では「一緒に住んでいる家族に頼む」や「グループホーム、福祉ホームに入所する」、「40～64 歳」では「まだわからない」、「65～74 歳」と「75 歳以上」では「ホームヘルパーを利用する」がやや多くなっています。

上段：件 下段：%	合計	一緒に住んでいる家族に頼む	別に住んでいる親族に頼む	ホームヘルパーを利用する	ショートステイを利用する	施設に入所する	グループホーム、福祉ホームに入所する	病院に入院する	成年後見人を立てる	その他	まだわからない	無回答
全体	1303 100.0	224 17.2	145 11.1	263 20.2	141 10.8	226 17.3	206 15.8	82 6.3	56 4.3	49 3.8	374 28.7	145 11.1
18～39歳	318 100.0	102 32.1	41 12.9	66 20.8	75 23.6	64 20.1	100 31.4	8 2.5	27 8.5	14 4.4	72 22.6	21 6.6
40～64歳	583 100.0	75 12.9	57 9.8	100 17.2	33 5.7	79 13.6	65 11.1	38 6.5	24 4.1	25 4.3	200 34.3	71 12.2
65～74歳	170 100.0	17 10.0	10 5.9	40 23.5	9 5.3	30 17.6	17 10.0	10 5.9	3 1.8	4 2.4	46 27.1	27 15.9
75歳以上	215 100.0	28 13.0	36 16.7	55 25.6	22 10.2	50 23.3	22 10.2	25 11.6	2 0.9	3 1.4	51 23.7	23 10.7

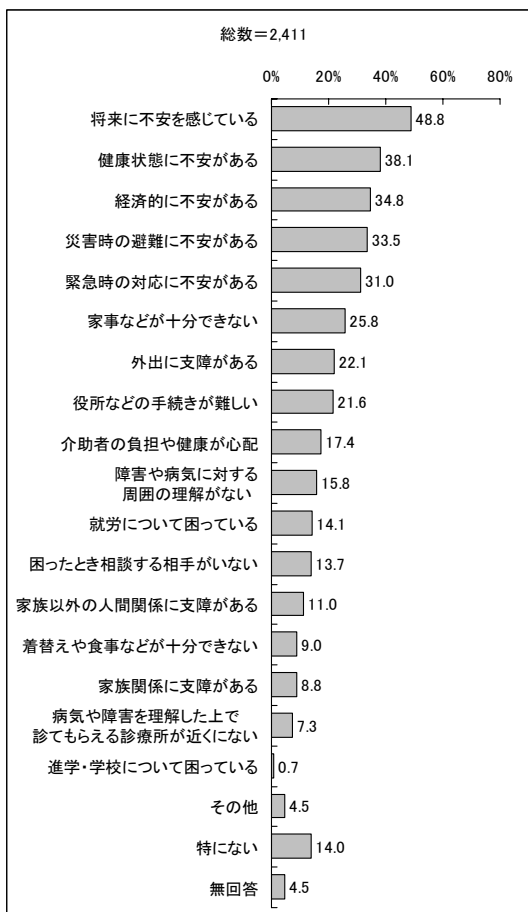
3 相談や福祉の情報について

問20 あなたには、日常生活で困っていることがありますか。

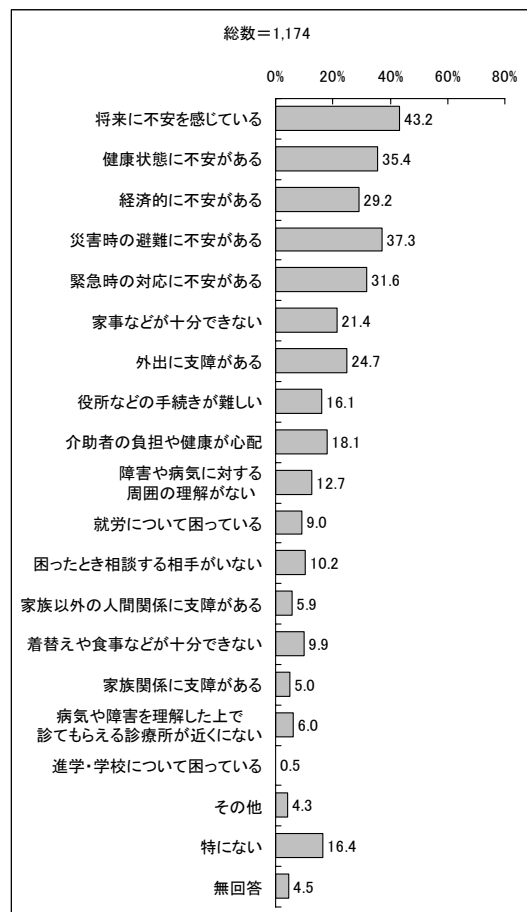
(○はいくつでも)

全体では「将来に不安を感じている」が48.8%と最も多く、次いで「健康状態に不安がある」が38.1%、「経済的に不安がある」が34.8%などとなっています。障害別に見ると、身体障害では「災害時の避難に不安がある」、知的障害では「役所などの手続きが難しい」、発達障害、精神障害では「将来に不安を感じている」、高次脳機能障害では「緊急時の対応に不安がある」、難病・特定疾患では「健康状態に不安がある」などが比較的多くなっています。

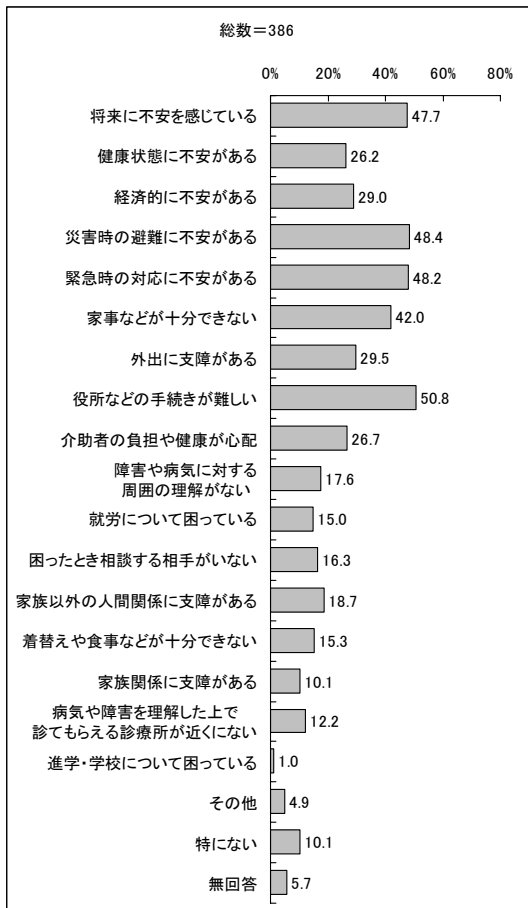
■全体



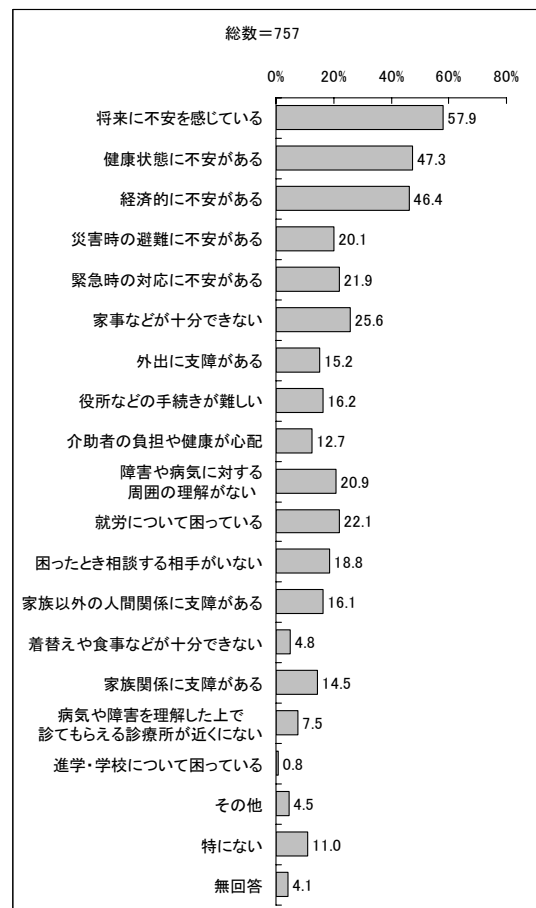
■身体障害



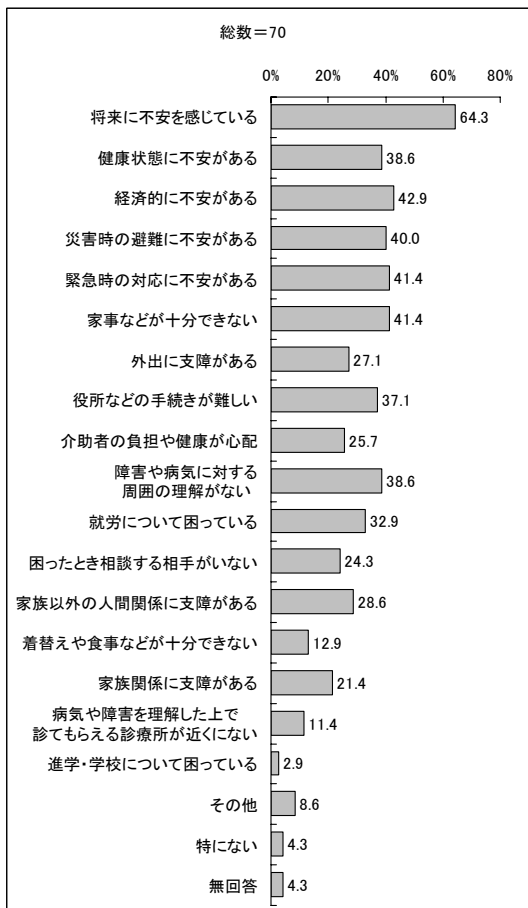
知的障害



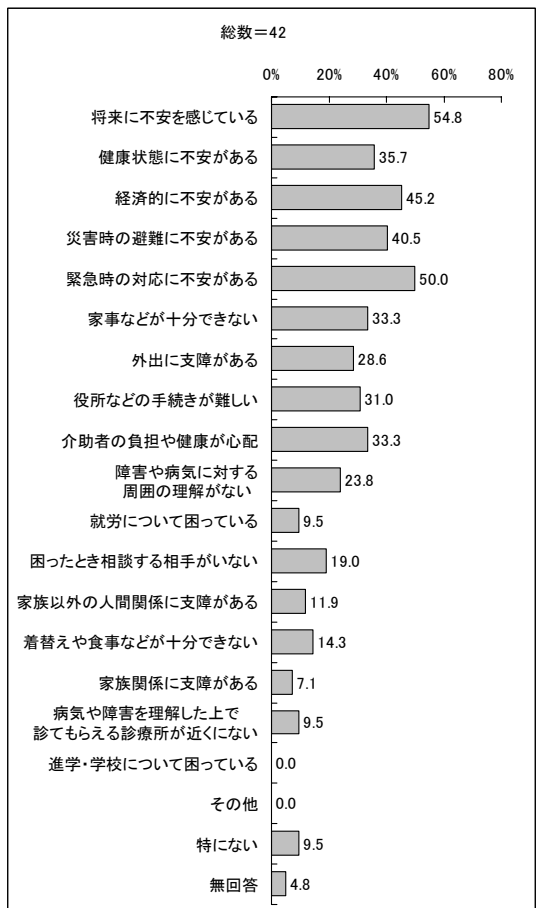
精神障害



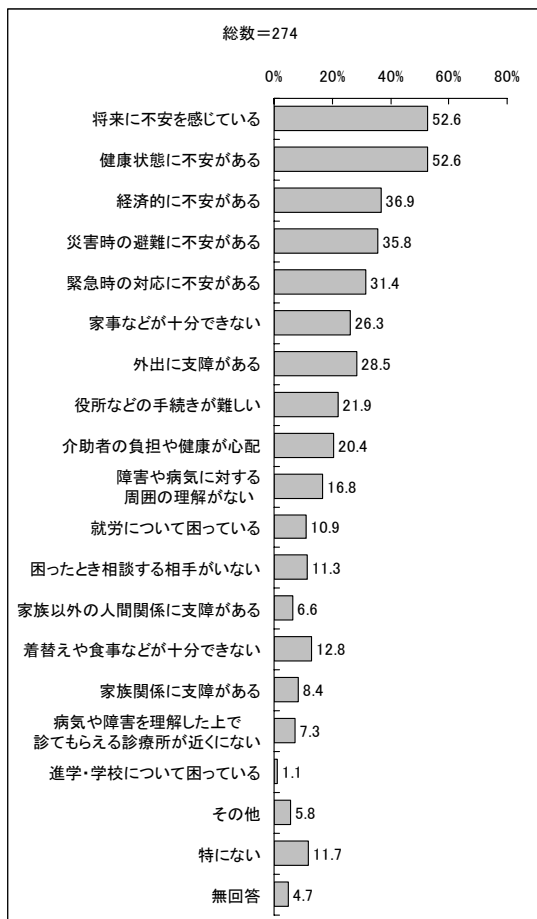
発達障害



高次脳機能障害



■難病・特定疾患



主な介助・支援者のご本人以外への介助・支援状況と日常で困っていること

主な介助・支援者のご本人以外への介助・支援をしている状況ごとに「日常生活で困っていること」を分類しました。「災害時の避難に不安がある」、「緊急時の対応に不安がある」、「家事などが十分にできない」が多くなっています。

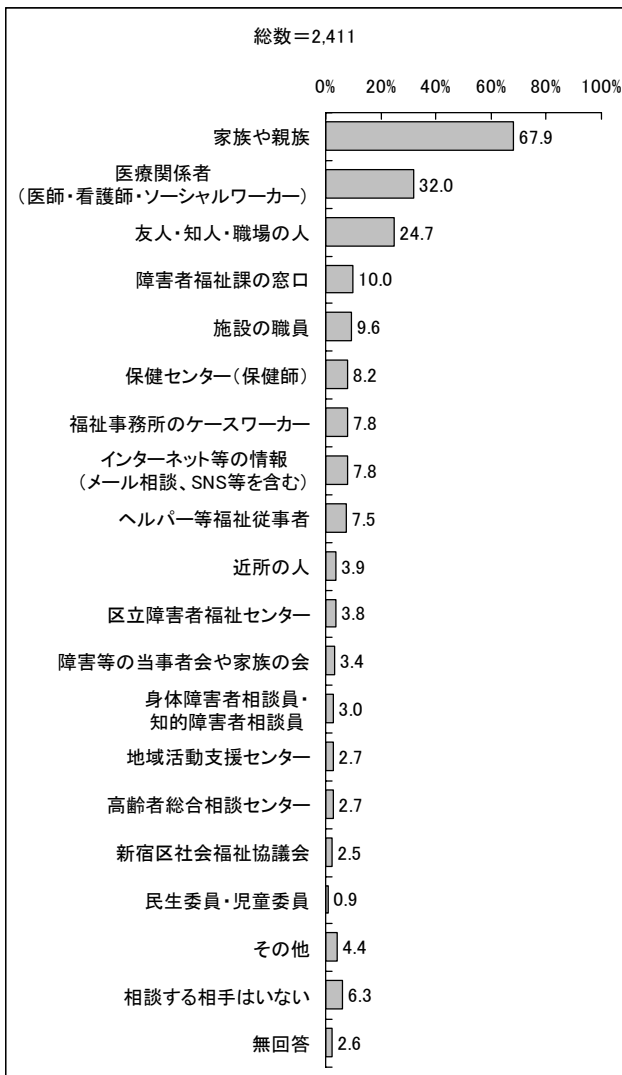
上段:件 下段:%	合計	が健康状態に不安	いど着替えや食事が十分にできない	家事などが十分にできない	健康介助者の負担や心配	外出に支障がある	進んで困っている学校について	就労について困っている	緊急時の対応に不安がある	災害時の避難に不安がある	家族関係に支障がある
全体	220 100.0	100 45.5	45 20.5	117 53.2	112 50.9	96 43.6	5 2.3	44 20.0	139 63.2	140 63.6	31 14.1
高齢者の介護	159 100.0	76 47.8	30 18.9	83 52.2	83 52.2	72 45.3	3 1.9	36 22.6	102 64.2	103 64.8	22 13.8
乳幼児の子育て	25 100.0	8 32.0	6 24.0	11 44.0	12 48.0	9 36.0	1 4.0	2 8.0	19 76.0	16 64.0	0 0.0
病人の看護	30 100.0	16 53.3	9 30.0	21 70.0	19 63.3	16 53.3	1 3.3	11 36.7	24 80.0	22 73.3	9 30.0
障害者の介護	60 100.0	29 48.3	15 25.0	39 65.0	36 60.0	34 56.7	1 1.7	12 20.0	37 61.7	39 65.0	10 16.7

上段:件 下段:%	合計	に家族以外の人関係	周囲の理解が対する	相手がいたとき相談する	難しい所などの手続きが	診療所で近づくに理解し	病気の理解を	経済的に不安がある	将来に不安を感じて	その他	特にな	無回答
全体	220 100.0	37 16.8	63 28.6	44 20.0	102 46.4	26 11.8	97 44.1	134 60.9	12 5.5	6 2.7	0 0.0	
高齢者の介護	159 100.0	29 18.2	48 30.2	32 20.1	75 47.2	17 10.7	73 45.9	103 64.8	11 6.9	3 1.9	0 0.0	
乳幼児の子育て	25 100.0	2 8.0	4 16.0	2 8.0	10 40.0	2 8.0	12 48.0	14 56.0	0 0.0	2 8.0	0 0.0	
病人の看護	30 100.0	11 36.7	15 50.0	10 33.3	19 63.3	7 23.3	20 66.7	22 73.3	3 10.0	0 0.0	0 0.0	
障害者の介護	60 100.0	11 18.3	19 31.7	15 25.0	31 51.7	8 13.3	23 38.3	37 61.7	4 6.7	1 1.7	0 0.0	

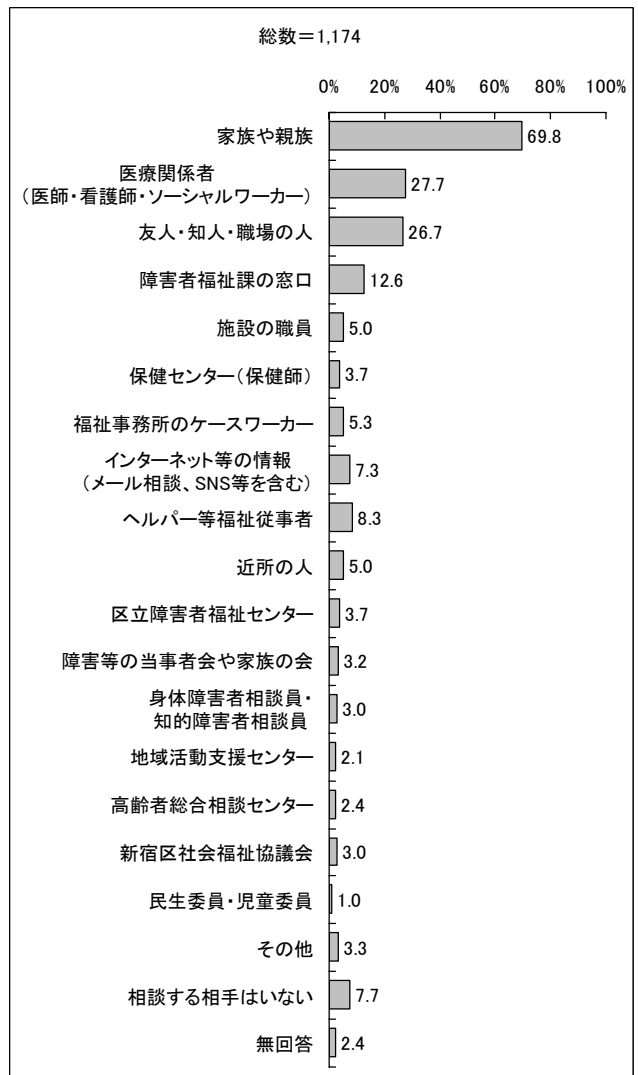
問21 あなたが困ったときに相談する相手は誰ですか。(〇はいくつでも)

全体では「家族や親族」が 67.9%と最も多く、「医療関係者（医師・看護師・ソーシャルワーカー）」が 32.0%、「知人・友人・職場の人」が 24.7%などとなっています。障害別に見ると、知的障害では「施設の職員」、難病・特定疾患、精神障害では「医療関係者（医師・看護師・ソーシャルワーカー）」、高次脳機能障害では「友人・知人・職場の人」が比較的多くなっています。

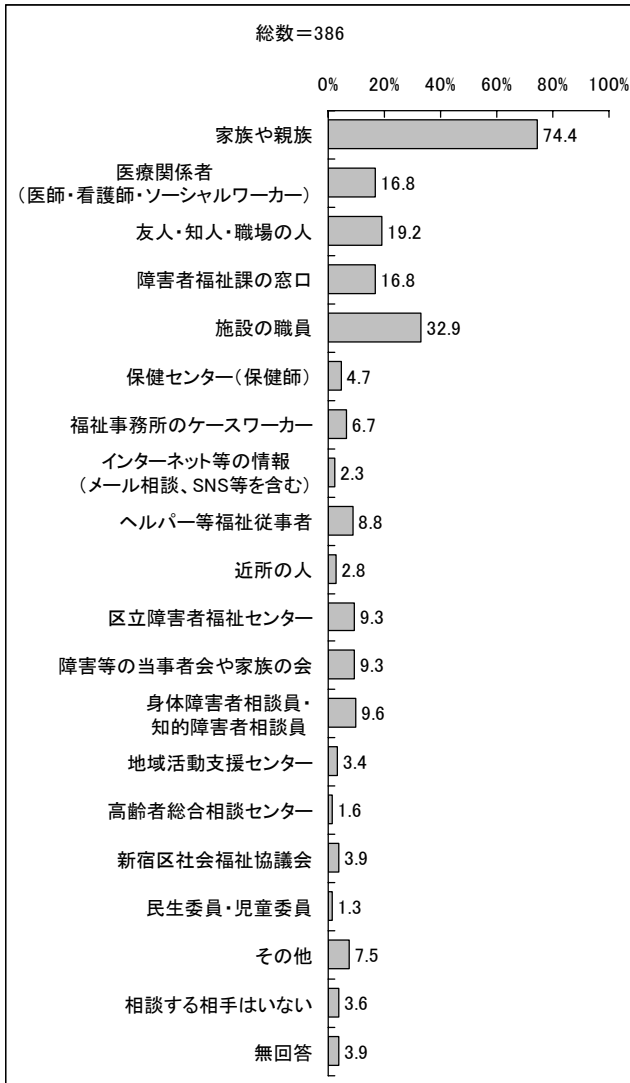
■全体



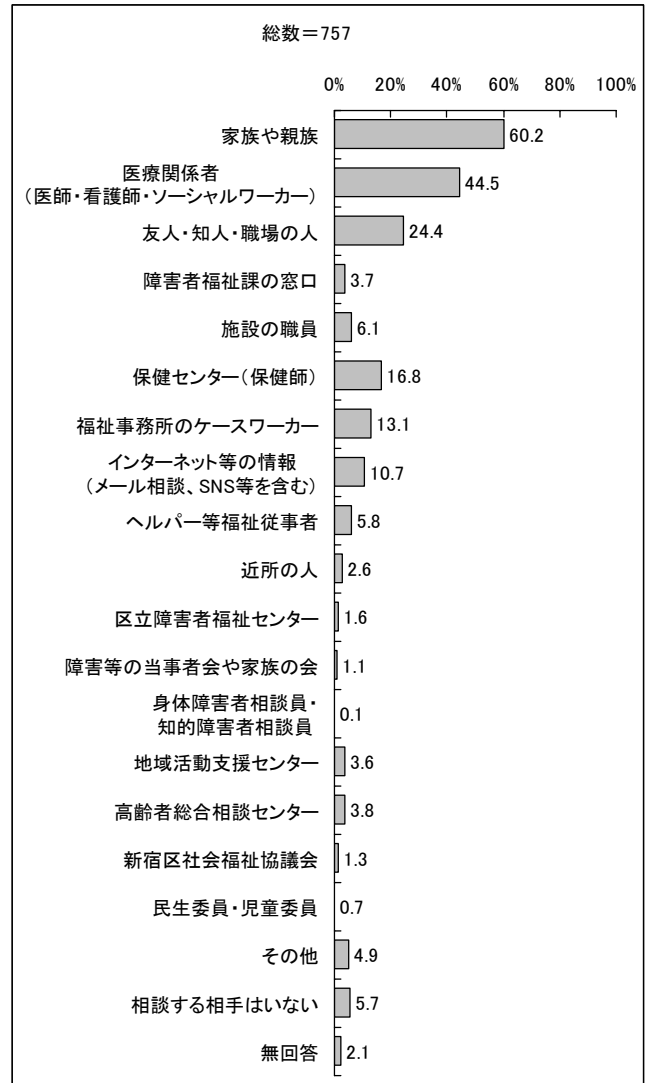
■身体障害



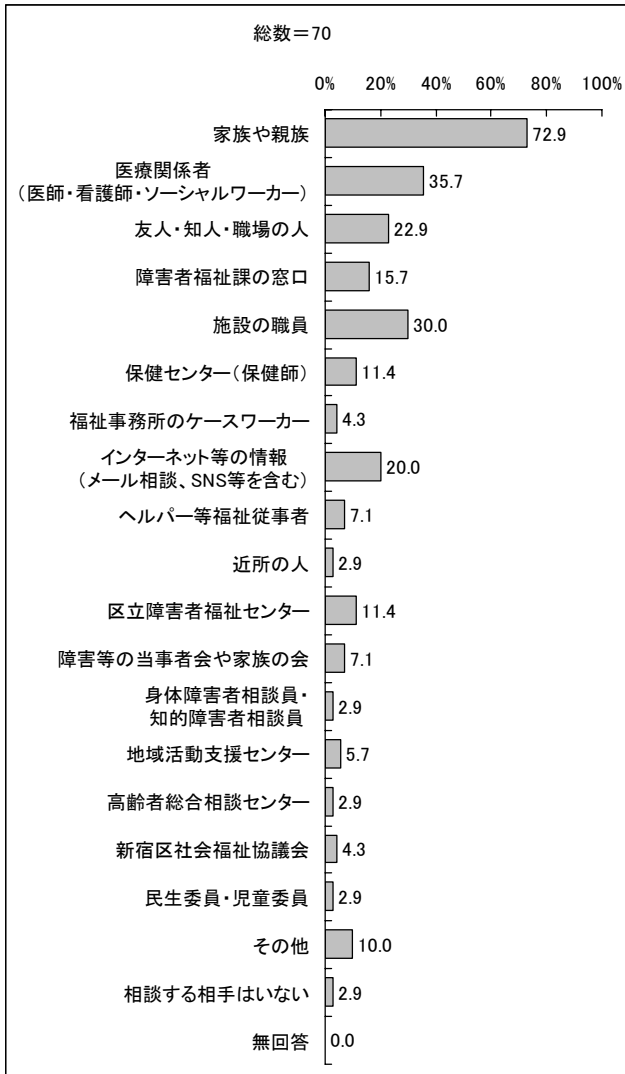
知的障害



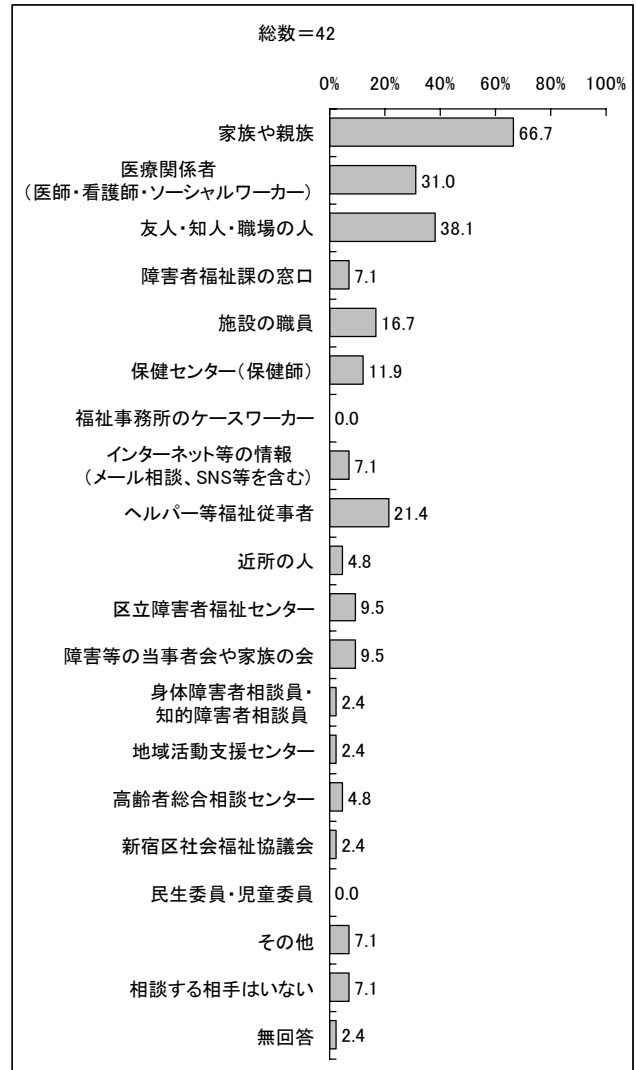
精神障害



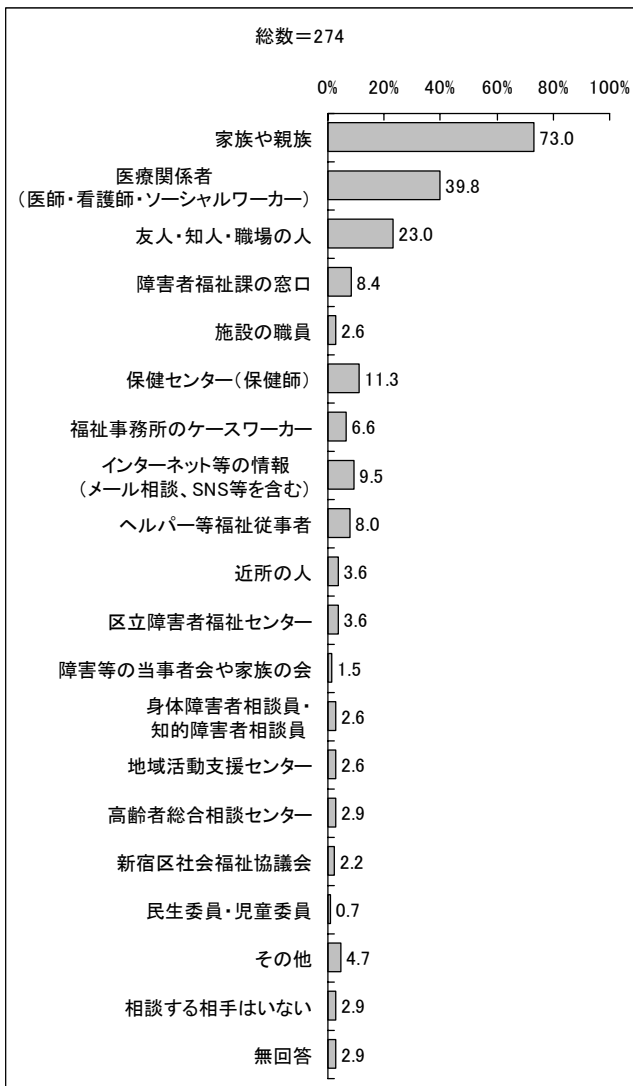
■発達障害



■高次脳機能障害



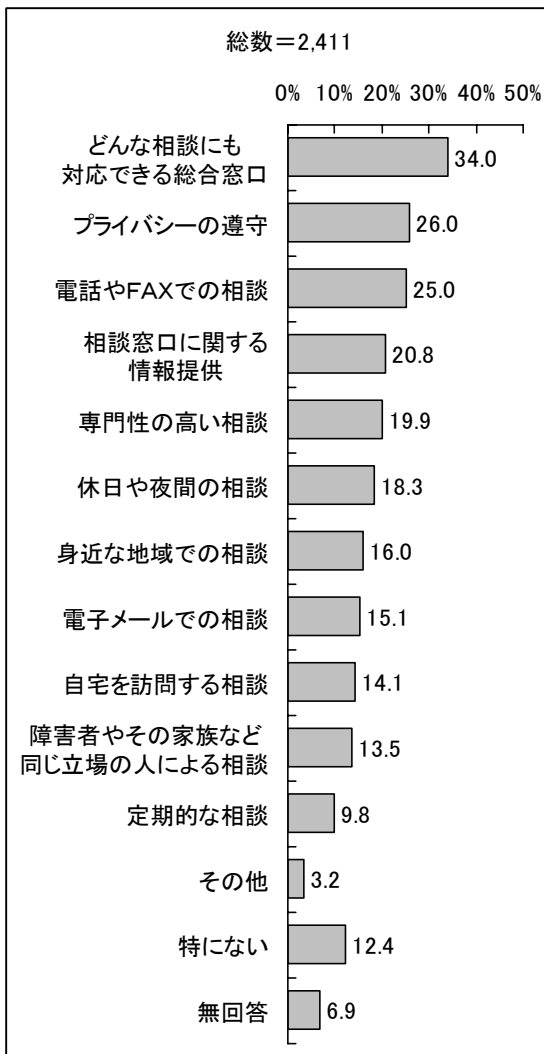
■難病・特定疾患



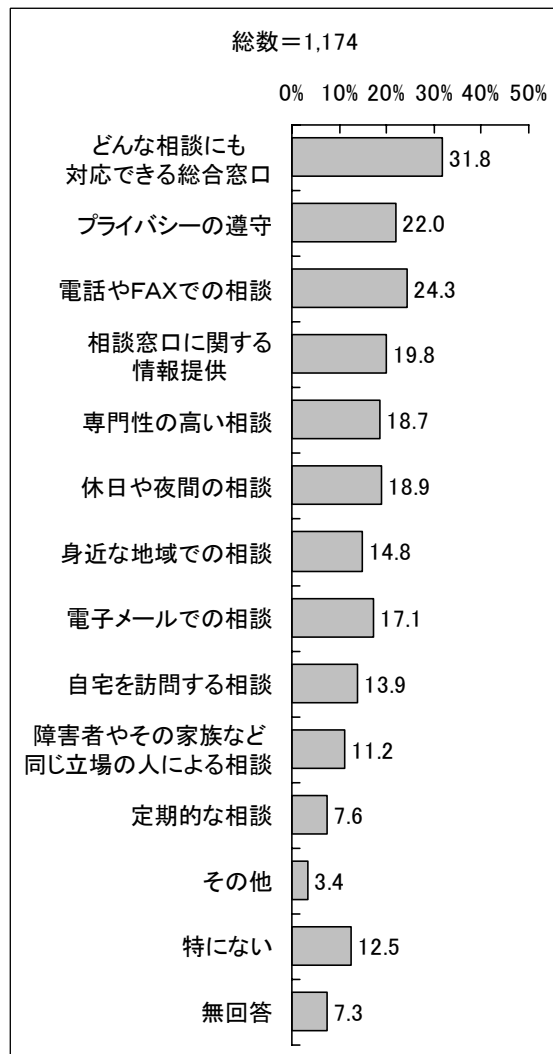
問22 あなたは、区役所などに気軽に相談するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では「どんな相談にも対応できる相談窓口」が34.0%と最も多く、次いで「プライバシーの順守」が26.0%、「電話やFAXでの相談」が25.0%などとなっています。障害別に見ると、知的障害、発達障害では「どんな相談にも対応できる相談窓口」と「障害者やその家族など同じ立場の人による相談」、精神障害では「プライバシーの順守」などが比較的多くなっています。

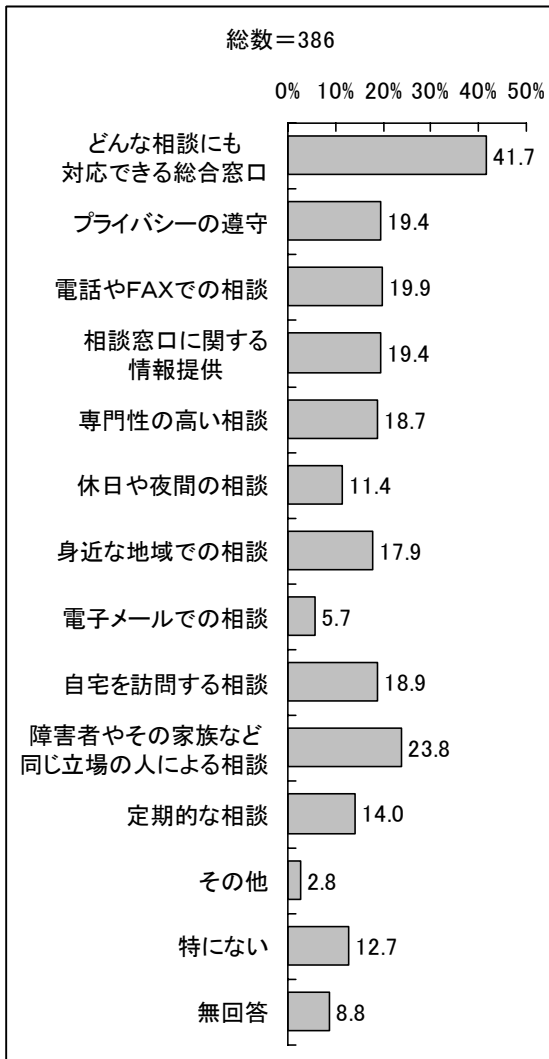
■全体



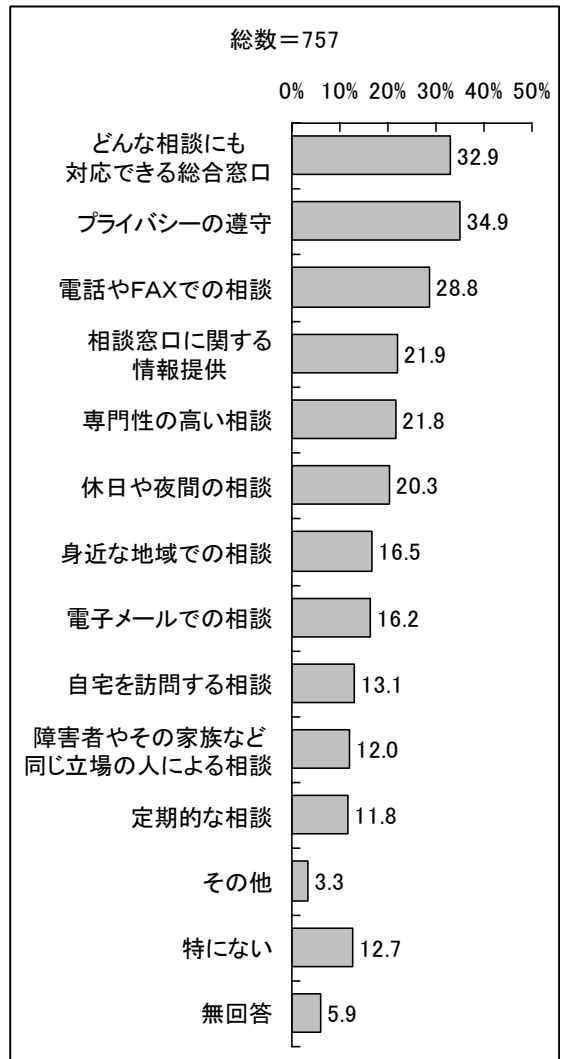
■身体障害



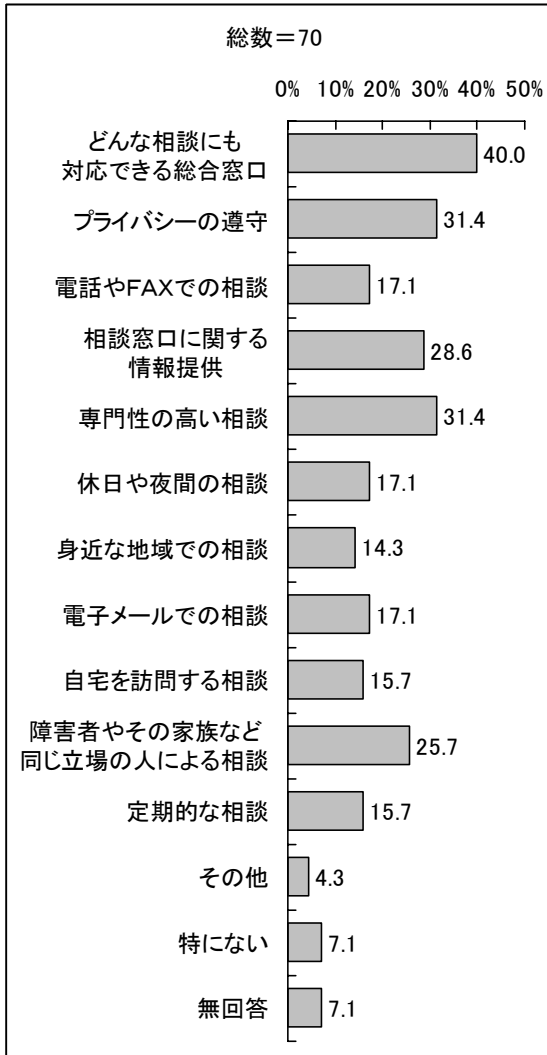
知的障害



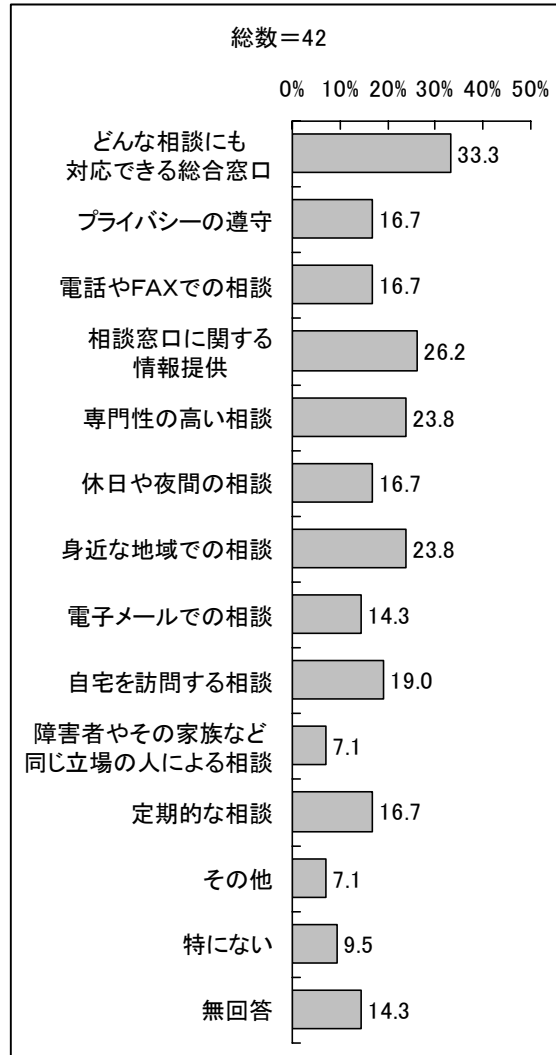
精神障害



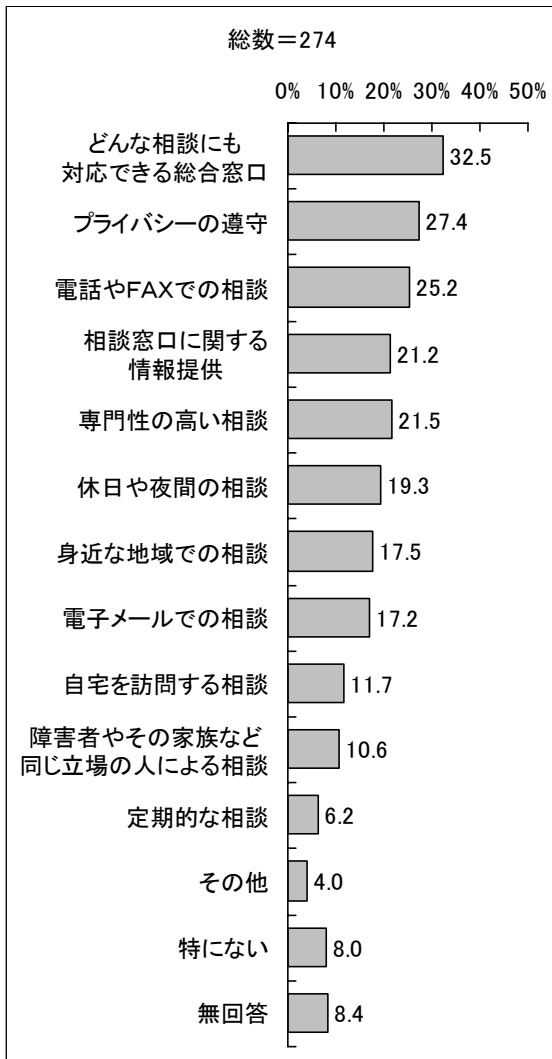
■発達障害



■高次脳機能障害



■難病・特定疾患

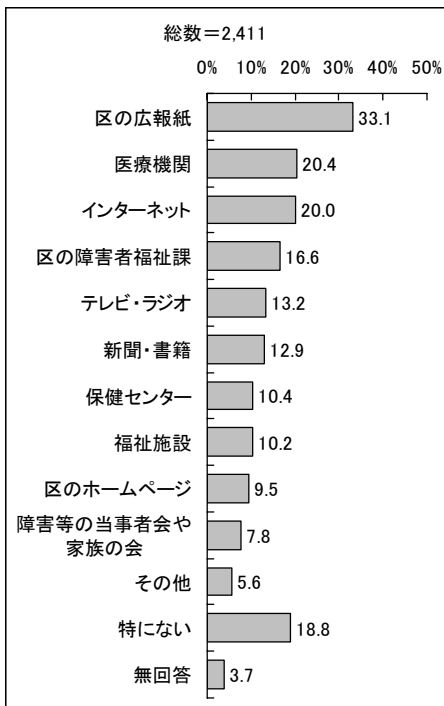


問23 あなたは、福祉に関する情報を、主にどこから得ていますか。

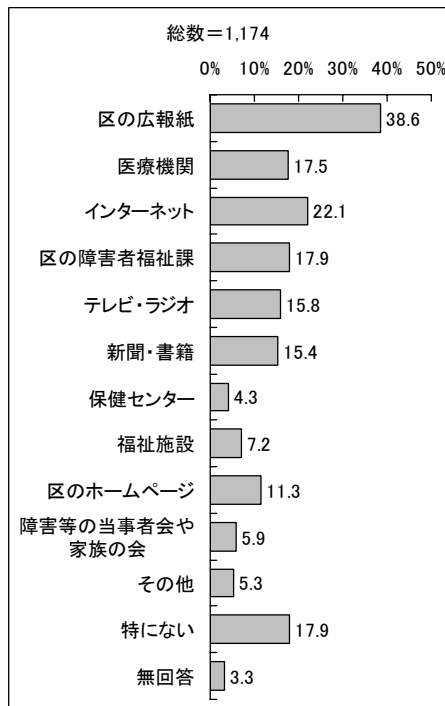
(○はいくつでも)

全体では「区の広報紙」が33.1%、次いで「医療機関」が20.4%、「インターネット」が20.0%などとなっています。障害別に見ると、知的障害では「区の障害福祉課」、精神障害、難病・特定疾患では「医療機関」、発達障害では「インターネット」や「障害等の当事者や家族の会」などが比較的多くなっています。

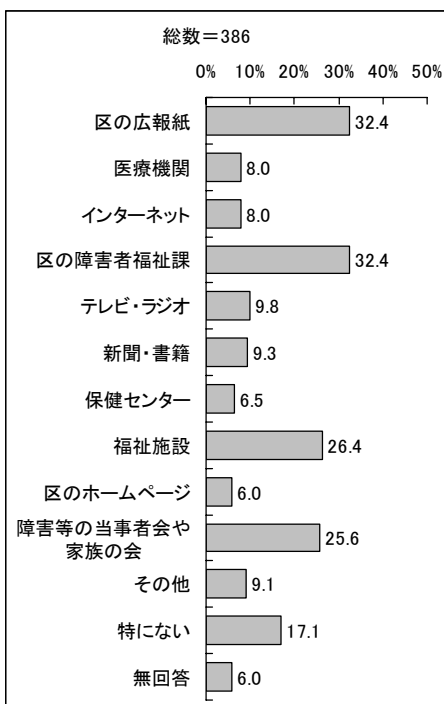
■全体



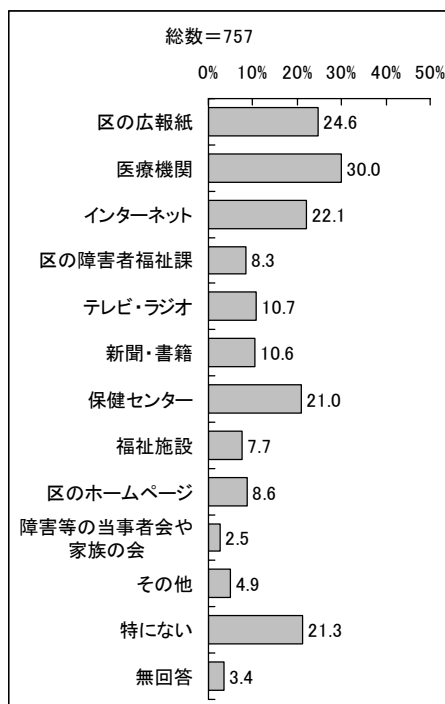
■身体障害



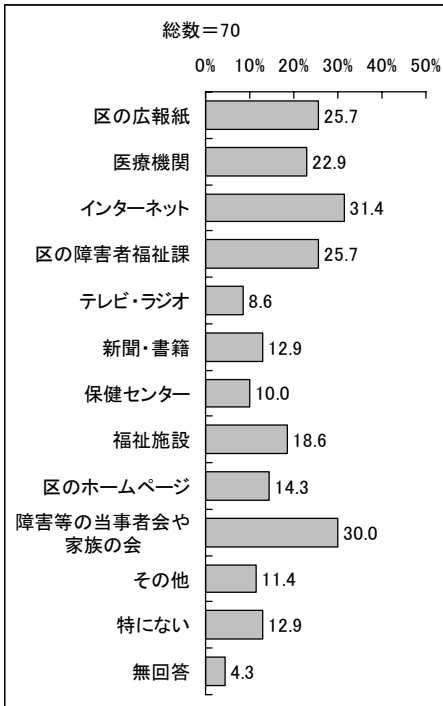
■知的障害



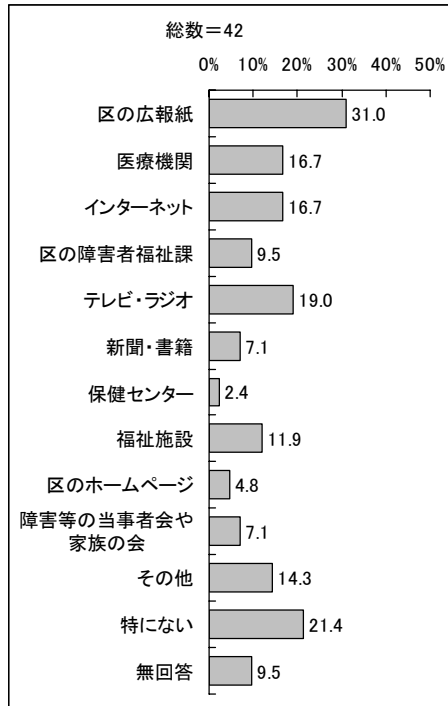
■精神障害



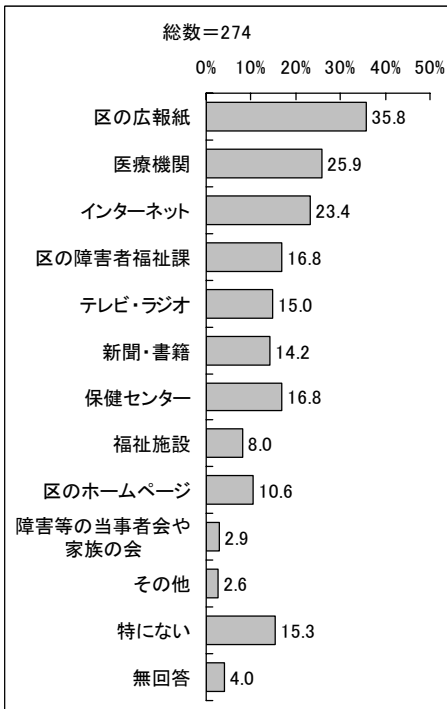
■発達障害



■高次脳機能障害



■難病・特定疾患

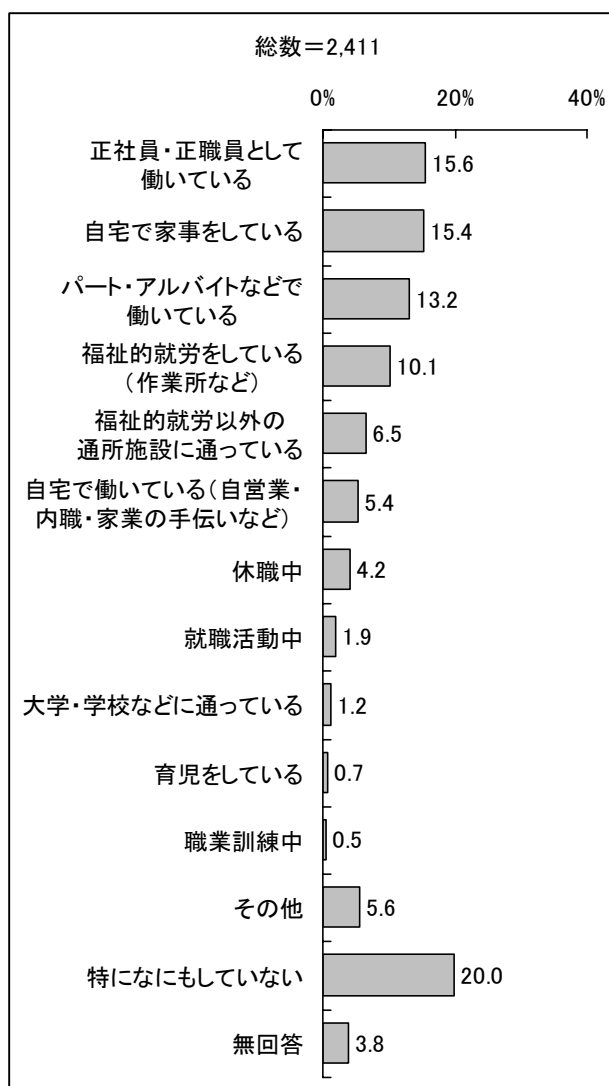


4 日中活動や仕事について

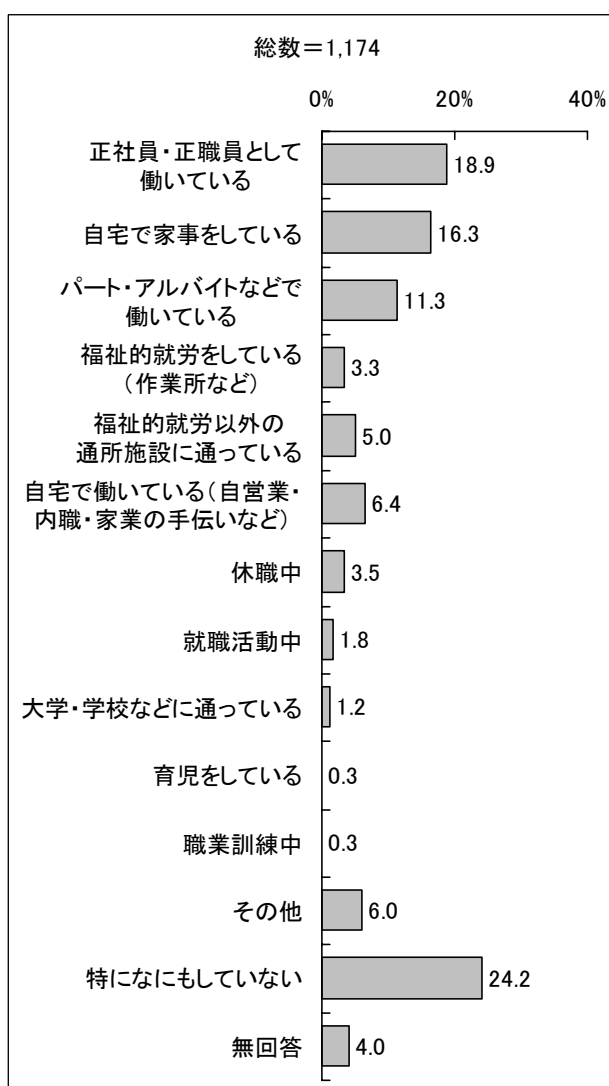
問24 あなたは、平日の日中、主にどのように過ごしていますか。(〇はひとつ)

全体では「正社員・正職員として働いている」が15.6%で最も多く、次いで「自宅で家事をしている」が15.4%、「パート・アルバイトなどで働いている」が13.2%などとなっています。障害別に見ると、身体障害で「正社員・正職員として働いている」、知的障害、発達障害では「福祉的就労をしている（作業所など）」、精神障害では「自宅で家事をしている」、高次脳機能障害では「特になにもしていない」が多くなっています。

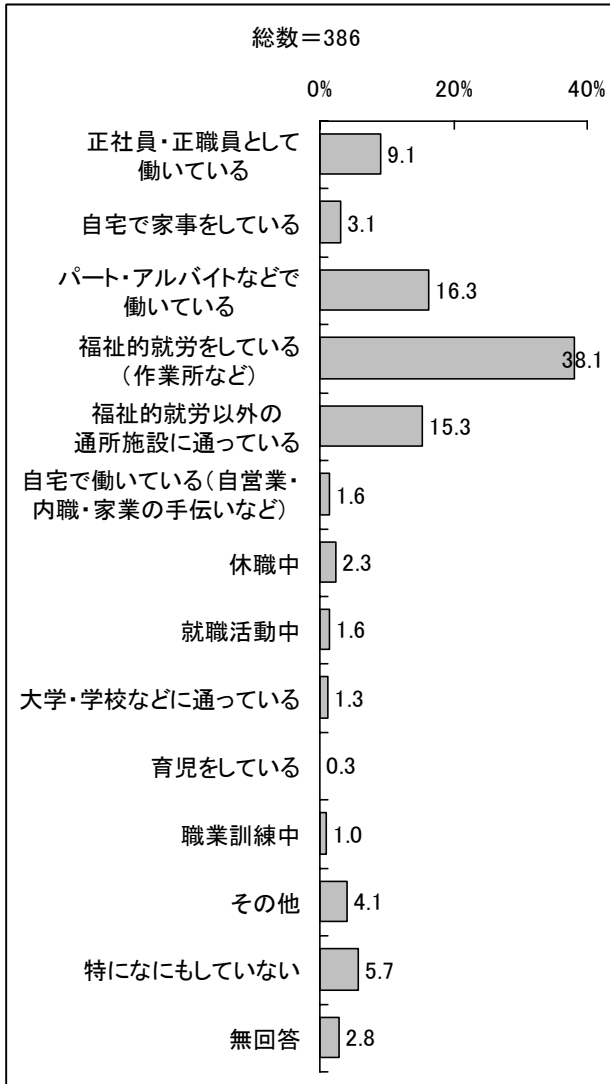
■全体



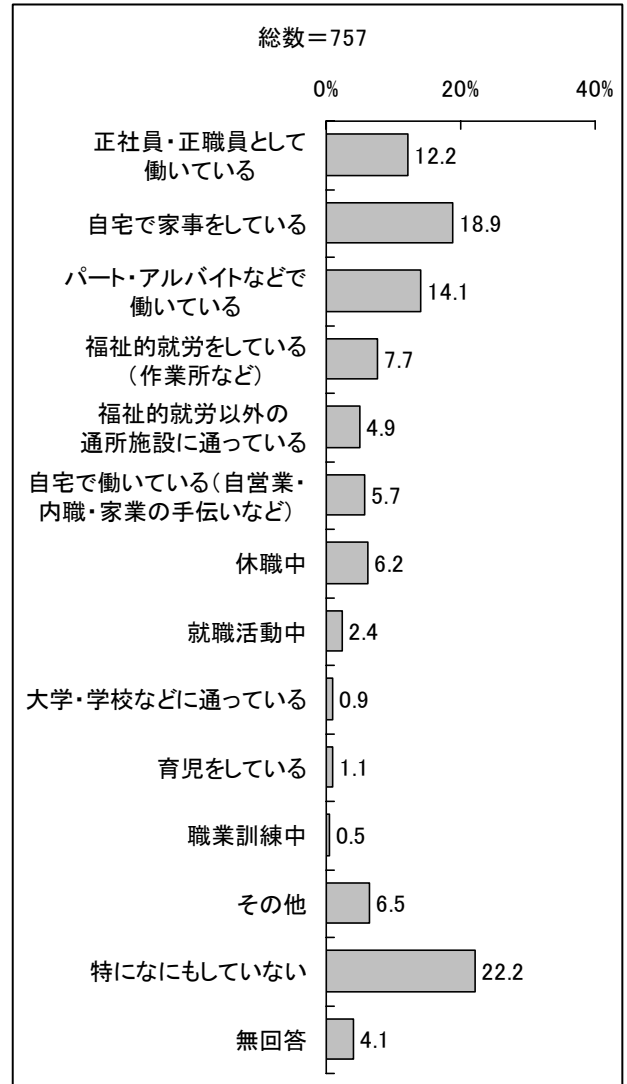
■身体障害



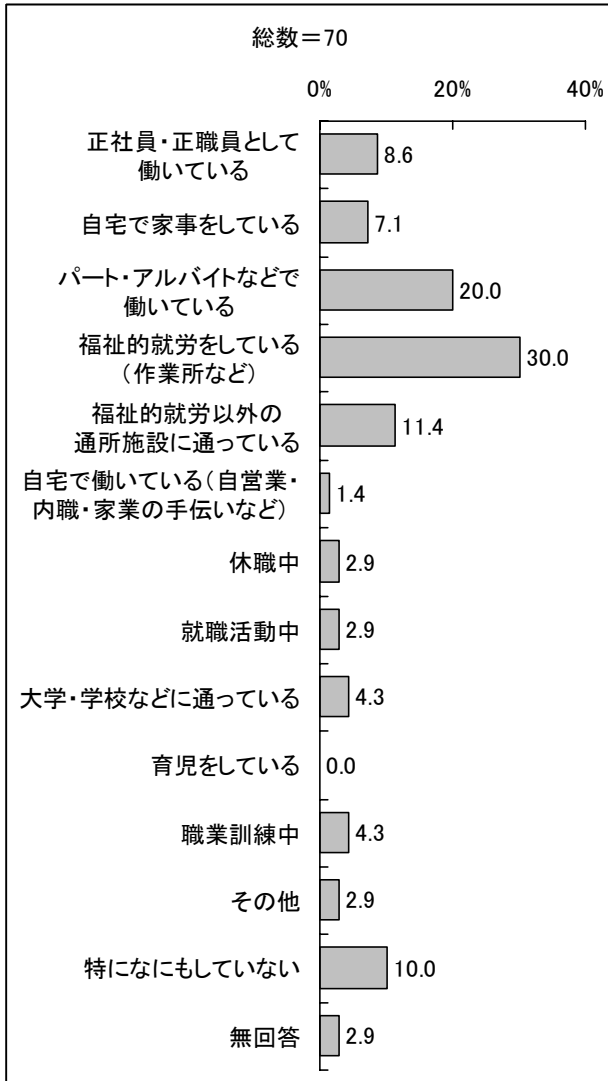
知的障害



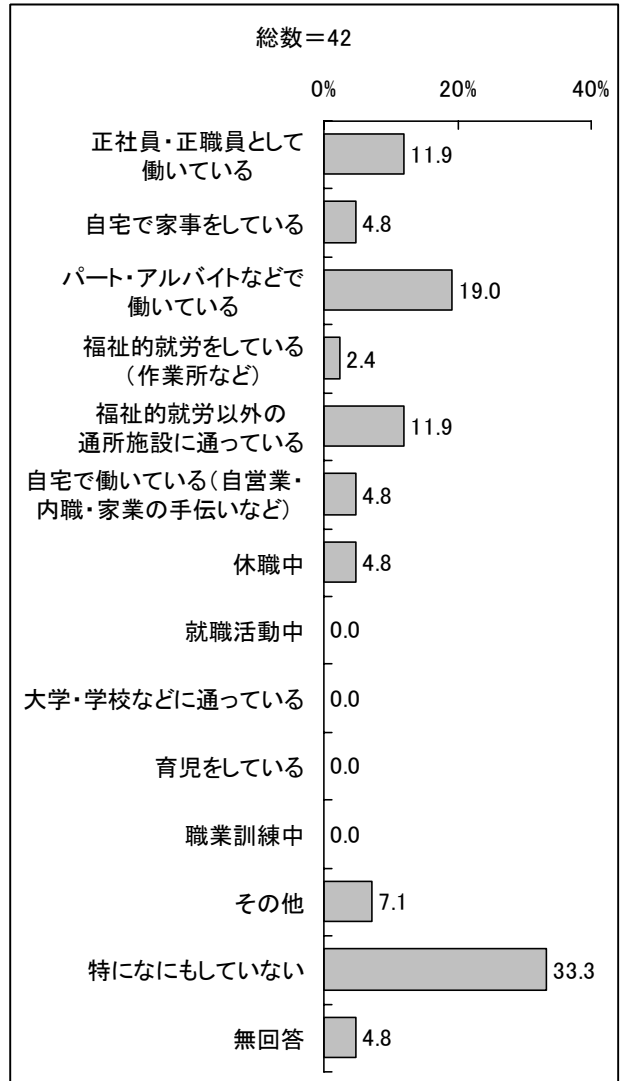
精神障害



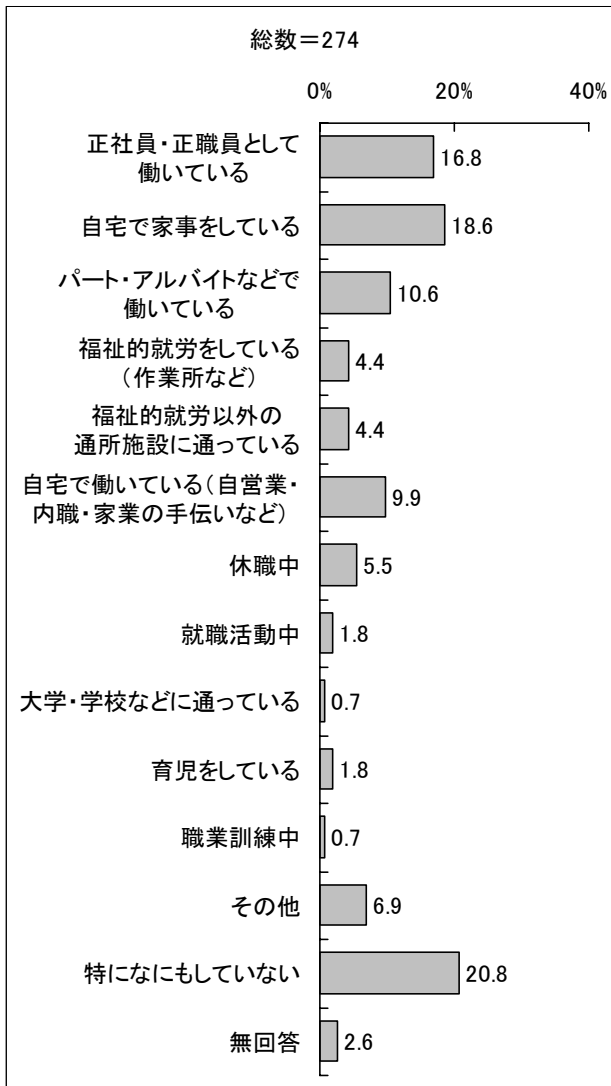
■発達障害



■高次脳機能障害



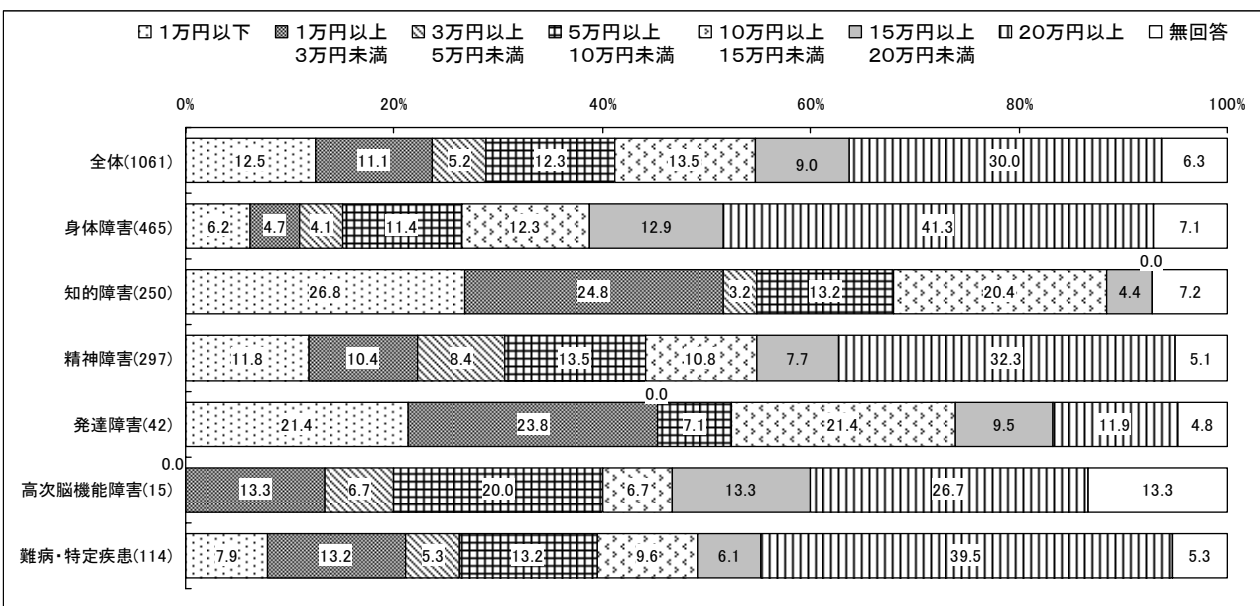
■難病・特定疾患



問25 問24 で「1 正社員・正職員として働いている」「2 パート・アルバイトなどで働いている」「3 自宅で働いている(自営業・内職・家業の手伝いなど)」「4 福祉的就労をしている(作業所など)」と回答した方にお聞きします。

仕事で得ている給与・工賃の金額について、税金を引く前の月額はいくらですか。(〇はひとつ)

全体では「20万円以上」が30.0%と最も多く、次いで「10～15万円」が13.5%、「1万円以下」が12.5%などとなっています。障害別に見ると、身体障害、難病では「20万円以上」、知的障害、発達障害では「1万円以下」や「1万円以上3万円未満」が多くなっています。



身体障害者手帳の等級と仕事で得ている給与・工賃

上段：件 下段：%	合計	1万円以下	1万円以上 3万円未満	3万円以上 5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上 15万円未満	15万円以上 20万円未満	20万円以上	無回答
全体	487 100.0	40 8.2	25 5.1	19 3.9	54 11.1	61 12.5	61 12.5	192 39.4	35 7.2
1級	87 100.0	13 14.9	8 9.2	3 3.4	7 8.0	4 4.6	6 6.9	38 43.7	8 9.2
2級	95 100.0	5 5.3	3 3.2	2 2.1	11 11.6	13 13.7	15 15.8	39 41.1	7 7.4
3級	92 100.0	6 6.5	4 4.3	4 4.3	9 9.8	12 13.0	10 10.9	40 43.5	7 7.6
4級	101 100.0	4 4.0	4 4.0	5 5.0	14 13.9	15 14.9	10 9.9	41 40.6	8 7.9
5級	42 100.0	4 9.5	2 4.8	1 2.4	6 14.3	6 14.3	7 16.7	13 31.0	3 7.1
6級	37 100.0	3 8.1	1 2.7	2 5.4	5 13.5	3 8.1	9 24.3	14 37.8	0 0.0
無回答	33 100.0	5 15.2	3 9.1	2 6.1	2 6.1	8 24.2	4 12.1	7 21.2	2 6.1

愛の手帳の等級と仕事で得ている給与・工賃

上段：件 下段：%	合計	1万円以下	1万円以上 3万円未満	3万円以上 5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上 15万円未満	15万円以上 20万円未満	20万円以上	無回答
全体	271 100.0	76 28.0	67 24.7	9 3.3	33 12.2	55 20.3	11 4.1	0 0.0	20 7.4
1度	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
2度	41 100.0	22 53.7	15 36.6	0 0.0	1 2.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 7.3
3度	76 100.0	28 36.8	19 25.0	3 3.9	12 15.8	6 7.9	0 0.0	0 0.0	8 10.5
4度	131 100.0	20 15.3	29 22.1	6 4.6	17 13.0	41 31.3	11 8.4	0 0.0	7 5.3
無回答	22 100.0	5 22.7	4 18.2	0 0.0	3 13.6	8 36.4	0 0.0	0 0.0	2 9.1

精神障害者保健福祉手帳の等級と仕事で得ている給与・工賃

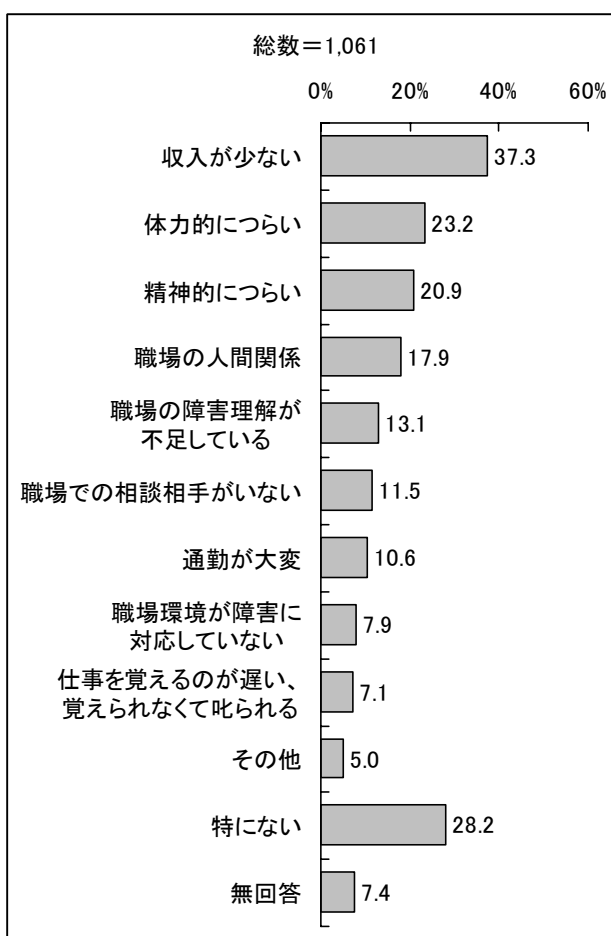
上段：件 下段：%	合計	1万円以下	1万円以上 3万円未満	3万円以上 5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上 15万円未満	15万円以上 20万円未満	20万円以上	無回答
全体	155 100.0	30 19.4	27 17.4	15 9.7	21 13.5	13 8.4	12 7.7	31 20.0	6 3.9
1級	7 100.0	2 28.6	3 42.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0
2級	67 100.0	17 25.4	13 19.4	7 10.4	9 13.4	5 7.5	4 6.0	7 10.4	5 7.5
3級	71 100.0	8 11.3	10 14.1	7 9.9	11 15.5	8 11.3	7 9.9	19 26.8	1 1.4
無回答	10 100.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	3 30.0	0 0.0

問26 問24 で「1 正社員・正職員として働いている」「2 パート・アルバイトなどで働いている」「3 自宅で働いている(自営業・内職・家業の手伝いなど)」「4 福祉的就労をしている(作業所など)」と回答した方にお聞きします。

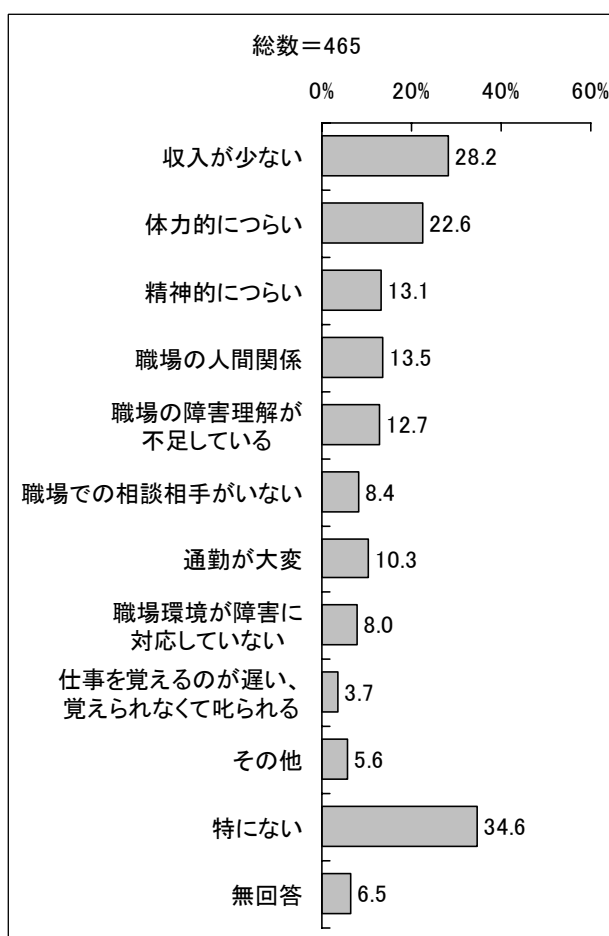
仕事をする上で困っていることはありますか (〇はいくつでも)

全体では「収入が少ない」が 37.3%と最も多く、次いで「体力的につらい」が 23.2%、「精神的につらい」が 20.9%などとなっています。障害別に見ると、発達障害、精神障害、知的障害では「収入が少ない」、精神障害では「精神的につらい」、難病・特定疾患では「体力的につらい」などが特に多くなっています。

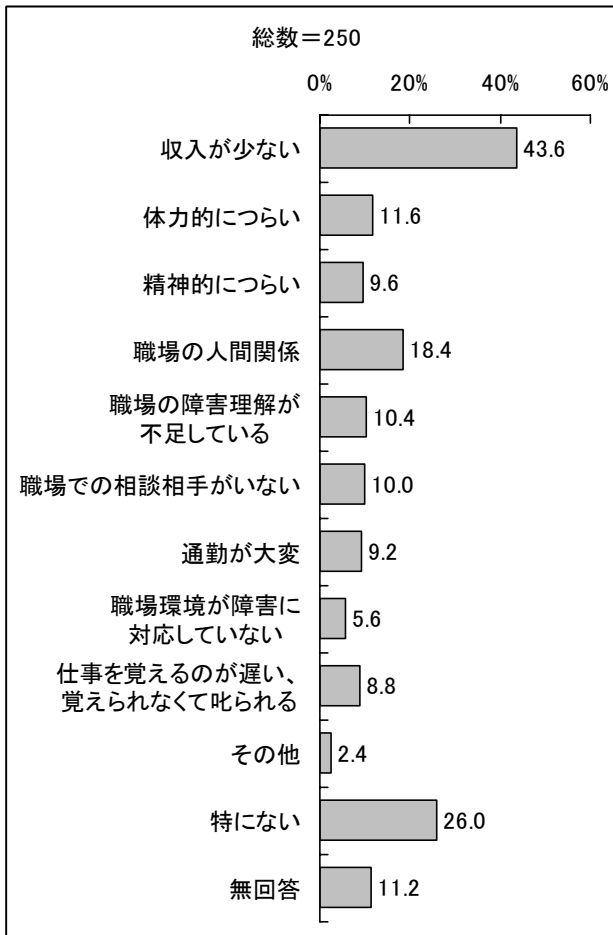
■全体



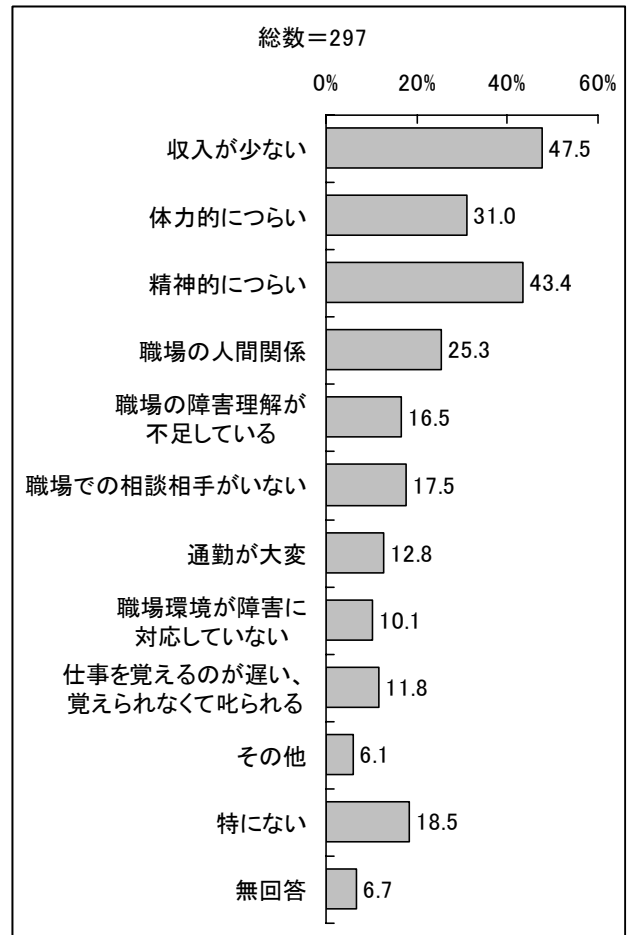
■身体障害



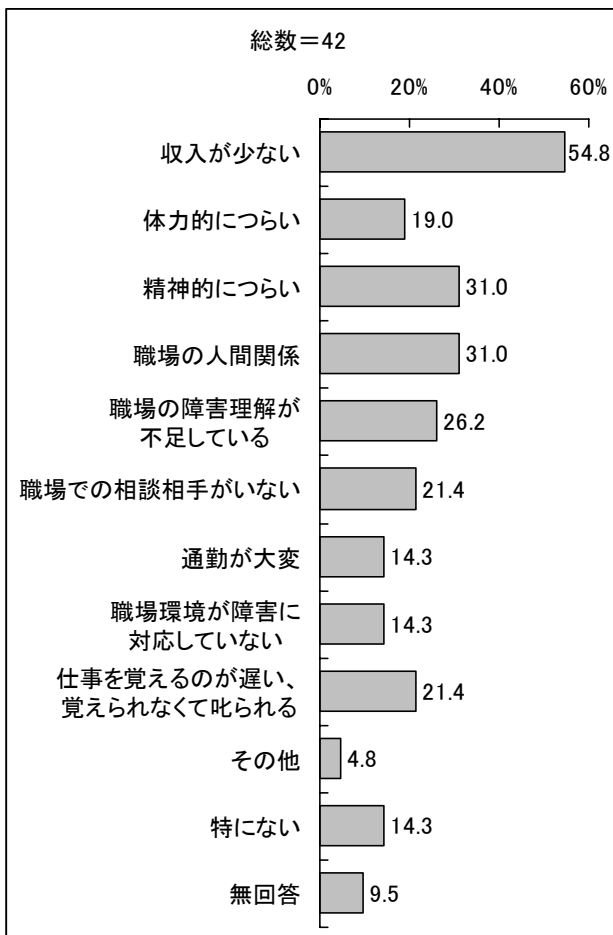
知的障害



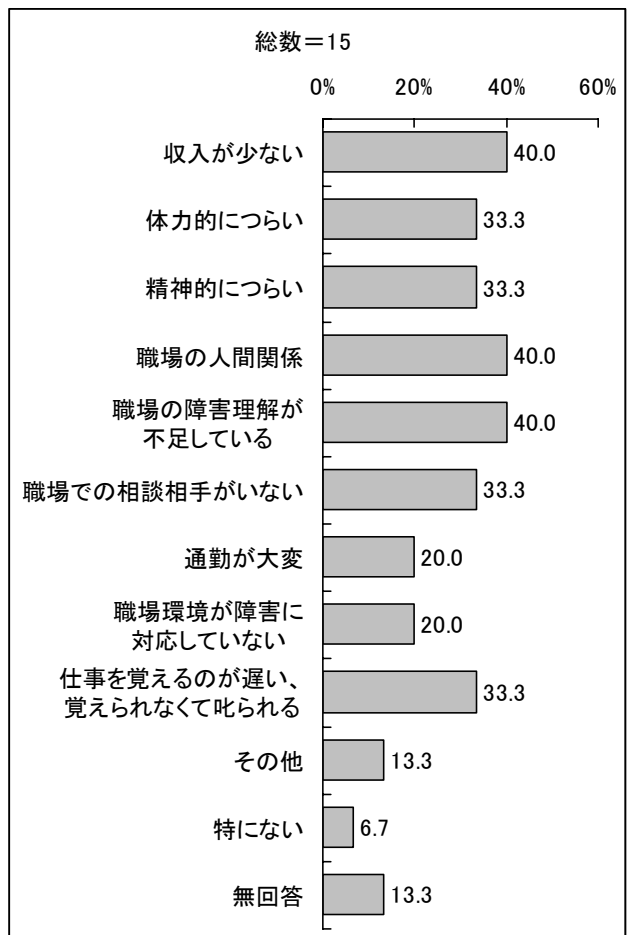
精神障害



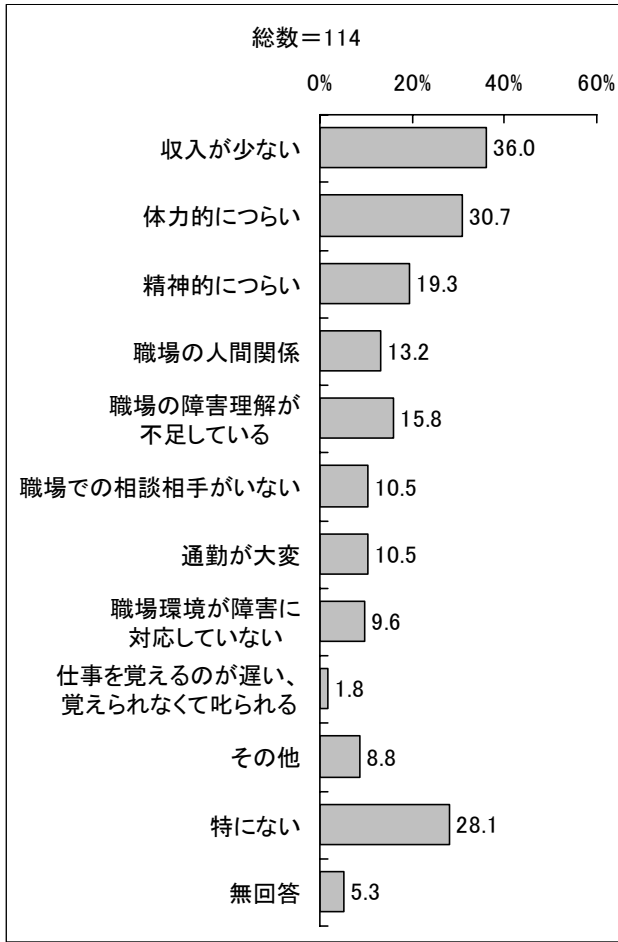
発達障害



高次脳機能障害



■難病・特定疾患



一般就労している方の仕事をする上での困りごと

上段:件 下段:%	合計	収入が 少ない	体力的 につらい	精神的 につらい	通勤が 大変	職場の 人間関係	職場での 相談相手 がない	職場の 障害理解が 不足している	職場環境が 障害に 対応して いない	仕事を覚える のが遅い、 覚えられ ない	その他	特にな い	無回 答
全体	1061 100.0	396 37.3	246 23.2	222 20.9	112 10.6	190 17.9	122 11.5	139 13.1	84 7.9	75 7.1	53 5.0	299 28.2	79 7.4
正社員・正職員として 働いている	376 100.0	86 22.9	102 27.1	96 25.5	50 13.3	81 21.5	55 14.6	66 17.6	43 11.4	27 7.2	23 6.1	126 33.5	16 4.3
パート・アルバイトなどで 働いている	318 100.0	128 40.3	86 27.0	63 19.8	29 9.1	59 18.6	43 13.5	48 15.1	26 8.2	26 8.2	18 5.7	89 28.0	22 6.9
自宅で働いている (自営業・内職・家業の手伝いなど)	131 100.0	52 39.7	34 26.0	29 22.1	10 7.6	7 5.3	8 6.1	5 3.8	5 3.8	4 3.1	6 4.6	35 26.7	21 16.0
福祉的就労をしている (作業所など)	244 100.0	133 54.5	27 11.1	37 15.2	25 10.2	46 18.9	17 7.0	22 9.0	12 4.9	19 7.8	6 2.5	51 20.9	21 8.6

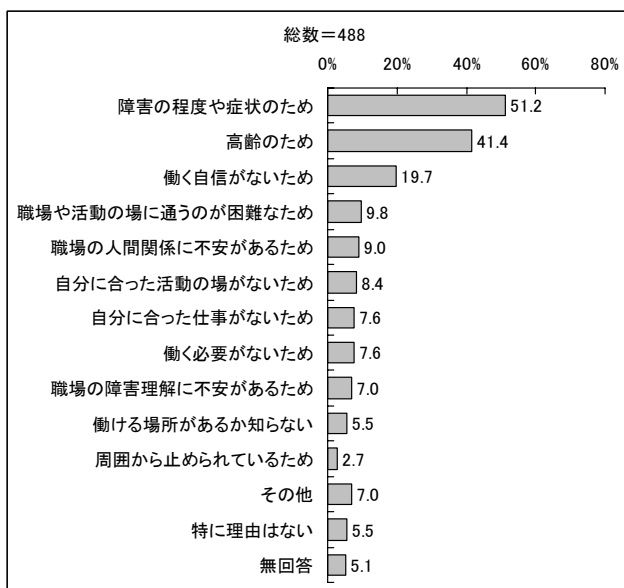
問27 問24で「13 特になにもしていない」と回答した方にお聞きします。

あなたが就労や通所などをしていない理由は何ですか。

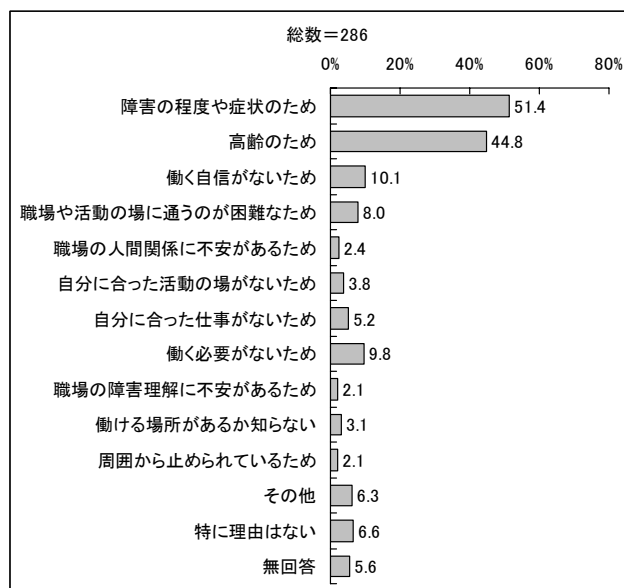
(○はいくつでも)

全体では「障害の程度や症状のため」が51.2%で最も多く、次いで「高齢のため」が41.4%、「働く自信がないため」が19.7%などとなっています。障害別に見ると、難病・特定疾患、身体障害では「高齢のため」、精神障害では「働く自信がないため」が多くなっています。

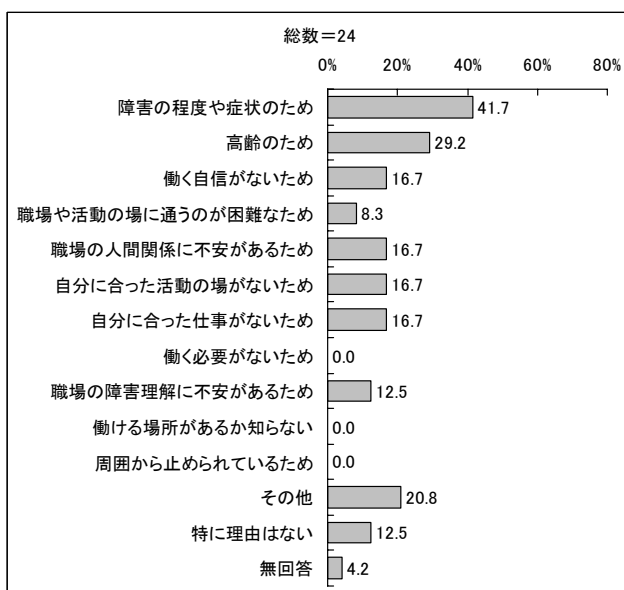
■全体



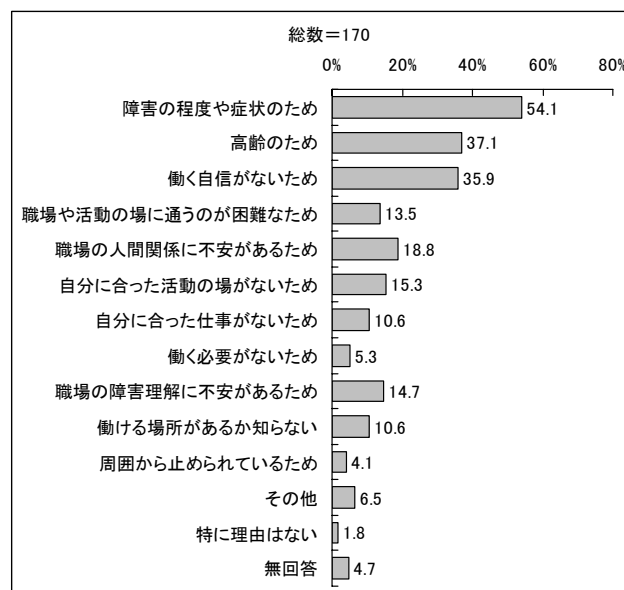
■身体障害



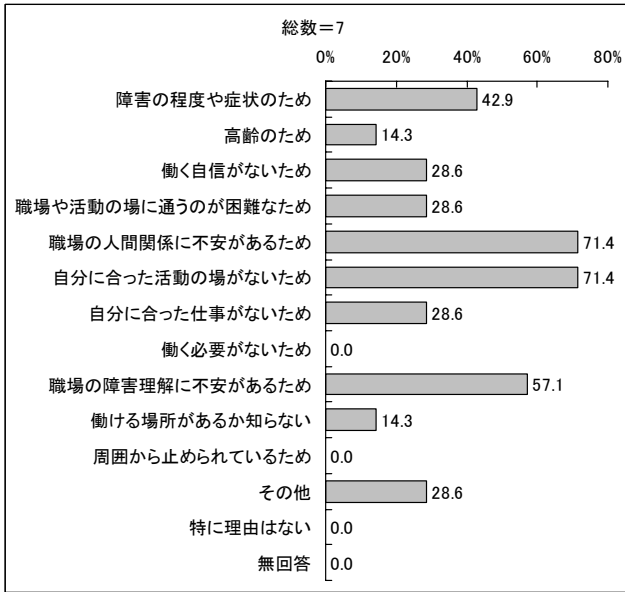
■知的障害



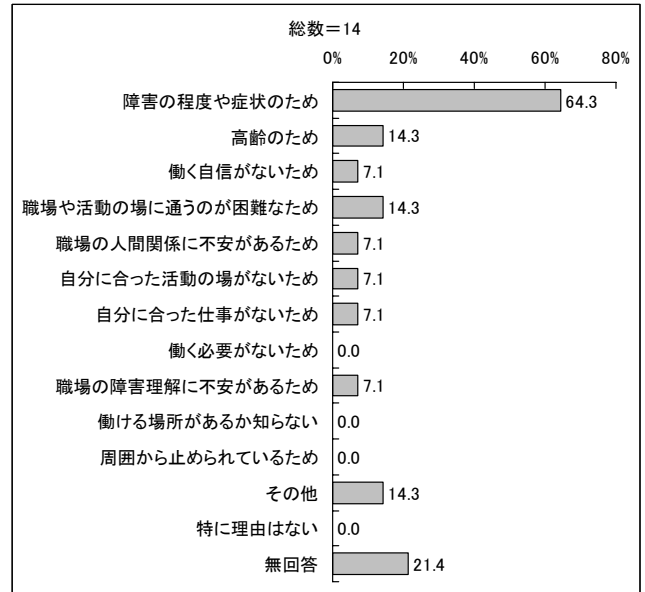
■精神障害



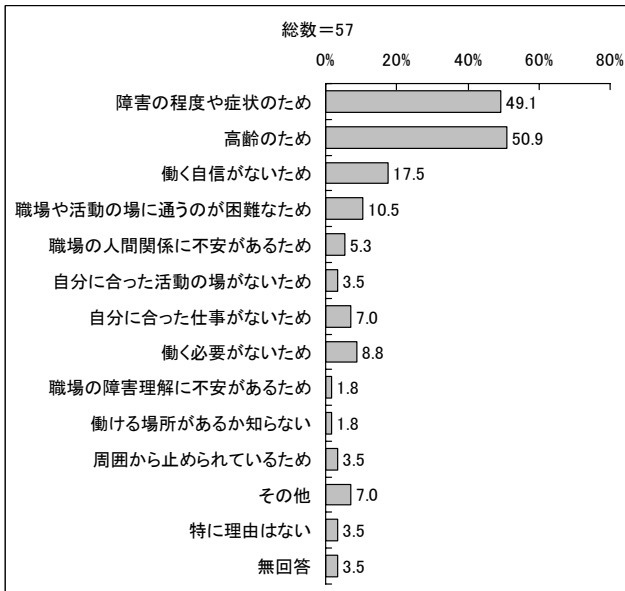
■発達障害



■高次脳機能障害



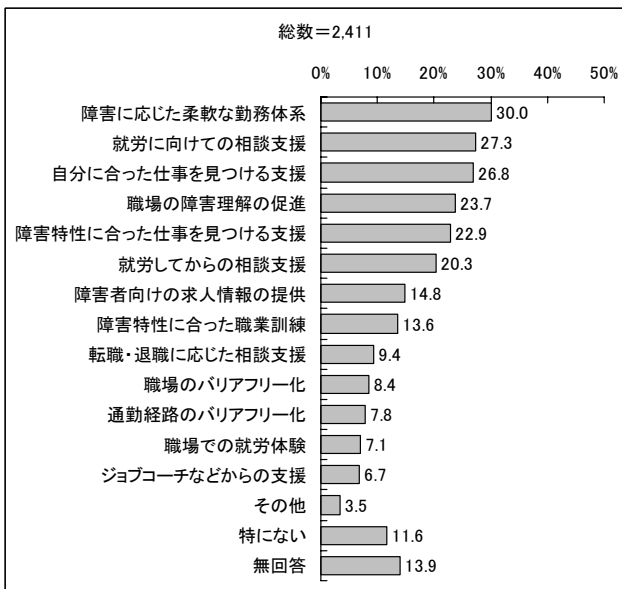
■難病・特定疾患



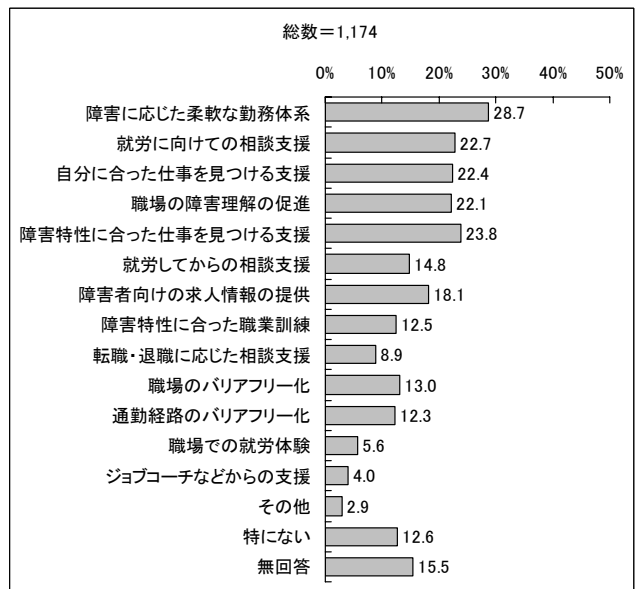
問28 障害者が一般就労するためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

全体では「障害に応じた柔軟な勤務体系」が30.0%と最も多く、次いで「就労に向けての相談支援」が27.3%、「自分に合った仕事を見つける支援」が26.8%などとなっています。障害別に見ると、発達障害、知的障害では「自分に合った仕事を見つける支援」、精神障害では「就労してからの相談支援」、高次脳機能障害では「障害に応じた柔軟な勤務体系」が比較的多くなっています。

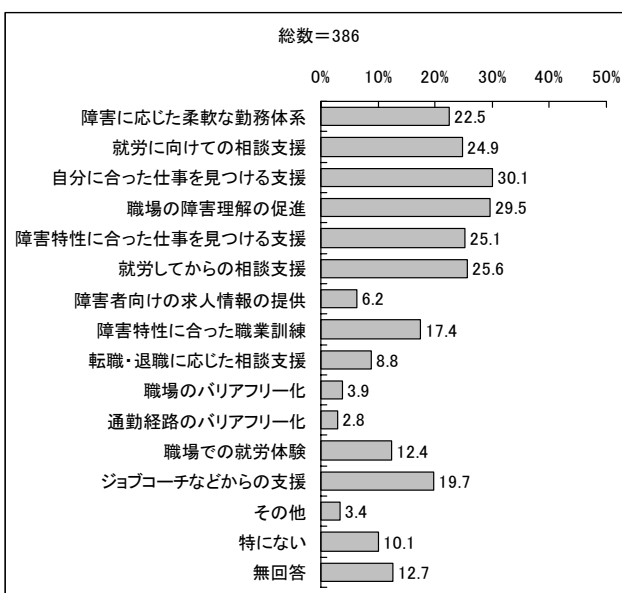
■全体



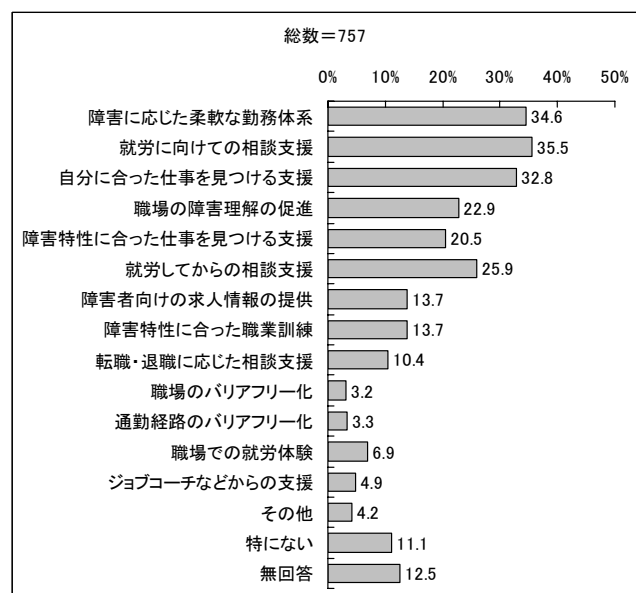
■身体障害



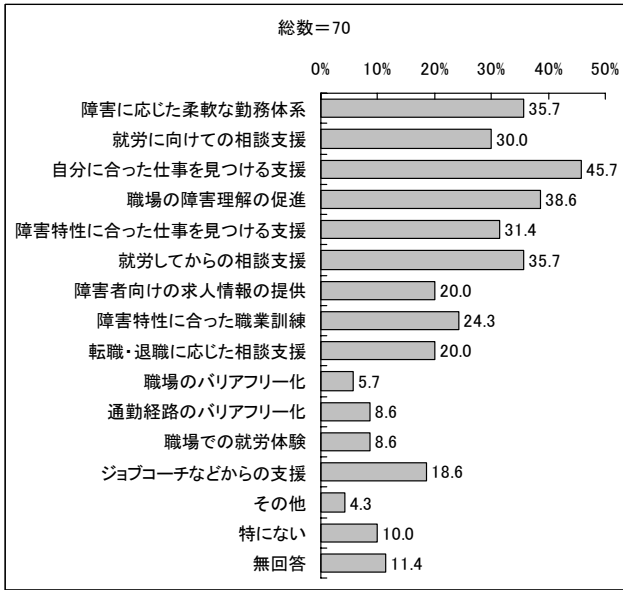
■知的障害



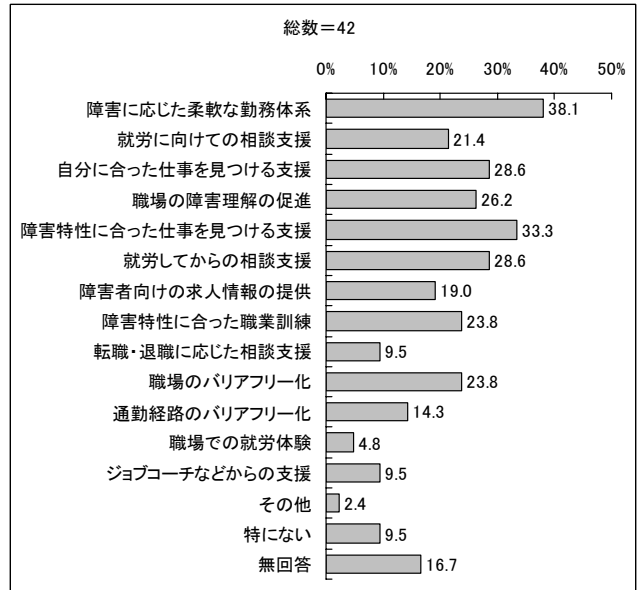
■精神障害



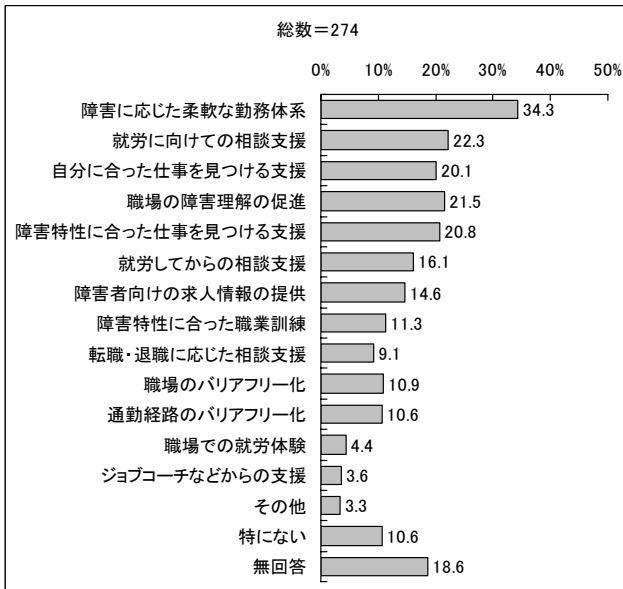
■発達障害



■高次脳機能障害



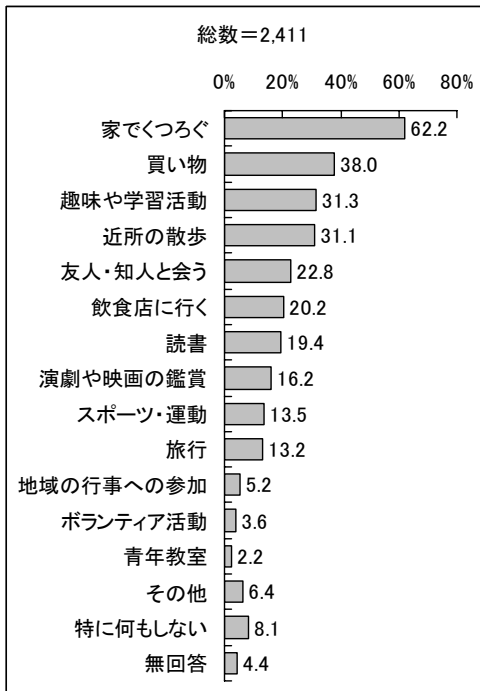
■難病・特定疾患



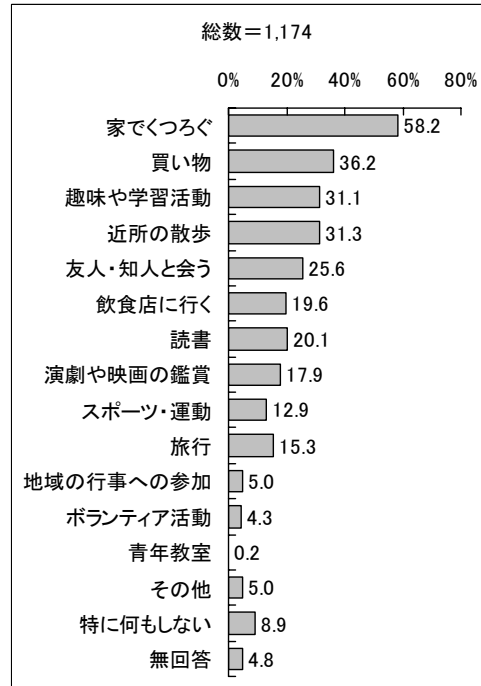
問29 あなたは、休日や時間に余裕のあるときに、どのように過ごしていますか。
(○はいくつでも)

全体では「家でくつろぐ」が62.2%と最も多く、次いで「買い物」が38.0%、「趣味や学習活動」が31.3%などとなっています。障害別に見ると、発達障害では「家でくつろぐ」が特に多くなっています。高次脳機能障害では「近所の散歩」がやや多くなっています。

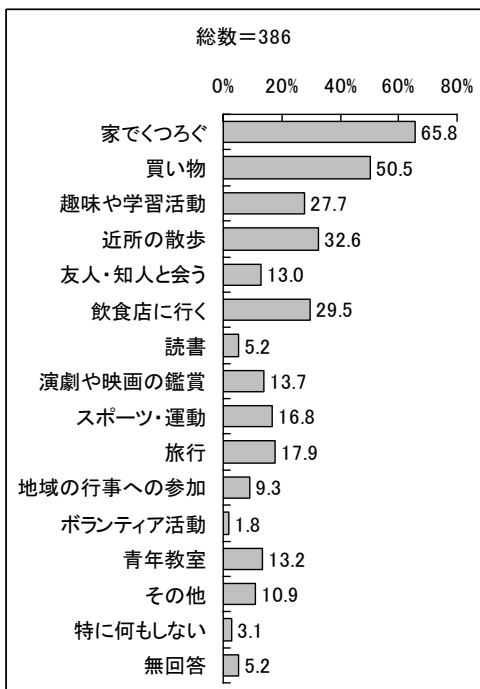
■全体



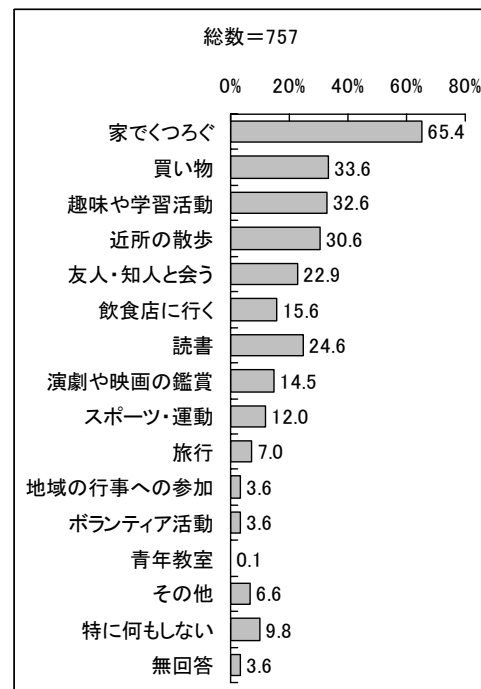
■身体障害



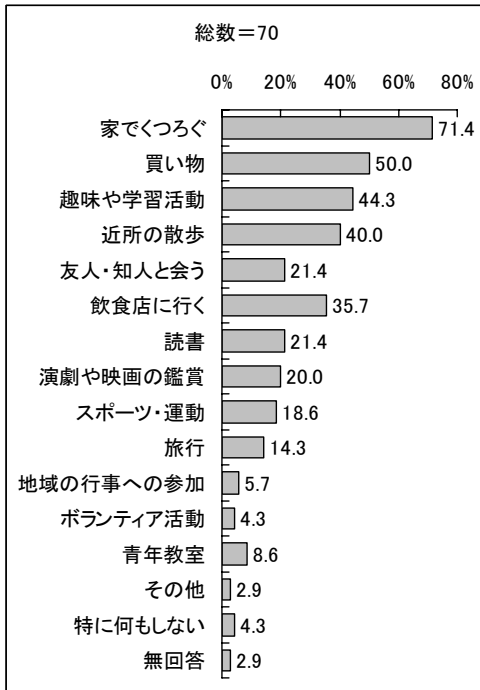
■知的障害



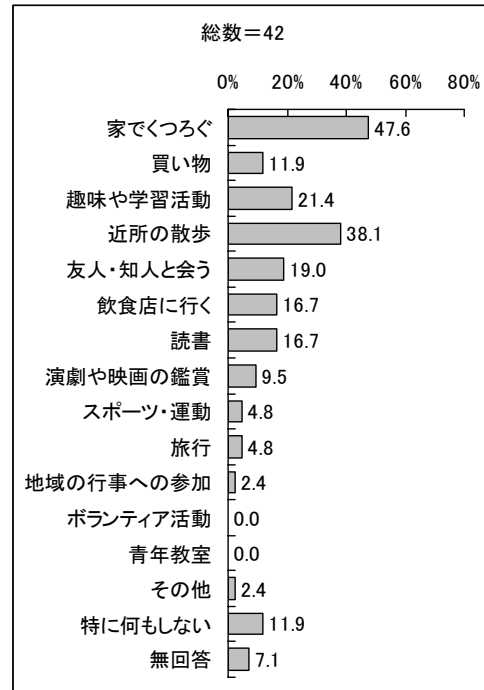
■精神障害



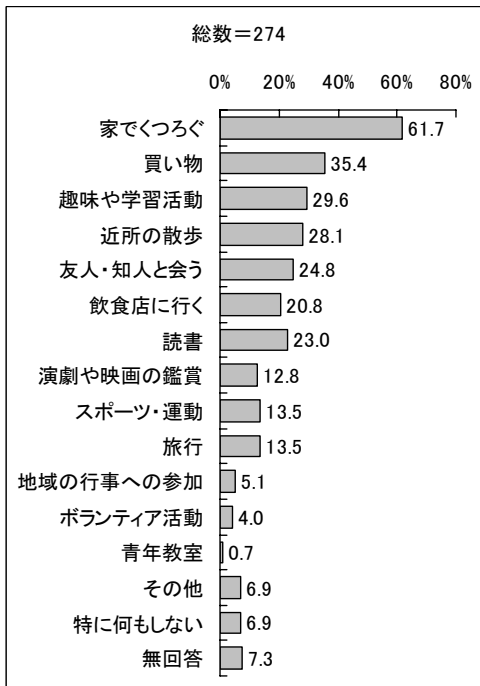
■発達障害



■高次脳機能障害



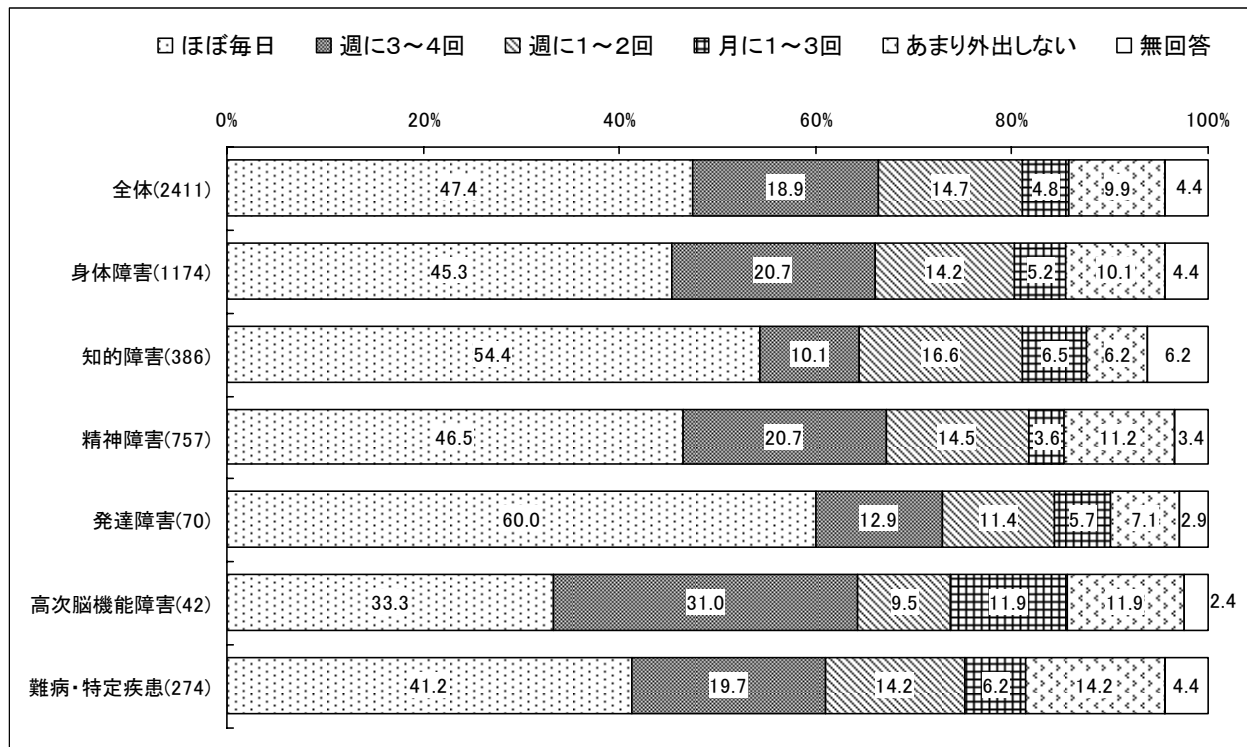
■難病・特定疾患



5 外出やバリアフリーについて

問30 あなたはどのくらいの頻度で外出していますか。(〇はひとつ)

全体では「ほぼ毎日」が47.4%と最も多く、次いで「週に3～4回」が18.9%、「週に1～2回」が14.7%などとなっています。障害別に見ると、「ほぼ毎日」と回答した人の割合は、発達障害で最も高く、高次脳機能障害では最も低くなっています。

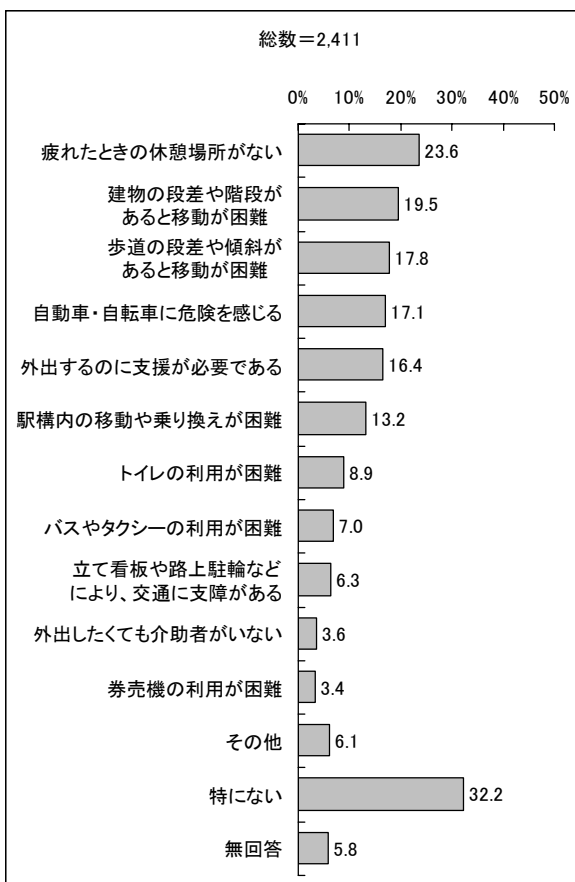


問31 あなたは、外出に関してどのようなことで困っていますか。

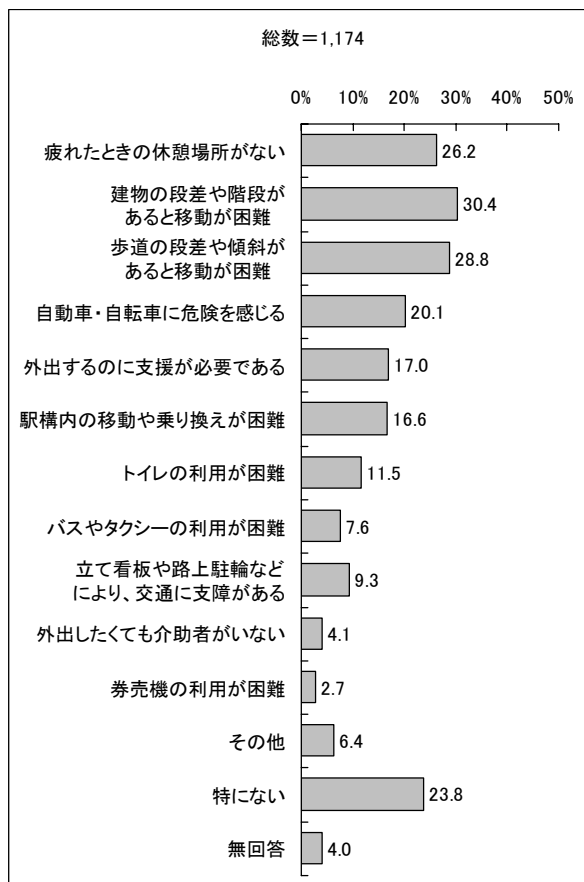
(○は3つまで)

全体では「疲れたときの休憩場所がない」が23.6%と最も多く、次いで「建物の段差や階段があると移動が困難」が19.5%、「歩道の段差や傾斜があると移動が困難」が17.8%などとなっています。障害別に見ると、身体障害、高次脳機能障害では「建物の段差や階段があると移動が困難」や「歩道の段差や傾斜があると移動が困難」、知的障害、発達障害では「外出するのに支援が必要である」などが比較的多くなっています。一方、精神障害では「特にない」が多くなっています。

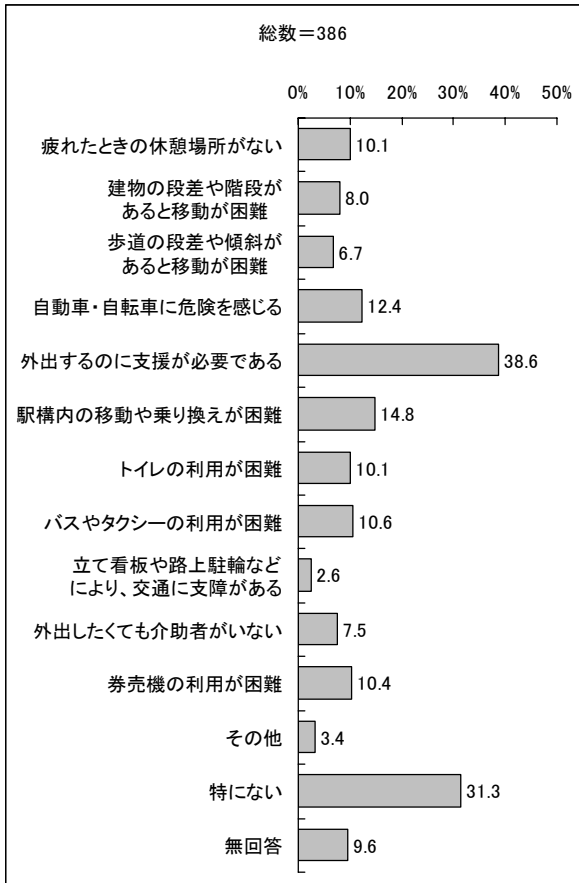
■全体



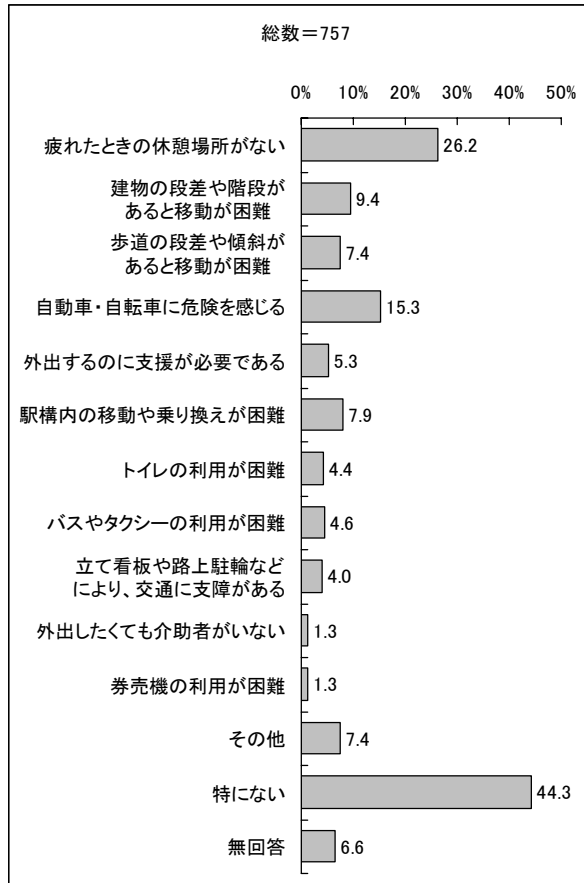
■身体障害



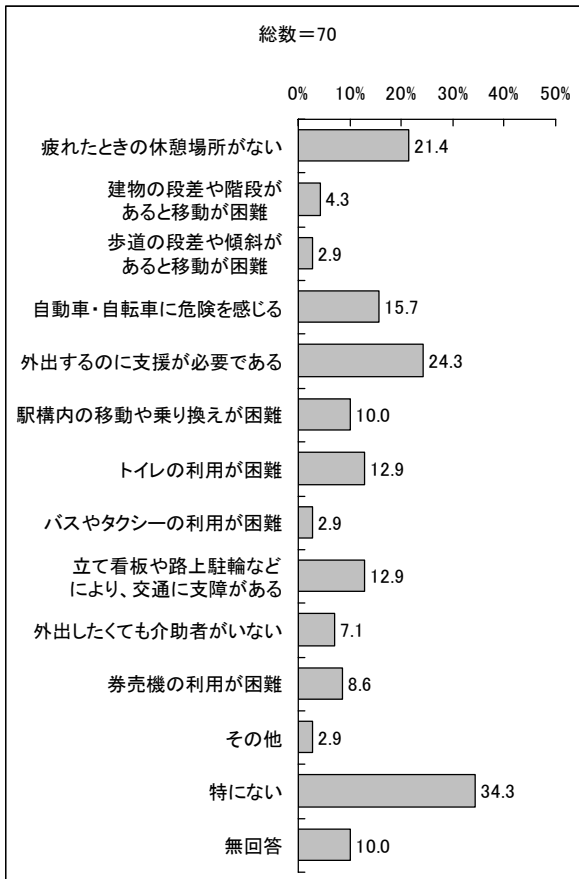
知的障害



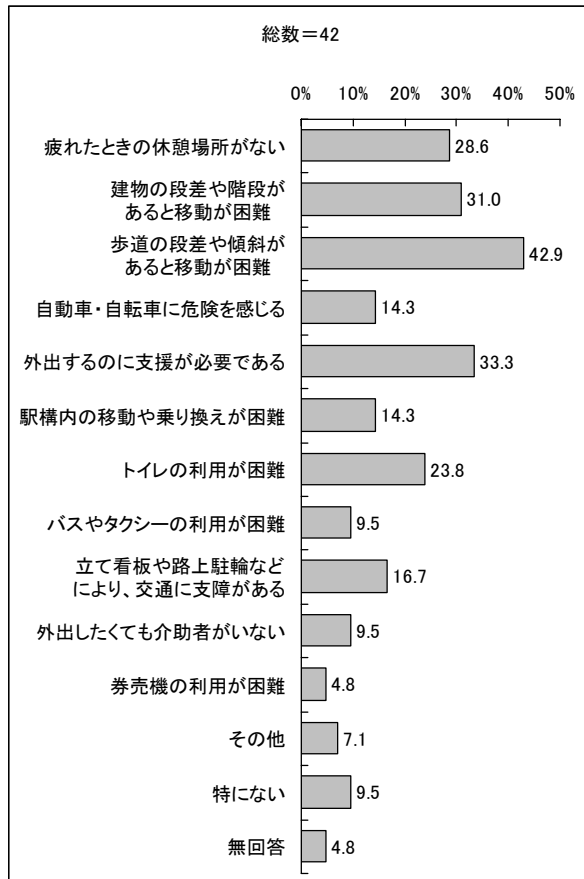
精神障害



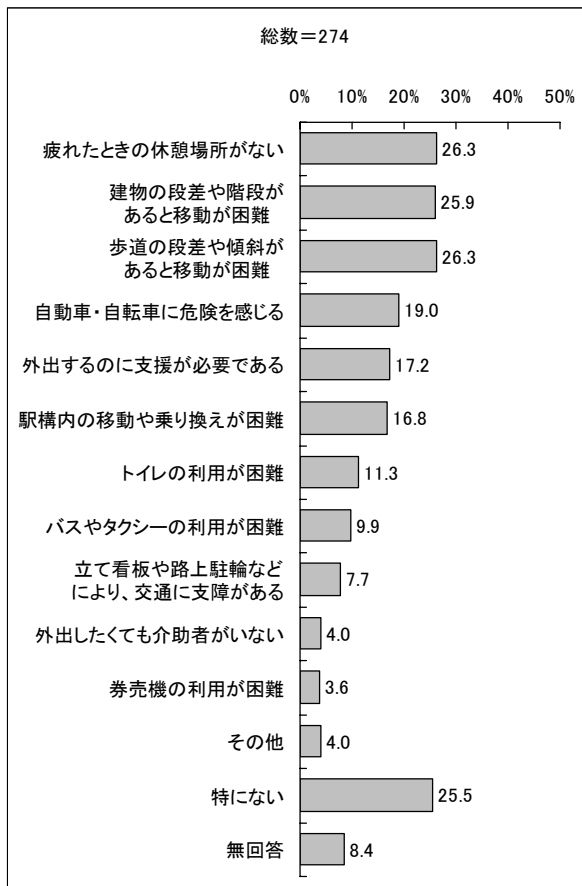
発達障害



高次脳機能障害

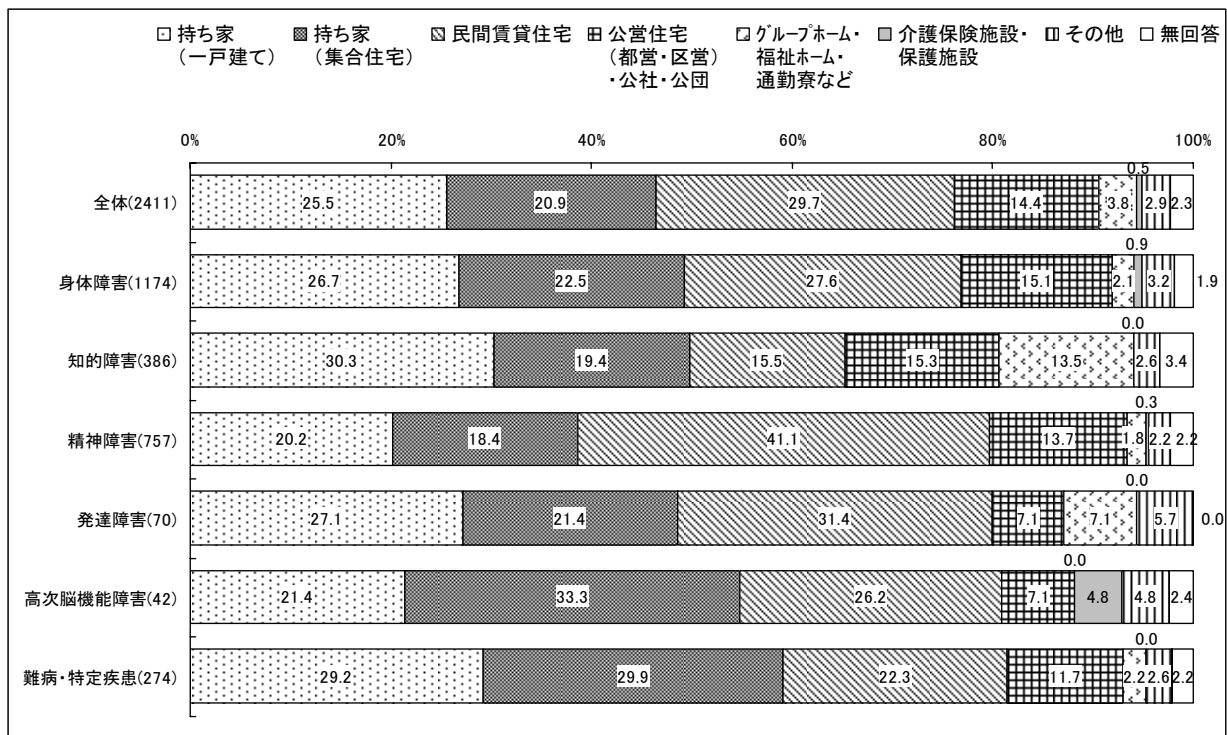


■難病・特定疾患



問32 あなたのお住まいをお聞きします。(〇はひとつ)

全体では「民間賃貸住宅」が29.7%と最も多く、次いで「持ち家(一戸建て)」が25.5%、「持ち家(集合住宅)」が20.9%などとなっています。



住まいと年齢

年代別の結果を見ると、「18～39歳」と「40～64歳」では「民間賃貸住宅」、「65～74歳」では「持ち家(一戸建て)」がやや多く、「75歳以上」では「持ち家(一戸建て)」が多くなっています。

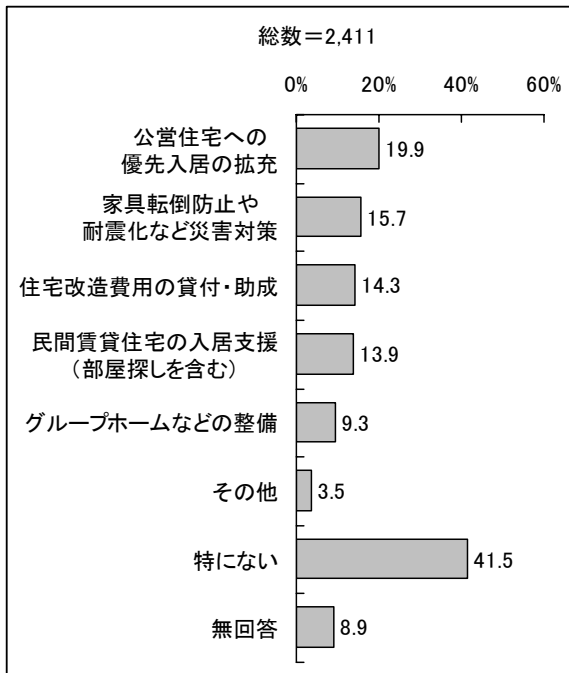
	合計	持ち家(一戸建て)	持ち家(集合住宅)	民間賃貸住宅	公営住宅(都営・区営・公社・公団)	グループホーム・福祉ホーム・通所寮など	介護保険施設・保護施設	その他	無回答
全体	2411 100.0	616 25.5	505 20.9	716 29.7	347 14.4	91 3.8	12 0.5	69 2.9	55 2.3
18～39歳	517 100.0	129 25.0	110 21.3	167 32.3	56 10.8	33 6.4	0 0.0	12 2.3	10 1.9
40～64歳	1196 100.0	251 21.0	245 20.5	423 35.4	167 14.0	41 3.4	6 0.5	38 3.2	25 2.1
65～74歳	357 100.0	99 27.7	74 20.7	89 24.9	63 17.6	9 2.5	2 0.6	13 3.6	8 2.2
75歳以上	318 100.0	134 42.1	70 22.0	32 10.1	60 18.9	4 1.3	4 1.3	5 1.6	9 2.8

問33 あなたは、住まいに関してどのような支援を必要としていますか。

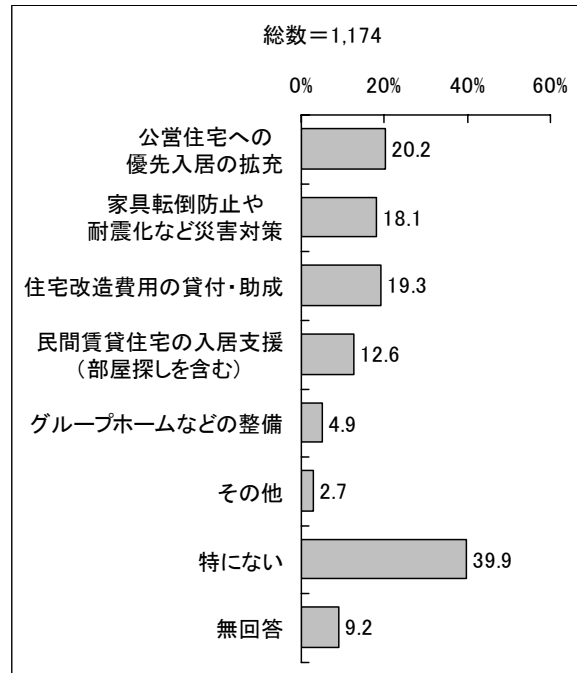
(○はいくつでも)

全体では「公営住宅への優先入居の拡充」が19.9%と最も多く、次いで「家具転倒防止や耐震化など災害対策」が15.7%、「住宅改造費用の貸付・助成」が14.3%などとなっています。「特にない」は41.5%となっています。障害別に見ると、知的障害では「グループホームなどの整備」が特に多くなっています。

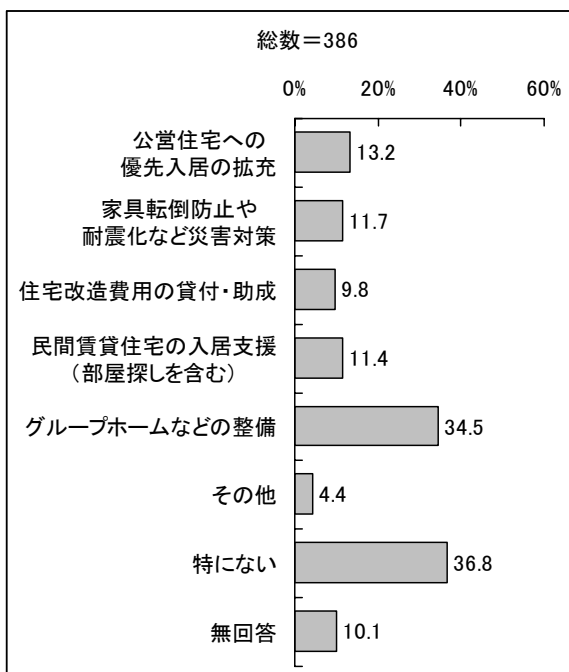
■全体



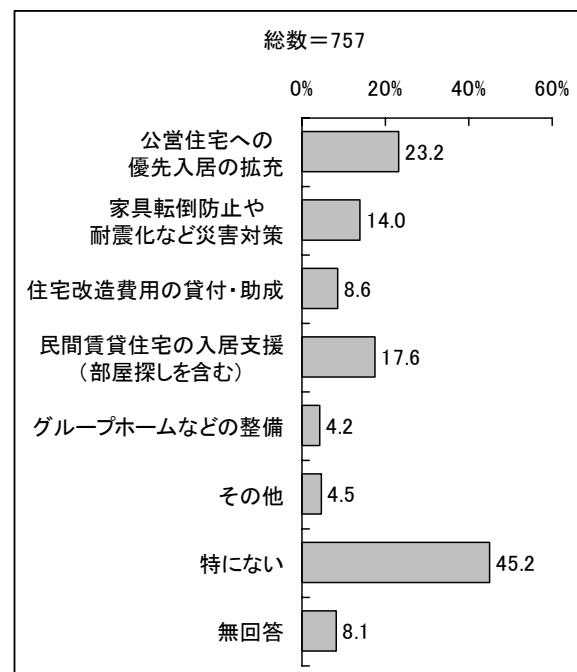
■身体障害



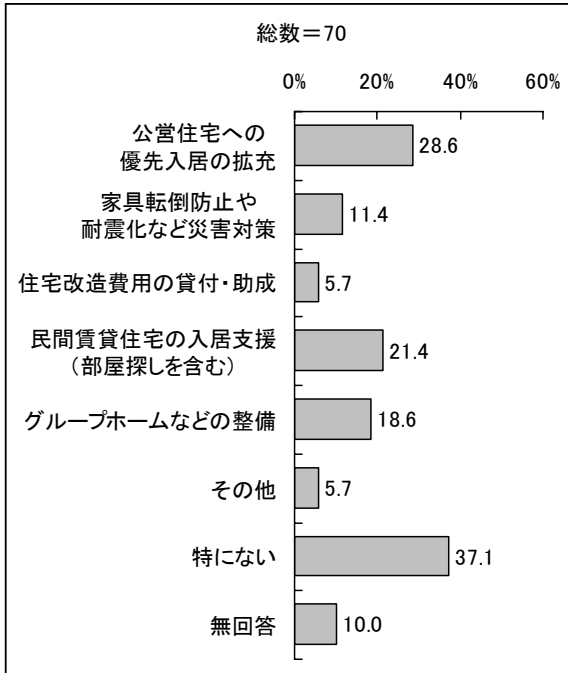
■知的障害



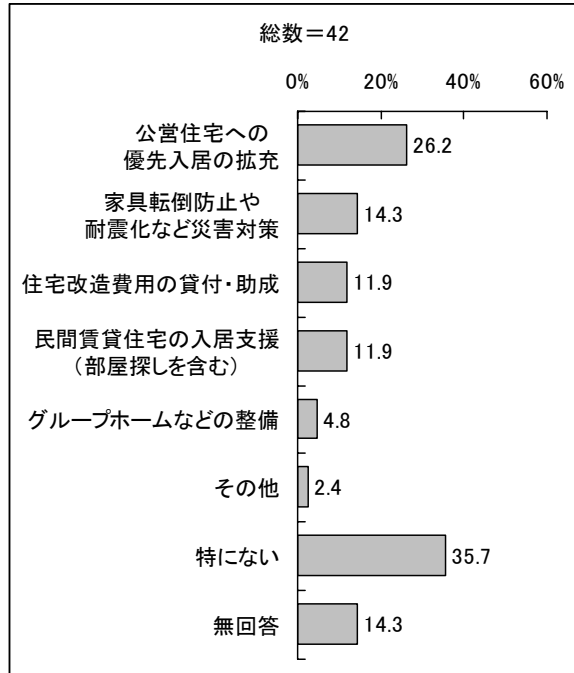
■精神障害



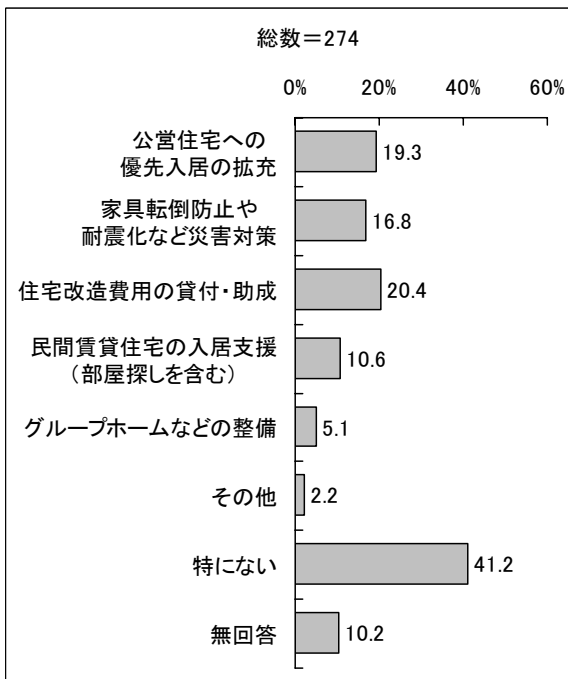
■発達障害



■高次脳機能障害



■難病・特定疾患

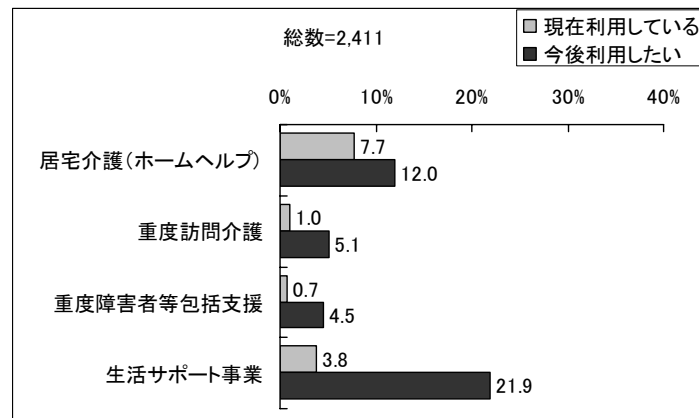


6 福祉サービスについて

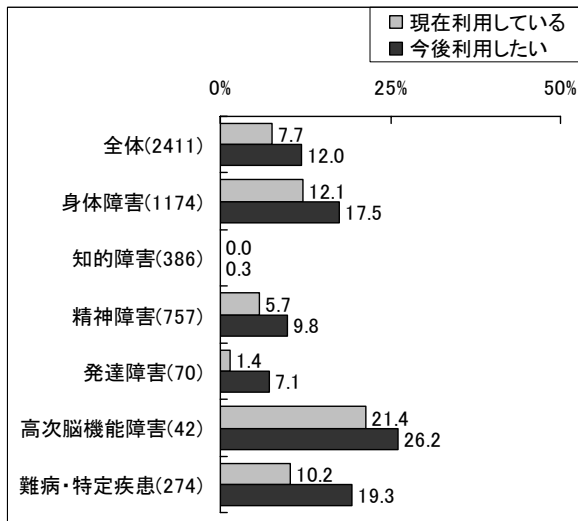
問34 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また、今後（2～3年以内に）利用したいと思いませんか。既に利用しており、今後も利用したい方は「1」、「2」両方に○をつけてください。

(1) 自宅での生活を支援するサービス

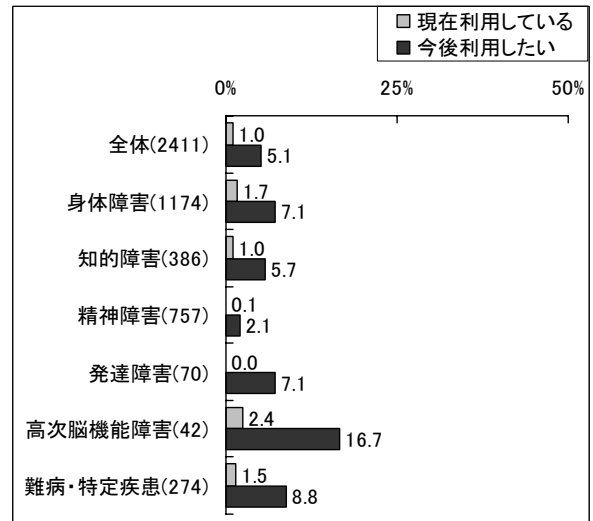
「現在利用している」が最も多いのは「居宅介護（ホームヘルプ）」で7.7%となっています。「今後利用したい」は「生活サポート事業」で21.9%となっています。



○居宅介護

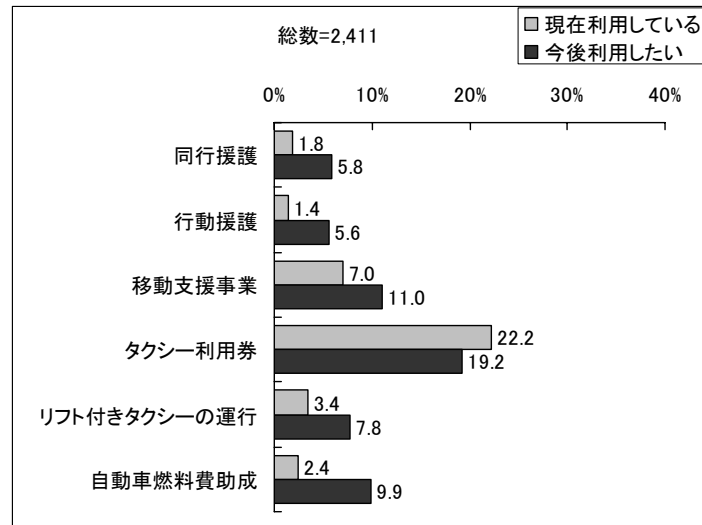


○重度訪問介護

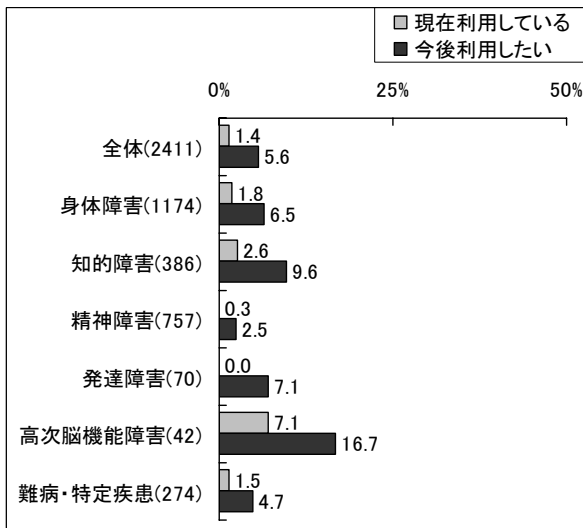


(2) 外出を支援するサービス

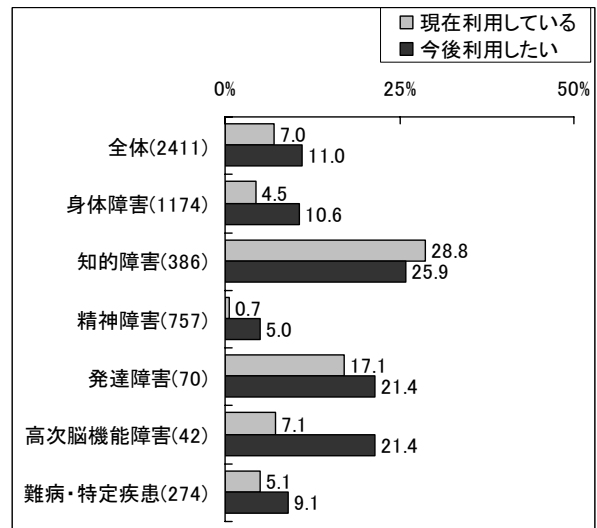
「現在利用している」が最も多いのは「タクシー利用券」が22.2%となっています。
 「今後利用したい」も「タクシー利用券」が最も多く、19.2%となっています。



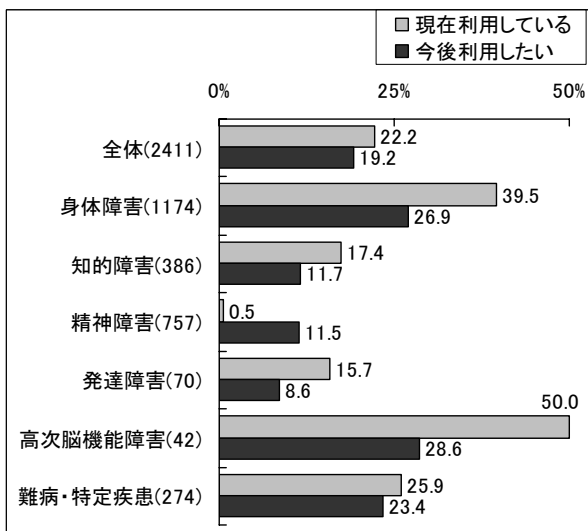
○行動援護



○移動支援事業

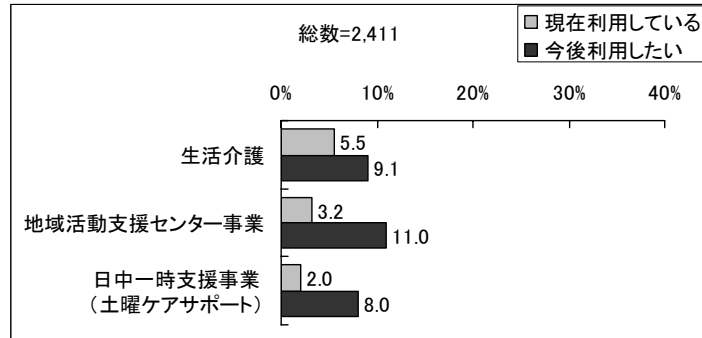


○タクシー利用券

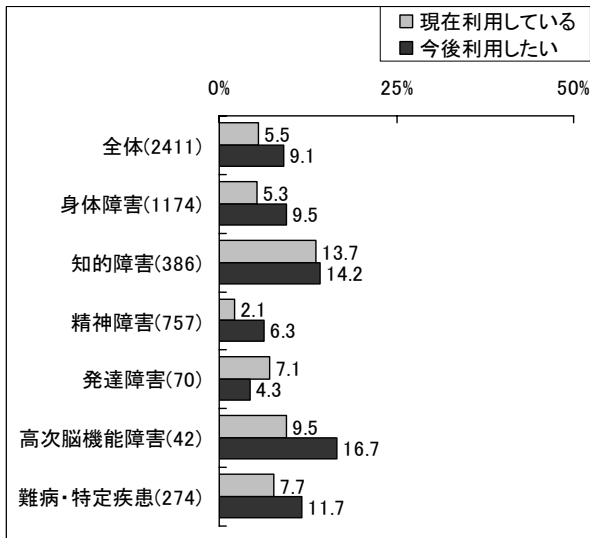


(3) 昼間の活動を支援するサービス

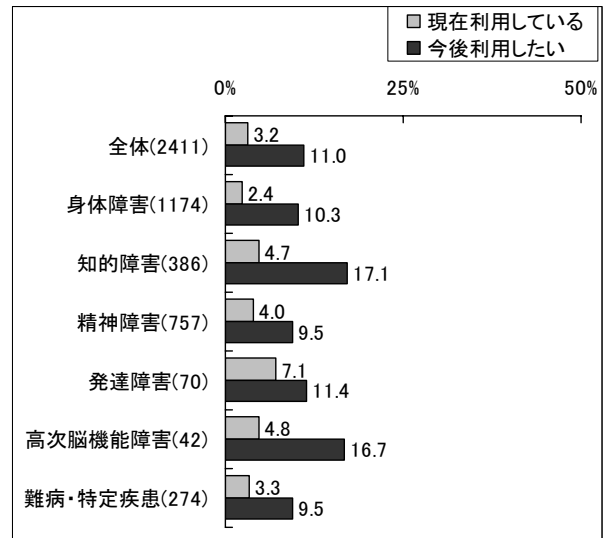
「現在利用している」が最も多いのは「生活介護」で5.5%となっています。「今後利用したい」は「地域活動支援センター事業」で11.0%となっています。



○生活介護

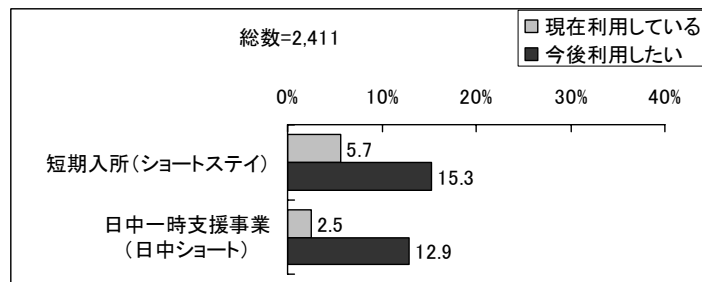


○地域活動支援センター事業

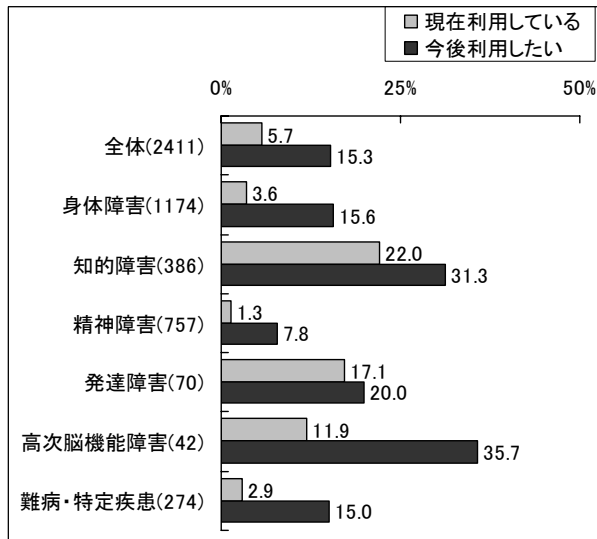


(4) 一時的な支援を行うサービス

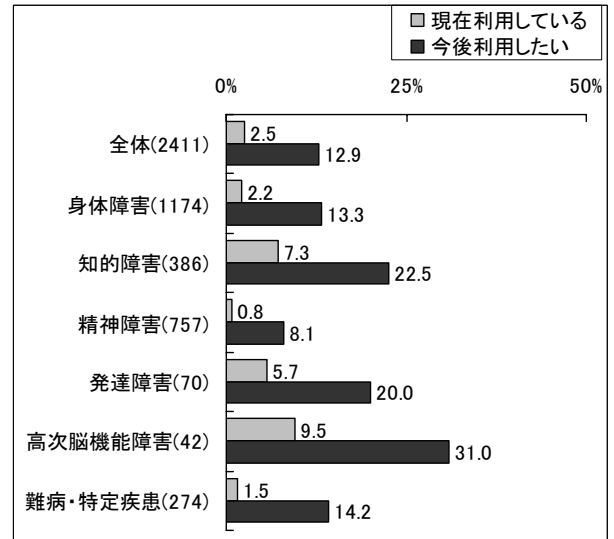
「現在利用している」は「短期入所」で5.7%、「日中一時支援事業」で2.5%となっています。「今後利用したい」は「短期入所」で15.3%、「日中一時支援事業」で12.9%となっています。



○短期入所

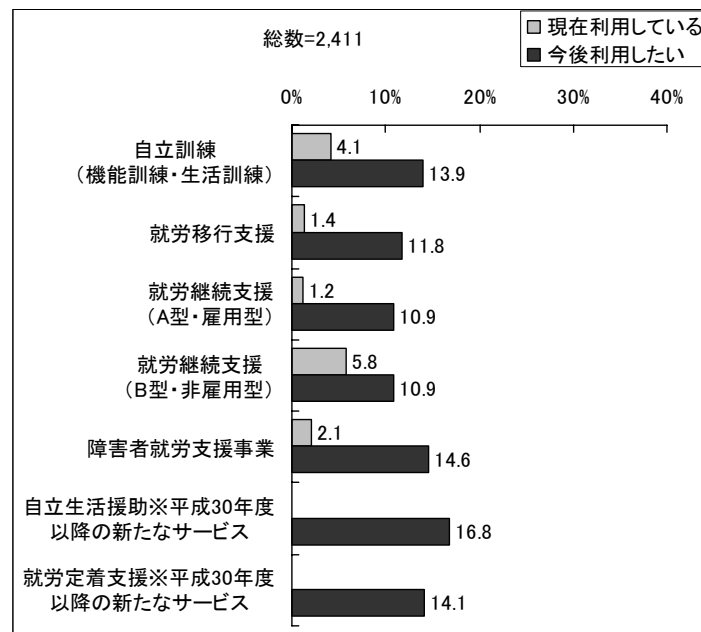


○日中一時支援事業

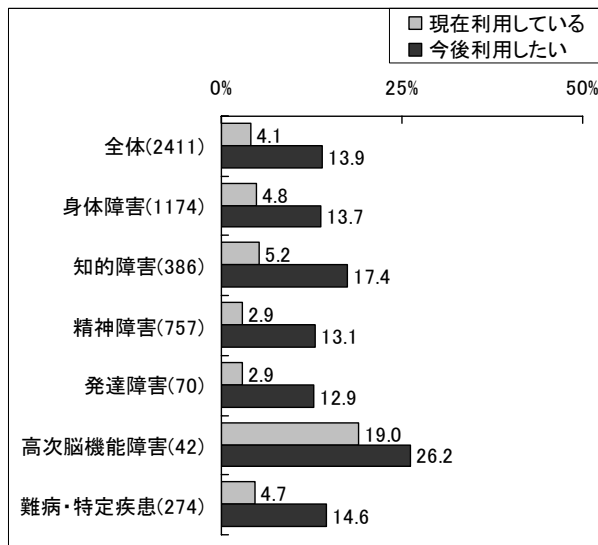


(5) 自立や就労を支援するサービス

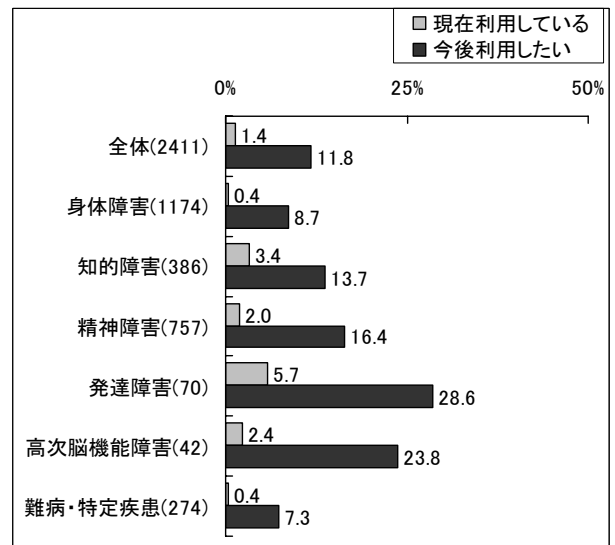
「現在利用している」が最も多いのは「就労継続支援（B型・非雇用型）」で5.8%となっています。「今後利用したい」は、現在実施している事業の中では「障害者就労支援事業」が14.6%で最も多くなっています。



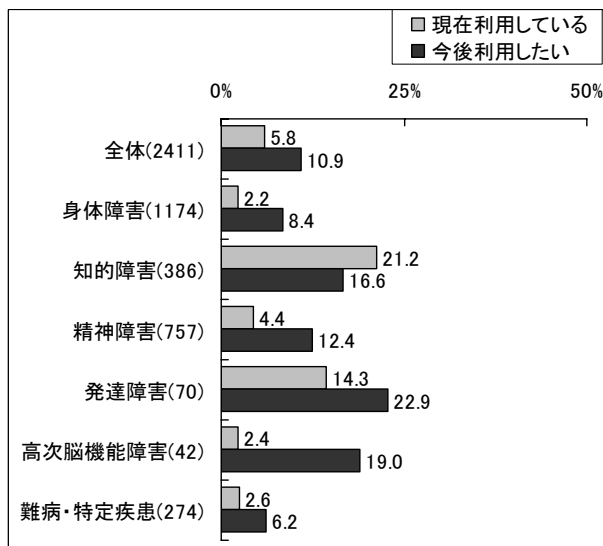
○自立訓練



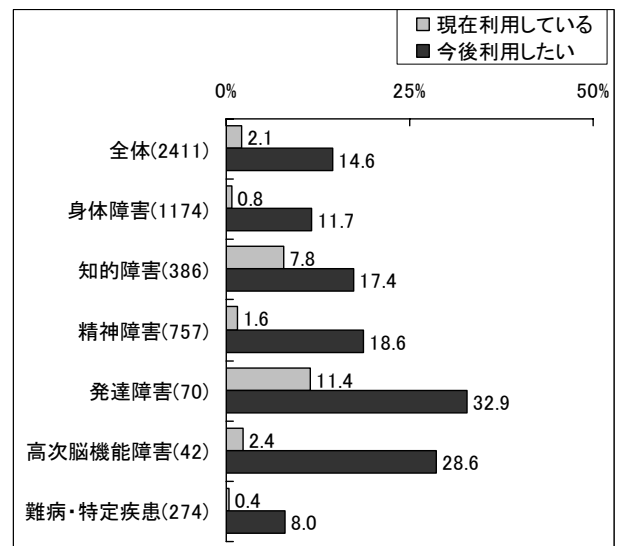
○就労移行支援



○就労継続支援 (B型・非雇用型)

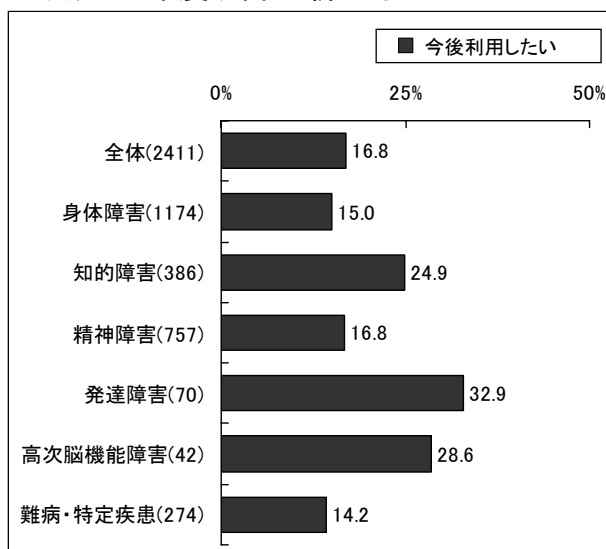


○障害者就労支援事業



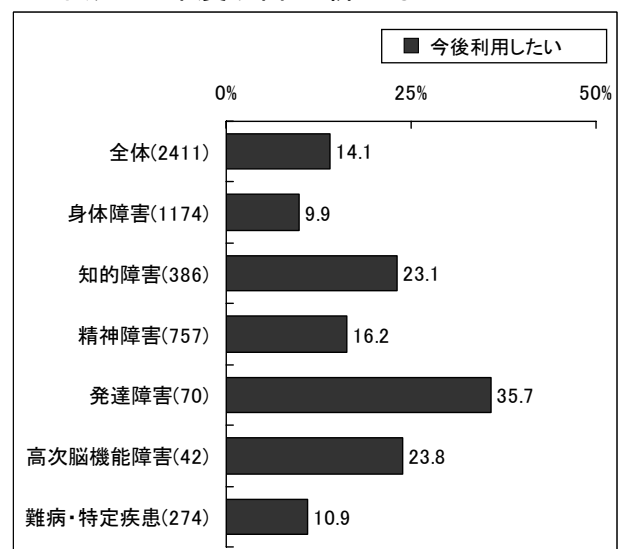
○自立生活援助

※平成30年度以降の新たなサービス



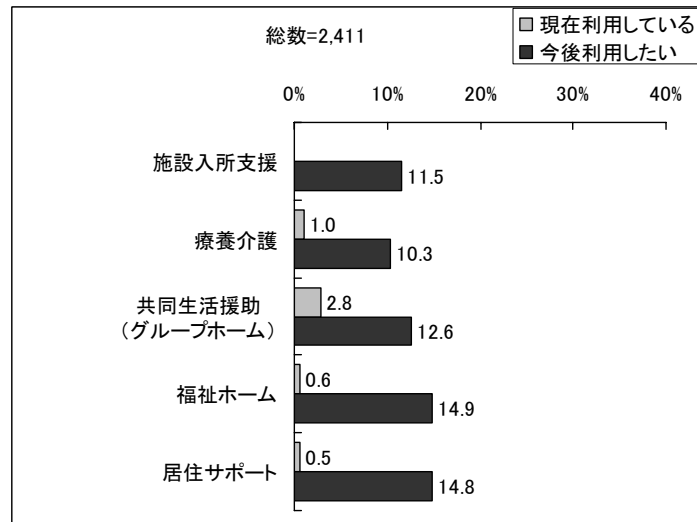
○就労定着支援

※平成30年度以降の新たなサービス

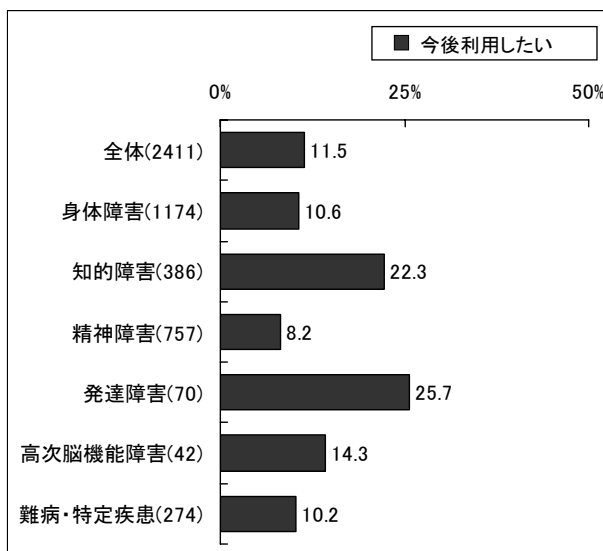


(6) 住まいの場・住まいに関するサービス

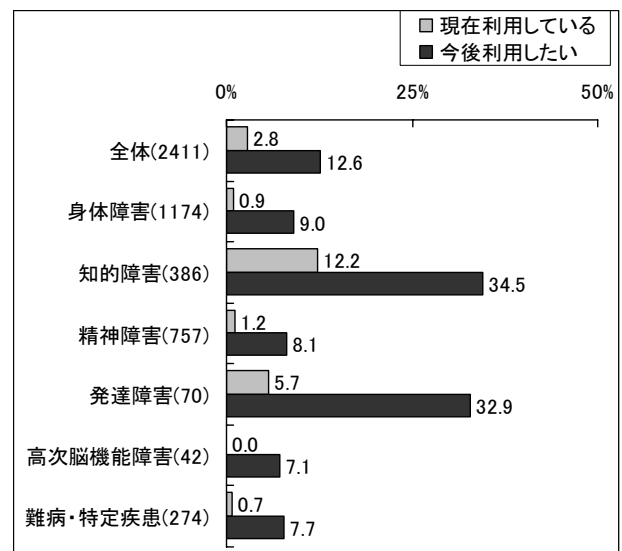
「現在利用している」が最も多いのは「共同生活援助」で2.8%となっています。「今後利用したい」は「福祉ホーム」が14.9%で最も多くなっています。



○施設入所支援

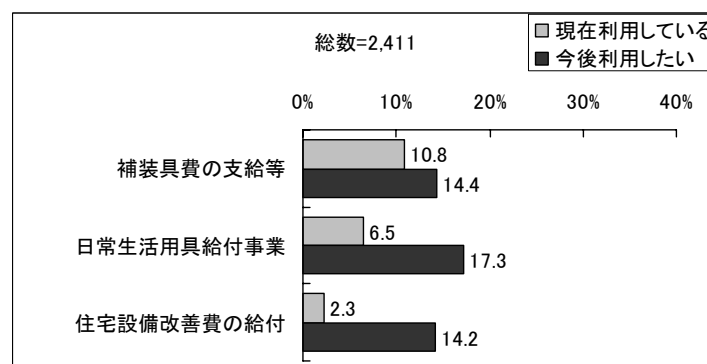


○共同生活援助 (グループホーム)



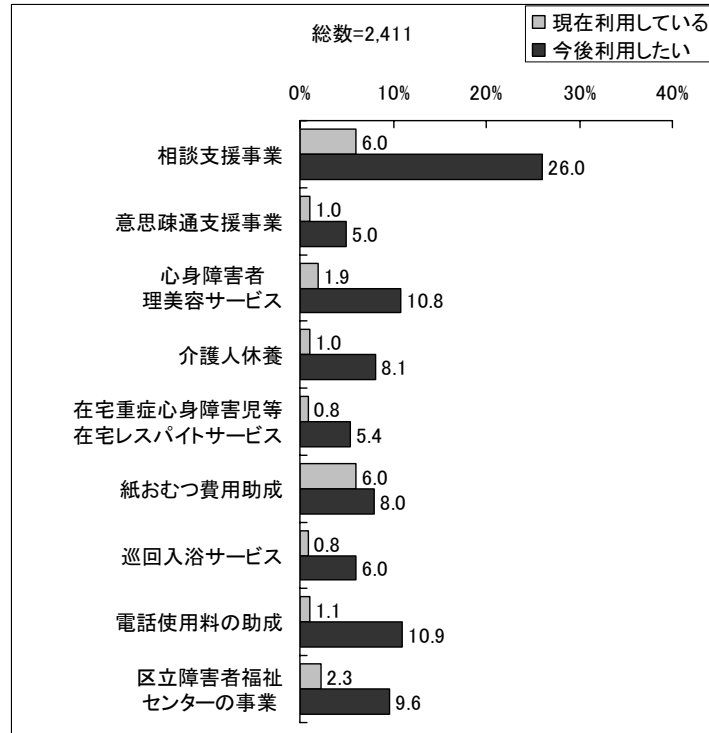
(7) 補装具費・日常生活用具・住宅設備改善

「現在利用している」が最も多いのは「補装具費の支給等」で10.8%となっています。「今後利用したい」は「日常生活用具給付事業」が17.3%で最も多くなっています。

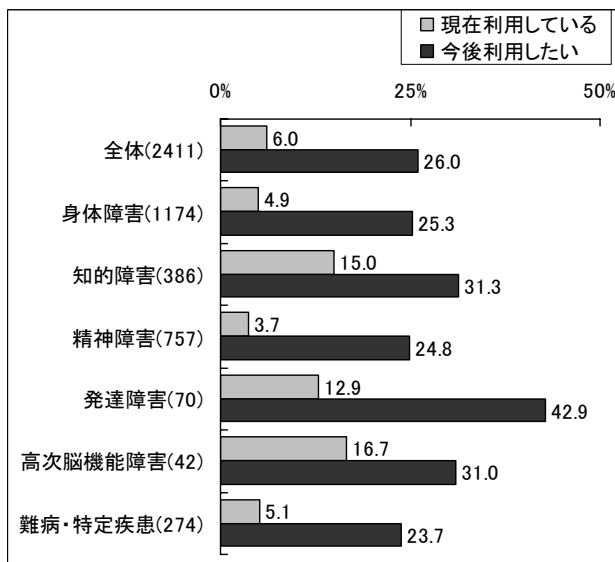


(8) 日常生活のサービス

「現在利用している」が最も多いのは「相談支援事業」と「紙おむつ費用助成」で6.0%となっています。「今後利用したい」は「相談支援事業」が26.0%で最も多くなっています。

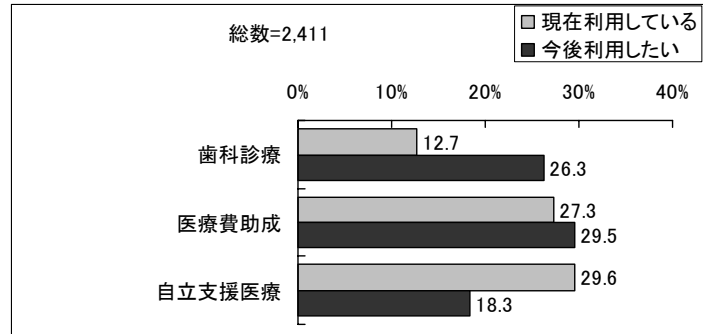


○相談支援事業



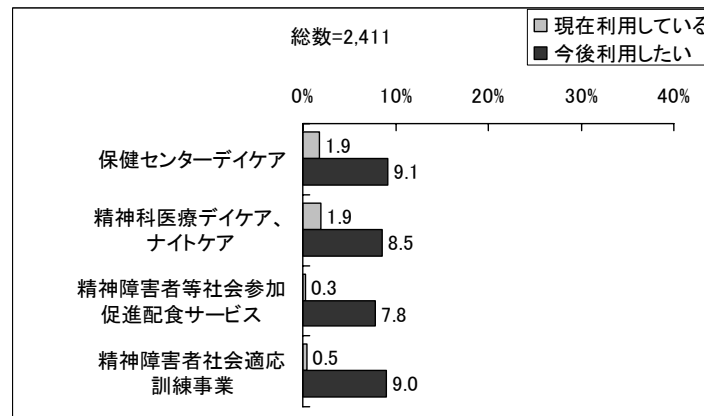
(9) 医療に関する支援

「現在利用している」が最も多いのは「自立支援医療」で29.6%となっています。「今後利用したい」は「医療費助成」が29.5%で最も多くなっています。また、「歯科診療」では、「今後利用したい」の割合が利用状況と比較して、かなり高くなっています。



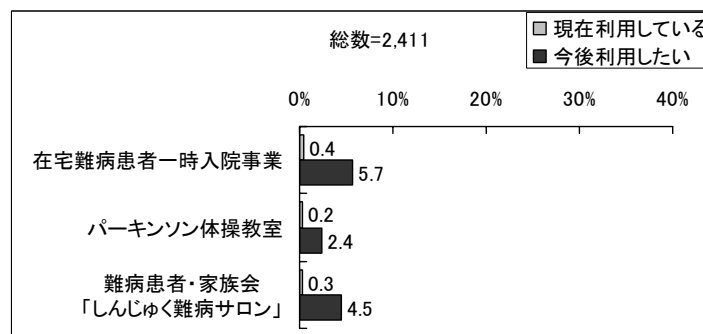
(10) 精神障害者を対象とした支援

いずれのサービスも「現在利用している」は2%未満ですが、「今後利用したい」は7～9%台となっています。



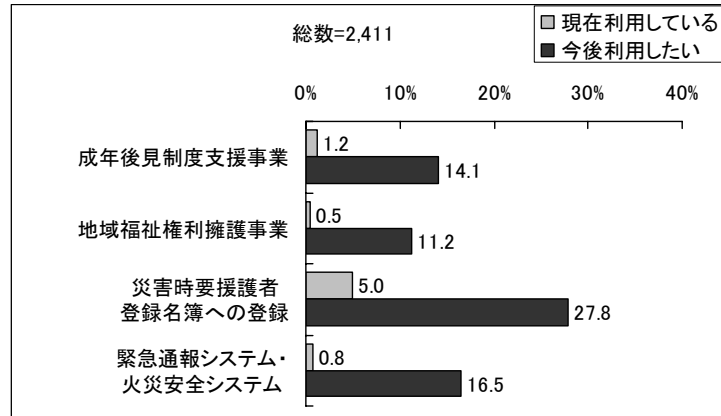
(11) 難病患者に関する支援

「今後利用したい」が最も多かったのは「在宅難病患者一時入院事業」で5.7%となっています。



(12) 災害や将来への備え

「現在利用している」が最も多かったのは「災害時要援護者登録名簿への登録」で5.0%となっています。「今後利用したい」も「災害時要援護者登録名簿への登録」が最も多く、27.8%となっています。

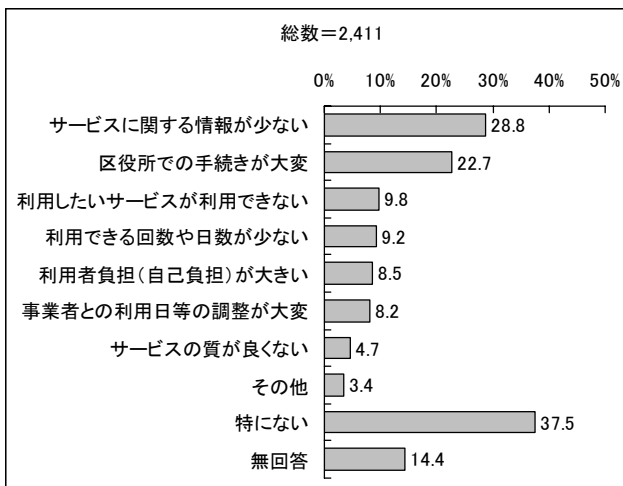


問35 あなたには、サービス利用に関して困っていることがありますか。

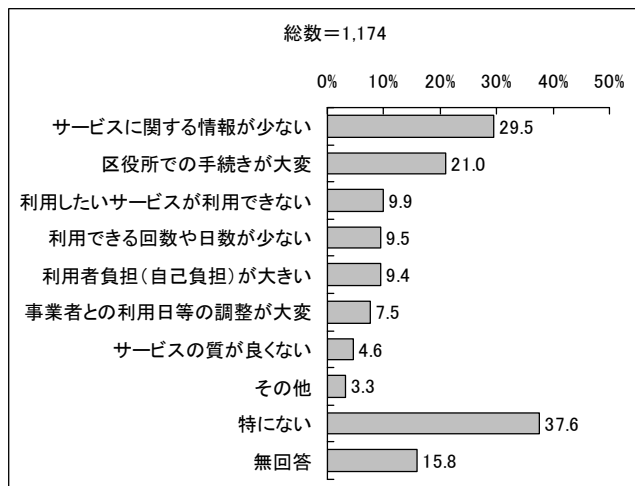
(〇はいくつでも)

全体では「サービスに関する情報が少ない」が28.8%と最も多く、次いで「区役所での手続きが大変」が22.7%、「利用したいサービスが利用できない」が9.8%などとなっています。一方、「特にない」は37.5%となっています。障害別に見ると、知的障害では「区役所での手続きが大変」がやや多く、高次脳機能障害、発達障害では「サービスに関する情報が少ない」が特に多くなっています。

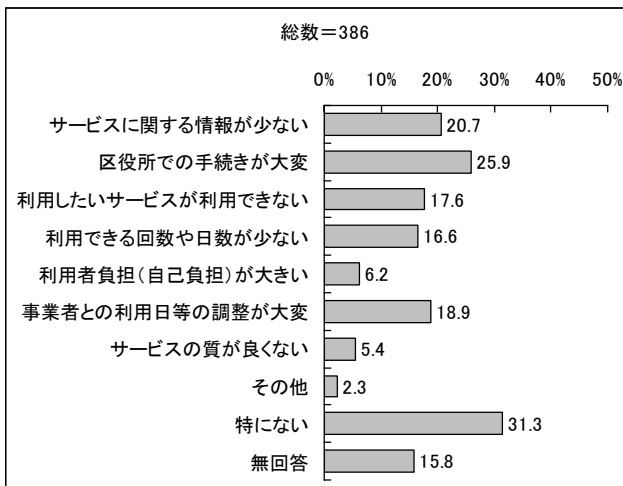
■全体



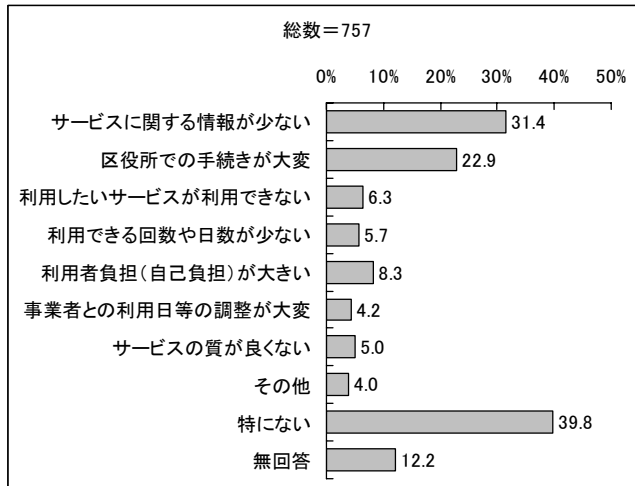
■身体障害



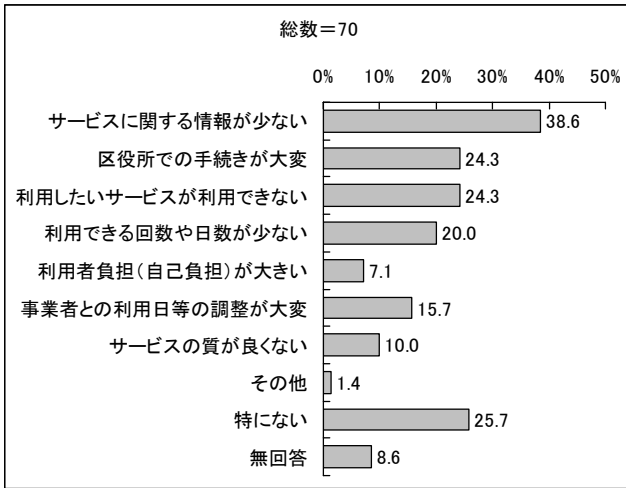
■知的障害



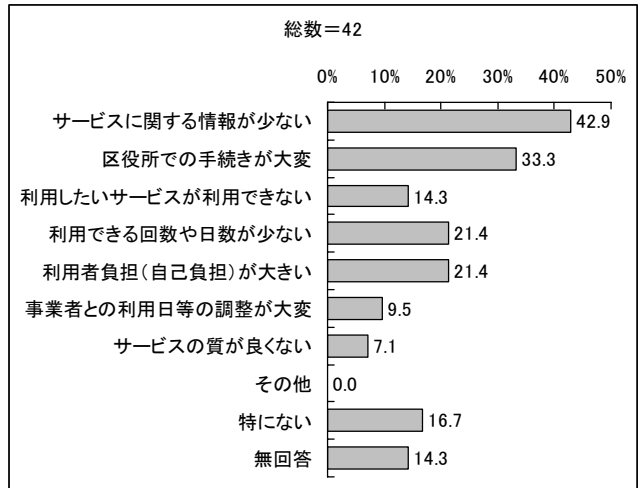
■精神障害



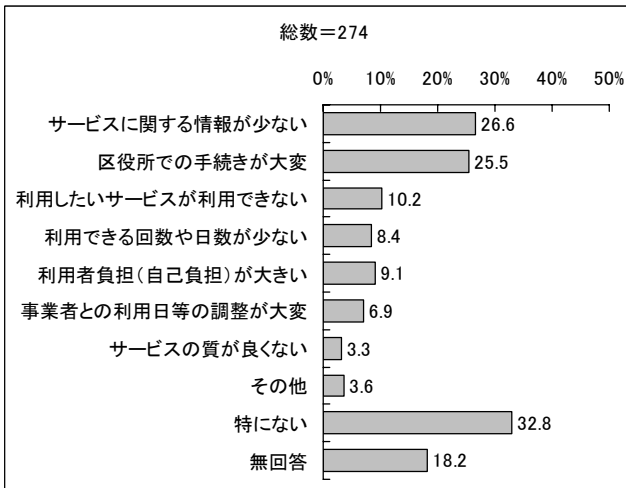
■発達障害



■高次脳機能障害



■難病・特定疾患

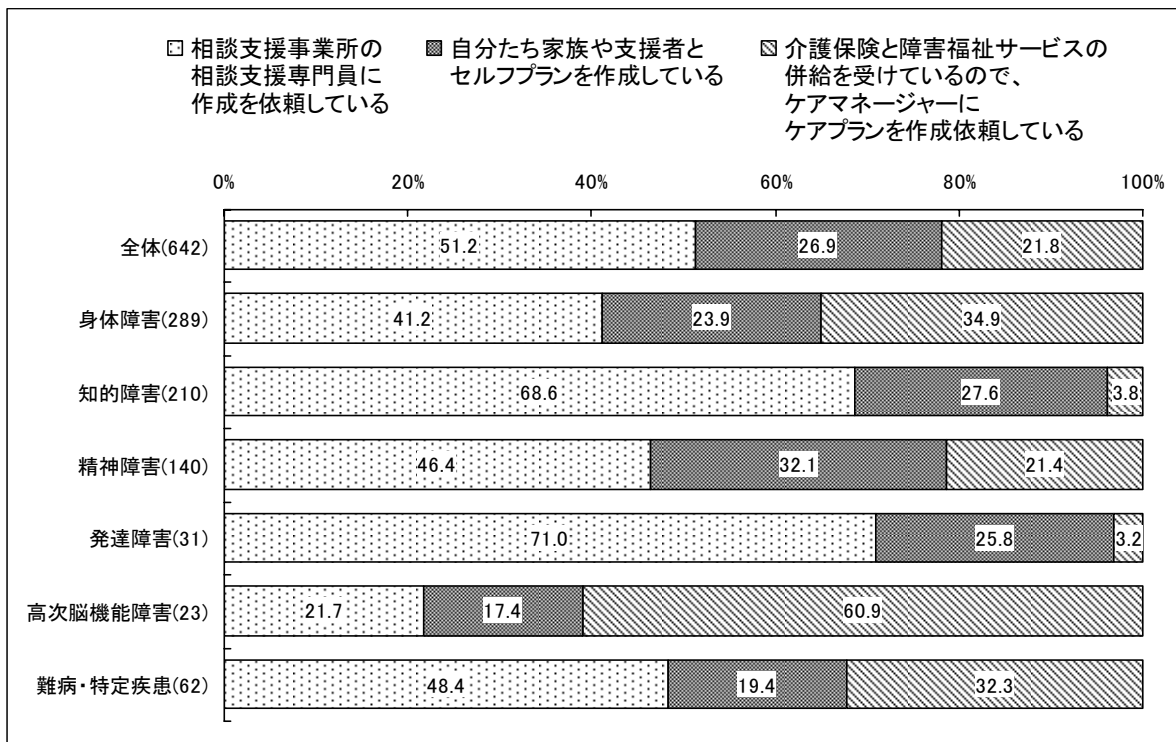


問36 **障害福祉サービスを利用している方にお聞きします。**

サービス等利用計画について、現状を教えてください。

(〇はひとつ)

全体では「相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している」が51.2%と最も多く、次いで「自分たち家族や支援者とセルフプランを作成している」が26.9%、「介護保険と障害福祉サービスの併給を受けているので、ケアマネージャーにケアプランを作成依頼している」が21.8%となっています。障害別に見ると、知的障害、発達障害では「相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している」、高次脳機能障害では「介護保険と障害福祉サービスの併給を受けているので、ケアマネージャーにケアプランを作成依頼している」が特に多くなっています。

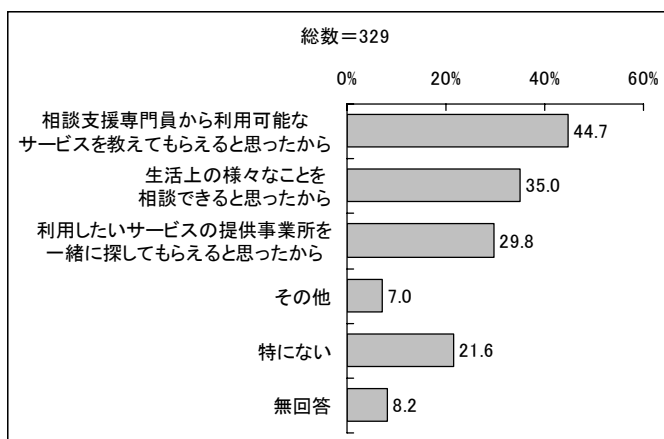


※無回答を除く

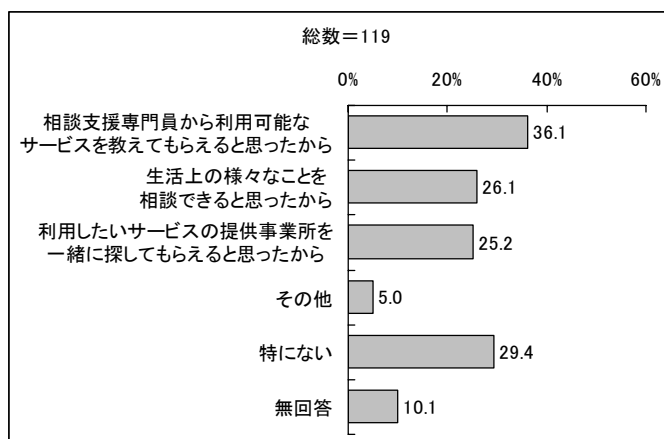
問37 問36 で「1 相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している」と回答した方にお聞きします。サービス等利用計画を作成しようとした理由は何ですか（〇はいくつでも）

全体では「相談支援専門員から利用可能なサービスを教えてもらえると思ったから」が44.7%と最も多く、次いで「生活上の様々なことを相談できると思ったから」が35.0%、「利用したいサービスの提供事業所と一緒に探してもらえと思ったから」が29.8%となっています。一方、「特にない」は21.6%となっています。

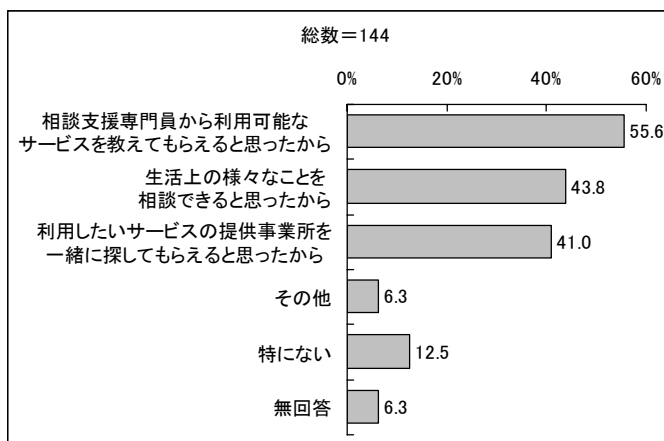
■全体



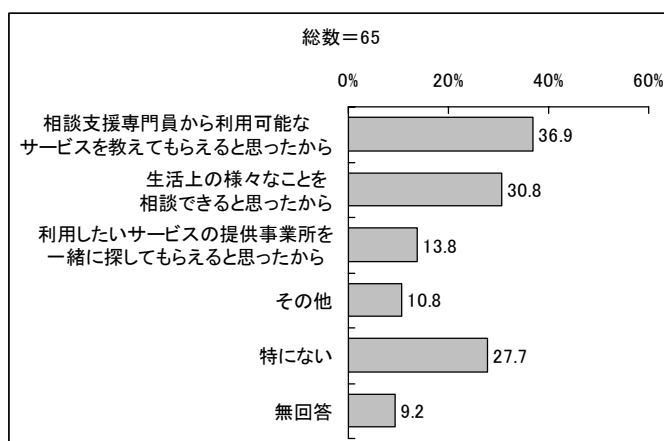
■身体障害



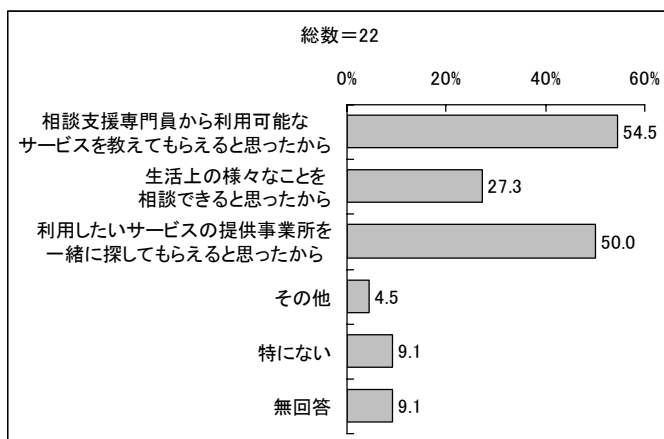
■知的障害



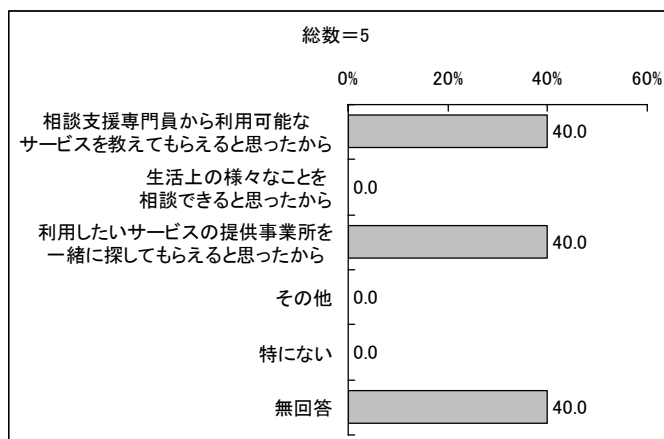
■精神障害



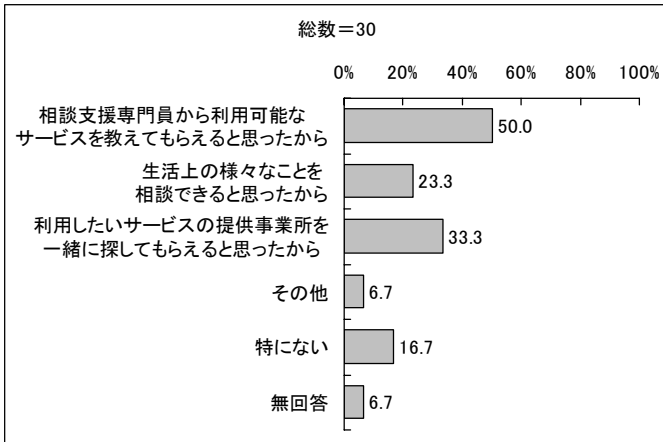
■発達障害



■高次脳機能障害



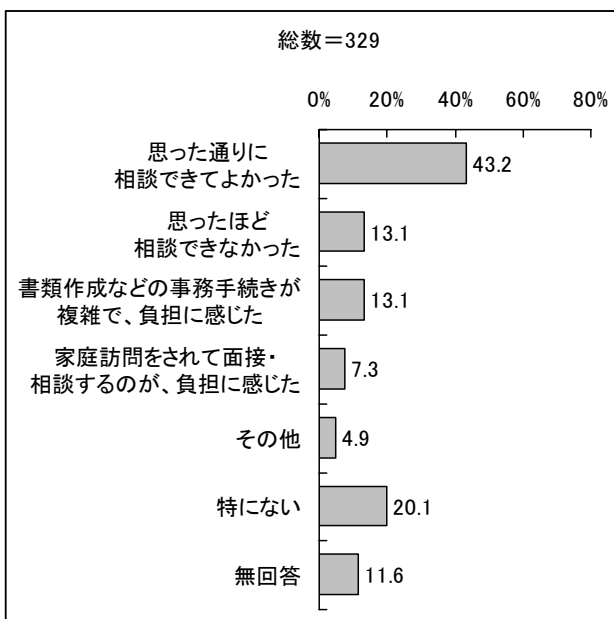
■難病・特定疾患



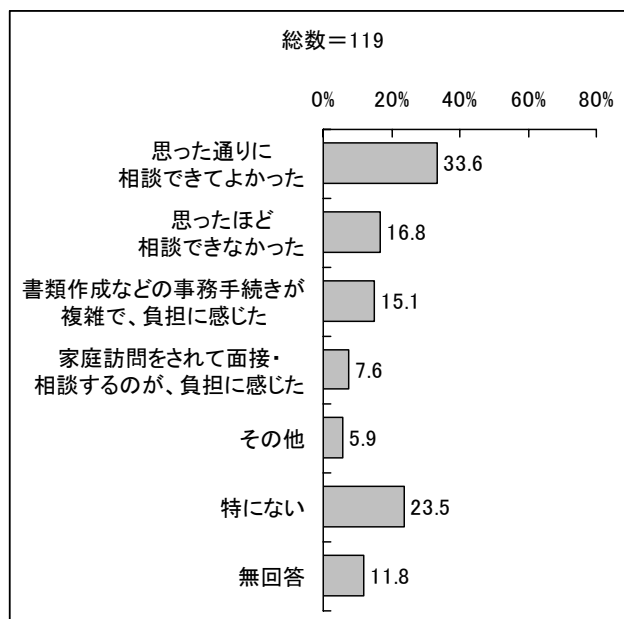
問38 問36 で「1 相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している」と回答した方にお聞きします。サービス等利用計画を作成してみて実際はいかがでしたか（〇はいくつでも）

全体では「思った通りに相談できてよかった」が43.2%と最も多く、次いで「思ったほど相談できなかった」と「書類作成などの事務手続きが複雑で、負担に感じた」が13.1%、「家庭訪問をされて面接・相談するのが、負担に感じた」が7.3%となっています。一方、「特にない」は20.1%となっています。障害別に見ると、知的障害では「思った通りに相談できてよかった」が比較的多くなっています

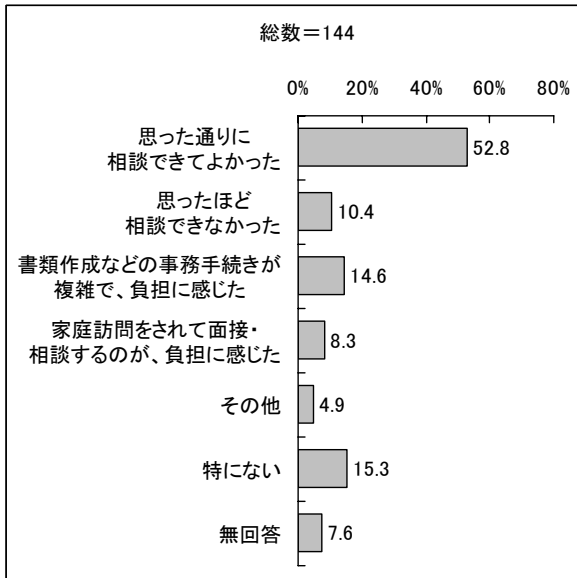
■全体



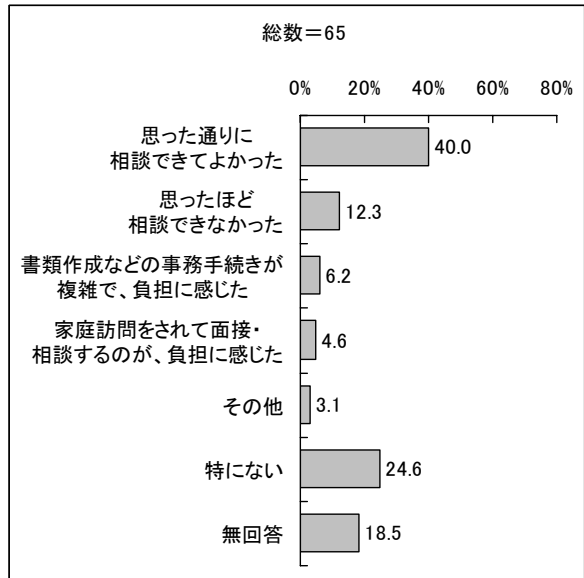
■身体障害



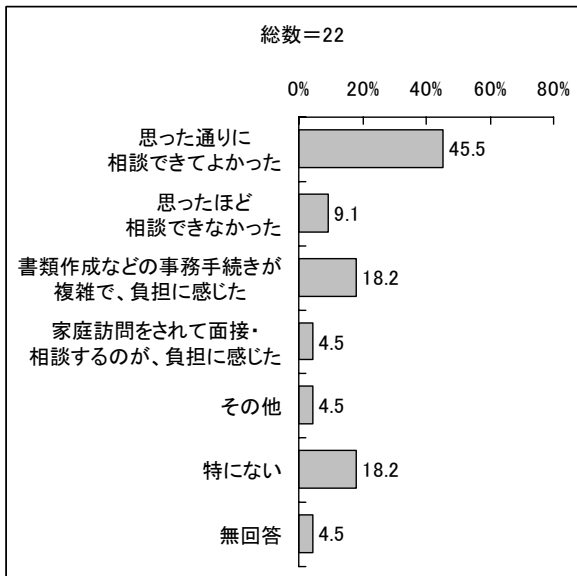
知的障害



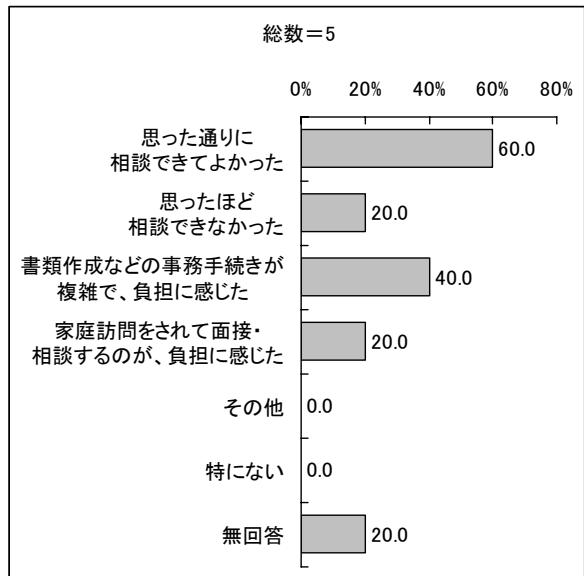
精神障害



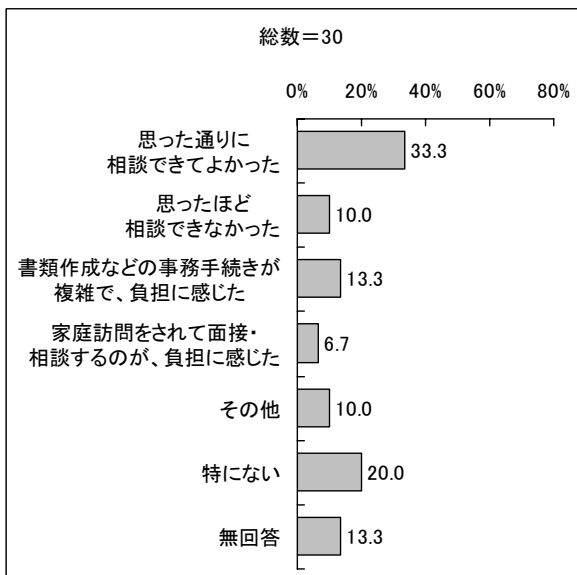
発達障害



高次脳機能障害



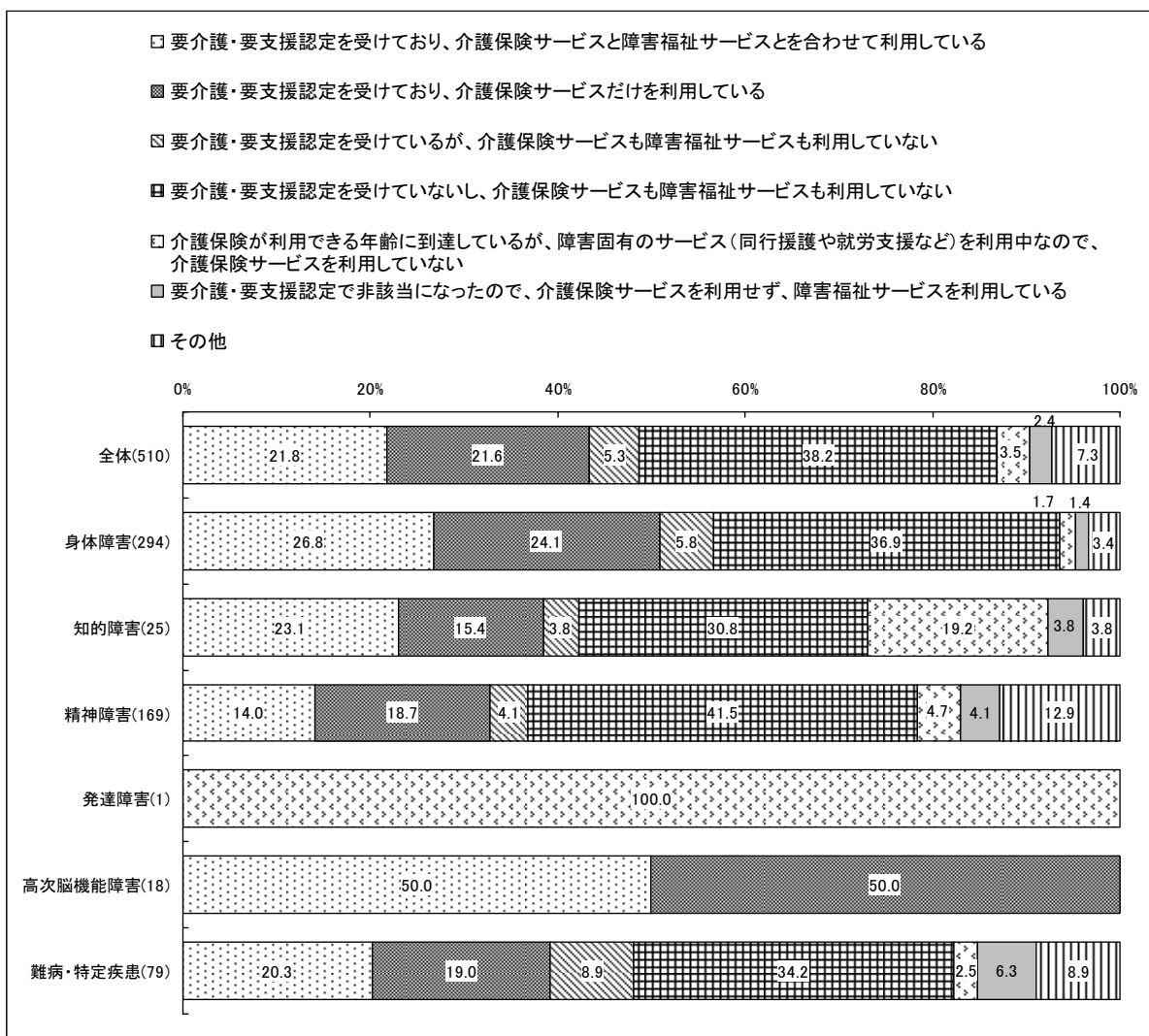
難病・特定疾患



問39 65歳以上の方（40～64歳で特定疾病の方を含みます）にお聞きします。

（○はひとつ）

全体では「要介護・要支援認定を受けていないし、介護保険サービスも障害福祉サービスも利用していない」が38.2%で最も多く、次いで「要介護・要支援認定を受けており、介護保険サービスと障害福祉サービスとを合わせて利用している」が21.8%、「要介護・要支援認定を受けており、介護保険サービスだけを利用している」が21.6%、「要介護・要支援認定を受けており、介護保険サービスだけを利用している」が21.6%などとなっています。障害別に見ると、高次脳機能障害では介護保険サービスを利用している人の割合が高くなっています。



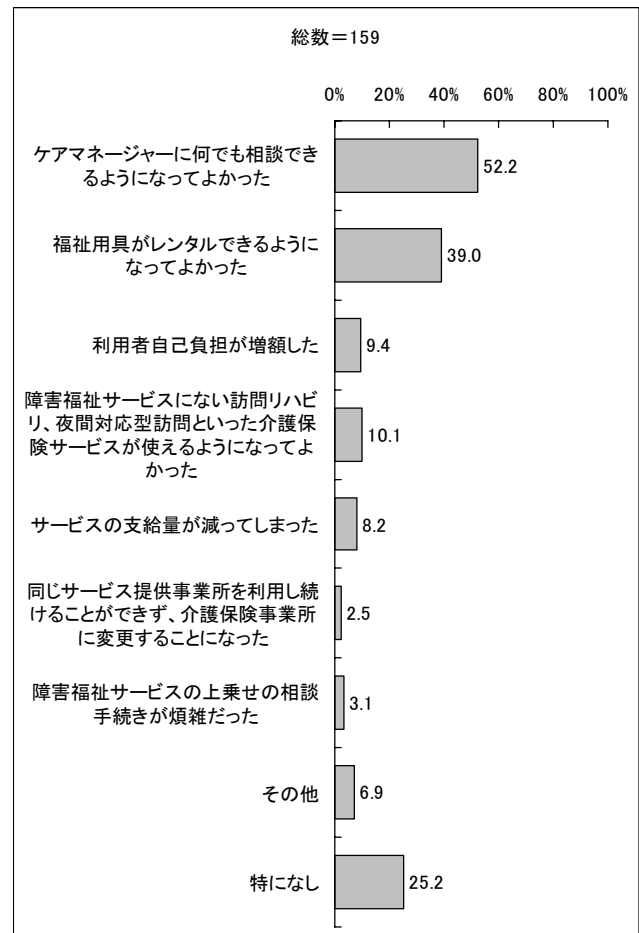
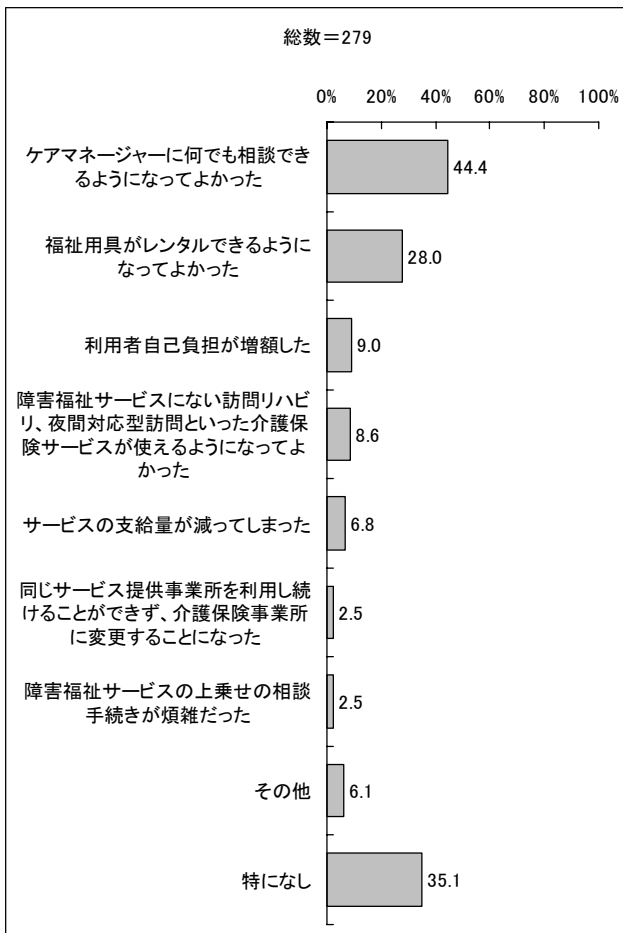
※無回答を除く

問40 65歳以上の方（40～64歳で特定疾病の方を含みます）で、以前は障害福祉サービスを利用し、現在は介護保険サービスを利用中の方にお聞きします。
サービス利用に関してどんなことがありましたか（〇はいくつでも）

全体では「ケアマネージャーに何でも相談できるようになってよかった」が44.4%と最も多く、次いで「福祉用具がレンタルできるようになってよかった」が28.0%、「利用者自己負担が増額した」が9.0%などとなっています。

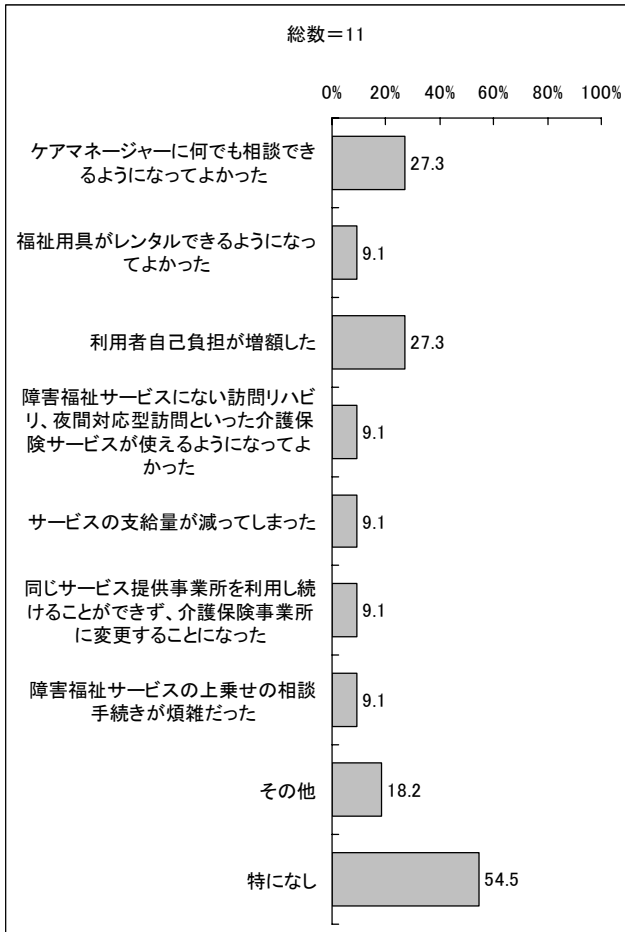
■全体

■身体障害

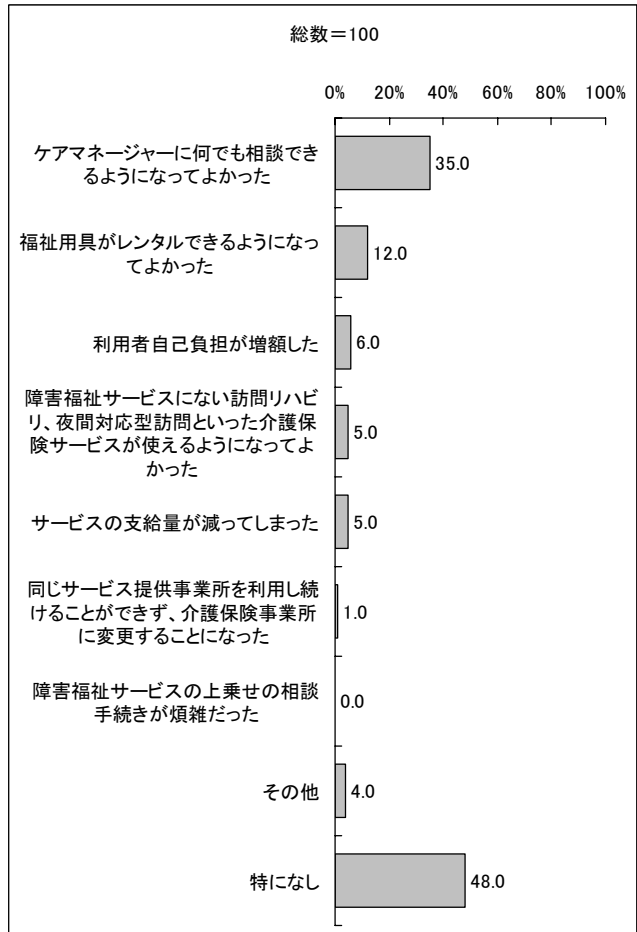


※無回答を除く(問40全て)

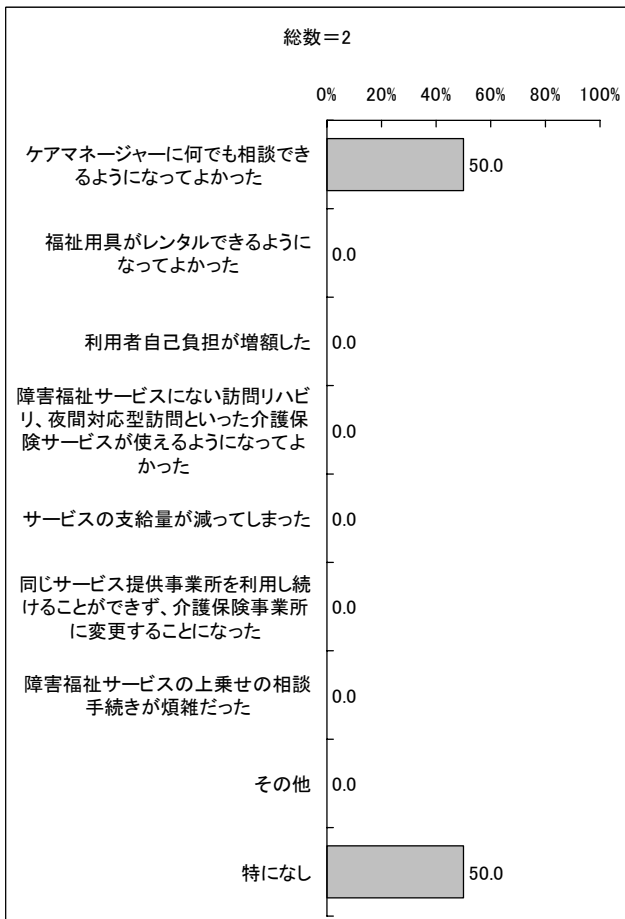
知的障害



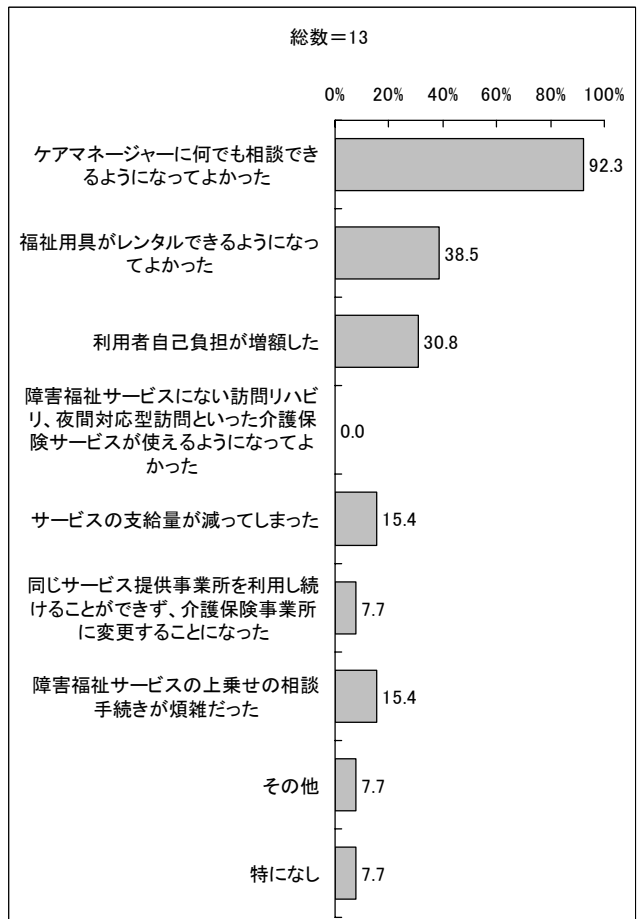
精神障害



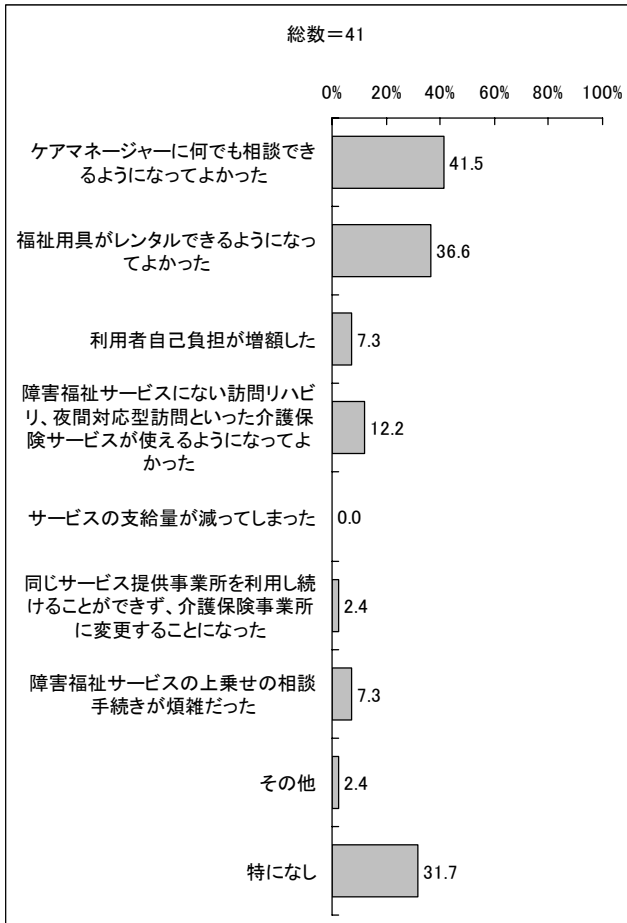
発達障害



高次脳機能障害



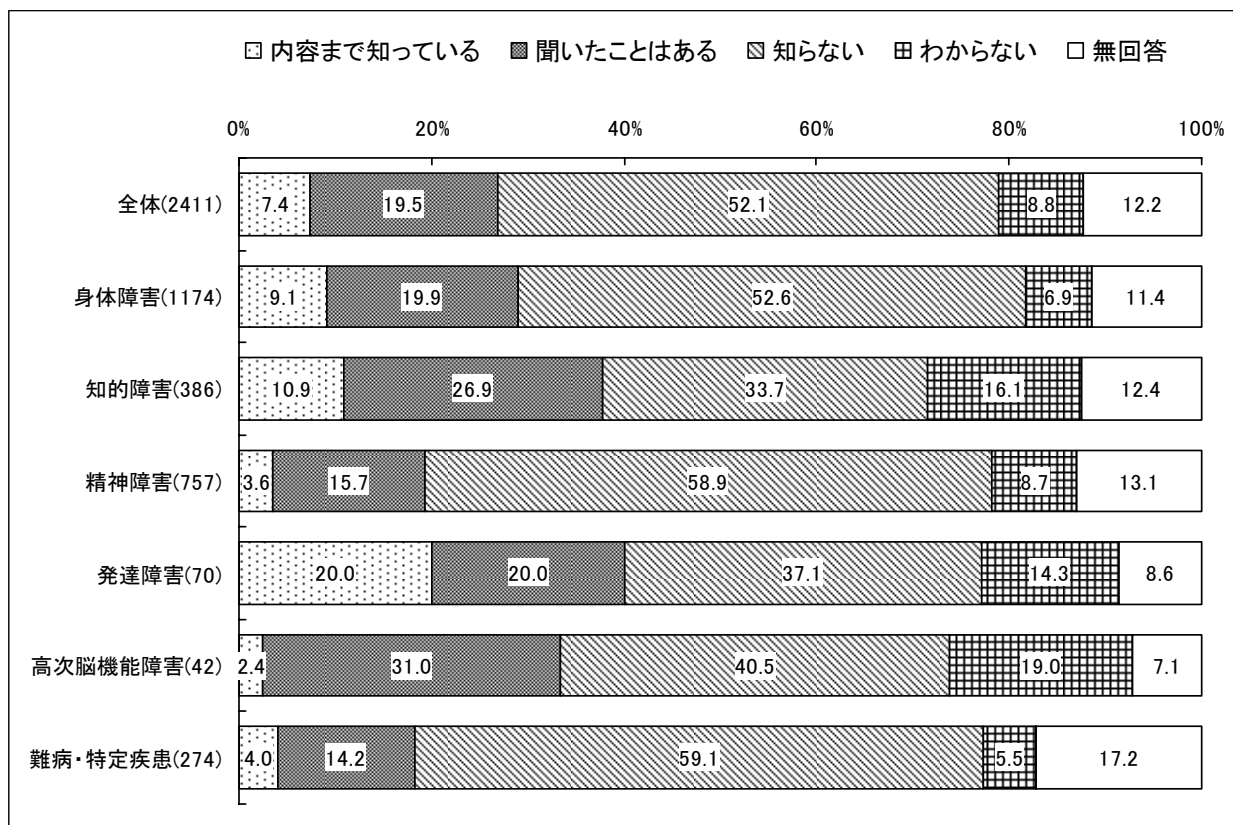
■難病・特定疾患



7 権利擁護について

問41 障害者差別解消法が平成28年4月1日に施行（運用開始）されたことを知っていますか。（○はひとつ）

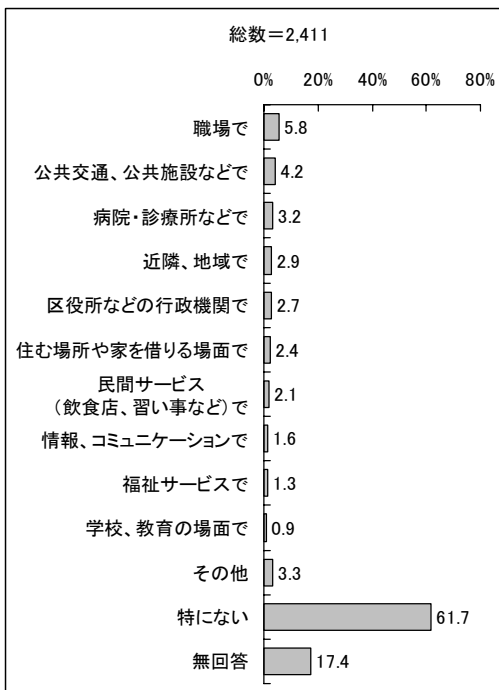
全体では「知らない」が52.1%と最も多く、「聞いたことはある」が19.5%、「内容まで知っている」が7.4%、「わからない」は8.8%となっています。障害別に見ると、発達障害では「内容まで知っている」がやや多く、精神障害、難病・特定疾患では「知らない」が多くなっています。



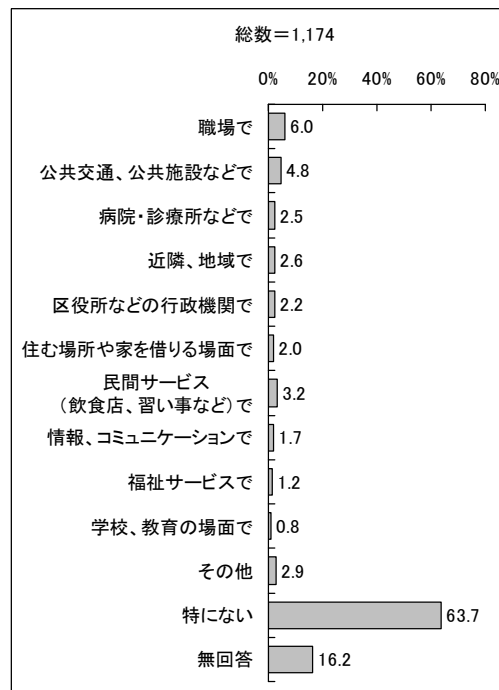
問42 あなたは最近3年間で、障害があることが原因で、差別とを感じる取扱いを受けた経験がありますか。あてはまる場面の番号を【 】内に記入し、
 内に具体的な内容をご記入ください。(3つまで)

全体では「職場で」が5.8%と最も多く、次いで「公共交通、公共施設などで」が4.2%、「病院・診療所などで」が3.2%などとなっています。一方、「特にない」は61.7%となっています。障害別に見ると、発達障害では「職場で」、高次脳機能障害では「公共交通、公共施設などで」がやや多くなっています。

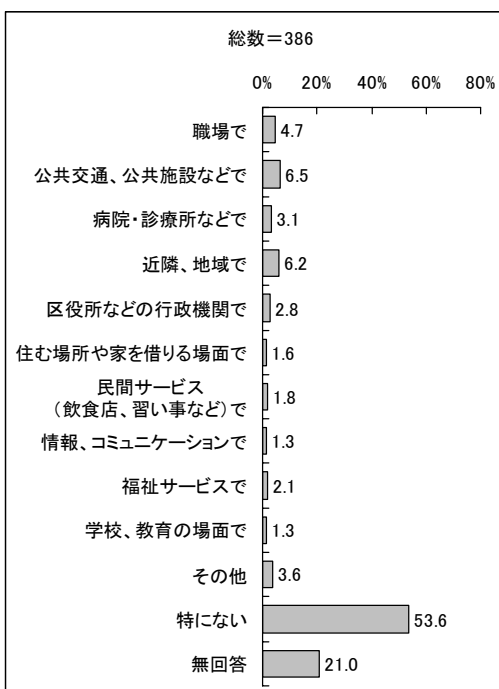
■全体



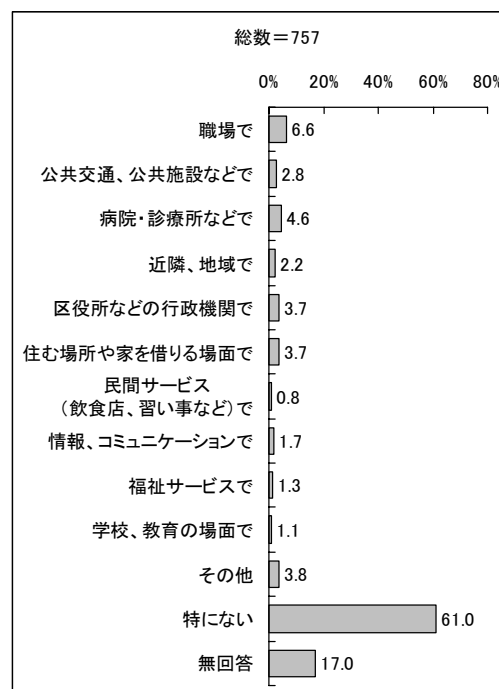
■身体障害



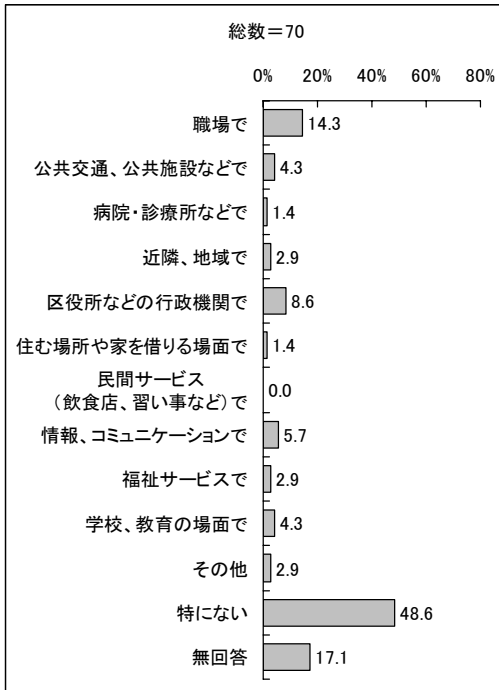
■知的障害



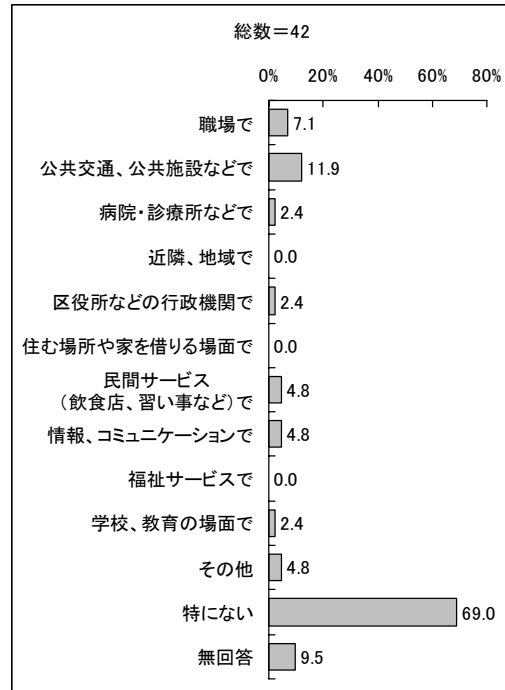
■精神障害



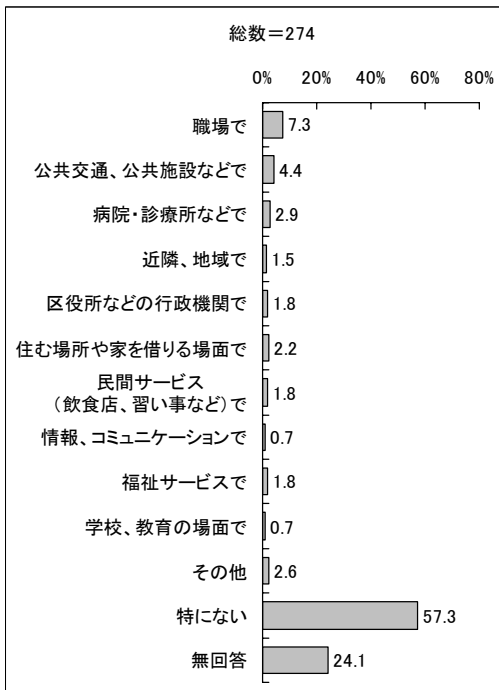
■発達障害



■高次脳機能障害



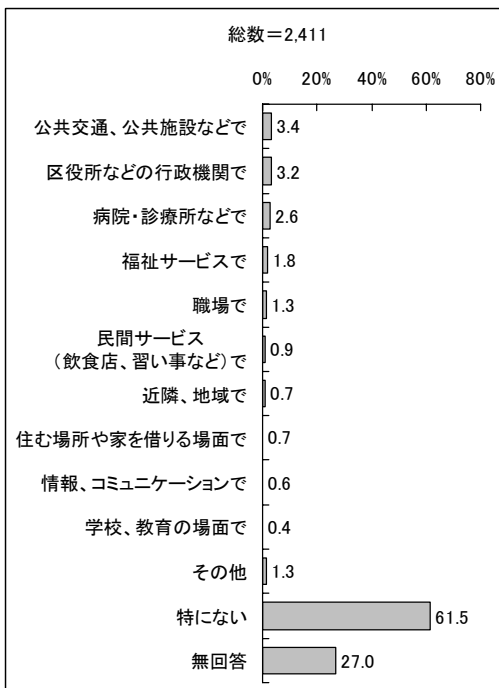
■難病・特定疾患



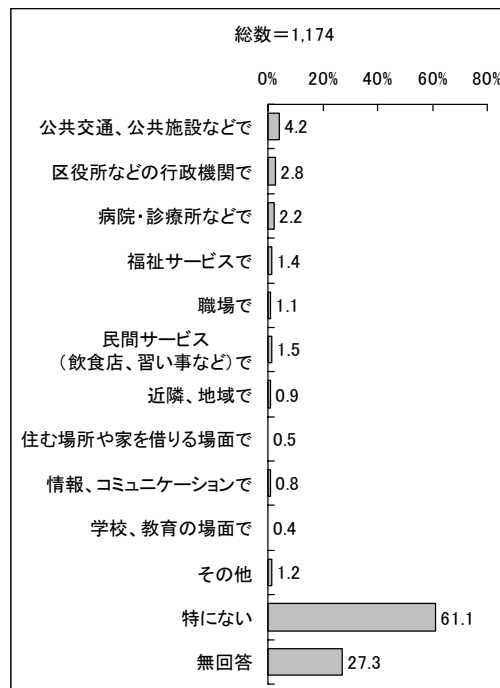
問43 あなたが、平成28年4月の障害者差別解消法の施行と関連して障害者への配慮として良いと思ったこと、配慮があって助かったこと、改善されたと感じたことはありますか。あてはまる場面の番号を【 】内に記入し、
 内に具体的な内容をご記入ください。(3つまで)

全体では「公共交通、公共施設などで」が3.4%と最も多く、次いで「区役所などの行政機関で」が3.2%、「病院・診療所などで」が2.6%などとなっています。一方、「特にない」は61.5%となっています。

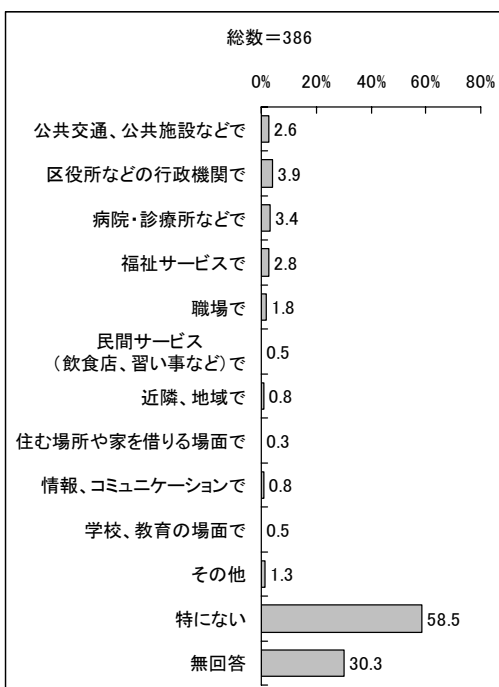
■全体



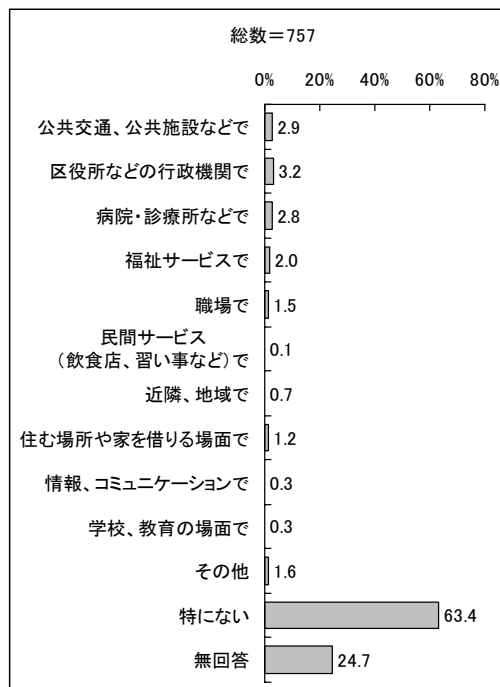
■身体障害



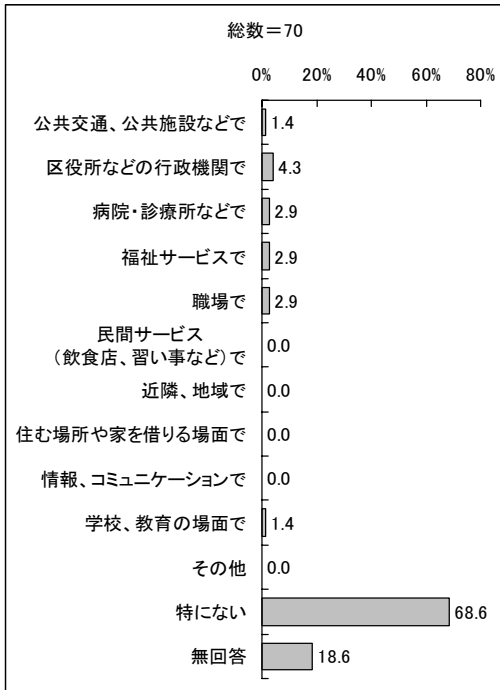
■知的障害



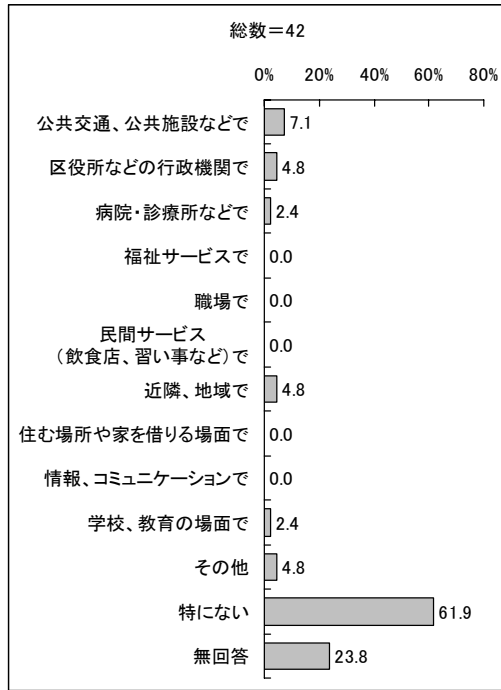
■精神障害



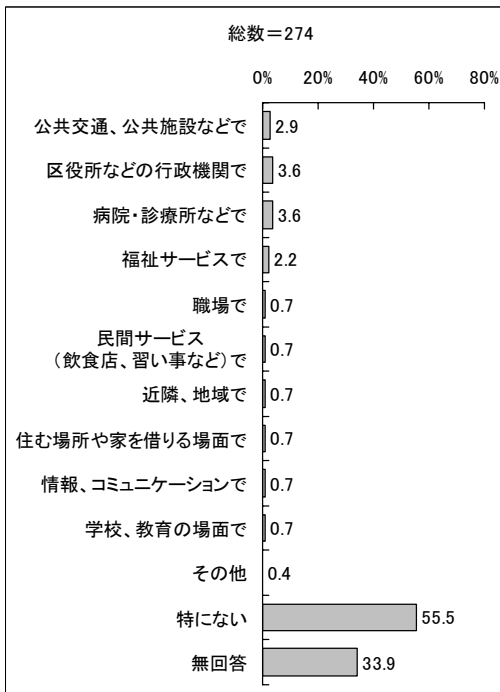
■発達障害



■高次脳機能障害



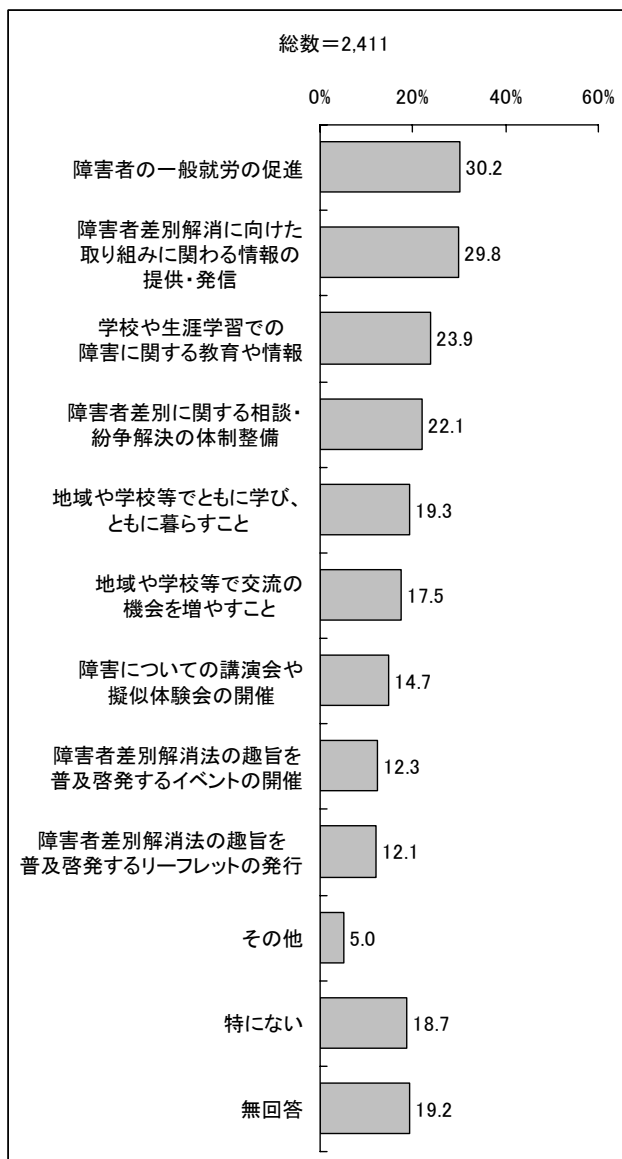
■難病・特定疾患



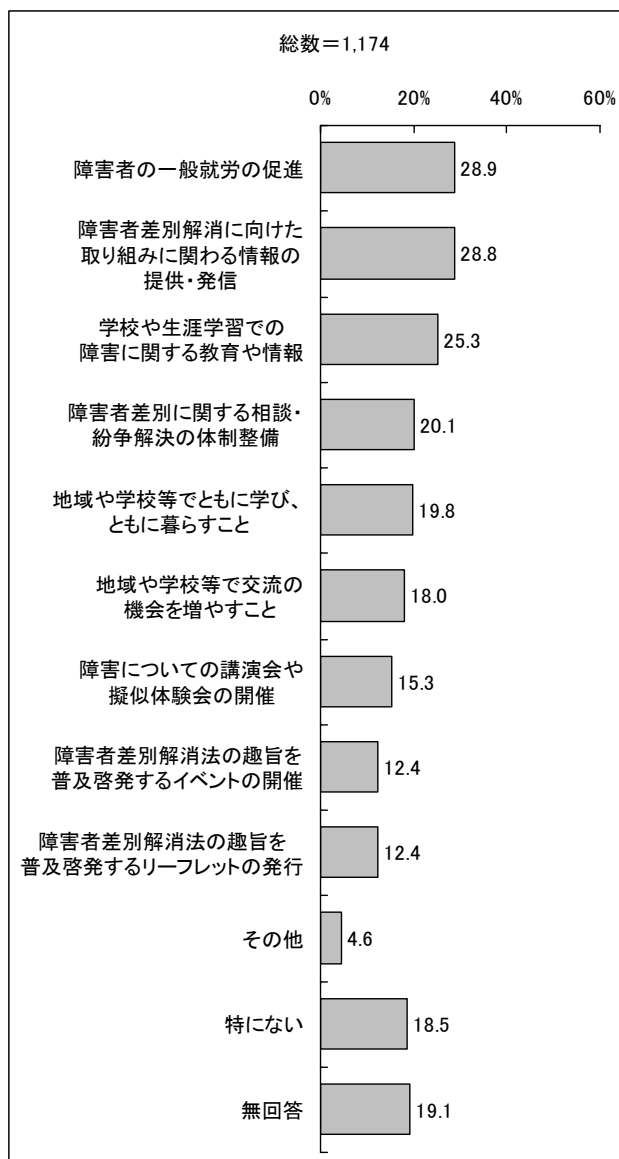
問44 障害者差別の解消を推進するために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では「障害者の一般就労の促進」が30.2%と最も多く、次いで「障害者差別解消に向けた取り組みに関わる情報の提供・発信」が29.8%、「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報」が23.9%などとなっています。障害別に見ると、発達障害では「障害者の一般就労の促進」が特に多くなっています。

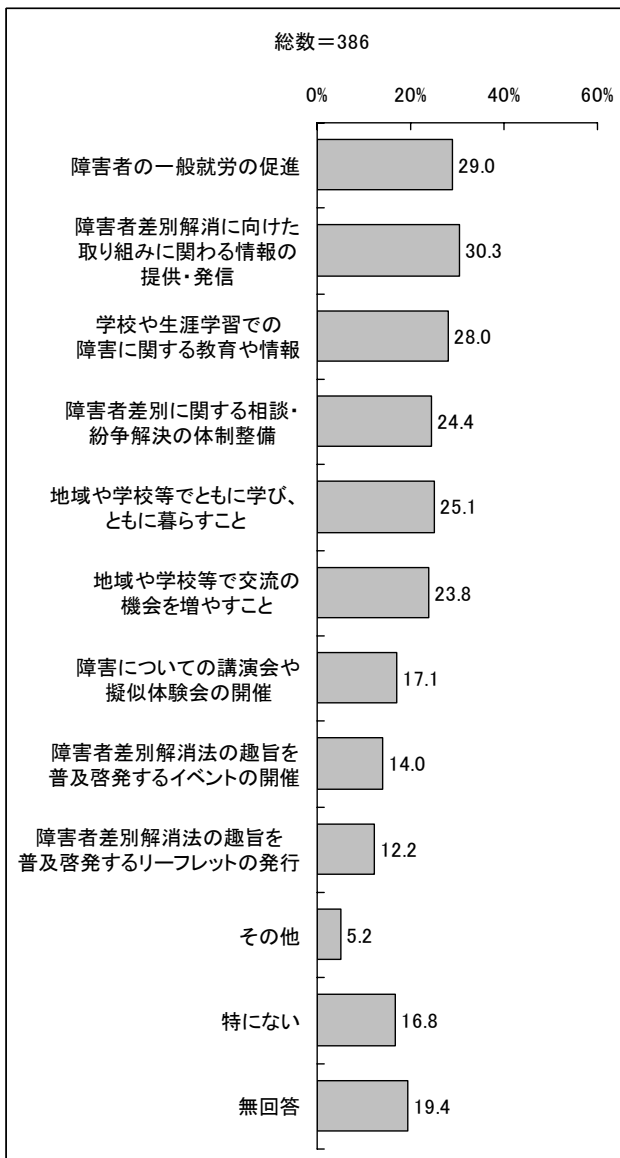
■全体



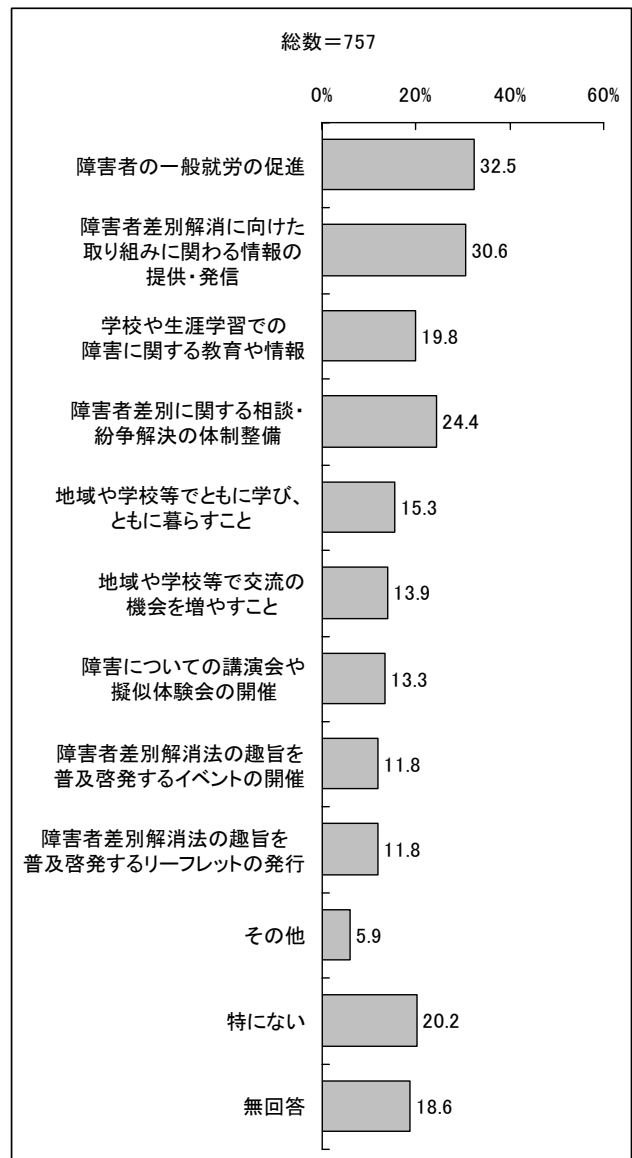
■身体障害



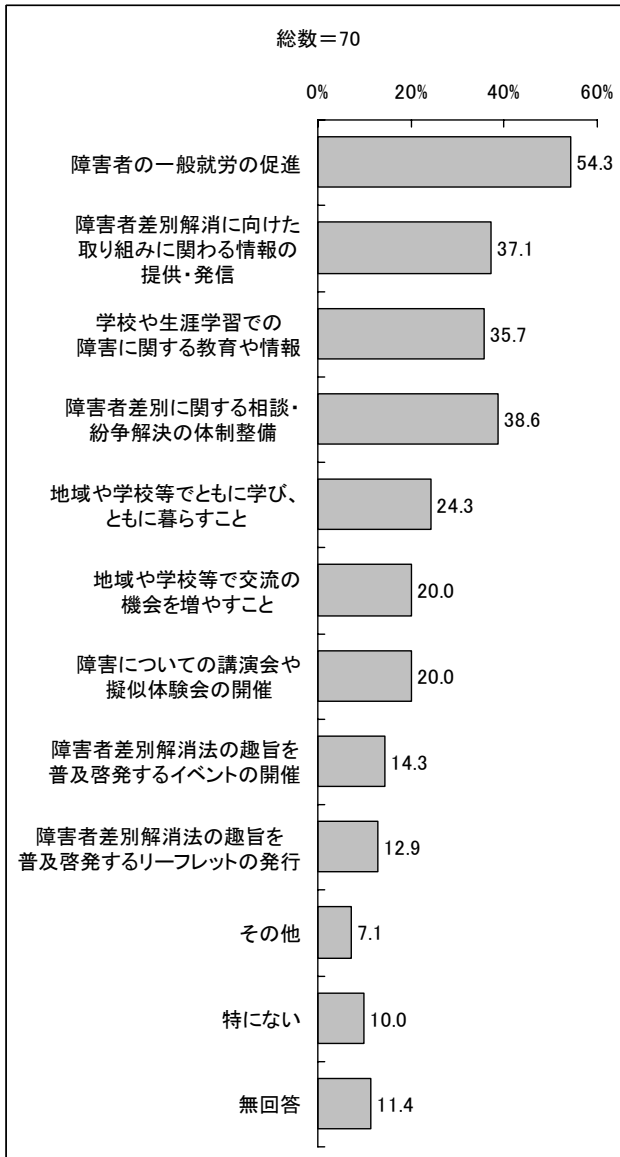
知的障害



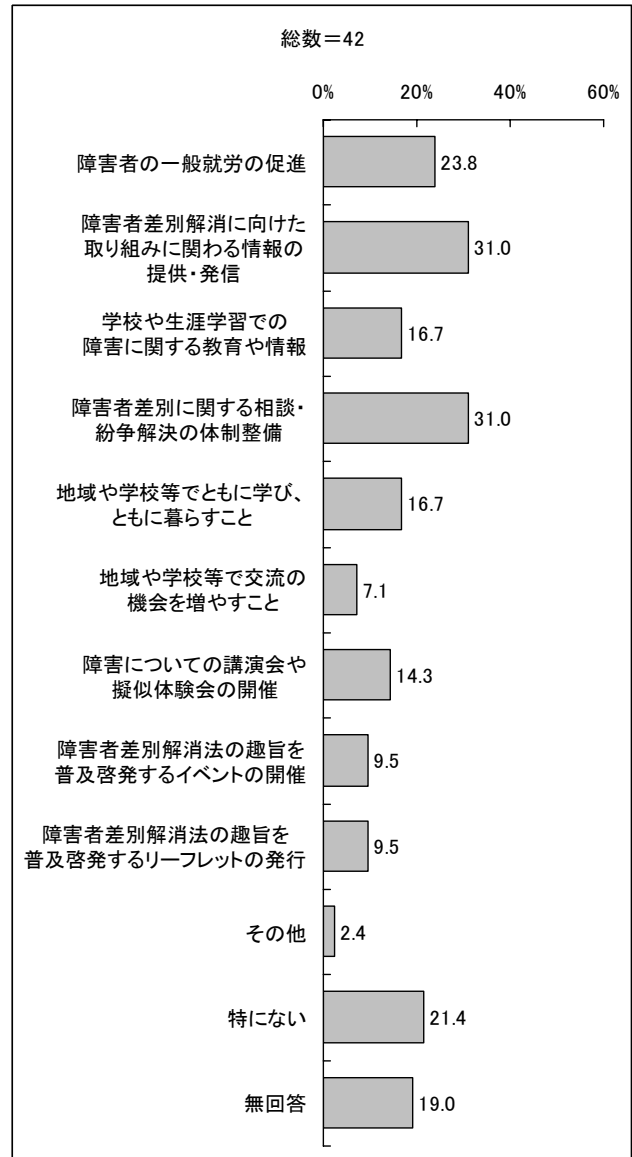
精神障害



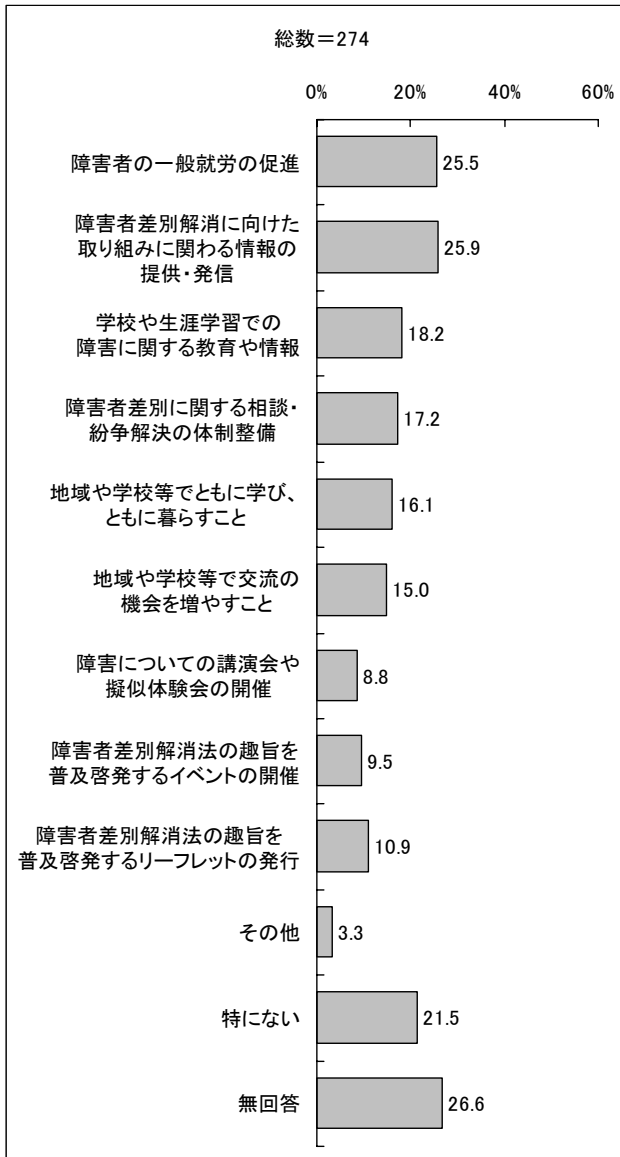
■発達障害



■高次脳機能障害



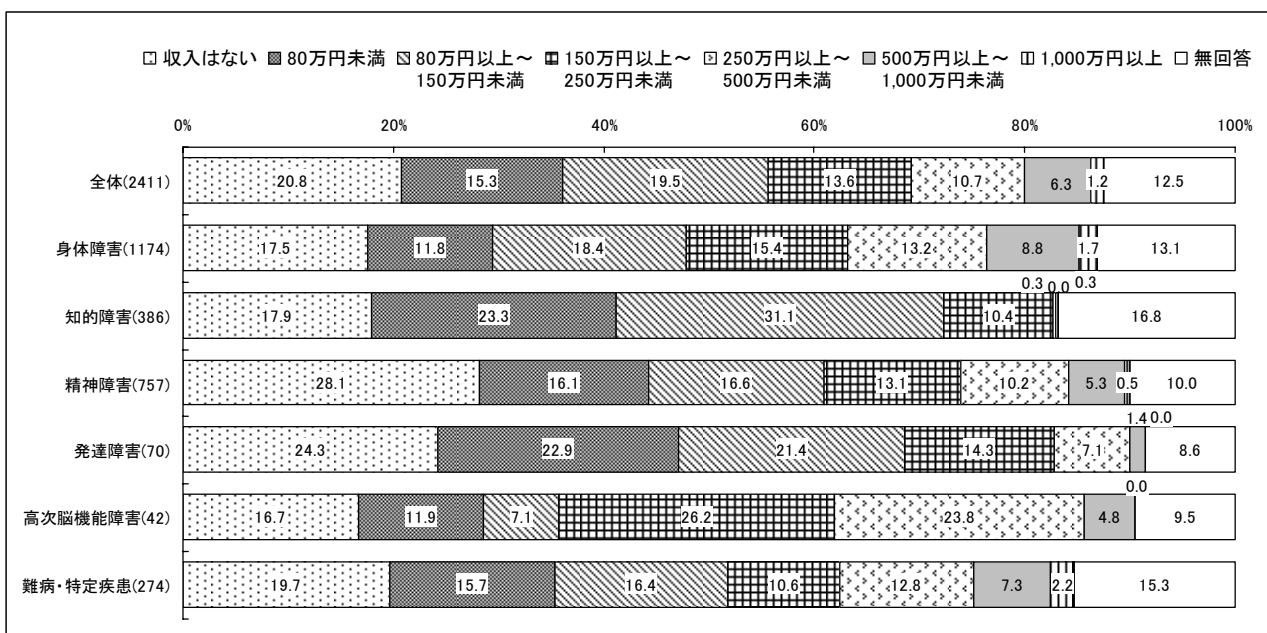
■難病・特定疾患



8 収入について

問45 あなたご本人の年収額をお聞きします。税金等を差し引く前の額でお答えください。(〇はひとつ)

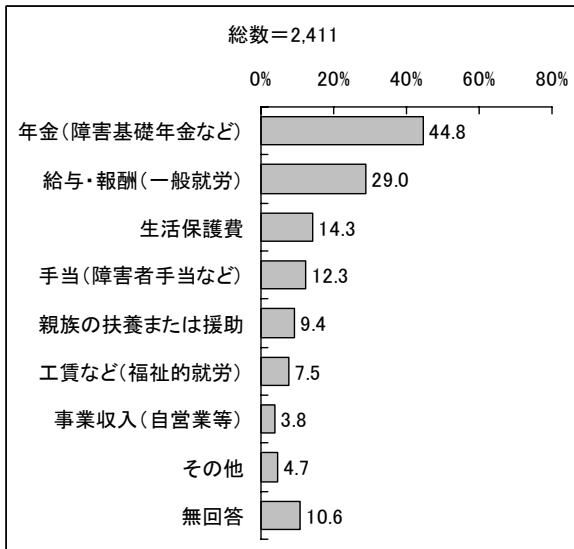
全体では「収入はない」が20.8%と最も多く、次いで「80万円以上～150万円未満」が19.5%、「80万円未満」が15.3%などとなっています。障害別に見ると、精神障害、発達障害では「収入はない」がやや多く、知的障害、発達障害では「収入はない」から「150万円以上～250万円未満」までを合わせた『250万円未満』と回答した人の割合が、8割を超えています。



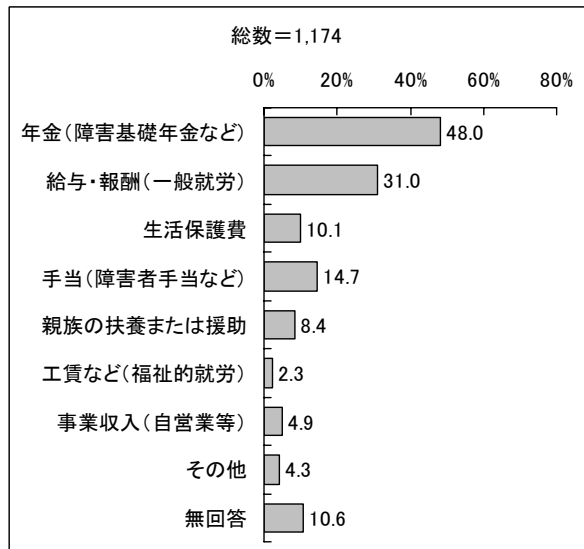
問46 あなたご本人の主な収入の内訳をお聞きます。(〇は2つまで)

全体では「年金（障害年金など）」が 44.8%と最も多く、次いで「給与・報酬（一般就労）」が 29.0%、「生活保護費」が 14.3%などとなっています。障害別に見ると、知的障害、発達障害では「工賃（福祉的就労）」が多くなっています。

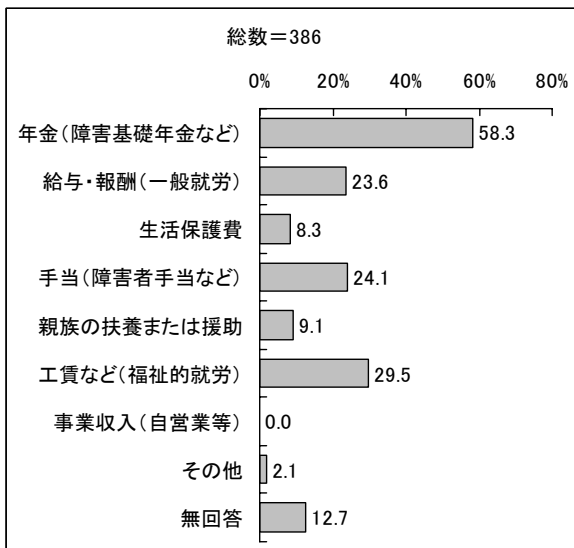
■全体



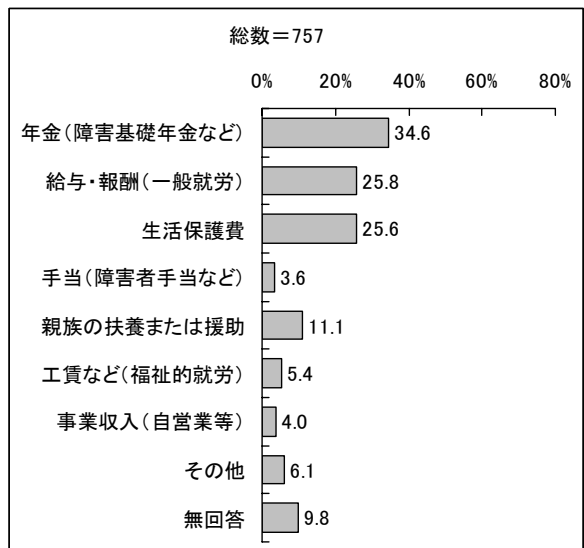
■身体障害



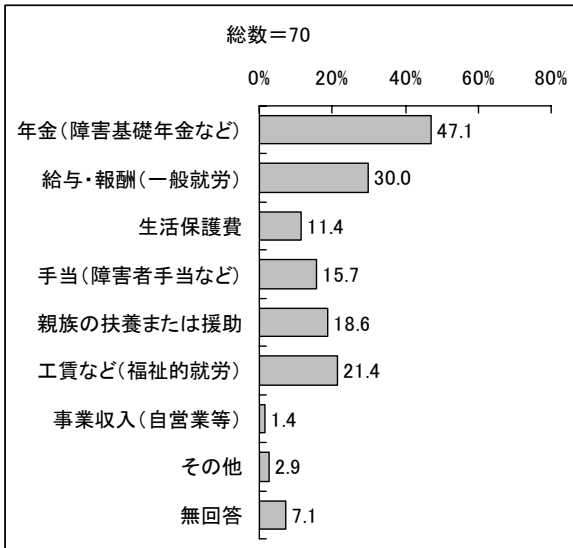
■知的障害



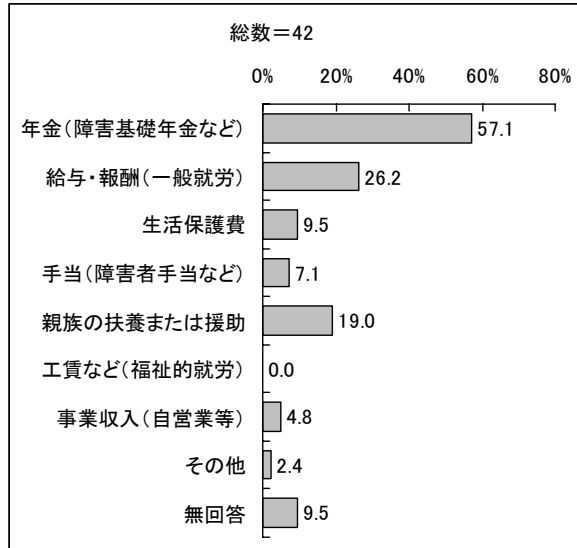
■精神障害



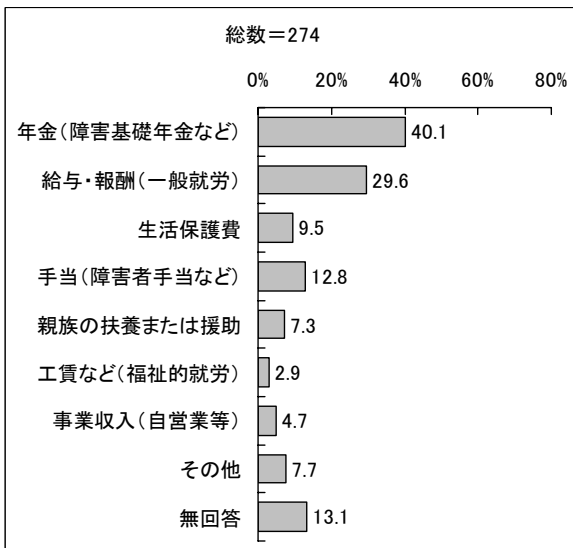
■発達障害



■高次脳機能障害



■難病・特定疾患



主な収入の内訳と年齢

年代別の結果を見ると、「18～39歳」と「40～64歳」では「給与・報酬（一般就労）」、「65～74歳」と「75歳以上」では「年金（障害基礎年金など）」が多くなっています。その他、「18～39歳」では「工賃など（福祉的就労）」、「65～74歳」では「生活保護費」がやや多くなっています。

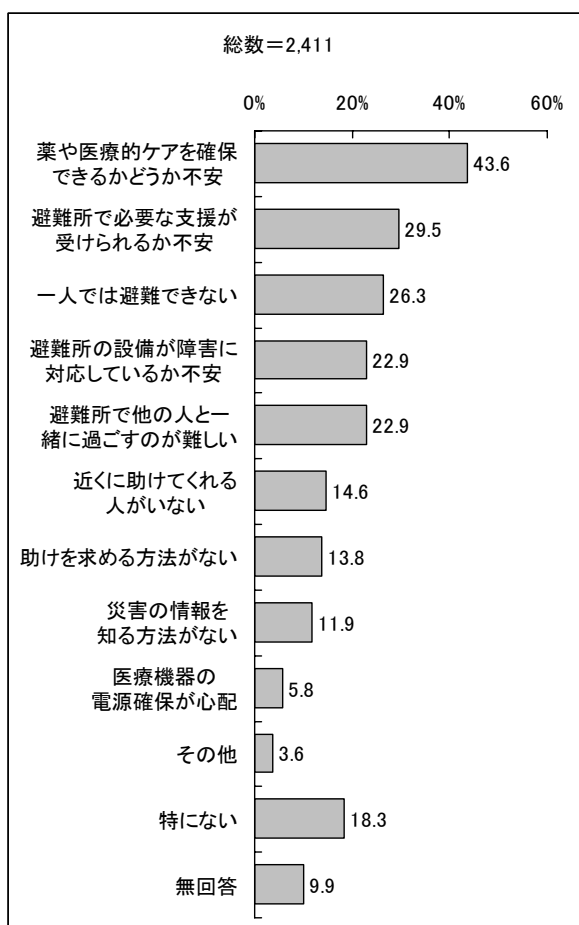
上段：件 下段：%	合計	年金（障害基礎年金など）	給与・報酬（一般就労）	工賃など（福祉的就労）	事業収入（自営業等）	手当（障害者手当など）	生活保護費	親族の扶養または援助	その他	無回答
全体	2411 100.0	1079 44.8	698 29.0	182 7.5	91 3.8	296 12.3	345 14.3	226 9.4	114 4.7	256 10.6
18～39歳	517 100.0	221 42.7	221 42.7	74 14.3	8 1.5	110 21.3	33 6.4	63 12.2	14 2.7	41 7.9
40～64歳	1196 100.0	413 34.5	425 35.5	97 8.1	40 3.3	149 12.5	203 17.0	133 11.1	52 4.3	106 8.9
65～74歳	357 100.0	230 64.4	35 9.8	7 2.0	16 4.5	22 6.2	81 22.7	21 5.9	26 7.3	39 10.9
75歳以上	318 100.0	211 66.4	13 4.1	1 0.3	27 8.5	12 3.8	25 7.9	7 2.2	22 6.9	60 18.9

9 災害対策について

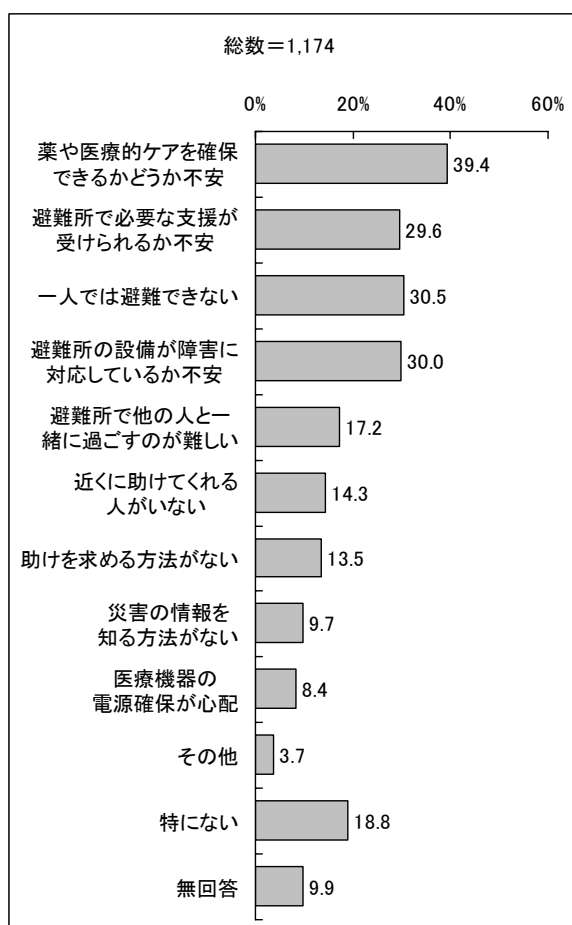
問47 あなたが、地震などの災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。(〇はいくつでも)

全体では「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が43.6%と最も多く、次いで「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が29.5%、「一人では避難できない」が26.3%などとなっています。障害別に見ると、精神障害、発達障害、難病・特定疾患では、「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が多くなっています。また、知的障害、高次脳機能障害では「一人では避難できない」、発達障害では「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が特に多くなっています。

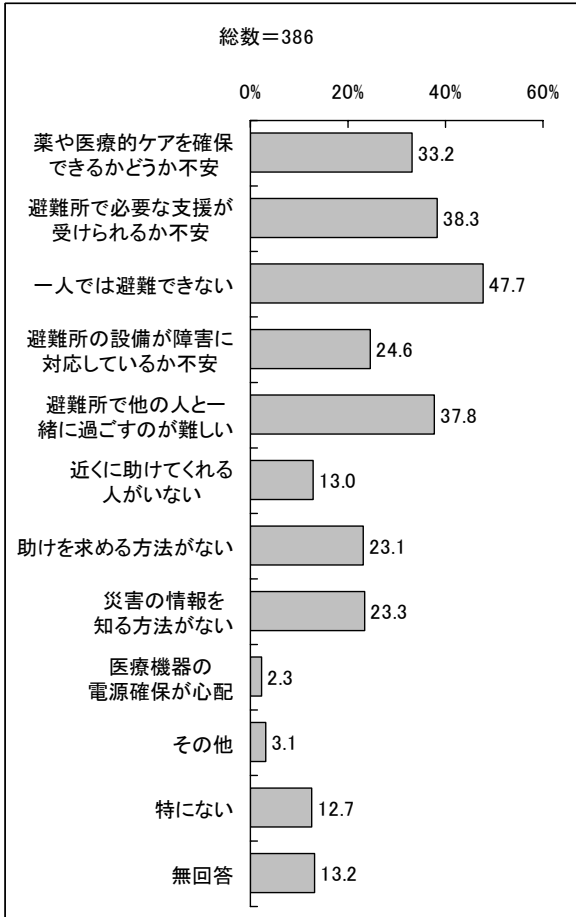
■全体



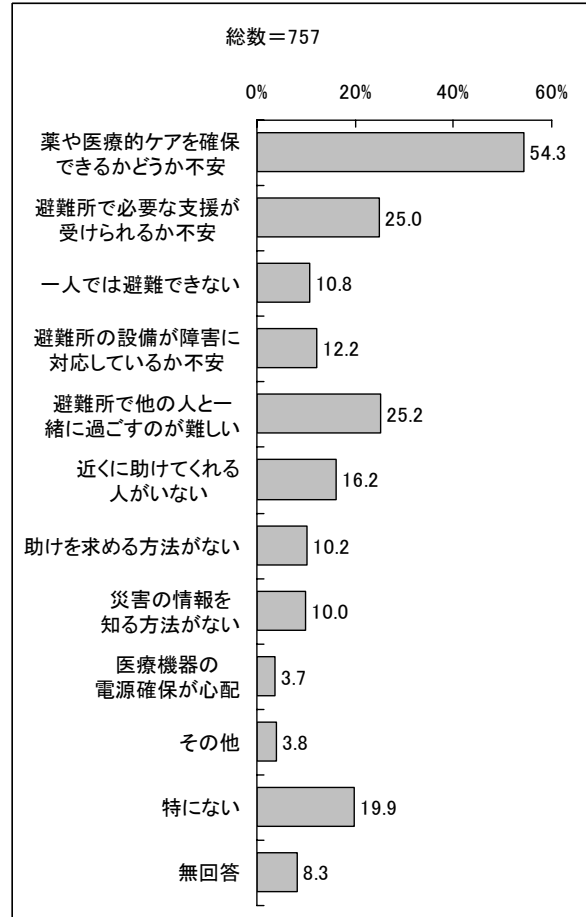
■身体障害



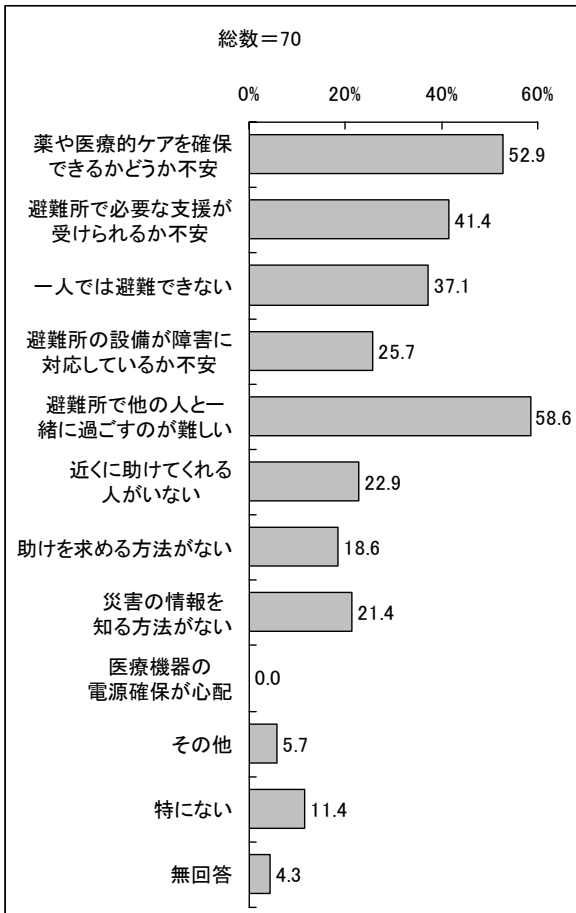
知的障害



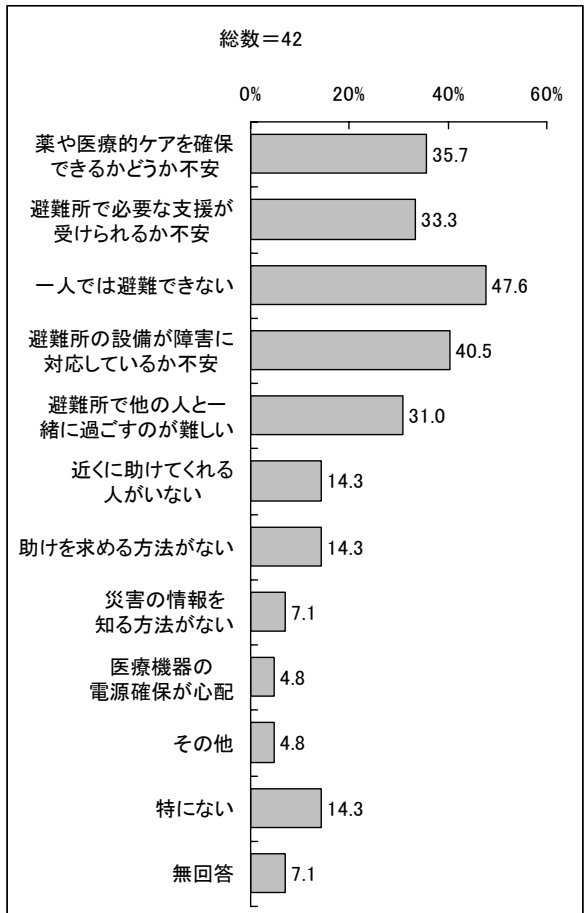
精神障害



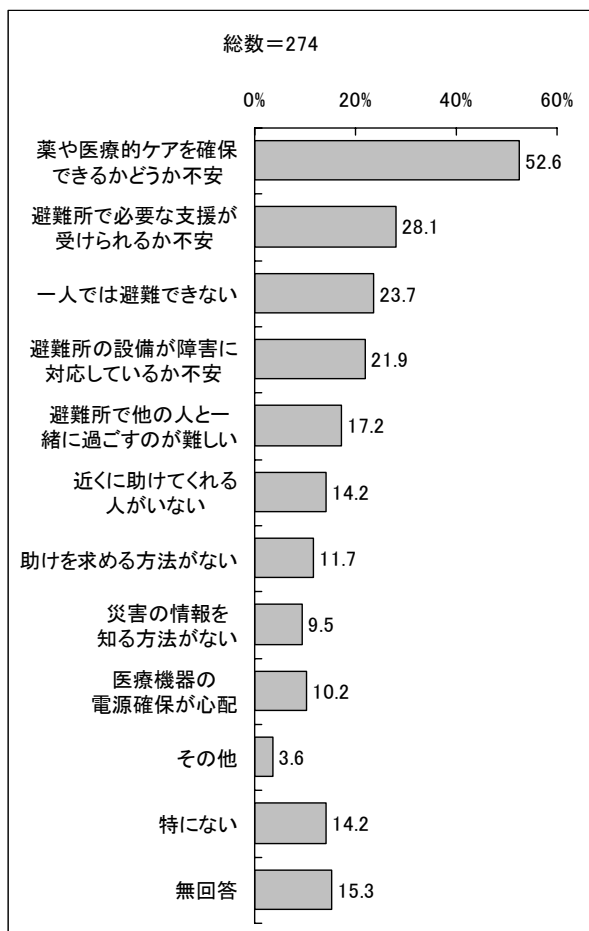
発達障害



高次脳機能障害



■難病・特定疾患



災害が発生して困ること不安なことと年齢

年代別の結果を見ると、「18～39歳」、「40～64歳」、「65～74歳」では全体の結果と同様に「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が最も多くなっています。一方、「75歳以上」では「一人では避難できない」が最も多くなっています。その他、「18～39歳」では「一人では避難できない」や「避難所で必要な支援が受けられるか不安」についてもやや多くなっています。

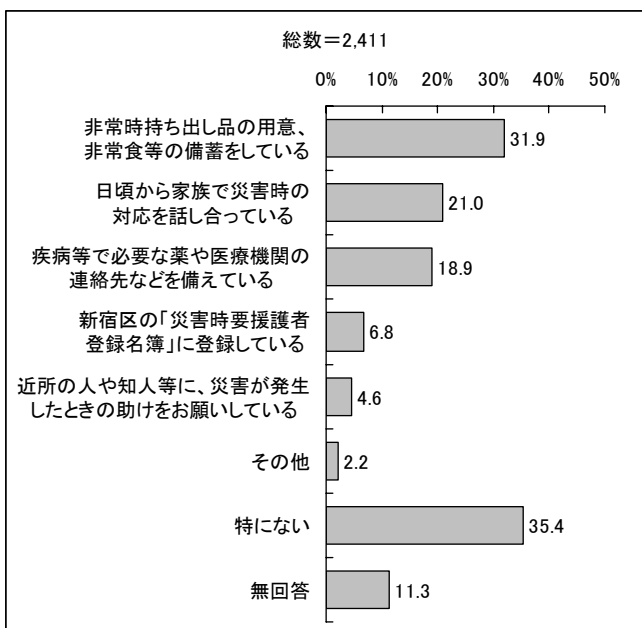
	合計	災害の情報を 知る方法がない	助けを 求める方法がない	近くに 助けてくれる人がいない	一人では 避難できない	避難所の設備が 障害に対応しているか不安	避難所で必要な 支援が受けられるか不安	避難所で他の人と 一緒に過ごすのが難しい	薬や医療的 ケアを確保できるかどうか不安	医療機器の 電源確保が心配	その他	特 に ない	無 回 答
上段：件 下段：%													
全体	2411 100.0	287 11.9	333 13.8	352 14.6	634 26.3	553 22.9	712 29.5	553 22.9	1051 43.6	141 5.8	88 3.6	442 18.3	239 9.9
18～39歳	517 100.0	74 14.3	78 15.1	63 12.2	173 33.5	135 26.1	177 34.2	157 30.4	222 42.9	21 4.1	32 6.2	101 19.5	24 4.6
40～64歳	1196 100.0	139 11.6	153 12.8	204 17.1	268 22.4	308 25.8	356 29.8	284 23.7	554 46.3	80 6.7	44 3.7	211 17.6	101 8.4
65～74歳	357 100.0	33 9.2	52 14.6	48 13.4	71 19.9	49 13.7	90 25.2	56 15.7	157 44.0	21 5.9	2 0.6	81 22.7	41 11.5
75歳以上	318 100.0	37 11.6	47 14.8	34 10.7	120 37.7	58 18.2	83 26.1	47 14.8	110 34.6	18 5.7	10 3.1	47 14.8	64 20.1

問48 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。

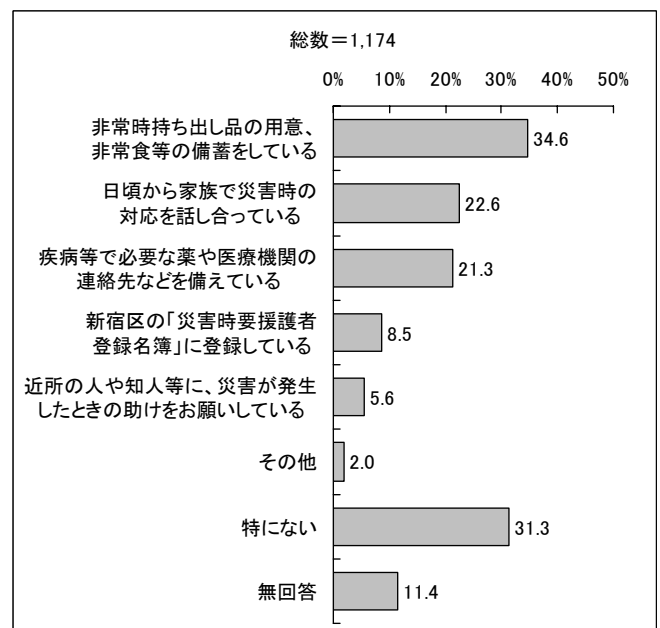
(〇はいくつでも)

全体では「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている」が31.9%と最も多く、次いで「日頃から家族で災害時の対応を話し合っている」が21.0%、「疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている」が18.9%などとなっています。高次脳機能障害、知的障害では「日頃から家族で災害時の対応を話し合っている」、難病・特定疾患では「疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている」が比較的多くなっています。

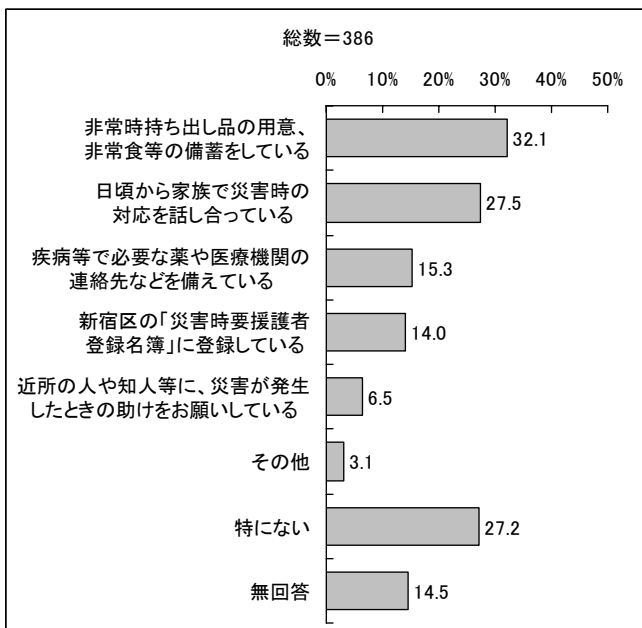
■全体



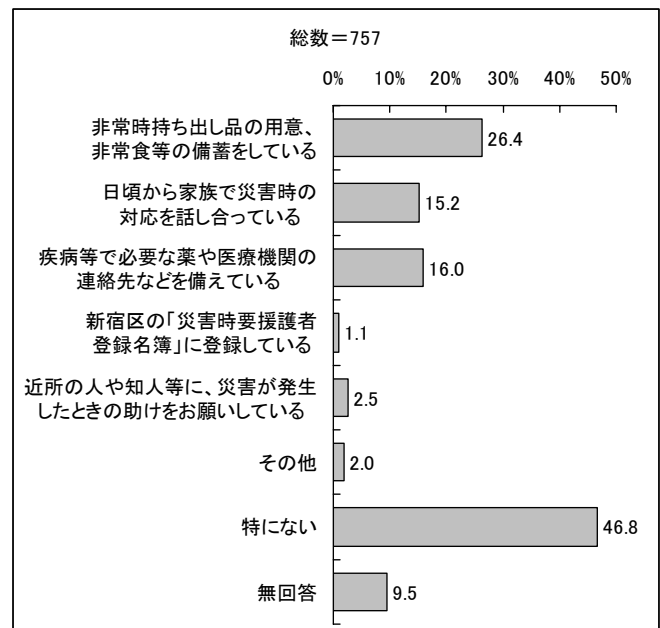
■身体障害



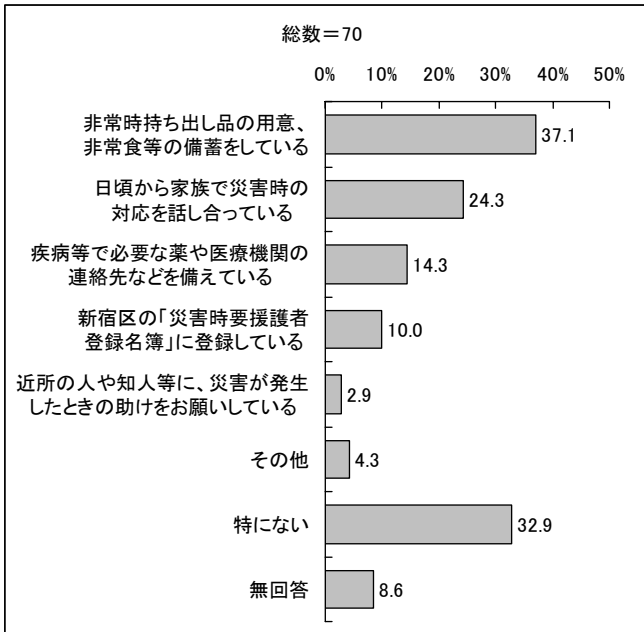
■知的障害



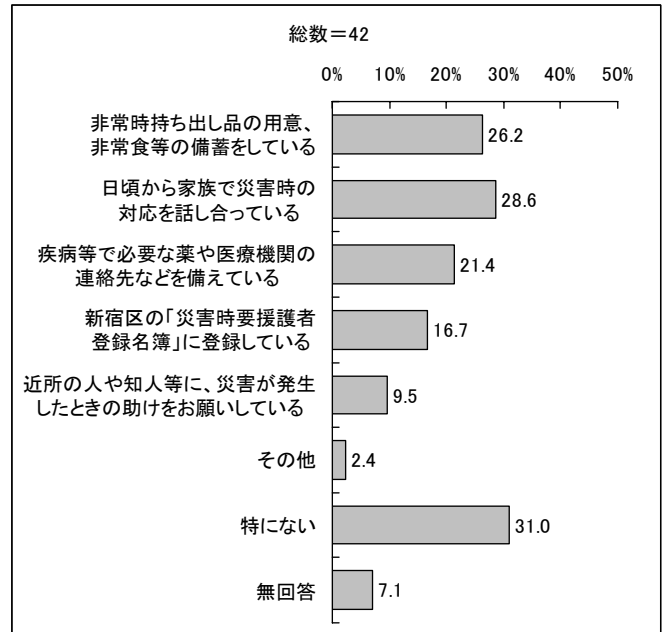
■精神障害



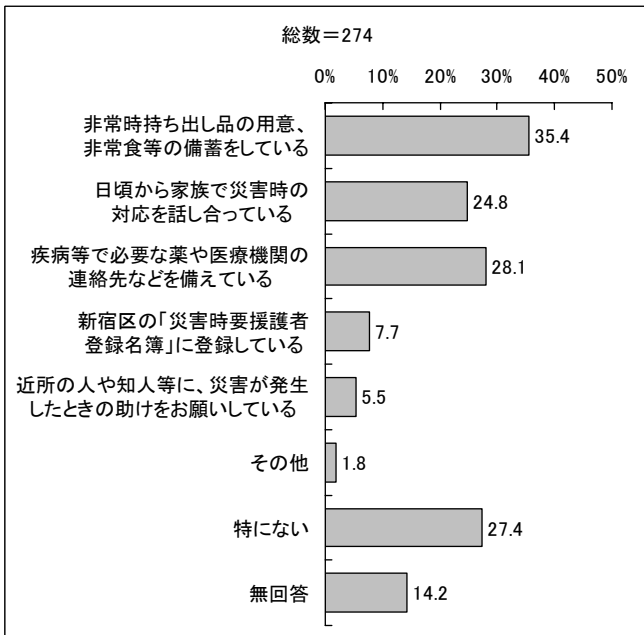
■発達障害



■高次脳機能障害



■難病・特定疾患

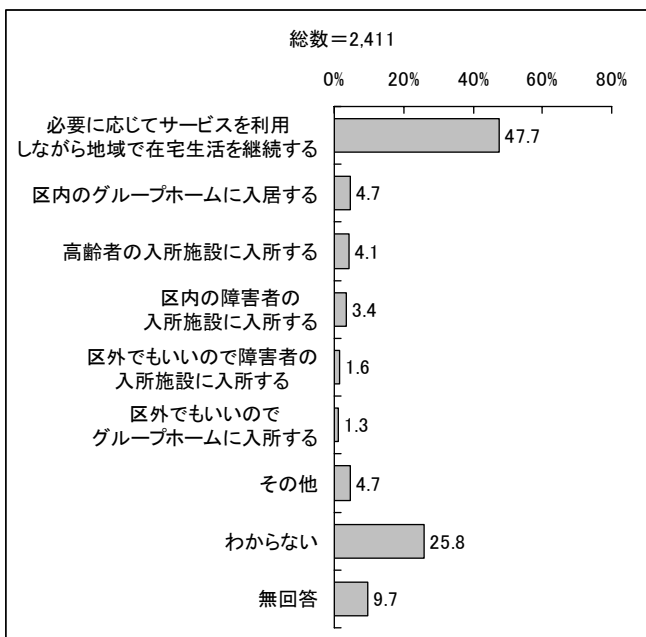


10 将来について

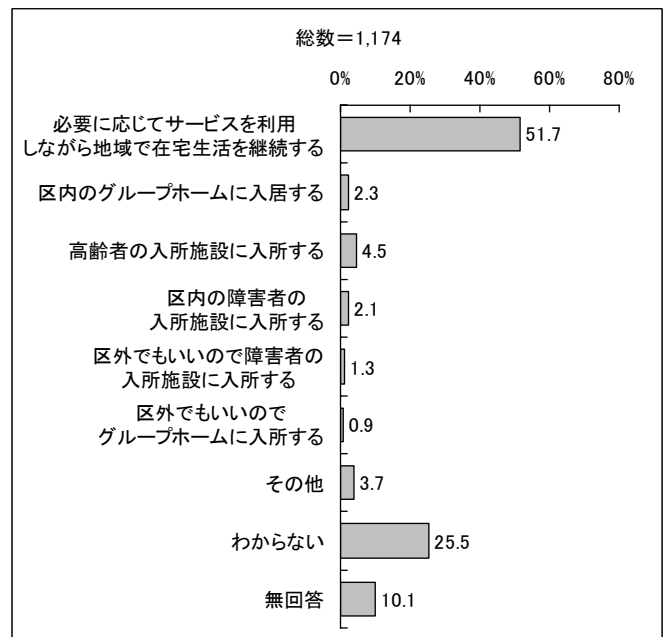
問49 あなたは今後、どのような生活を希望しますか。(〇はひとつ)

全体では「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が47.7%と最も多く、次いで、かなり差があり「区内のグループホームに入居する」が4.7%、「区内の障害者の入所施設に入所する」が3.4%などとなっています。障害別に見ると、知的障害、発達障害では、「区内のグループホームに入居する」と「区内の障害者の入所施設に入所する」がやや多くなっています。

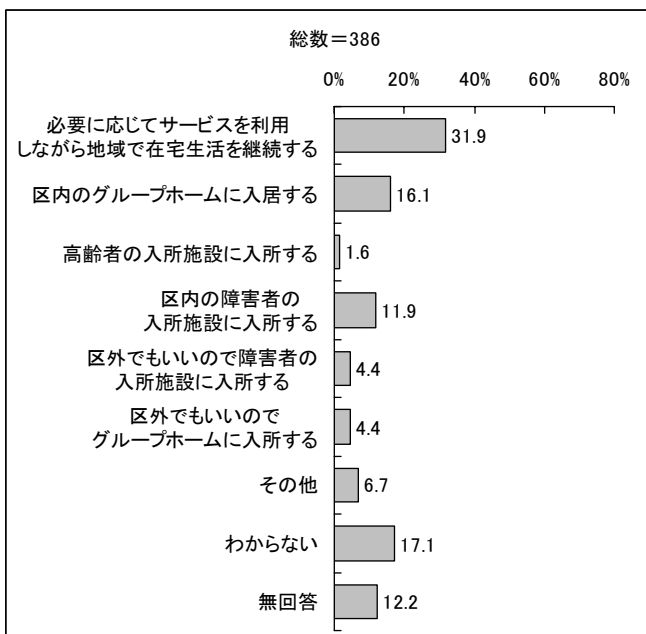
■全体



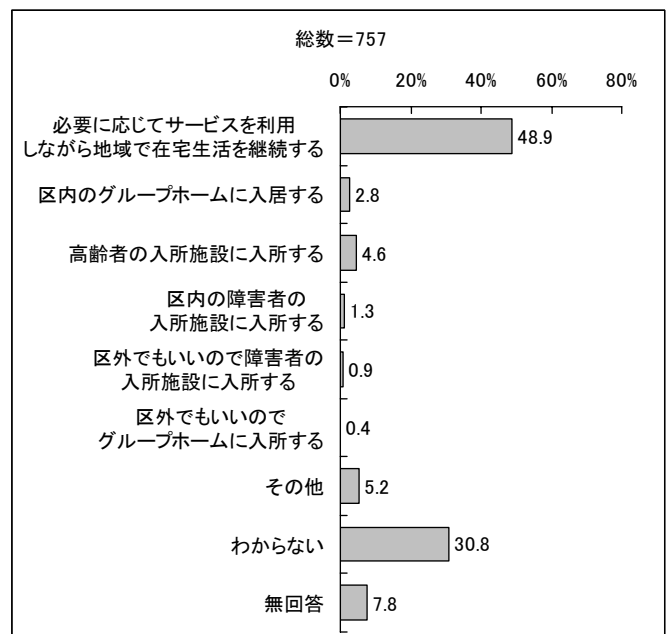
■身体障害



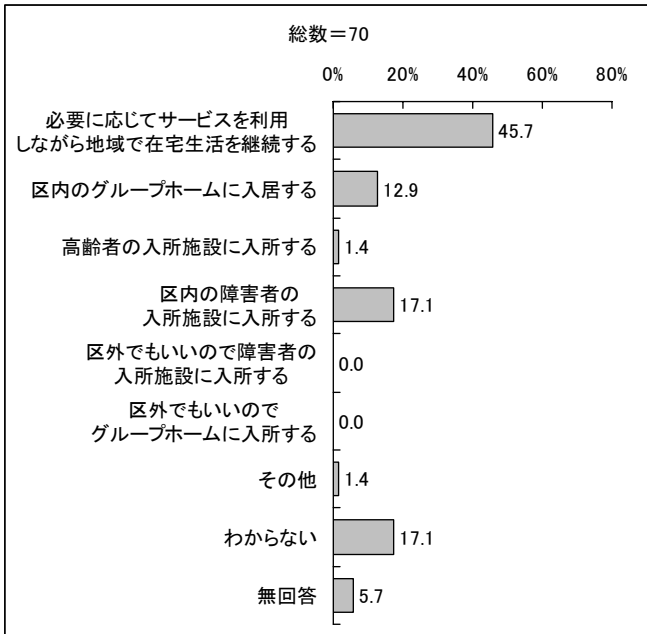
■知的障害



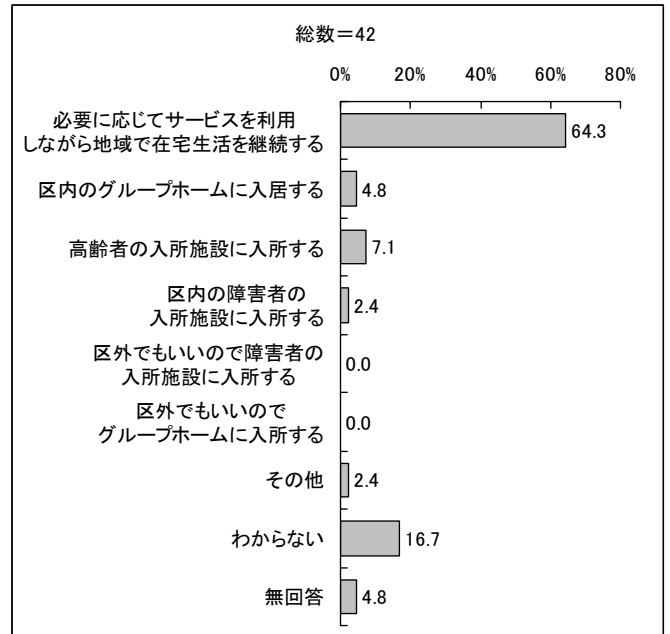
■精神障害



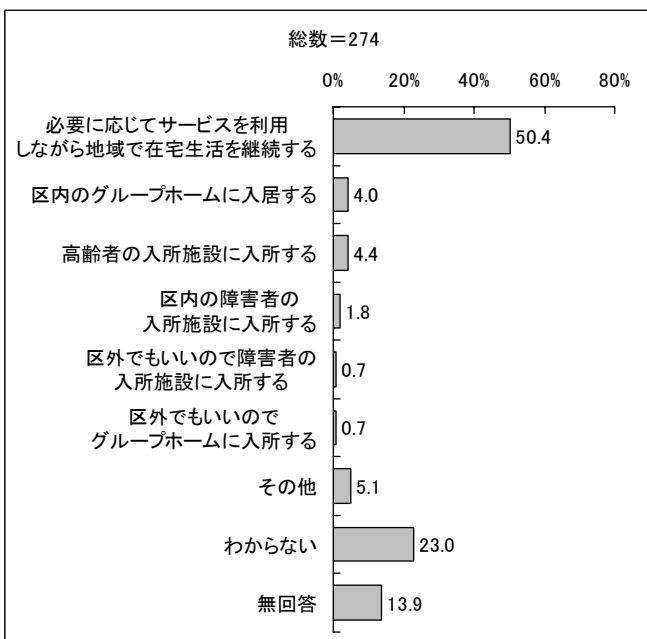
■発達障害



■高次脳機能障害



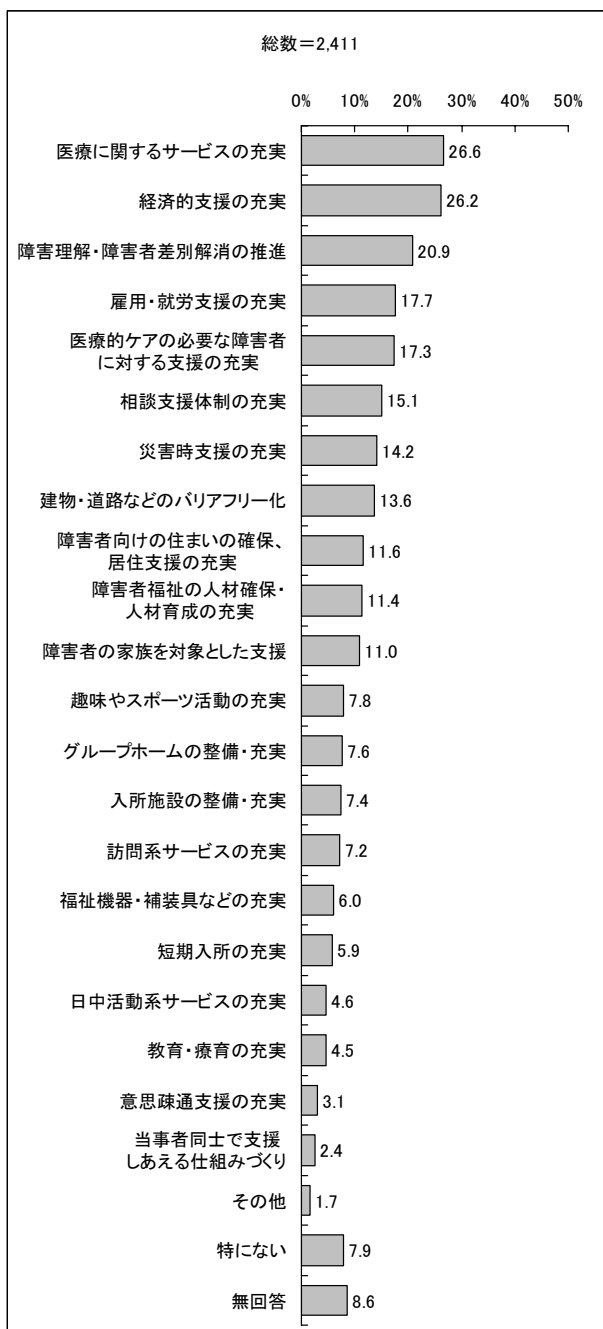
■難病・特定疾患



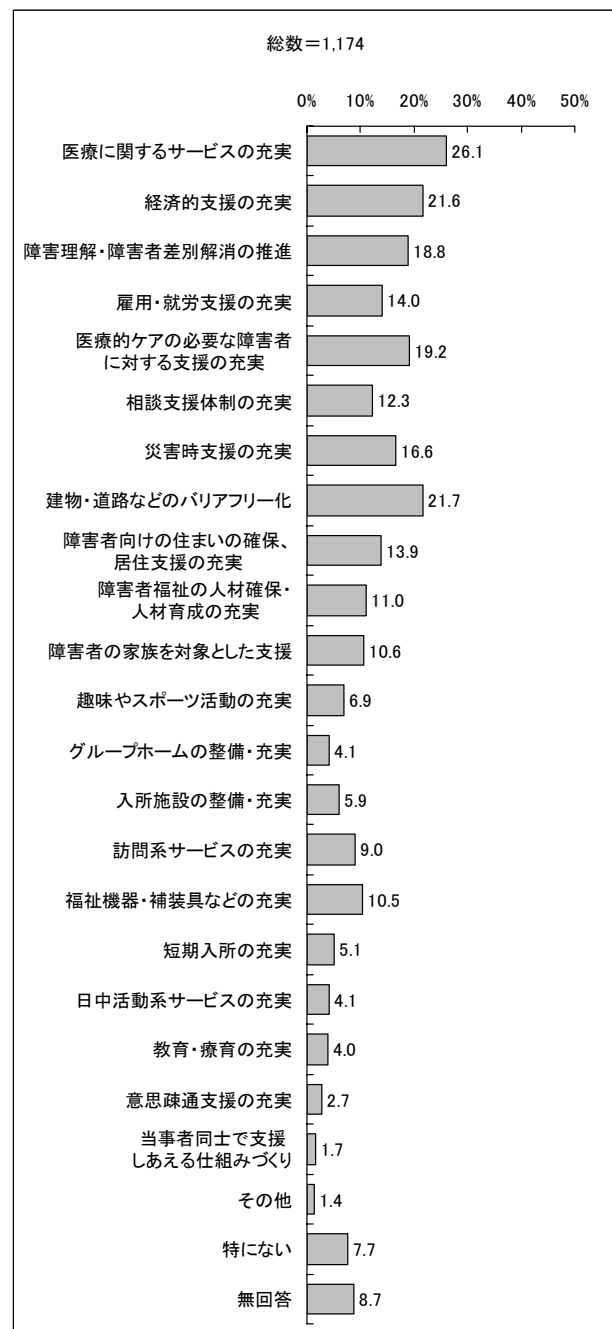
問50 あなたが地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。(〇は3つまで)

全体では「医療に関するサービスの充実」が26.6%と最も多く、次いで「経済的支援の充実」が26.2%、「障害者理解・障害者差別解消の推進」が20.9%などとなっています。障害別に見ると、身体障害では「建物・道路などのバリアフリー化」、知的障害では「グループホームの整備・充実」、精神障害では「経済的支援の充実」、発達障害では「障害者理解・障害者差別解消の推進」、難病・特定疾患では「医療に関するサービスの充実」が多くなっています。

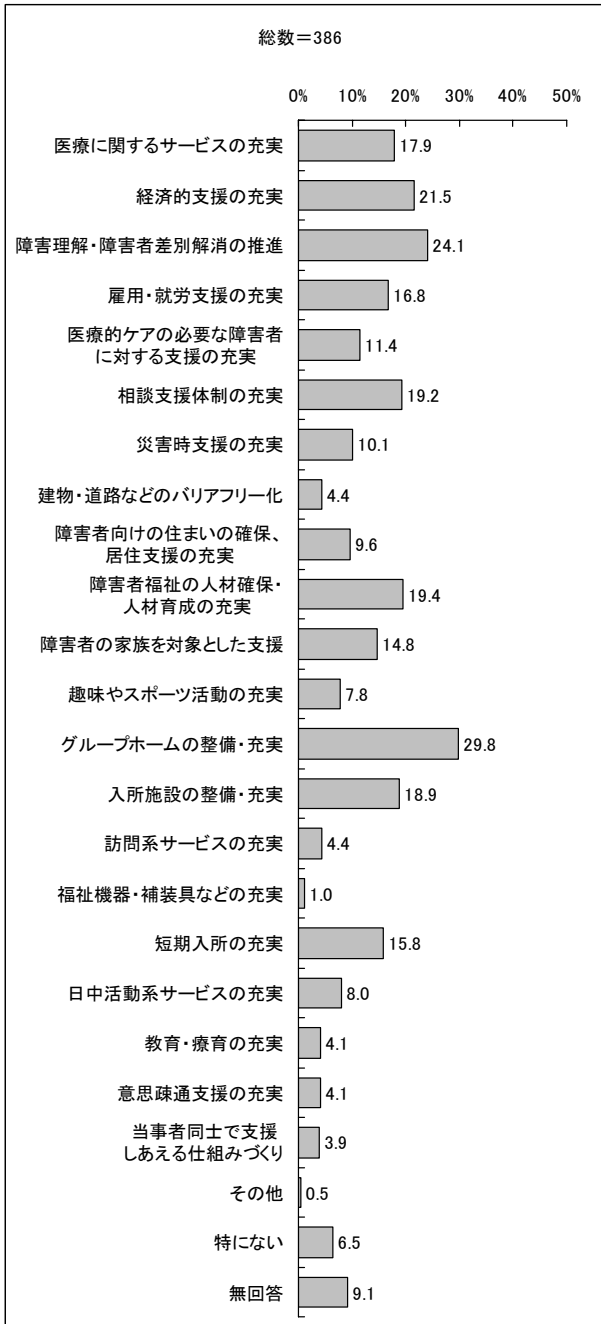
■全体



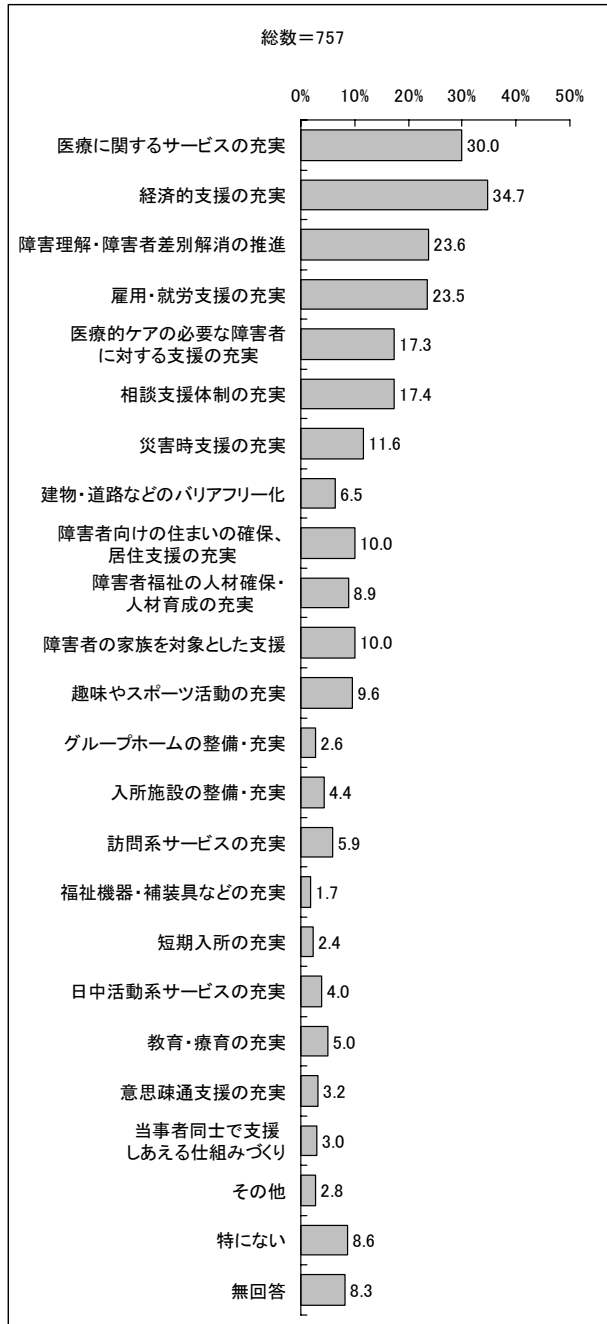
■身体障害



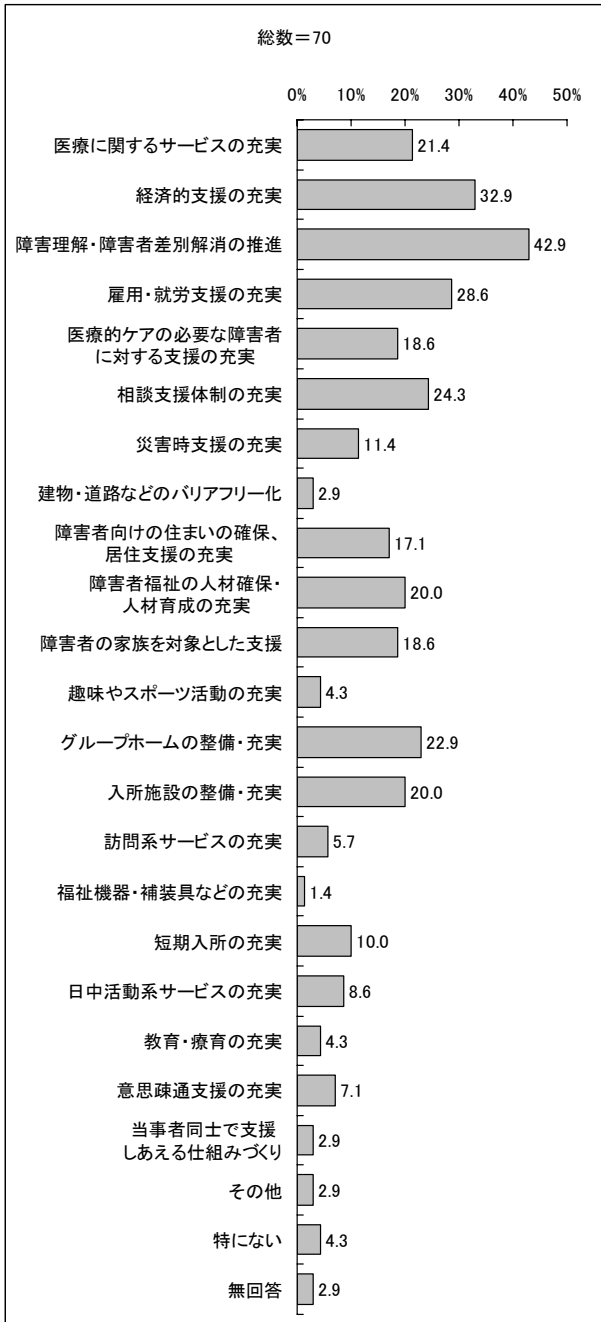
知的障害



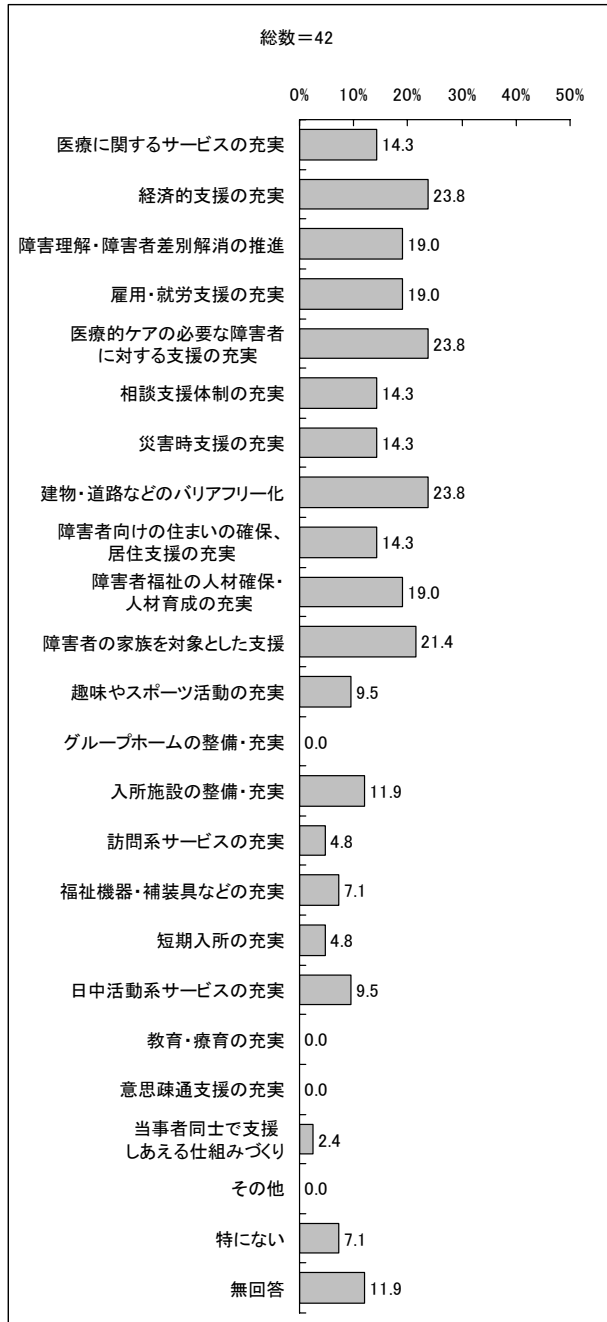
精神障害



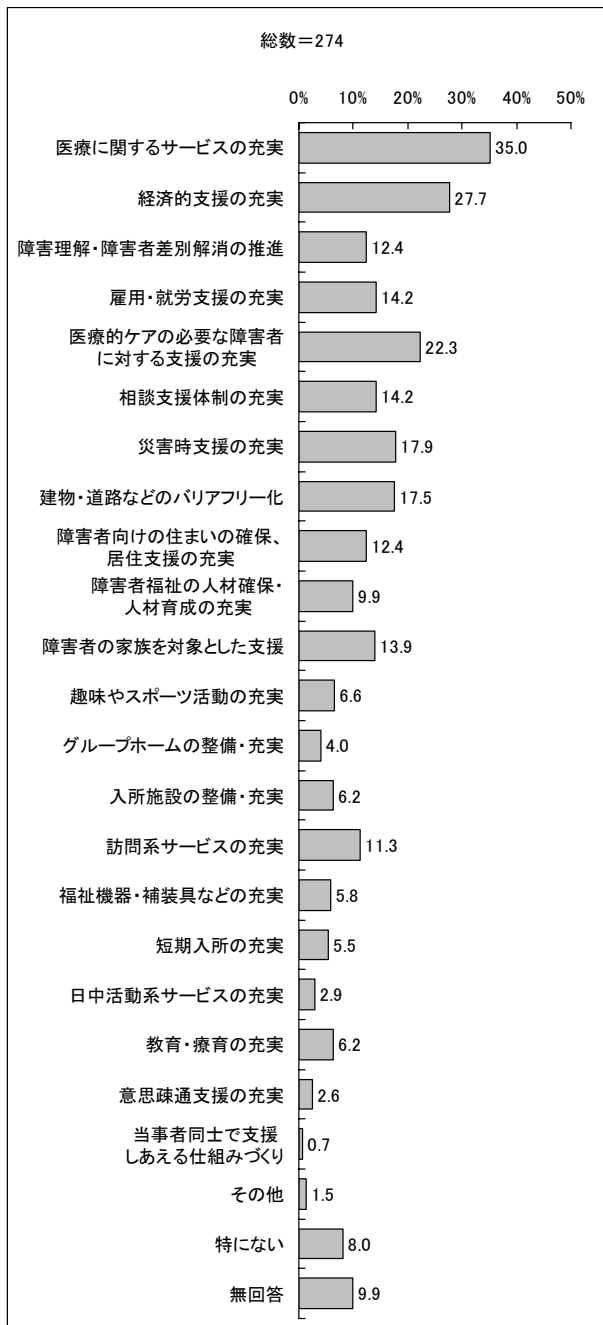
■発達障害



■高次脳機能障害



■難病・特定疾患



11 自由意見

問51 区の障害者福祉施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

全体では 499 件の意見が寄せられています。分野別に見ると「行政・制度」についての意見が最も多く、190 件となっています。次いで、「生活環境・バリアフリー」についての意見が 57 件、「福祉サービス」についての意見が 56 件と続いています

上段:件 下段:%	合計	行政・制度	福祉サービス	医療・健康	雇用・就労	将来について	障害への理解	経済的事情	情報・相談	生活環境・バリアフリー	防災	アンケート
全体	499 100.0	190 38.1	56 11.2	32 6.4	31 6.2	36 7.2	42 8.4	34 6.8	50 10.0	57 11.4	12 2.4	46 9.2
身体障害	257 100.0	103 40.1	32 12.5	12 4.7	8 3.1	14 5.4	21 8.2	12 4.7	22 8.6	37 14.4	7 2.7	31 12.1
知的障害	83 100.0	32 38.6	12 14.5	4 4.8	7 8.4	16 19.3	8 9.6	3 3.6	8 9.6	6 7.2	3 3.6	3 3.6
精神障害	139 100.0	47 33.8	11 7.9	11 7.9	13 9.4	6 4.3	11 7.9	16 11.5	17 12.2	12 8.6	2 1.4	12 8.6
発達障害	23 100.0	5 21.7	1 4.3	1 4.3	3 13.0	6 26.1	1 4.3	3 13.0	3 13.0	0 0.0	0 0.0	3 13.0
高次脳機能障害	14 100.0	4 28.6	3 21.4	0 0.0	1 7.1	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 28.6	0 0.0	3 21.4
難病・特定疾患	67 100.0	28 41.8	5 7.5	10 14.9	4 6.0	2 3.0	6 9.0	6 9.0	10 14.9	8 11.9	0 0.0	5 7.5

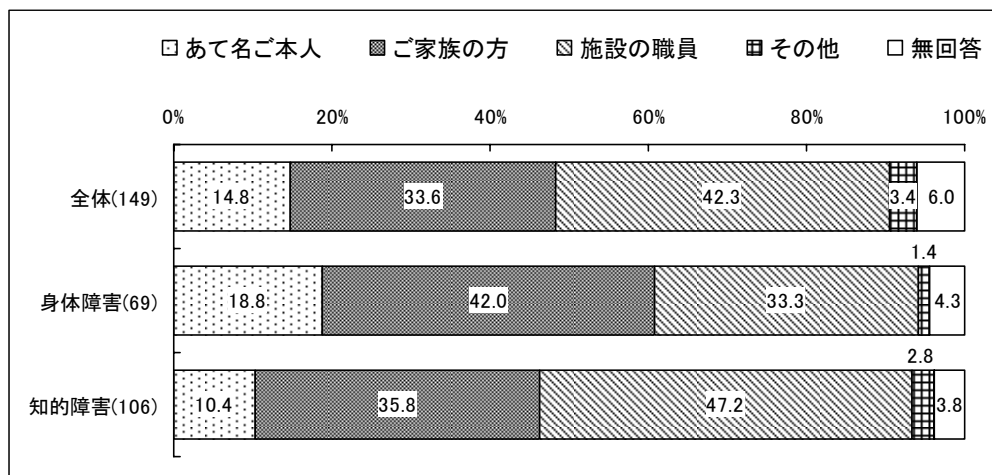
身体障害では、区役所等の各種窓口における対応への意見や、タクシー券等の制度への意見、バリアフリーに関する意見などが多く挙げられています。知的障害では、グループホームの整備を望む声や、ショートステイの利用の拡充などについての意見が多く挙げられています。精神障害では、経済的な支援を望む声や、他の障害に比べて支援が少ないなどの意見が挙げられています。難病・特定疾患では、病気のことや制度に関する情報が少ない点や、難病医療の申請・更新手続きの簡略化を望む意見などが挙げられています。

Ⅱ. 施設に入所している方を対象とした調査

1 ご本人について

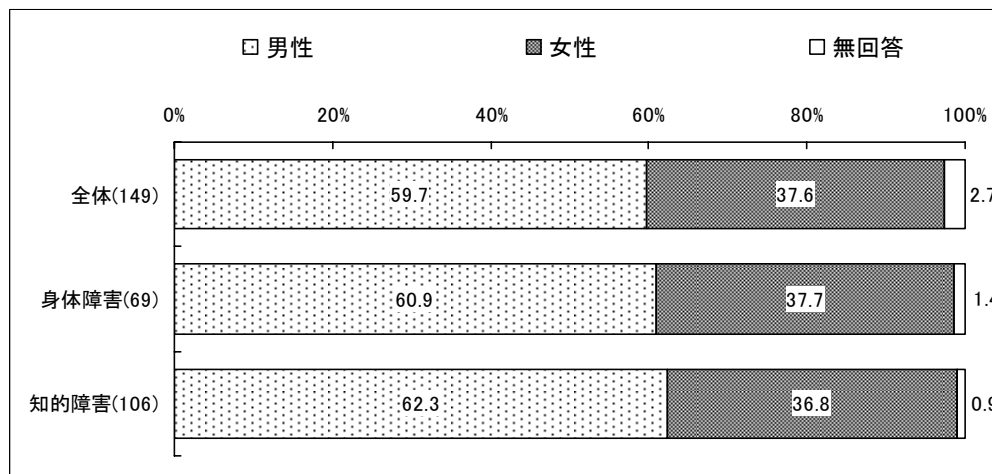
問1 この調査票に回答していただく方はどなたですか。(〇はひとつ)

全体では「あて名ご本人」が14.8%、「ご家族の方」が33.6%、「施設の職員」が42.3%となっています。障害別に見ると、身体障害では「ご家族の方」、知的障害では「施設の職員」が最も多くなっています。



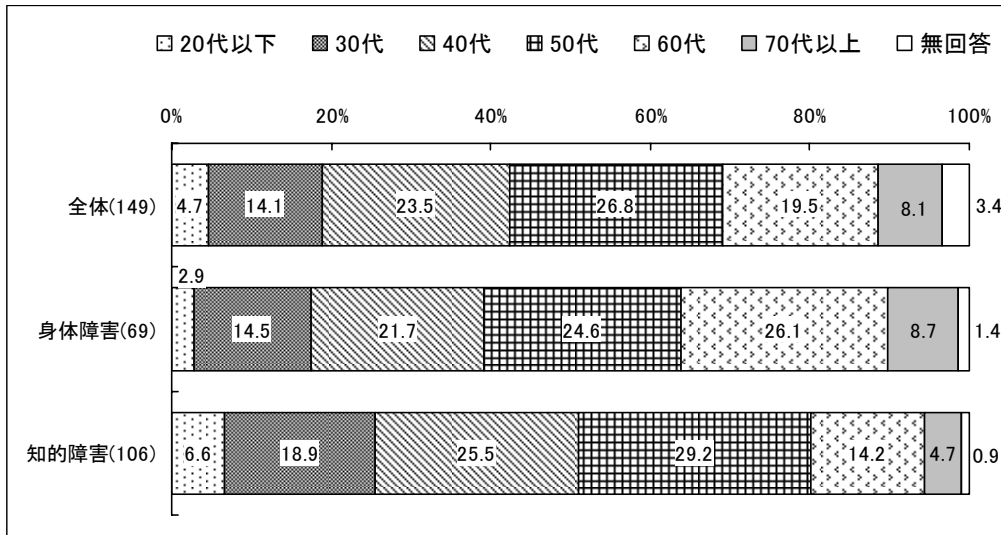
問2 あなたの性別をお聞きします。(〇はひとつ)

全体では「男性」が59.7%に対し、「女性」が37.6%となっています。



問3 あなたの年齢をお聞きします。平成28年11月1日現在の満年齢をお書きください。

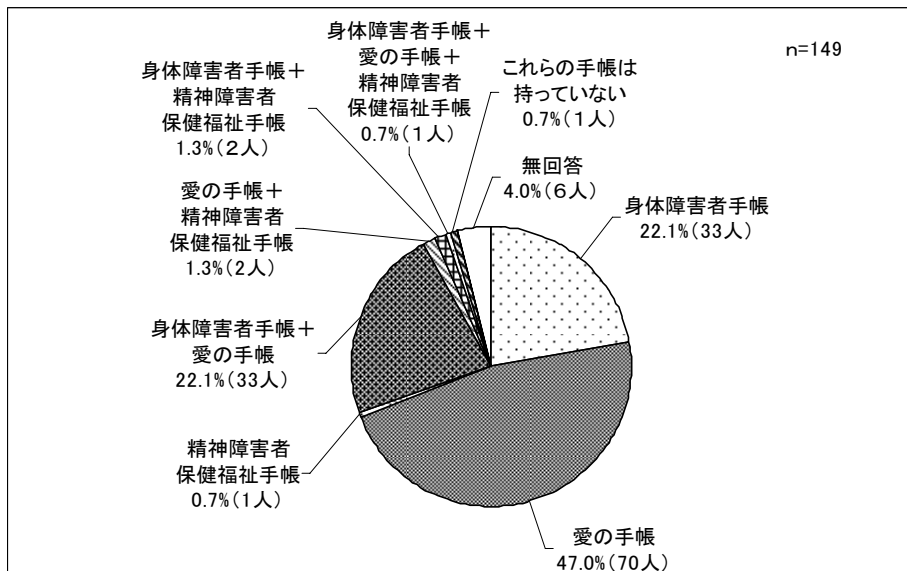
全体では「50代」が26.8%と最も多く、「40代」の23.5%と合わせると40～50代で5割を超えています。障害別に見ると、身体障害では60代以上、知的障害では40代以下が多くなっています。



問4 あなたが持っている手帳の種類をお聞きします。手帳をお持ちの方は、等級・程度にも○をつけてください。(○はいくつでも)

(1) 手帳の種類

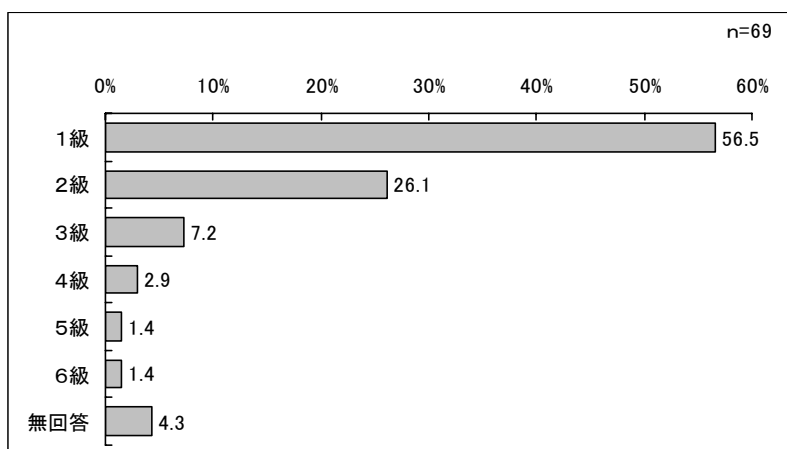
「愛の手帳」が47.0%と最も多く、次いで「身体障害者手帳」と「身体障害者手帳+愛の手帳」が22.1%などとなっています。



(2) 手帳の等級等

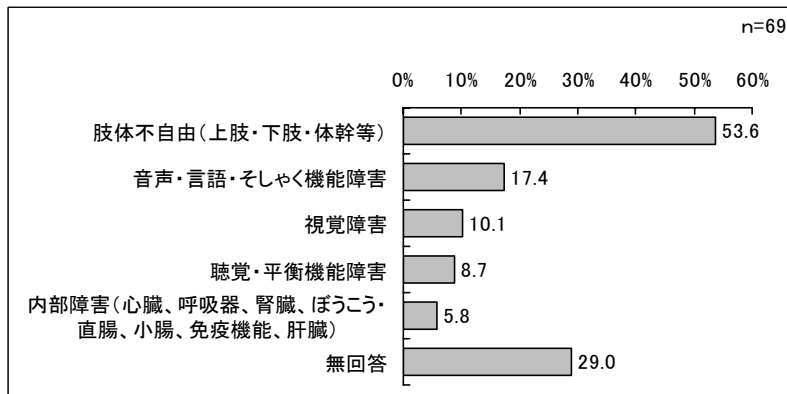
①身体障害者手帳の等級

「1級」が56.5%、「2級」が26.1%、「3級」が7.2%などとなっています。



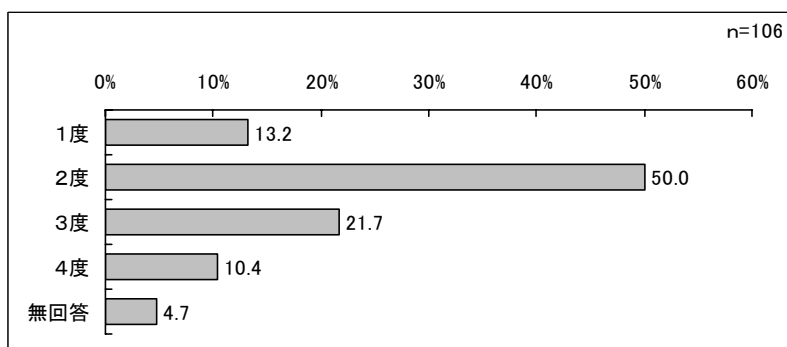
②身体障害の種類

「肢体不自由（上肢・下肢・体幹等）」が53.6%と最も多く、次いで「音声・言語・そしゃく機能障害」が17.4%、「視覚障害」が10.1%などとなっています。



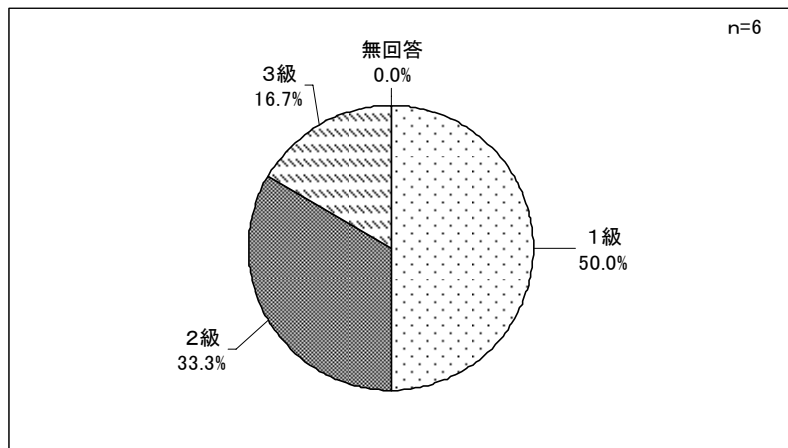
③愛の手帳の等級

「2度」が50.0%、次いで「3度」が21.7%、「1度」が13.2%などとなっています。



④精神障害者保健福祉手帳の等級

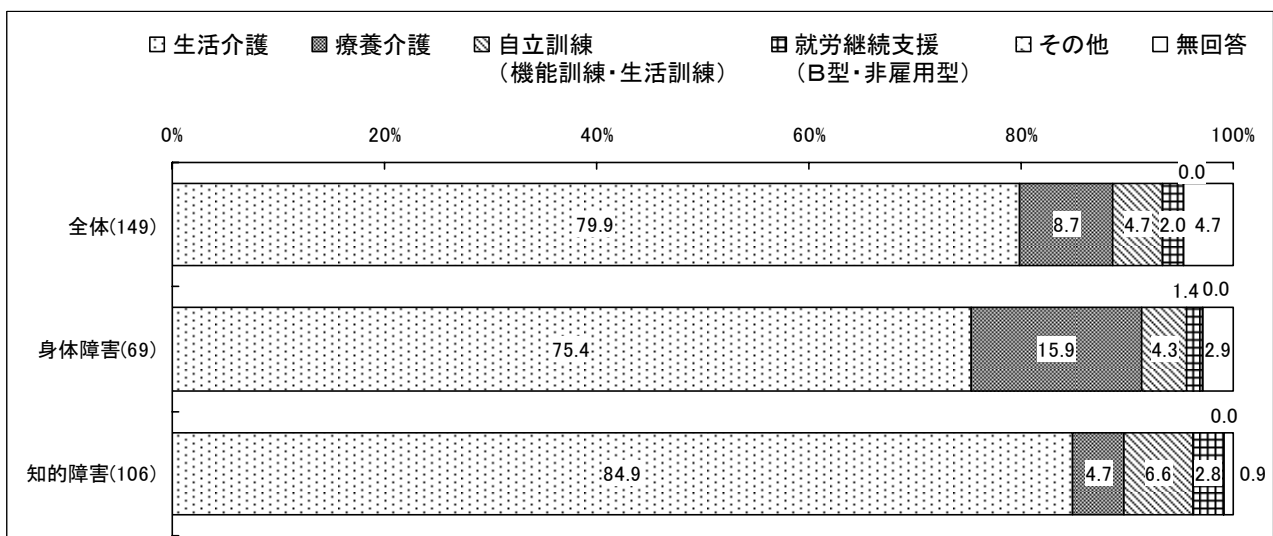
「1級」が50.0%（3人）、「2級」が33.3%（2人）、「3級」が16.7%（1人）となっています。



2 施設入所について

問5 あなたが現在入所している施設で利用している日中活動に○をつけてください。（○はひとつ。障害福祉サービス受給者証の記載内容をご確認ください。）

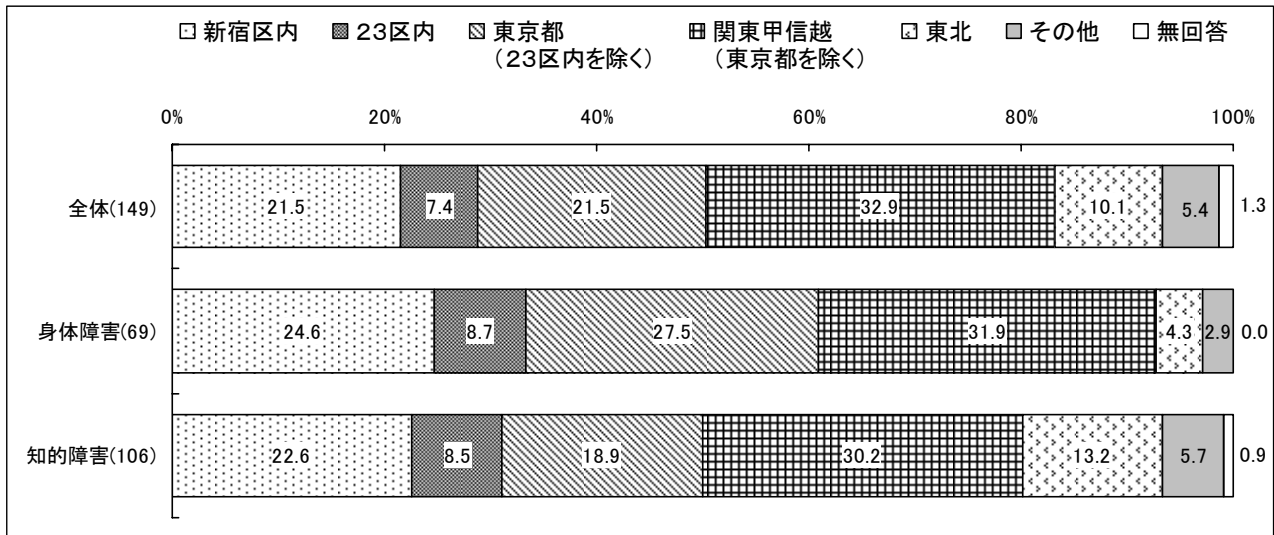
全体では「生活介護」が79.9%と最も多く、次いで「療養介護」が8.7%、「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」が4.7%などとなっています。



問6 あなたが現在入所している施設のある地域をお聞きします。

(○はひとつ)

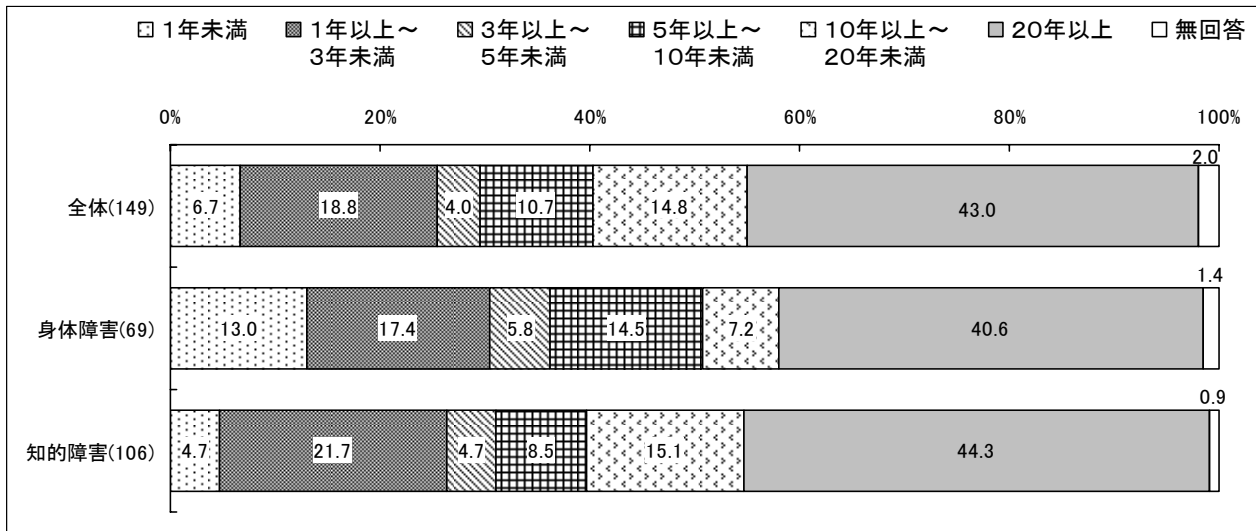
全体では「関東甲信越（東京都を除く）」が 32.9%と最も多く、次いで「新宿区内」と「東京都（23区内を除く）」が 21.5%、「東北」が 10.1%などとなっています。



問7 あなたが現在の施設に入所してからの年数をお聞きします。

(○はひとつ)

全体では「20年以上」が43.0%と最も多く、次いで「1年以上～3年未満」が18.8%、「10年以上～20年未満」が14.8%などとなっています。



入所施設の所在地域と入所年数

入所施設の所在地域と入所年数の関係を見ると、「新宿区内」では「1年以上～3年未満」が多くなっており、その他の地域では全体の結果と同様に「20年以上」が最も多くなっています。

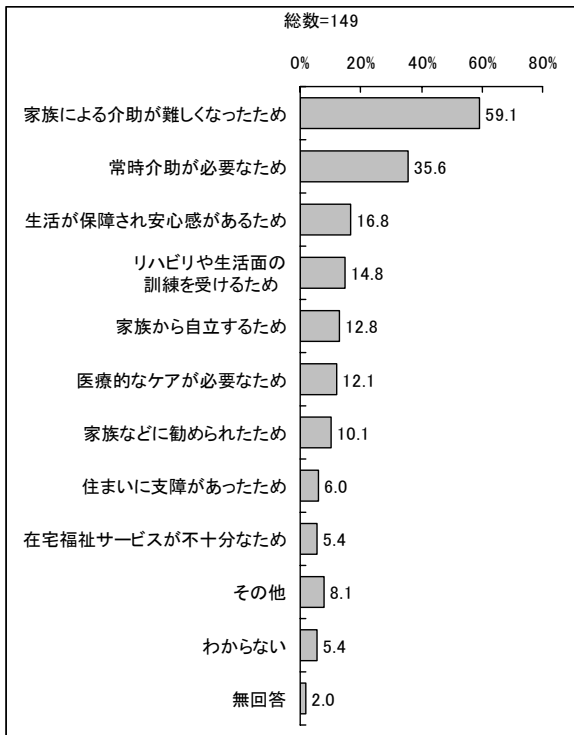
	合計	1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上	わからない	無回答
全体	149 100.0	10 6.7	28 18.8	6 4.0	16 10.7	22 14.8	64 43.0	0 0.0	3 2.0
新宿区内	32 100.0	4 12.5	22 68.8	0 0.0	5 15.6	0 0.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0
23区内	11 100.0	1 9.1	2 18.2	0 0.0	1 9.1	2 18.2	5 45.5	0 0.0	0 0.0
東京都 (23区内を除く)	32 100.0	1 3.1	1 3.1	5 15.6	1 3.1	10 31.3	14 43.8	0 0.0	0 0.0
関東甲信越 (東京都を除く)	49 100.0	2 4.1	2 4.1	1 2.0	7 14.3	7 14.3	29 59.2	0 0.0	1 2.0
東北	15 100.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	2 13.3	0 0.0	12 80.0	0 0.0	0 0.0
その他	8 100.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 37.5	3 37.5	0 0.0	0 0.0

問8 あなたが現在の施設に入所することになった理由は何ですか。

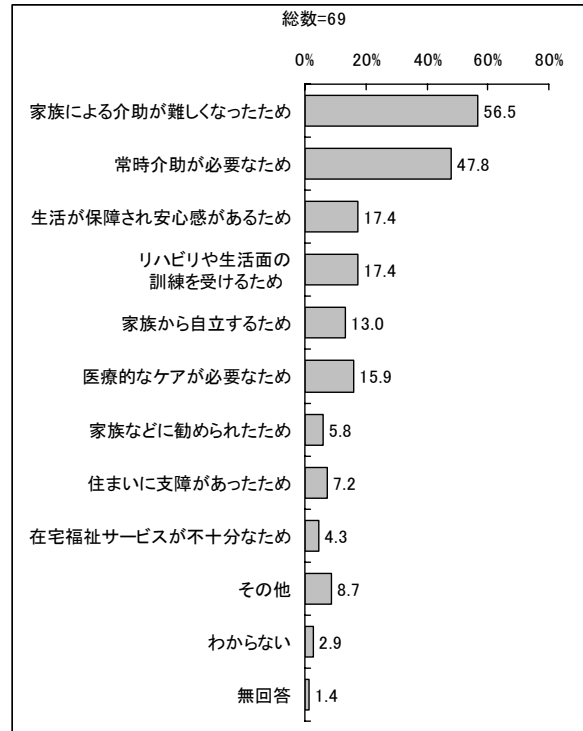
(○はいくつでも)

全体では、「家族による介助が難しくなったため」が 59.1%と最も多く、次いで「常時介助が必要なため」が 35.6%、「生活が保障され安心感があるため」が 16.8%などとなっています。

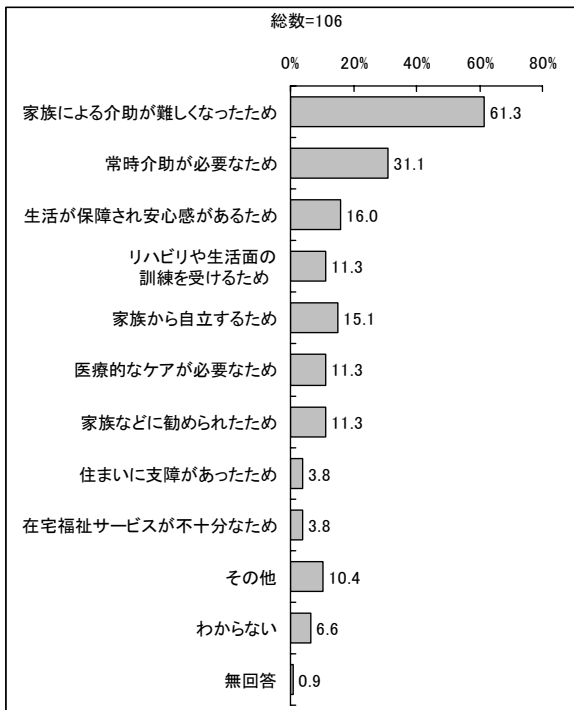
■全体



■身体障害



■知的障害

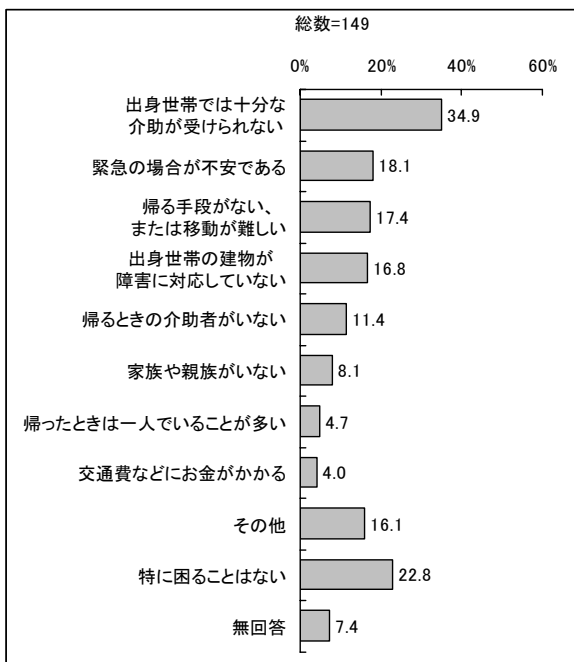


3 施設での生活について

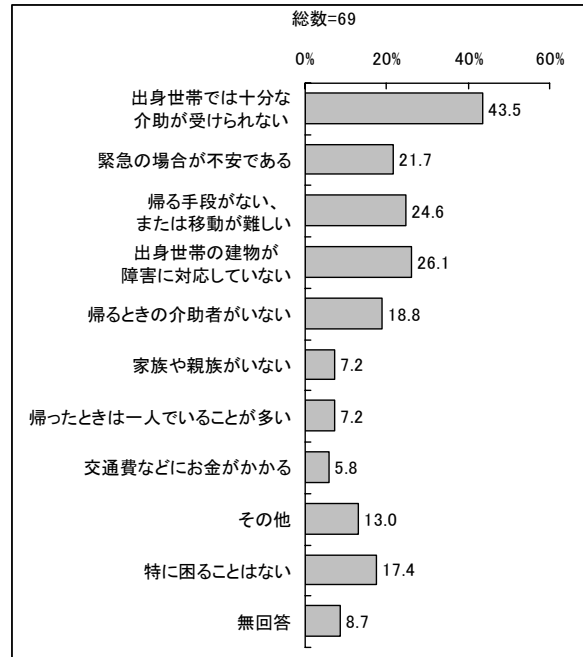
問9 あなたが一時、出身世帯（施設に入る前に住んでいた家）に帰るときなどに困ることはありますか。（〇はいくつでも）

全体では「出身世帯では十分な介助が受けられない」が34.9%と最も多く、次いで「緊急の場合が不安である」が18.1%、「帰る手段がない、または移動が難しい」が17.4%などとなっています。障害別に見ると、身体障害では「出身世帯では十分な介助が受けられない」や「出身世帯の建物が障害に対応していない」が多くなっています。

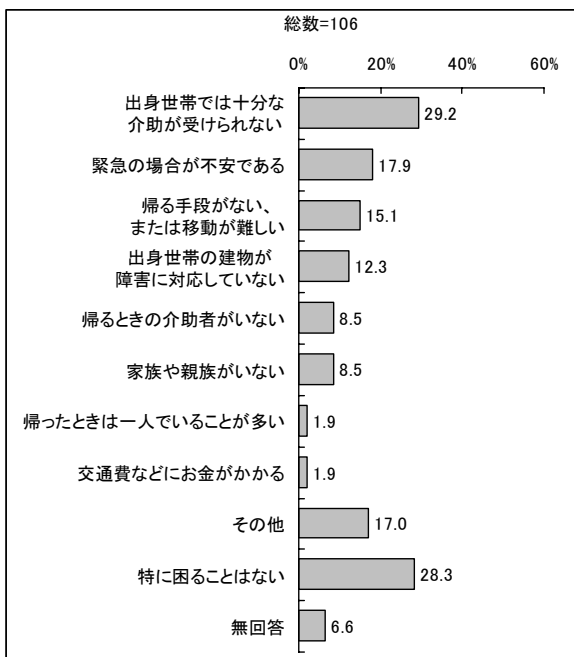
■全体



■身体障害

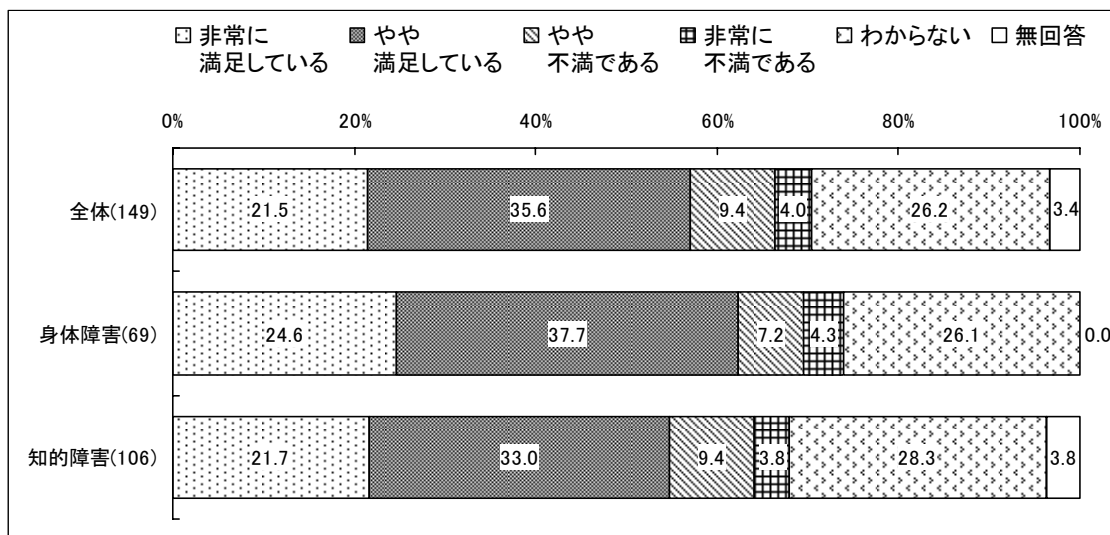


■知的障害



問10 あなたは、施設での生活に満足していますか。(〇はひとつ)

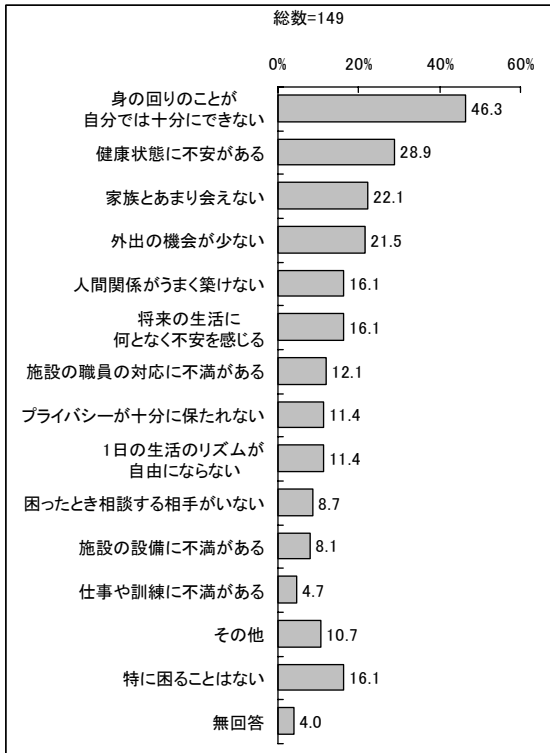
全体では「やや満足している」が35.6%と最も多く、次いで「非常に満足している」となっており、半数を超える人が施設生活に満足していることがわかります。一方、「やや不満である」、「不満である」と回答した人はそれぞれ9.4%、4.0%となっています。



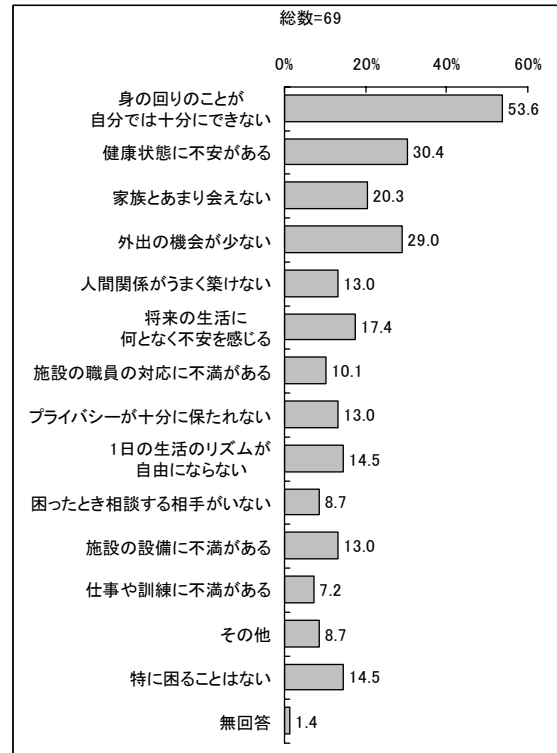
問11 あなたが現在の暮らしの中で、困ることや不安に感じていることはありますか。(〇はいくつでも)

全体では「身の回りのことが自分では十分にできない」が46.3%と最も多く、次いで「健康状態に不安がある」が28.9%、「家族とあまり会えない」が22.1%などとなっています。

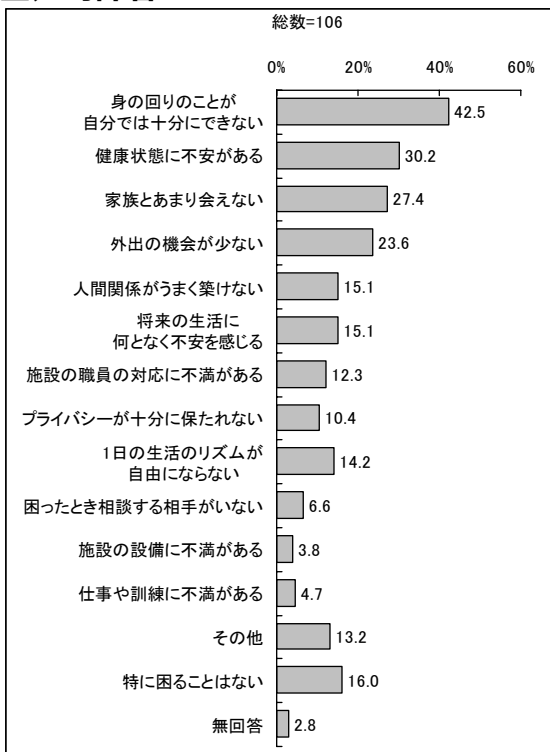
■全体



■身体障害



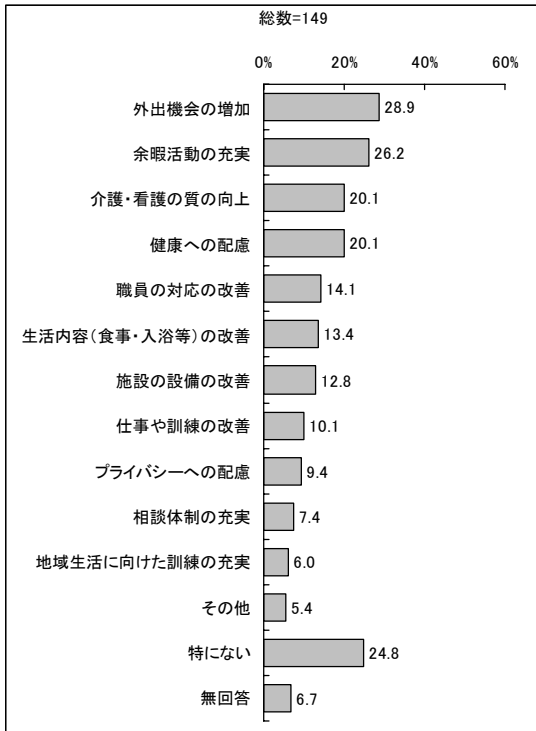
■知的障害



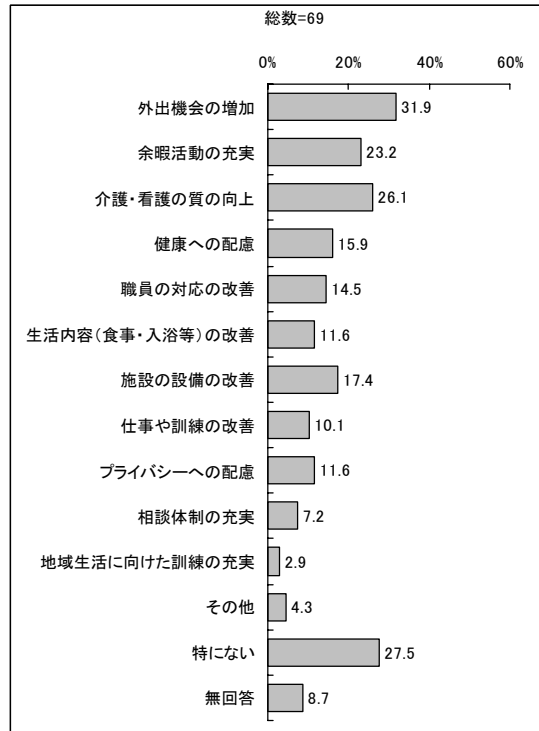
問12 あなたは、現在入所している施設に対して、どのような要望がありますか。
(〇はいくつでも)

全体では「外出機会の増加」が28.9%と最も多く、次いで「余暇活動の充実」が26.2%、「介護・看護の質の向上」と「健康への配慮」が20.1%などとなっています。障害別に見ると、上記のほか身体障害では「施設の整備の改善」、知的障害では「生活内容（食事・入浴等）の改善」がやや多くなっています。

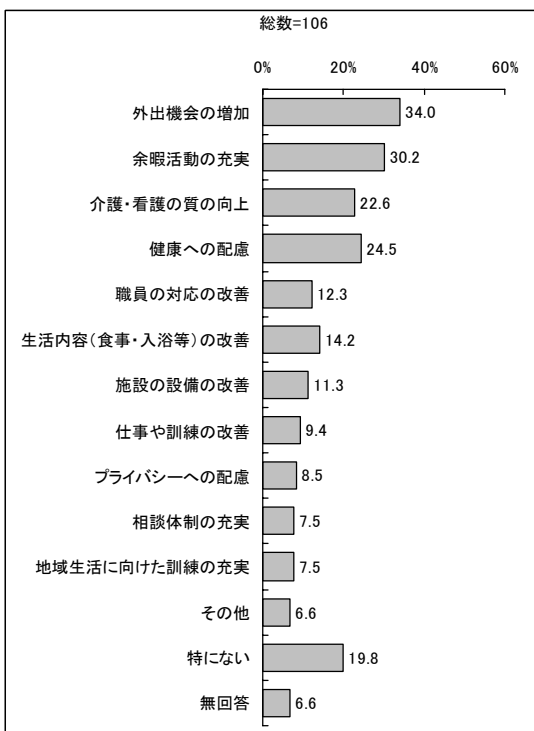
■全体



■身体障害

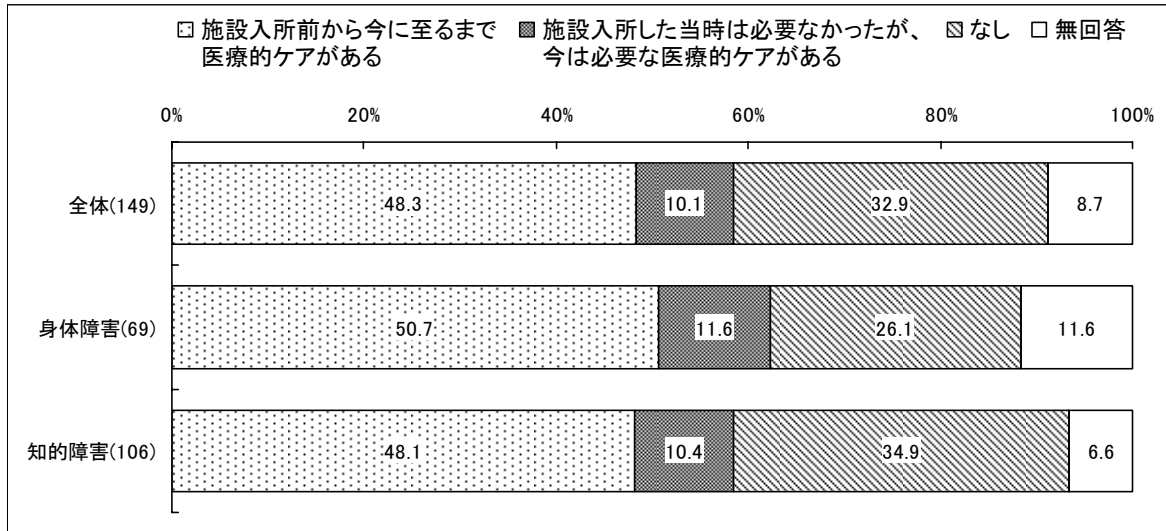


■知的障害



問13 医療的ケアについて伺います。あなたは日常的に必要としている医療的ケアがありますか（〇はひとつ）

全体では「施設入所前から今に至るまで医療的ケアがある」が 48.3%、「施設入所した当時は必要なかったが、今は必要な医療的ケアがある」が 10.1%、「なし」が 32.9% となっています。



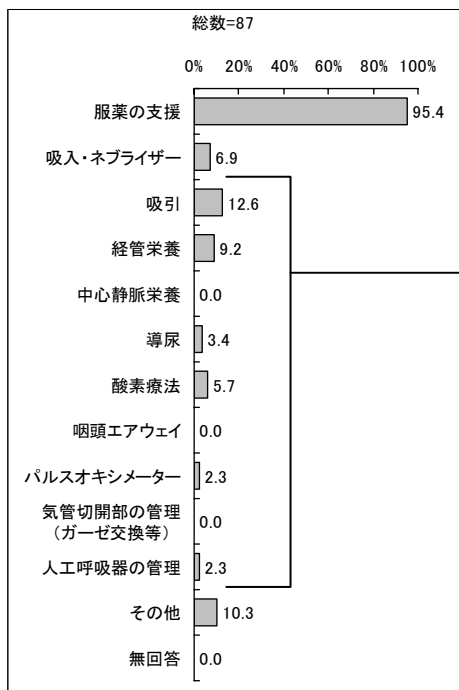
問14 問13 で「1 施設入所前から今に至るまで医療的ケアがある」または「2 施設入所した当時は必要なかったが、今は必要な医療的ケアがある」と回答された方にお聞きします。

あなたが日常的に必要なとしている医療的ケアの内容はどのようなものですか。(〇はいくつでも)

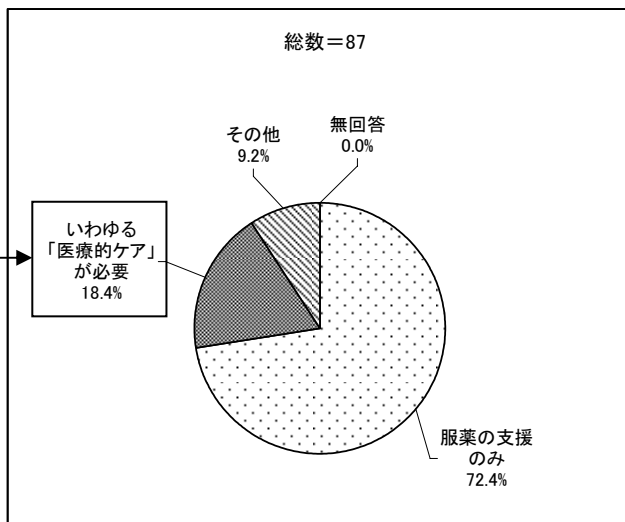
全体では「服薬の支援」が95.4%と大半を占めており、次いで「吸引」が12.6%、「経管栄養」が9.2%などとなっています。

「服薬の支援」、「吸入・ネブライザー」、「その他」を除き、「吸引」から「人工呼吸器の管理」までを統合した「いわゆる『医療的ケア』が必要」な状態に当てはまる人は18.4%となっています。

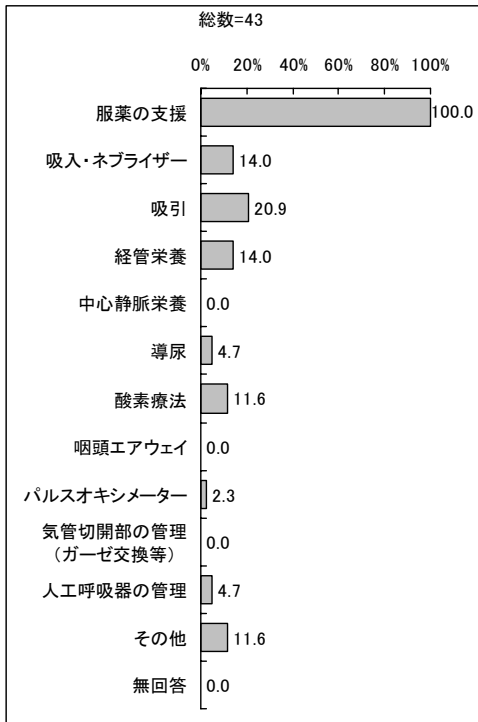
■全体



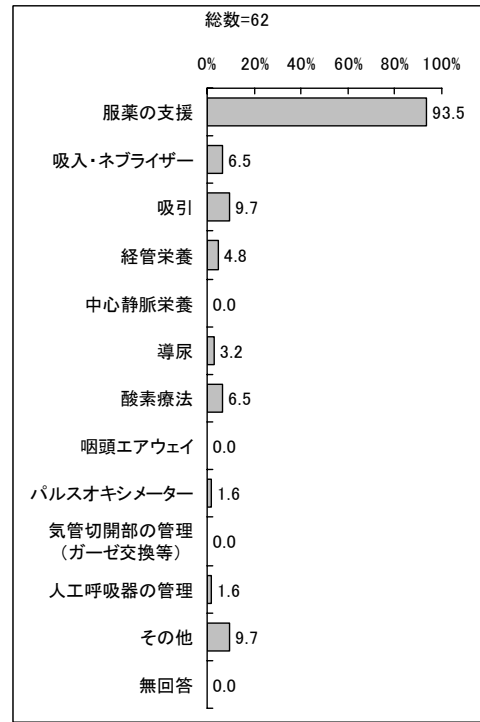
●回答項目の統合



■身体障害



■知的障害

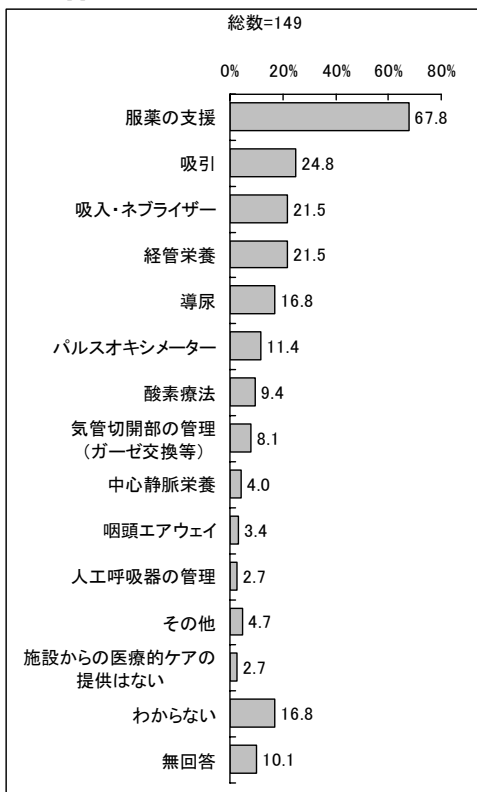


問15 全ての方にお聞きします。あなたの入っている施設で提供可能な医療的ケアについてうかがいます。現在あなたには必要ない医療的ケアについても実施可能なものがあれば教えてください（〇はいくつでも）

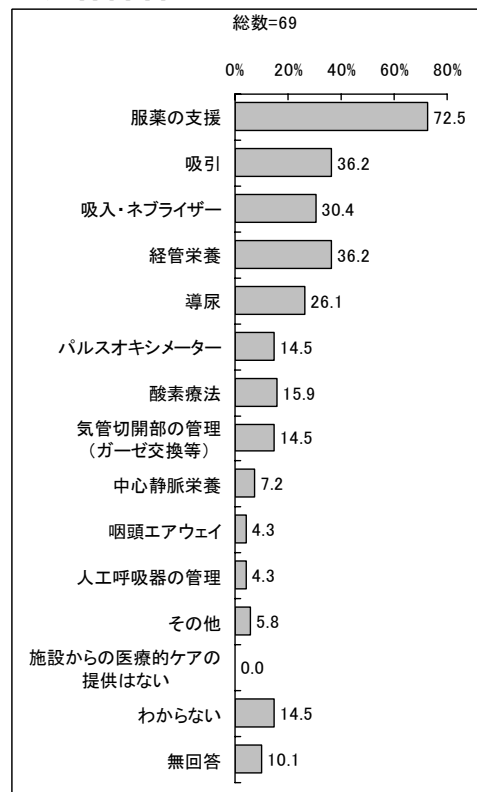
※ 回答にあたっては、施設職員にご確認いただけると助かります。ご不明な場合は「14 わからない」とご回答ください。

全体では「服薬の支援」が67.8%と最も多く、次いで「吸引」が24.8%、「吸入・ネブライザー」と「経管栄養」が21.5%などとなっています。

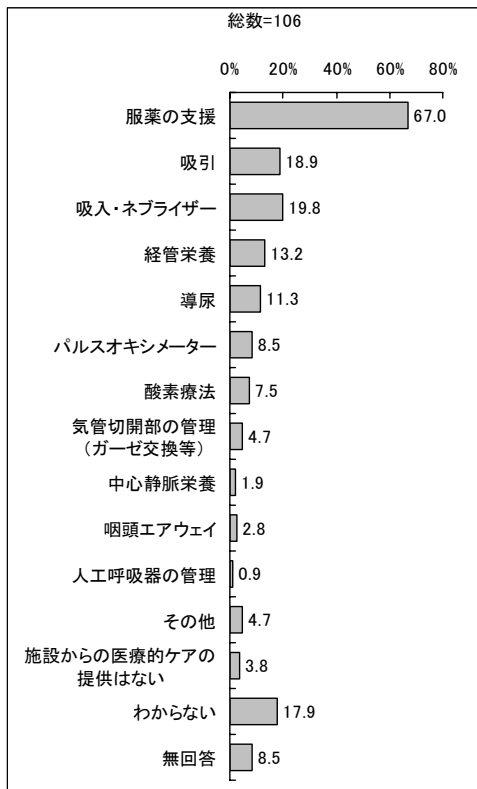
■全体



■身体障害

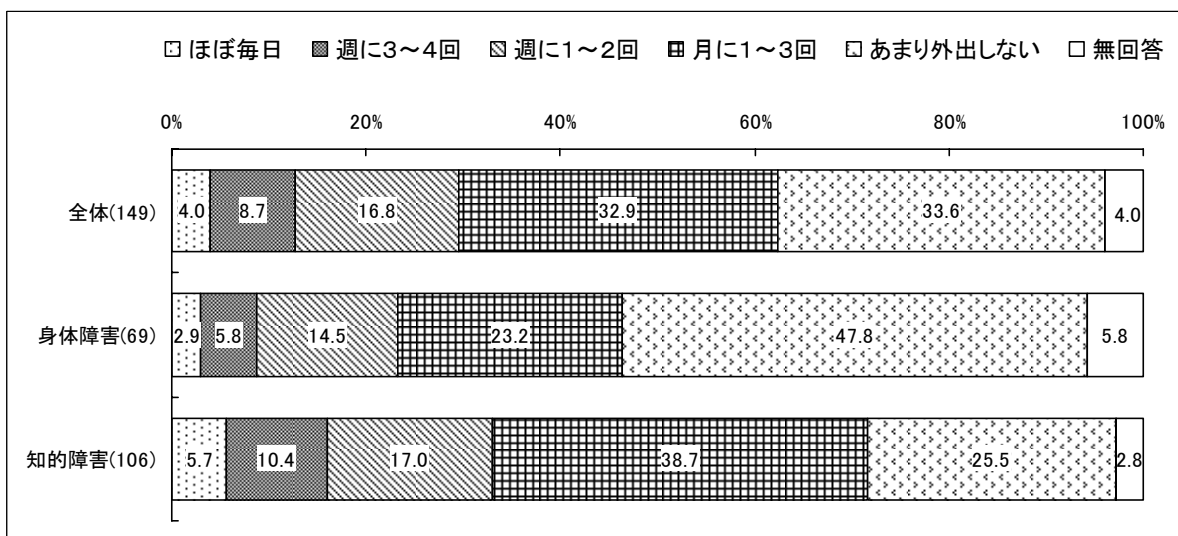


知的障害



問16 あなたはどのくらいの頻度で外出していますか。(○はひとつ)

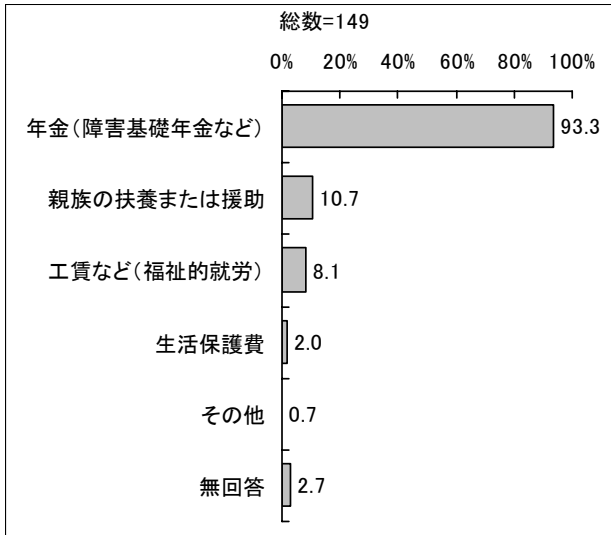
全体では「あまり外出しない」が 33.6%と最も多く、次いで「月に1～3回」が 32.9%、「週に1～2回」が 16.8%などとなっています。障害別に見ると、身体障害では「あまり外出しない」が半数近くに上っています。



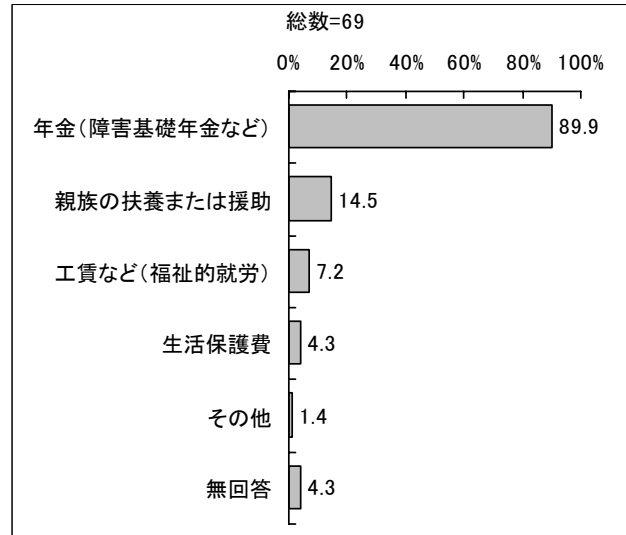
問17 あなたご本人の主な収入の内訳をお聞きます。(〇は2つまで)

全体では「年金（障害基礎年金など）」が 93.3%と大半を占めており、次いで「親族の扶養または援助」が 10.7%、「工賃など（福祉的就労）」が 8.1%などとなっています。

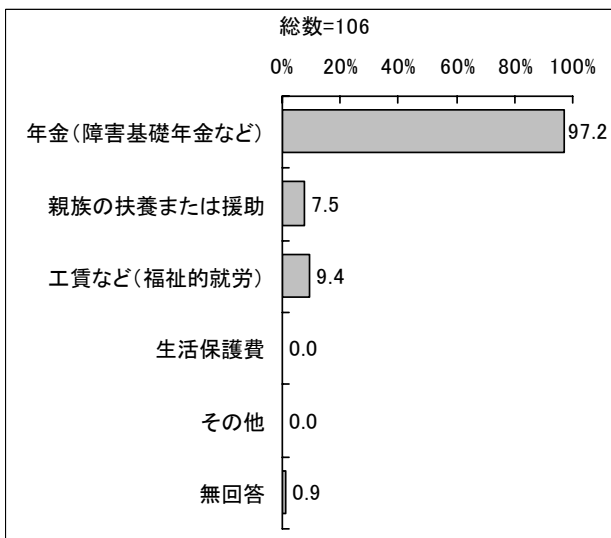
■全体



■身体障害



■知的障害

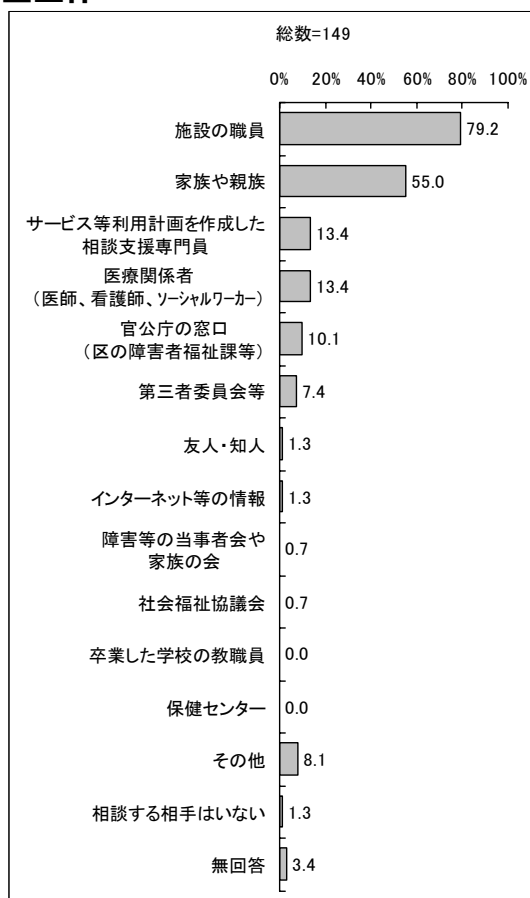


4 相談や福祉の情報について

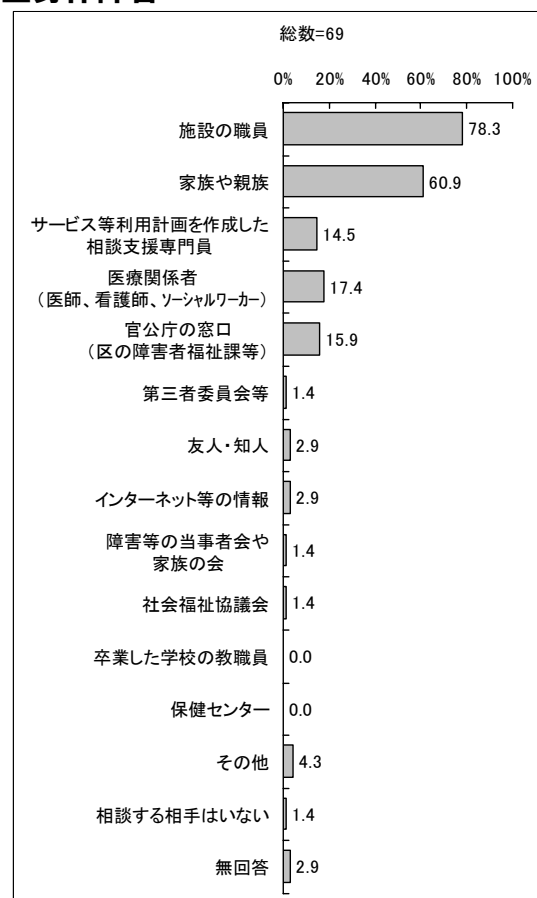
問18 あなたが困ったときに相談する相手は誰ですか。(〇はいくつでも)

全体では「施設の職員」が79.2%と最も多く、次いで「家族や親族」が55.0%、「サービス等利用計画を作成した相談支援専門員」と「医療関係者（医師、看護師、ソーシャルワーカー）」が13.4%などとなっています。障害別に見ると、上記のほか、身体障害では「官公庁の窓口（区の障害者福祉課等）」、知的障害では「第三者委員会等」がやや多くなっています。

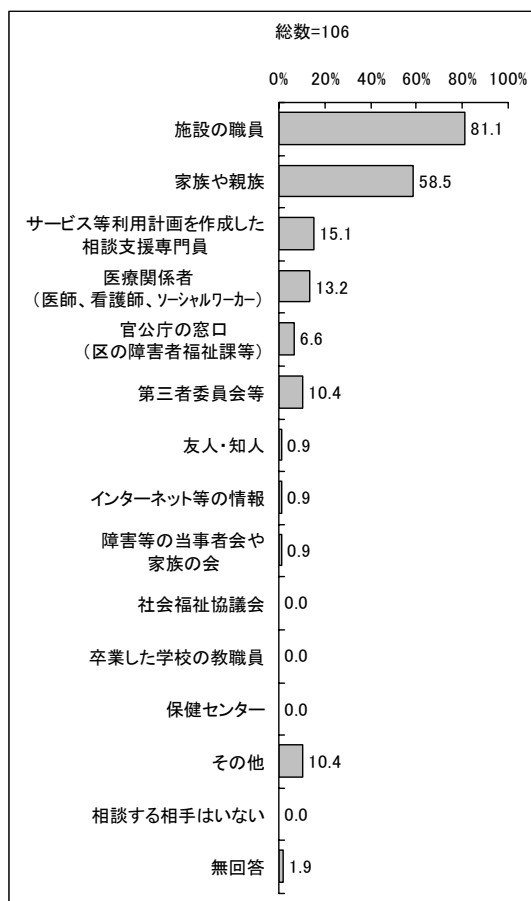
■全体



■身体障害



知的障害

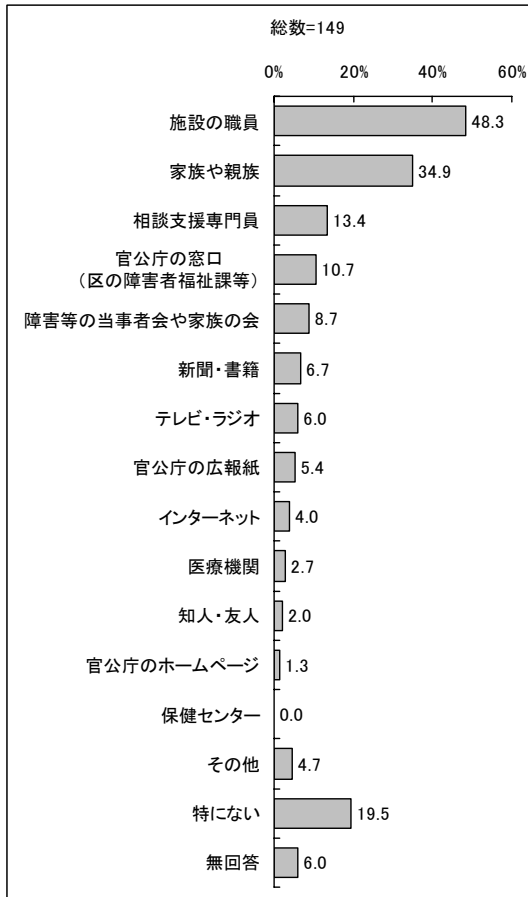


問19 あなたは、福祉に関する情報を、主にどこから得ていますか。

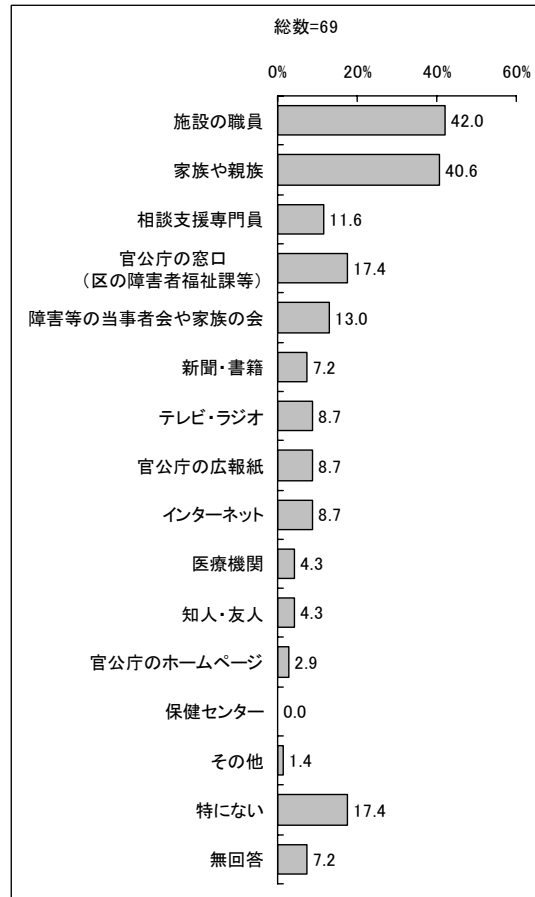
(○はいくつでも)

全体では「施設の職員」が48.3%と最も多く、次いで「家族や親族」が34.9%、「相談支援専門員」が13.4%などとなっています。

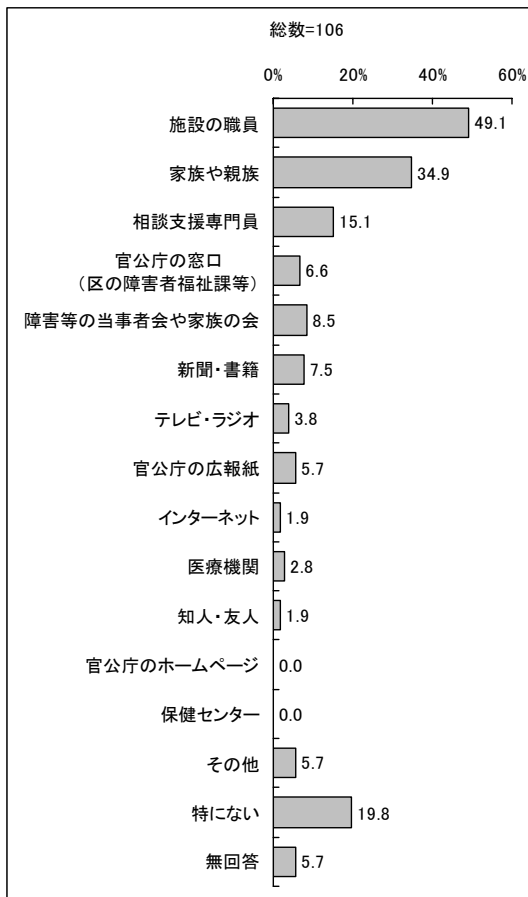
■全体



■身体障害



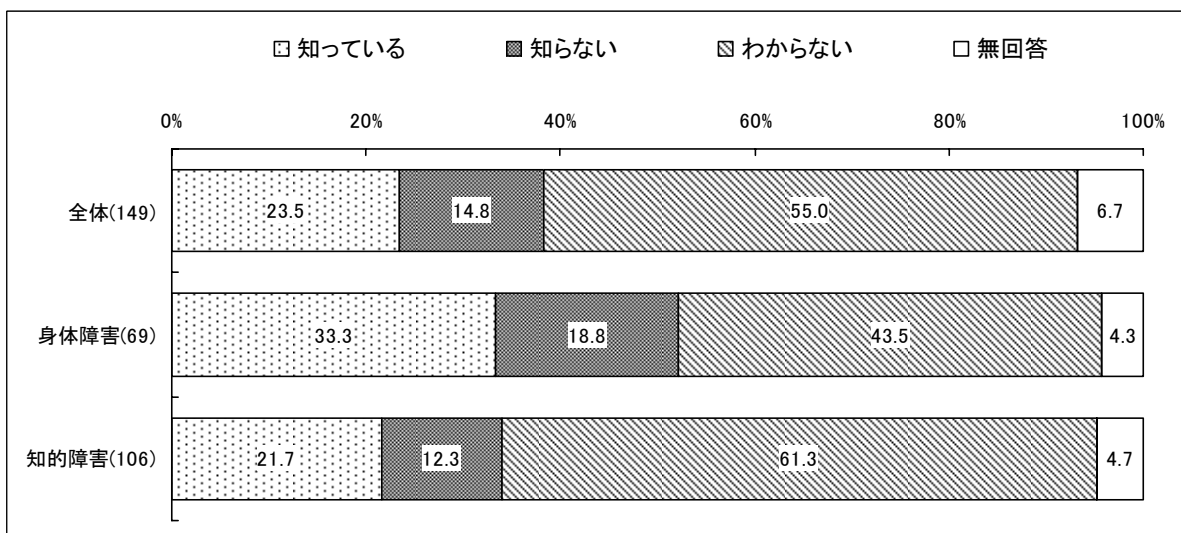
知的障害



5 権利擁護について

問20 障害者虐待防止法が平成24年10月に施行されたことを知っていますか。
(○はひとつ)

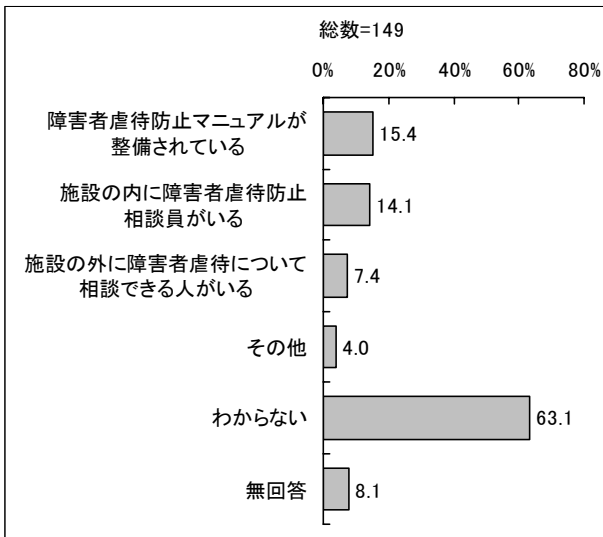
全体では「知っている」が 23.5%に対し、「知らない」が 14.8%、「わからない」が 55.0%となっています。



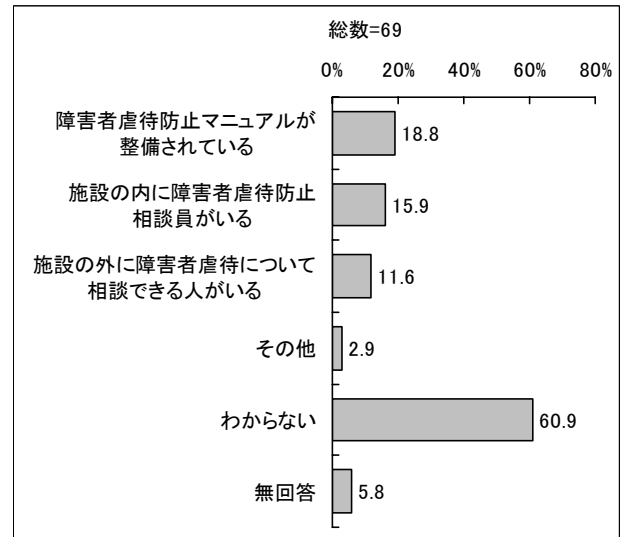
問21 あなたは、障害者虐待の防止にむけて施設が取り組んでいることを知っていますか。(〇はいくつでも)

全体では「障害者虐待防止マニュアルが整備されている」が 15.4%、「施設の内に障害者虐待防止相談員がいる」が 14.1%、「施設の外に障害者虐待について相談できる人がある」が 7.4%などとなっている一方、「わからない」が 63.1%となっています。

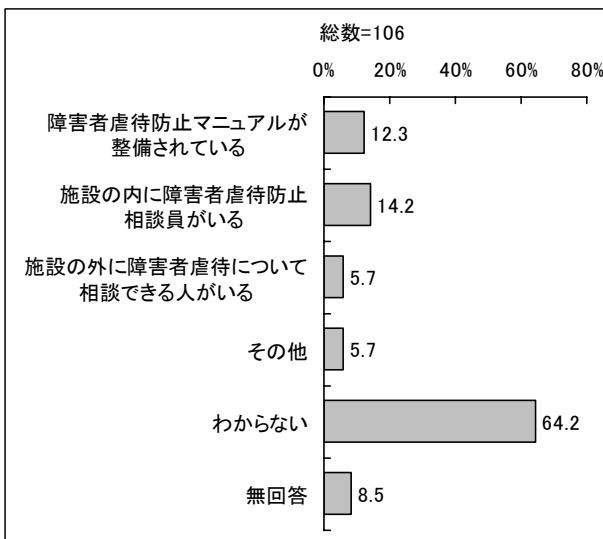
■全体



■身体障害

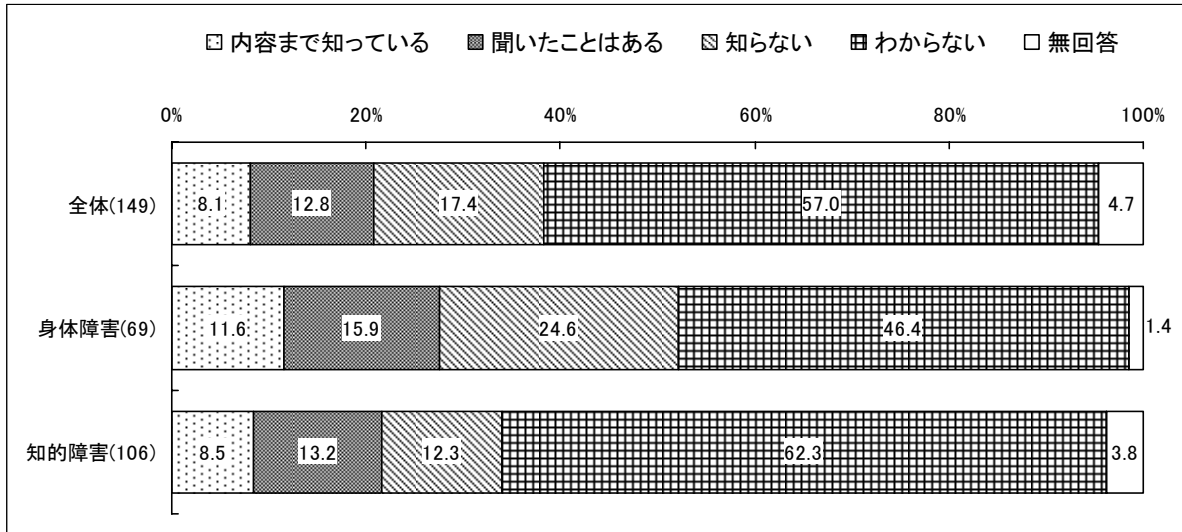


■知的障害



問22 障害者差別解消法が平成28年4月1日に施行（運用開始）されたことを知っていますか。（○はひとつ）

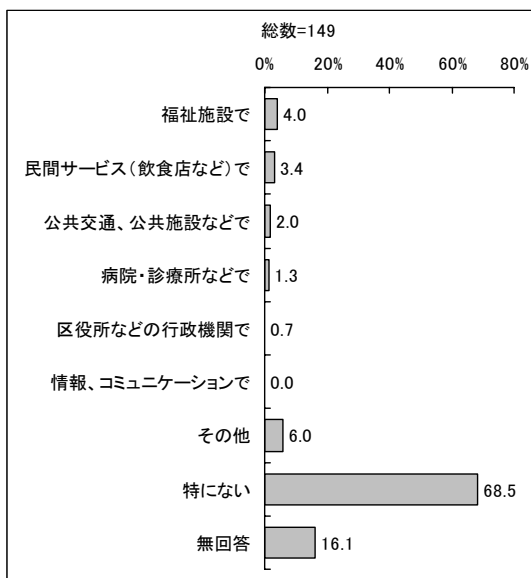
全体では「内容まで知っている」が8.1%、「聞いたことはある」が12.8%、「知らない」が17.4%、「わからない」が57.0%となっています。



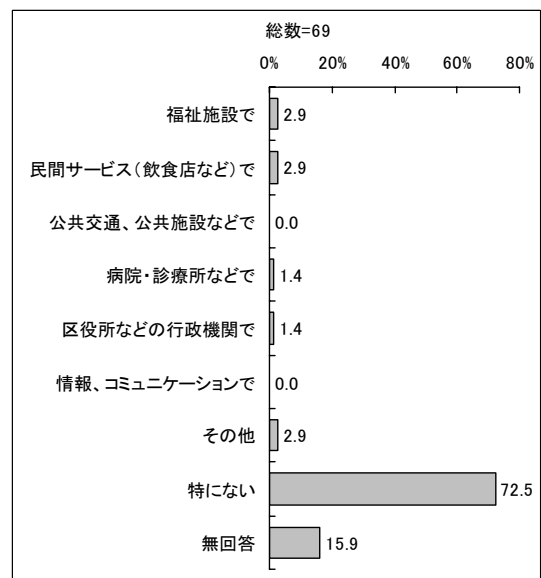
問23 あなたは最近3年間で、障害があることが原因で、差別と感じる取扱いを受けた経験がありますか。あてはまる場面の番号を【 】内に記入し、内に具体的な内容をご記入ください。(3つまで)

全体では「福祉施設で」が4.0%と最も多く、次いで「民間サービス（飲食店など）」で3.4%、「公共交通、交通施設などで」が2.0%などとなっています。

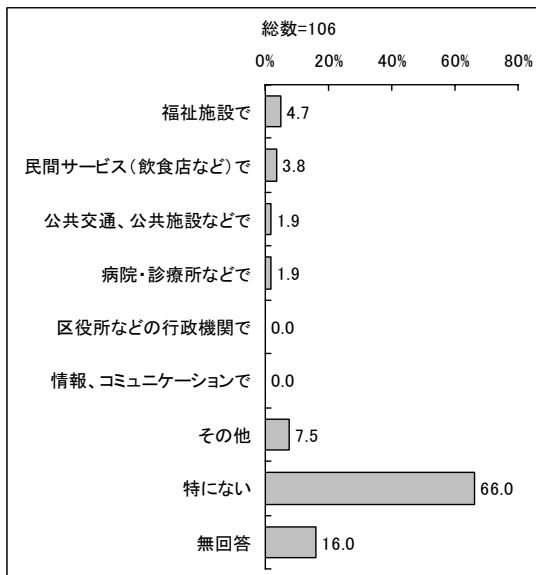
■全体



■身体障害



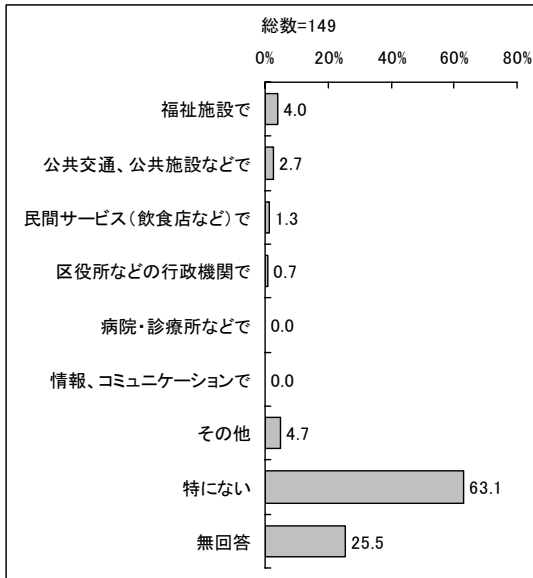
■知的障害



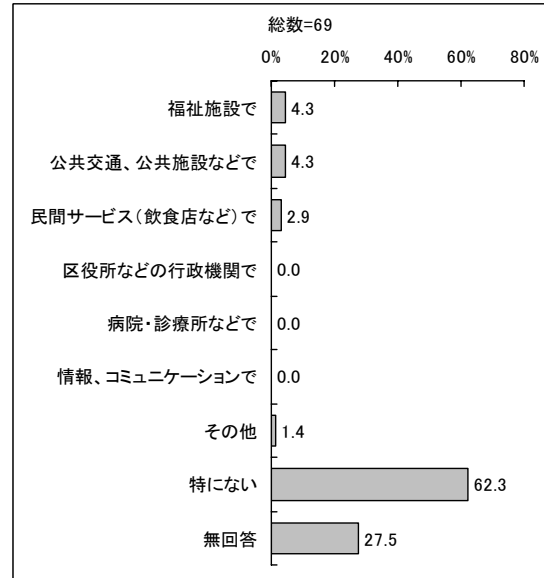
問24 あなたが、平成28年4月の障害者差別解消法の施行と関連して障害者への配慮として良いと思ったこと、配慮があつて助かったこと、改善されたと感じたことはありますか。あてはまる場面の番号を【 】内に記入し、
 内に具体的な内容をご記入ください。(3つまで)

全体では「福祉施設で」が4.0%と最も多く、次いで「公共交通、交通施設などで」が2.7%、「民間サービス（飲食店など）で」が1.3%などとなっています。

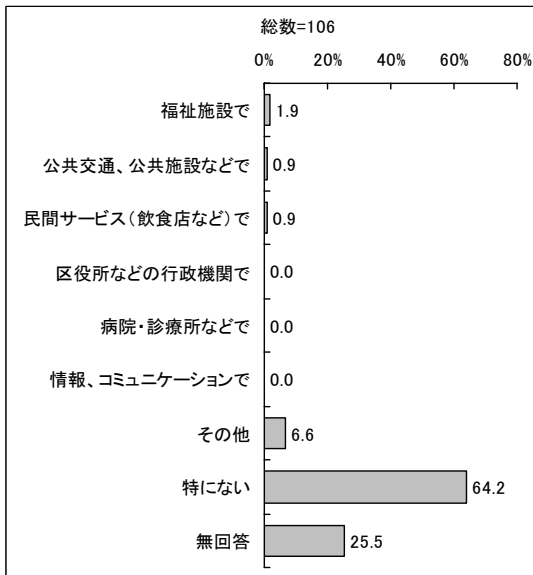
■全体



■身体障害



■知的障害

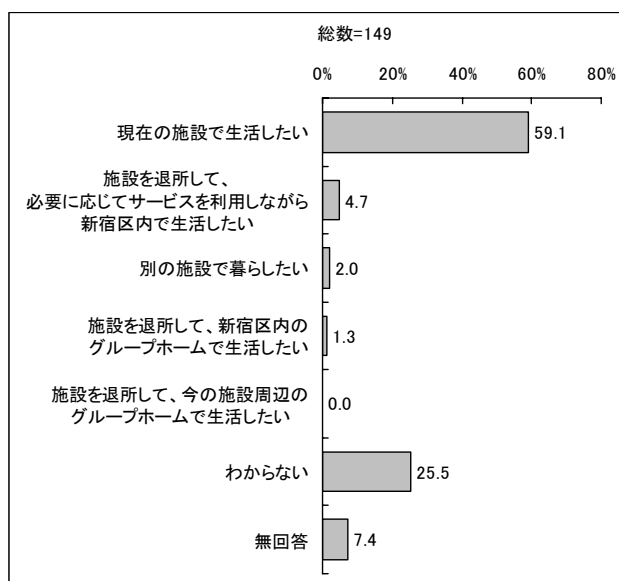


6 今後の暮らし方について

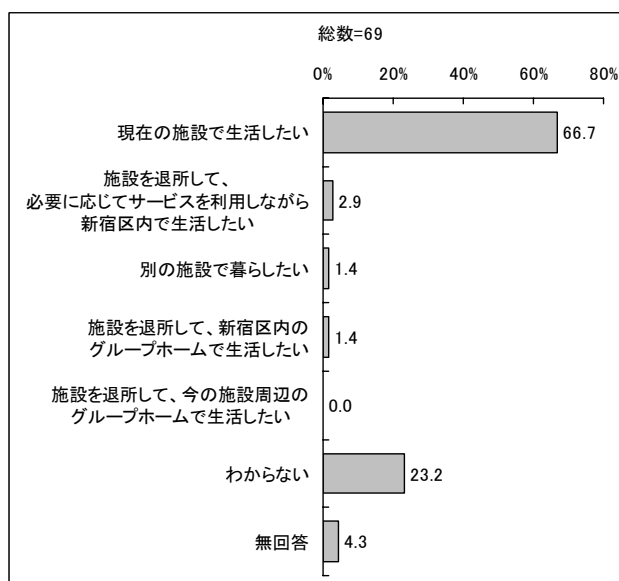
問25 あなたは今後、どのような生活を希望しますか。(〇はひとつ)

全体では「現在の施設で生活したい」が59.1%と最も多く、次いで「施設を退所して、必要に応じてサービスを利用しながら新宿区内で生活したい」が4.7%、「別の施設で暮らしたい」が2.0%などとなっています。障害別に見ると、身体障害では、知的障害よりも「現在の施設で生活したい」の回答割合がやや高くなっています。

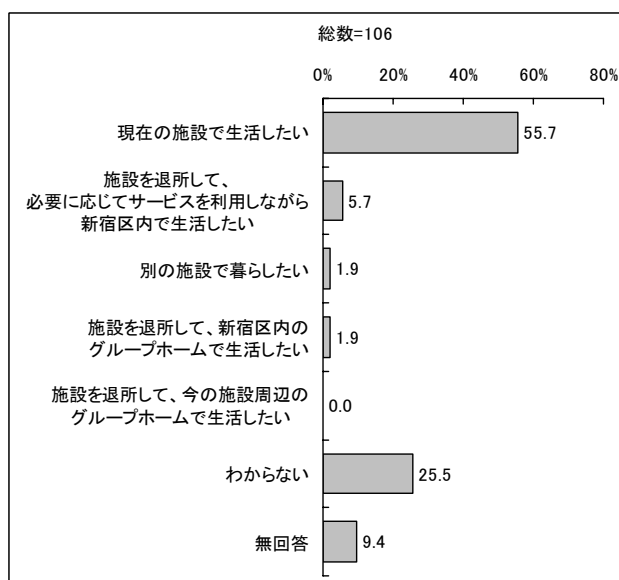
■全体



■身体障害



■知的障害



今後希望する生活と年齢・入所施設の所在地域・入所年数

いずれの属性においてもおおむね「現在の施設で生活したい」が多くなっています。

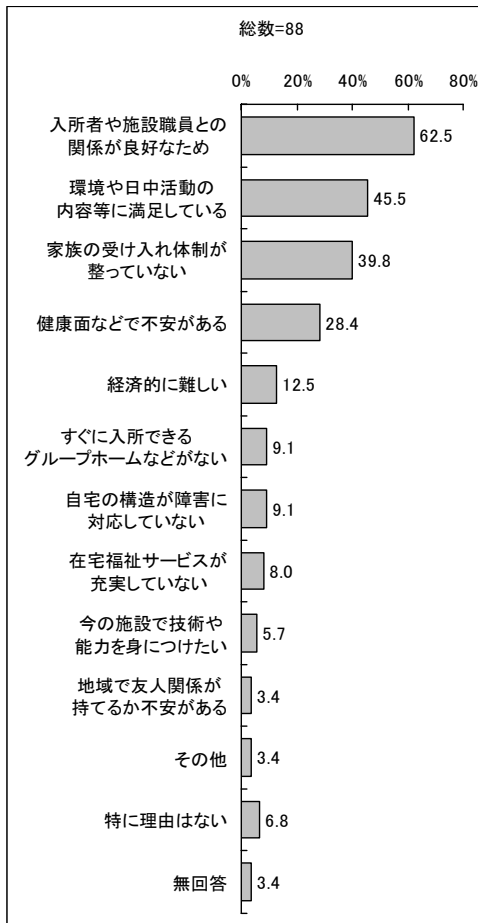
上段：件 下段：%	合計	らじてサ 新宿区 区内で 生活を 利用し たいが	施設を 退所し て、必 要に 応	たのグ ループ ホーム で生活 し	施設を 退所し て、今 の施設 で生	活した い	周のグ ループ ホーム で生	現在の 施設で 生活し たい	別の施 設で暮 らした い	わか らない	無回 答
全体	149 100.0	7 4.7	2 1.3	0 0.0	88 59.1	3 2.0	38 25.5	11 7.4			
18～39歳	28 100.0	2 7.1	2 7.1	0 0.0	16 57.1	1 3.6	5 17.9	2 7.1			
40～64歳	86 100.0	5 5.8	0 0.0	0 0.0	47 54.7	2 2.3	24 27.9	8 9.3			
65～74歳	26 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	20 76.9	0 0.0	6 23.1	0 0.0			
75歳以上	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0			
新宿区内	32 100.0	0 0.0	2 6.3	0 0.0	22 68.8	0 0.0	4 12.5	4 12.5			
23区内	11 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10 90.9	0 0.0	1 9.1	0 0.0			
東京都 (23区内を除く)	32 100.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0	17 53.1	0 0.0	12 37.5	2 6.3			
関東甲信越 (東京都を除く)	49 100.0	2 4.1	0 0.0	0 0.0	30 61.2	1 2.0	11 22.4	5 10.2			
東北	15 100.0	2 13.3	0 0.0	0 0.0	3 20.0	0 0.0	10 66.7	0 0.0			
その他	8 100.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	5 62.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0			
1年未満	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 40.0	2 20.0	4 40.0	0 0.0			
1年以上～ 3年未満	28 100.0	0 0.0	1 3.6	0 0.0	18 64.3	0 0.0	5 17.9	4 14.3			
3年以上～ 5年未満	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 83.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0			
5年以上～ 10年未満	16 100.0	2 12.5	1 6.3	0 0.0	7 43.8	0 0.0	5 31.3	1 6.3			
10年以上～ 20年未満	22 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	15 68.2	1 4.5	4 18.2	2 9.1			
20年以上	64 100.0	4 6.3	0 0.0	0 0.0	37 57.8	0 0.0	19 29.7	4 6.3			
わからない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0			

問26 問25で「4 現在の施設で生活したい」と回答した方にお聞きします。

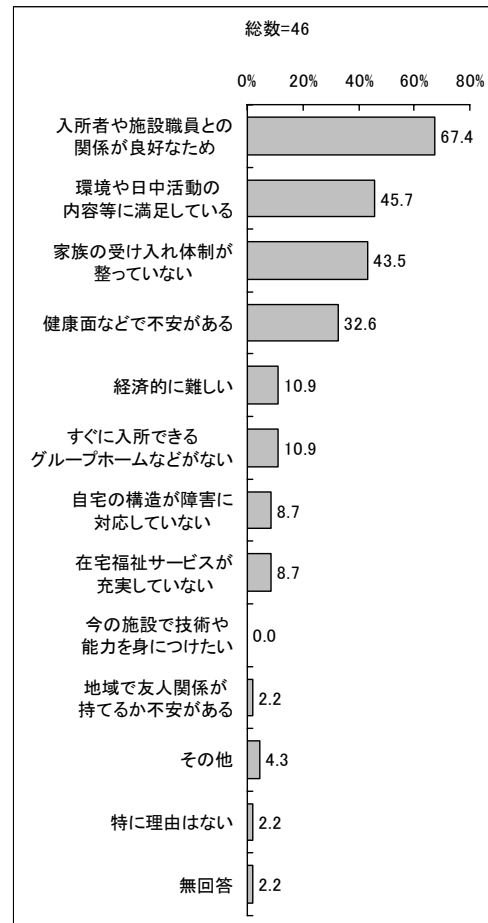
現在の施設での生活を続けたい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

全体では「入所者や施設職員との関係が良好なため」が62.5%と最も多く、次いで「環境や日中活動の内容等に満足している」が45.5%、「家族の受け入れ体制が整っていない」が39.8%などとなっています。

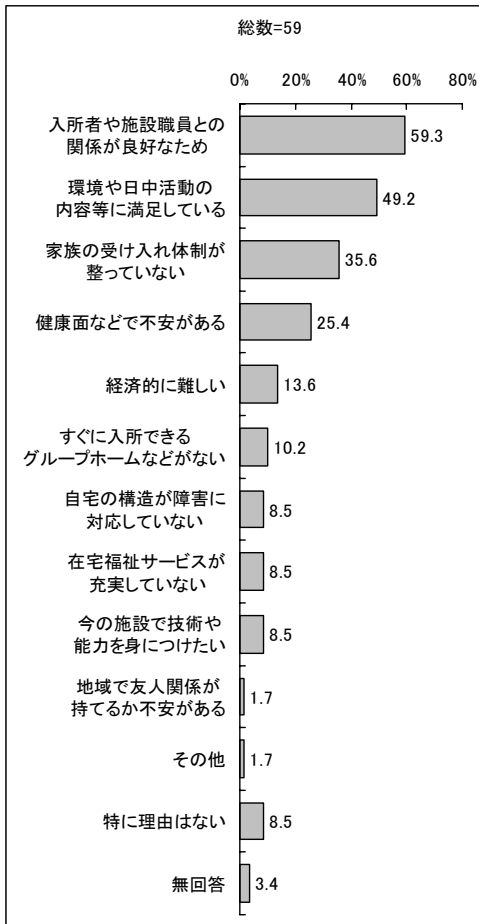
■全体



■身体障害



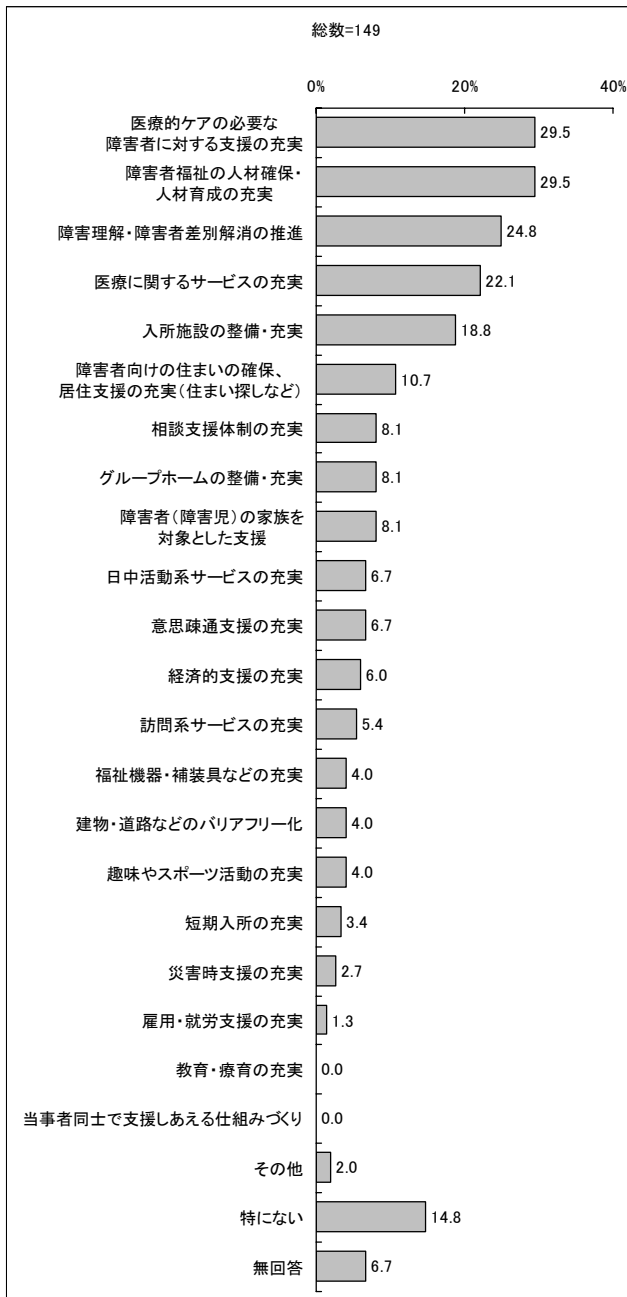
知的障害



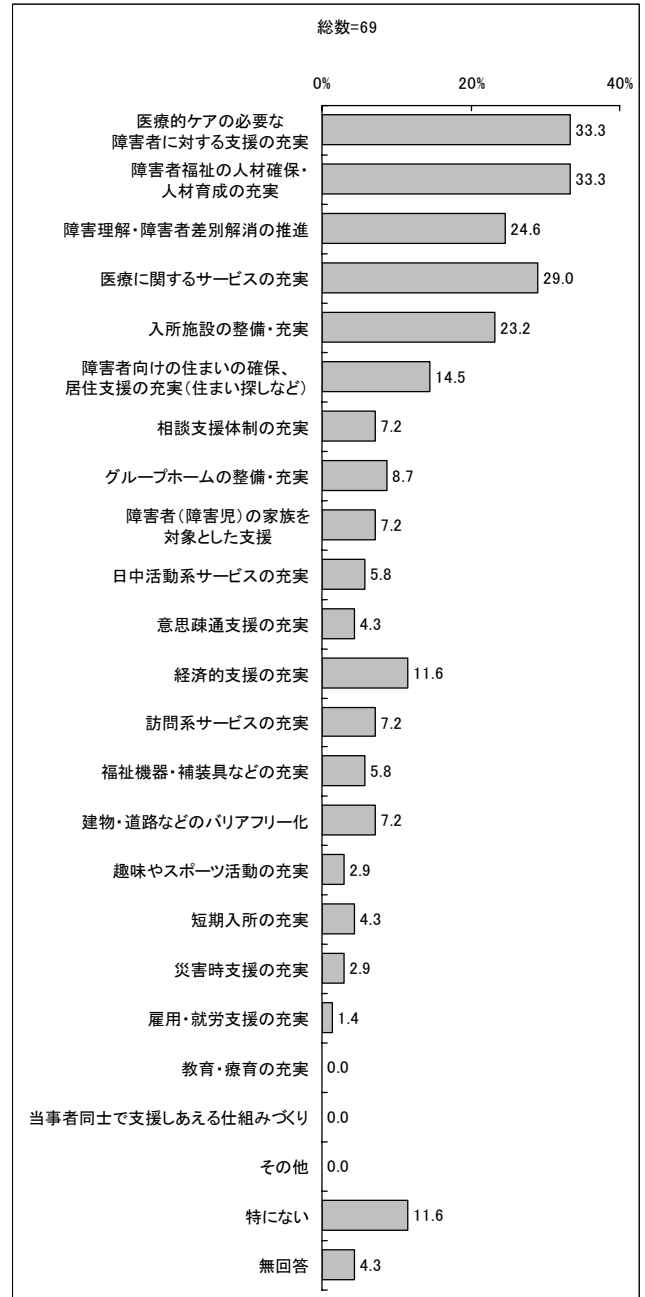
問27 全ての方にお聞きします。障害者が地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。（〇は3つまで）

全体では「医療的ケアの必要な障害者に対する支援の充実」と「障害者福祉の人材確保・人材育成の充実」が29.5%と最も多く、次いで「障害理解・障害者差別解消の推進」が24.8%、「医療に関するサービスの充実」が22.1%、「入所施設の整備・充実」が18.8%などとなっています。

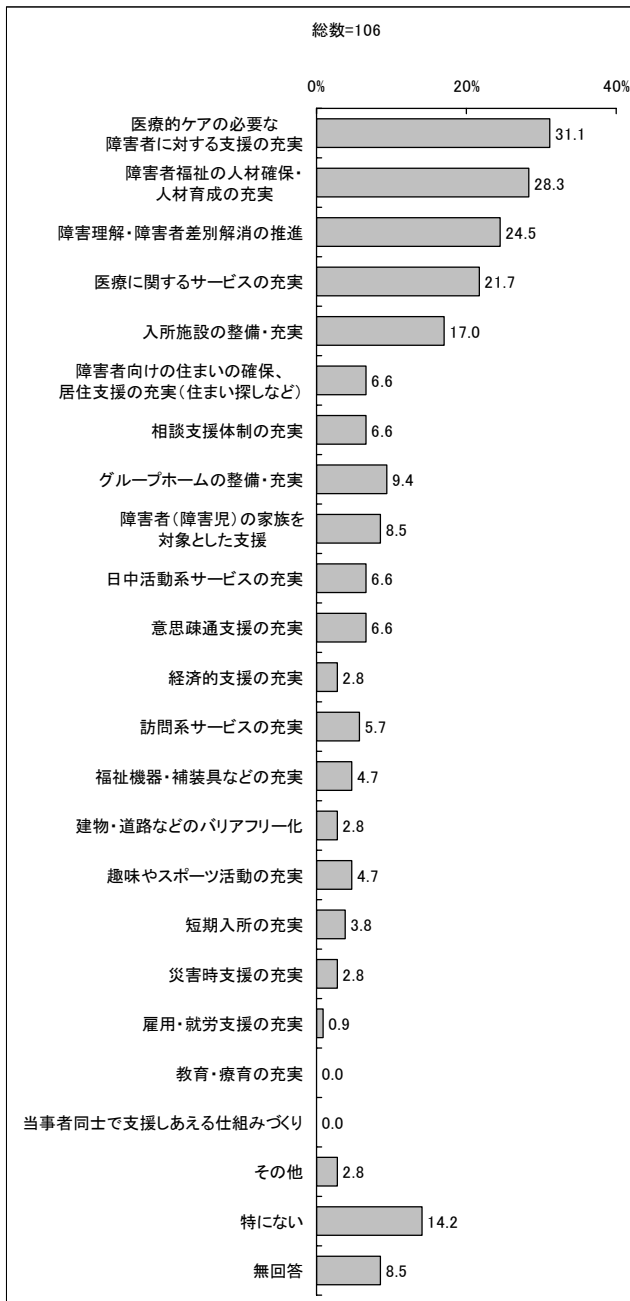
■全体



■身体障害



知的障害



7 自由意見

問28 障害者施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

全体では24件の意見が寄せられています。分野別に見ると「福祉サービス」についての意見が最も多く、12件となっています。次いで、「生活環境」についての意見が9件、「行政・制度」についての意見が4件と続いています。

上段:件 下段:%	全体	行政・制度	福祉サービス	将来について	障害への理解	情報・相談	生活環境	アンケート
全体	24 100.0	4 16.7	12 50.0	2 8.3	2 8.3	3 12.5	9 37.5	1 4.2

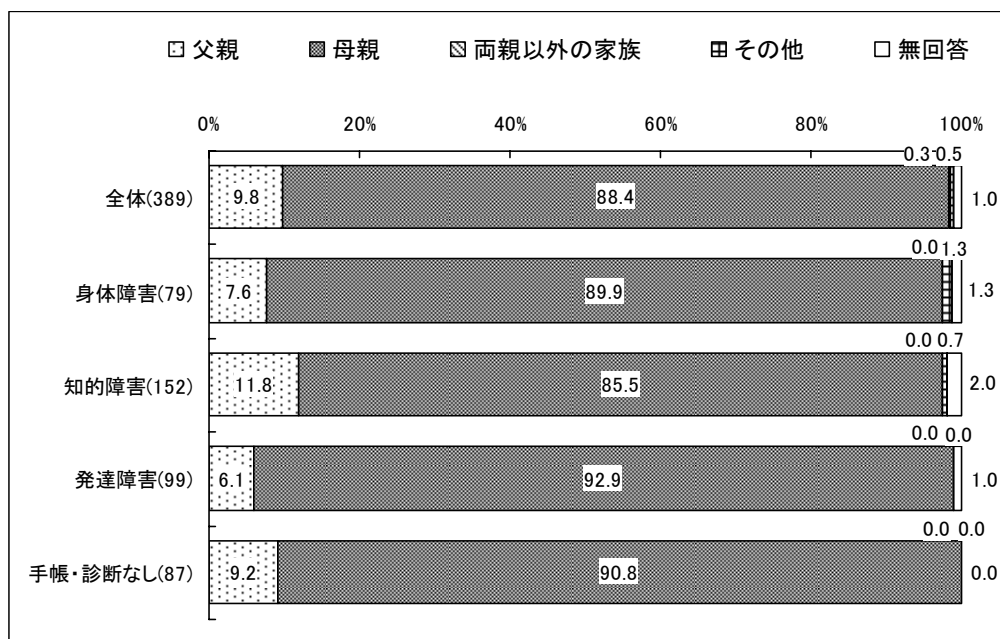
具体的には、施設職員の対応に関すること、施設で受けられるサービスや食事に関する要望などが挙げられています。

Ⅲ. 児童（18歳未満）の保護者の方を対象とした調査

1 お子さんについて

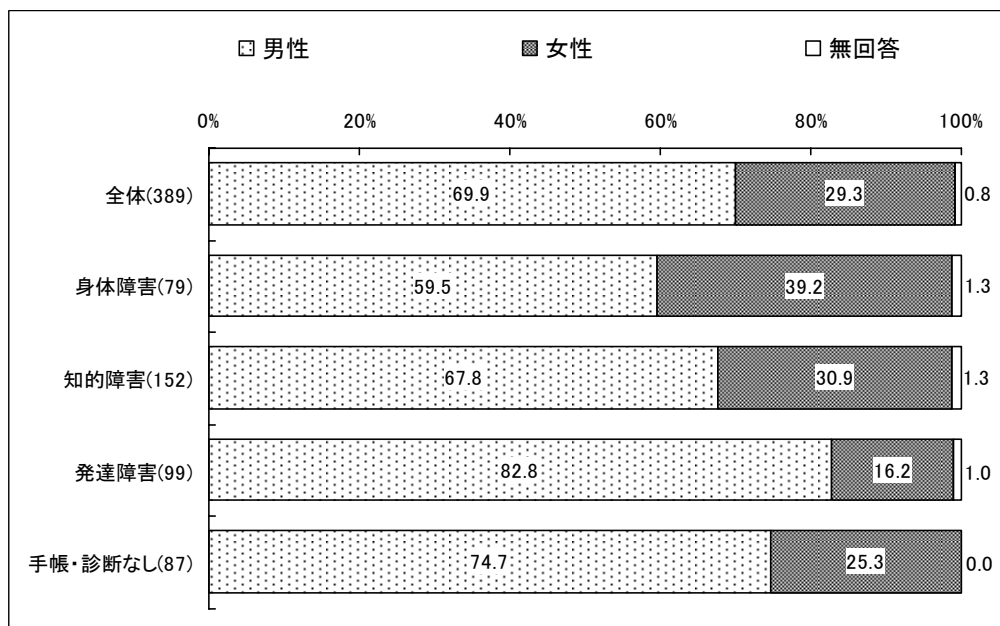
問1 この調査票に回答していただく方は、あて名のお子さんから見て、どなたにあたりますか。(〇はひとつ)

全体では「母親」が88.4%と大半を占めており、次いで「父親」が9.8%、「両親以外の家族」が0.3%、「その他」が0.5%となっています。



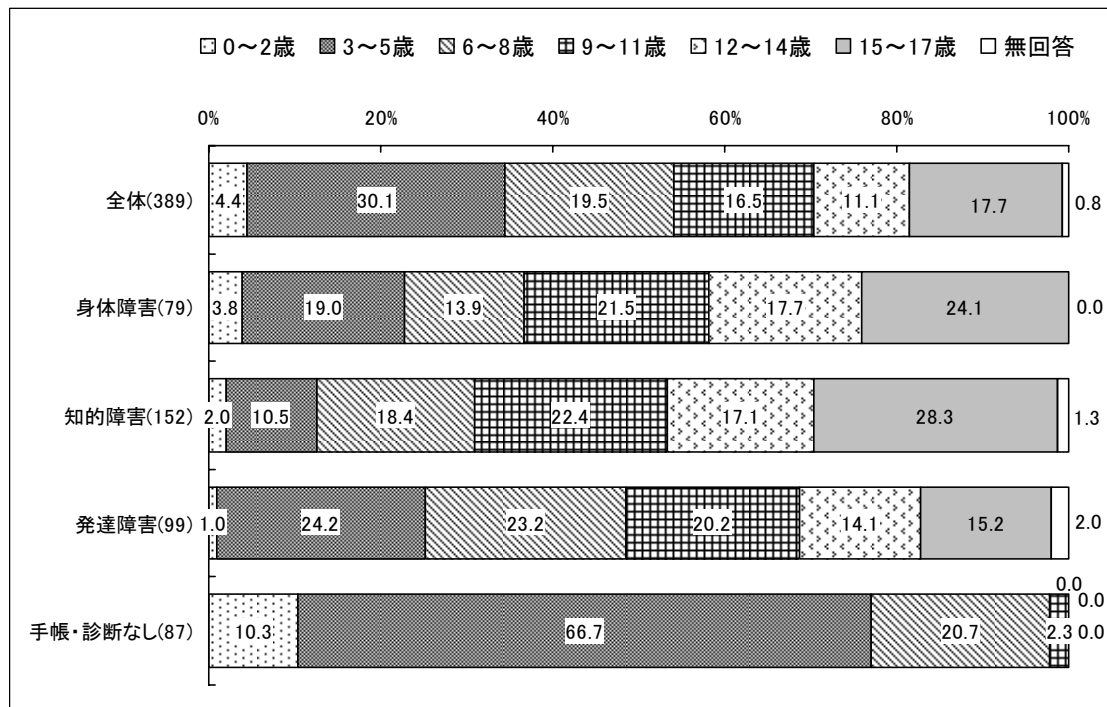
問2 お子さんの性別をお聞きします。(〇はひとつ)

全体では「男性」が69.9%、「女性」が29.3%となっています。



問3 お子さんの年齢をお聞きします。平成28年11月1日現在の満年齢をお書きください。

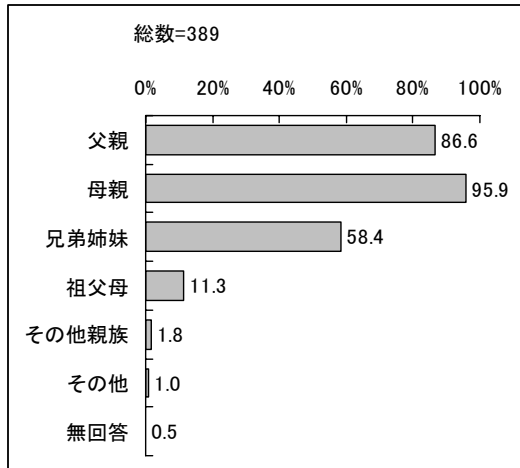
全体では「3～5歳」が30.1%と最も多く、次いで「6～8歳」が19.5%、「15～17歳」が17.7%などとなっています。



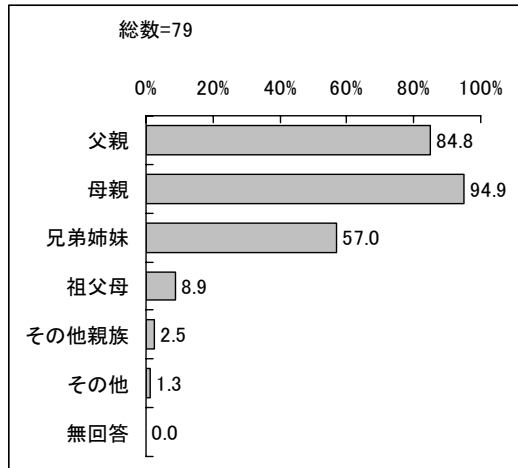
問4 あて名のお子さんと一緒に住んでいるのは誰ですか。(〇はいくつでも)

全体では「母親」が95.9%、「父親」が86.6%、「兄弟姉妹」が58.4%などとなっています。

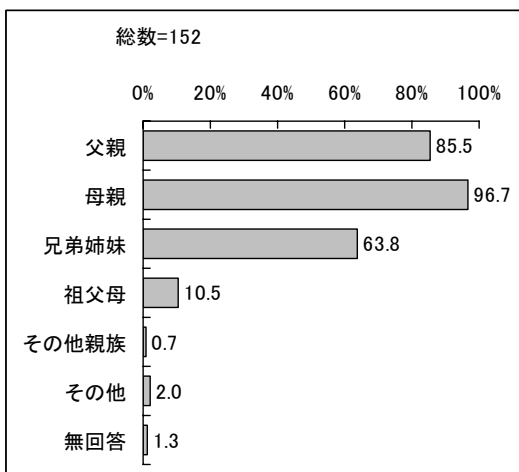
■全体



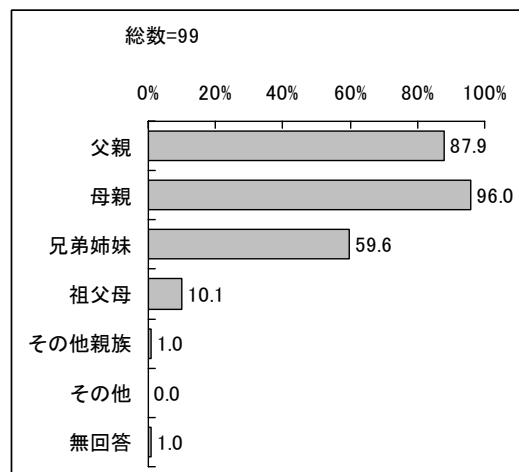
■身体障害



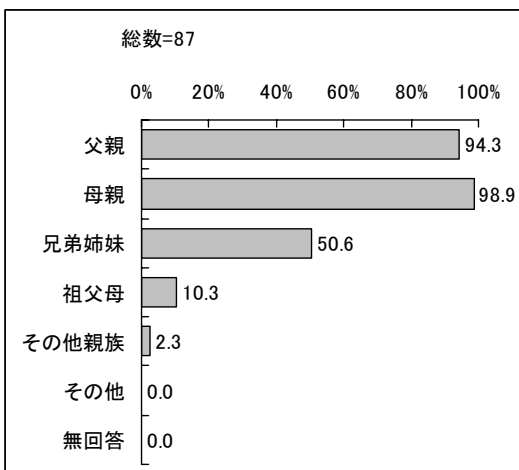
■知的障害



■発達障害



■手帳・診断なし

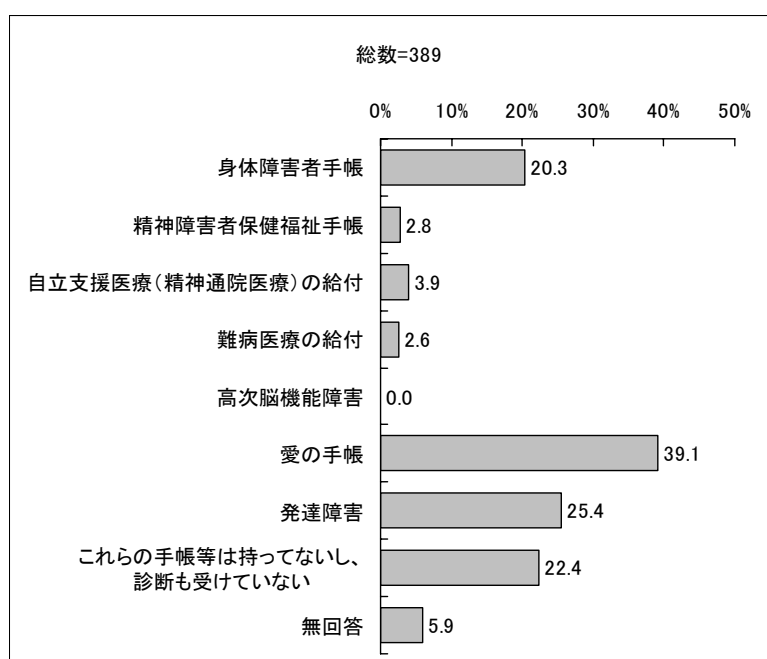


2 障害や健康の状況について

問5 お子さんが持っている手帳や医療券などの種類をお聞きします。手帳をお持ちの方は、等級・程度もご記入ください。また、自立支援医療や難病医療の給付を受けていたり、発達障害、高次脳機能障害などの診断を受けている方は、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

(1) 手帳・診断等の種類

「愛の手帳」が39.1%と最も多く、次いで「発達障害」が25.4%、「これらの手帳等は持ってないし、診断も受けていない」が22.4%などとなっています。

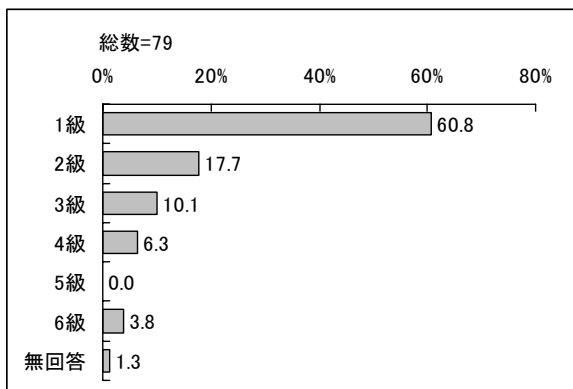


障害別の手帳・診断等の状況

上段:件 下段:%	合計	身体障害者手帳	精神障害者保健福祉手帳	自立支援医療(精神通院医療)の給付	難病医療の給付	高次脳機能障害	愛の手帳	発達障害	診断も受けていない、これらの手帳等はない	無回答
全体	389 100.0	79 20.3	11 2.8	15 3.9	10 2.6	0 0.0	152 39.1	99 25.4	87 22.4	23 5.9
身体障害	79 100.0	79 100.0	1 1.3	1 1.3	7 8.9	0 0.0	29 36.7	1 1.3	0 0.0	0 0.0
知的障害	152 100.0	29 19.1	1 0.7	5 3.3	4 2.6	0 0.0	152 100.0	35 23.0	0 0.0	0 0.0
発達障害	99 100.0	1 1.0	7 7.1	3 3.0	0 0.0	0 0.0	35 35.4	99 100.0	0 0.0	0 0.0
手帳・診断なし	87 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	87 100.0	0 0.0

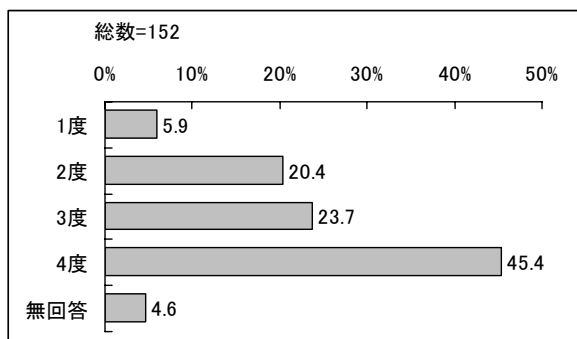
(2) 手帳の等級等

①身体障害者手帳の等級



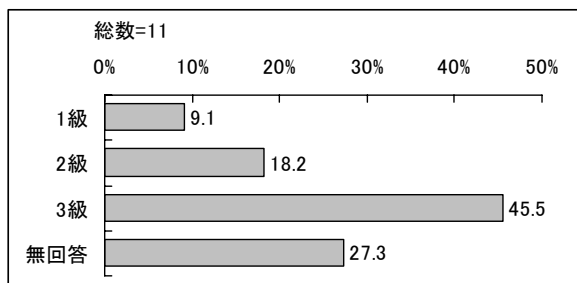
「1級」が60.8%と最も多く、次いで「2級」が17.7%、「3級」が10.1%、「4級」が6.3%などとなっています。

②愛の手帳の等級



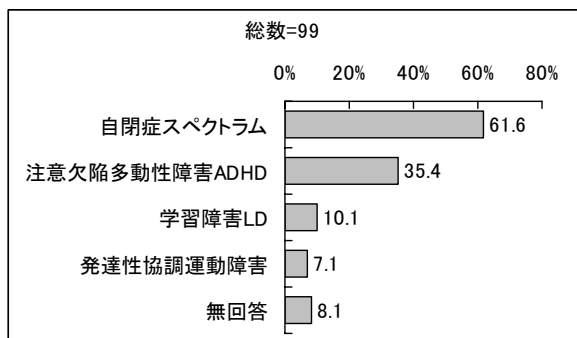
「4度」が45.4%で最も多く、次いで「3度」が23.7%、「2度」が20.4%などとなっています。

③精神障害者保健福祉手帳の等級



「3級」が45.5%で最も多く、次いで「2級」が18.2%、「1級」が9.1%となっています。

④発達障害の診断名

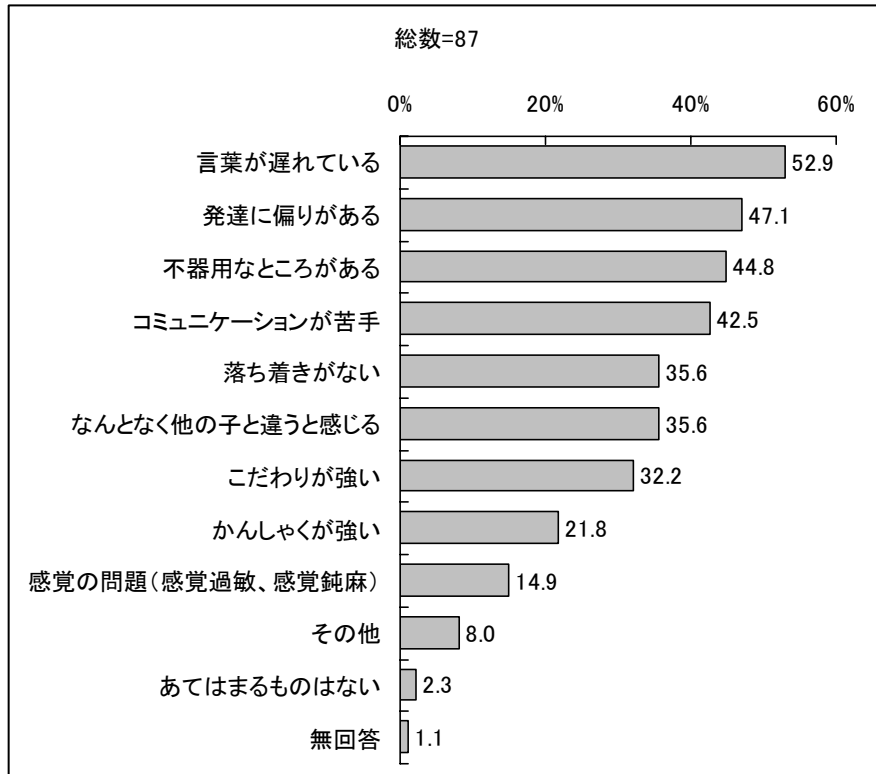


「自閉症スペクトラム」が61.6%で最も多く、次いで「注意欠陥多動性障害ADHD」が35.4%、「学習障害LD」が10.1%などとなっています。

問6 問5で「8 これらの手帳等は持ってないし、診断も受けていない」と回答された方にお聞きします。

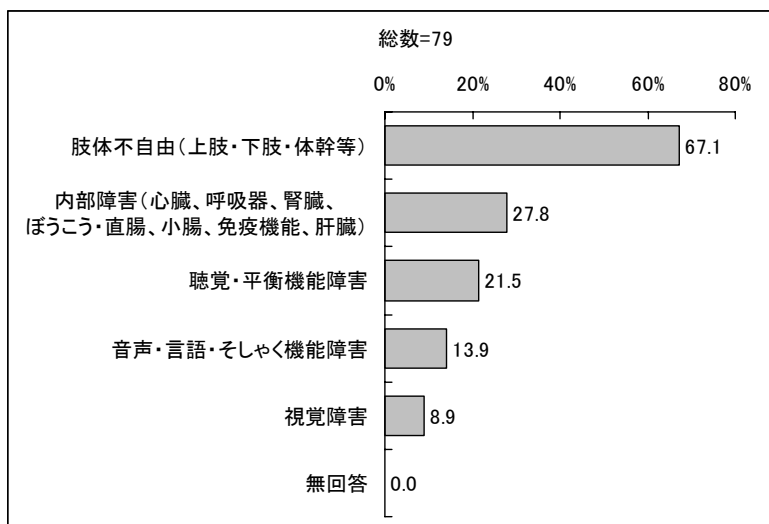
お子さんの発達の特徴として心配なことはありますか。(〇はいくつでも)

「言葉が遅れている」が52.9%と最も多く、次いで「発達に偏りがある」が47.1%、「不器用なところがある」が44.8%などとなっています。



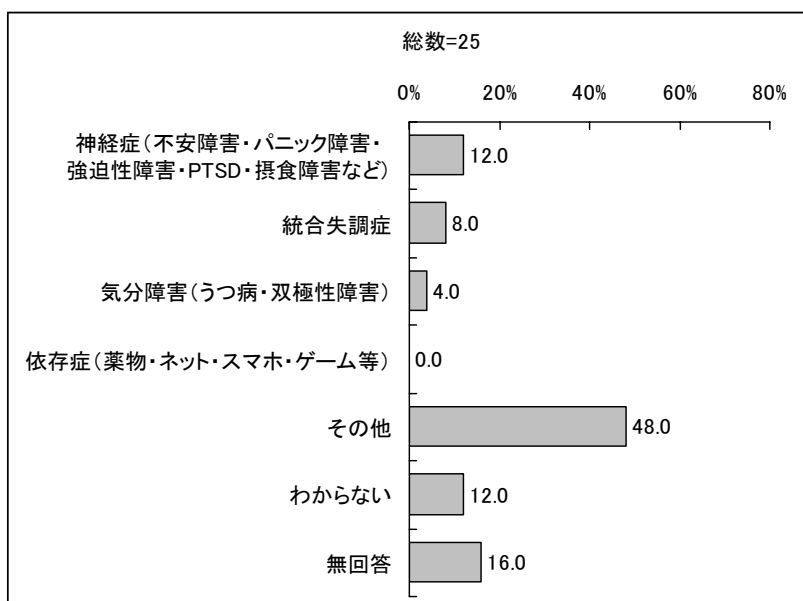
問7 **問5で「1 身体障害者手帳」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は問8へお進みください。** どのような障害がありますか。(〇はいくつでも)

「肢体不自由」が67.1%で最も多く、次いで「内部障害」が27.8%、「聴覚・平衡機能障害」が21.5%などとなっています。



問8 **問5で「2 精神障害者保健福祉手帳」または「3 自立支援医療(精神通院医療)の給付」、もしくは両方を回答された方にお聞きします。それ以外の方は問9へお進みください。** どのような障害がありますか。(〇はいくつでも)

「神経症(不安障害・パニック障害・強迫性障害・PTSD・摂食障害など)」が12.0%で最も多く、次いで「統合失調症」が8.0%、「気分障害(うつ病・双極性障害)」が4.0%などとなっています。

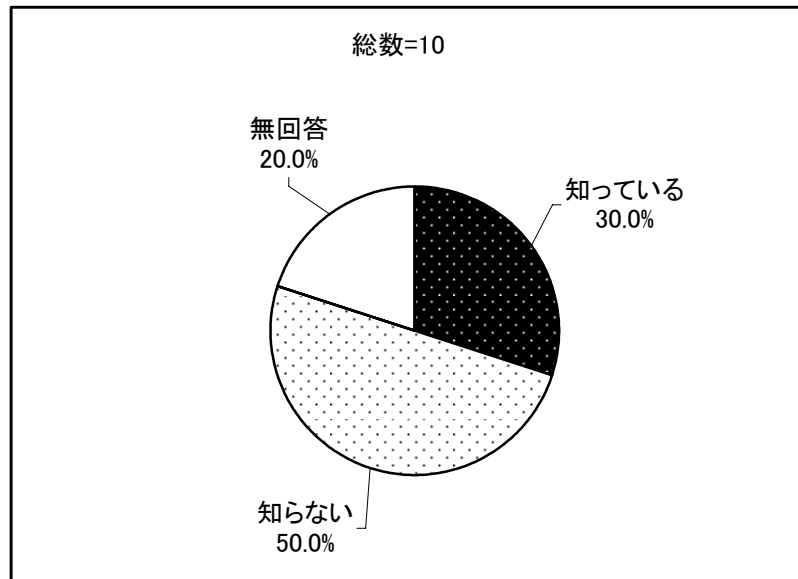


※その他…「てんかん」など

問 9 問5で「4 難病医療の給付」と回答された方にお聞きします。

平成25年4月以降、障害福祉サービスの対象者に難病の方が追加されていますが、知っていましたか。（※平成27年7月時点での指定難病は332疾病となっています。）（○はひとつ）

「知っている」が30.0%（3人）に対し、「知らない」が50.0%（5人）となっています。



問 10 問5で「5 高次脳機能障害」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は問11へお進みください。

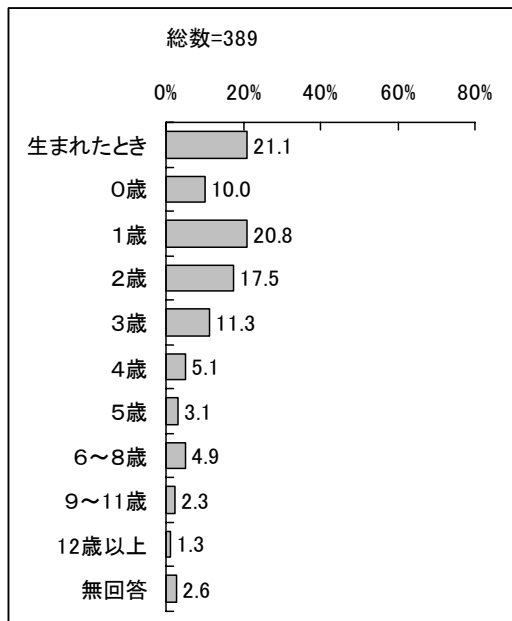
お子さんには、次のような症状がありますか。（○はいくつでも）

※高次脳機能障害と回答した方は0人

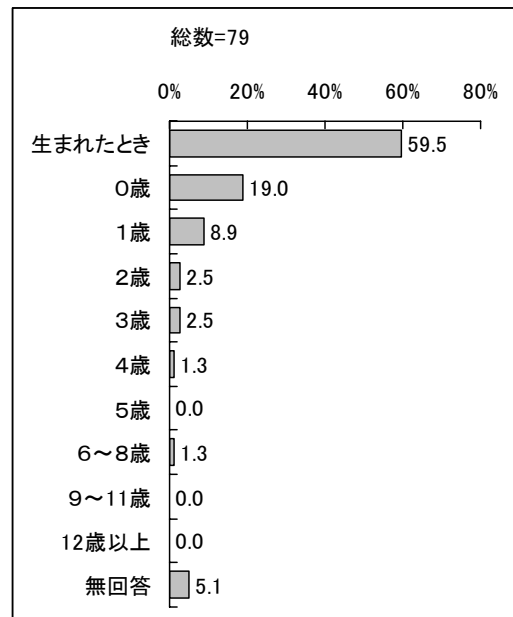
問 11 お子さんの障害や心身の不調について、ご家族の方などが最初に気づいた時期をお聞きします。(〇はひとつ)

全体では「生まれたとき」が 21.1%と最も多く、次いで「1歳」が 20.8%、「2歳」が 17.5%などとなっています。障害別に見ると、身体障害では「生まれたとき」が6割近くを占めています。

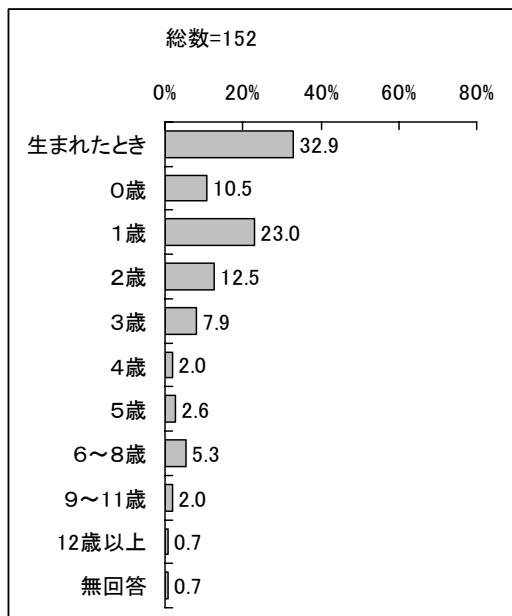
■全体



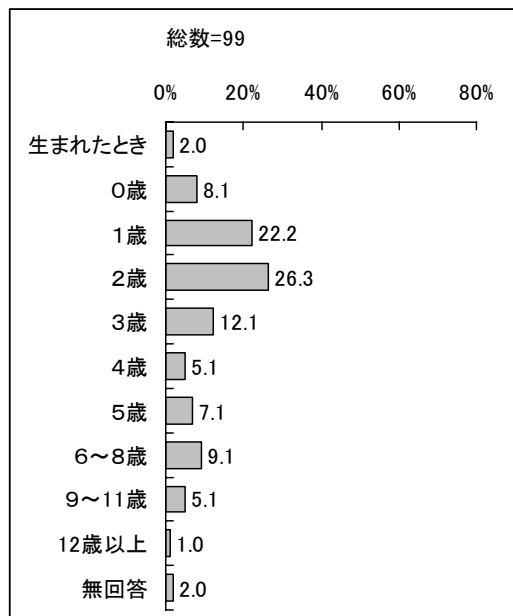
■身体障害



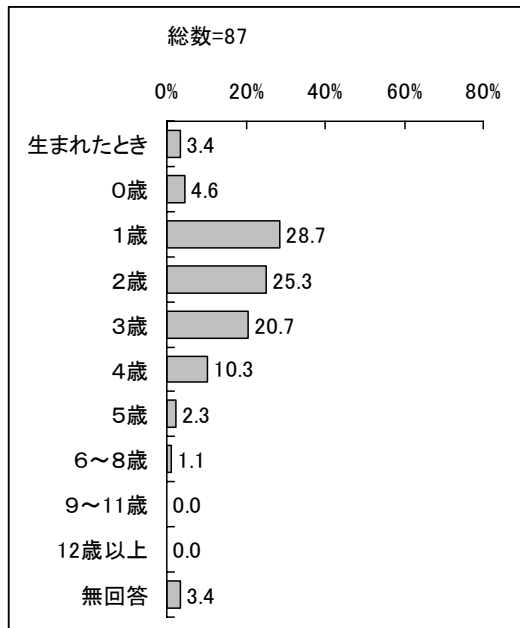
■知的障害



■発達障害



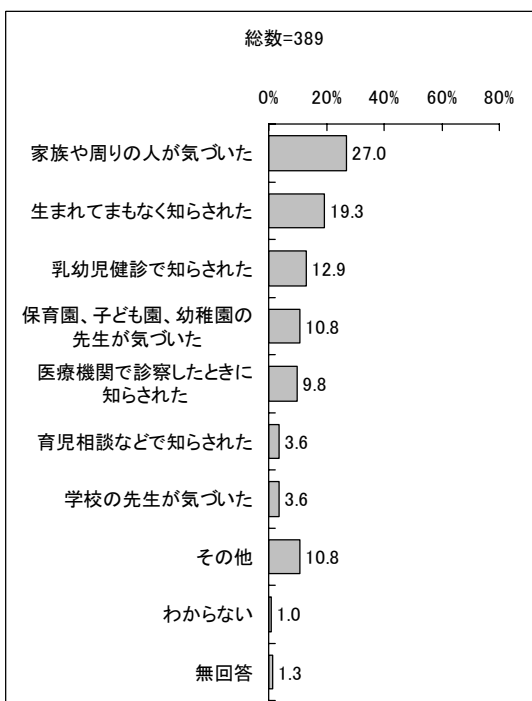
■手帳・診断なし



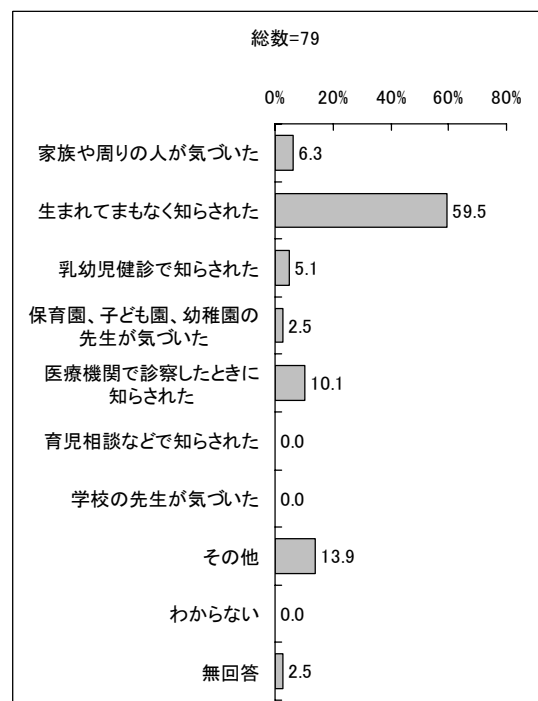
問 12 お子さんの障害や心身の不調について、はじめてわかったのは、どのようなときでしたか。(〇はひとつ)

全体では「家族や周りの人が気づいた」が27.0%と最も多く、次いで「生まれてまもなく知らされた」が19.3%、「乳幼児健診で知らされた」が12.9%などとなっています。障害別に見ると、身体障害、知的障害では「生まれてまもなく知らされた」が多く、手帳・診断なしでは「乳幼児健診で知らされた」や「保育園、子ども園、幼稚園の先生が気づいた」がやや多くなっています

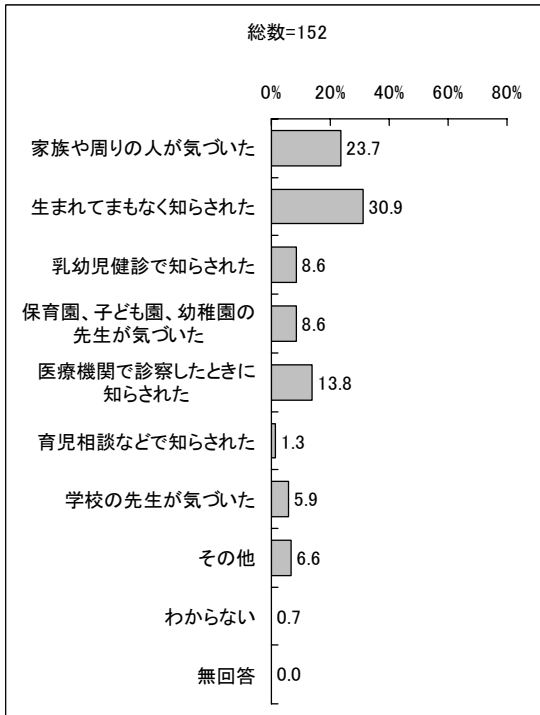
■全体



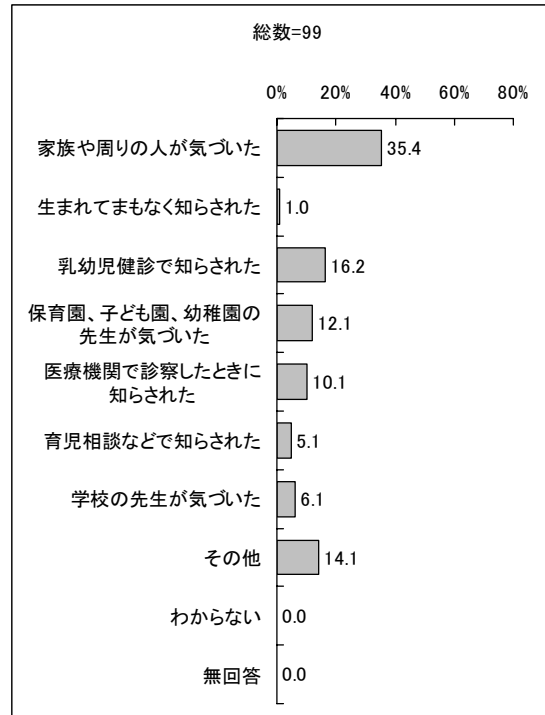
■身体障害



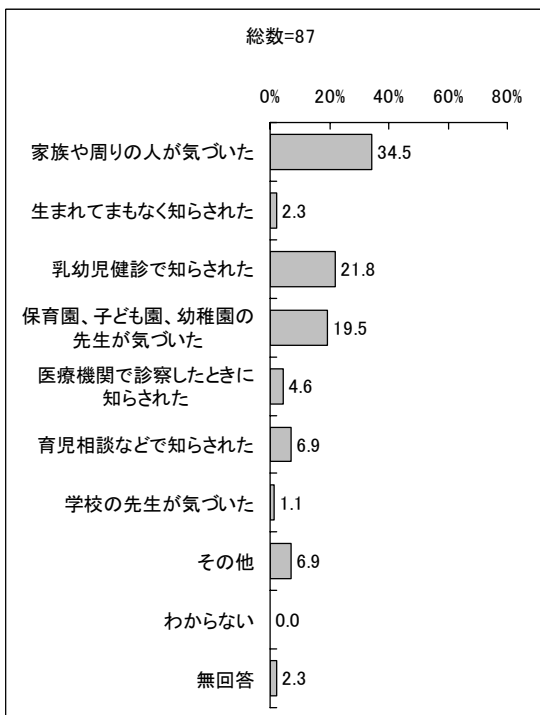
知的障害



発達障害



手帳・診断なし



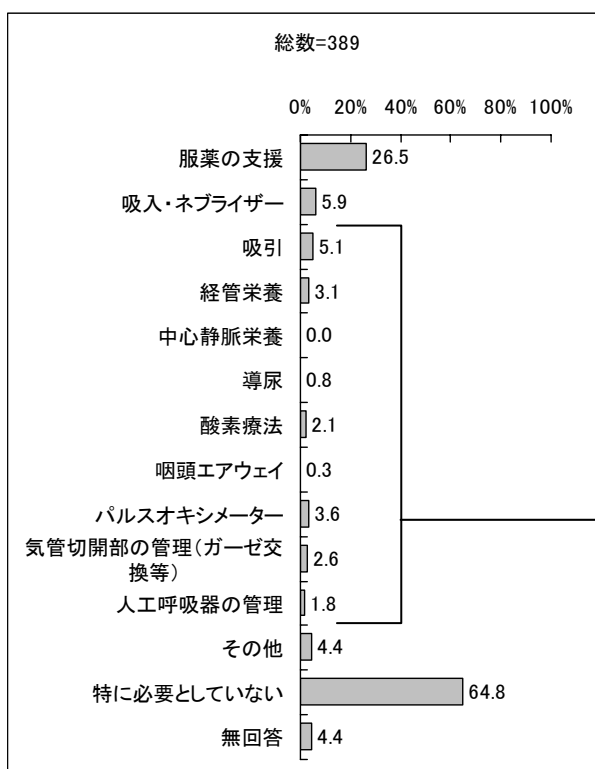
問 13 お子さんは日常的に必要としている医療的ケアがありますか。

(○はいくつでも)

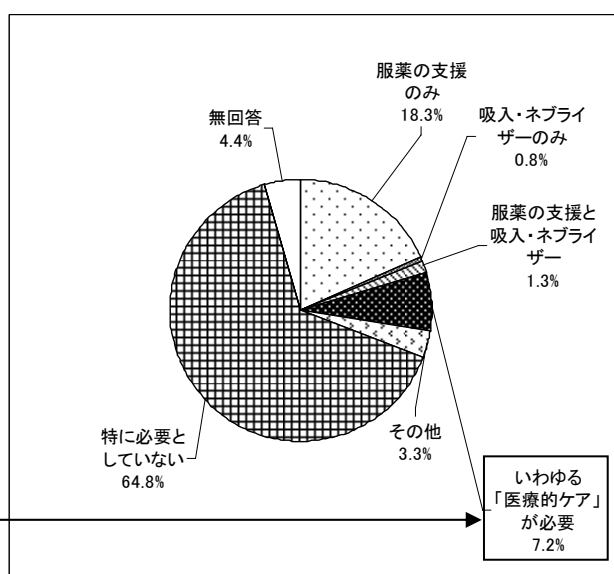
全体では「服薬の支援」が 26.5%で最も多く、次いで「吸入・ネブライザー」が 5.9%、「吸引」が 5.1%などとなっています。「特に必要としていない」は 64.8%となっています。

「服薬の支援」、「吸入・ネブライザー」、「その他」を除き、「吸引」から「人工呼吸器の管理」までを統合した「いわゆる『医療的ケア』が必要」な状態に当てはまる人は 7.2%となっています。

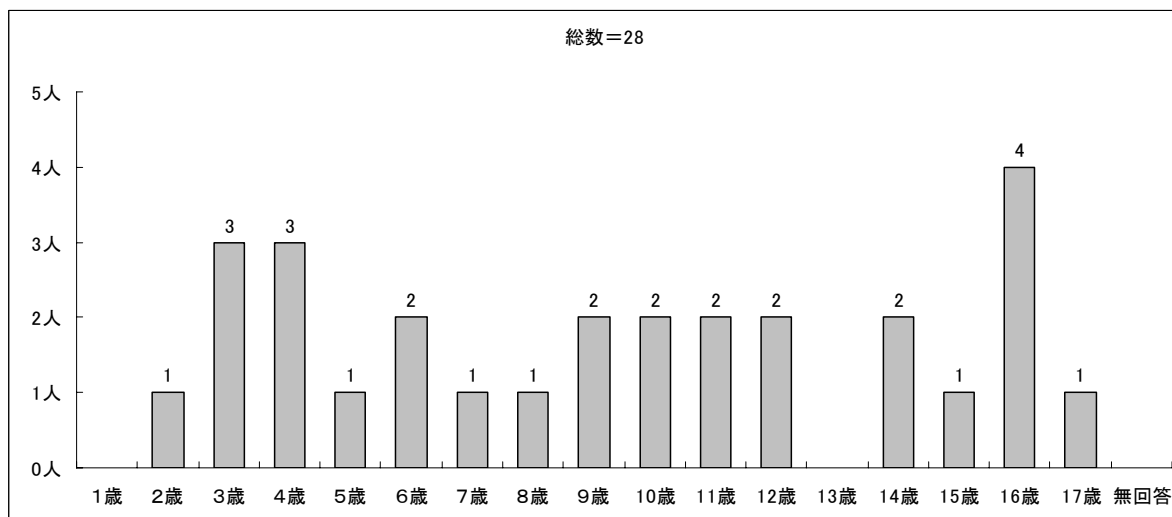
■全体



●回答項目の統合

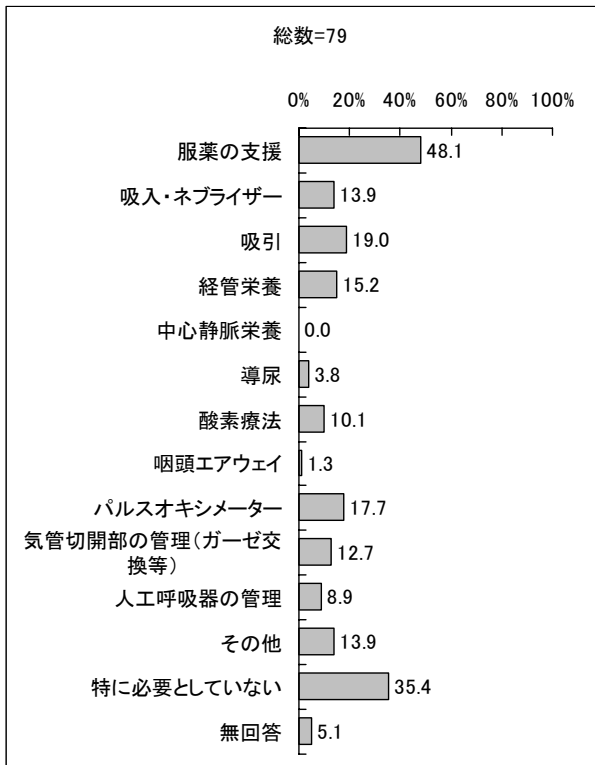


いわゆる「医療的ケア」が必要と回答した児童の年齢

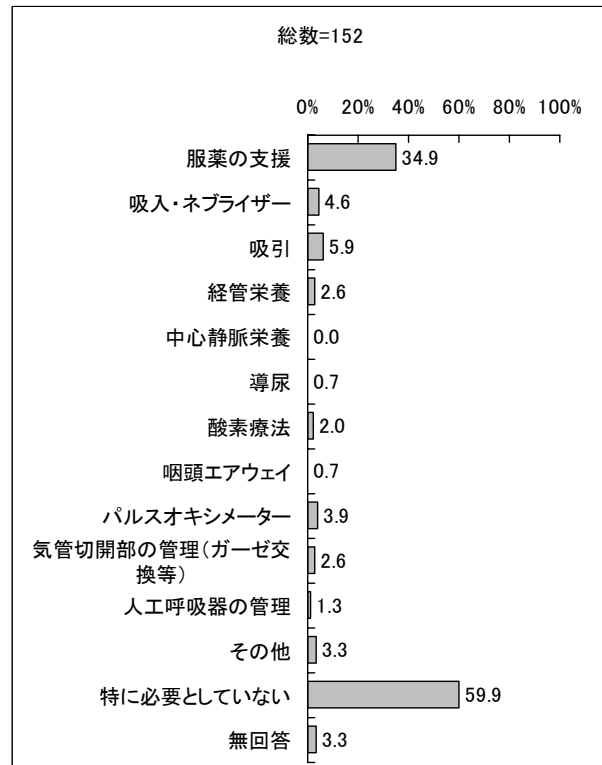


障害別に見ると、身体障害では何かしらの医療的ケアが必要と回答した人の割合が、全体的に高くなっています。

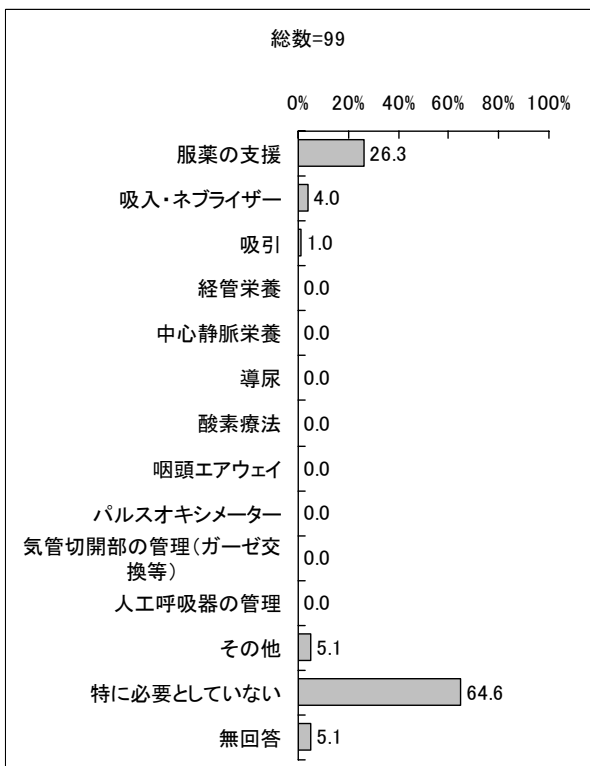
■身体障害



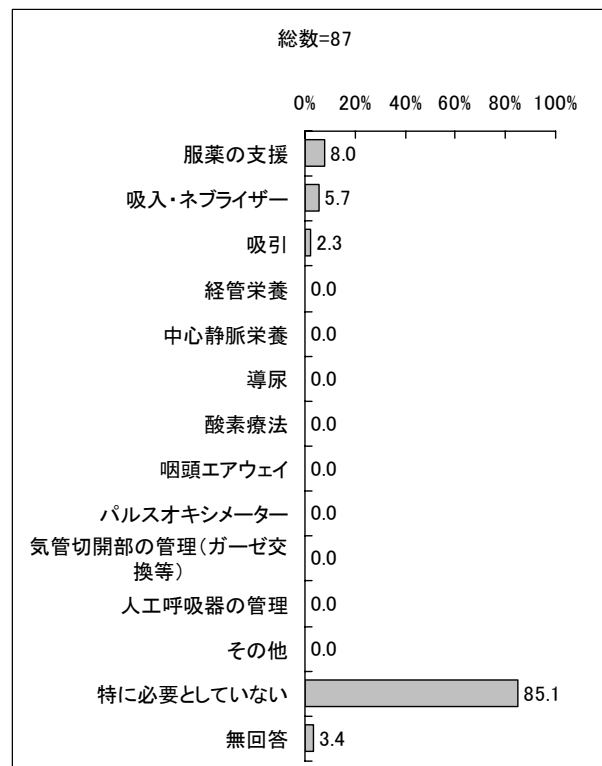
■知的障害



■発達障害



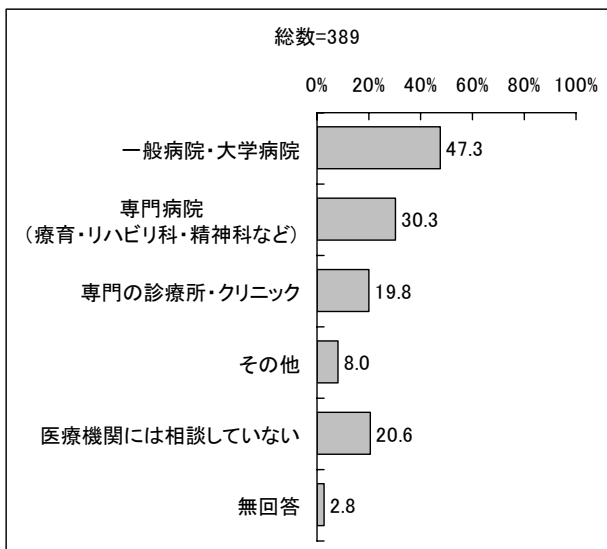
■手帳・診断なし



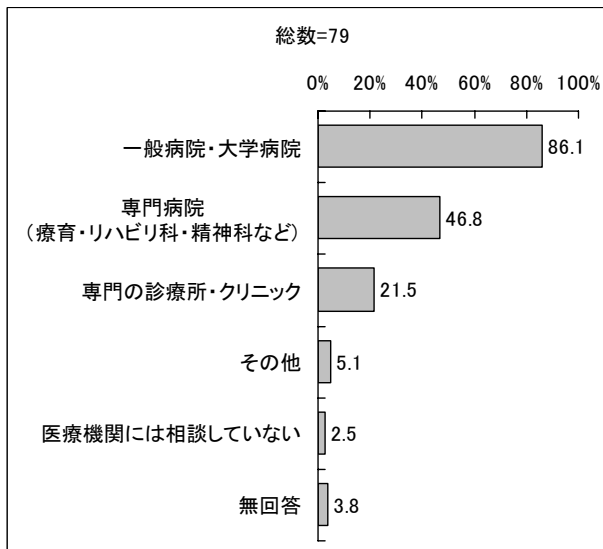
問 14 お子さんの障害や心身の不調について、どのような医療機関で治療を受けたり、相談をしたりしていますか。(〇はいくつでも)

全体では「一般病院・大学病院」が47.3%、次いで「専門病院（療育・リハビリ科・精神科など）」が30.3%、「専門の診療所・クリニック」が19.8%となっています。一方、「医療機関には相談していない」は20.6%となっています。障害別に見ると、身体障害、知的障害では「一般病院・大学病院」、「専門病院（療育・リハビリ科・精神科など）」が特に多くなっています。

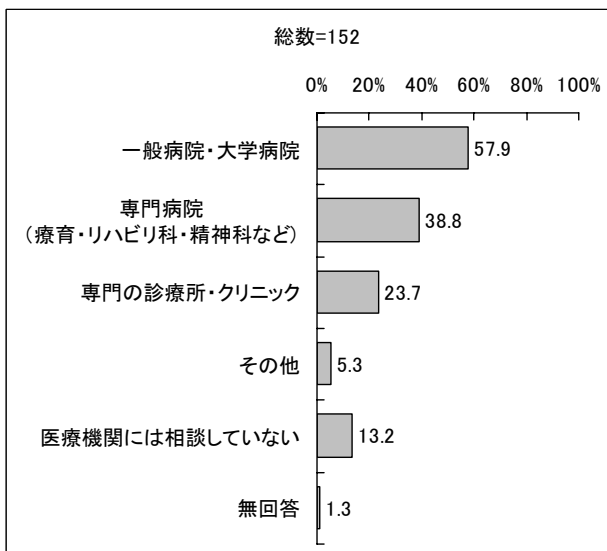
■全体



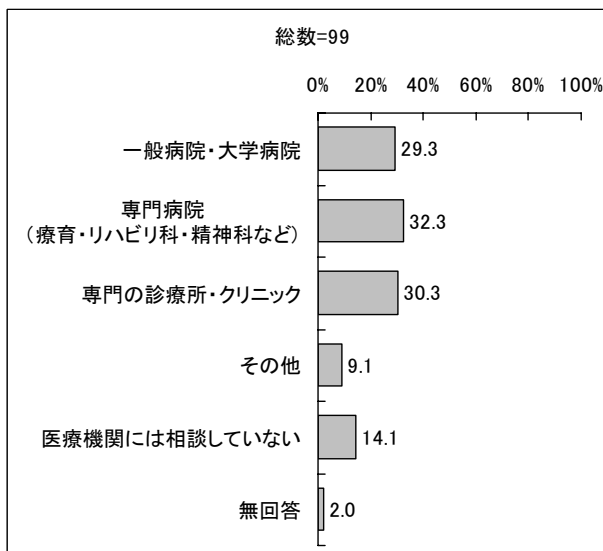
■身体障害



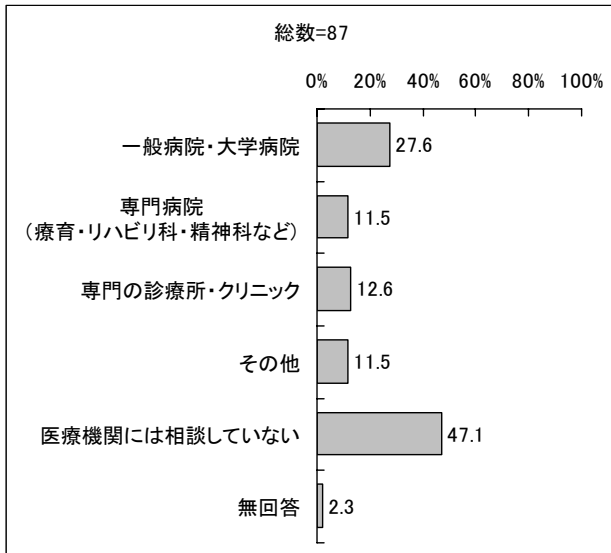
■知的障害



■発達障害



■手帳・診断なし



治療や相談を受けている医療機関と年齢

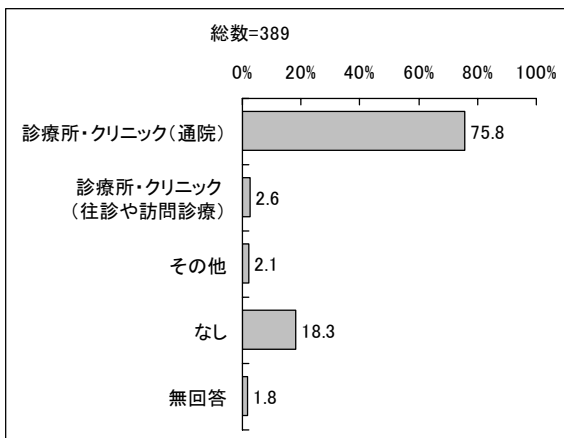
年代別の結果を見ると、すべての年代で全体の結果と同様に「一般病院・大学病院」が最も多くなっています。また、「0～2歳」と「6～11歳」では「専門病院（療育・リハビリ科・精神科など）」、「3～5歳」では「医療機関には相談していない」、「12～17歳」では「専門の診療所・クリニック」がやや多くなっています。

	合計	専門の診療所・クリニック	一般病院・大学病院	専門病院（療育・リハビリ科・精神科など）	その他	医療機関には相談していない	無回答
全体	389 100.0	77 19.8	184 47.3	118 30.3	31 8.0	80 20.6	11 2.8
0～2歳	17 100.0	3 17.6	11 64.7	6 35.3	1 5.9	2 11.8	0 0.0
3～5歳	117 100.0	13 11.1	52 44.4	26 22.2	18 15.4	35 29.9	5 4.3
6～11歳	140 100.0	27 19.3	64 45.7	52 37.1	7 5.0	29 20.7	2 1.4
12～17歳	112 100.0	33 29.5	57 50.9	33 29.5	5 4.5	13 11.6	4 3.6

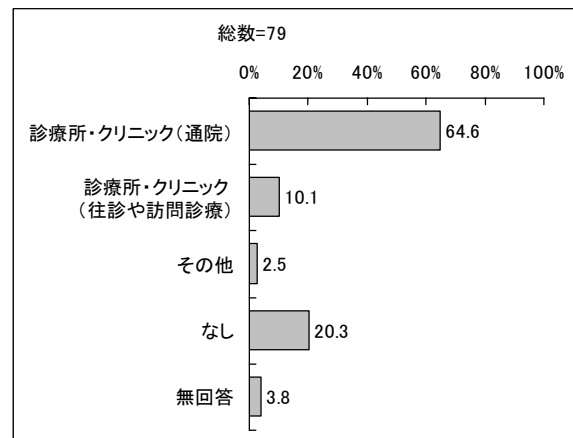
問 15 お子さんには、問 14 の医療機関以外に、普段の健康や体調が悪い時（風邪など）に気軽に相談できる診療所などの「かかりつけ医」がいますか。
（あてはまるものに○）

全体では「診療所・クリニック（通院）」が 75.8%で大半を占めており、次いで「診療所・クリニック（往診や訪問診療）」が 2.6%となっています。一方、「なし」は 18.3%となっています。障害別に見ると、身体障害では「診療所・クリニック（往診や訪問診療）」、「手帳・診断なし」では「診療所・クリニック（通院）」がやや多くなっています。

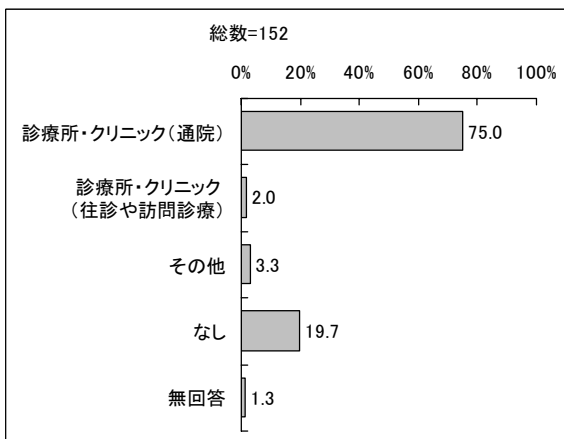
■全体



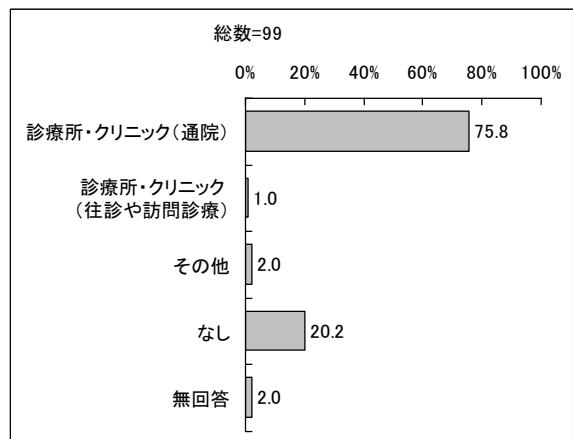
■身体障害



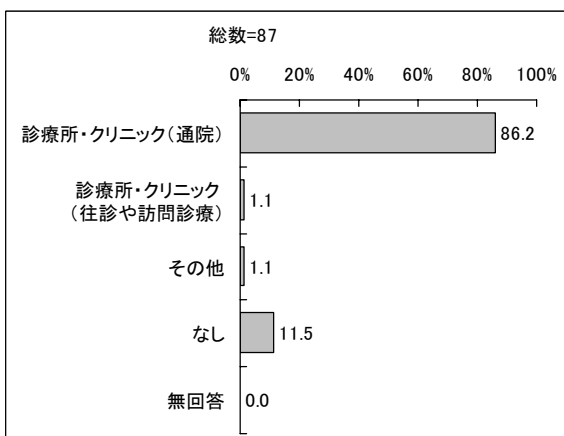
■知的障害



■発達障害



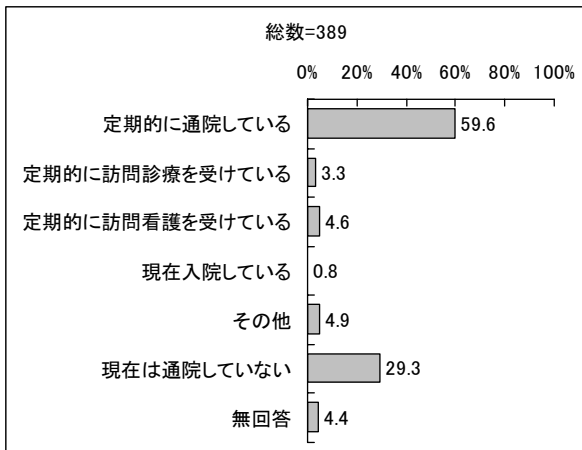
■手帳・診断なし



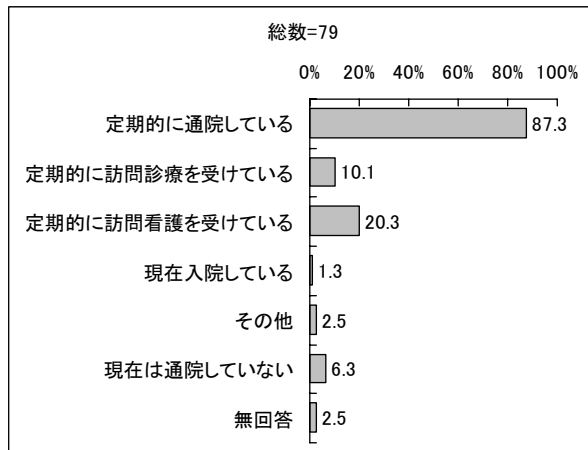
問 16 障害等について、受診状況等をお聞きします。(あてはまるものに○)

全体では「定期的に通院している」が59.6%と最も多く、次いで「定期的に訪問診療を受けている」が3.3%、「定期的に訪問看護を受けている」が4.6%などとなっています。障害別に見ると、身体障害で「定期的に訪問看護を受けている」が2番目に多くなっています。手帳・診断なしでは「現在は通院していない」が最も多くなっています。

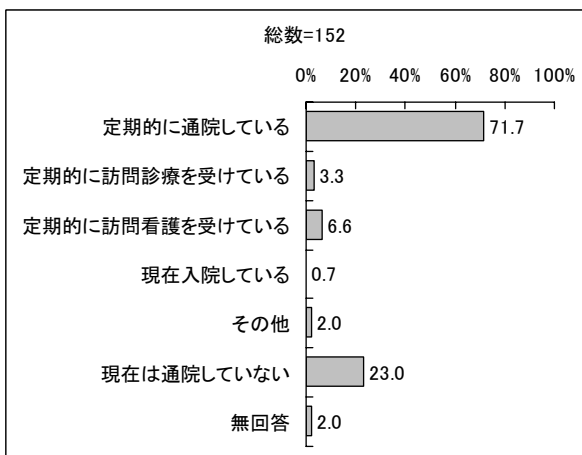
■全体



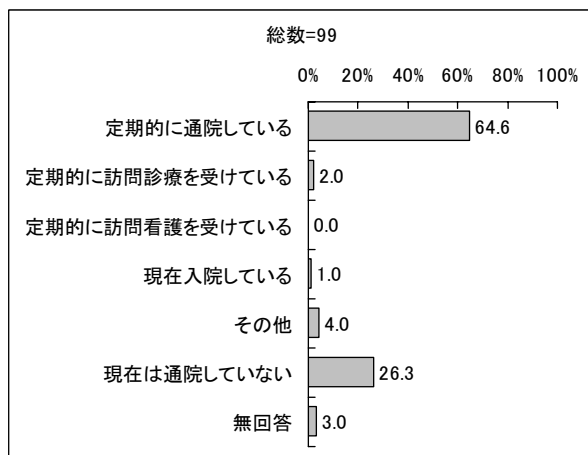
■身体障害



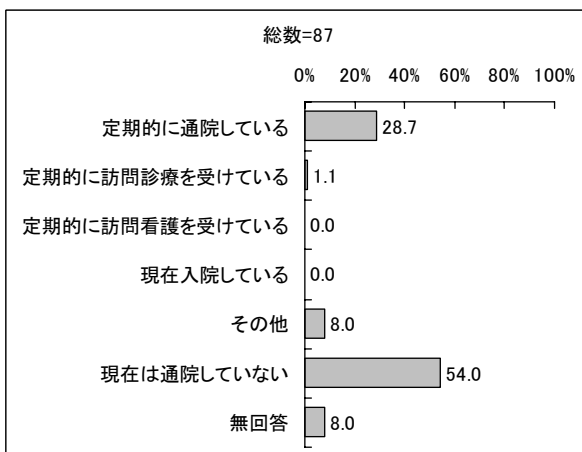
■知的障害



■発達障害



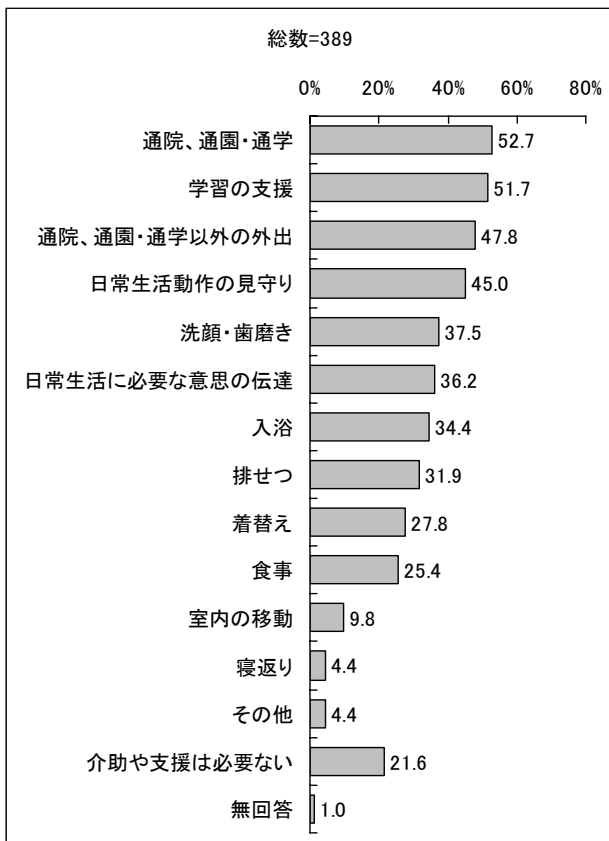
■手帳・診断なし



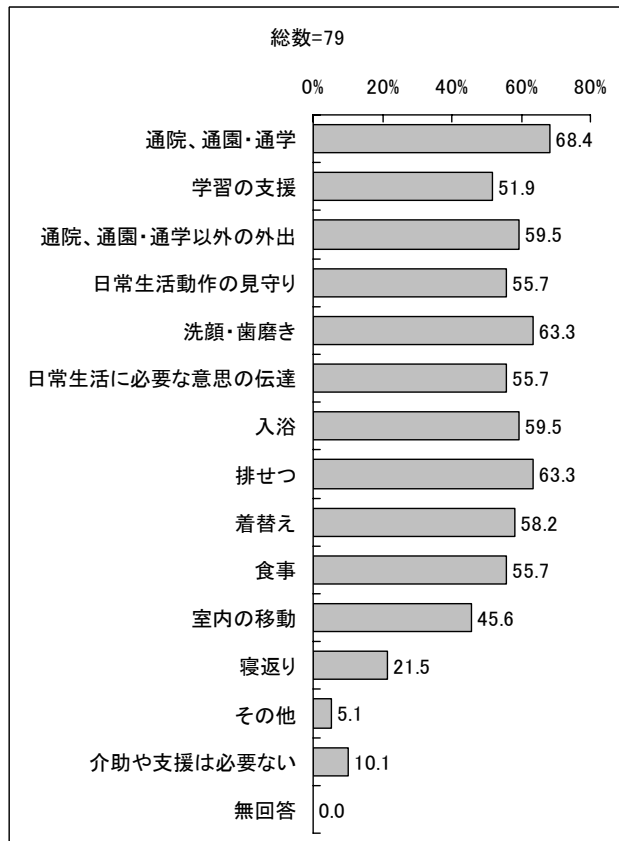
問 17 お子さんは、毎日の生活の中で、どのような介助や支援が必要ですか。
(〇はいくつでも)

全体では「通院、通園・通学」が 52.7%と最も多く、次いで「学習の支援」が 51.7%、「通院、通園・通学以外の外出」が 47.8%などとなっています。障害別に見ると、身体障害では全体的に介助や支援が必要な項目が多くなっており、知的障害、発達障害では「学習の支援」が特に多くなっています。

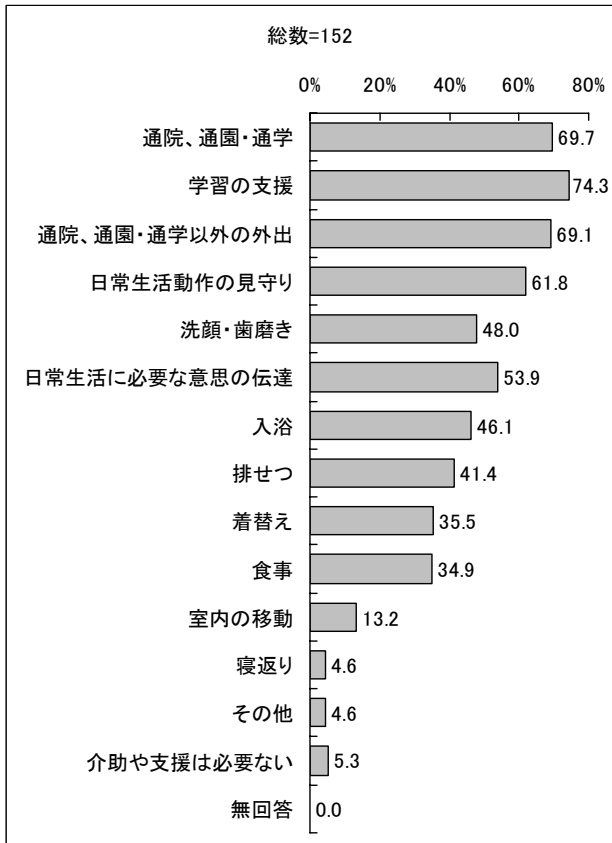
■全体



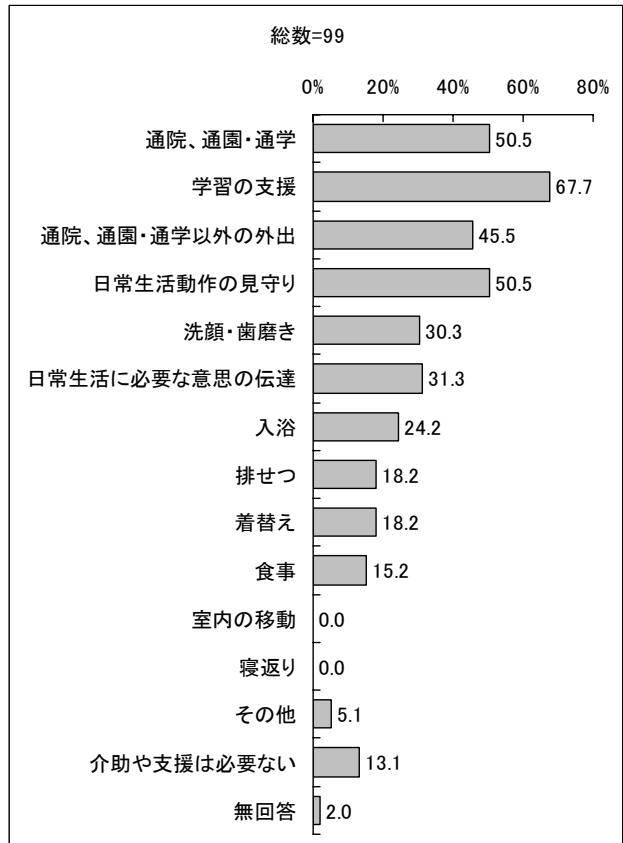
■身体障害



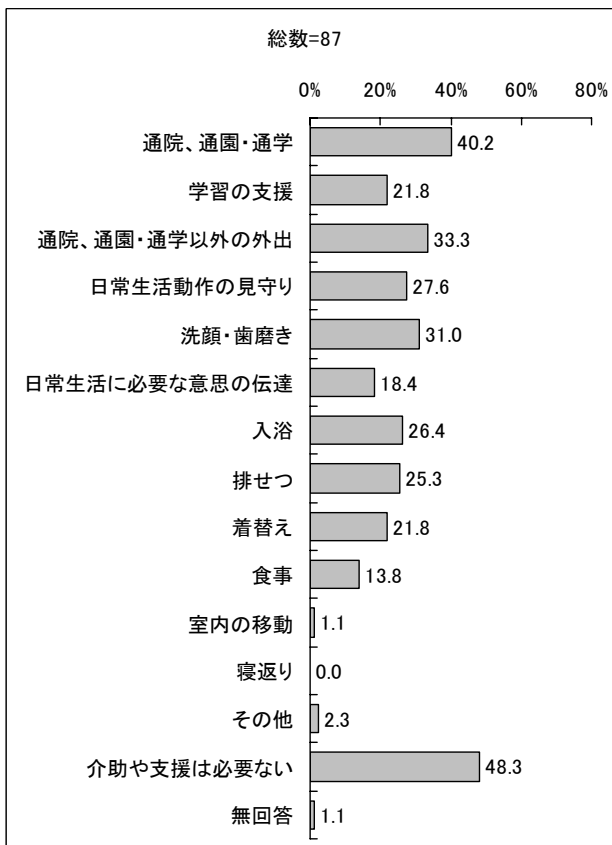
知的障害



発達障害



手帳・診断なし

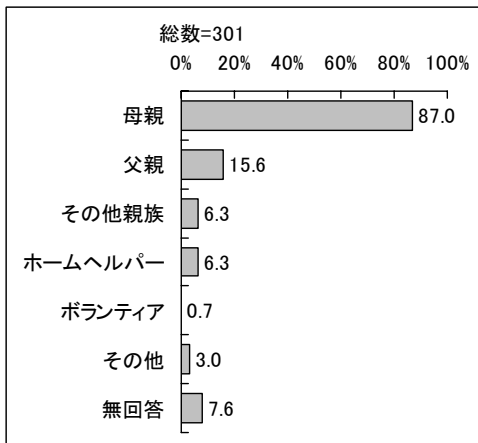


問 18 毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きします。

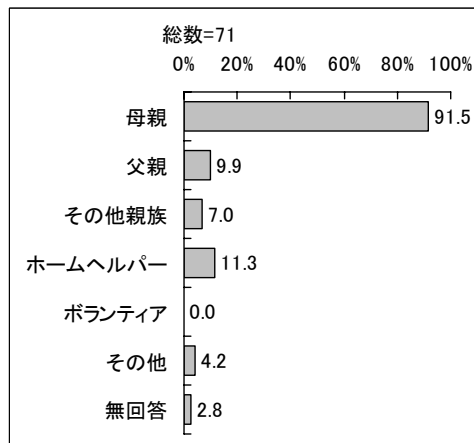
お子さんを主に介助・支援している人はどなたですか。(〇はひとつ)

全体では「母親」が 87.0%と最も多く、次いで「父親」が 15.6%、「その他の親族」と「ホームヘルパー」が 6.3%などとなっています。

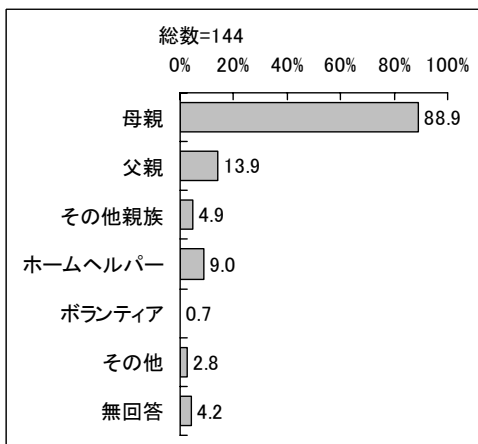
■全体



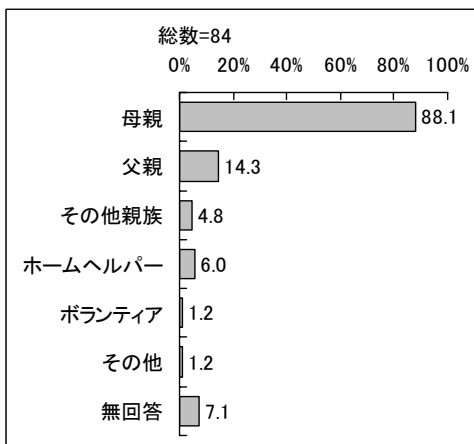
■身体障害



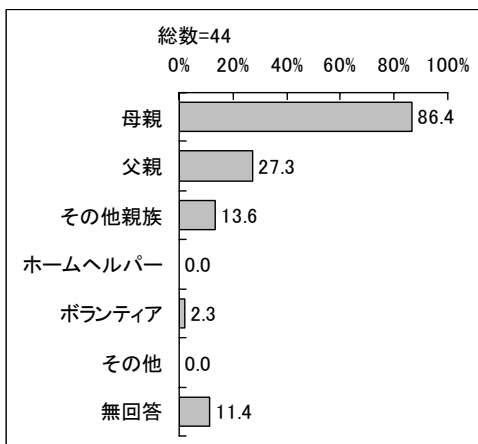
■知的障害



■発達障害



■手帳・診断なし

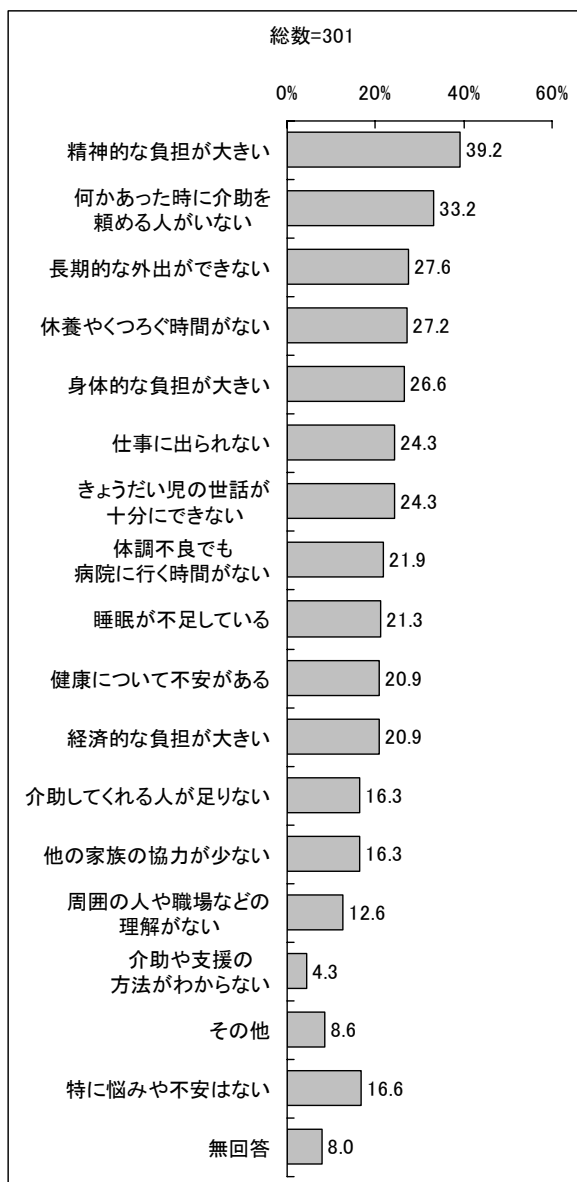


問 19 毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きします。

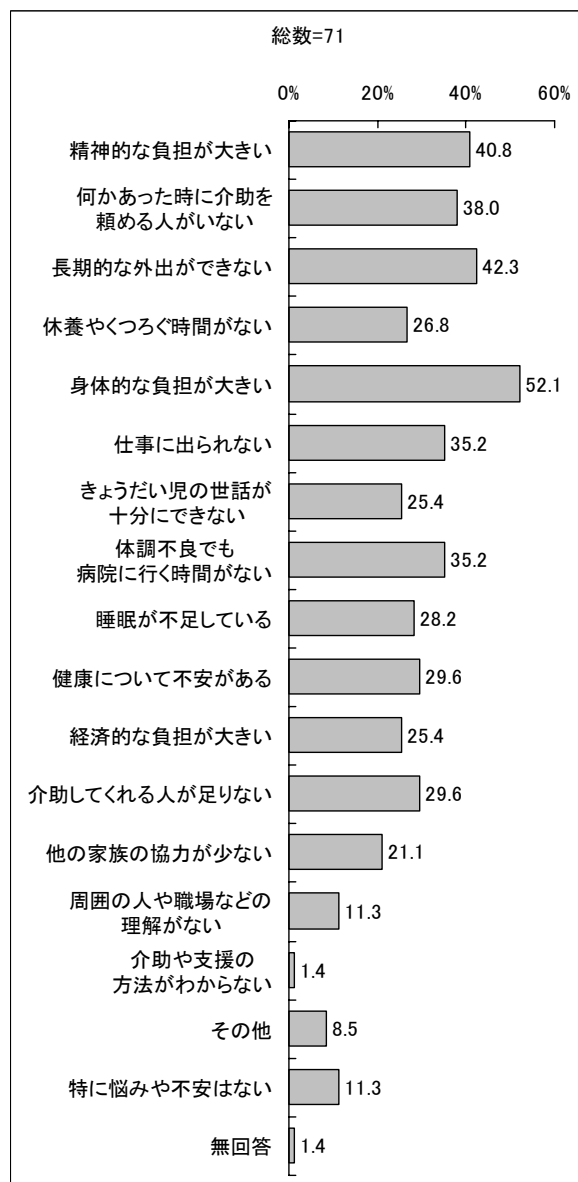
主な介助者はどのような悩みや不安を抱えていますか。(〇はいくつでも)

全体では「精神的な負担が大きい」が39.2%と最も多く、次いで「何かあった時に介助を頼める人がいない」が33.2%、「長期的な外出ができない」が27.6%などとなっています。障害別に見ると、身体障害では「身体的な負担が大きい」、発達障害では「精神的な負担が大きい」が特に多くなっています。

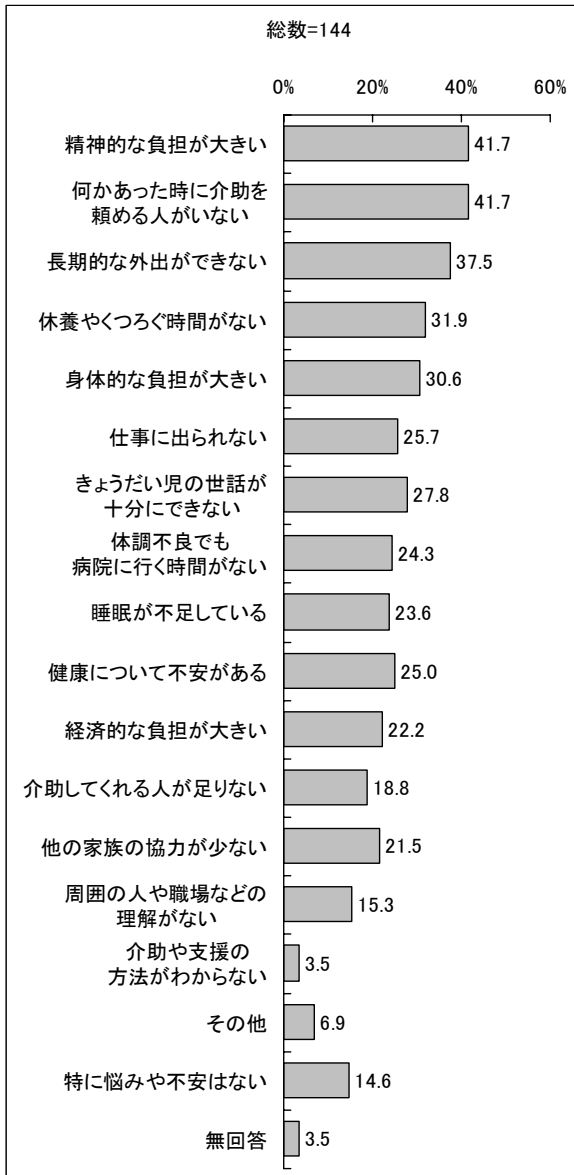
■全体



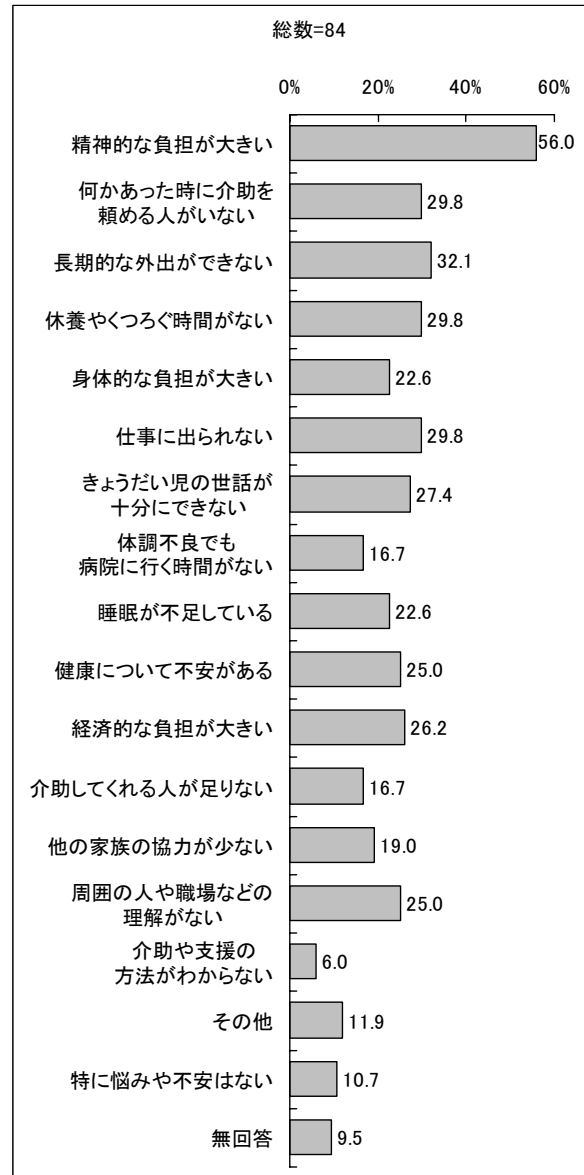
■身体障害



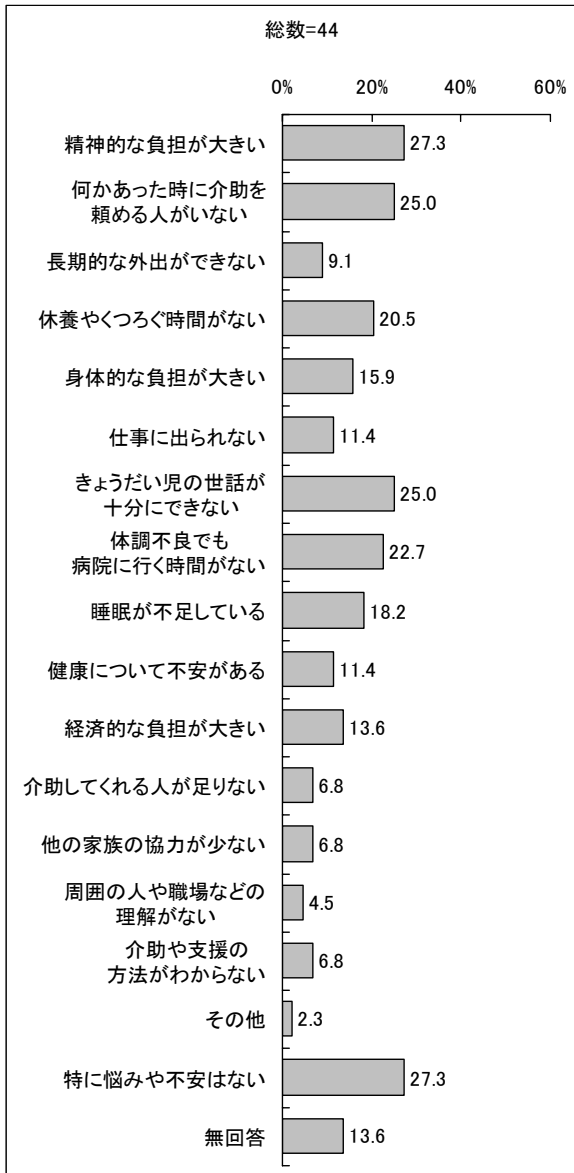
知的障害



発達障害



■手帳・診断なし

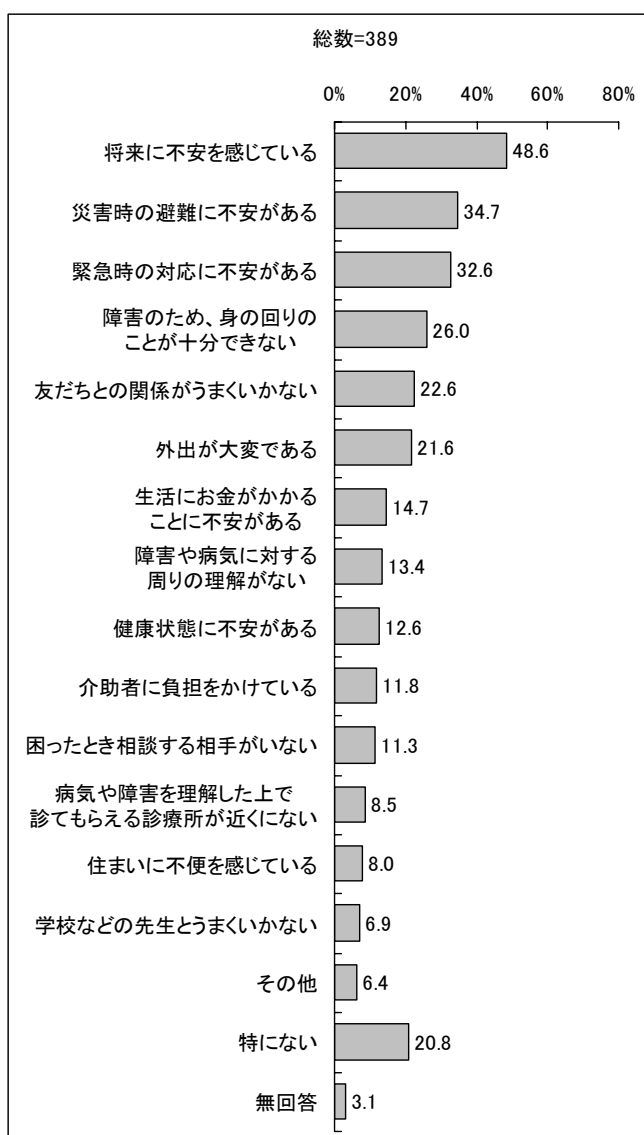


3 相談や福祉の情報について

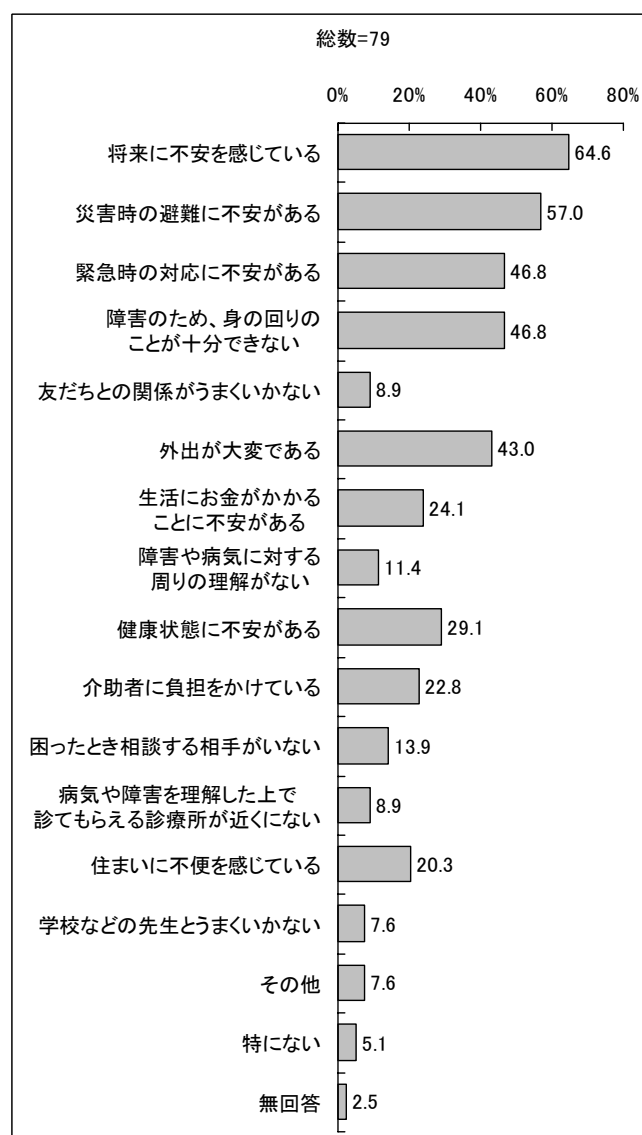
問 20 お子さんが、日常生活で困っていることがありますか。(○はいくつでも)
(ご本人(お子さん)の思いをご回答ください)

全体では「将来に不安を感じている」が48.6%と最も多く、次いで「災害時の避難に不安がある」が34.7%、「緊急時の対応に不安がある」が32.6%などとなっています。障害別に見ると、身体障害では「外出が大変である」、発達障害、手帳・診断なしでは「友だちとの関係がうまくいかない」が比較的多くなっています。

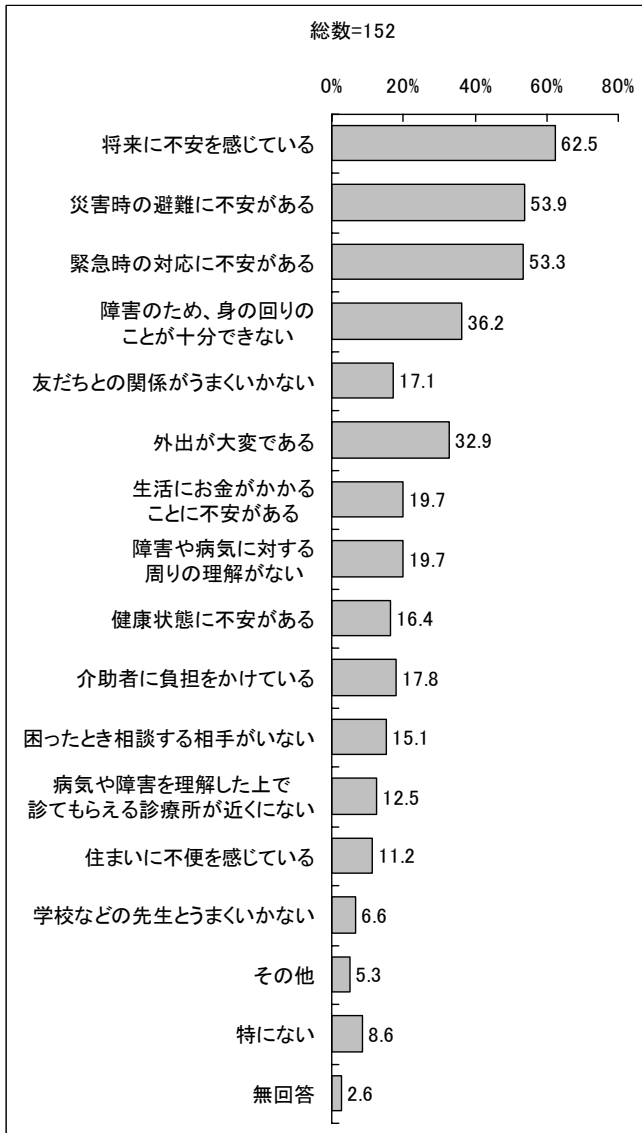
■全体



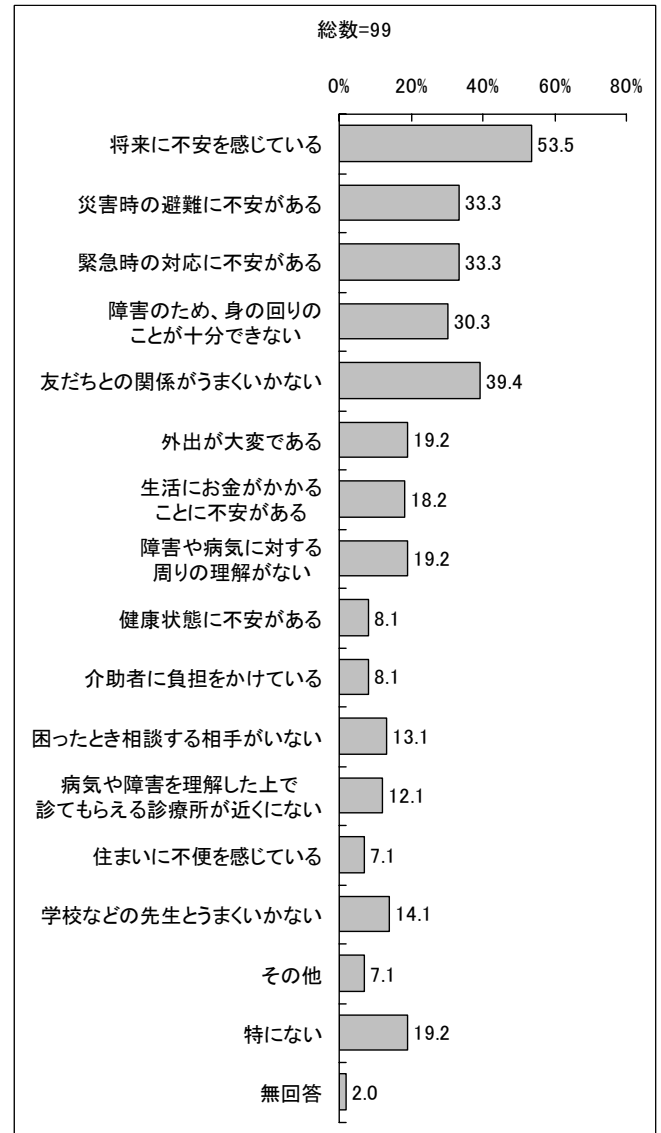
■身体障害



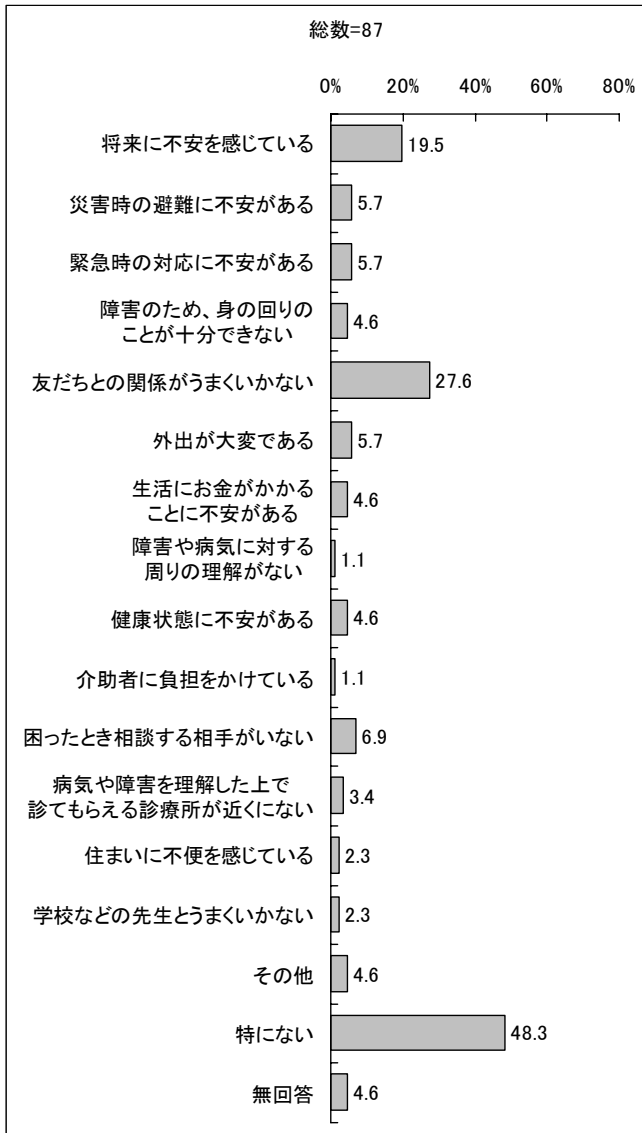
知的障害



発達障害



■手帳・診断なし

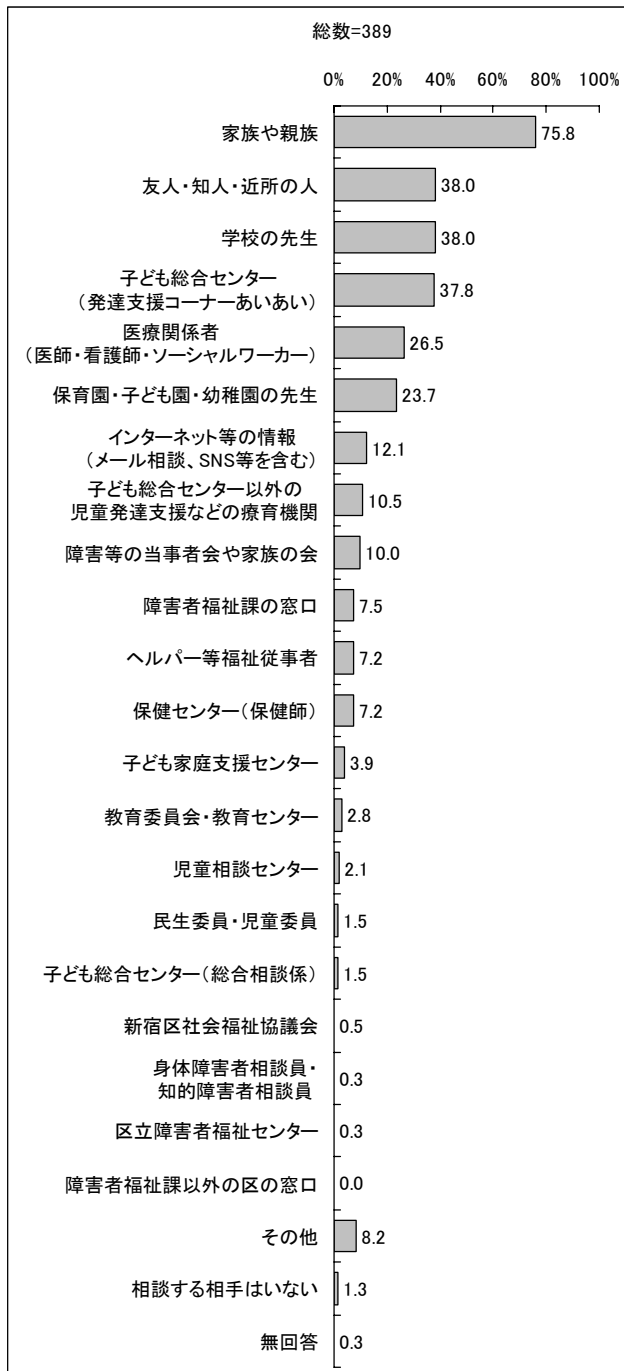


問 21 お子さんやご家族の方が困ったときに相談する相手は誰ですか。

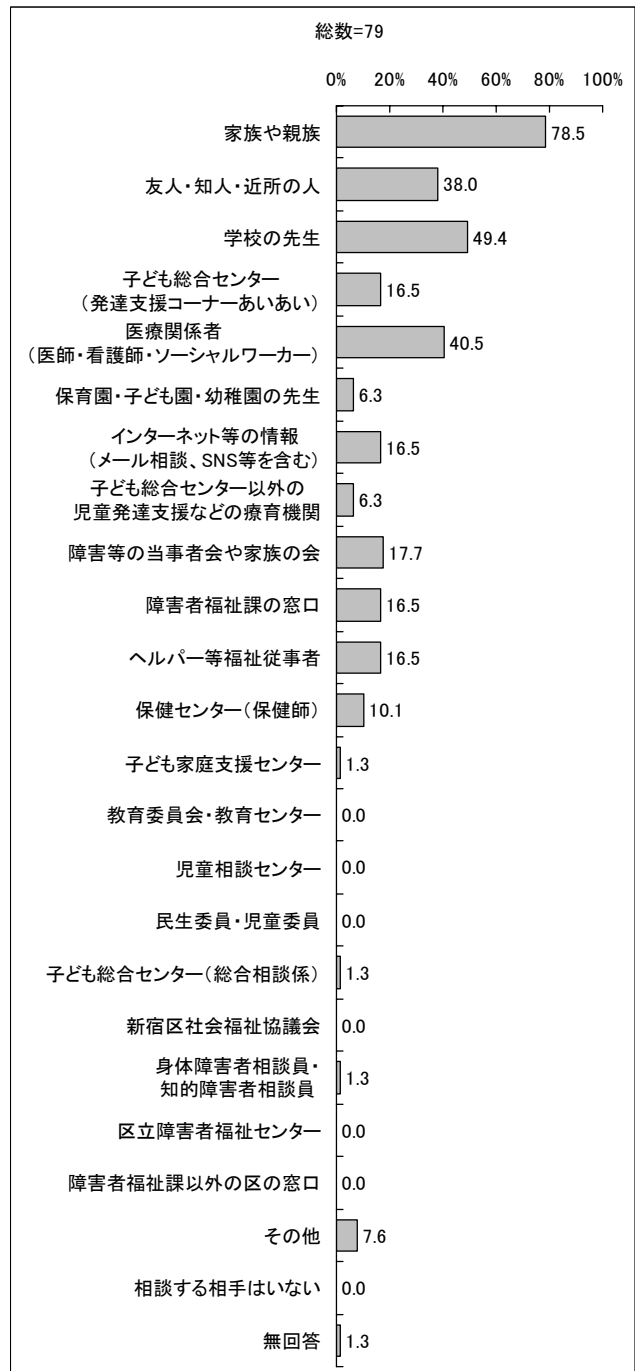
(○はいくつでも)

全体では「家族や親族」が 75.8%と最も多く、「友人・知人・近所の人」と「学校の先生」が 38.0%、「子ども総合センター（発達支援コーナーあいあい）」が 37.8%などとなっています。障害別に見ると、身体障害、知的障害では「学校の先生」、手帳・診断なしでは「子ども総合センター（発達支援コーナーあいあい）」が特に多くなっています。

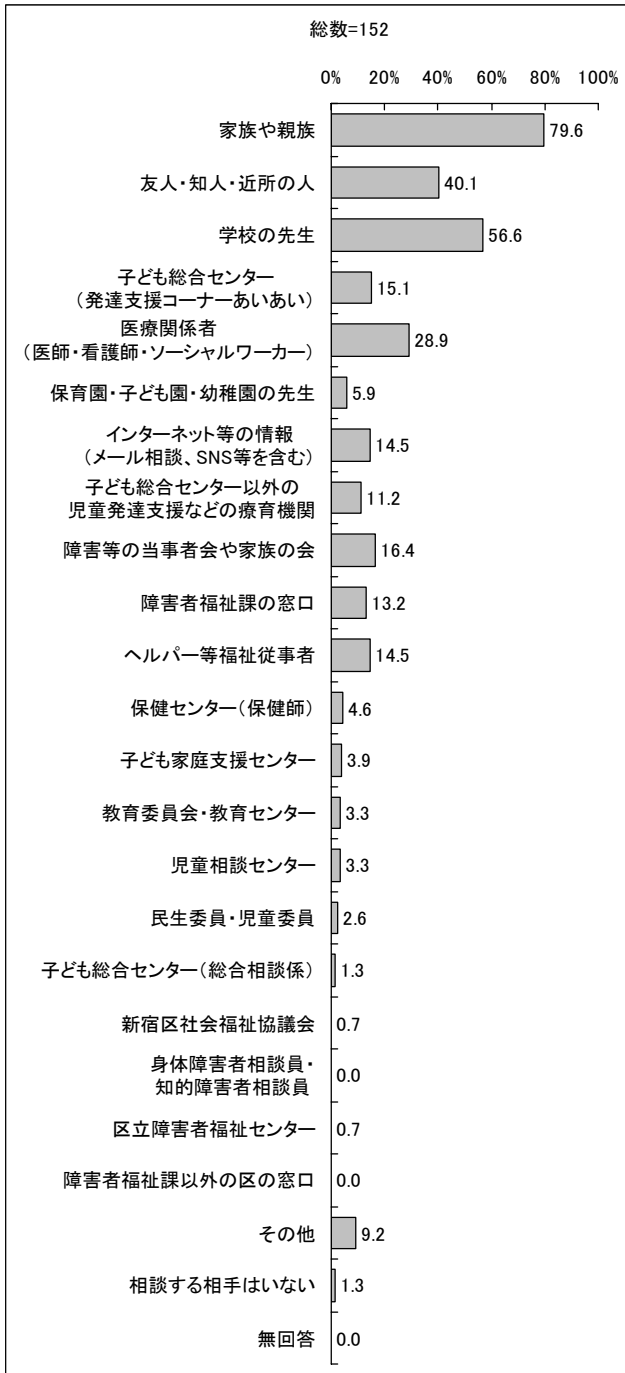
■全体



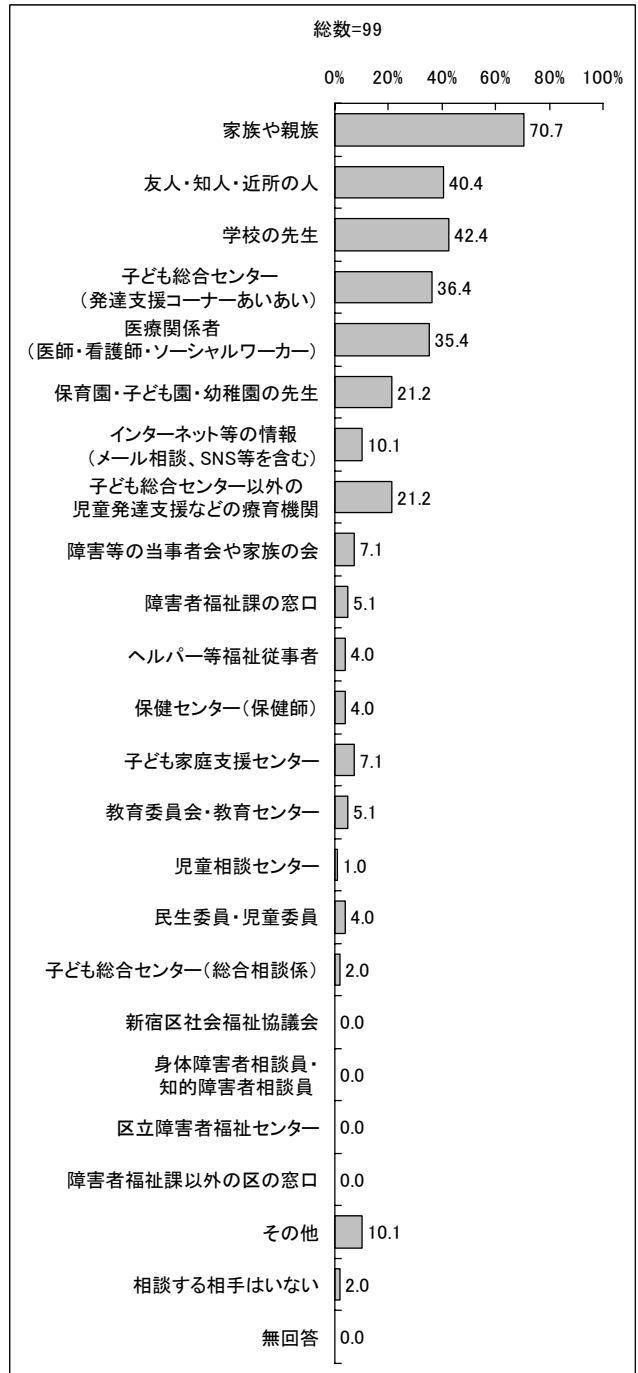
■身体障害



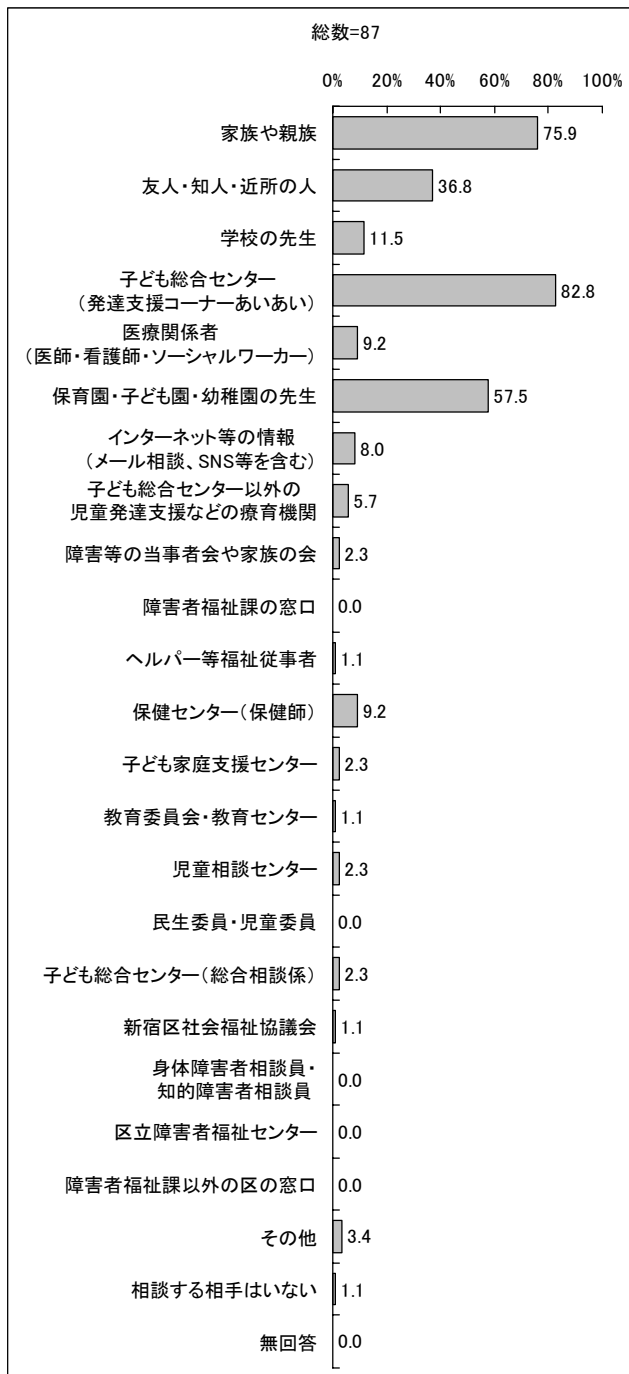
知的障害



発達障害



■手帳・診断なし



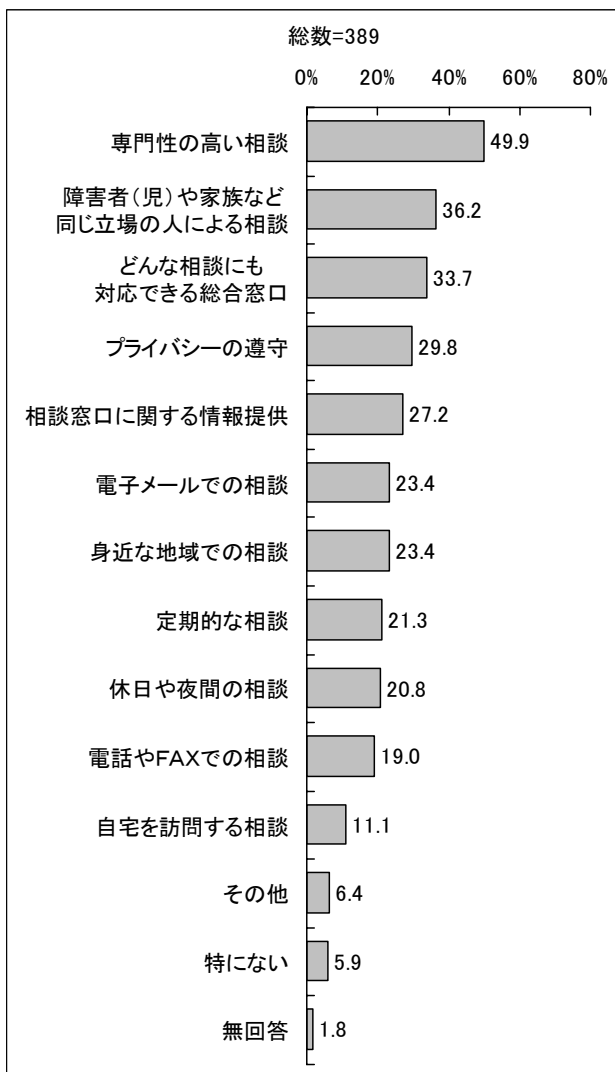
困った時の相談相手と児童の年齢

上段:件 下段:%	合計	0~2歳	3~5歳	6~11歳	12~17歳	無回答
全体	389 100.0	17 4.4	117 30.1	140 36.0	112 28.8	3 0.8
家族や親族	295 100.0	12 4.1	95 32.2	112 38.0	73 24.7	3 1.0
友人・知人・近所の人	148 100.0	6 4.1	46 31.1	53 35.8	43 29.1	0 0.0
学校の先生	148 100.0	1 0.7	2 1.4	86 58.1	57 38.5	2 1.4
保育園・子ども園・幼稚園の先生	92 100.0	7 7.6	66 71.7	18 19.6	0 0.0	1 1.1
民生委員・児童委員	6 100.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	3 50.0	1 16.7
障害等の当事者会や家族の会	39 100.0	5 12.8	9 23.1	7 17.9	18 46.2	0 0.0
身体障害者相談員・知的障害者相談員	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
ヘルパー等福祉従事者	28 100.0	2 7.1	1 3.6	12 42.9	13 46.4	0 0.0
医療関係者 (医師・看護師・ソーシャルワーカー)	103 100.0	4 3.9	22 21.4	36 35.0	40 38.8	1 1.0
障害者福祉課の窓口	29 100.0	1 3.4	2 6.9	8 27.6	17 58.6	1 3.4
保健センター(保健師)	28 100.0	4 14.3	16 57.1	6 21.4	2 7.1	0 0.0
子ども総合センター (発達支援コーナーあいあい)	147 100.0	13 8.8	96 65.3	35 23.8	2 1.4	1 0.7
子ども総合センター(総合相談係)	6 100.0	1 16.7	3 50.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0
子ども総合センター以外の 児童発達支援などの療育機関	41 100.0	3 7.3	12 29.3	20 48.8	5 12.2	1 2.4
子ども家庭支援センター	15 100.0	1 6.7	4 26.7	6 40.0	3 20.0	1 6.7
教育委員会・教育センター	11 100.0	0 0.0	1 9.1	7 63.6	3 27.3	0 0.0
区立障害者福祉センター	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
新宿区社会福祉協議会	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
児童相談センター	8 100.0	1 12.5	3 37.5	2 25.0	2 25.0	0 0.0
インターネット等の情報 (メール相談、SNS等を含む)	47 100.0	2 4.3	14 29.8	17 36.2	14 29.8	0 0.0
その他	32 100.0	0 0.0	7 21.9	15 46.9	10 31.3	0 0.0
相談する相手はいない	5 100.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	4 80.0	0 0.0

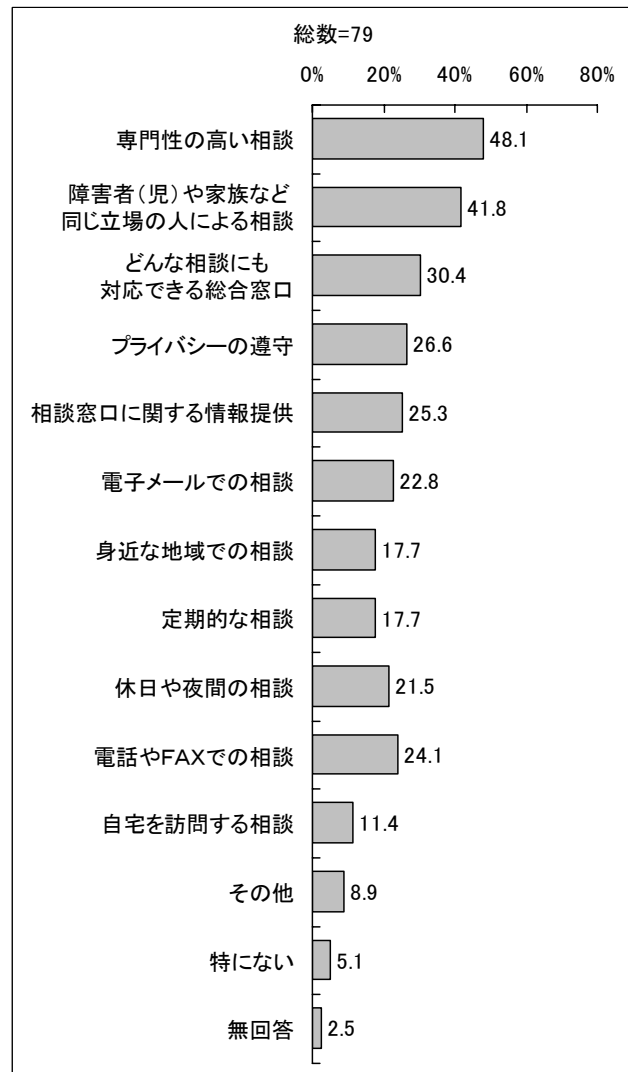
問 22 区役所などに気軽に相談するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では「専門性の高い相談」が49.9%と最も多く、次いで「障害者(児)や家族など同じ立場の人による相談」が36.2%、「どんな相談にも対応できる総合窓口」が33.7%などとなっています。障害別に見ると、身体障害では「電話やFAXでの相談」、知的障害では「どんな相談にも対応できる総合窓口」、発達障害では「定期的な相談」、手帳・診断なしでは「専門性の高い相談」が比較的多くなっています。

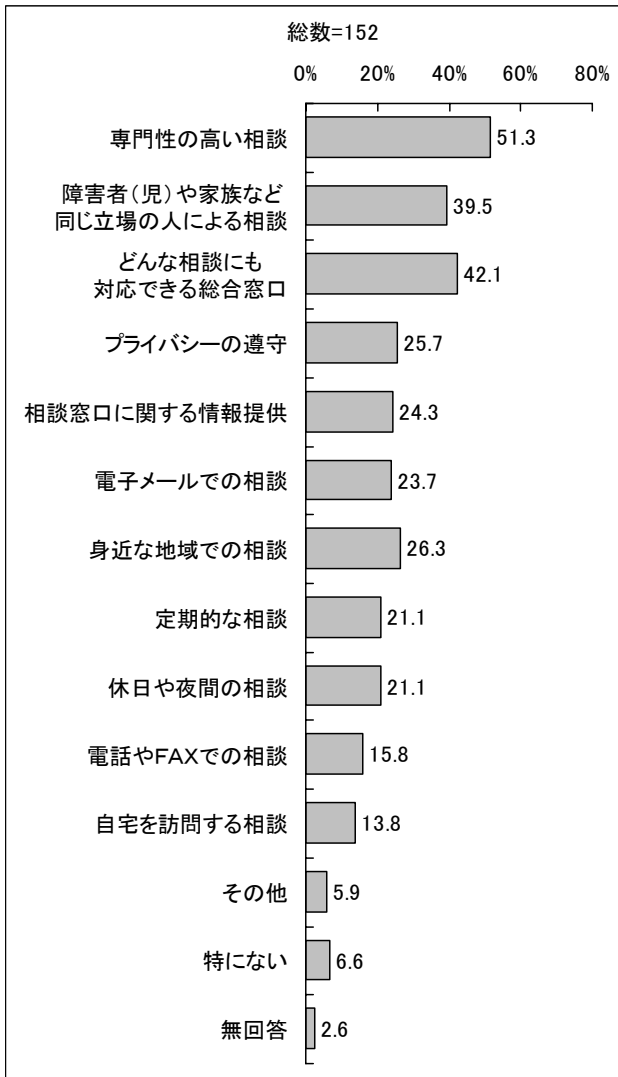
■全体



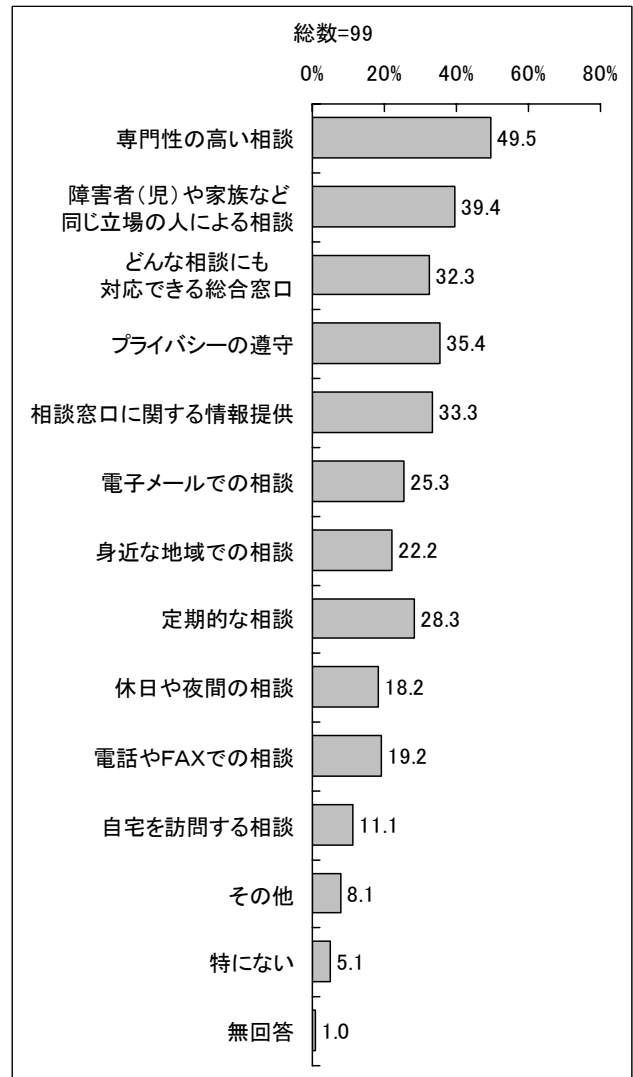
■身体障害



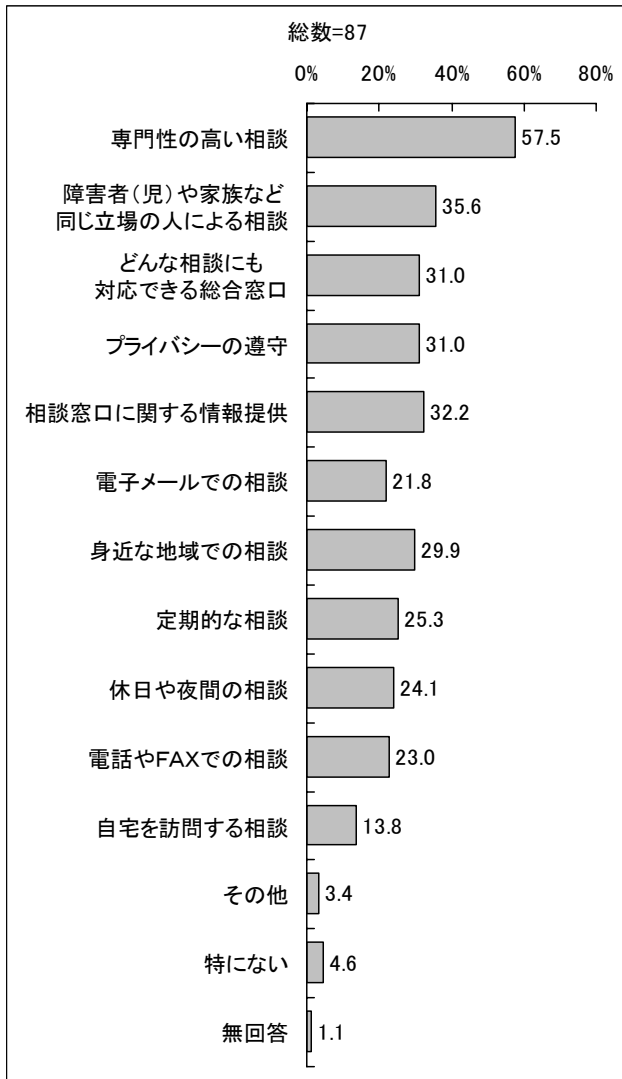
知的障害



発達障害



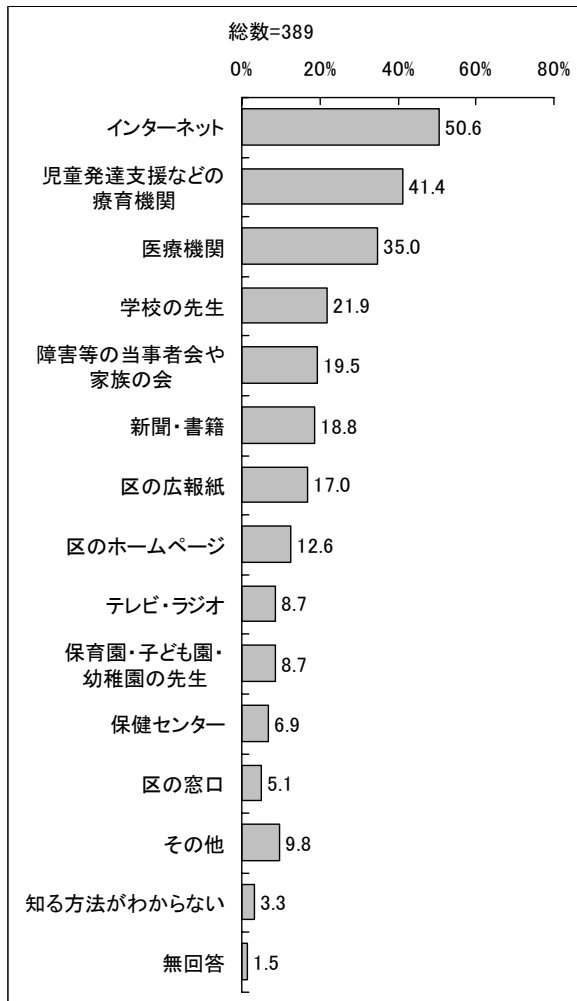
■手帳・診断なし



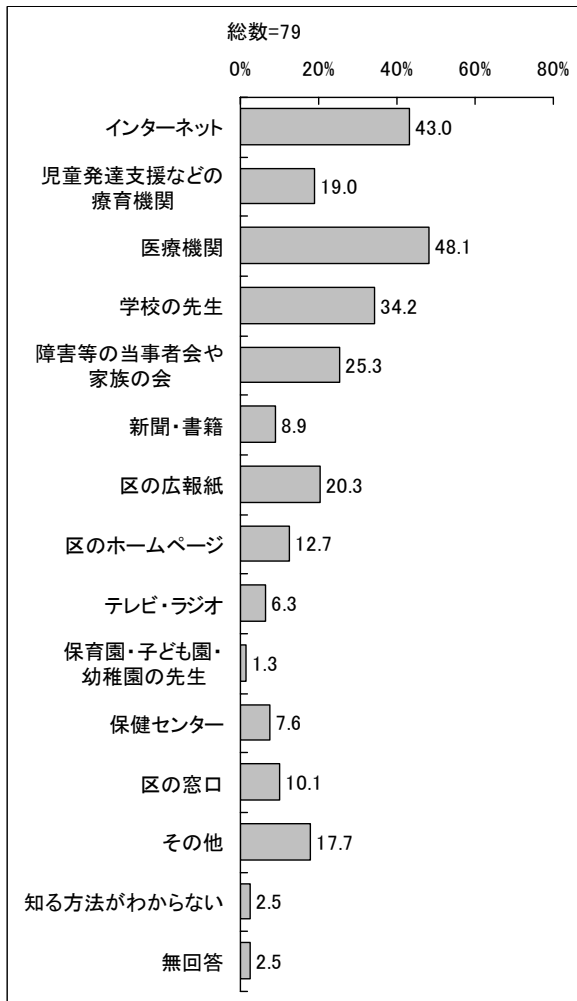
問 23 障害に関する知識や福祉に関する情報を、主にどこから得ていますか。
(〇はいくつでも)

全体では「インターネット」が50.6%と最も多く、次いで「児童発達支援などの療育機関」が41.4%、「医療機関」が35.0%などとなっています。障害別に見ると、身体障害では「医療機関」、知的障害では「学校の先生」、手帳診断なし、発達障害では「インターネット」と「児童発達支援などの療育機関」が特に多くなっています。

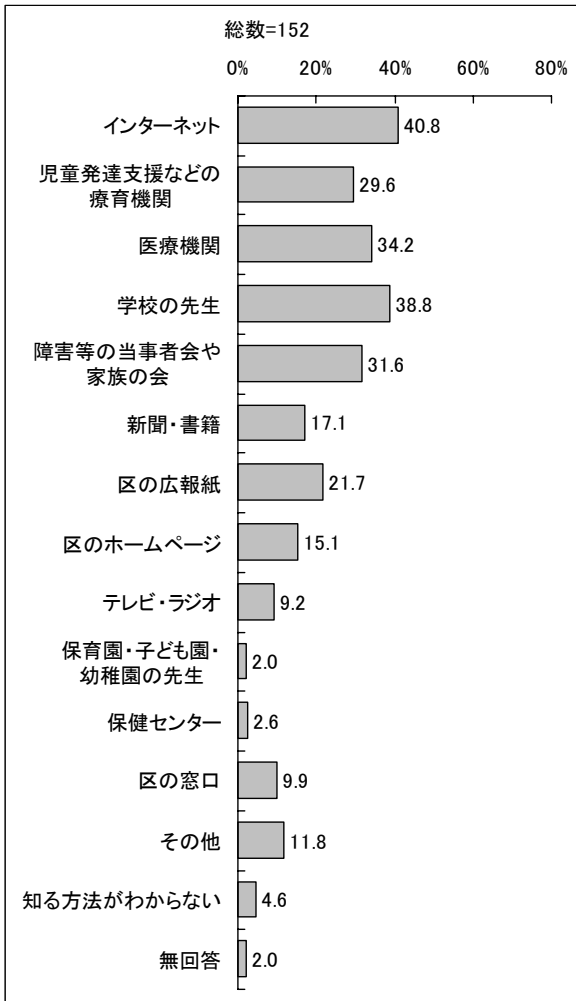
■全体



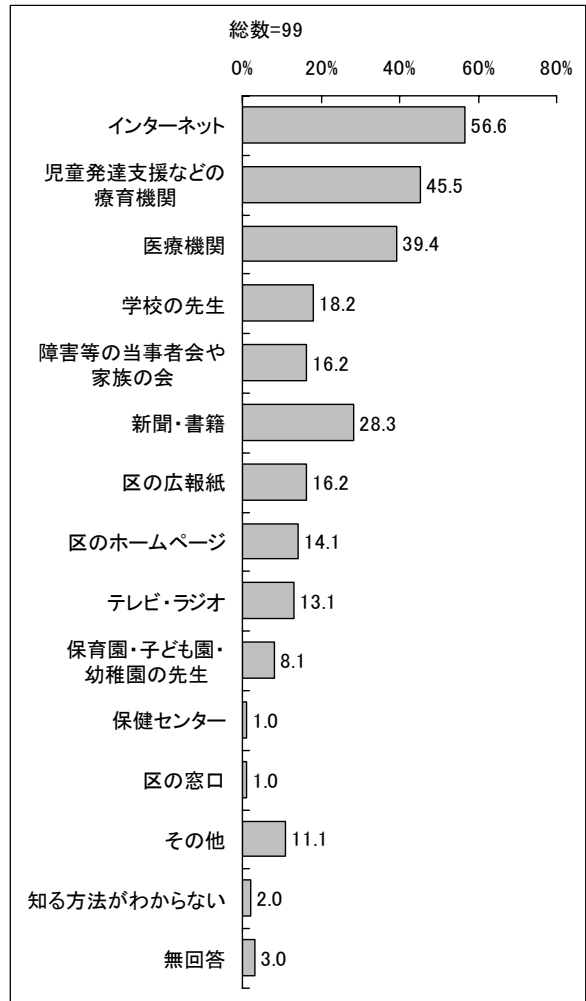
■身体障害



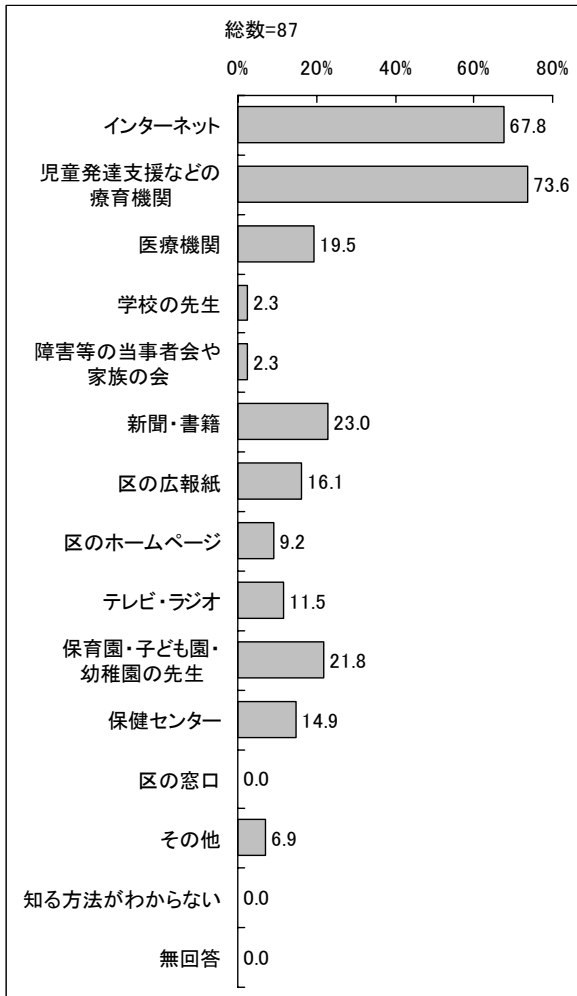
知的障害



発達障害



■手帳・診断なし



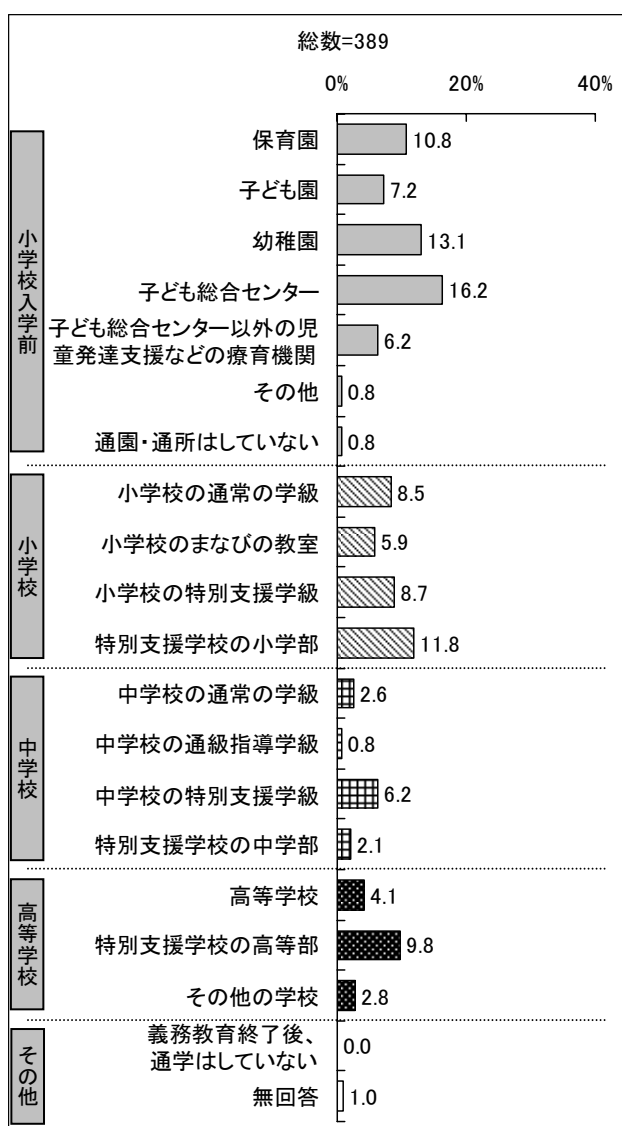
4 教育・保育について

問 24 お子さんが通園・通学などを行っているところをお聞きします。

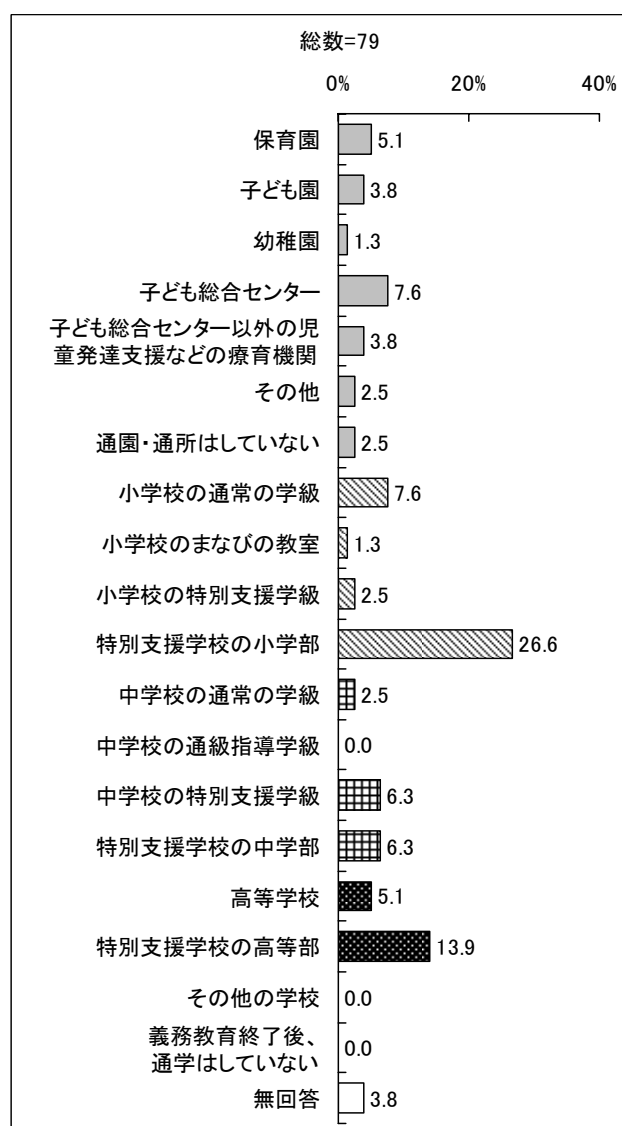
(あてはまるものに○)

全体では「子ども総合センター」が16.2%と最も多く、次いで「幼稚園」が13.1%、「特別支援学校の小学部」が11.8%などとなっています。障害別に見ると、身体障害、知的障害では「特別支援学校の小学部」、発達障害では「幼稚園」、手帳・診断なしでは「子ども総合センター」が最も多くなっています。

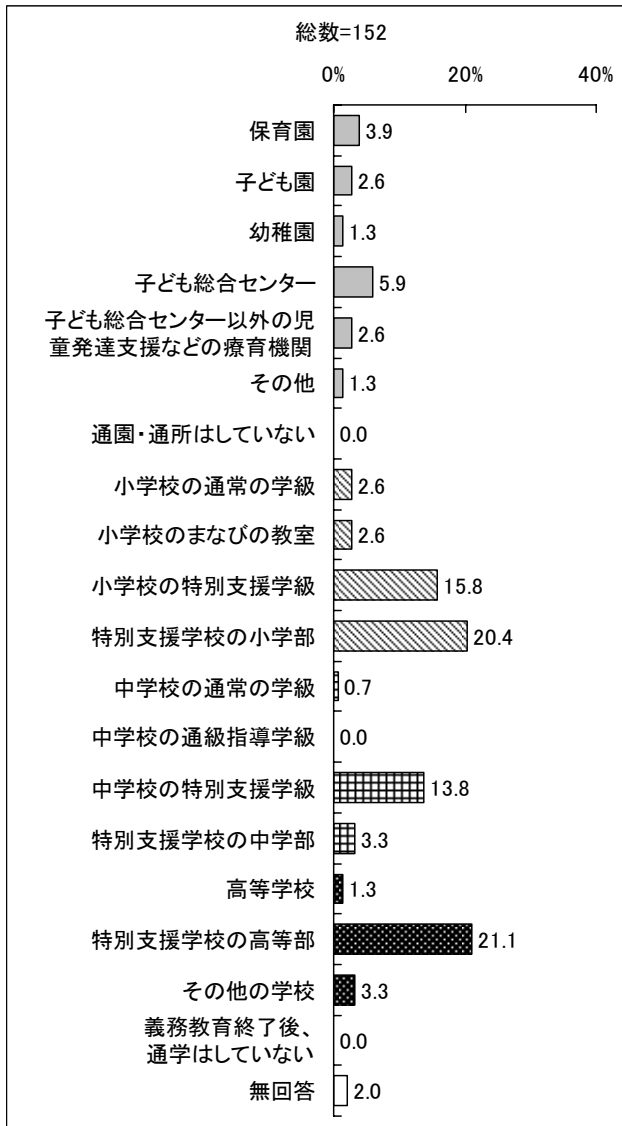
■全体



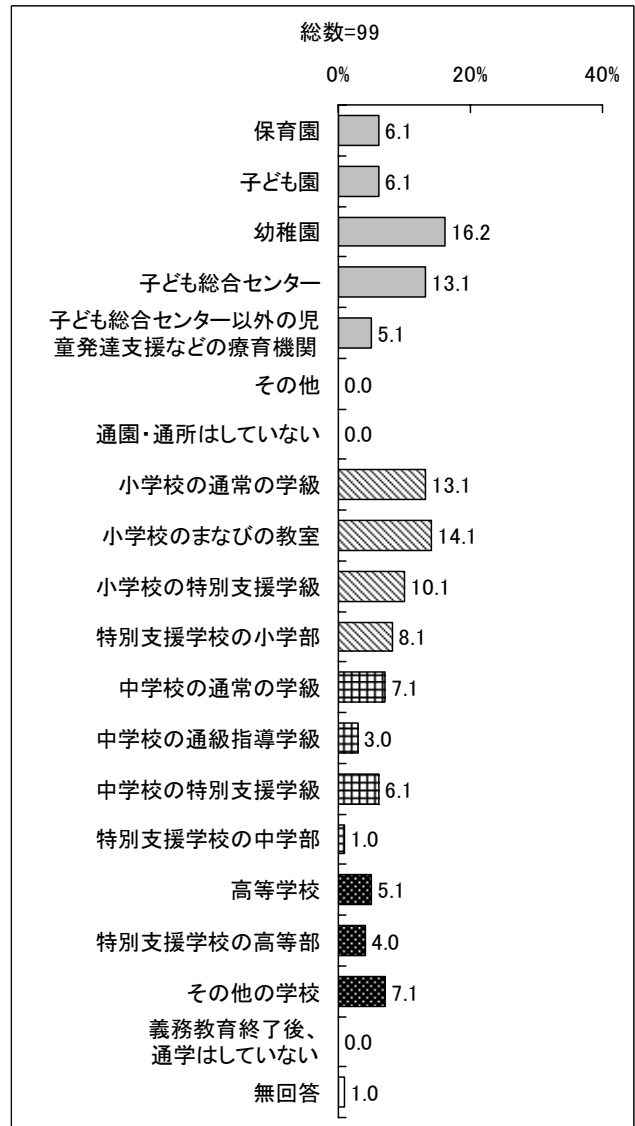
■身体障害



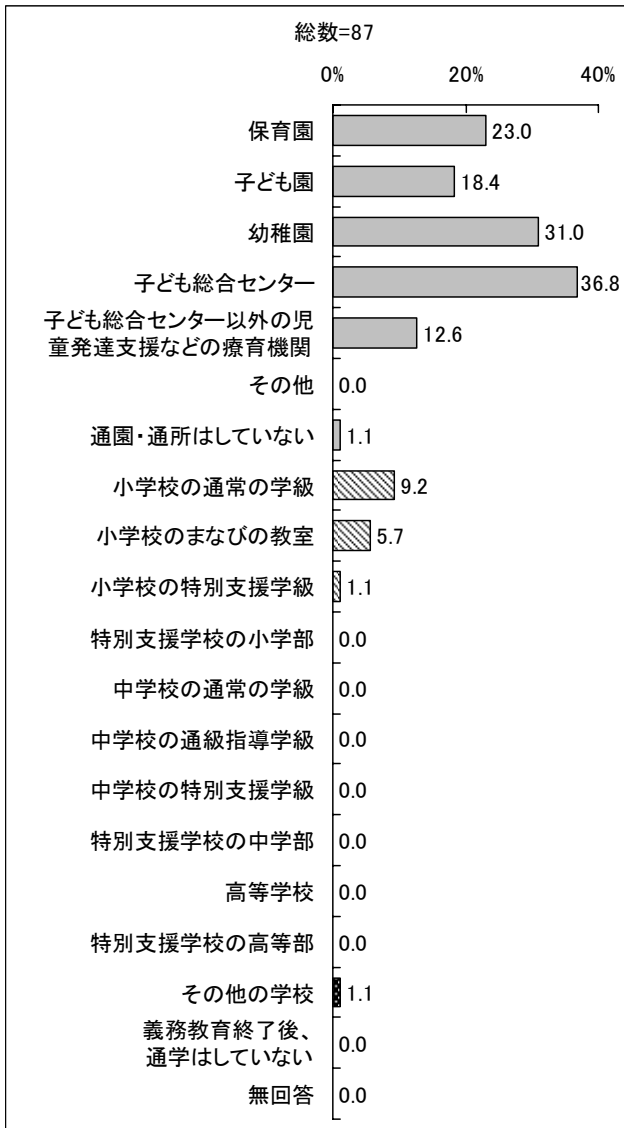
知的障害



発達障害



■手帳・診断なし

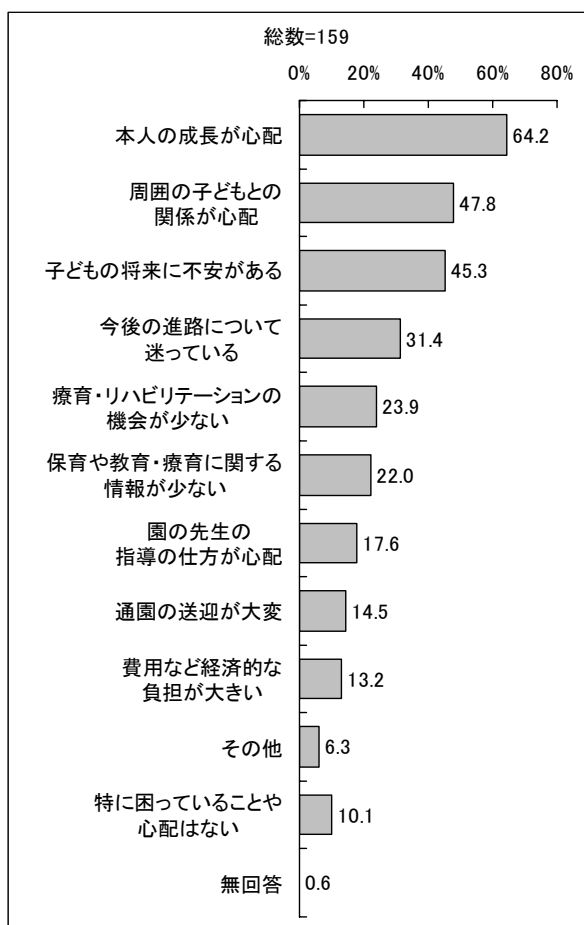


問 25 問 24 で「A 小学校入学前(1～7)」と回答した方にお聞きします。

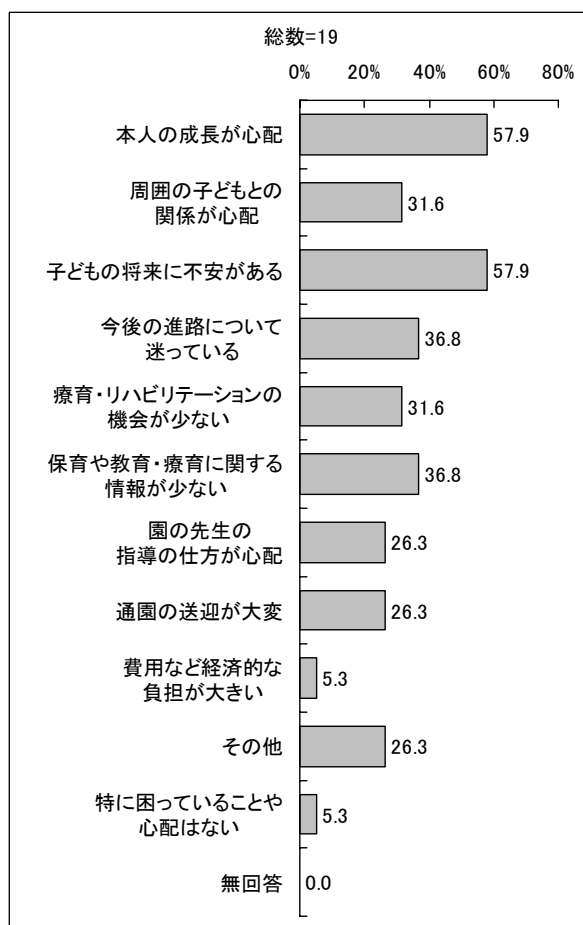
通園生活や今後の進路等で困っていることや心配していることはありますか。(〇はいくつでも)

全体では「本人の成長が心配」が 64.2%、「周囲の子どもとの関係が心配」が 47.8%、「子どもの将来に不安がある」が 45.3%などとなっています。障害別に見ると、知的障害では「子どもの将来に不安がある」、発達障害、手帳・診断なしでは「本人の成長が心配」が特に多くなっています。

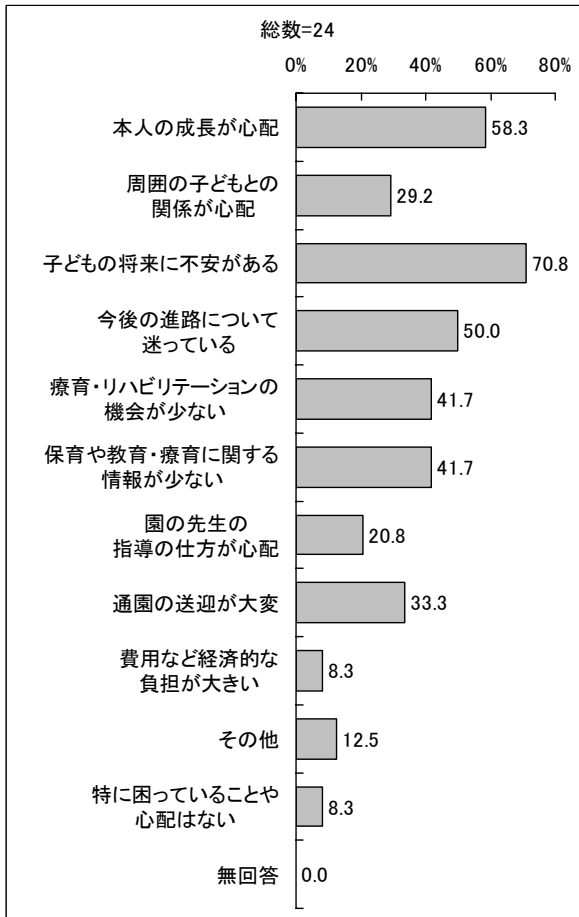
■全体



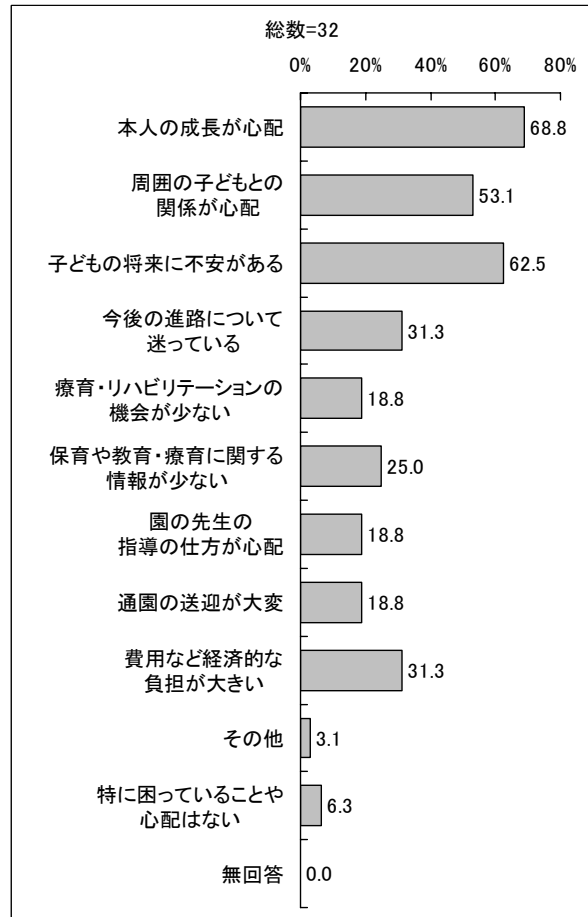
■身体障害



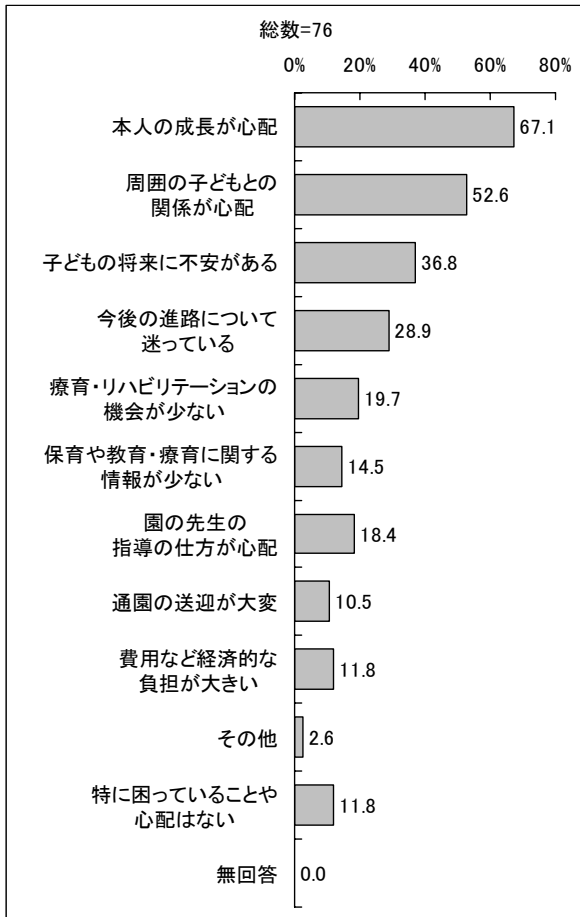
知的障害



発達障害



■手帳・診断なし

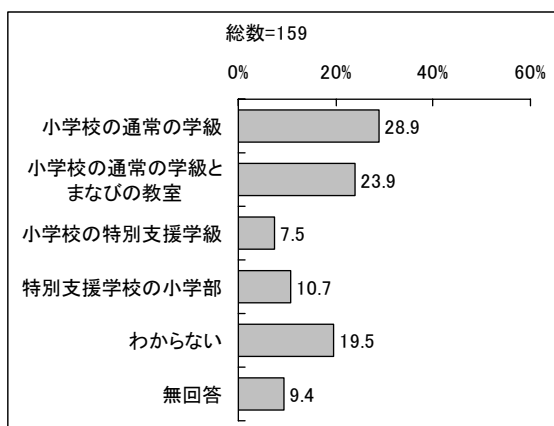


問 26 問 24 で「A 小学校入学前(1~7)」と回答した方にお聞きします。

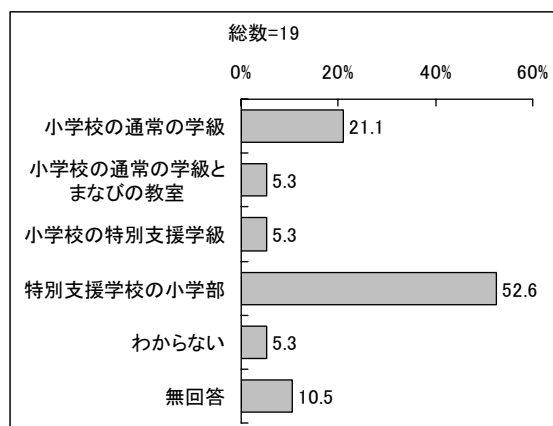
小学校はどの教育機関を希望しますか。(○はひとつ)

全体では「小学校の通常の学級」が 28.9%と最も多く、次いで「小学校の通常の学級とまなびの教室」が 23.9%、「特別支援学校の小学部」が 10.7%などとなっています。障害別に見ると、身体障害、知的障害では「特別支援学校の小学部」、発達障害では小学校の通常の学級とまなびの教室、手帳・診断なしでは「小学校の通常の学級」が多くなっています。

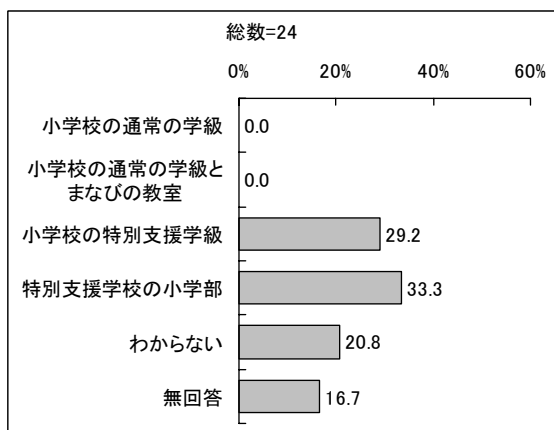
■全体



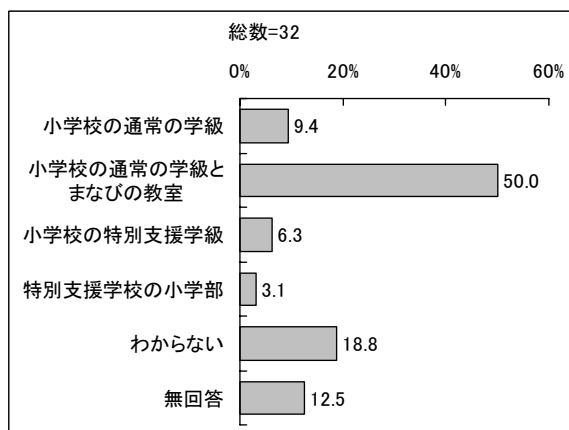
■身体障害



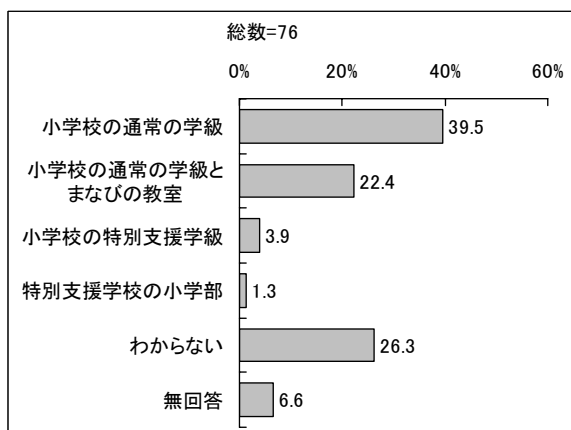
■知的障害



■発達障害



■手帳・診断なし



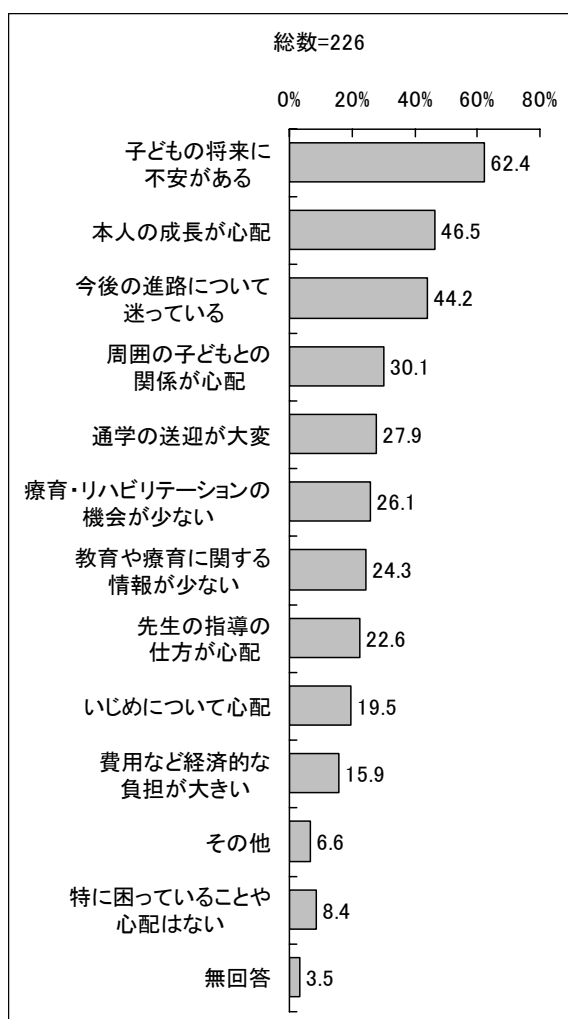
問 27 問 24 で「B 学校在学中(8~18)」と回答した方にお聞きします。

通学生活等で困っていることや心配していることはありますか。

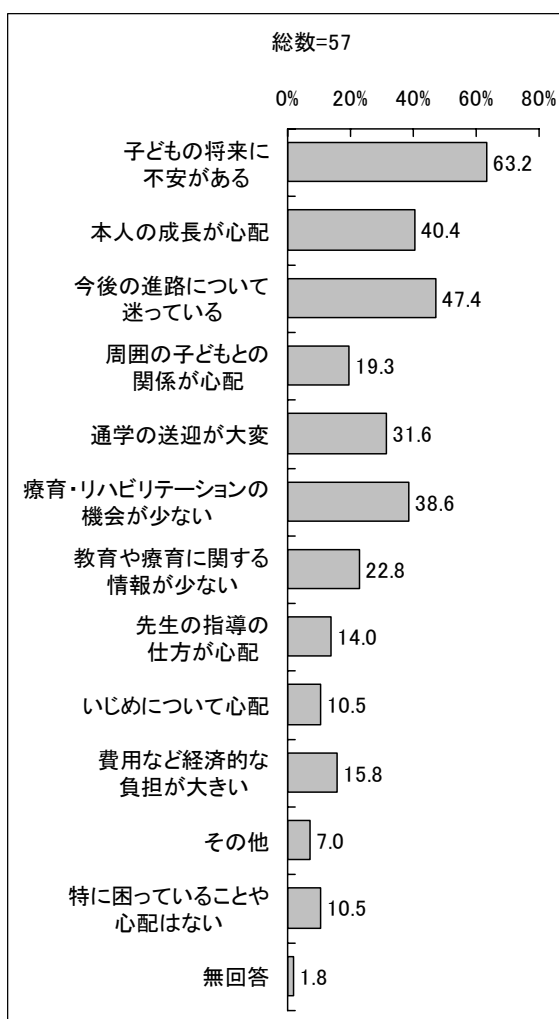
(○はいくつでも)

全体では「子供の将来に不安がある」が 62.4%と最も多く、次いで「本人の成長が心配」が 46.5%、「今後の進路について迷っている」が 44.2%などとなっています。障害別に見ると、身体障害では「療育・リハビリテーションの機会が少ない」、知的障害では「通学の送迎が大変」、発達障害では「周囲の子どもとの関係が心配」が比較的多くなっています。

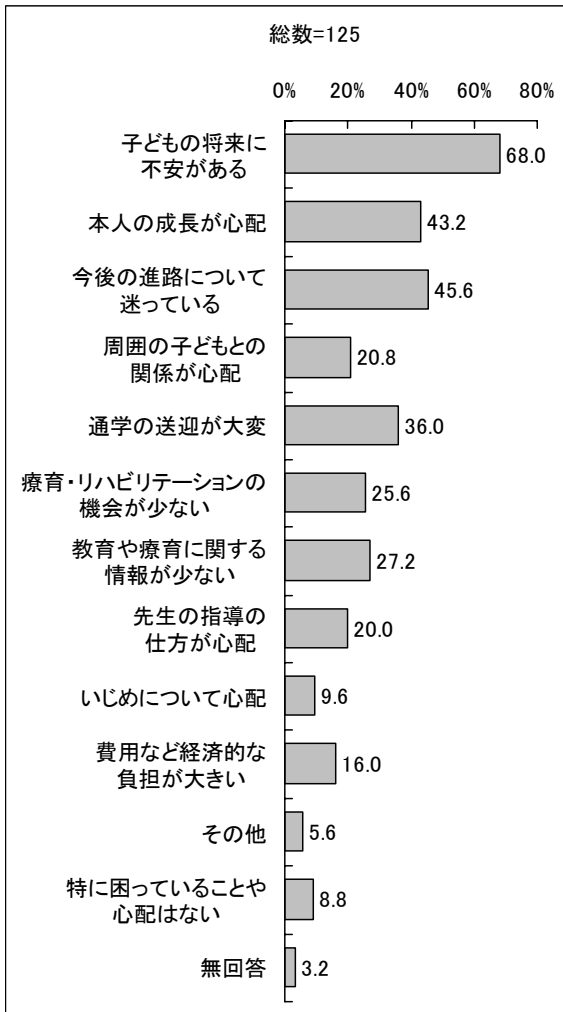
■全体



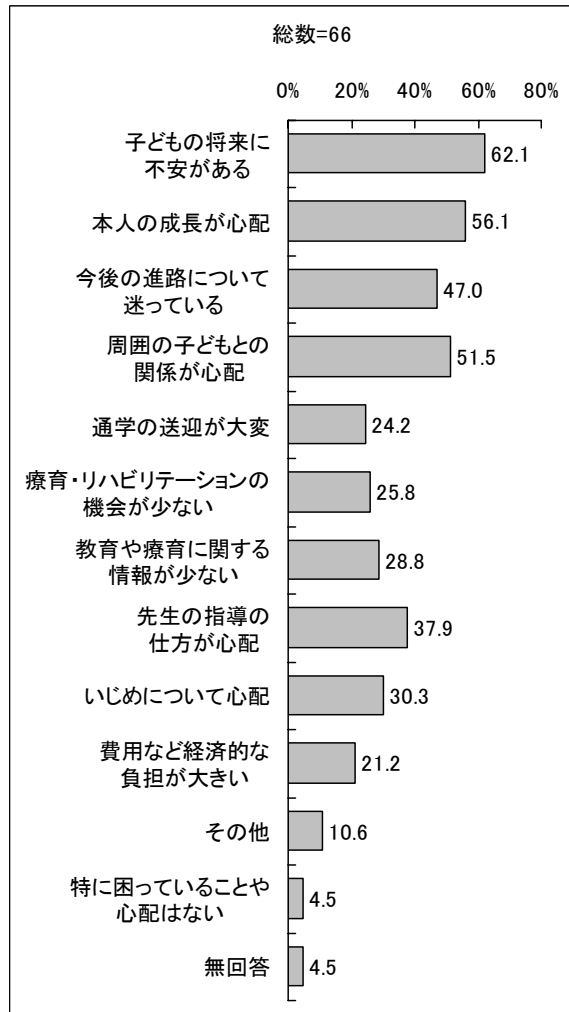
■身体障害



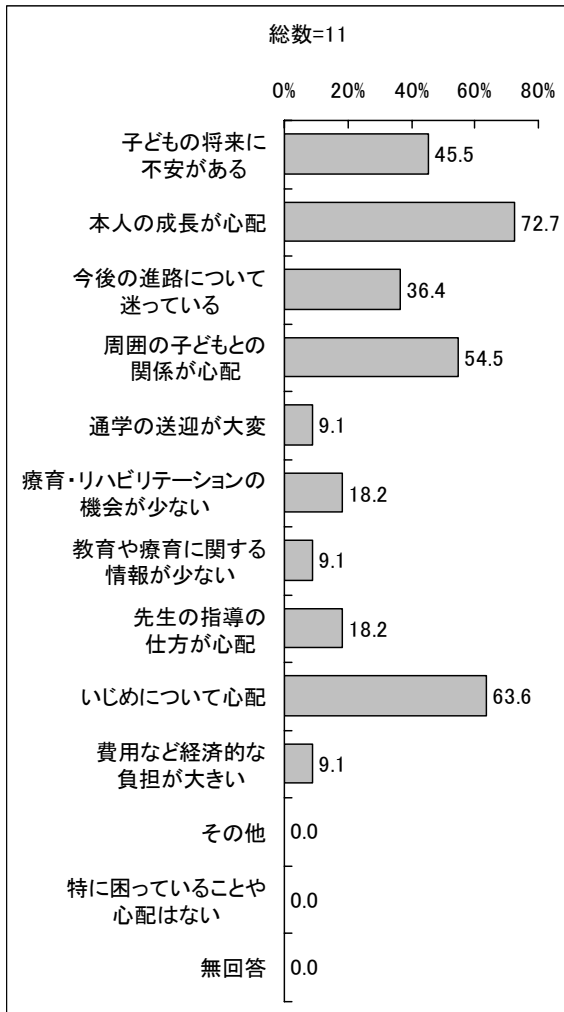
知的障害



発達障害



■手帳・診断なし



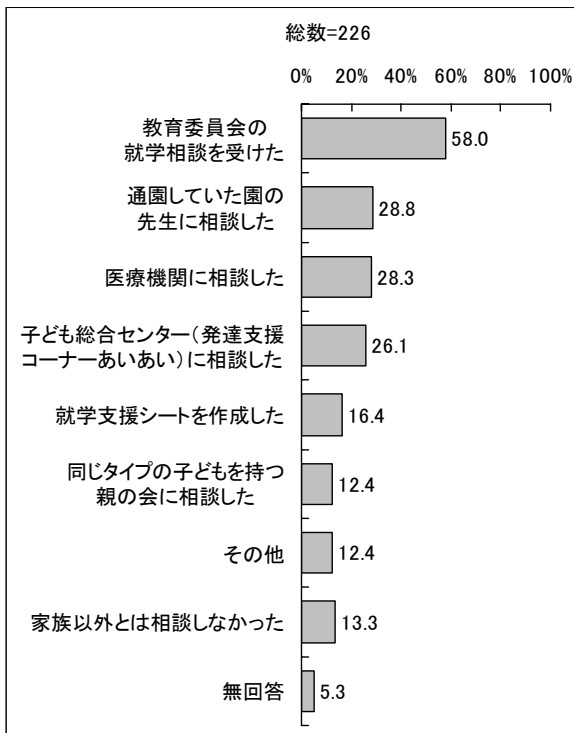
問 28 問 24 で「B 学校在学中(8～18)」と回答した方にお聞きします。

就学にあたって相談した機関や活用した事柄を教えてください。

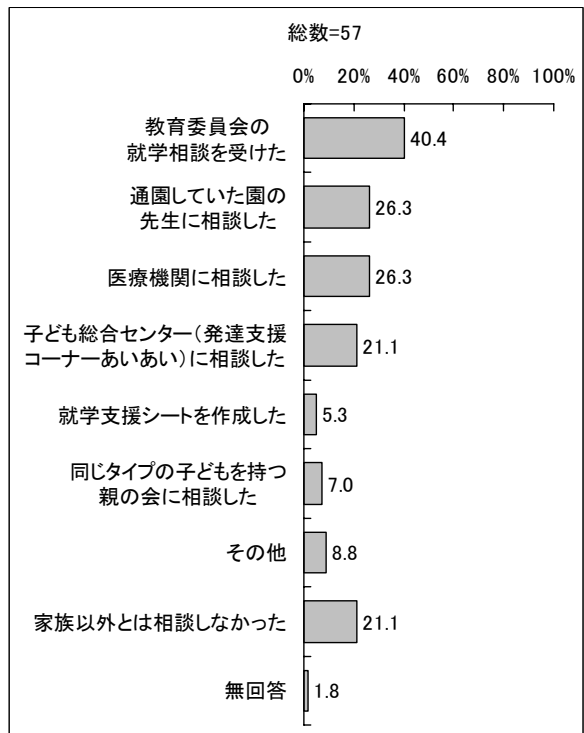
(○はいくつでも)

全体では、「教育委員会の就学相談を受けた」が 58.0%と最も多く、次いで「通園していた園の先生に相談した」が 28.8%、「医療機関に相談した」が 28.3%などとなっています。障害別に見ると、知的障害、発達障害では「教育委員会の就学相談を受けた」が特に多くなっています。

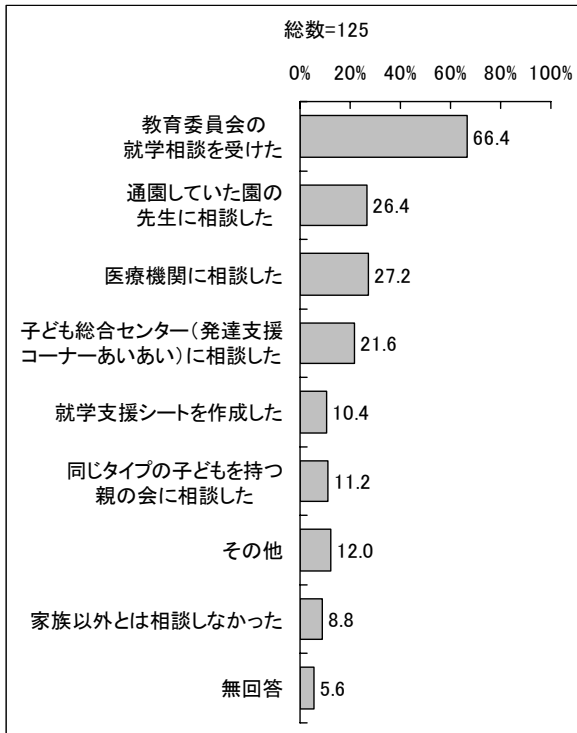
■全体



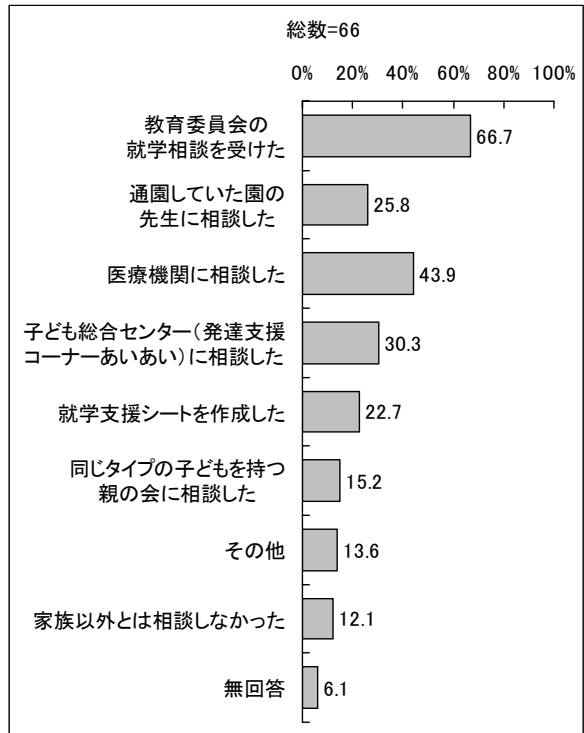
■身体障害



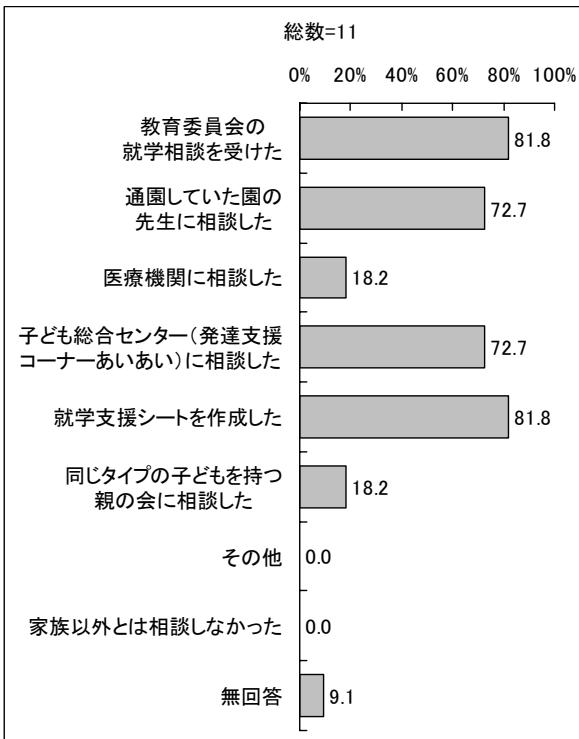
知的障害



発達障害



手帳・診断なし

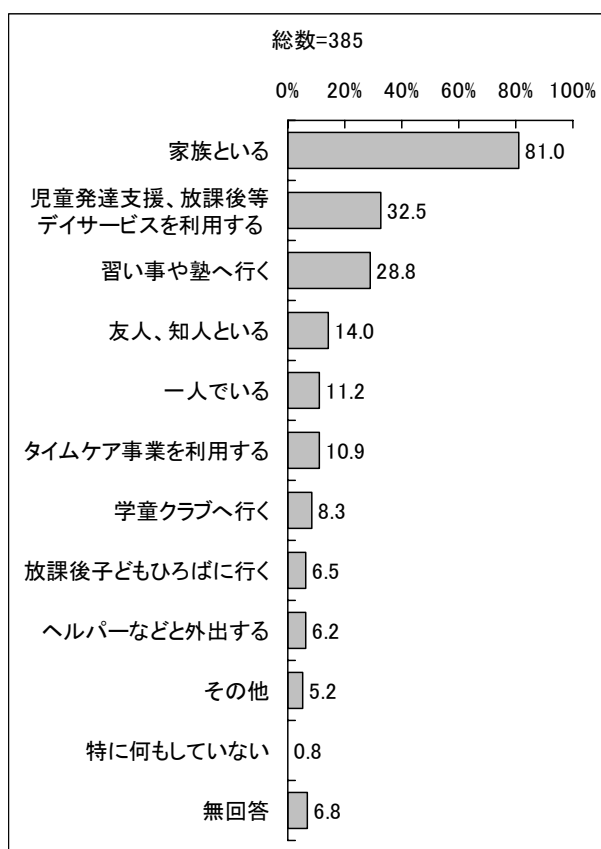


問 29 問 24 で「A 小学校入学前(1～7)」または「B 学校在学中(8～18)」と回答した方にお聞きします。

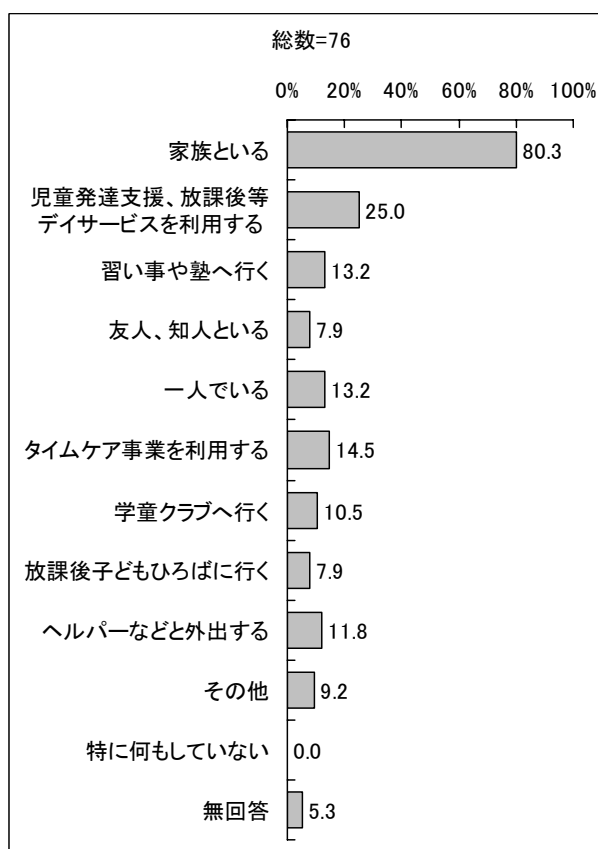
放課後や長期休業中など、幼稚園や保育園、子ども園、学校等にいる以外の時間は、お子さんはどのように過ごしていますか。(〇はいくつでも)

全体では「家族といる」が81.0%と最も多く、次いで「児童発達支援、放課後等デイサービスを利用する」が32.5%、「習い事や塾へ行く」が28.8%などとなっています。障害別に見ると、知的障害、発達障害では「児童発達支援、放課後等デイサービスを利用する」、手帳・診断なしでは「習い事や塾へ行く」が比較的多くなっています。

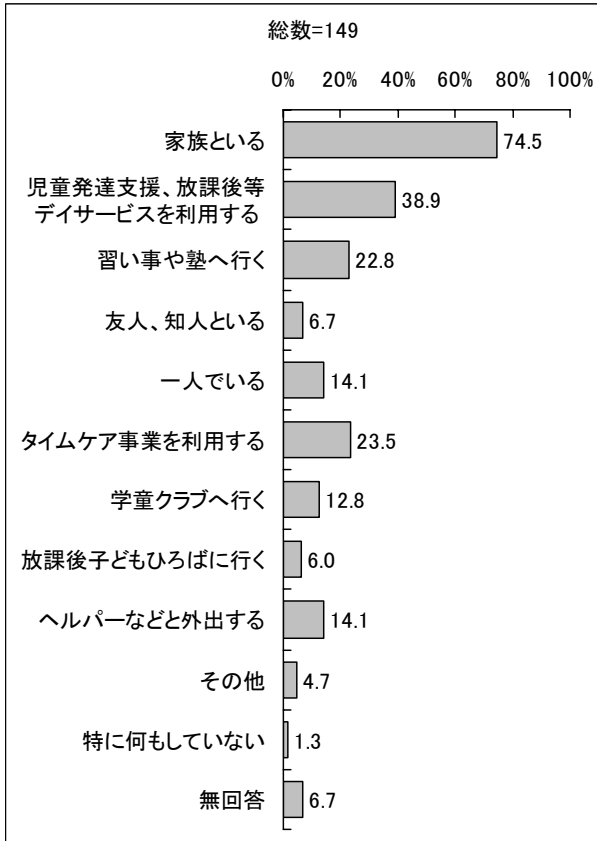
■全体



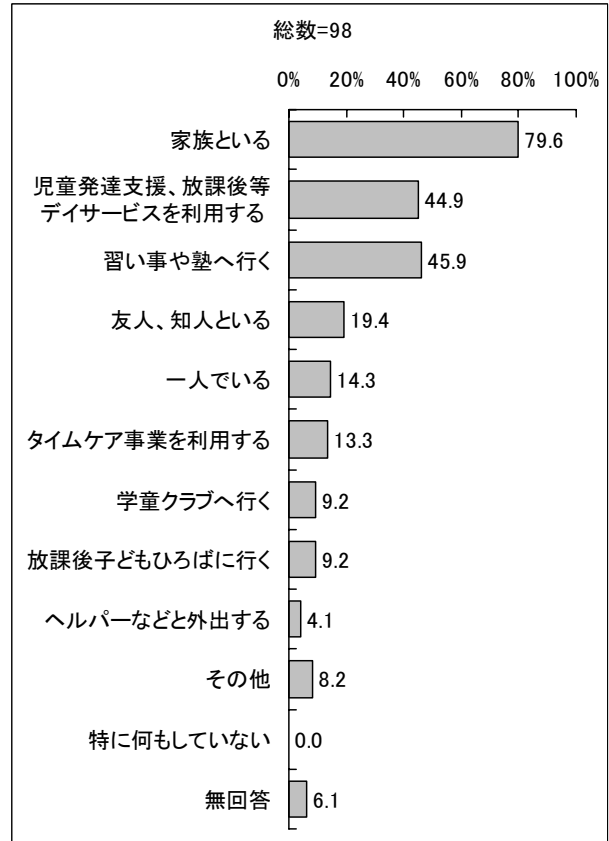
■身体障害



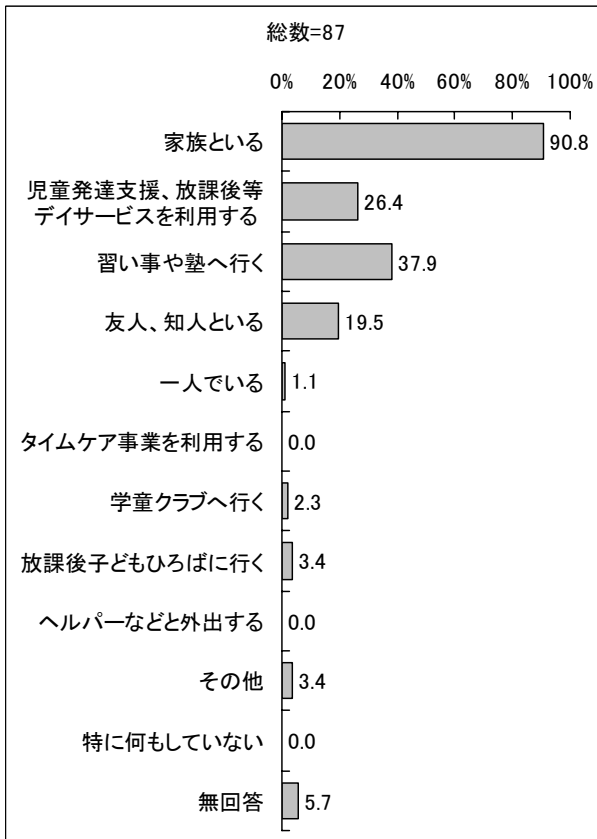
知的障害



発達障害



手帳・診断なし



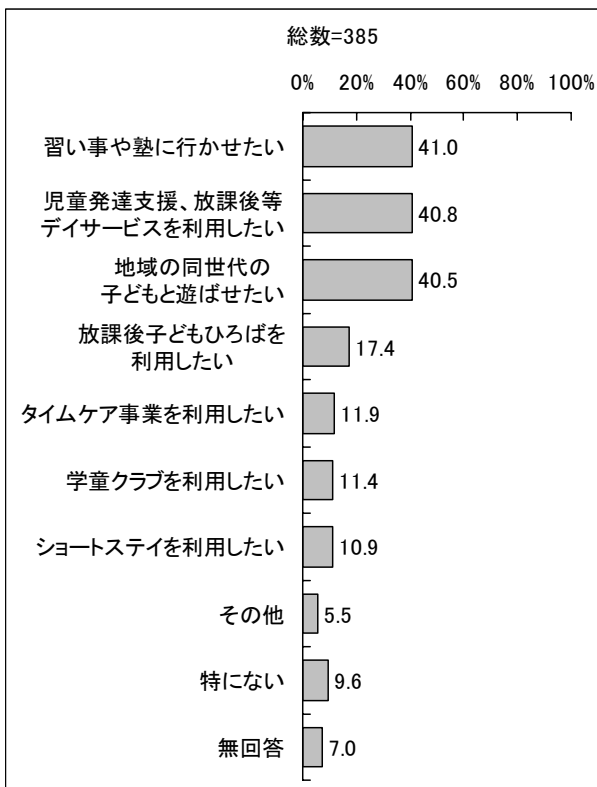
問 30 問 24 で「A 小学校入学前(1～7)」または「B 学校在学中(8～18)」と回答した方にお聞きします。

放課後や長期休業中など、幼稚園や保育園、子ども園、学校等にいる以外の時間は、お子さんがどのように過ごすことを希望していますか。

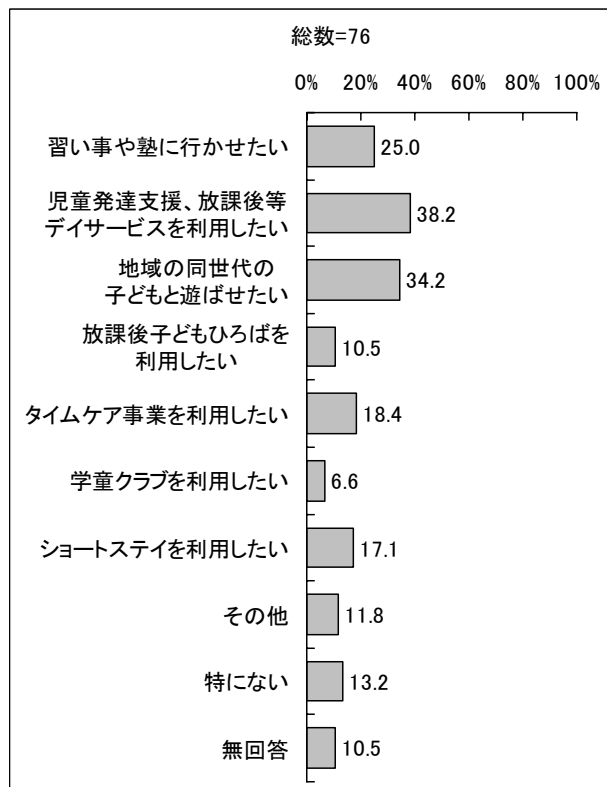
(○はいくつでも)

全体では「習い事や塾に行かせたい」が 41.0%と最も多く、次いで「児童発達支援、放課後等デイサービスを利用したい」が 40.8%、「地域の同世代の子どもと遊ばせたい」が 40.5%などとなっています。障害別に見ると、知的障害では「児童発達支援、放課後等デイサービスを利用したい」、手帳・診断なしでは「地域の同世代の子どもと遊ばせたい」が特に多くなっています。

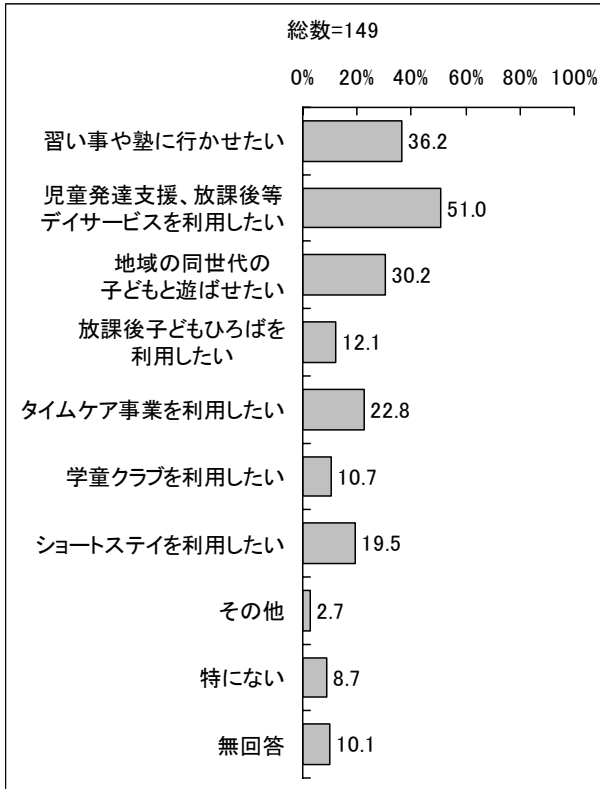
■全体



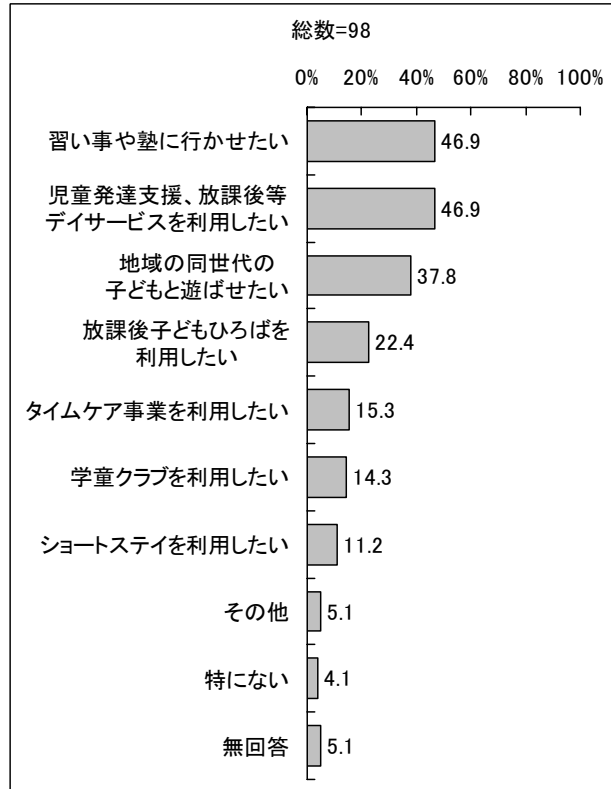
■身体障害



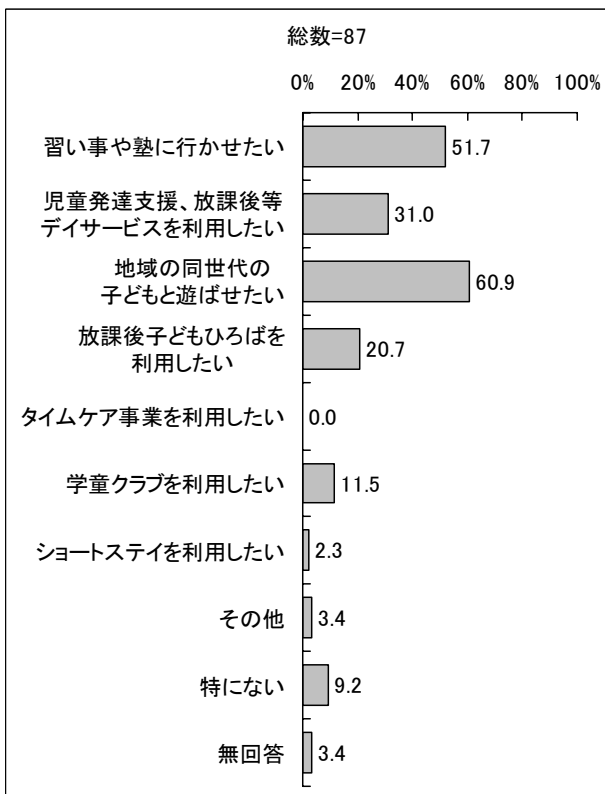
知的障害



発達障害



手帳・診断なし



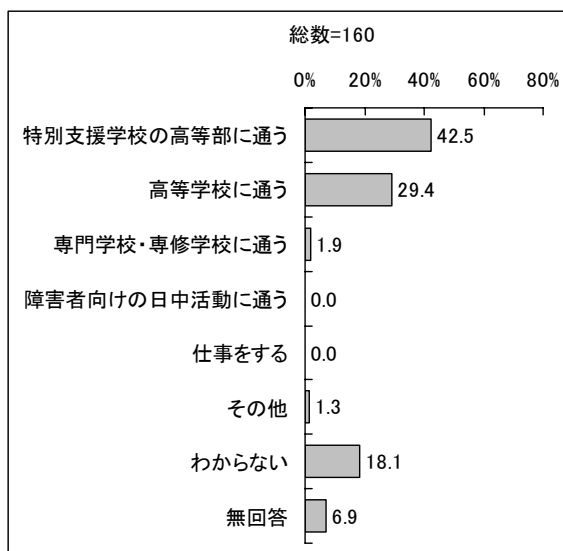
問 31 小学校(小学部)、または中学校(中学部)に通っていると回答した方にお聞きします。それ以外の方は問 32 へ進んでください。

中学校（中学部）卒業後はどのような進路を希望しますか。

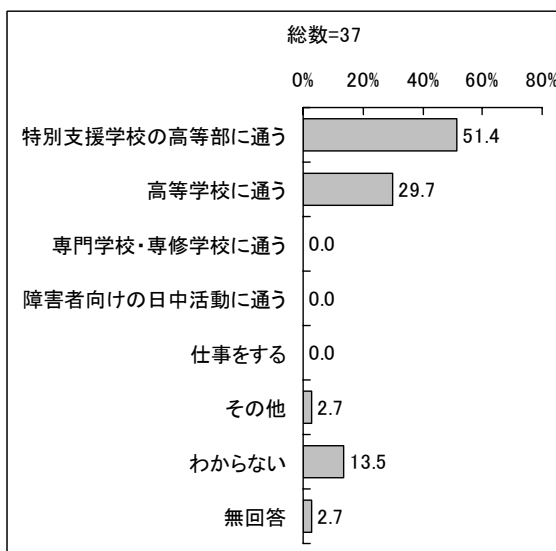
(○はひとつ)

全体では「特別支援学校の高等部に通う」が42.5%と最も多く、次いで「高等学校に通う」が29.4%、「専門学校・専修学校に通う」が1.9%となっています。障害別に見ると、知的障害、身体障害では「特別支援学校の高等部に通う」、手帳・診断なし、発達障害では「高等学校に通う」が多くなっています。手帳・診断なしでは「わからない」もかなり多くなっています。

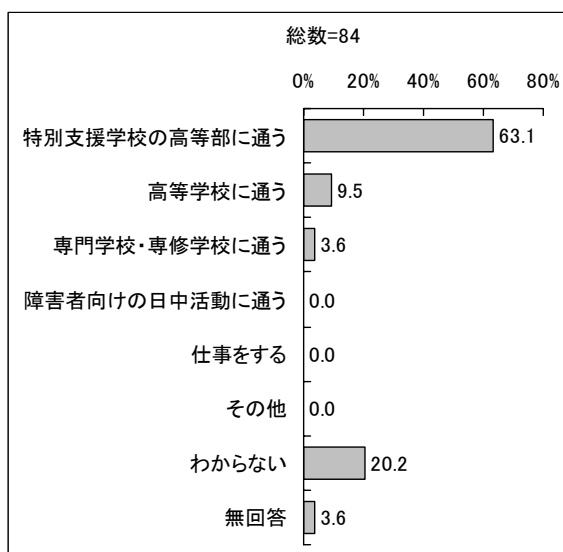
■全体



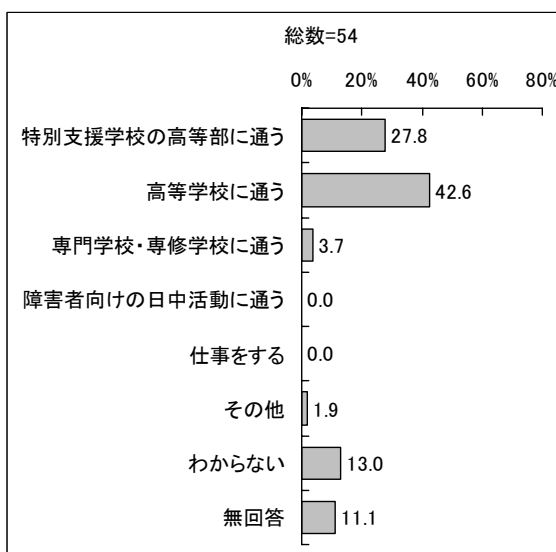
■身体障害



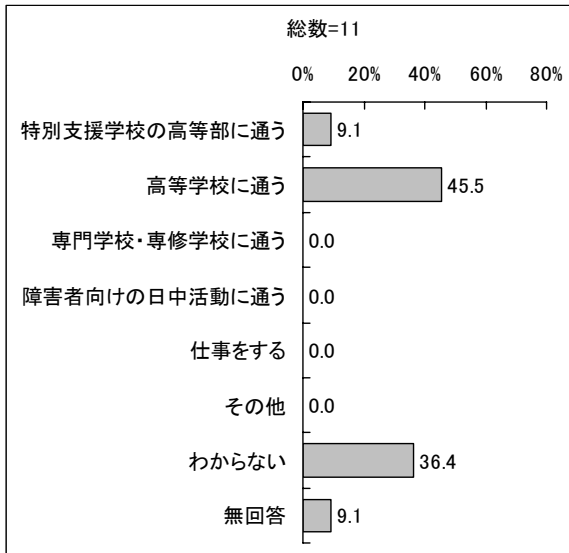
■知的障害



■発達障害



■手帳・診断なし



問 32 問 24 で「16 高等学校」、または「17 特別支援学校の高等部」に通っていると回答した方にお聞きします。それ以外の方は問 33 へ進んでください。

高等学校（高等部）卒業後はどのような進路を希望しますか。

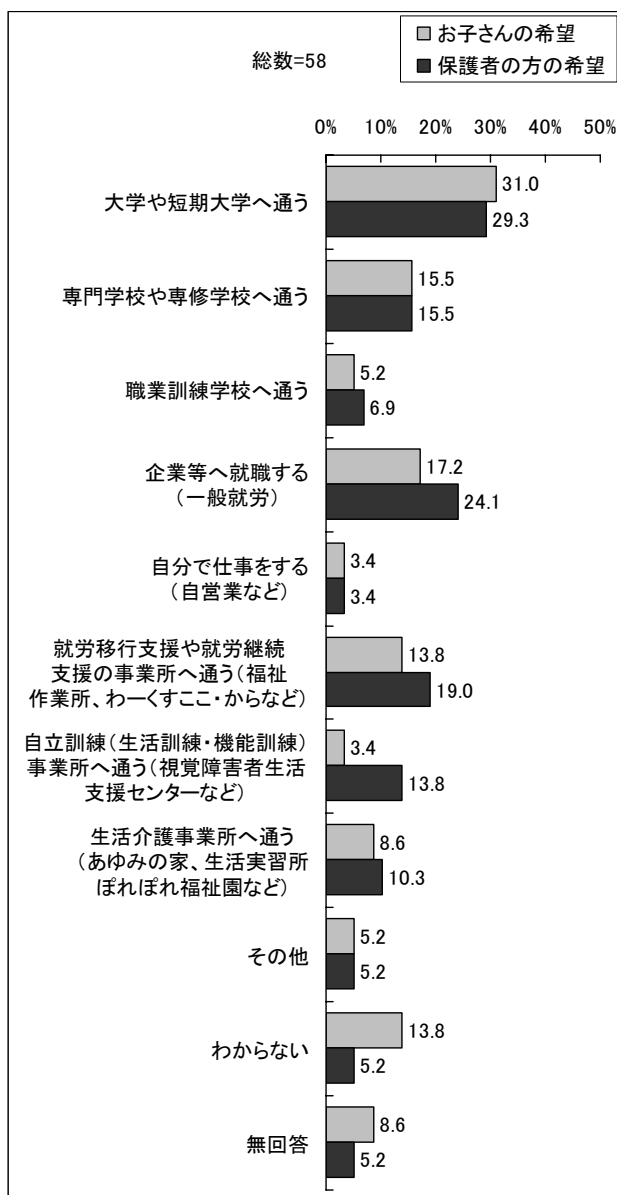
（○はいくつでも）

※ この設問では、「お子さんの希望」と「保護者の方の希望」をそれぞれ伺います。

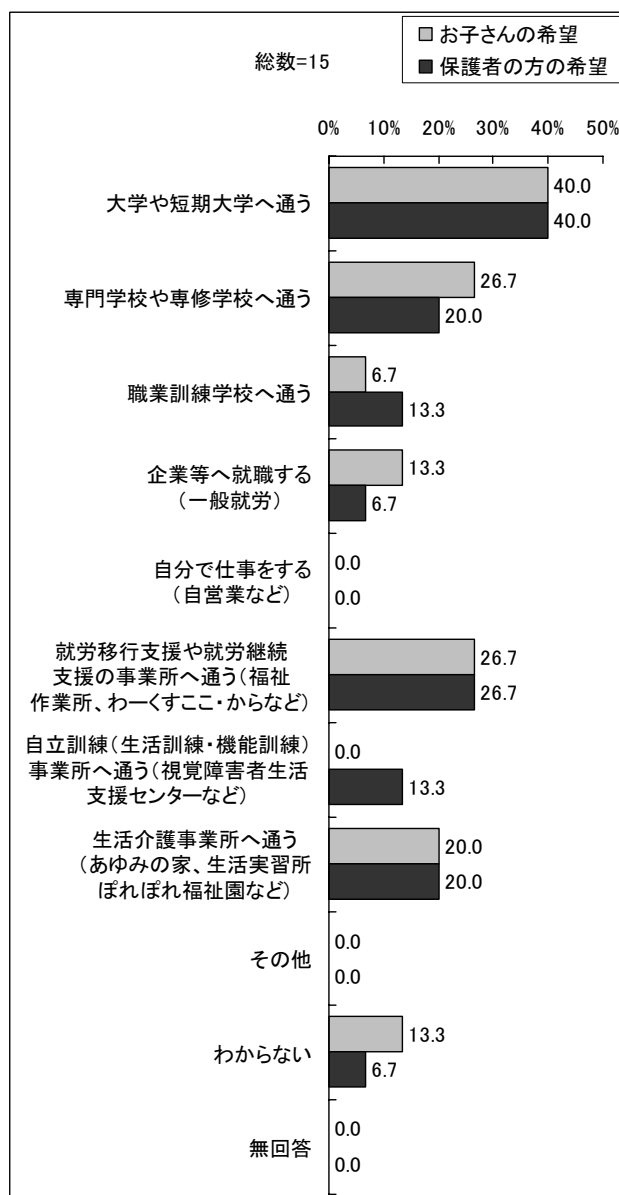
全体では「お子さんの希望」は「大学や短期大学へ通う」が 31.0%と最も多く、次いで「企業へ就職する（一般就労）」が 17.2%、「専門学校や専修学校へ通う」が 15.5%などとなっています。

「保護者の方の希望」は「大学や短期大学へ通う」が 29.3%と最も多く、次いで「企業へ就職する（一般就労）」が 24.1%、「就労移行支援や就労継続支援の事業所へ通う（福祉作業所、わーくすここ・からなど）」が 19.0%などとなっています。

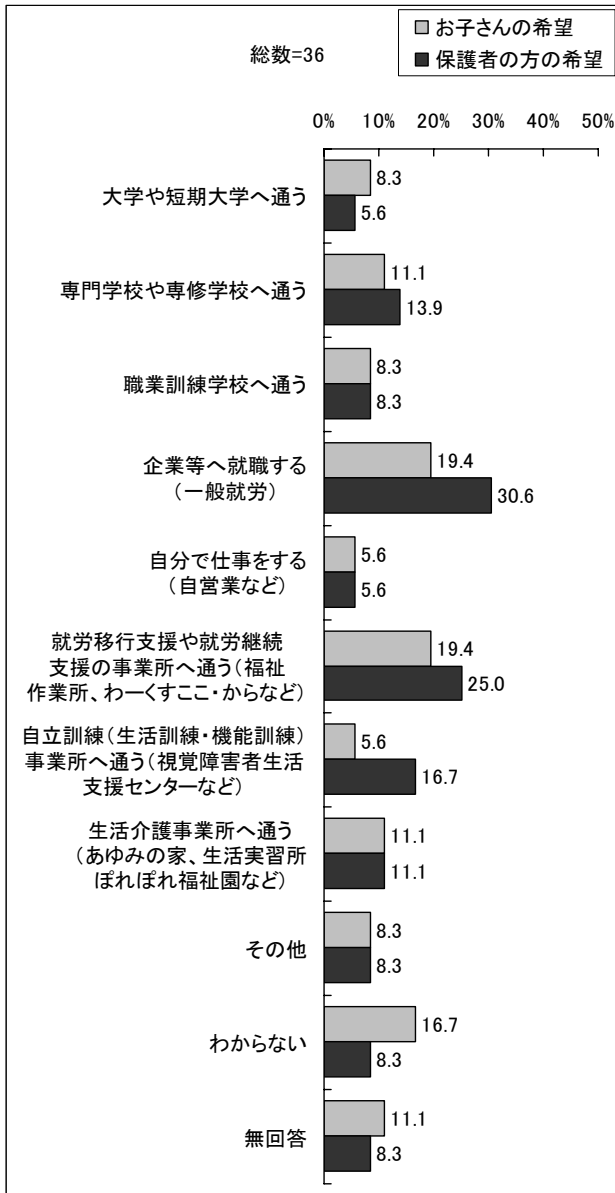
■全体



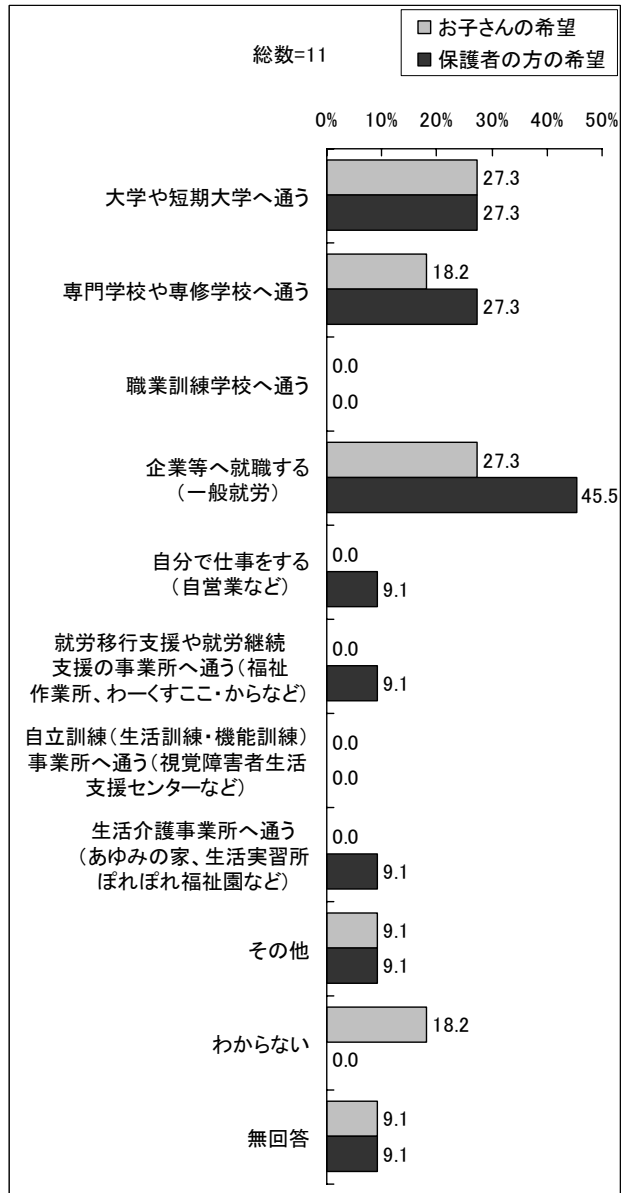
■身体障害



知的障害



発達障害



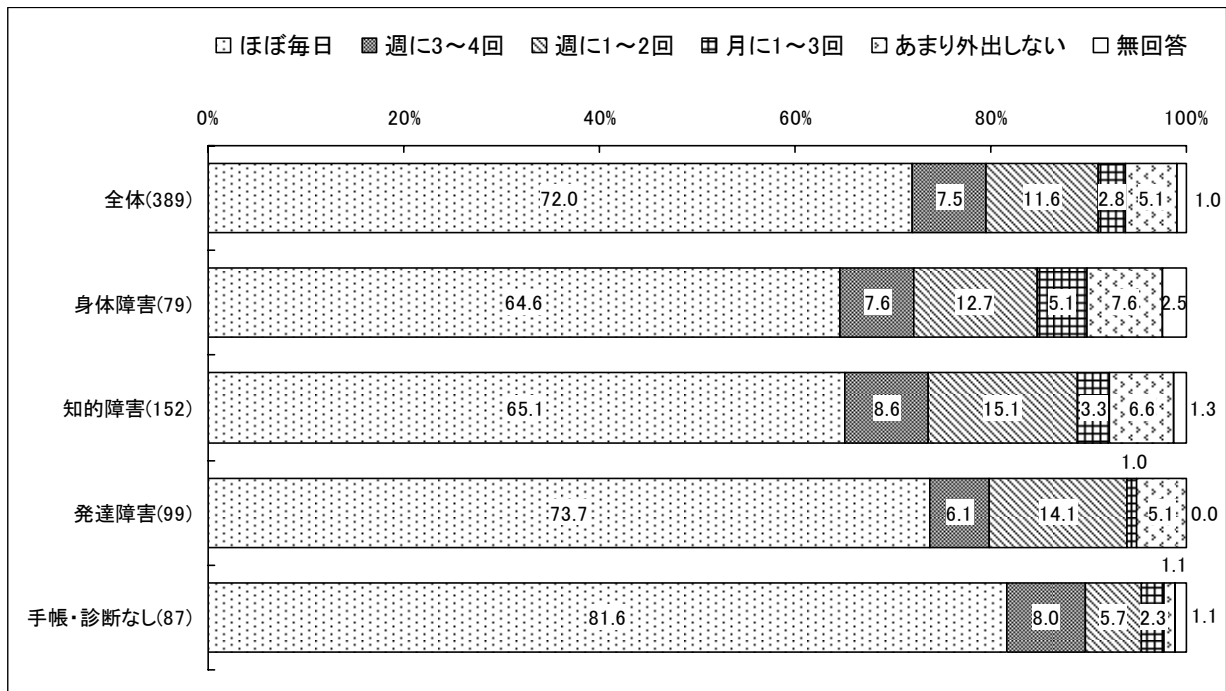
手帳・診断なし

※対象回答者なし

5 外出やバリアフリーについて

問 33 お子さんは、どのくらいの頻度で外出していますか。(○はひとつ)

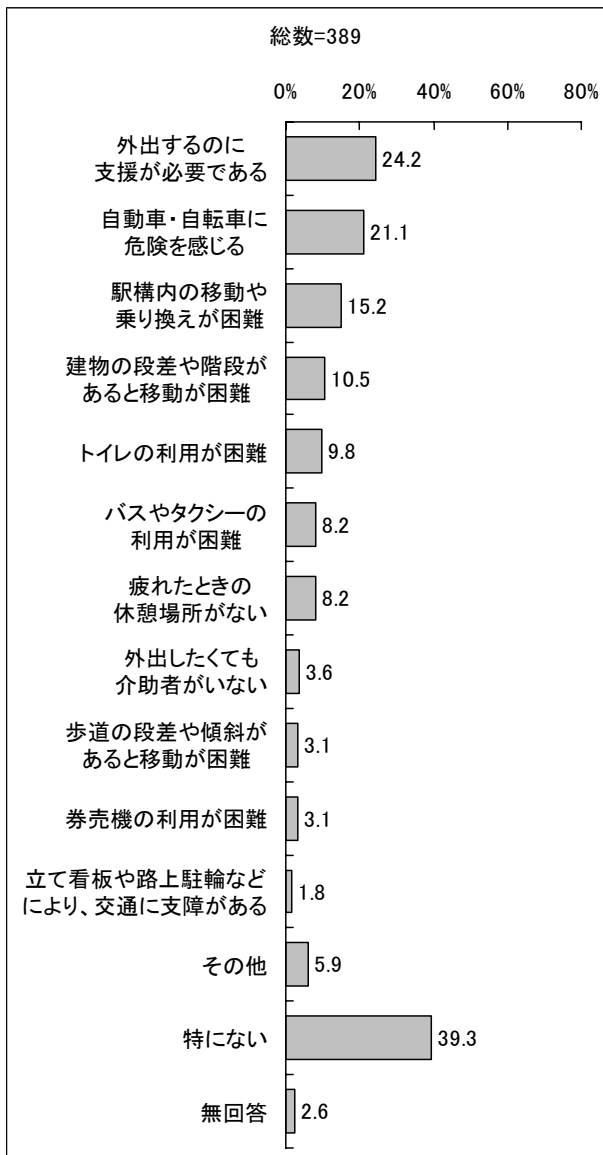
全体では「ほぼ毎日」が72.0%と最も多く、次いで「週に1～2回」が11.6%、「週に3～4回」が7.5%などとなっています。



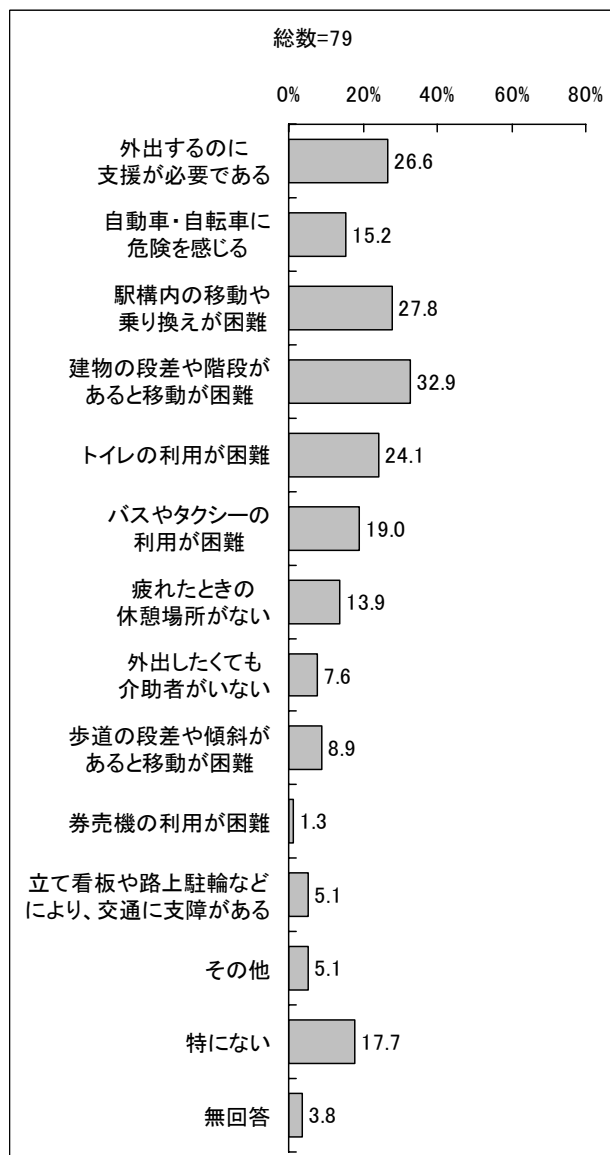
問 34 お子さんは、外出（通園・通学以外）に関してどのようなことで困っていますか。（〇は3つまで）

全体では「外出するのに支援が必要である」が24.2%と最も多く、次いで「自動車・自転車に危険を感じる」が21.1%、「駅構内の移動や乗り換えが困難」が15.2%などとなっています。障害別に見ると、身体障害では「建物の段差や階段があると移動が困難」、知的障害では「外出するのに支援が必要である」、発達障害では「自動車・自転車に危険を感じる」、手帳・診断なしでは「特にない」が特に多くなっています。

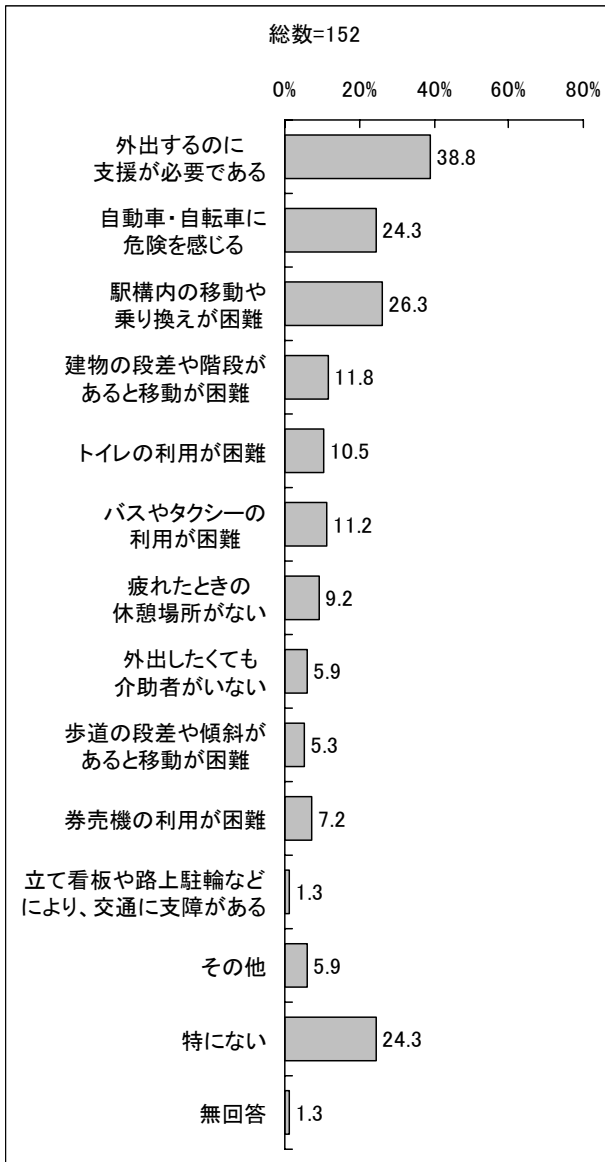
■全体



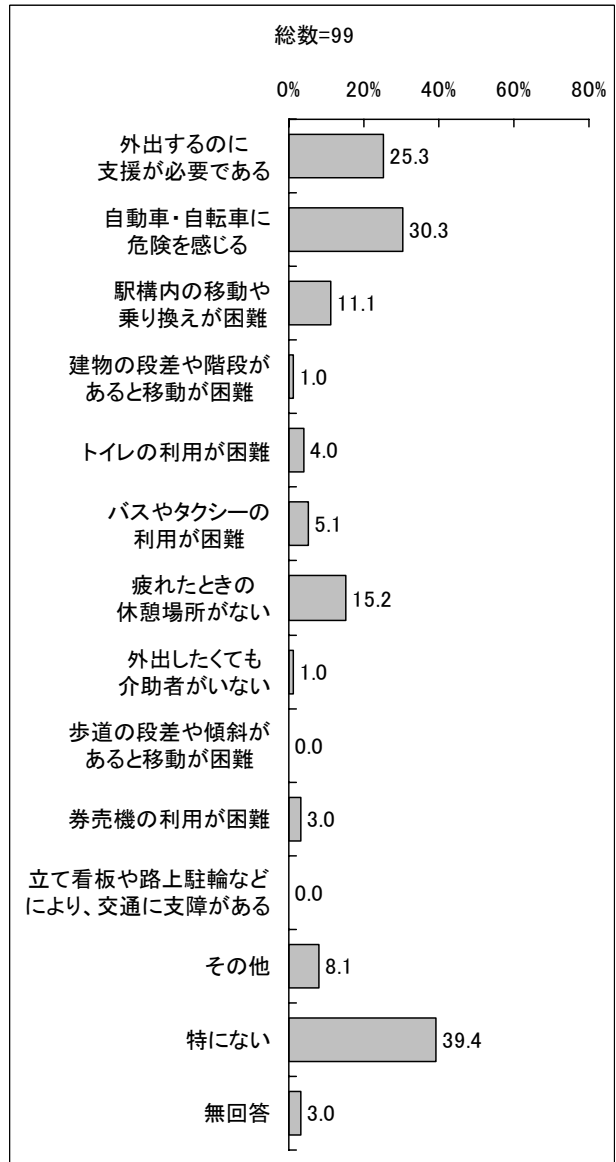
■身体障害



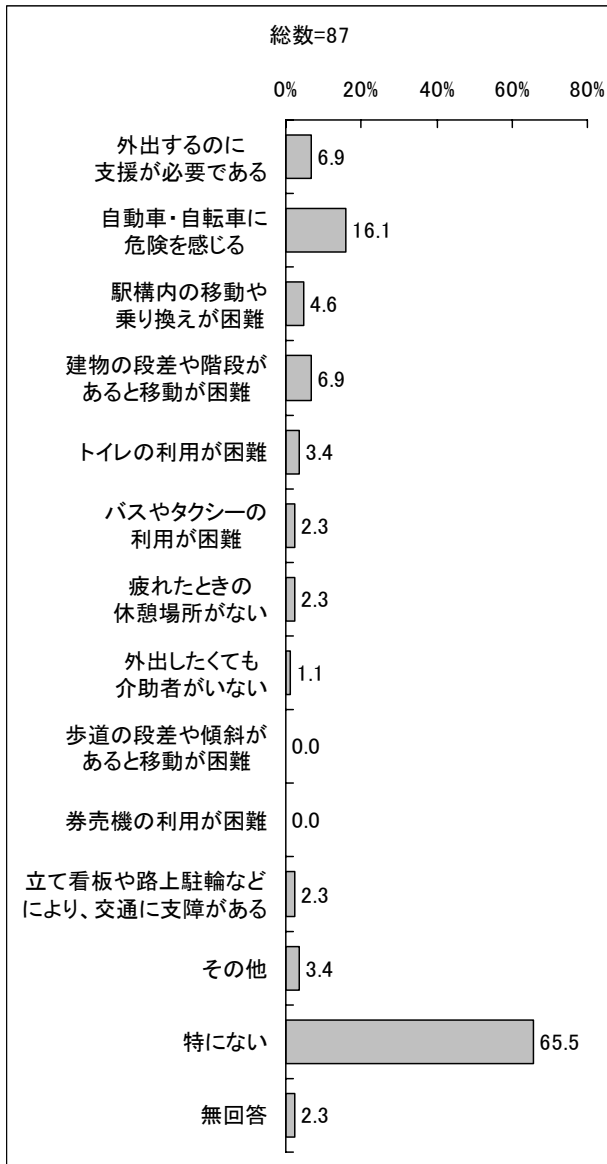
知的障害



発達障害



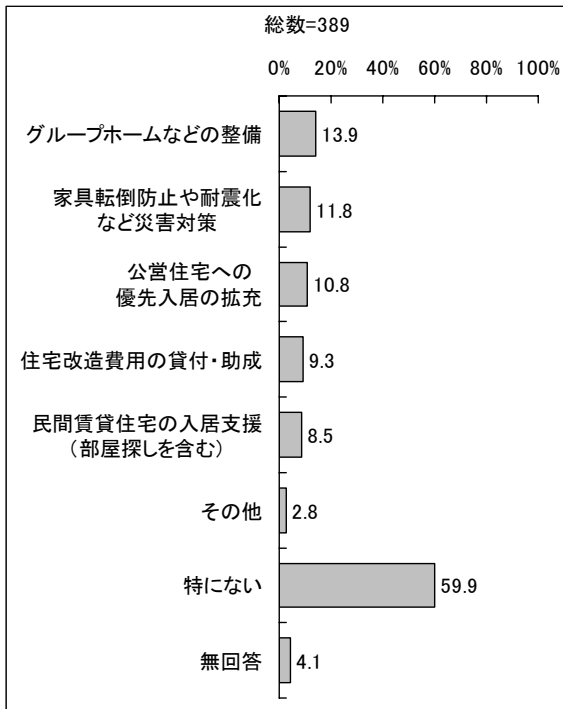
■手帳・診断なし



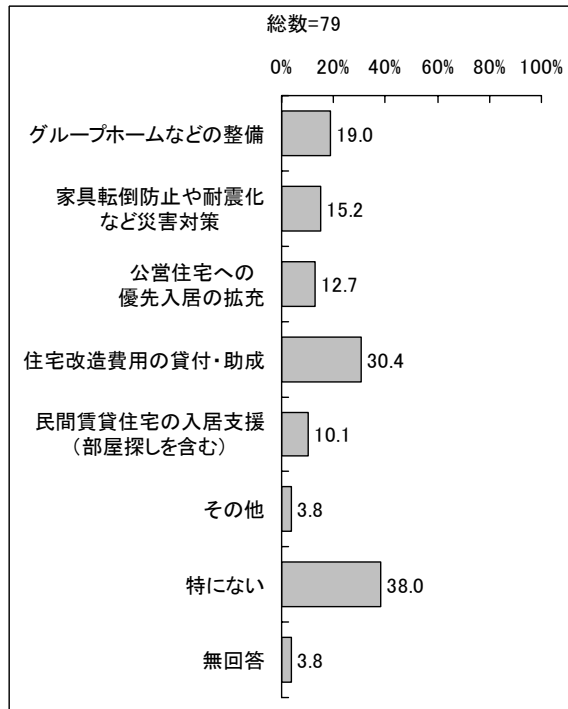
問 35 お子さんは、住まいに関してどのような支援を必要としていますか。(〇はいくつでも)

全体では「グループホームなどの整備」が13.9%と最も多く、次いで「家具転倒防止や耐震化など災害対策」が11.8%、「公営住宅への優先入居の拡充」が10.8%などとなっています。障害別に見ると、身体障害では「住宅改造費用の貸付・助成」、「グループホームなどの整備」が特に多くなっています。

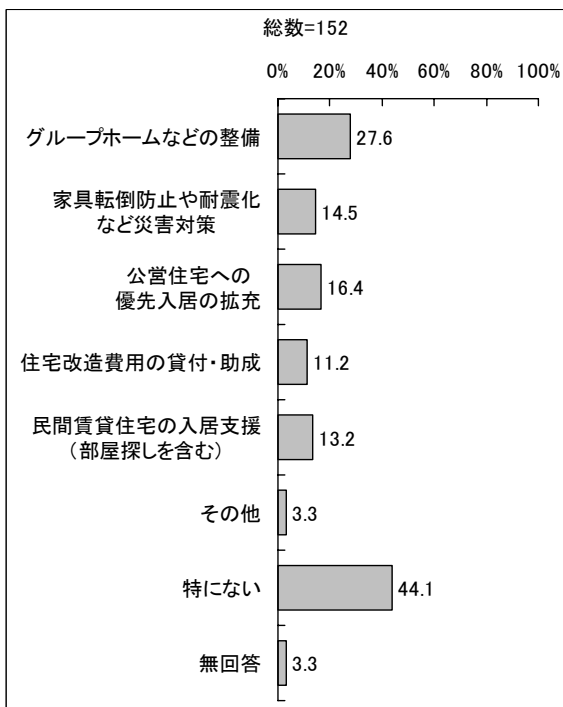
■全体



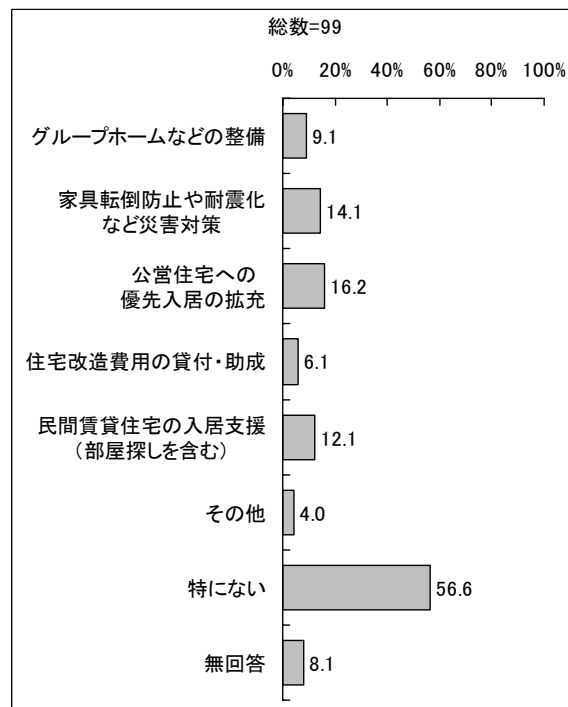
■身体障害



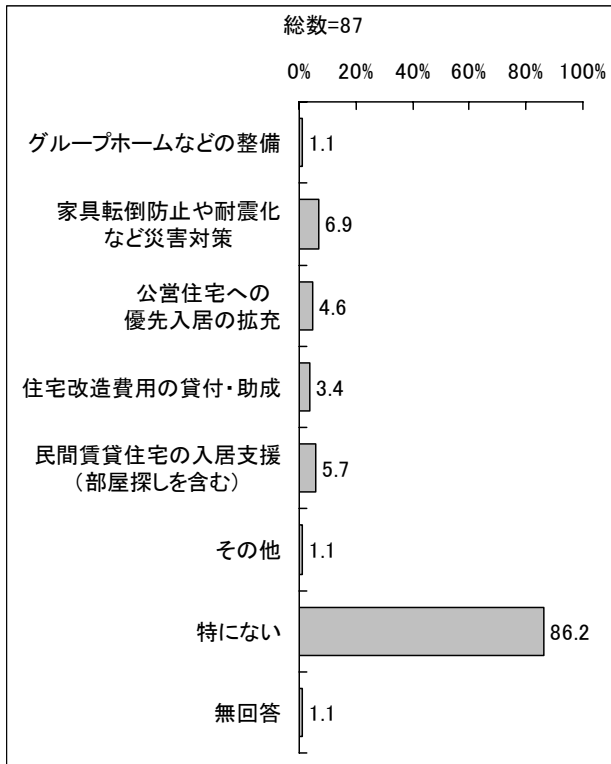
■知的障害



■発達障害



■手帳・診断なし



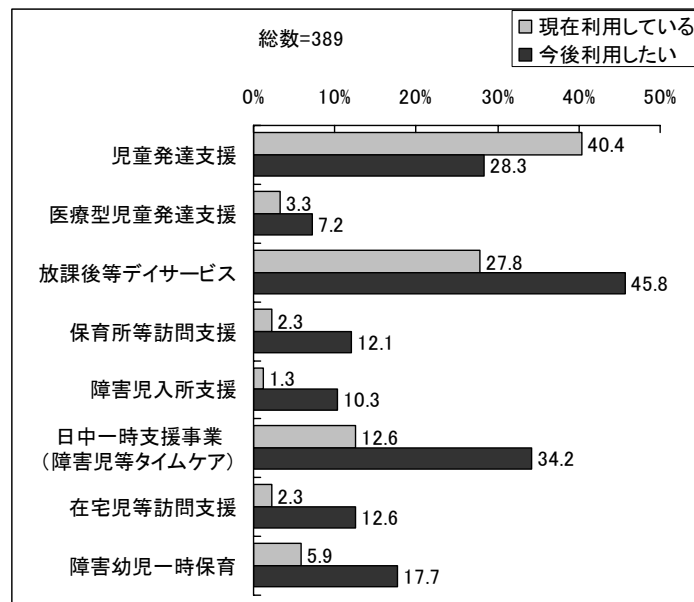
6 福祉サービスについて

問 36 お子さんは、次のようなサービスを利用していますか。また、今後（2～3年以内に）利用したいと思いますか。既に利用しており、今後も利用したい方は「1」、「2」両方に○をつけてください。

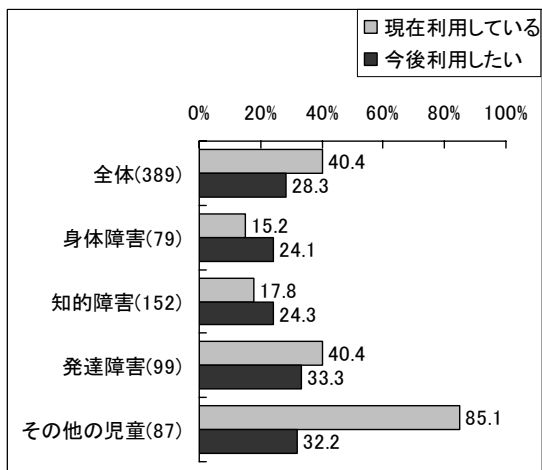
A 主に18歳未満の方が利用するサービス

(1) 主に18歳未満の方が利用するサービス

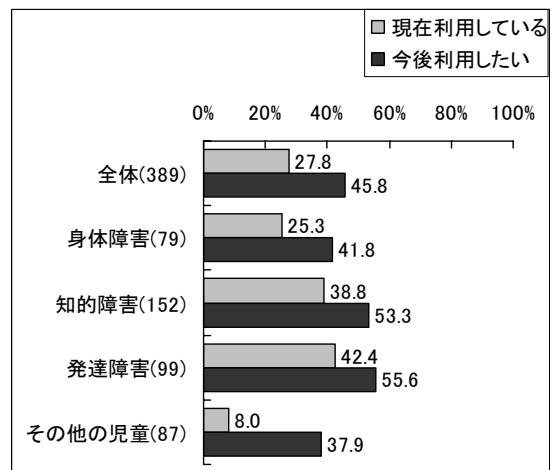
「現在利用している」が最も多いのは「児童発達支援」で40.4%となっています。「今後利用したい」は「放課後等デイサービス」で45.8%となっています。



○児童発達支援



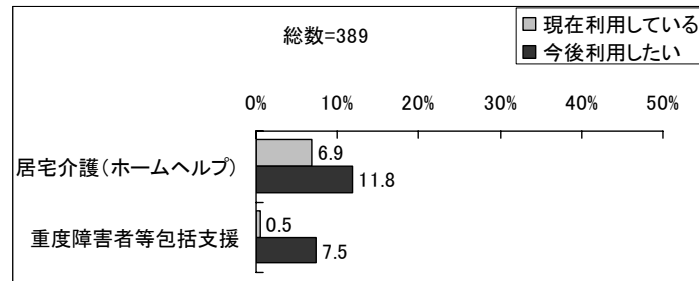
○放課後等デイサービス



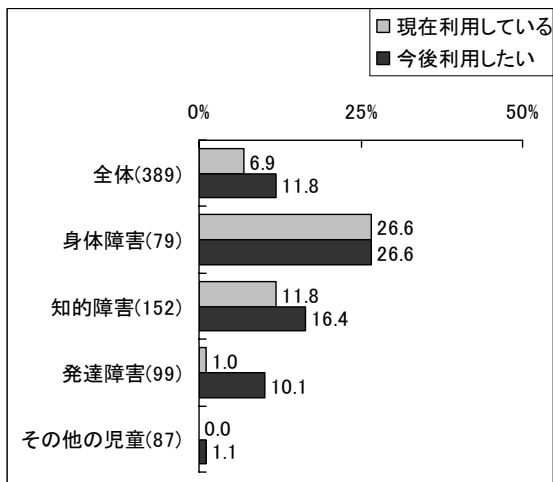
B 児童期～成人期を通じて利用できるサービス

(2) 自宅での生活を支援するサービス

「現在利用している」は「居宅介護」が6.9%、「重度障害者等包括支援」が0.5%となっています。「今後利用したい」は「居宅介護」が11.8%、「重度障害者等包括支援」が7.5%となっています。

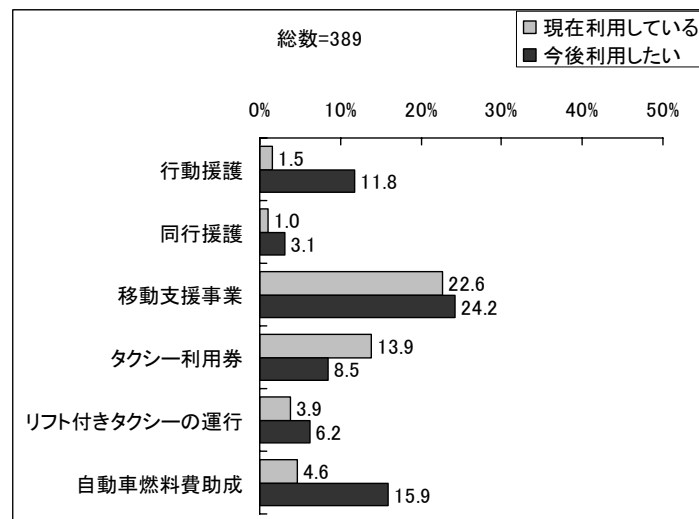


○居宅介護

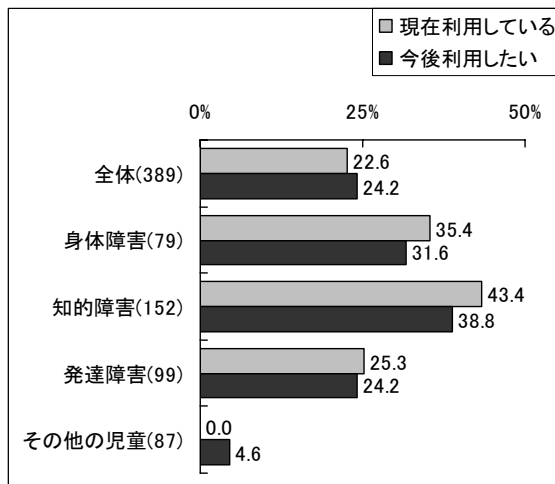


(3) 外出を支援するサービス

「現在利用している」が最も多いのは「移動支援事業」で22.6%となっています。「今後利用したい」も「移動支援事業」が24.2%で最も多くなっています。

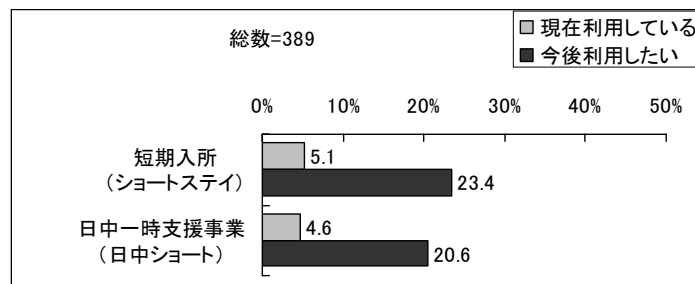


○移動支援事業

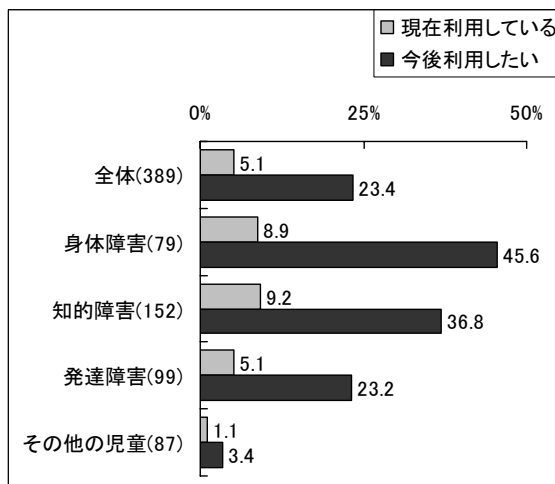


(4) 一時的な支援を行うサービス

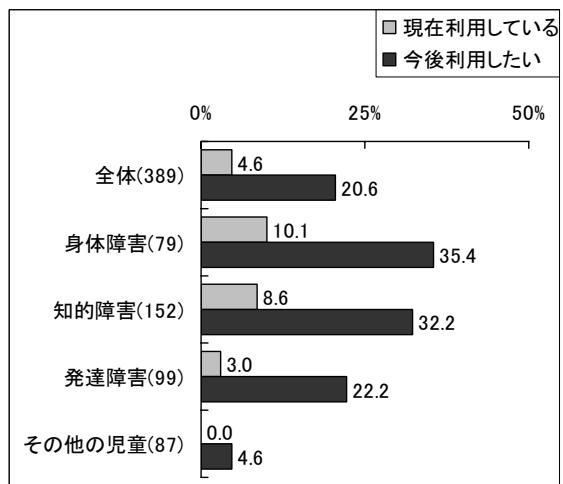
「現在利用している」は「短期入所（ショートステイ）」が 5.1%、「日中一時支援事業（日中ショート）」が 4.6%となっています。「今後利用したい」は「短期入所（ショートステイ）」が 23.4%、「日中一時支援事業（日中ショート）」が 20.6%となっています。



○短期入所

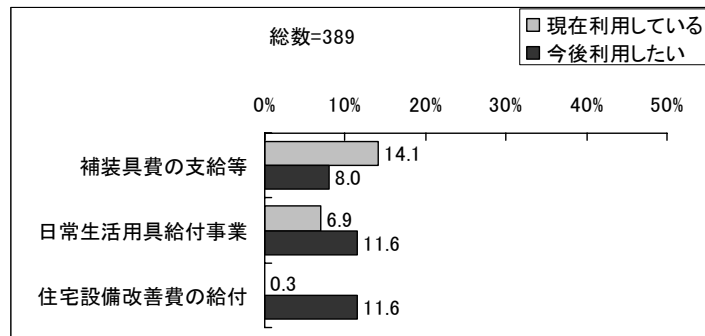


○日中一時支援事業



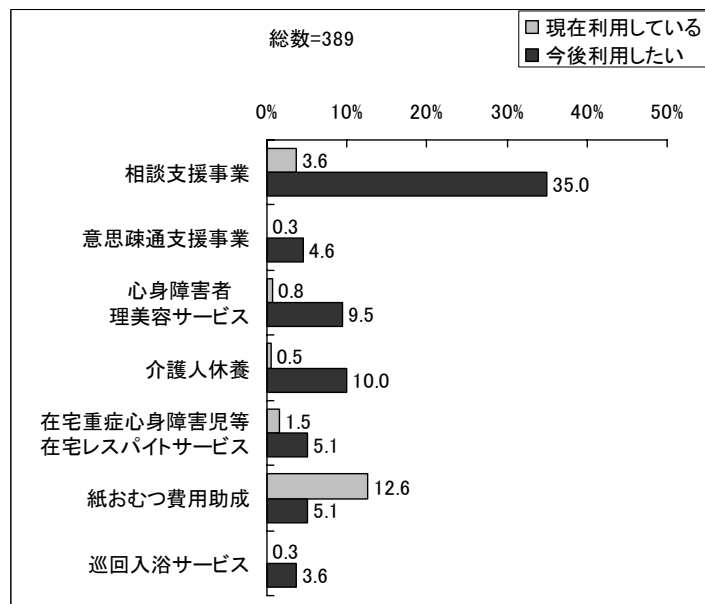
(5) 補装具費・日常生活用具・住宅設備改善

「現在利用している」が最も多いのは「補装具費の支給等」で14.1%となっています。
 「今後利用したい」は「日常生活用具給付事業」と「住宅設備改善日の給付」が11.6%となっています。

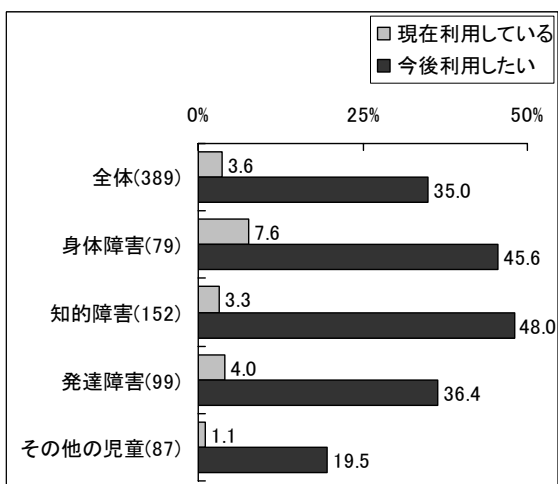


(6) 日常生活のサービス

「現在利用している」が最も多いのは「紙おむつ費用助成」で12.6%となっています。
 「今後利用したい」は「相談支援事業」が35.0%と特に多くなっています。

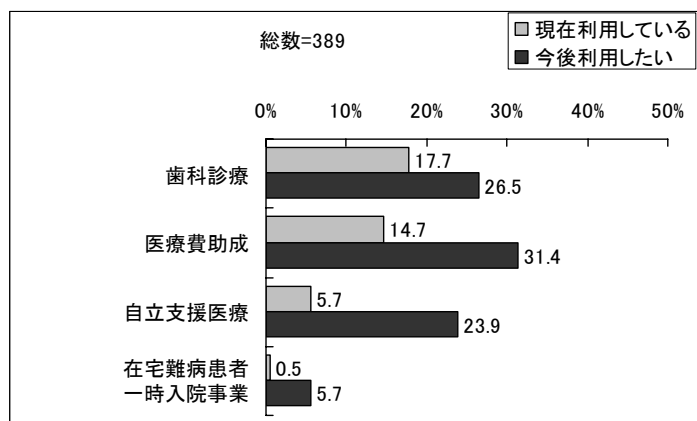


○相談支援事業



(7) 医療に関する支援

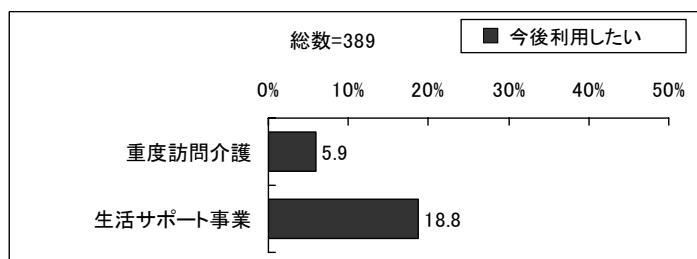
「現在利用している」が最も多いのは「歯科診療」で 17.7%となっています。「今後利用したい」は「医療費助成」が 31.4%となっています。



C 主に 18 歳以上の方が利用するサービス

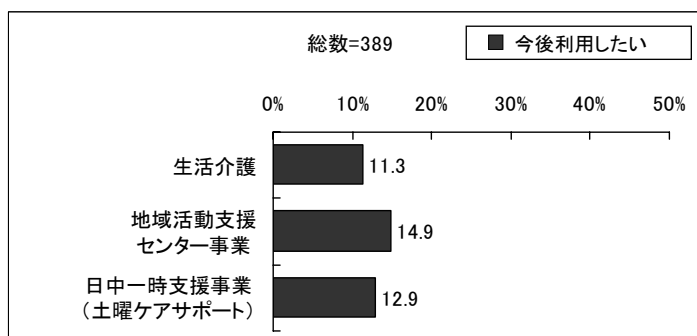
(8) 自宅での生活を支援するサービス

「今後利用したい」は「生活サポート事業」が 18.8%、「重度訪問介護」が 5.9%となっています。



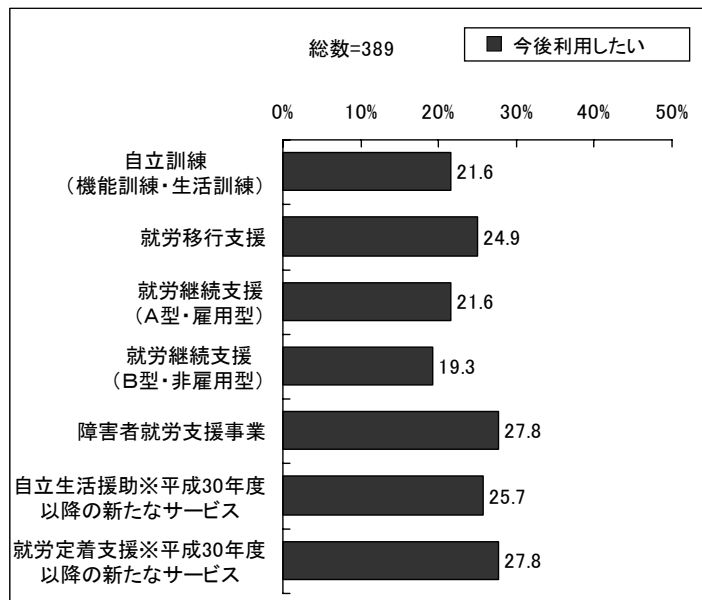
(9) 昼間の活動を支援するサービス

「今後利用したい」は「地域活動支援センター事業」が 14.9%、「日中一時支援事業 (土曜ケアサポート)」が 12.9%、生活介護が 11.3%となっています。



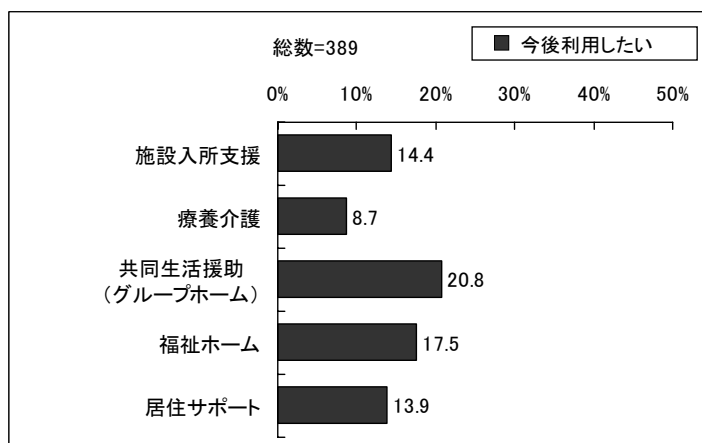
(10) 自立や就労を支援するサービス

「今後利用したい」は「就労定着支援（※平成30年度以降の新たなサービス）」と「障害者就労支援事業」が27.8%と最も多く、次いで「自立生活援助（※平成30年度以降の新たなサービス）」が25.7%、就労移行支援が24.9%などとなっています。



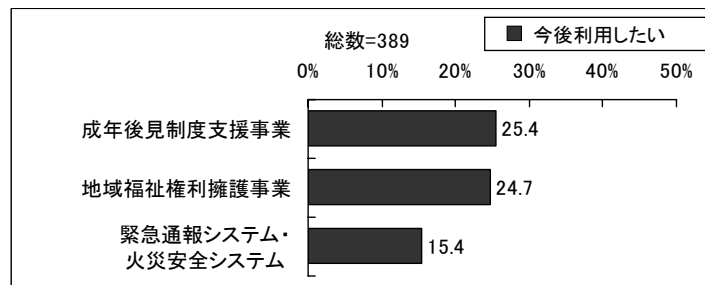
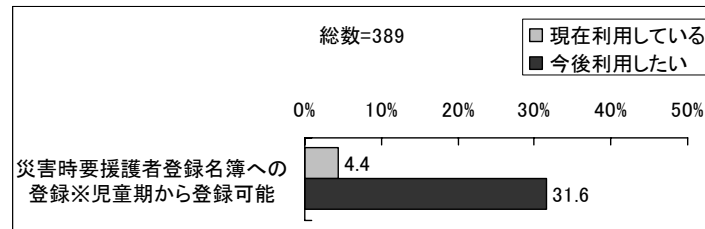
(11) 住まいの場・住まいに関するサービス

「今後利用したい」は「共同生活援助（グループホーム）」が20.8%と最も多く、次いで「福祉ホーム」が17.5%、「施設入所支援」が14.4%などとなっています。



(12) 災害や将来への備え

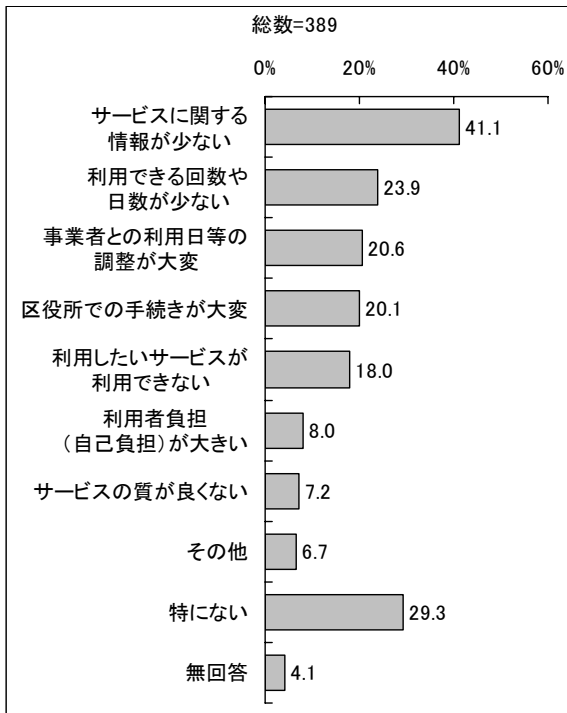
「災害時要援護者登録名簿への登録」では、「現在利用している」が4.4%に対し、「今後利用したい」が31.6%となっています。「成年後見制度支援事業」を「今後利用したい」と回答した人は25.4%、「地域福祉権利擁護事業」は24.7%、「緊急通報システム・火災安全システム」は15.4%となっています。



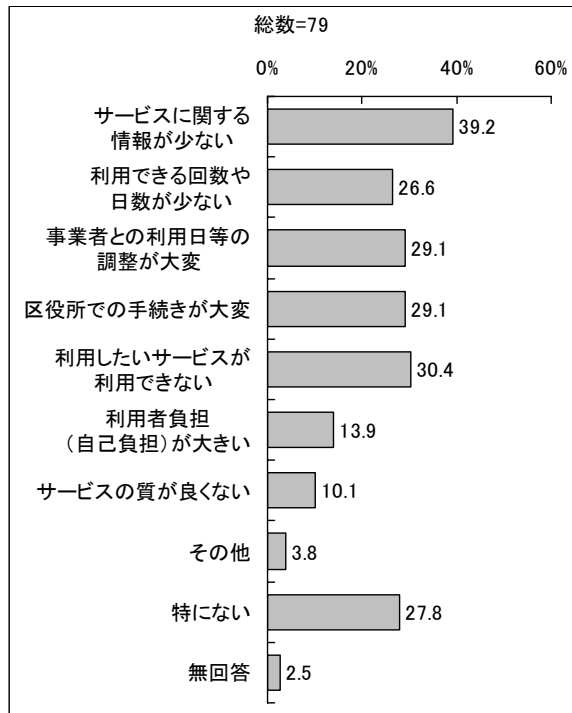
問 37 お子さん（あなた）には、サービス利用に関して困っていることがありますか。（〇はいくつでも）

全体では「サービスに関する情報が少ない」が41.1%と最も多く、次いで「利用できる回数や日数が少ない」が23.9%、「事業者との利用日等の調整が大変」が20.6%などとなっています。障害別に見ると、身体障害では「利用したいサービスが利用できない」、知的障害、発達障害では「サービスに関する情報が少ない」が多くなっています。

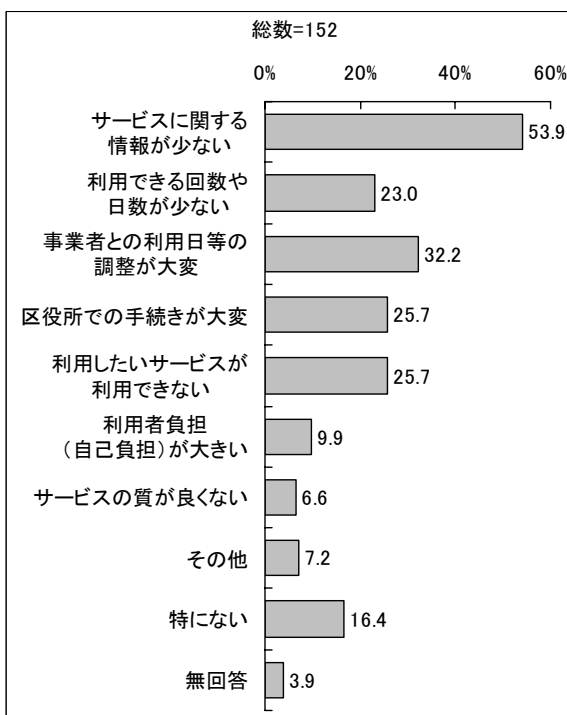
■全体



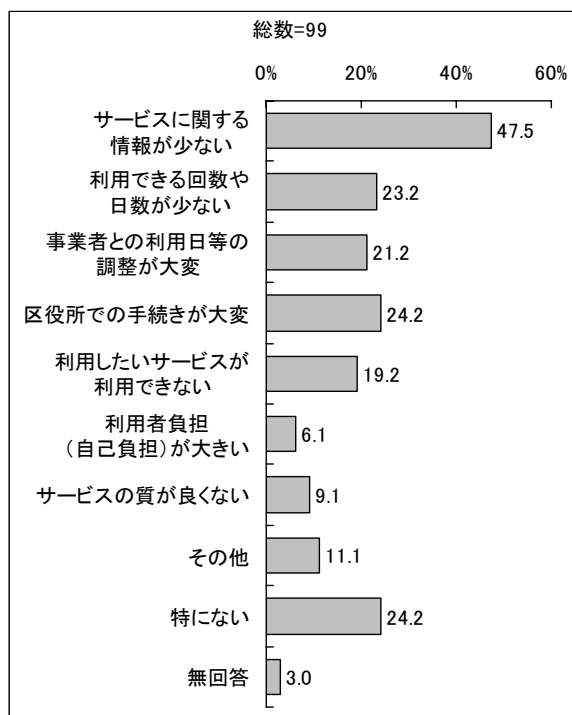
■身体障害



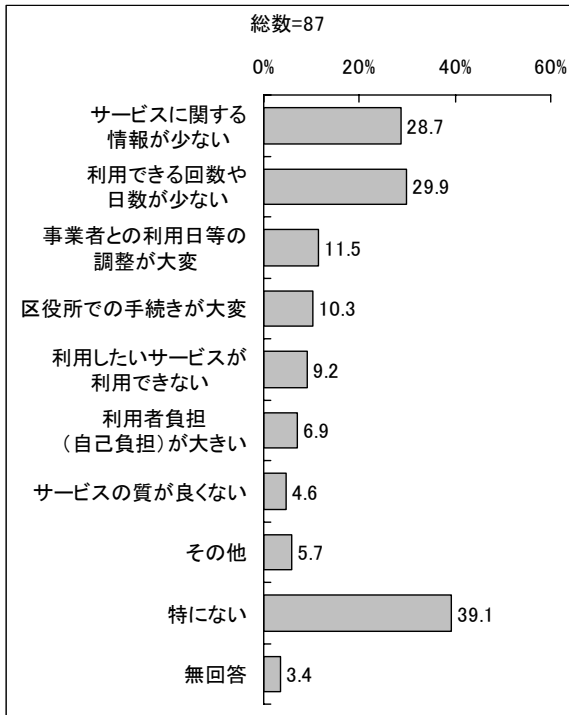
■知的障害



■発達障害



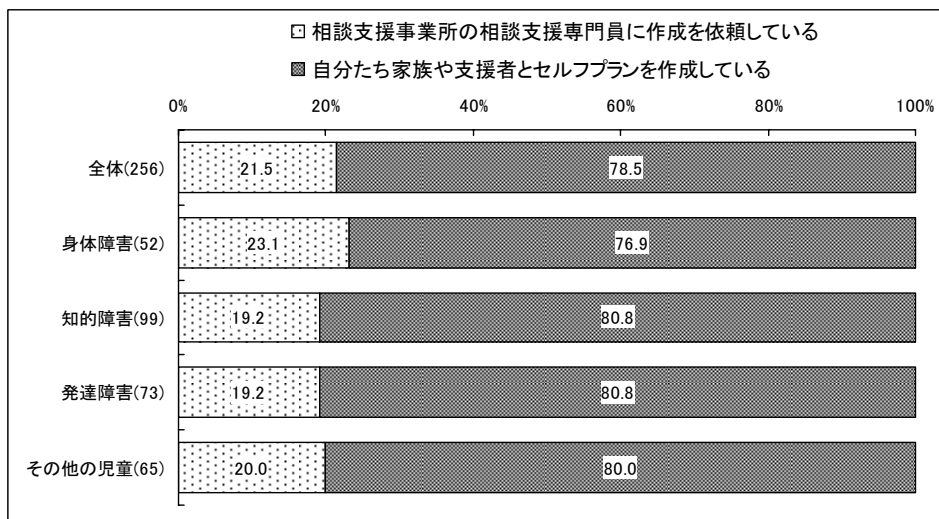
■手帳・診断なし



問 38 障害福祉サービス・児童福祉法に基づくサービスを利用している方にお聞きします。

サービス等利用計画・障害児支援利用計画の作成について、現状を教えてください。(○はひとつ)

全体では「自分たち家族や支援者とセルフプランを作成している」が 78.5%に対し、「相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している」が 21.5%となっています。障害別に見ると、知的障害、発達障害では「自分たち家族や支援者とセルフプランを作成している」がやや多くなっています。



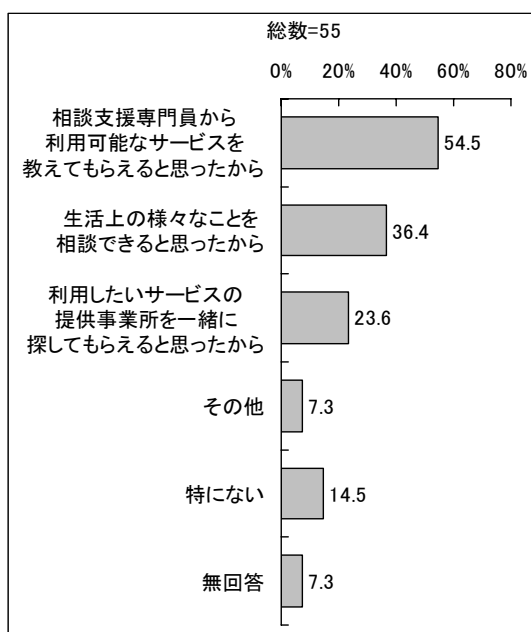
※無回答を除く

問 39 問 38 で「1 相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している」と回答した方にお聞きします。

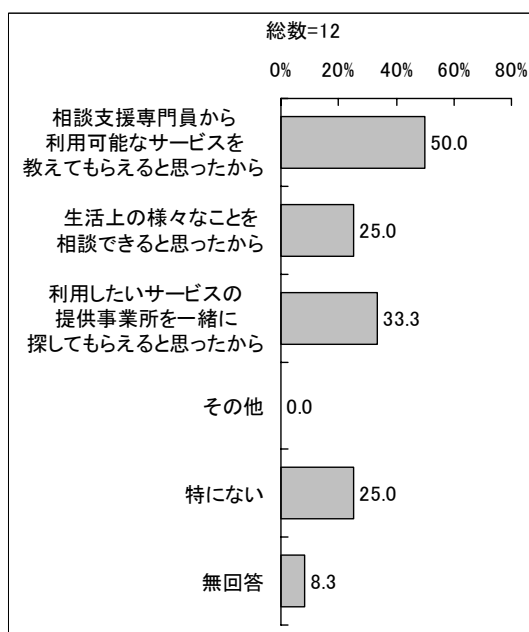
サービス等利用計画・障害児支援利用計画を作成しようとした理由は何ですか（○はいくつでも）

全体では「相談支援専門員から利用可能なサービスを教えてもらえると思ったから」が 54.5%と最も多く、次いで「生活上の様々なことを相談できると思ったから」が 36.4%、「利用したいサービスの提供事業所と一緒に探してもらえと思ったから」が 23.6%となっています。

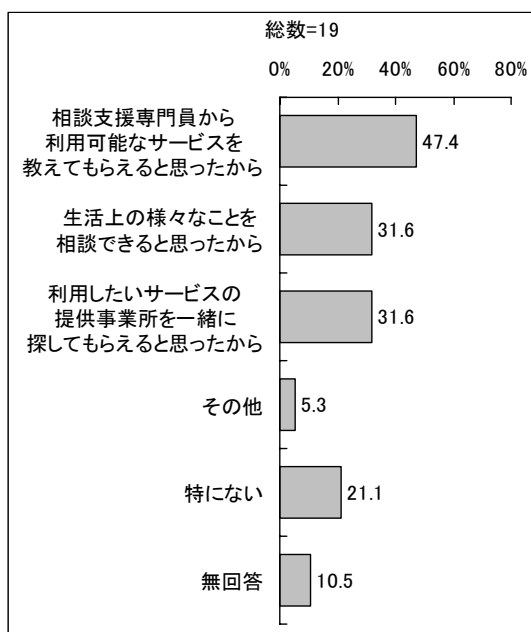
■全体



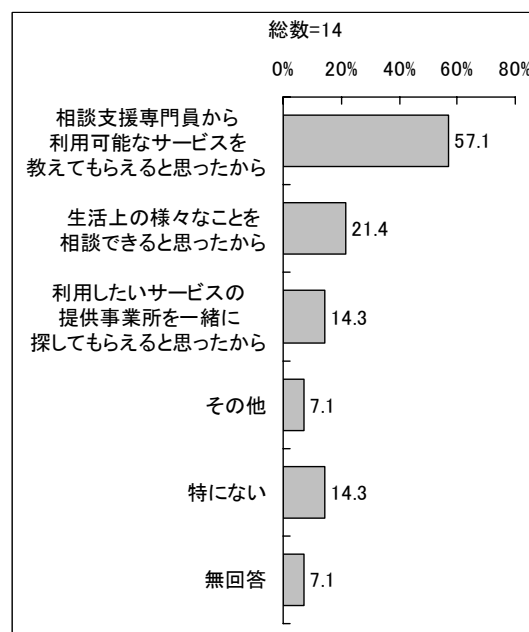
■身体障害



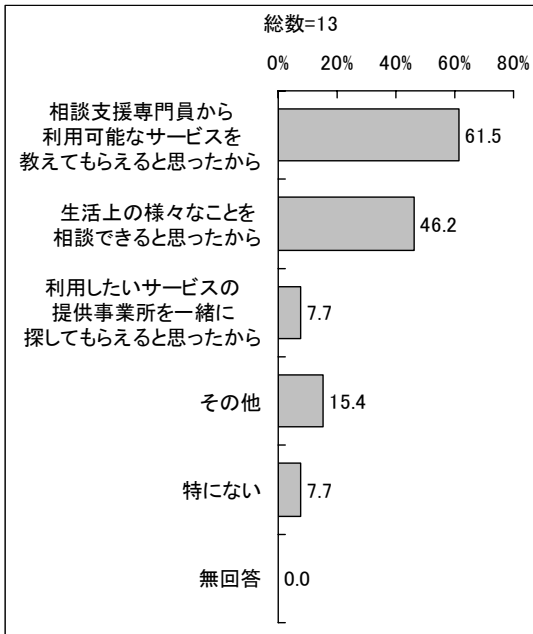
■知的障害



■発達障害



■手帳・診断なし

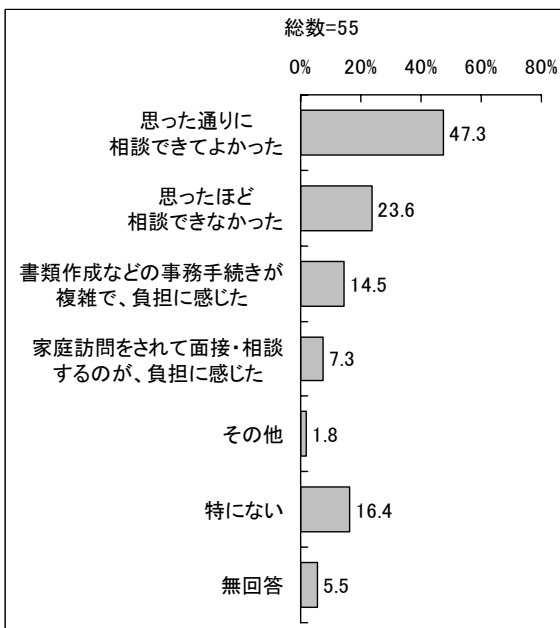


問 40 問 38 で「1 相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している」と回答した方にお聞きします。

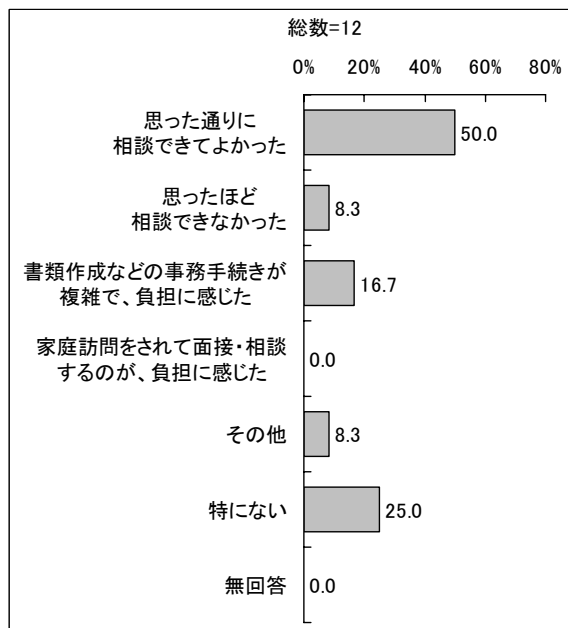
サービス等利用計画・障害児支援利用計画を作成してみて実際はいかがでしたか（○はいくつでも）

全体では「思った通りに相談できてよかった」が 47.3%と最も多く、次いで「思ったほど相談できなかった」が 23.6%、「書類作成などの事務手続きが複雑で、負担に感じた」が 14.5%などとなっています。

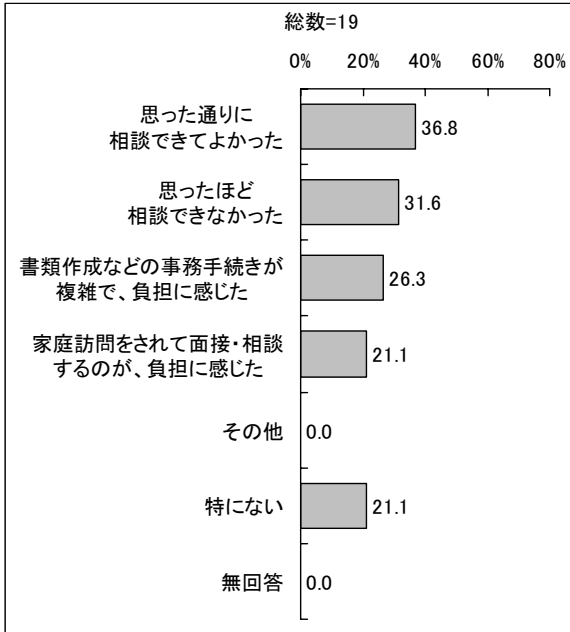
■全体



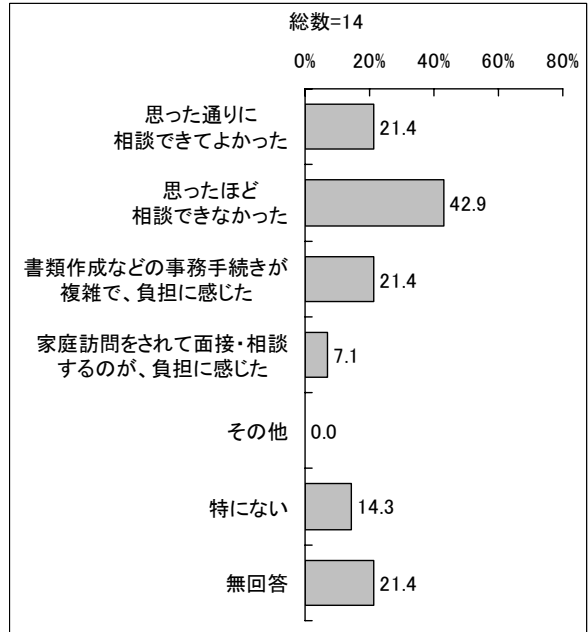
■身体障害



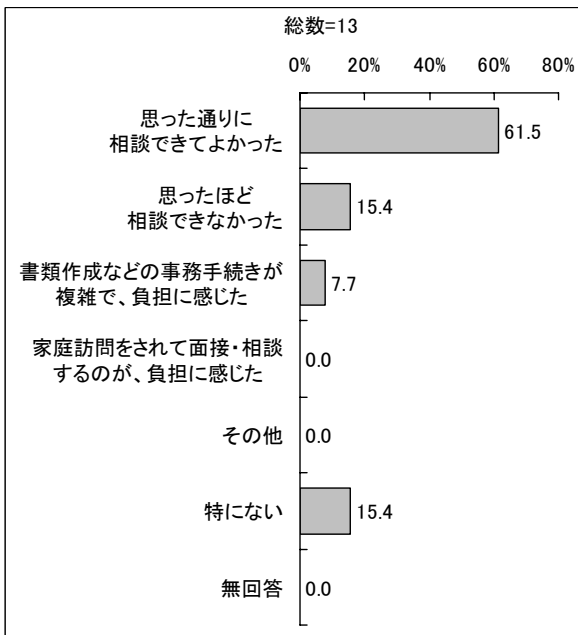
知的障害



発達障害



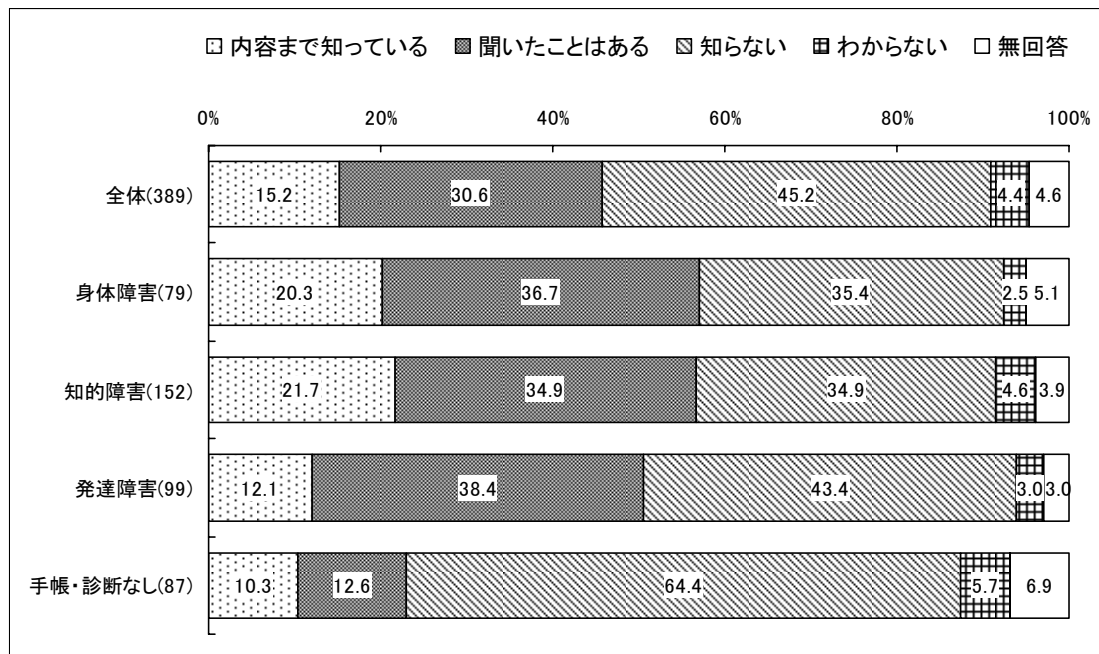
手帳・診断なし



7 権利擁護について

問 41 障害者差別解消法が平成 28 年 4 月 1 日に施行（運用開始）されたことを知っていますか。（○はひとつ）

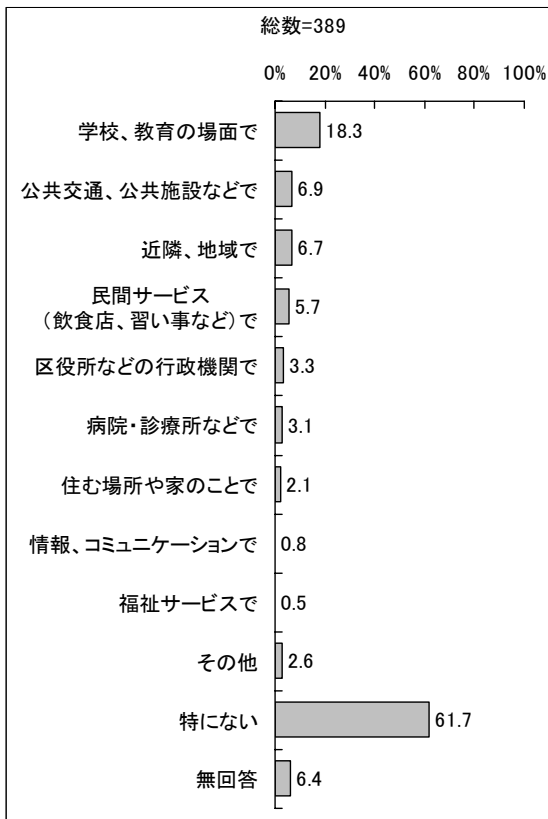
全体では「内容まで知っている」が 15.2%、「聞いたことはある」が 30.6%、「知らない」が 45.2%、「わからない」が 4.4%、「無回答」が 4.6%となっています。



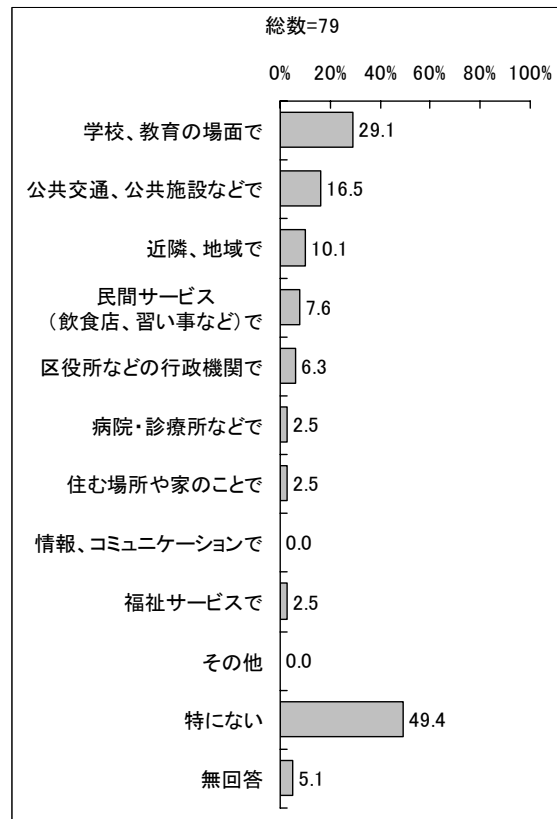
問 42 あなたのお子さんは最近3年間で、障害があることが原因で、差別と感
 じる取扱いを受けた経験がありますか。あてはまる場面の番号を【 】内に
 記入し、□内に具体的な内容をご記入ください。(3つまで)

全体では「学校、教育の場面で」が18.3%と最も多く、次いで「公共交通、公共施設
 などで」が6.9%、「近隣、地域で」が6.7%などとなっています。

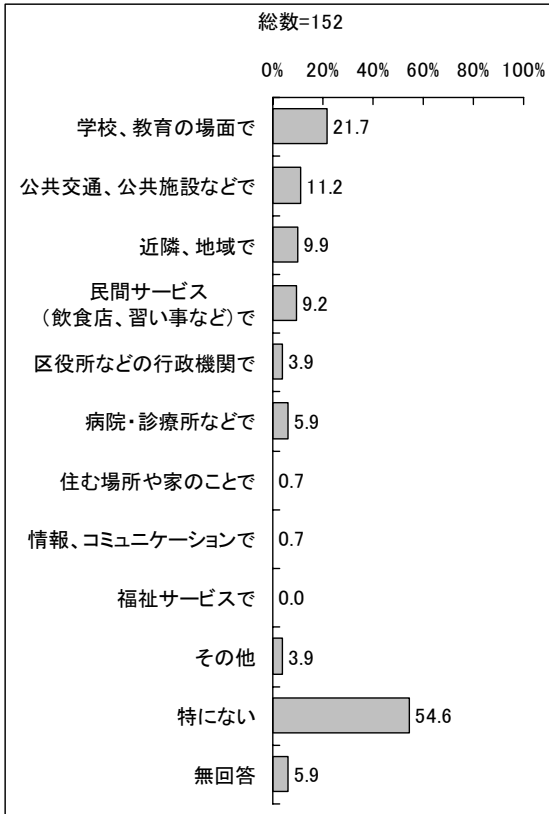
■全体



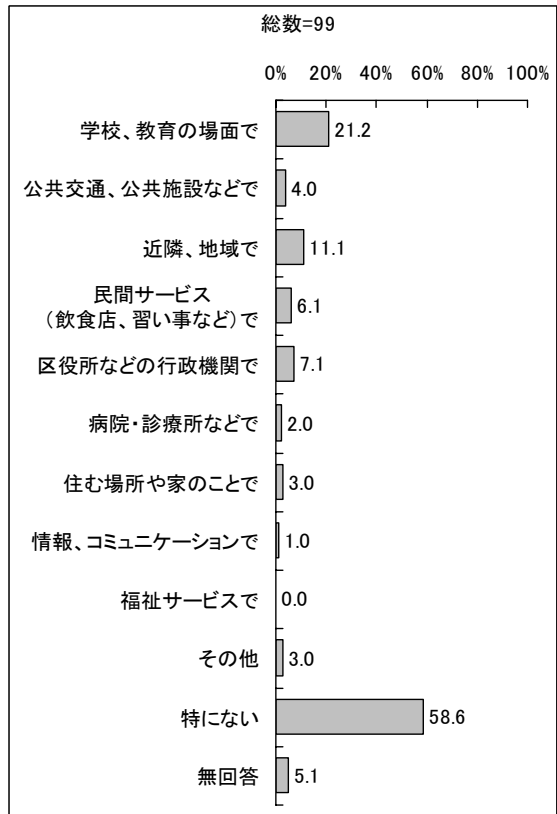
■身体障害



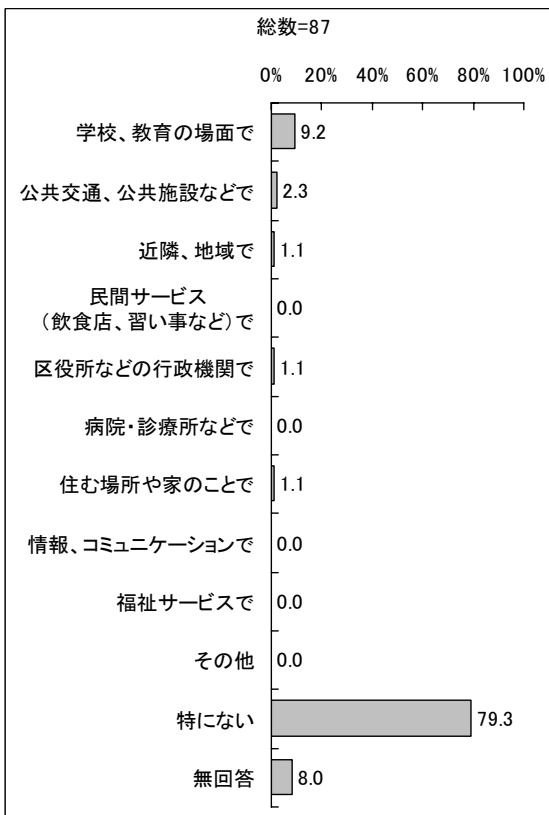
知的障害



発達障害



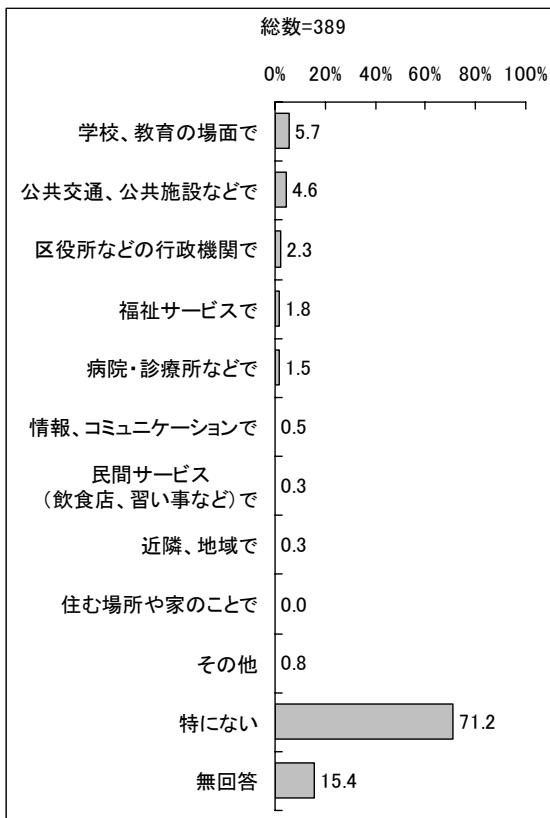
手帳・診断なし



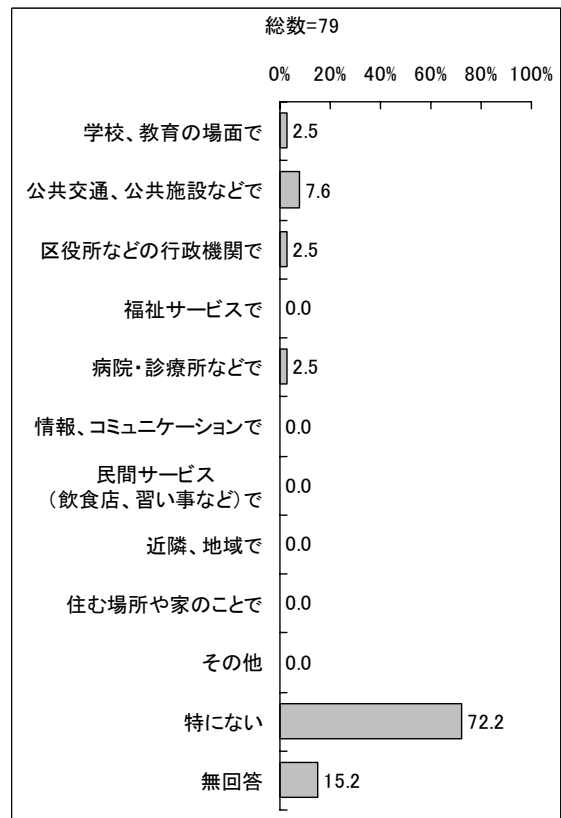
問43 平成28年4月の障害者差別解消法の施行と関連して障害者への配慮として良いと思ったこと、配慮があつて助かったこと、改善されたと感じたことはありますか。あてはまる場面の番号を【 】内に記入し、□内に具体的な内容をご記入ください。(3つまで)

全体では「学校、教育の場面で」が5.7%と最も多く、次いで「公共交通、公共施設などで」が4.6%、「区役所などの行政機関で」が2.3%などとなっています。

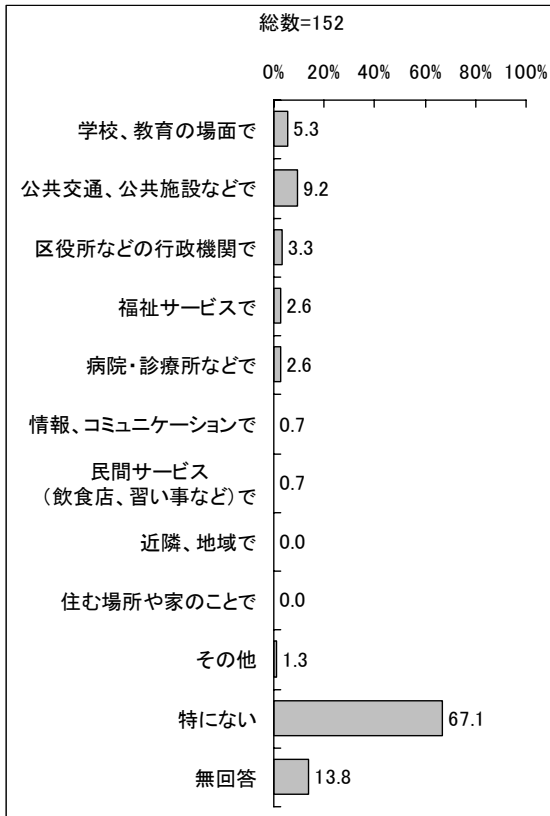
■全体



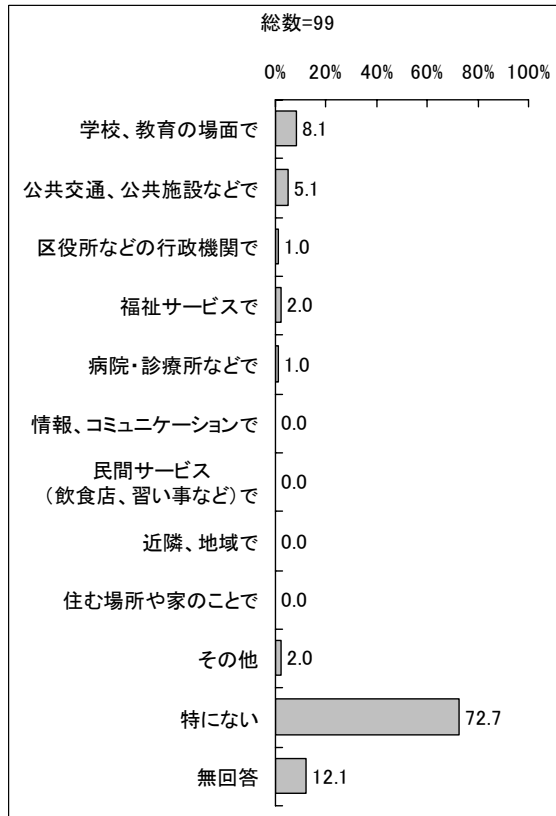
■身体障害



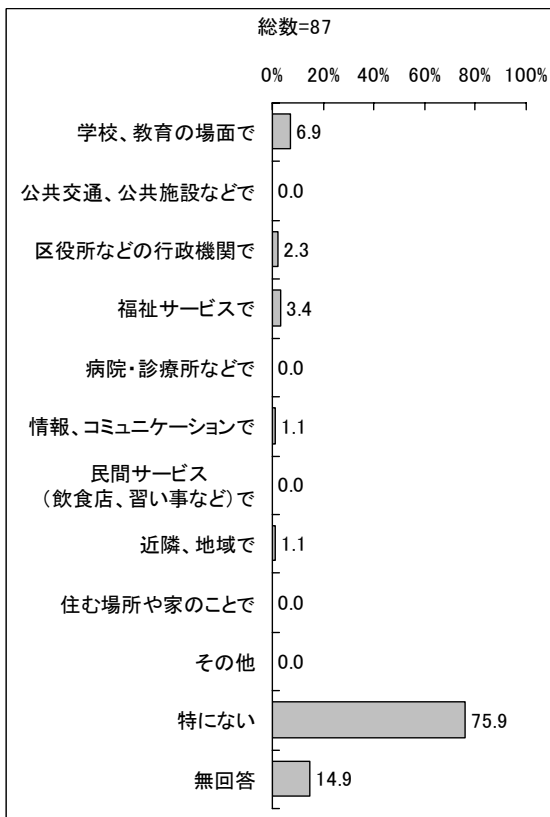
知的障害



発達障害



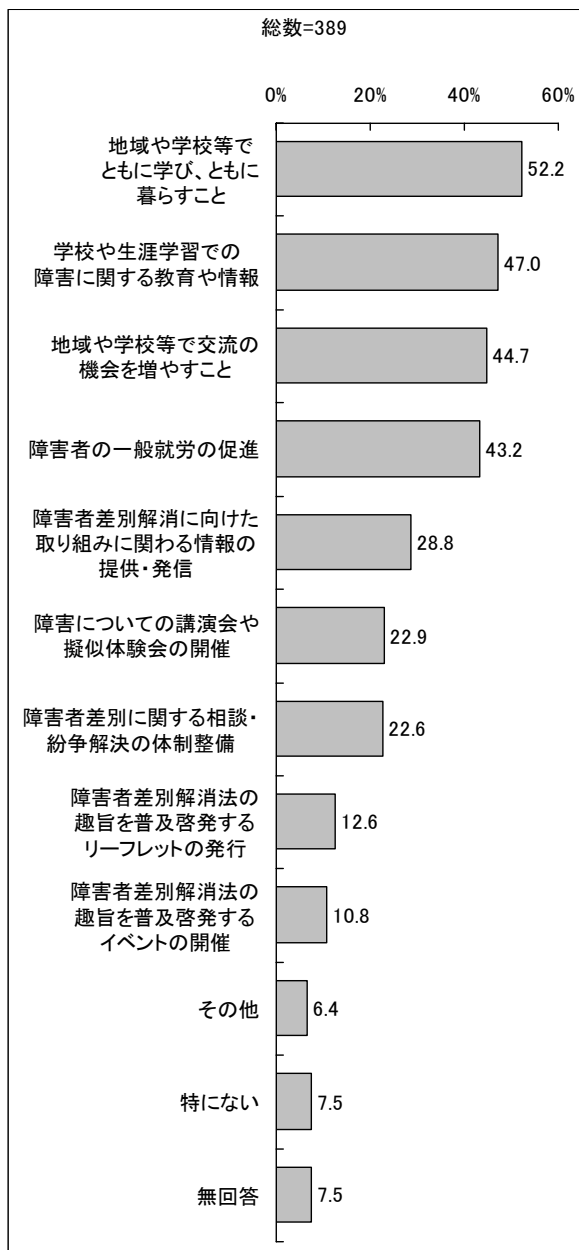
手帳・診断なし



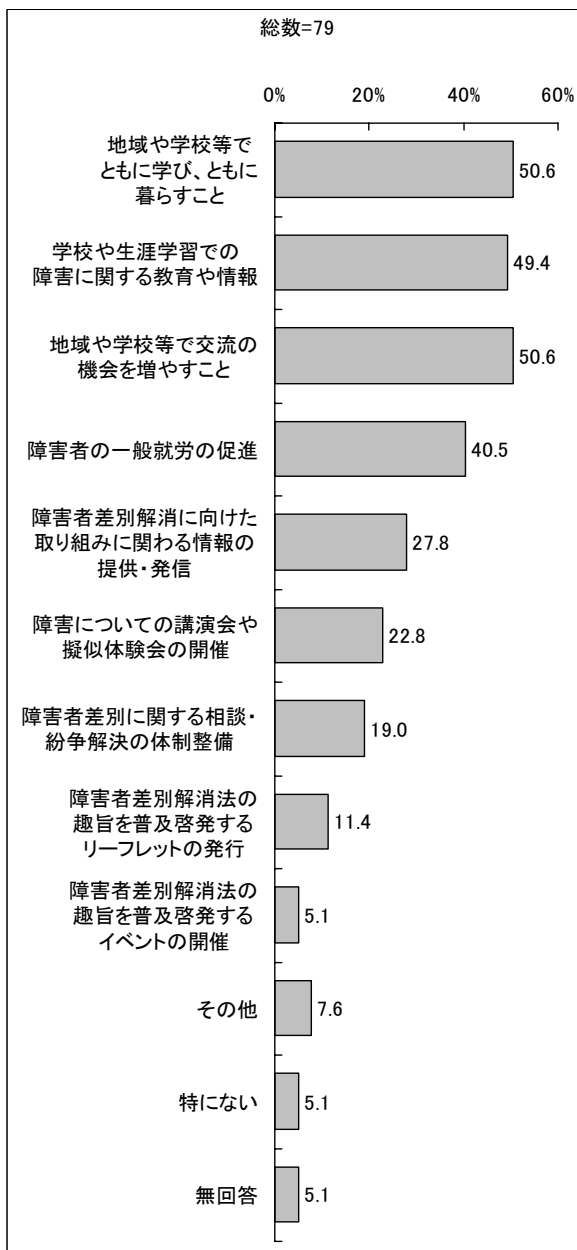
問 44 障害者差別の解消を推進するために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では「地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと」が52.2%と最も多く、次いで「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報」が47.0%、「地域や学校等で交流の機会を増やすこと」が44.7%などとなっています。障害別に見ると、身体障害では「地域や学校等で交流の機会を増やすこと」、知的障害では「障害者の一般就労の促進」が比較的多くなっています。

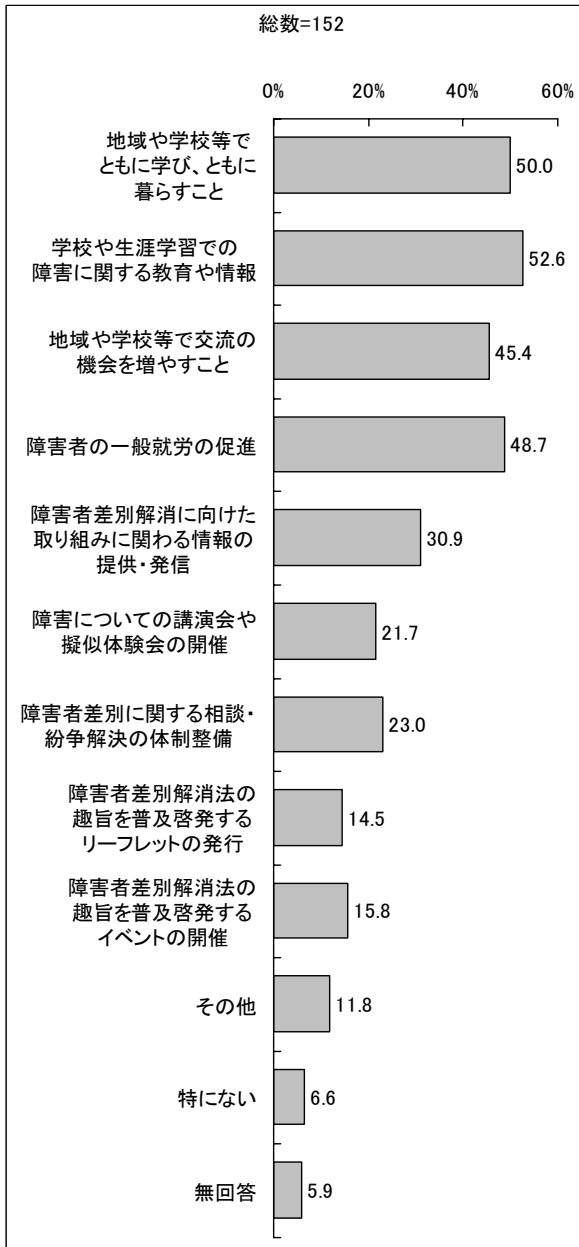
■全体



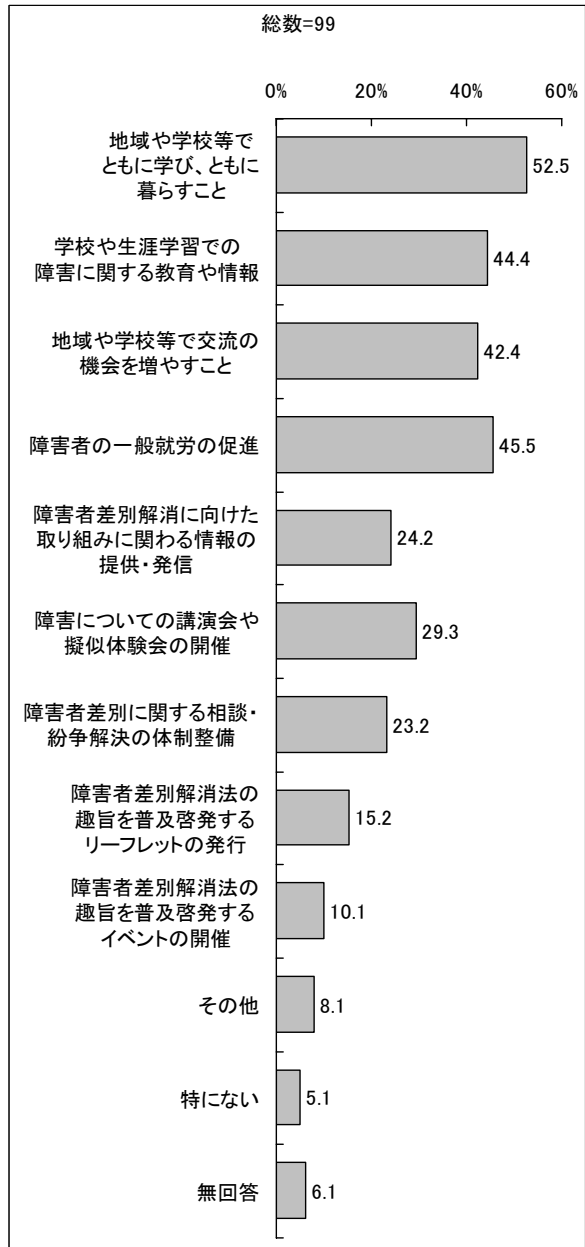
■身体障害



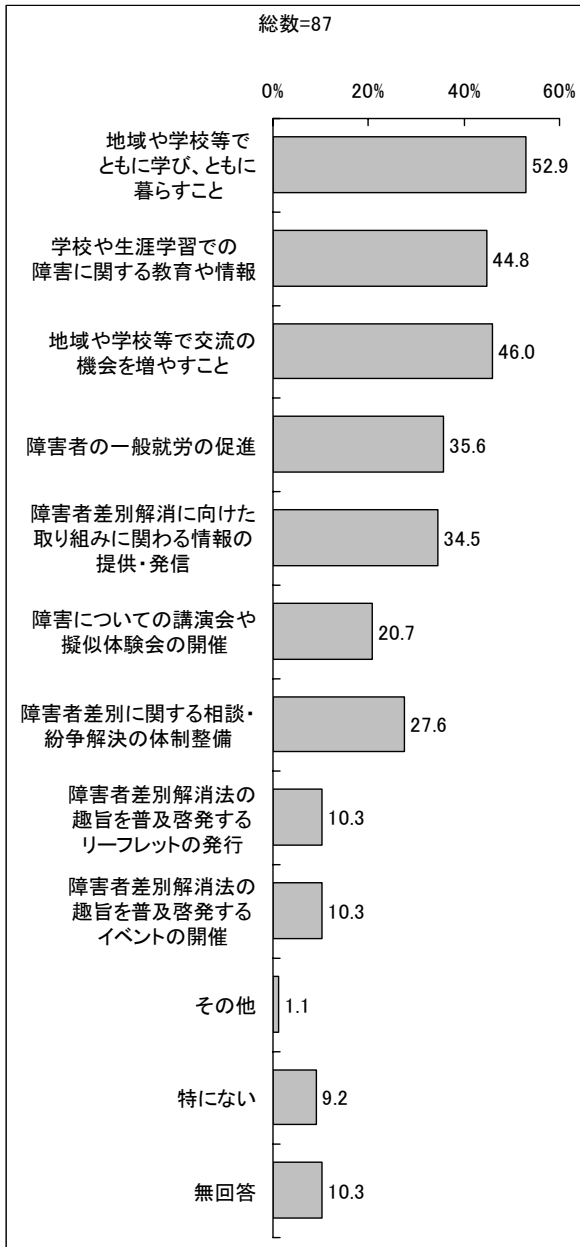
知的障害



発達障害



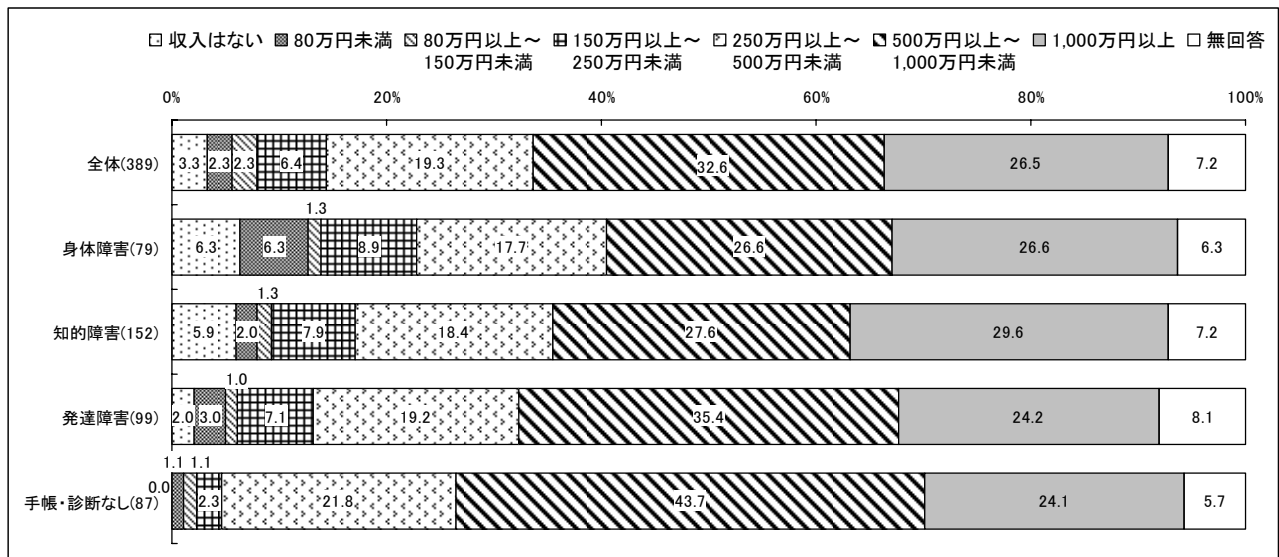
■手帳・診断なし



8 収入・利用者負担について

問 45 あなたの世帯の年収額をお聞きします。税金等を差し引く前の額でお答えください。(〇はひとつ)

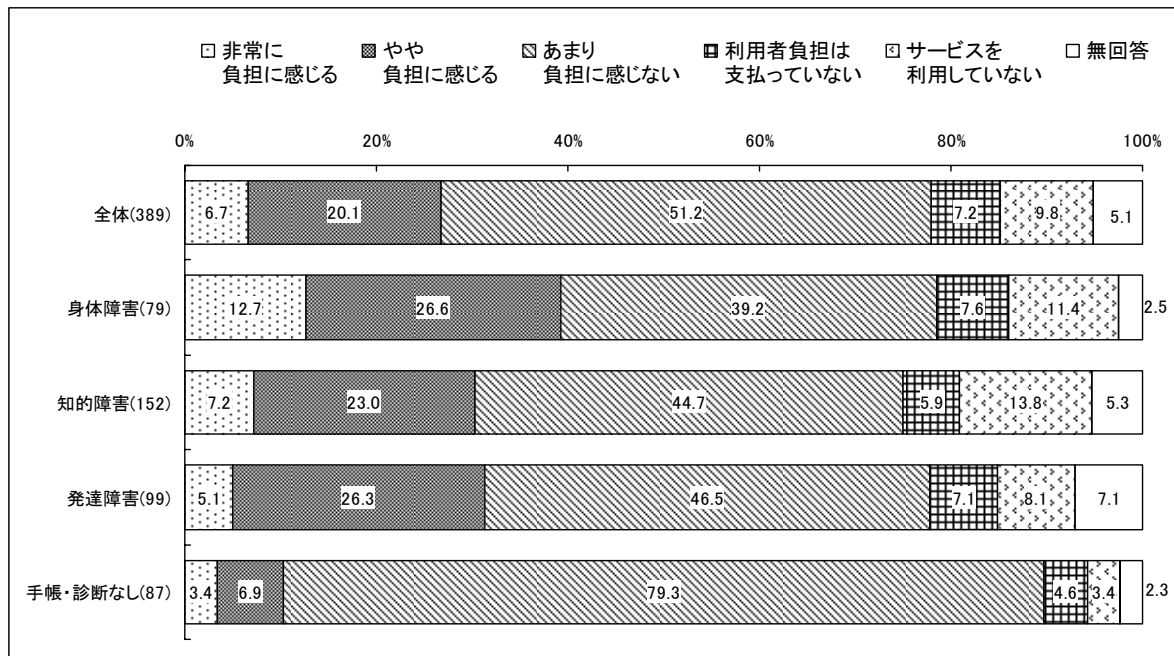
全体では「500万円以上～1,000万円未満」が32.6%と最も多く、次いで「1,000万円以上」が26.5%、「250万円以上～500万円未満」が19.3%などとなっています。



問 46 あなたは、利用者負担（自己負担）をどのように感じていますか。

(○はひとつ)

全体では「あまり負担に感じない」が51.2%と最も多く、次いで「やや負担に感じる」が20.1%、「サービスを利用していない」が9.8%などとなっています。



利用者負担（自己負担）と年齢

年代別の結果を見ると、「12～17歳」では、「やや負担に感じる」と「サービスを利用していない」がやや多くなっています。

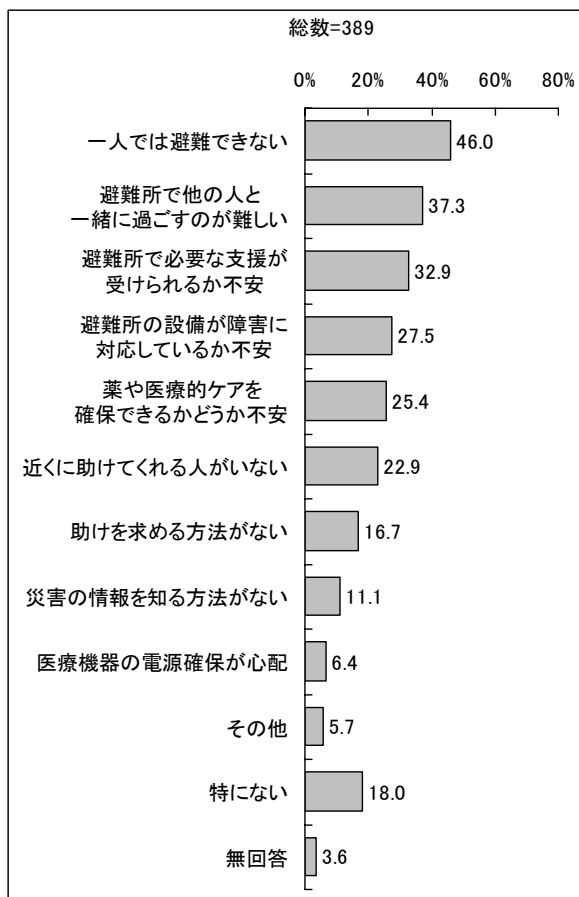
上段：件 下段：%	合計	非常に負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	利用者負担は支払っていない	サービスを利用していない	無回答
全体	389 100.0	26 6.7	78 20.1	199 51.2	28 7.2	38 9.8	20 5.1
0～2歳	17 100.0	2 11.8	2 11.8	10 58.8	0 0.0	1 5.9	2 11.8
3～5歳	117 100.0	6 5.1	20 17.1	79 67.5	9 7.7	1 0.9	2 1.7
6～11歳	140 100.0	12 8.6	28 20.0	66 47.1	11 7.9	13 9.3	10 7.1
12～17歳	112 100.0	6 5.4	28 25.0	41 36.6	8 7.1	23 20.5	6 5.4

9 災害対策について

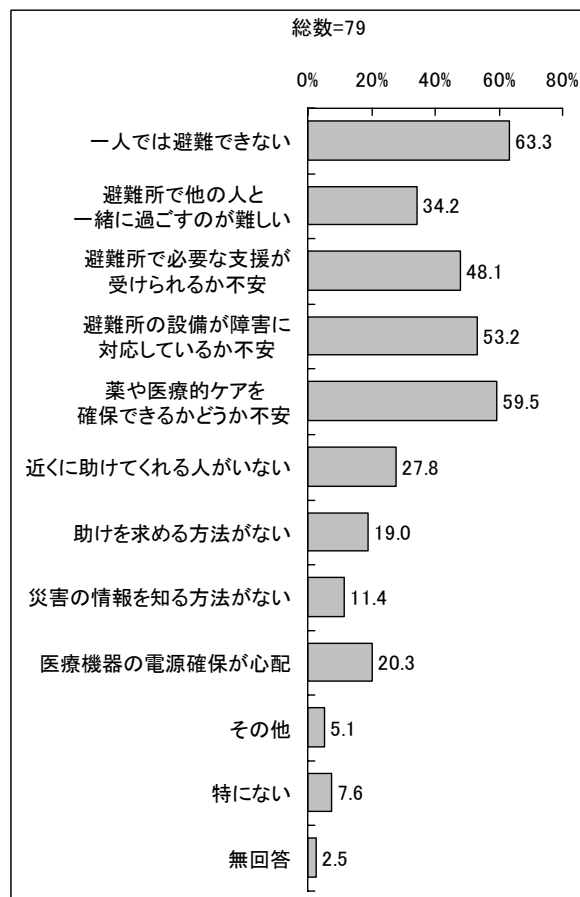
問 47 お子さんやご家族の方が、地震などの災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。(〇はいくつでも)

全体では「一人では避難できない」が46.0%と最も多く、次いで「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が37.3%、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が32.9%などとなっています。障害別に見ると、発達障害では「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」、身体障害では「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が特に多くなっています。

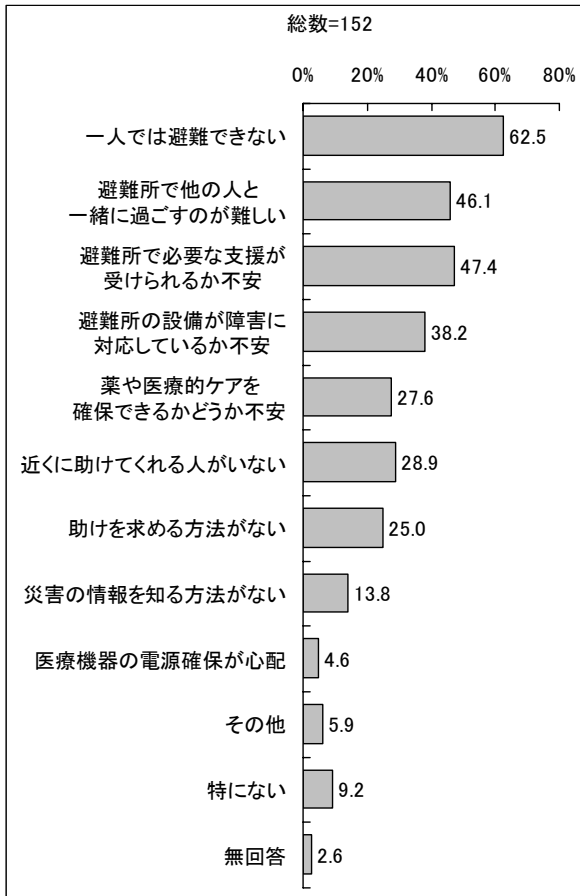
■全体



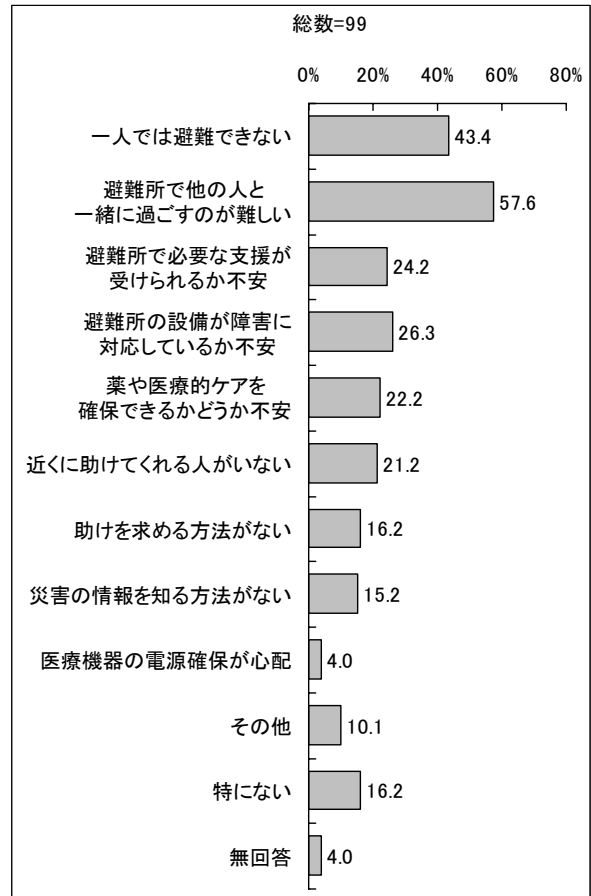
■身体障害



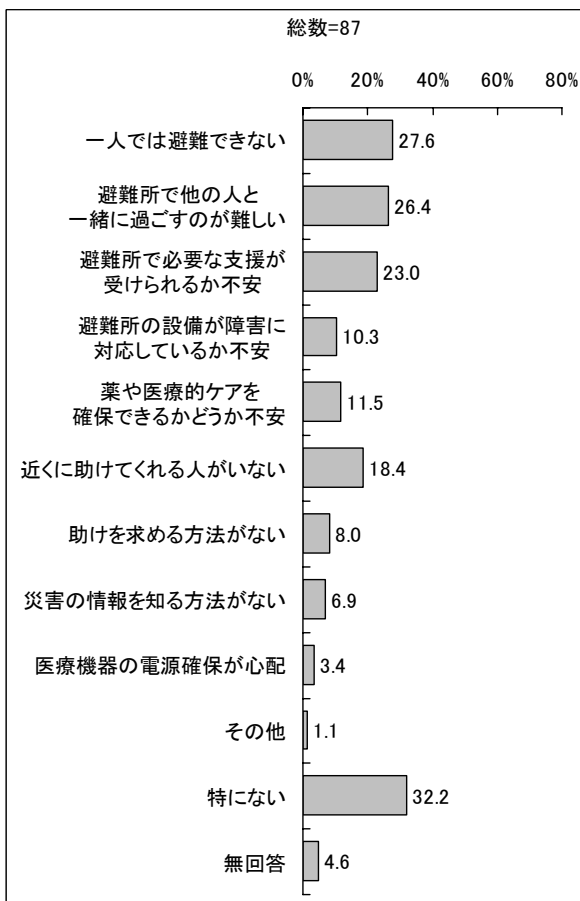
知的障害



発達障害



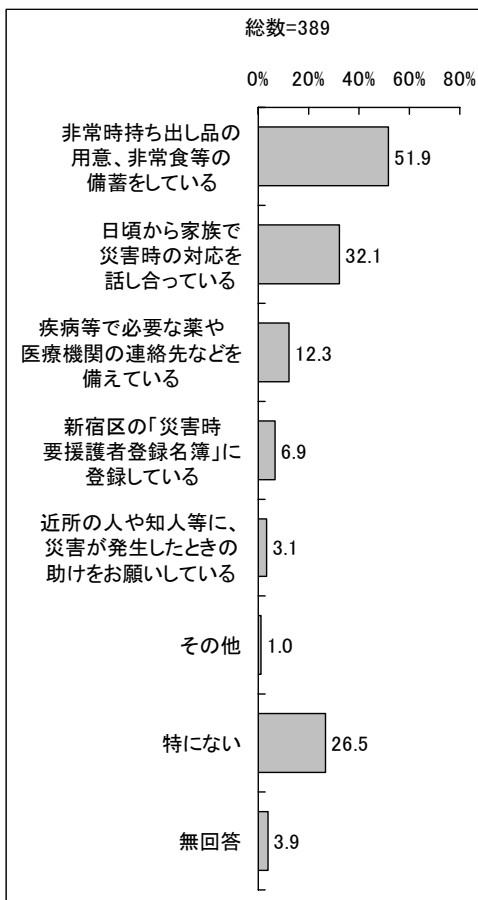
手帳・診断なし



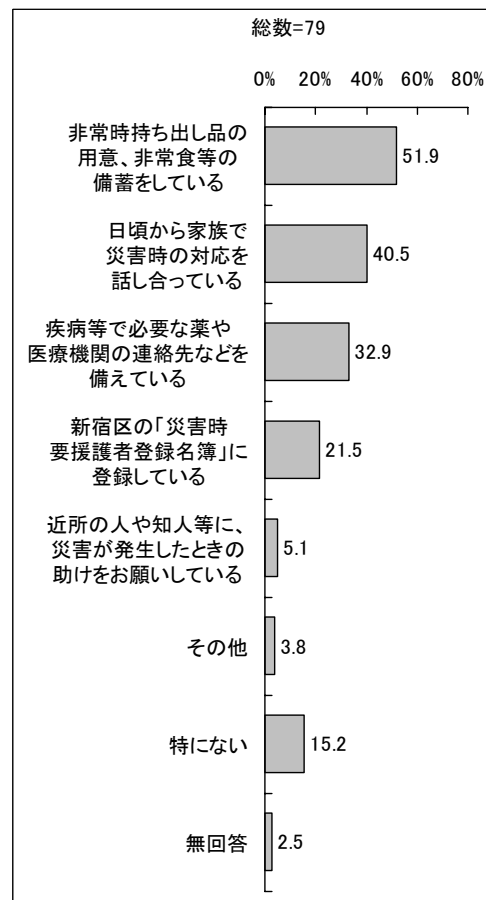
問 48 お子さんやご家族の方は、災害に対してどのような備えをしていますか。
(〇はいくつでも)

全体では「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている」が 51.9%と最も多く、次いで「日頃から家族で災害時の対応を話し合っている」が 32.1%、「疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている」が 12.3%などとなっています。障害別で見ると、身体障害では「疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている」と「新宿区の『災害時要援護者登録名簿』に登録している」が特に多くなっています。

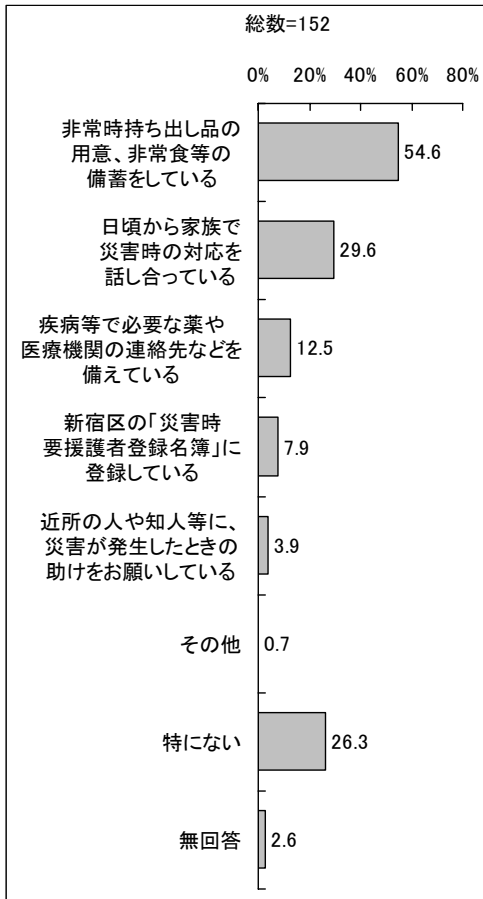
■全体



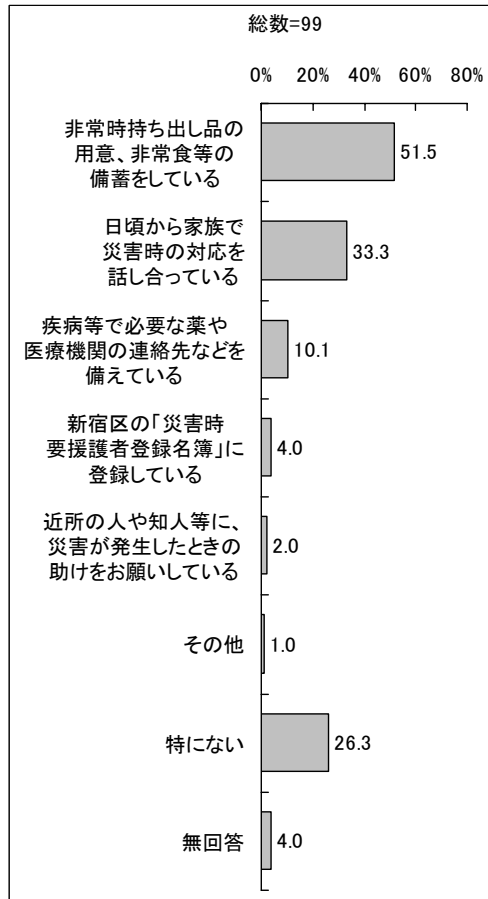
■身体障害



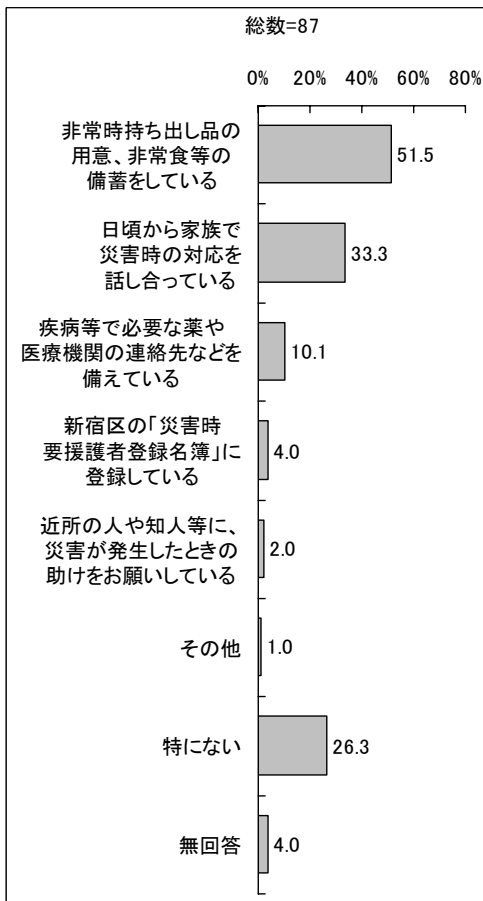
知的障害



発達障害



手帳・診断なし

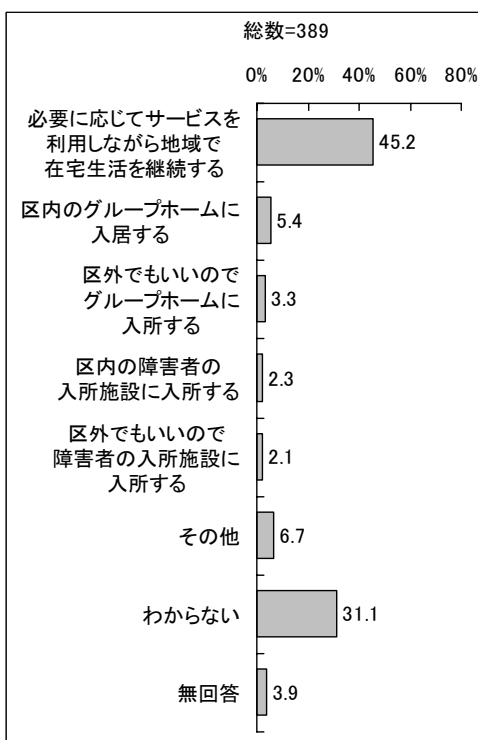


10 将来について

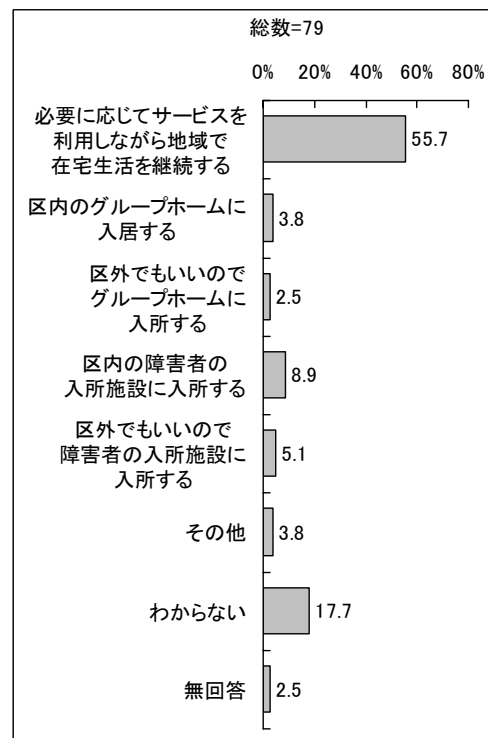
問 49 お子さんは将来、どのような生活を希望していますか。(〇はひとつ)

全体では「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が45.2%と最も多く、次いで「区内のグループホームに入居する」が5.4%「区外でもいいのでグループホームに入所する」が3.3%などとなっています。障害別に見ると、身体障害では「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」、知的障害では「区内のグループホームに入居する」が比較的多くなっています。

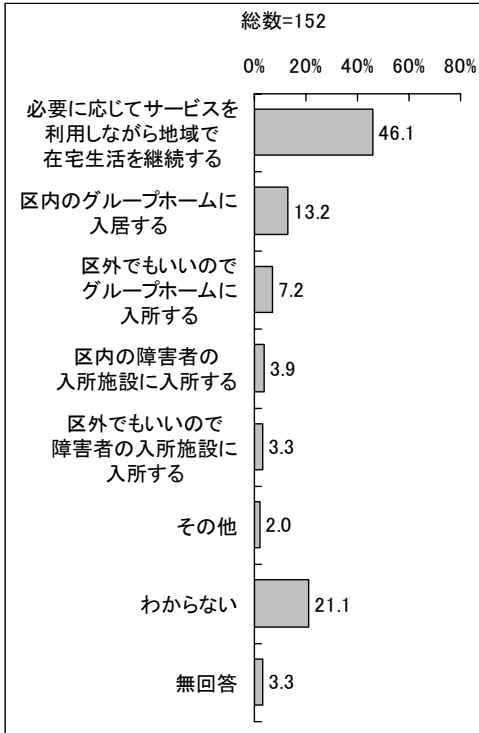
■全体



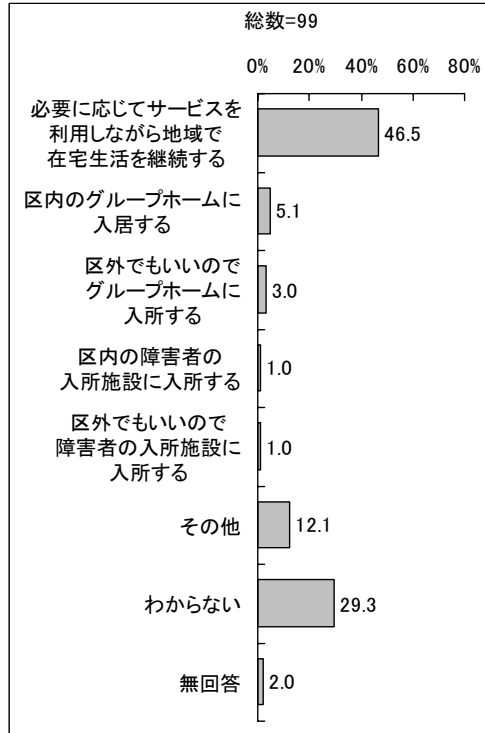
■身体障害



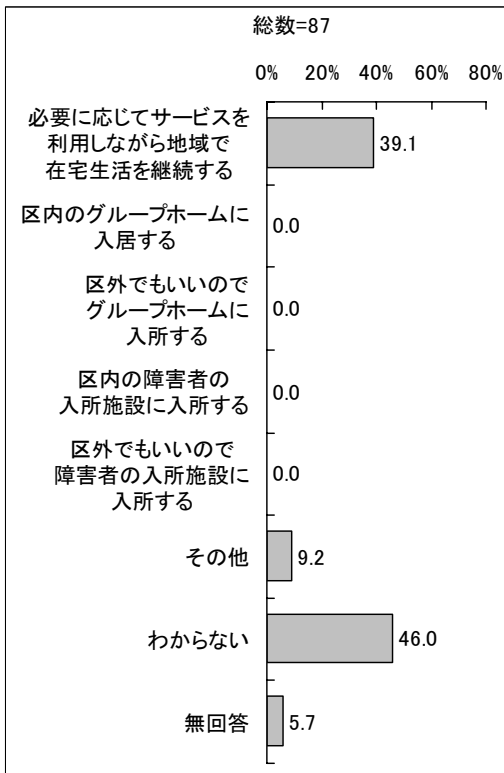
知的障害



発達障害



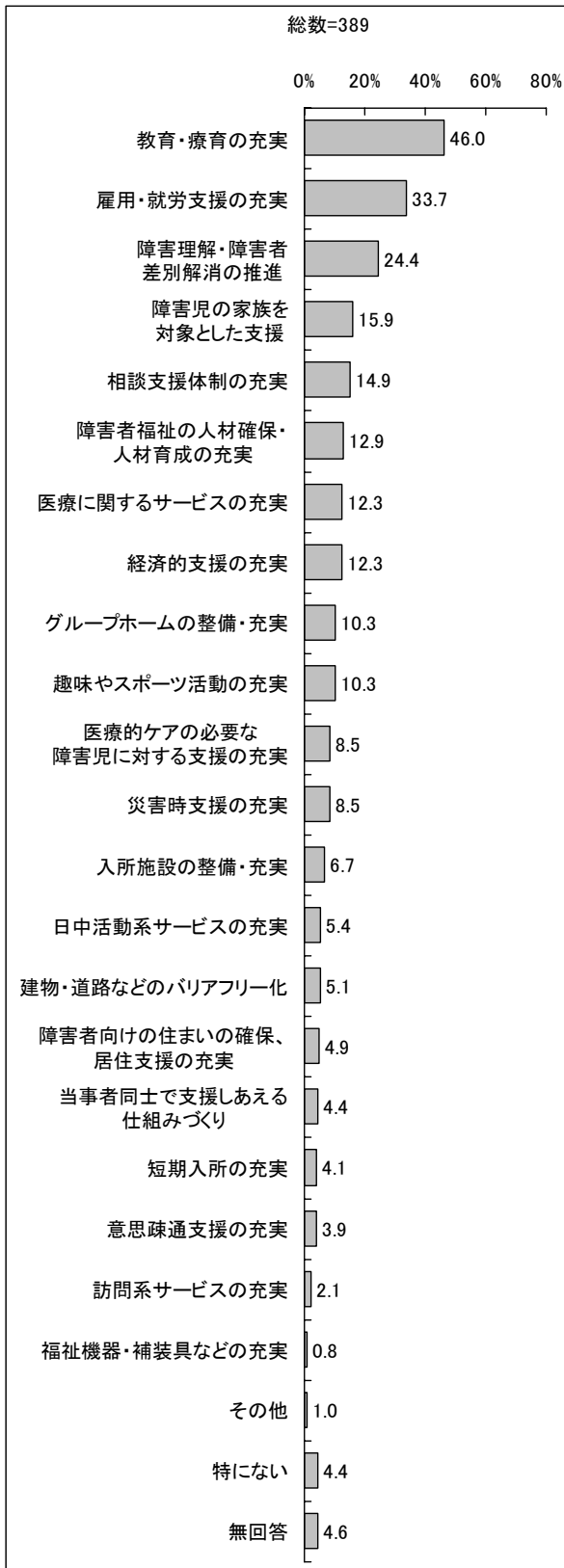
手帳・診断なし



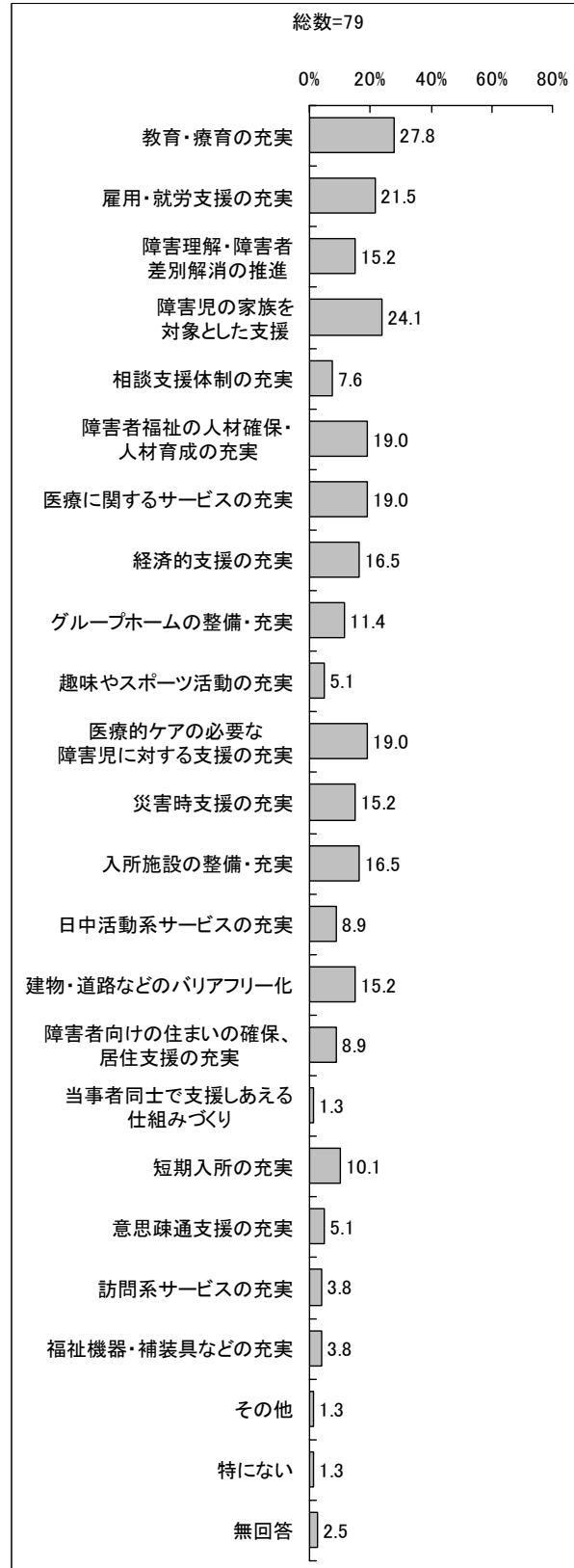
問 50 お子さんが地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。(〇は3つまで)

全体では「教育・療育の充実」が46.0%と最も多く、次いで「雇用・就労支援の充実」が33.7%、「障害理解・障害者差別解消の推進」が24.4%などとなっています。

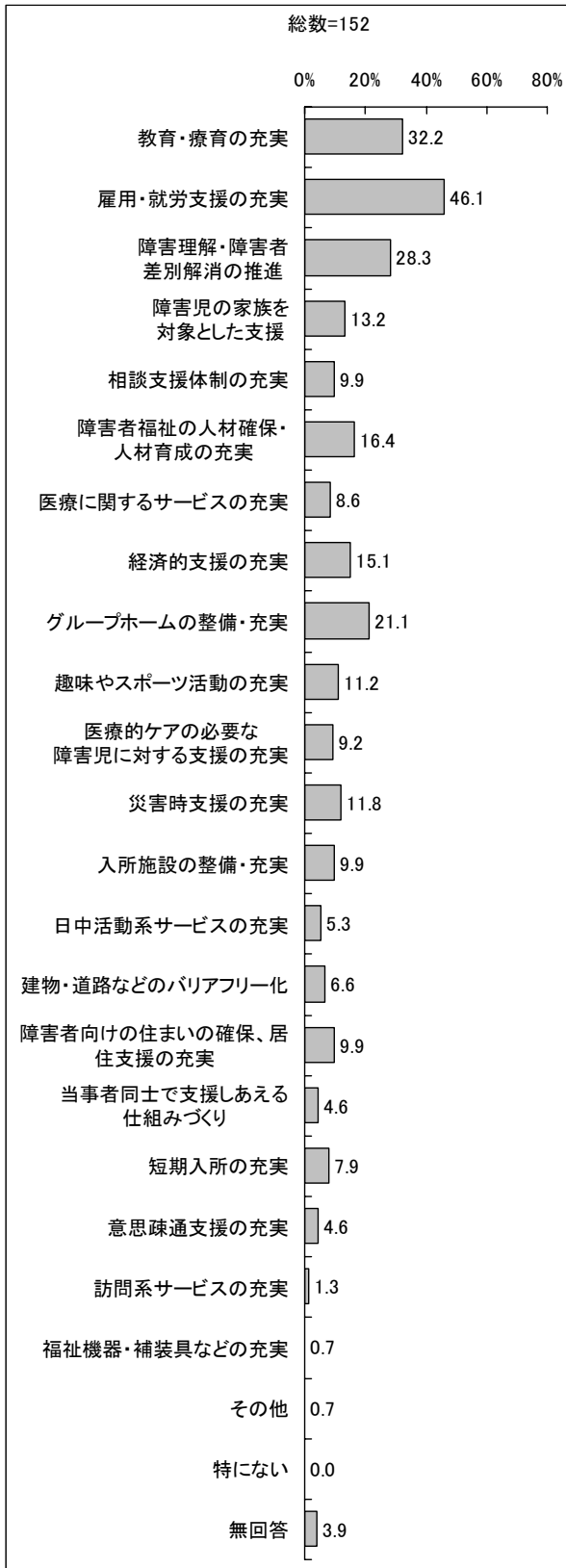
■全体



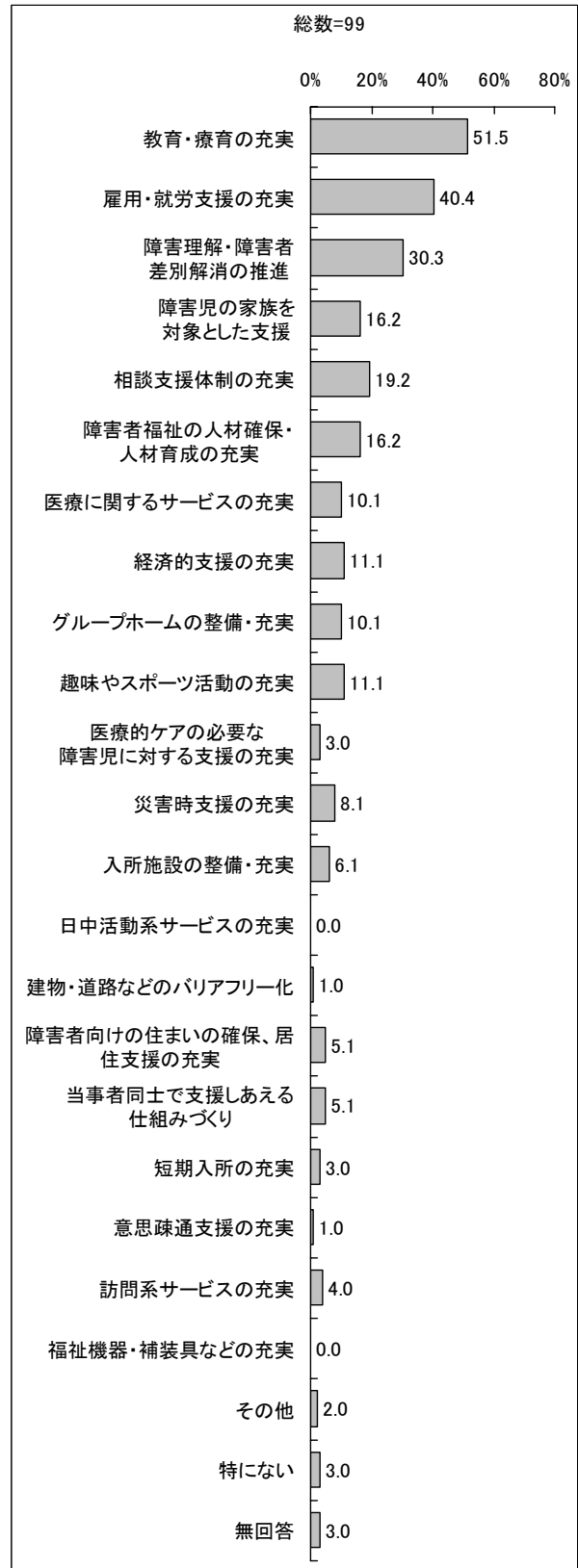
■身体障害



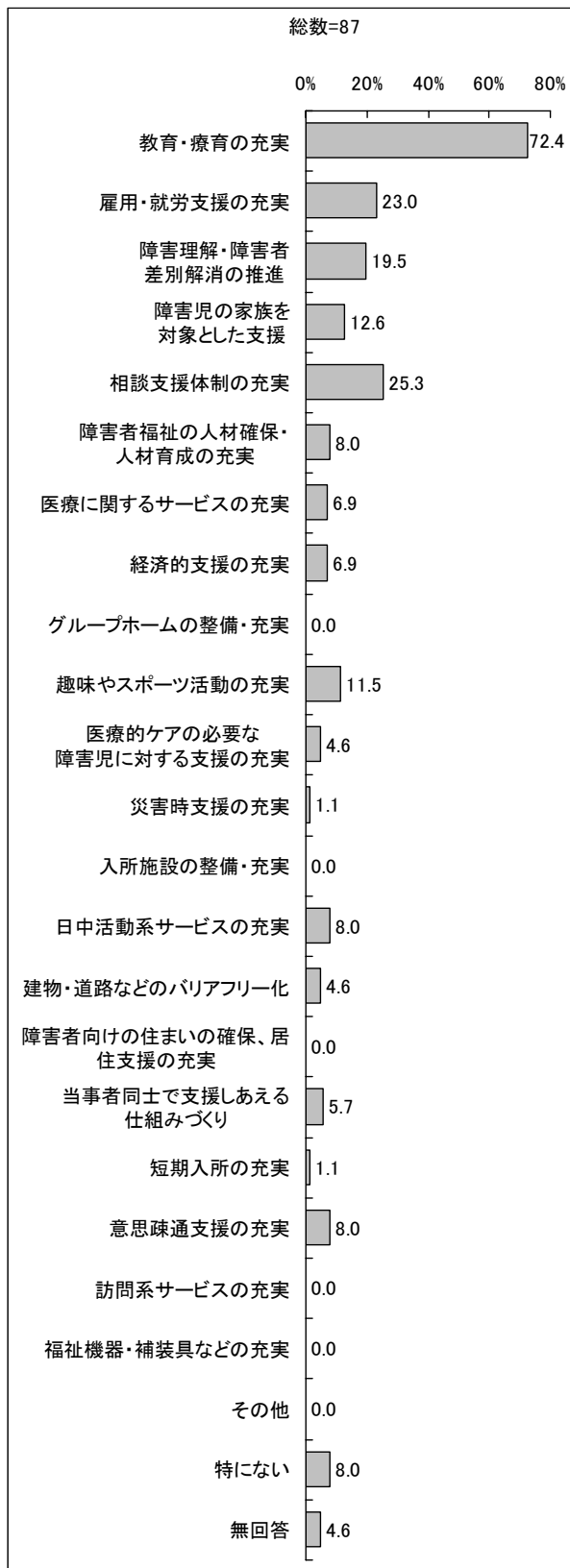
知的障害



発達障害



■手帳・診断なし



11 自由意見

問 51 区の障害者福祉施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

全体では104件の意見が寄せられています。分野別に見ると「保育・療育・発達支援」についての意見が最も多く、24件となっています。次いで、「行政・制度」についての意見が21件、「福祉サービス」についての意見が16件と続いています。

上段:件 下段:%	全体	行政・制度	福祉サービス	医療・健康	保育・療育・発達支援	学校教育・放課後活動	将来や学校・卒業後の進路	障害への理解	経済的事情	情報・相談	生活環境	防災	アンケート
全体	104 100.0	21 20.2	16 15.4	4 3.8	24 23.1	9 8.7	6 5.8	11 10.6	10 9.6	15 14.4	3 2.9	2 1.9	8 7.7

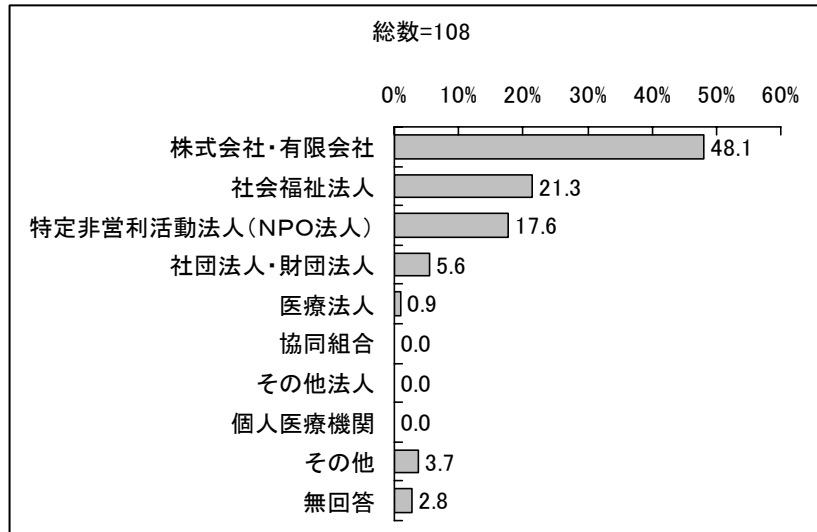
具体的には、発達支援コーナーあいあいや保健センターなどに関する事、ショートステイなどの福祉サービスに関する事、医療的ケア児への支援などについての意見が挙げられています。

IV. サービス事業者の方を対象とした調査

1 事業運営について

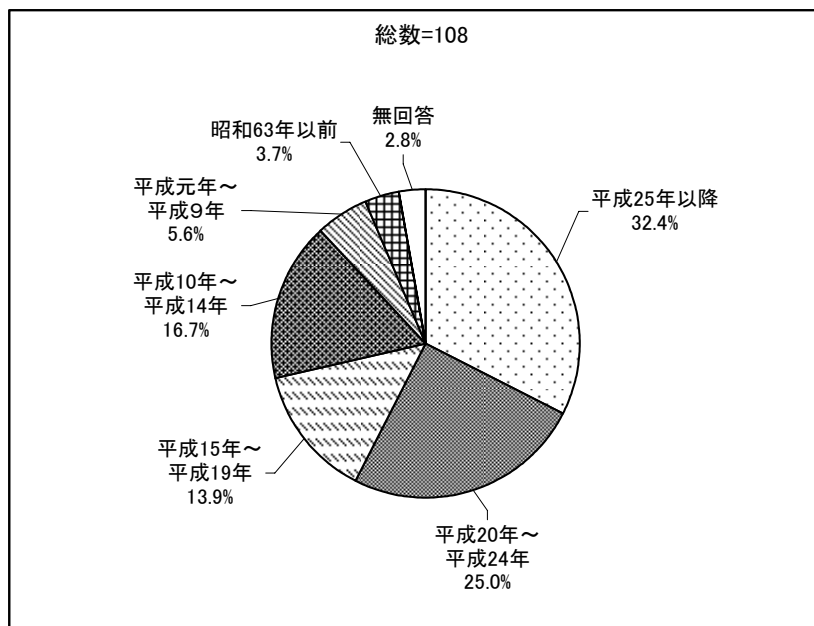
問1 貴事業所の経営主体をお聞きします。(〇はひとつ)

「株式会社・有限会社」が48.1%と最も多く、次いで「社会福祉法人」が21.3%、「特定非営利活動法人（NPO法人）」が17.6%などとなっています。



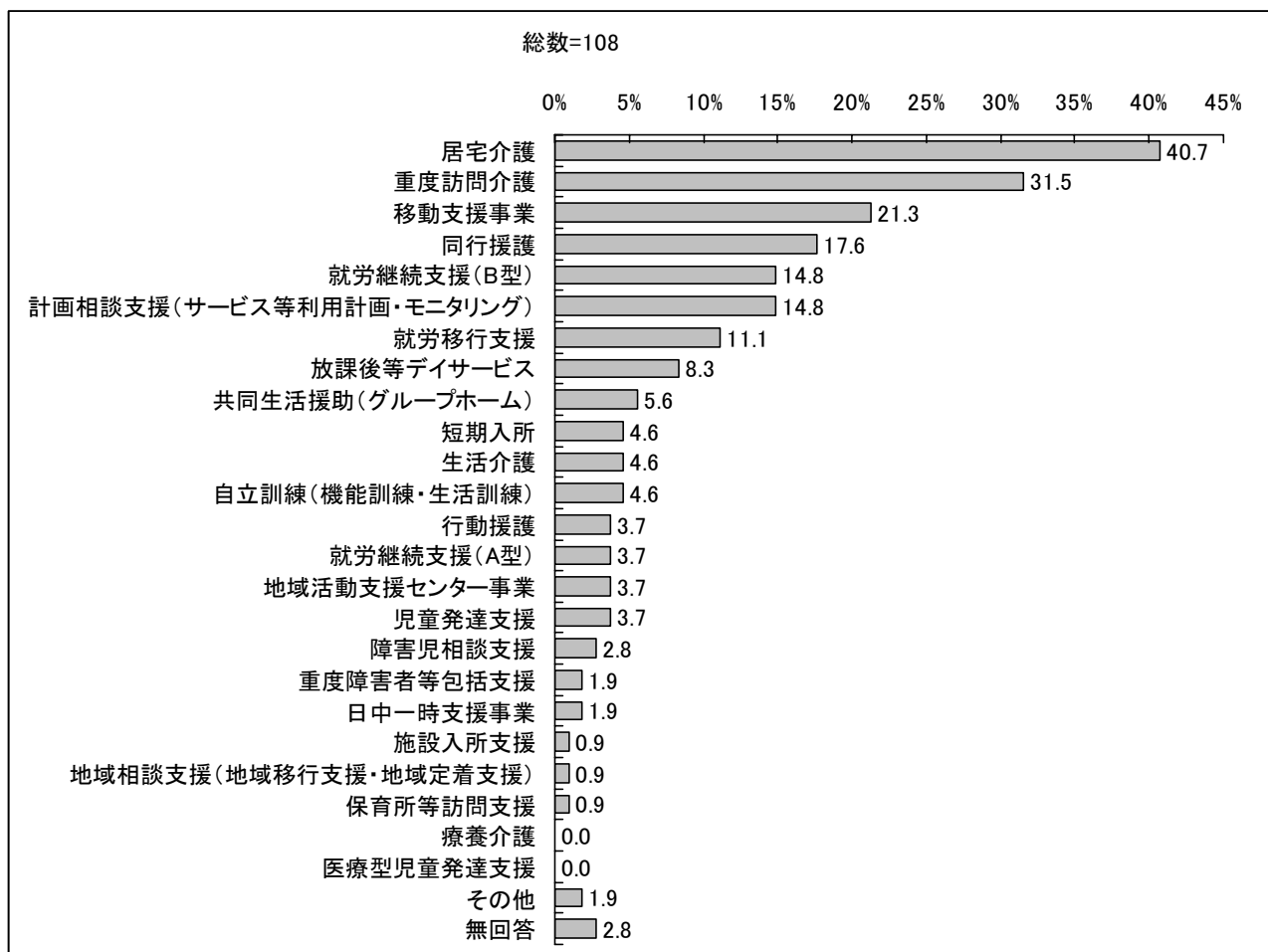
問2 貴事業所の開業年をお聞きします。

「平成25年度以降」が32.4%と最も多く、次いで「平成20年～平成24年」が25.0%、「平成10年～平成14年」が16.7%となっており、半数以上が平成20年以降に開業した事業所となっています。



問3 貴事業所で提供している障害福祉サービス、相談支援、児童福祉法に基づく障害児サービス等をお聞きます。(〇はいくつでも)

「居宅介護」が40.7%で最も多く、次いで「重度訪問介護」が31.5%、「移動支援事業」が21.3%などとなっています。

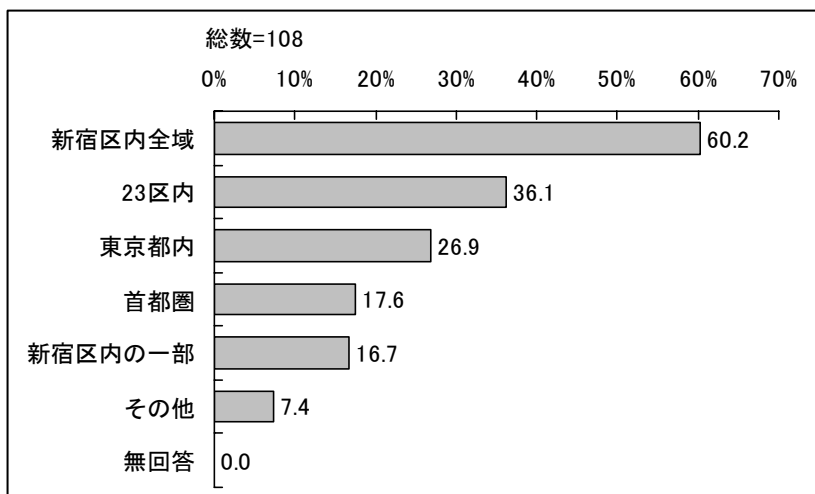


提供しているサービス（区内に5以上あるもの）と経営主体

上段：件 下段：%	合計	社会福祉法人	医療法人	社団法人・財団法人	株式会社・有限会社	特定非営利活動法人 （NPO法人）	協同組合	その他法人	個人医療機関	その他	無回答
全体	116 100.0	23 19.8	1 0.9	6 5.2	54 46.6	19 16.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 4.3	8 6.9
居宅介護	44 100.0	2 4.5	0 0.0	0 0.0	33 75.0	6 13.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 4.5	1 2.3
重度訪問介護	34 100.0	2 5.9	0 0.0	0 0.0	26 76.5	5 14.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.9	0 0.0
同行援護	19 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 73.7	4 21.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.3	0 0.0
短期入所	5 100.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
生活介護	5 100.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
自立訓練 （機能訓練・生活訓練）	5 100.0	3 60.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
就労移行支援	12 100.0	3 25.0	0 0.0	2 16.7	6 50.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
就労継続支援（B型）	16 100.0	10 62.5	0 0.0	4 25.0	0 0.0	2 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
共同生活援助 （グループホーム）	6 100.0	3 50.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
計画相談支援（サービス等利 用計画・モニタリング）	16 100.0	6 37.5	1 6.3	0 0.0	3 18.8	4 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3	1 6.3
移動支援事業	23 100.0	2 8.7	0 0.0	0 0.0	15 65.2	4 17.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 8.7	0 0.0
放課後等デイサービス	9 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 55.6	3 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0

問4 貴事業所が事業を展開しているエリア（サービス利用対象者がお住まいの範囲）をお答えください。（〇はいくつでも）

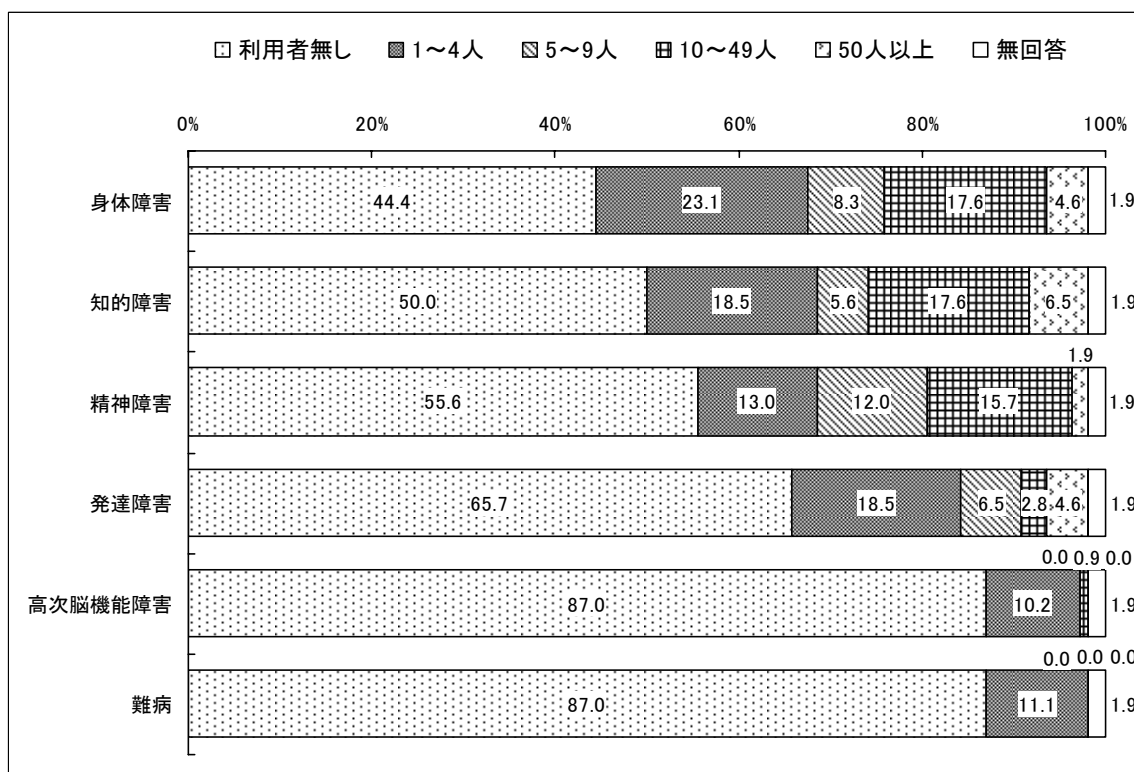
「新宿区内全域」が60.2%と最も多く、次いで「23区内」が36.1%、「東京都内」が26.9%などとなっています。



問5 貴事業所でサービスを提供している利用者数をお聞きます。

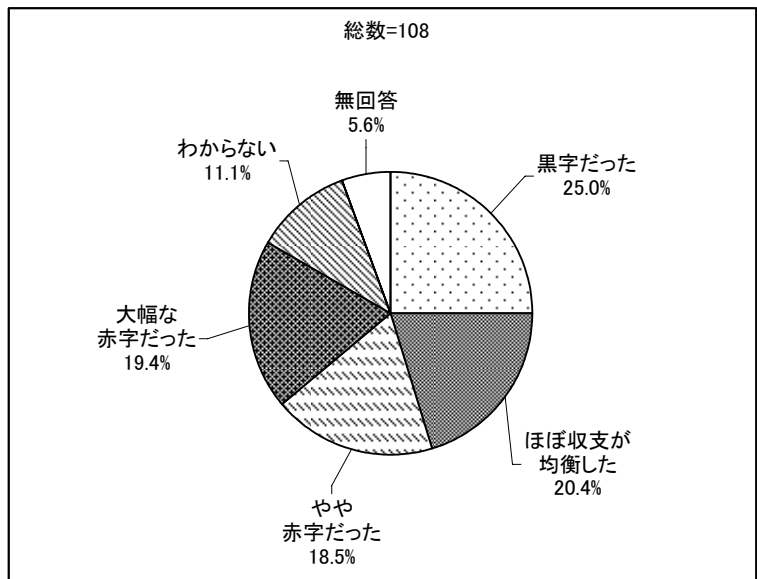
障害別にお答えください。

重複障害の方については主たる障害についてご回答ください。



問6 貴事業所の平成27年度の事業の収支をお聞きします。(〇はひとつ)

「黒字だった」が25.0%、「ほぼ収支が均衡した」が20.4%、「やや赤字だった」が18.5%、「大幅な赤字だった」が19.4%などとなっています。



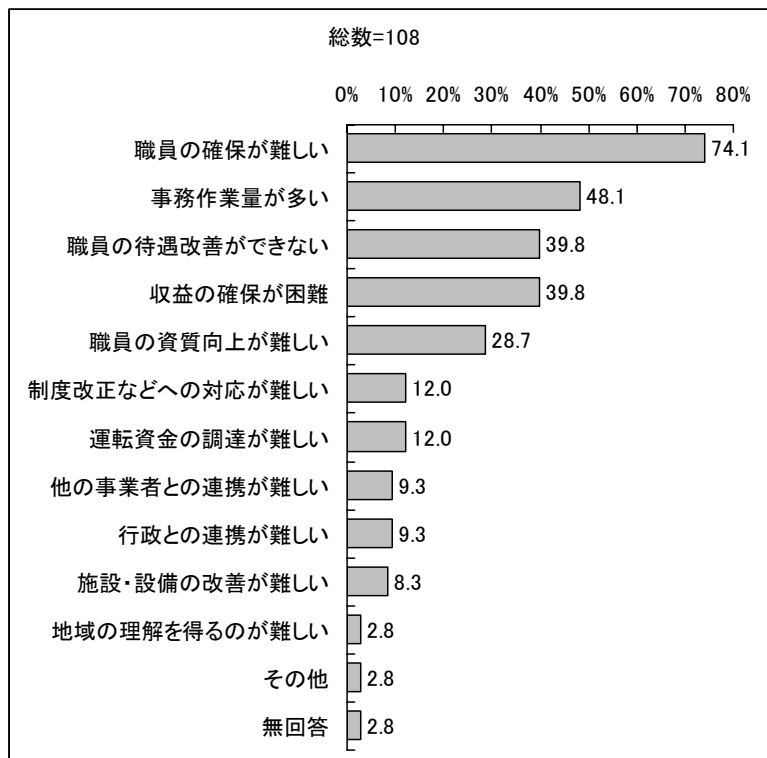
提供しているサービス（区内に5所以上あるもの）と事業収支

上段：件 下段：%	合計	黒字 だった	ほぼ 収支が 均衡した	やや 赤字 だった	大幅 な赤字 だった	わか らない	無 回 答
全体	116 100.0	27 23.3	23 19.8	20 17.2	23 19.8	12 10.3	11 9.5
居宅介護	44 100.0	11 25.0	11 25.0	8 18.2	9 20.5	5 11.4	0 0.0
重度訪問介護	34 100.0	10 29.4	7 20.6	7 20.6	7 20.6	3 8.8	0 0.0
同行援護	19 100.0	5 26.3	4 21.1	4 21.1	5 26.3	1 5.3	0 0.0
短期入所	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0
生活介護	5 100.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0
自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0
就労移行支援	12 100.0	1 8.3	1 8.3	1 8.3	5 41.7	2 16.7	2 16.7
就労継続支援 (B型)	16 100.0	6 37.5	4 25.0	3 18.8	2 12.5	0 0.0	1 6.3
共同生活援助 (グループホーム)	6 100.0	1 16.7	2 33.3	2 33.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0
計画相談支援 (サービス等利 用計画・モニタリング)	16 100.0	3 18.8	2 12.5	3 18.8	3 18.8	2 12.5	3 18.8
移動支援事業	23 100.0	7 30.4	4 17.4	6 26.1	3 13.0	3 13.0	0 0.0
放課後等デイサービス	9 100.0	3 33.3	2 22.2	0 0.0	1 11.1	2 22.2	1 11.1

問7 貴事業所を経営していく上で課題となっていることは何ですか。

(〇はいくつでも)

「職員の確保が難しい」が74.1%と最も多く、次いで「事務作業量が多い」が48.1%、「職員の待遇改善ができない」と「収益の確保が困難」が39.8%などとなっています。



2 職員について

問8 貴事業所の職員数をお聞きします。

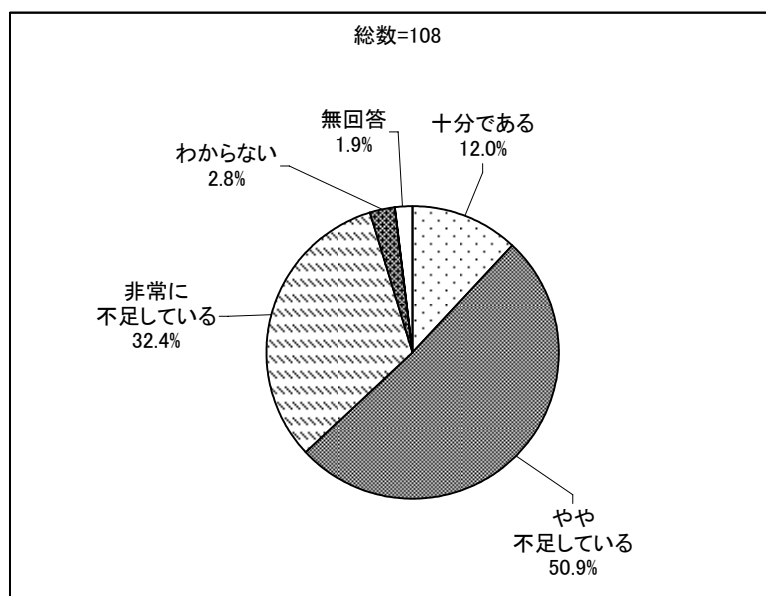
「常勤職員」は「社会福祉法人」と「株式会社・有限会社」、「非常勤職員」は「株式会社・有限会社」で多くなっています。

	回答数	合計職員数(人)			事務所当たり平均職員数(人)
		常勤職員(人)	非常勤職員(人)		
全体	108	1637.8	658.8	979	15.2
社会福祉法人	23	426.8	261.8	165	18.6
医療法人	1	30	10	20	30.0
社団法人・財団法人	6	46	30	16	7.7
株式会社・有限会社	52	779	236	543	15.0
特定非営利活動法人(NPO法人)	19	279	87	192	14.7
その他	4	77	34	43	19.3
無回答	3	16	8	8	5.3

問9 貴事業所の業務量に対して、職員の充足状況(人手)はいかがですか。

(○はひとつ)

「やや不足している」が50.9%と全体の約半数を占めており、「非常に不足している」の32.4%と合わせると8割を超える事業所で職員が不足しています。一方、「十分である」は12.0%となっています。



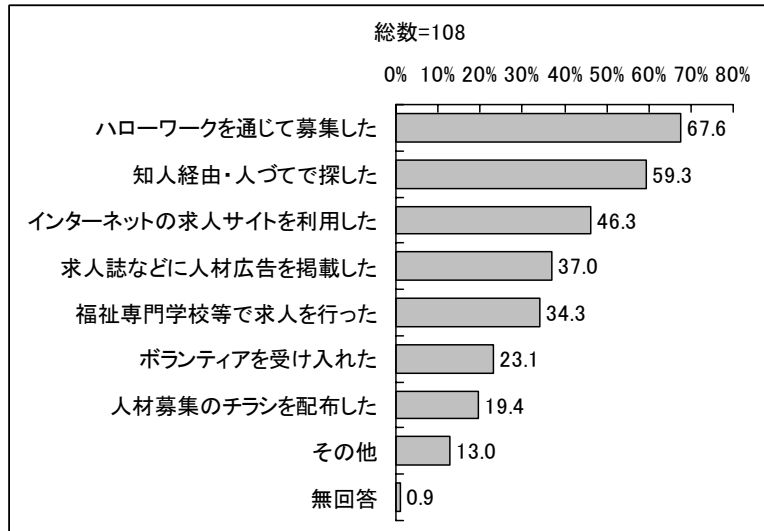
提供しているサービス（区内に5所以上あるもの）と職員充足状況

上段：件 下段：%	合計	十分である	やや不足している	非常に不足している	わからない	無回答
全体	116 100.0	13 11.2	58 50.0	35 30.2	3 2.6	7 6.0
居宅介護	44 100.0	1 2.3	19 43.2	23 52.3	0 0.0	1 2.3
重度訪問介護	34 100.0	1 2.9	15 44.1	17 50.0	0 0.0	1 2.9
同行援護	19 100.0	1 5.3	6 31.6	11 57.9	0 0.0	1 5.3
短期入所	5 100.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0
生活介護	5 100.0	0 0.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	5 100.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0
就労移行支援	12 100.0	2 16.7	8 66.7	2 16.7	0 0.0	0 0.0
就労継続支援（A型）	4 100.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0
就労継続支援（B型）	16 100.0	4 25.0	10 62.5	2 12.5	0 0.0	0 0.0
共同生活援助（グループホーム）	6 100.0	1 16.7	2 33.3	2 33.3	1 16.7	0 0.0
計画相談支援（サービス等利用計画・モニタリング）	16 100.0	2 12.5	9 56.3	3 18.8	1 6.3	1 6.3
移動支援事業	23 100.0	1 4.3	12 52.2	9 39.1	0 0.0	1 4.3
放課後等デイサービス	9 100.0	1 11.1	7 77.8	1 11.1	0 0.0	0 0.0

問 10 貴事業所では、人材確保のための取り組みをしていますか。

(○はいくつでも)

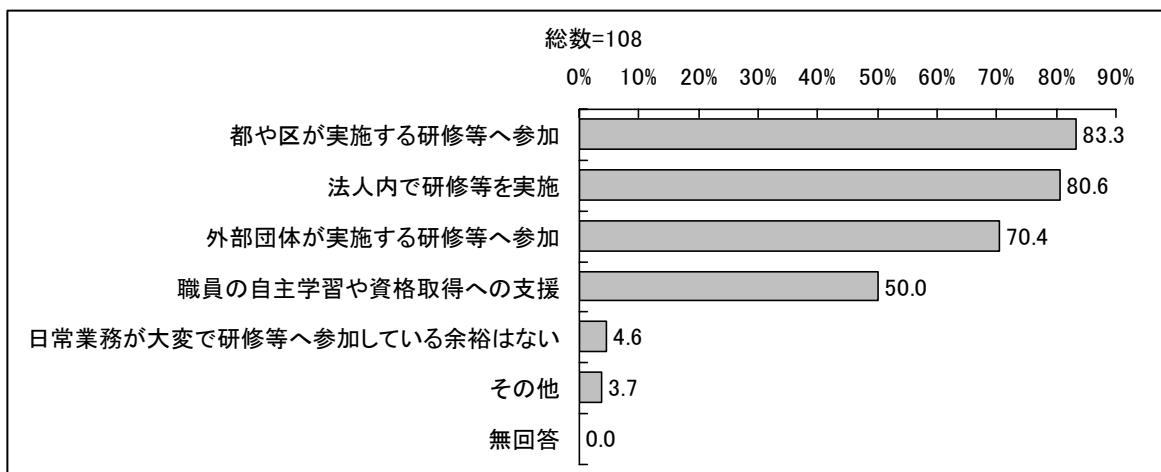
「ハローワークを通じて募集した」が67.6%と最も多く、次いで「知人経由・人づてで探した」が59.3%、「インターネットの求人サイトを利用した」が46.3%などとなっています。



問 11 貴事業所では、人材育成のための取り組みをしていますか。

(○はいくつでも)

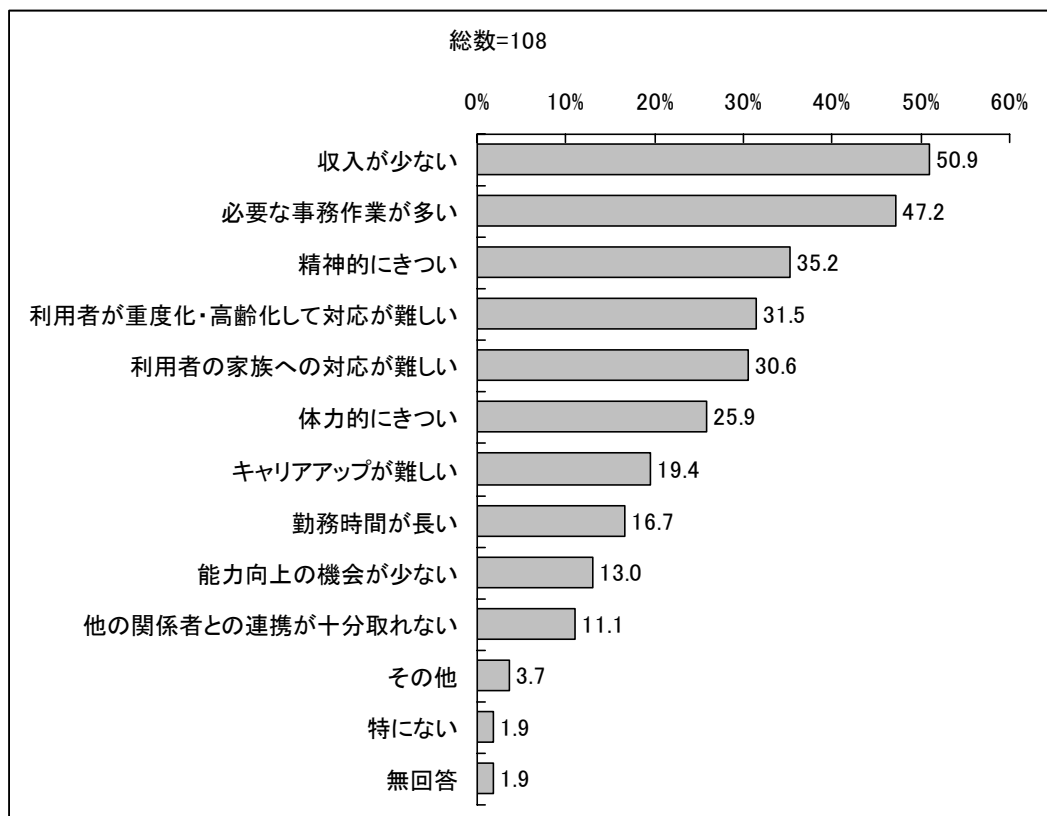
「都や区が実施する研修等へ参加」が83.3%と最も多く、次いで「法人内で研修等を実施」が80.6%、「外部団体が実施する研修等へ参加」が70.4%などとなっています。



問 12 貴事業所の職員の方は、どのようなことで困っていますか。

(〇はいくつでも)

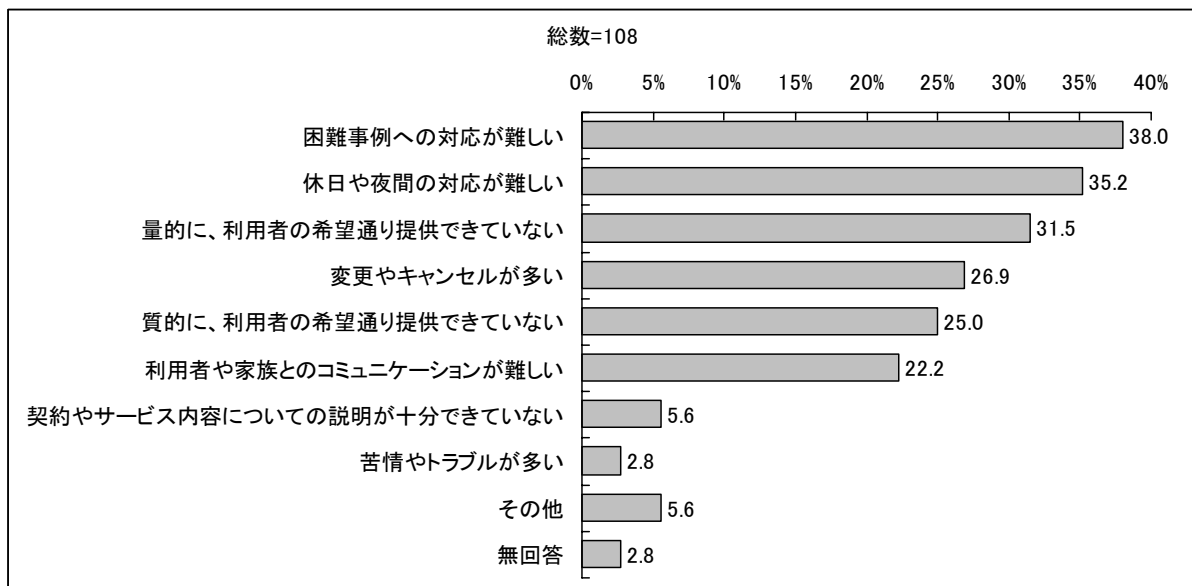
「収入が少ない」が 50.9%と最も多く、次いで「必要な事務作業が多い」が 47.2%、「精神的にきつい」が 35.2%などとなっています。



3 サービス提供について

問 13 貴事業所でサービスを提供する上で、課題となっていることは何ですか。
(○はいくつでも)

「困難事例への対応が難しい」が38.0%と最も多く、次いで「休日や夜間の対応が難しい」が35.2%、「量的に、利用者の希望通り提供できていない」が31.5%などとなっています。

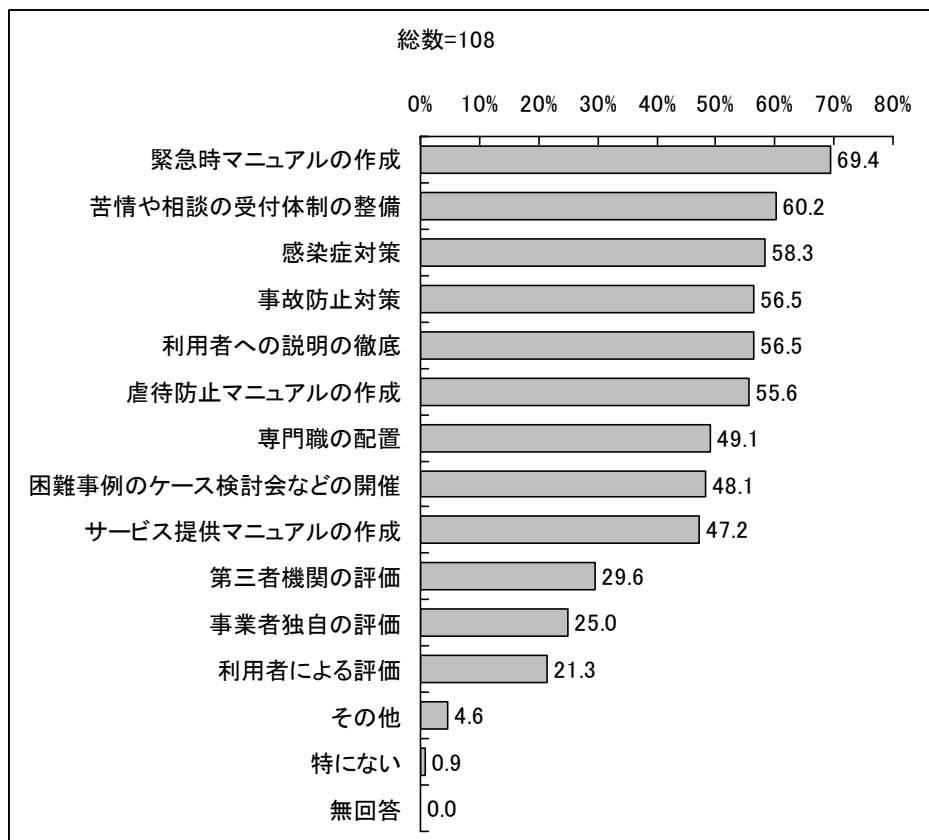


提供しているサービス（区内に5所以上あるもの）とサービス提供の課題

サービス	合計	量的に、 提供できていない 利用者の希望通り提	質的に、 提供できていない 利用者の希望通り提	契約やサ ービス内 容に十分 できてい ない	利用 者や家 族との コミュ ニ	困 難 事 例 へ の 対 応 が 難 し い	休 日 や 夜 間 の 対 応 が 難 し い	変 更 や キ ャ ン セ ル が 多 い	苦 情 や ト ラ ブ ル が 多 い	そ の 他	無 回 答
全体	116 100.0	35 30.2	28 24.1	6 5.2	25 21.6	42 36.2	38 32.8	29 25.0	3 2.6	6 5.2	9 7.8
居宅介護	44 100.0	20 45.5	7 15.9	2 4.5	10 22.7	16 36.4	24 54.5	17 38.6	1 2.3	2 4.5	1 2.3
重度訪問介護	34 100.0	17 50.0	6 17.6	1 2.9	7 20.6	13 38.2	17 50.0	14 41.2	1 2.9	1 2.9	1 2.9
同行援護	19 100.0	8 42.1	4 21.1	1 5.3	2 10.5	9 47.4	11 57.9	8 42.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
短期入所	5 100.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
生活介護	5 100.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	2 40.0	3 60.0	3 60.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	5 100.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
就労移行支援	12 100.0	1 8.3	1 8.3	0 0.0	4 33.3	2 16.7	1 8.3	3 25.0	0 0.0	2 16.7	0 0.0
就労継続支援 (B型)	16 100.0	2 12.5	6 37.5	1 6.3	2 12.5	9 56.3	3 18.8	2 12.5	0 0.0	1 6.3	1 6.3
共同生活援助 (グループホーム)	6 100.0	1 16.7	2 33.3	0 0.0	2 33.3	2 33.3	2 33.3	1 16.7	1 16.7	0 0.0	1 16.7
計画相談支援 (サービス等利 用計画・モニタリング)	16 100.0	6 37.5	7 43.8	1 6.3	6 37.5	8 50.0	2 12.5	2 12.5	0 0.0	1 6.3	0 0.0
移動支援事業	23 100.0	11 47.8	3 13.0	0 0.0	5 21.7	10 43.5	16 69.6	13 56.5	0 0.0	1 4.3	0 0.0
放課後等デイサービス	9 100.0	4 44.4	5 55.6	1 11.1	1 11.1	2 22.2	1 11.1	5 55.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問 14 貴事業所では、サービス向上のためにどのようなことに取り組んでいますか。(〇はいくつでも)

「緊急時マニュアルの作成」が69.4%と最も多く、次いで「苦情や相談の受付体制の整備」が60.2%、「感染症対策」が58.3%などとなっています。



問 15 問 14 で「5 専門職の配置」を選択された事業所にお聞きします。

貴事業所で、配置している専門職について、職種名をご記入の上、雇用形態別に人数もご記入ください。

配置している専門職としては、「介護福祉士」、「社会福祉士」、「精神保健福祉士」などが多くなっています。「介護福祉士」は「常勤」、「非常勤」とともに多く、「社会福祉士」、「精神保健福祉士」は「常勤」がやや多くなっています。

問14で「5 専門職の配置」を選択した事業所は53か所。

以下の職種を配置していると回答した事業所数(職種・勤務形態別)

職種	常勤	非常勤	嘱託
医師	-	3	9
保健師	4	3	-
看護師	12	9	-
理学療法士	2	2	-
作業療法士	5	5	-
言語聴覚士	-	3	-
社会福祉士	21	6	2
介護福祉士	30	19	-
精神保健福祉士	14	10	2
保育士	5	3	1
管理栄養士	1	2	-
調理師	-	2	-

(単位:か所)

職種・勤務形態別の専門職人数(総数)

職種	常勤	非常勤	嘱託
医師	-	4	14
保健師	6.2	6	-
看護師	19	18	-
理学療法士	2	3	-
作業療法士	6	8	-
言語聴覚士	-	3	-
社会福祉士	41	9	3
介護福祉士	92	77	-
精神保健福祉士	30.6	15	8
保育士	17	3	2
管理栄養士	1	3	-
調理師	-	5	-

(単位:人)

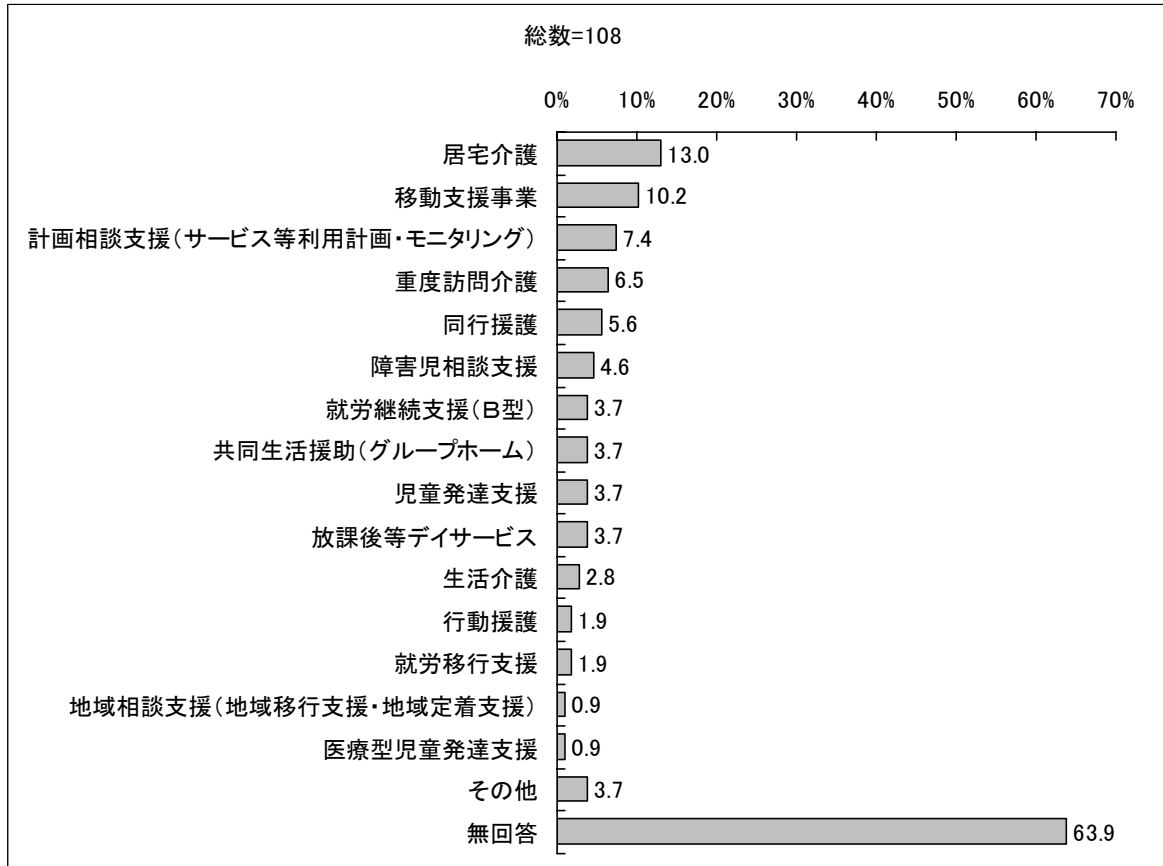
その他に挙げられたもの(事業所ごとに、職種・勤務形態別)

	職種	常勤	非常勤	嘱託
事業所 a	視能訓練士、歩行訓練士、臨床心理士、あんま・指圧・マッサージ師・はり師・灸師	10	3	-
事業所 b	相談支援専門員	3	2	-
事業所 c	相談支援専門員	2	-	-
事業所 d	相談支援専門員	1	-	-
事業所 e	臨床心理士	2	-	-
事業所 f	臨床心理士	1	1	-
事業所 g	臨床心理士	1	-	-
事業所 h	介護支援専門員	2	1	-
事業所 i	介護支援専門員	1	2	-
事業所 j	居宅介護支援員	1	1	-
事業所 k	手話	1	2	-
事業所 l	音楽療法士	-	5	-
事業所 m	音楽療法士	-	1	-
事業所 n	音楽療法士	-	1	-
事業所 o	臨床心理士	-	-	1
事業所 p	歯科医師	-	-	1
事業所 q	※職種の記載なし	2	12	-

(単位:人)

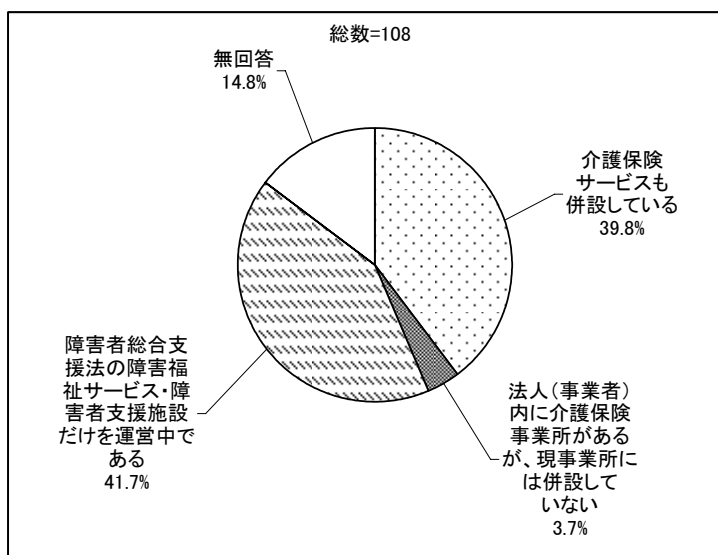
問 16 貴事業所では、今後新規に障害福祉サービス等への参入を検討していますか。(〇はいくつでも) ※介護保険サービスは含めないでください

「居宅介護」が13.0%と最も多く、次いで「移動支援事業」が10.2%、「計画相談支援(サービス等利用計画・モニタリング)」が7.4%などとなっています。



問 17 貴事業所には、介護保険事業所を併設していますか。(〇はひとつ)

「障害者総合支援法の障害福祉サービス・障害者支援施設だけを運営中である」が41.7%と最も多く、次いで「介護保険サービスも併設している」が39.8%、「法人(事業者)内に介護保険事業所があるが、現事業所には併設していない」が3.7%となっています。

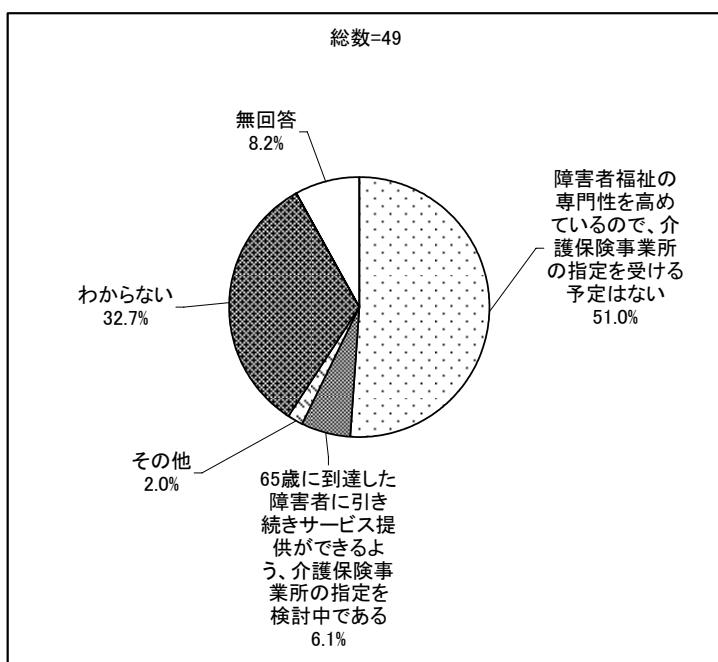


問 18 問 17 で2及び3と回答した事業所の方にお聞きします。

貴事業所では、新たに介護保険事業所の指定を受ける予定はありますか。

(〇はひとつ)

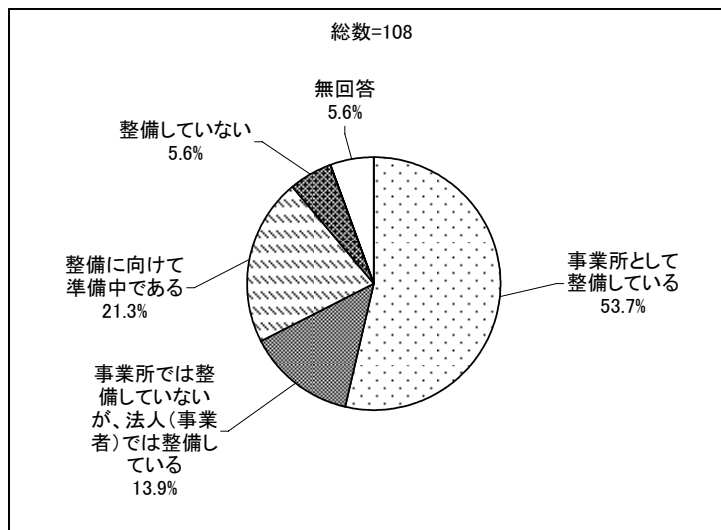
「障害者福祉の専門性を高めているので、介護保険事業所の指定を受ける予定はない」が51.0%と全体の約半数を占めています。一方、「65歳に到達した障害者に引き続きサービス提供ができるよう、介護保険事業所の指定を検討中である」は6.1%となっています。



問 19 貴事業所では、虐待防止マニュアルを整備していますか。

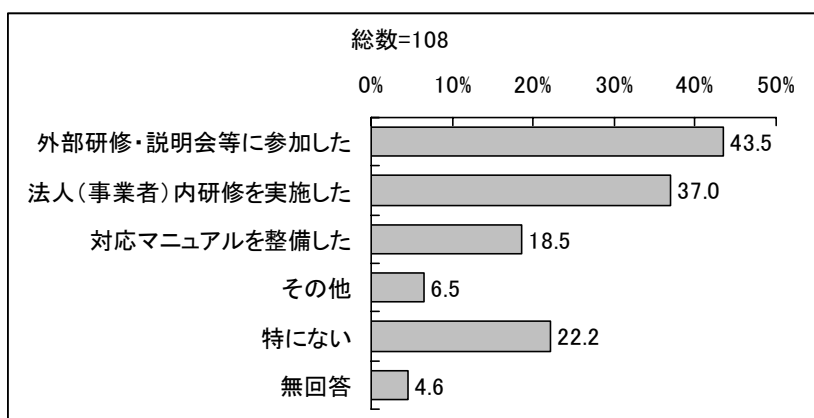
(○はひとつ)

「事業所として整備している」が 53.7%と最も多く、次いで「整備に向けて準備中である」が 21.3%、「事業所では整備していないが、法人（事業者）では整備している」が 13.9%となっています。一方、「整備していない」は 5.6%となっています。



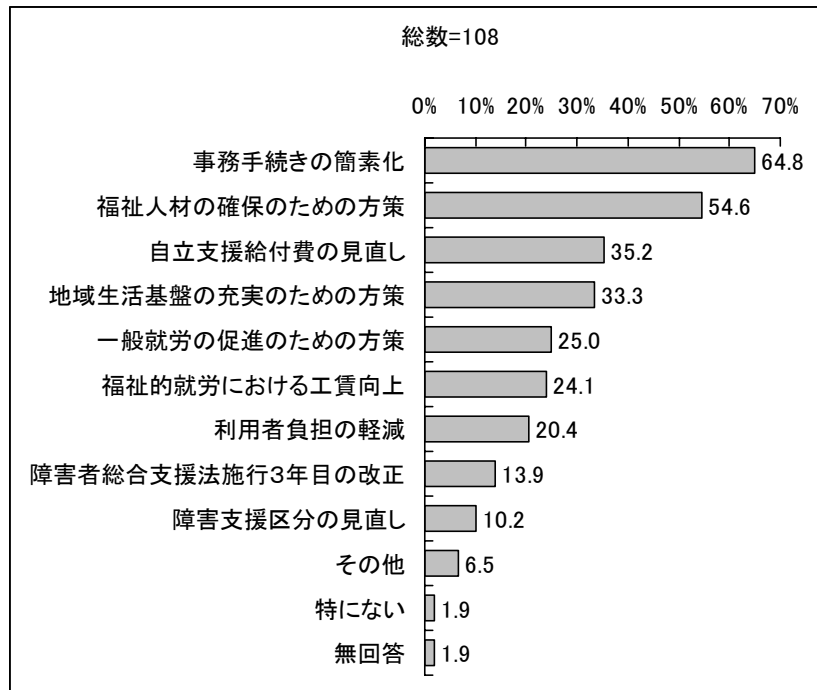
問 20 貴事業所で、障害者差別解消の推進に向けて取り組んでいることを教えてください。(○はいくつでも)

「外部研修・説明会等に参加した」が 43.5%と最も多く、次いで「法人（事業者）内研修を実施した」が 37.0%、「対応マニュアルを整備した」が 18.5%となっています。一方、「特にない」は 22.2%となっています。



問 21 貴事業所では、今後の障害者施策について、どのようなことを期待していますか。(〇はいくつでも)

「事務手続きの簡素化」が 64.8%と最も多く、次いで「福祉人材の確保のための方策」が 54.6%、「自立支援給付費の見直し」が 35.2%などとなっています。



《ここからは、特例子会社の方が回答してください》

4 特例子会社について

問 22 貴社の主な業務は、どのようなものですか。

(○は主なものにひとつ)

「名刺等印刷物作成」が2社、「郵便物の集配・封入」、「清掃・クリーニング業務」が1社、「その他」が2社（百貨店における販売付帯業務、事務補助、一般事務、軽作業。）となっています。

No.	カテゴリー名	n	%
1	清掃・クリーニング業務	1	12.5
2	緑地・植栽の維持管理	0	0.0
3	郵便物の集配、封入	1	12.5
4	物品の製造、加工、梱包作業	0	0.0
5	食品製造・販売	0	0.0
6	名刺等印刷物作成	2	25.0
7	データ入力・ホームページ作成	0	0.0
8	マッサージ、ヘルスキーパー	0	0.0
9	その他	2	25.0
	無回答	2	25.0
	全体	8	100.0

問 23 貴社の従業員数を教えてください。

回答のあった8社のうち、障害者の従業員数が最も多い会社で75人、最も少ない会社で17人でした。回答のあった中では、障害者従業員数が20人程度の事業者が多くなっています。新宿区民の障害者を雇用している会社は3社で、全体に占める割合はかなり少なくなっています。（※具体的な内容はP279～286に掲載）

問 24 貴社で雇用している障害者の障害種別と、雇用形態を教えてください。「重度障害者」は障害者雇用促進法上の重度判定を受けた方のことです。該当する欄に人数をご記入ください。

障害種別では知的障害が最も多く、雇用形態は「契約社員」「パート」のケースが多くなっています。（※具体的な内容はP279～286に掲載）

問 25 貴社で雇用されている障害者の平均給与（税込み月額）を教えてください。
雇用形態別に、（ ）内に該当する番号を記載してください。

○正社員

「10万円以上15万円未満」が1社となっています。

No.	カテゴリー名	n	%
1	5万円未満	0	0.0
2	5万円以上10万円未満	0	0.0
3	10万円以上15万円未満	1	12.5
4	15万円以上20万円未満	0	0.0
5	20万円以上	0	0.0
	無回答	7	87.5
	全体	8	100.0

○契約社員

「10万円以上15万円未満」と「15万円以上20万円未満」がそれぞれ2社となっています。

No.	カテゴリー名	n	%
1	5万円未満	0	0.0
2	5万円以上10万円未満	0	0.0
3	10万円以上15万円未満	2	25.0
4	15万円以上20万円未満	2	25.0
5	20万円以上	0	0.0
	無回答	4	50.0
	全体	8	100.0

○パート

「10万円以上15万円未満」が4社、「5万円以上10万円未満」が1社となっています。

No.	カテゴリー名	n	%
1	5万円未満	0	0.0
2	5万円以上10万円未満	1	12.5
3	10万円以上15万円未満	4	50.0
4	15万円以上20万円未満	0	0.0
5	20万円以上	0	0.0
	無回答	3	37.5
	全体	8	100.0

問 26 採用する障害者の障害種別を限定している（例：現在は知的障害者だけを採用している）会社にお聞きします。障害種別を拡大する際に懸念される課題はどのようなものですか。（〇はいくつでも）

「[身体障害（視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・内部障害）・知的障害・精神障害・発達障害・高次脳機能障害・難病]を雇用した経験がないのでノウハウの蓄積がない」が1社、「建物・情報アクセシビリティ等のバリアフリー化が進んでいない」が1社、「突発的な事態・急変に対して、どうすればよいかわからない」が1社となっています。

No.	カテゴリー名	n	%
1	[身体障害（視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・内部障害）・知的障害・精神障害・発達障害・高次脳機能障害・難病]を雇用した経験がないのでノウハウの蓄積がない	1	12.5
2	建物・情報アクセシビリティ等のバリアフリー化が進んでいない	1	12.5
3	コミュニケーションをとることができる担当社員の配置が困難	0	0.0
4	突発的な事態・急変に対して、どうすればよいかわからない	1	12.5
5	その他	2	25.0
	無回答	5	62.5
	全体	8	100.0

■その他の内容…「当社の業務内容と各障害特性をマッチングした結果として限定しているため、種別の拡大は考えていない。」

問 27 在籍期間別で、雇用中の障害者の人数をご記入ください。

「1年以上3年未満」、「3年以上5年未満」がやや多くなっています。

	全体	0人	1～3人	4～9人	10～14人	15人以上	無回答
採用から半年未満	8	2	2	3	0	0	1
	100.0	25.0	25.0	37.5	0.0	0.0	12.5
半年以上1年未満	8	0	2	4	1	0	1
	100.0	0.0	25.0	50.0	12.5	0.0	12.5
1年以上3年未満	8	0	1	2	3	1	1
	100.0	0.0	12.5	25.0	37.5	12.5	12.5
3年以上5年未満	8	0	0	5	1	1	1
	100.0	0.0	0.0	62.5	12.5	12.5	12.5
5年以上10年未満	8	2	0	2	2	1	1
	100.0	25.0	0.0	25.0	25.0	12.5	12.5
10年以上	8	6	1	0	0	0	1
	100.0	75.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5

問 28 障害者の採用促進、職場定着を向上させるために、どのようなことが重要と考えますか。(〇はいくつでも)

「企業等での職場見学・職場実習等のマッチングの支援や委託訓練による職業訓練」、「障害者就労を支援する専門人材の育成・確保」、「障害者雇用の場と機会の拡充」、「障害者雇用に取り組む企業への支援の拡充」はそれぞれ5社、「特別支援学校等での職業的自立を目指す教育の推進」は4社が回答しています。

No.	カテゴリー名	n	%
1	企業等での職場見学・職場実習等のマッチングの支援や委託訓練による職業訓練	5	62.5
2	障害者就労を支援する専門人材の育成・確保	5	62.5
3	障害者雇用の場と機会の拡充	5	62.5
4	障害者雇用に取り組む企業への支援の拡充	5	62.5
5	特別支援学校等での職業的自立を目指す教育の推進	4	50.0
6	就労支援コーディネーター、ジョブコーチ等による就労定着支援の拡充	2	25.0
7	その他	1	12.5
	無回答	0	0.0
	全体	8	100.0

問 29 職場定着を向上させるために、貴社で取り組んでいる支援をお答えください。(〇はいくつでも)

「ハローワーク、障害者就労支援機関、障害者就業・生活支援センターとの連携」、「特別支援学校、障害者就労支援施設（就労移行支援事業所等）との連携」は全社が取り組んでる支援として回答しています。

No.	カテゴリー名	n	%
1	ハローワーク、障害者就労支援機関、障害者就業・生活支援センターとの連携	8	100.0
2	特別支援学校、障害者就労支援施設（就労移行支援事業所等）との連携	8	100.0
3	マッチングの支援ツール(キャリア形成シート)の活用	1	12.5
4	定着支援担当者の配置	4	50.0
5	障害理解やノウハウ共有のための社内研修の実施	1	12.5
6	その他	1	12.5
	無回答	0	0.0
	全体	8	100.0

問 30 平成 28 年 4 月改正の障害者雇用促進法に基づき、障害者からの合理的配慮の提供に係る相談に対応する窓口を整備しましたか。(○はひとつ)

「整備できている」が 7 社、「検討中 (29 年度内に整備予定)」が 1 社となっています。

No.	カテゴリー名	n	%
1	整備できている	7	87.5
2	検討中(29年度内に整備予定)	1	12.5
3	未整備・未着手	0	0.0
4	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	全体	8	100.0

5 自由意見

問 31 区の障害者施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

全体では 22 件の意見が寄せられています。分野別に見ると「行政・制度」についての意見が最も多く、6 件となっています。次いで、「福祉サービス」についての意見が 4 件、「雇用・就労」についての意見が 3 件と続いています。

上段:件 下段:%	全体	行政・制度	福祉サービス	雇用・就労	将来について	障害への理解	アンケート
全体	22 100.0	6 27.3	4 18.2	3 13.6	2 9.1	2 9.1	2 9.1

具体的には、行政・制度への意見のほか、各種福祉サービスの柔軟な適用や利用の拡充について意見が挙げられています。

6 特例子会社 問 23、24 の回答内容

会社・事業所名	A 社
---------	-----

《ここからは、特例子会社の方が回答してください》

4 特例子会社について

問 23 貴社の従業員数を教えてください。

		貴社（特例子会社）	親会社
従業員数	障害者	35 人（うち新宿区民 0 人）	5 人
	スタッフ	20 人	

問 24 貴社で雇用している障害者の障害種別と、雇用形態を教えてください。「重度障害者」は障害者雇用促進法上の重度判定を受けた方のことです。該当する欄に人数をご記入ください。

障害の種類		人数	雇用形態		
		○ はうち重度障害者	正社員	契約社員	パート
身体障害	視覚障害	-人 (-人)	-人	-人	-人
	聴覚、平衡機能、音声・言語障害	-人 (-人)	-人	-人	-人
	肢体不自由	1 人 (1 人)	-人	1 人	-人
	内部障害	-人 (-人)	-人	-人	-人
	重複障害	-人 (-人)	-人	-人	-人
知的障害		32 人 (10 人)	-人	32 人	-人
精神障害（発達障害、高次脳機能障害を含まない）		2 人	-人	2 人	-人
発達障害		-人	-人	-人	-人
高次脳機能障害		-人	-人	-人	-人
難病		-人	-人	-人	-人
合計		35 人	-人	35 人	-人

会社・事業所名

B社

《ここからは、特例子会社の方が回答してください》

4 特例子会社について

問 23 貴社の従業員数を教えてください。

		貴社（特例子会社）	親会社
従業員数	障害者	17人（うち新宿区民 0人）	69人
	スタッフ	1人	

問 24 貴社で雇用している障害者の障害種別と、雇用形態を教えてください。「重度障害者」は障害者雇用促進法上の重度判定を受けた方のことです。該当する欄に人数をご記入ください。

障害の種類		人数	雇用形態		
		() はうち重度障害者	正社員	契約社員	パート
身体障害	視覚障害	0人(-人)	-人	-人	-人
	聴覚、平衡機能、音声・言語障害	0人(-人)	-人	-人	-人
	肢体不自由	1人(-人)	-人	-人	-人
	内部障害	0人(-人)	-人	-人	-人
	重複障害	0人(-人)	-人	-人	-人
知的障害		5人(1人)	-人	5人	-人
精神障害（発達障害、高次脳機能障害を含まない）		11人	-人	11人	-人
発達障害		-人	-人	-人	-人
高次脳機能障害		-人	-人	-人	-人
難病		-人	-人	-人	-人
合計		17人	-人	16人	-人

会社・事業所名

C社

《ここからは、特例子会社の方が回答してください》

4 特例子会社について

問 23 貴社の従業員数を教えてください。

		貴社（特例子会社）	親会社
従業員数	障害者	55人※1（うち新宿区民 1人）	0人
	スタッフ	7人	

問 24 貴社で雇用している障害者の障害種別と、雇用形態を教えてください。「重度障害者」は障害者雇用促進法上の重度判定を受けた方のことです。該当する欄に人数をご記入ください。

障害の種類		人数	雇用形態		
		() はうち重度障害者	正社員	契約社員	パート
身体障害	視覚障害	9人(8人)	9人	0人	0人
	聴覚、平衡機能、音声・言語障害	1人(0人)	1人	0人	0人
	肢体不自由	5人(1人)	2人	3人	0人
	内部障害	2人(2人)	2人	0人	0人
	重複障害	0人(-人)	0人	0人	0人
知的障害		32人(16人)	28人	2人	2人
精神障害（発達障害、高次脳機能障害を含まない）		3人	1人	2人	0人
発達障害		6人	1人	5人	0人
高次脳機能障害		0人	-人	-人	-人
難病		0人	-人	-人	-人
合計		58人※2	44人	12人	2人

◎問 23 の従業員数の障害者人数(※1)と問 24 の人数の合計(※2)が一致していませんが、事業所からの回答をそのまま記載しており、重複が考えられます。

会社・事業所名

D社

《ここからは、特例子会社の方が回答してください》

4 特例子会社について

問 23 貴社の従業員数を教えてください。

		貴社（特例子会社）	親会社
従業員数	障害者	75人（うち新宿区民 10人）	849人
	スタッフ	15人	

問 24 貴社で雇用している障害者の障害種別と、雇用形態を教えてください。「重度障害者」は障害者雇用促進法上の重度判定を受けた方のことです。該当する欄に人数をご記入ください。

障害の種類		人数	雇用形態		
		() はうち重度障害者	正社員	契約社員	パート
身体障害	視覚障害	-人 (-人)	-人	-人	-人
	聴覚、平衡機能、音声・言語障害	2人 (2人)	-人	-人	2人
	肢体不自由	3人 (3人)	-人	-人	3人
	内部障害	-人 (-人)	-人	-人	-人
	重複障害	-人 (-人)	-人	-人	-人
知的障害		70人 (64人)	-人	-人	70人
精神障害（発達障害、高次脳機能障害を含まない）		-人	-人	-人	-人
発達障害		-人	-人	-人	-人
高次脳機能障害		-人	-人	-人	-人
難病		-人	-人	-人	-人
合計		75人	-人	-人	75人

会社・事業所名

E社

《ここからは、特例子会社の方が回答してください》

4 特例子会社について

問 23 貴社の従業員数を教えてください。

		貴社（特例子会社）	親会社
従業員数	障害者	20人（うち新宿区民 - 人）	11200人
	スタッフ	6人	

問 24 貴社で雇用している障害者の障害種別と、雇用形態を教えてください。「重度障害者」は障害者雇用促進法上の重度判定を受けた方のことです。該当する欄に人数をご記入ください。

障害の種類		人数	雇用形態		
		○ はうち重度障害者	正社員	契約社員	パート
身体障害	視覚障害	-人（-人）	-人	-人	-人
	聴覚、平衡機能、音声・言語障害	-人（-人）	-人	-人	-人
	肢体不自由	-人（-人）	-人	-人	-人
	内部障害	-人（-人）	-人	-人	-人
	重複障害	-人（-人）	-人	-人	-人
知的障害		17人（8人）	-人	17人	-人
精神障害（発達障害、高次脳機能障害を含まない）		3人	-人	3人	-人
発達障害		-人	-人	-人	-人
高次脳機能障害		-人	-人	-人	-人
難病		-人	-人	-人	-人
合計		20人	-人	20人	-人

会社・事業所名

F社

《ここからは、特例子会社の方が回答してください》

4 特例子会社について

問 23 貴社の従業員数を教えてください。

		貴社（特例子会社）	親会社
従業員数	障害者	27人（うち新宿区民 2人）	-人
	スタッフ	11人	

問 24 貴社で雇用している障害者の障害種別と、雇用形態を教えてください。「重度障害者」は障害者雇用促進法上の重度判定を受けた方のことです。該当する欄に人数をご記入ください。

障害の種類		人数	雇用形態		
		() はうち重度障害者	正社員	契約社員	パート
身体障害	視覚障害	-人 (-人)	-人	-人	-人
	聴覚、平衡機能、音声・言語障害	-人 (-人)	-人	-人	-人
	肢体不自由	-人 (-人)	-人	-人	-人
	内部障害	-人 (-人)	-人	-人	-人
	重複障害	-人 (-人)	-人	-人	-人
知的障害		21人 (12人)	-人	-人	21人
精神障害（発達障害、高次脳機能障害を含まない）		6人	-人	-人	6人
発達障害		-人	-人	-人	-人
高次脳機能障害		-人	-人	-人	-人
難病		-人	-人	-人	-人
合計		27人	-人	-人	27人

会社・事業所名

G社

《ここからは、特例子会社の方が回答してください》

4 特例子会社について

問 23 貴社の従業員数を教えてください。

		貴社（特例子会社）	親会社
従業員数	障害者	20人（うち新宿区民 0人）	26人
	スタッフ	6人	

問 24 貴社で雇用している障害者の障害種別と、雇用形態を教えてください。「重度障害者」は障害者雇用促進法上の重度判定を受けた方のことです。該当する欄に人数をご記入ください。

障害の種類		人数	雇用形態		
		() はうち重度障害者	正社員	契約社員	パート
身体障害	視覚障害	-人 (-人)	-人	-人	-人
	聴覚、平衡機能、音声・言語障害	-人 (-人)	-人	-人	-人
	肢体不自由	-人 (-人)	-人	-人	-人
	内部障害	-人 (-人)	-人	-人	-人
	重複障害	-人 (-人)	-人	-人	-人
知的障害		20人 (7人)	-人	-人	20人
精神障害（発達障害、高次脳機能障害を含まない）		-人	-人	-人	-人
発達障害		-人	-人	-人	-人
高次脳機能障害		-人	-人	-人	-人
難病		-人	-人	-人	-人
合計		20人	-人	-人	20人

会社・事業所名

H社

《ここからは、特例子会社の方が回答してください》

4 特例子会社について

問 23 貴社の従業員数を教えてください。

		貴社（特例子会社）	親会社
従業員数	障害者	42人（うち新宿区民 - 人）	-人
	スタッフ	3人	

問 24 貴社で雇用している障害者の障害種別と、雇用形態を教えてください。「重度障害者」は障害者雇用促進法上の重度判定を受けた方のことです。該当する欄に人数をご記入ください。

障害の種類		人数	雇用形態		
		() はうち重度障害者	正社員	契約社員	パート
身体障害	視覚障害	1人(1人)	-人	1人	-人
	聴覚、平衡機能、音声・言語障害	1人(1人)	-人	1人	-人
	肢体不自由	4人(1人)	-人	4人	-人
	内部障害	6人(6人)	-人	6人	-人
	重複障害	-人(-人)	-人	-人	-人
知的障害		23人(4人)	-人	3人	20人
精神障害（発達障害、高次脳機能障害を含まない）		3人	-人	-人	3人
発達障害		4人	-人	-人	4人
高次脳機能障害		0人	-人	-人	-人
難病		0人	-人	-人	-人
合計		42人	-人	15人	27人

資料編

住まいの
在宅の方

くみん せいかつ かん ちようさ 区民の生活のニーズに関する調査

日頃から、新宿区の福祉行政にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。
新宿区では、皆様の生活実態や意向を把握して、福祉施策を計画的に運んでいくための基礎資料とするために、調査を実施します。

以下のいずれか該当する区内在住の18歳以上の方の中から無作為抽出により対象者とさせていただきます。

- ・身体障害者手帳をお持ちの方
- ・愛の手帳をお持ちの方
- ・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方
- ・難病患者の方
- ・手帳をお持ちではなく障害福祉サービスなどを利用している方
- ・自立支援医療（精神通院医療）の給付を受けている方

ご回答いただいた内容は、統計的に集計・分析して、報告書として発行するとともに新宿区公式ホームページでもお知らせします。この調査は定期的に実施しており、前回調査（平成25年度）において皆様から得られたご回答は、福祉施策や事業の充実・改善のための貴重な資料となりました。今回の調査結果についても、新宿区障害者計画・第5期障害者福祉計画策定の参考にさせていただきます。

無記名アンケートの方式でご回答いただきましたので、個人が特定されたり、個人のご回答内容が明らかになることはありません。この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力ください。よろしくお願いいたします。

平成28年11月
新宿区 福祉部

※ 点字の調査票も用意しておりますのでご希望の方はご連絡ください。お送りいたします。
※ 新宿区内に住民登録をしている住所に郵送していますが、新宿区内に住所をおいたまま施設に入所をしている方はご連絡ください。該当する調査票をお送りいたします。

※ この調査は在宅の方を対象としており、グループホーム・福祉ホームにお住まいの方にも対象に含まれます。

記入上のお願い

- この調査票には、名前を書かないでください。
- 回答は、この調査票に直接書いてください。
- 回答は、あてはまる番号に○印をつけてください。
- 質問によっては、一部の方のみに回答していただくものもあります。
- 回答が「その他」になる場合は、（ ）内にその内容を書いてください。
- 回答したくない質問は答えずに、次の質問に進んでください。
- 回答に要する時間はおおむね30分程度です。

記入の説明と記入のお手伝い

記入についての説明や、記入のお手伝いをします。ご希望の方は別紙の記入支援会場をご確認の上、ご都合の合う会場に調査票を持ってお越しください。

問合せ先

福祉部 障害者福祉課 福祉推進係 電話 03(5273)4516、ファクス 03(3209)3441
〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1 新宿区役所2階
（土曜・日曜・祝日を除く、午前8時30分から午後5時まで）

返送期限について

平成28年11月28日（月）までに、ポストに投函してください
同封の「返信用封筒」に、回答を書き入れたこの調査票を入れて、
ポストに投函してください。切手を貼る必要はありません。

こちら調査がはじまります

この調査票で、「あなた」とあるのは、『あて名ご本人』のことです。

できるかぎりあて名ご本人がお答えください。ご本人が回答できない場合は、ご家族や介助の方が、あて名ご本人の立場や利益に沿った回答となるよう、現在の状況を踏まえてご回答ください。

問 1 この調査票に回答していただく方はどなたですか。(○はひとつ)

- 1 あて名ご本人
- 2 ご家族の方
- 3 その他 ()

1 ご本人について

問 2 あなたの性別をお聞きます。(○はひとつ)

- 1 男性
- 2 女性

問 3 あなたの年齢をお聞きます。平成28年11月1日現在の満年齢をお書きください。

歳

問 4 あなたと一緒に住んでいるのは誰ですか。※「4子」を回答した方は「18歳未満・18歳以上」のどちらかあてはまる方にも○を。(○はいくつでも)

- 1 父親
- 2 母親
- 3 配偶者
- 4 子 (18歳未満・18歳以上)
- 5 兄弟姉妹
- 6 その他親族
- 7 ひとり暮らし
- 8 グループホーム等の集団生活
- 9 その他 ()

2 障害や健康の状況について

問 5 あなたが持っている手帳や医療券などの種類をお聞きます。手帳をお持ちの方は、等級・程度もご記入ください。また、自立支援医療や難病医療の給付を受けていたり、発達障害、高次脳機能障害などの診断を受けている方は、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 身体障害者手帳 (級)
 - 2 精神障害者保健福祉手帳 (級)
 - 3 自立支援医療 (精神通院医療) の給付
 - 4 難病医療の給付
- (病名) ()
- (診断を受けてからの期間) (年)
- 5 高次脳機能障害

→1～5のいずれかに○がついた方は問6～問9へ

- 6 愛の手帳 (度)
- 7 発達障害 ※下記選択肢の中からあてはまる診断名に○を

- ①自閉症スペクトラム
- ②注意欠陥多動性障害ADHD
- ③学習障害LD
- ④発達性協調運動障害

→1～5に○がつかなかった方は問10へ

問 6 問5で「身体障害者手帳」と回答された方にお聞きます。それ以外の方は問7へお進みください。

どのような障害がありますか。(○はいくつでも)

- 1 肢体不自由 (上肢・下肢・体幹等)
 - 2 音声・言語・そしゃく機能障害
 - 3 視覚障害
 - 4 聴覚・平衡機能障害
 - 5 内臓障害 (心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能、肝臓)
- 問7～問9の設問文を読んで、あてはまるものがあれば回答してください。

問7 問5で「2 精神障害者保健福祉手帳」または「3 自立支援医療(精神通院医療)の給付、もしくは両方を回答された方にお聞きします。それ以外の方は問8へお進みください。どのような障害がありますか。(○はいくつでも)

- 1 統合失調症
 - 2 気分障害(うつ病・双極性障害)
 - 3 神経症(不安障害・パニック障害)
 - 4 依存症(アルコール・薬物等)
 - 5 その他()
 - 6 わからない
- ・強迫性障害・PTSD・摂食障害など
- 問8～問9の設問文を読んで、あてはまるものがあれば回答してください。

問8 問5で「4 難病医療の給付」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は問9へお進みください。

平成25年4月以降、障害福祉サービスの対象者に難病の方が追加されていますが、知っていますか。(※平成27年7月時点での指定難病は332疾病となっています。)(○はいくつ)

- 1 知っている
 - 2 知らない
- 問9の設問文を読んで、あてはまる方は回答してください。

問9 問5で「5 高次脳機能障害」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は問10へお進みください。

あなたには、次のような症状がありますか。(○はいくつでも)

- 1 ミスが多い。じつくりと物事に集中できない(注意障害)
 - 2 新しいことを覚えることができない(記憶障害)
 - 3 日常生活や仕事の内容を計画して実行できない(遂行機能障害)
 - 4 自分の行動や感情をコントロールすることができない(感情失禁・興奮状態)
 - 5 目の前の空間の半分に注意が向かない(半側空間無視)
 - 6 話す、聞いて理解する、書く、読むことがうまくできない(失語症)
 - 7 動作の手順や物の使い方がわからない(失行症)
 - 8 麻痺している身体のことを忘れてしまう(半側身体失調)
 - 9 地理や場所がわからなくなる(地誌的障害)
 - 10 見ているものや聞いているものがわからなくなる(失認症)
 - 11 その他(抑うつ状態・幻覚妄想等)
- 問10へ進んでください。

ここからは全ての方にお聞きします。

問10 あなたの障害や心身の不調について、あなたやご家族の方などが最初に気づいた時期をお聞きます。(○はいくつ)

- | | | | | | |
|---|--------|----|--------|----|--------|
| 1 | 生まれたとき | 6 | 19～29歳 | 11 | 65～69歳 |
| 2 | 0～5歳 | 7 | 30～39歳 | 12 | 70～74歳 |
| 3 | 6～12歳 | 8 | 40～49歳 | 13 | 75歳以上 |
| 4 | 13～15歳 | 9 | 50～59歳 | | |
| 5 | 16～18歳 | 10 | 60～64歳 | | |

問11 あなたは日常的に必要としている医療的ケアがありますか。(○はいくつでも)

- 1 服薬の支援
- 2 8 嚥頭エアウェイ
- 3 吸引
- 4 9 バルスオキシメーター
- 5 吸入・ネブライザー
- 6 10 気管切開部の管理(ガーゼ交換等)
- 7 経管栄養
- 8 11 人工呼吸器の管理
- 9 中心静脈栄養
- 10 12 その他
- 11 導尿
- 12 ()
- 13 13 特に必要としていない
- 14 酸素療法

問12 あなたは、障害や心身の不調について、どのような医療機関で治療を受けたら、相談をしたりしていただけますか。(○はいくつでも)

- 1 専門の診療所・クリニック
- 2 4 その他
- 3 一般病院・大学病院
- 4 ()
- 5 専門病院(療育・リハビリ科・精神科など)
- 6 医療機関には相談していない

問13 あなたは、問12の医療機関以外に、普段の健康や体調が悪い時（風邪など）に気軽に相談できる診療所などの「かかりつけ医」がいますか。（あてはまるものに○）

- 1 診療所・クリニック（通院）
- 2 診療所・クリニック（往診や訪問診療）
- 3 その他（ ）
- 4 なし

「かかりつけ医」とは、身近な地域の診療所などで定期的に医療を受けたり、健康に関する相談ができたりする医師のことです。

問14 障害等について、受診状況等をお聞きます。（あてはまるものに○）

- 1 定期的に通院している
- 2 定期的に訪問診療を受けている
- 3 定期的に訪問看護を受けている
- 4 現在入院している
- 5 その他（ ）
- 6 現在は通院していない

問15 あなたは、毎日の生活の中のどのような場面、介助や支援が必要ですか。（○はいくつでも）

- 1 食事
 - 2 排せつ
 - 3 入浴
 - 4 寝返り
 - 5 着替え
 - 6 調理・掃除
 - 7 洗濯等の家事
 - 8 洗顔・歯磨き
 - 9 代読・代筆
 - 10 電話の利用・代行
 - 11 お金の管理
 - 12 日常の買い物
 - 13 通院・通学・通勤
 - 14 通院・通学・通勤
 - 15 日常生活に必要な書類の伝達
 - 16 日常生活に必要な書類の伝達
 - 17 薬の管理
 - 18 区役所や事業者などの手続き
 - 19 その他
 - 20 介助や支援は必要ない
- 20に○をつけた方は問20へ
- 以外の外出

問16 毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きます。あなたを主に介助・支援している人はどなたですか。（○はひとつ）

- 1 父親
 - 2 母親
 - 3 配偶者
 - 4 子
 - 5 その他親族
 - 6 ホームヘルパー
 - 7 ボランティア
 - 8 その他（ ）
- 1～5のいずれかに○をつけた方は問17へ
- 6～8のいずれかに○をつけた方は問19へ

問17 問16で「1」～「5」のうちいずれかを回答された方にお聞きます。あなたを主に介助・支援している人は何歳ですか。（○はひとつ）

- 1 19歳以下
 - 2 20～29歳
 - 3 30～39歳
 - 4 40～49歳
 - 5 50～59歳
 - 6 60～69歳
 - 7 70～79歳
 - 8 80歳以上
- 問18へ進んでください。

問18 あなたを主に介助・支援している人は、あなた以外の人を介助・支援することがありますか。あなた以外への介助・支援がある場合、それはどのようなものですか。（○はいくつでも）

- 1 高齢者の介護
- 2 乳幼児の子育て
- 3 病人の看護
- 4 障害者の介護
- 5 その他
- 6 ない

問19 主な介助者があなたを介助・支援できなくなった場合はどうしますか。
(○はいくつでも)

- 1 一緒に住んでいる家族に頼む
- 2 別に住んでいる家族に頼む
- 3 ホームヘルパーを利用する
- 4 ショートステイを利用する
- 5 施設に入所する
- 6 グループホーム・福祉ホームに入所する
- 7 病院に入院する
- 8 成年後見人を立てる
- 9 その他 ()
- 10 まだわからない

3 相談や福祉の情報について

問20 あなたには、日常生活で困っていることがありますか。
(○はいくつでも)

- 1 健康状態に不安がある
- 2 看直しや食事などが十分でない
- 3 家事などが十分できない
- 4 介助者の負担や健康が心配
- 5 外出に支障がある
- 6 進学・学校について困っている
- 7 就労について困っている
- 8 緊急時の対応に不安がある
- 9 災害時の避難に不安がある
- 10 家族関係に支障がある
- 11 家族以外の人間関係に支障がある
- 12 障害や病気に対する周囲の理解がない
- 13 困ったとき相談する相手がいない
- 14 役所などの手続きが難しい
- 15 病気や障害を理解した上で診てもらえる診療所が近くにない
- 16 経済的に不安がある
- 17 将来に不安を感じている
- 18 その他 ()
- 19 特にない

問21 あなたが困ったときに相談する相手は誰ですか。(○はいくつでも)

- 1 家族や親族
- 2 近所の人
- 3 友人・知人・職場の人
- 4 民生委員・児童委員
- 5 障害等の当事者会や家族の会
- 6 身体障害者相談員
- 7 ヘルパー等福祉従事者
- 8 施設の職員
- 9 医療関係者 (医師・看護師・ソーシャルワーカー)
- 10 障害者福祉課の窓口
- 11 保健センター(保健師)
- 12 区立障害者福祉センター
- 13 福祉事務所のケースワーカー
- 14 新宿区社会福祉協議会
- 15 地域活動支援センター
- 16 高齢者総合相談センター
- 17 インターネット等の情報 (メール相談、SNS等を含む)
- 18 その他 ()
- 19 相談する相手はいない

問22 あなたは、区役所などに気軽に相談するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 電話やFAXでの相談
- 2 電子メールでの相談
- 3 自宅を訪ねる相談
- 4 休日や夜間の相談
- 5 専門性の高い相談
- 6 身近な地域での相談
- 7 定期的な相談
- 8 障害者やその家族など同じ立場の人による相談
- 9 どんな相談にも対応できる総合窓口
- 10 相談窓口に関する情報提供
- 11 プライバシーの遵守
- 12 その他 ()
- 13 特にない

問23 あなたは、福祉に関する情報を、主にどこから得ていますか。
(○はいくつでも)

- 1 区の広報紙
- 2 区のホームページ
- 3 区の障害者福祉課
- 4 保健センター
- 5 福祉施設
- 6 テレビ・ラジオ
- 7 インターネット
- 8 新聞・書籍
- 9 障害者の当事者会や家族の会
- 10 医療機関
- 11 その他 ()
- 12 特にない

4 日中活動や仕事について

問24 あなたは、平日の日中、主にどのようなように過ごしていますか。(○はいくつ)

- 1 正社員・正職員として働いている
- 2 パート・アルバイトなどで働いている
- 3 自宅で働いている
(自営業・内職・家業の手伝いなど)
- 4 福祉的就労をしている(作業所など)

5 福祉的就労以外の通所施設(生活介護・自立訓練・地域活動支援センター等)に通っている

- 6 大学・学校などに通っている
- 7 職業訓練中
- 8 就労活動中
- 9 自宅で家事をしている

- 10 育児をしている
- 11 休職中
- 12 その他 ()

13 特になにもしていない →13に○をつけた方は問27へ

→1~4のいずれかに○をつけた方は
問25、26へ

→5~12のいずれかに○をつけた方は
問28へ

問25 問24で「働いている(1~4)」と回答した方にお聞きします。
仕事で得ている給与・工賃の金額について、税金を引く前の月額はいくらですか。(○はいくつ)

- 1 1万円以下
- 2 1万円以上3万円未満
- 3 3万円以上5万円未満
- 4 5万円以上10万円未満
- 5 10万円以上15万円未満
- 6 15万円以上20万円未満
- 7 20万円以上

問26 問24で「働いている(1~4)」と回答した方にお聞きします。
仕事をすることで困っていることはありますか(○はいくつでも)

- 1 収入が少くない
- 2 体力的につらい
- 3 精神的につらい
- 4 通勤が大変
- 5 職場の人間関係
- 6 職場での相談相手がいらない
- 7 職場の障害理解が不足している
- 8 職場環境が障害に配慮していない
- 9 仕事を覚えるのが遅い、覚えられなくて叱られる
- 10 その他 ()
- 11 特にない

→11に○をつけた方は
問28へ進んでください。

問27 問24で「13 特になにもしていない」と回答した方にお聞きします。
あなたが就労や通所などをしていない理由は何ですか。
(○はいくつでも)

- 1 障害の程度や症状のため
- 2 高筋のため
- 3 職場の人間関係に不安があるため
- 4 職場の障害理解に不安があるため
- 5 職場や活動の場に通うのが困難なため
- 6 周囲から止められているため
- 7 自分に合った仕事がないため
- 8 自分に合った活動の場がないため
- 9 働く自信がないため
- 10 働く必要がないため
- 11 働ける場所があるか知らない
- 12 その他 ()
- 13 特に理由はない

→13に○をつけた方は
問28へ進んでください。

ここからは全ての方にお聞きます。

問28 障害者が一般就労するためにはどのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 就労に向けての相談支援
- 2 就労してからの相談支援
- 3 転職・退職に際した相談支援
- 4 障害特性に合った職業訓練
- 5 職場での就労体験
- 6 自分に合った仕事を身につける支援
- 7 障害者向けの求人情報の提供
- 8 障害特性に合った仕事を見つける支援
- 9 障害に際した柔軟な勤務体系
- 10 職場の障害理解の促進
- 11 ジョブコーチなどからの支援
- 12 職場のバリアフリー化
- 13 通勤経路のバリアフリー化
- 14 その他
- 15 特にない

問29 あなたは、休日や時間に余裕のあるときに、どのように過ごしていますか。(○はいくつでも)

- 1 趣味や学習活動
- 2 スポーツ・運動
- 3 ボランティア活動
- 4 友人・知人と会う
- 5 演劇や映画の鑑賞
- 6 買い物
- 7 飲食店に行く
- 8 読書
- 9 旅行
- 10 青年教室
- 11 家でくつろぐ
- 12 地域の行事への参加
- 13 近所の散歩
- 14 その他
- 15 特にない

5 外出やバリアフリーについて

問30 あなたはどのくらいの頻度で外出していますか。(○はひとつ)

- 1 ほぼ毎日
- 2 週に3~4回
- 3 週に1~2回
- 4 月に1~3回
- 5 あまり外出しない

問31 あなたは、外出に関してどのようなことで困っていますか。(○は3つまで)

- 1 歩道の段差や傾斜があると移動が困難
- 2 建物の段差や階段があると移動が困難
- 3 バスやタクシーの利用が困難
- 4 駅構内の移動や乗り換えが困難
- 5 券売機の利用が困難
- 6 トイレの利用が困難
- 7 疲れたときの休憩場所がない
- 8 自動車・自転車で危険を感じる
- 9 立て看板や路上駐輪などにより、交通に支障がある
- 10 外出するのに支援が必要である
- 11 外出しなくても介助者がいらない
- 12 その他
- 13 特にない

問32 あなたのお住まいをお聞きます。(○はひとつ)

- 1 持ち家(一戸建て)
- 2 持ち家(集合住宅)
- 3 民間賃貸住宅
- 4 公営住宅(都営・区営)・公社・公団
- 5 グループホーム・福祉ホ-ム・通勤寮など
- 6 介護保険施設・保護施設
- 7 その他

問33 あなたは、住まいに関してどのような支援を必要としていますか。(○はいくつでも)

- 1 住宅改造費用の貸付・助成
- 2 家具転倒防止や耐震化など災害対策
- 3 公営住宅への優先入居の拡充
- 4 民間賃貸住宅の入居支援(部屋探しを含む)
- 5 グループホームなどの整備
- 6 その他
- 7 特にない

6 福祉サービスについて

問34 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また、今後（2～3年以内）に利用したいと思いませんか。既に利用しており、今後も利用したい方は「1」、 「2」両方に○をつけてください。

※ 問34 でお伺いするサービスは、障害福祉サービス等です。
介護保険サービスなど高齢者向けサービスは含めないでください。

(1) 自宅での生活を支援するサービス

サービス名	サービスの内容	回答はどちらに ↓		
		1 現在 利用している	2 今後 利用したい	3 今 は利用 を 考 え て い な い
① 居宅介護 (ホームヘルプ)	自宅で身体介護・家事援助や通院等介助を行います。	1	2	3
② 重度訪問 介護	重度の障害者に、総合的な介護を行います。	1	2	3
③ 重度 障害者等 包括支援	常に介護を必要として、意思疎通に著しい困難を有する重度の障害者に、包括的なサービスを提供します。	1	2	3
④ 生活サポート 事業	必要に応じて、家事などの支援を行います。	1	2	3

(2) 外出を支援するサービス

サービス名	サービスの内容	回答はどちらに ↓		
		1 現在 利用している	2 今後 利用したい	3 今 は利用 を 考 え て い な い
① 同行援護	視覚障害者の外出に同行し、移動の援護や移動に必要な情報の提供をします。	1	2	3
② 行動援護	行動障害のある方に、移動介助や危険回避の援護などを行います。	1	2	3
③ 移動支援 事業	社会参加のための移動に必要な支援をヘルパーが行います。	1	2	3
④ タクシー 利用券	下肢の障害者等で、日常生活を営むのに支障がある方にタクシー券を交付します。	1	2	3
⑤ リフト付きタ クシーの運行	リフト付きタクシーの予約、迎車、ストレッチャー利用券を別に交付します。	1	2	3
⑥ 自動車燃 料費助成	車いすやストレッチャーで乗車できるタクシーを運行します。	1	2	3
	自動車等の燃料費を助成します。	1	2	3

(3) 昼間の活動を支援するサービス

サービス名	サービスの内容	回答はどちらに ↓		
		1 現在 利用している	2 今後 利用したい	3 今は利用 を 考えて いない
① 生活介護	常に介護を必要とする障害者に、施設などで介護や活動機会を提供します。	1	2	3
② 地域活動支援センター事業	地域活動支援センターで、日中生活介護の受給を行っている方を対象に、土曜日の日中に、施設での活動の場を提供します。	1	2	3
③ 日中一時支援事業（工種ケアポート）	生活介護の受給を受けている方を対象に、土曜日の日中に、施設での活動の場を提供します。	1	2	3

(4) 一時的な支援を行うサービス

サービス名	サービスの内容	回答はどちらに ↓		
		1 現在 利用している	2 今後 利用したい	3 今は利用 を 考えて いない
① 短期入所（ショートステイ）	介護者が介護できないとき、短期間の入所による介護を行います。	1	2	3
② 日中一時支援事業（日中ジョート）	介護を行う方の都合等で一時的に見守りなどが必要な方に対し、日中、入浴や食事などの介護を行います。	1	2	3

(5) 自立や就労を支援するサービス

サービス名	サービスの内容	回答はどちらに ↓		
		1 現在 利用している	2 今後 利用したい	3 今は利用 を 考えて いない
① 自立訓練（機能訓練・生活訓練）	自立生活のために、身体機能や生活能力向上のための訓練を行います。	1	2	3
② 就労移行支援	一般就労を希望する障害者に、一定期間就労のための訓練を行います。	1	2	3
③ 就労継続支援（A型・雇用型）	障害者に雇用型の就労や生産活動の機会を提供します。	1	2	3
④ 就労継続支援（B型・非雇用型）	障害者に就労や生産活動の機会を提供します。	1	2	3
⑤ 障害者就労支援事業	障害者の一般就労に向けた支援、職場定着への支援、日常生活への支援などを専門のコordinatorにより実施します。	1	2	3
⑥ 自立生活援助 ※平成30年度以降の新たなサービス	定期的な巡回訪問や随時の対応により、円滑な地域生活に向けた相談・助言を行います。		2	3
⑦ 就労定着支援 ※平成30年度以降の新たなサービス	就業に伴う生活面の課題に対応するため、事業所・家族との連絡調整等の支援を行います。		2	3

(6) 住まいの場・住まいに関するサービス

サービス名	サービスの内容	回答はこちらに ↓		
		1 現在 利用している	2 今後 利用したい	3 今は利用 を 考えて いない
① 施設入所支援	障害者支援施設に入所する障害者に、介護などの支援を提供します。		2	3
② 療養介護	医療を必要とする障害者に、病院などで機能訓練や看護・介護を行います。	1	2	3
③ 共同生活援助	共同生活を営む住居で、日常生活の援助を行います。居室は原則個室です。	1	2	3
④ 福祉ホーム	低額な料金で居室等を提供するとともに、日常生活に必要な支援を行います。	1	2	3
⑤ 居住サポート	保証人がいない等の理由で入居が困難な方に、入居に必要な支援を行います。	1	2	3

(7) 補装具費・日常生活用具・住宅設備改善

サービス名	サービスの内容	回答はこちらに ↓		
		1 現在 利用している	2 今後 利用したい	3 今は利用 を 考えて いない
① 補装具費の支給等	障害者の身体機能を補完するために作成された補装具の費用を支給します。	1	2	3
② 日常生活用具給付事業	日常生活における福祉用具の給付を行います。	1	2	3
③ 住宅設備改善費の給付	在宅の重度の障害者の住宅設備を事前の申請により改善します。	1	2	3

(8) 日常生活のサービス

サービス名	サービスの内容	回答はこちらに ↓		
		1 現在 利用している	2 今後 利用したい	3 今は利用 を 考えて いない
① 相談支援事業	地域生活を支援するための様々な相談に応じます。	1	2	3
② 意思疎通支援事業	手話通訳者、要約筆記者等の派遣により、コミュニケーションを支援します。	1	2	3
③ 心身障害者理美容サービス	外出が困難な方等に、理容師等が自宅出張して調整するための費用を助成します。	1	2	3
④ 介護人休養	重度心身障害者を常時介護している方に、介護人を派遣して休養の機会を提供します。	1	2	3
⑤ 在宅重症心身障害児等在宅レスパイトサービス	医療的ケアの必要な重症心身障害児(者)の自宅において、訪問看護師が、医療的ケアをともなう見守りを行います。	1	2	3
⑥ 紙おむつ費用助成	重度心身障害者に、紙おむつ費用を助成します。	1	2	3
⑦ 巡回入浴サービス	在宅で履きぎりの重度心身障害者に、巡回入浴車を派遣して、入浴の機会を提供します。	1	2	3
⑧ 電話使用料の助成	外出が困難な方に、電話使用料を助成します。	1	2	3
⑨ 区立障害者福祉センターの事業	視覚障害者通所訓練、講話講習会、入浴、給食、機能訓練、言語機能訓練、相談支援等を実施します。	1	2	3

(9) 医療に関する支援

サービス名	サービスの内容	回答はどちらに ↓		
		1 現在 利用している	2 今後 利用したい	3 今は利用 を 考えて いない
① 歯科診療	専門の医療機関で診察を行います。	1	2	3
② 医療費助成	身体障害者手帳、療の手帳所持者及び難病医療券を所持の方が、医療保険で診察等を受けた場合、自己負担分の費用を助成します。	1	2	3
③ 自立支援医療	障害を軽減する医療（更生医療・育成医療・精神通院）を給付します。	1	2	3

(10) 精神障害者を対象とした支援

サービス名	サービスの内容	回答はどちらに ↓		
		1 現在 利用している	2 今後 利用したい	3 今は利用 を 考えて いない
① 保健センター テイクア	グループでの活動を通して生活習慣や対人関係を築けるようになるための場の提供を行います。	1	2	3
② 精神科医療 テイクア、 ナイトケア	精神科治療（医療保険）の一環。グループ活動を通して、生活習慣や対人関係の練習など社会復帰の準備を行います。	1	2	3
③ 精神障害者等 社会参加促進 配食サービス	単身生活の精神障害者等に業者が配食をし、安否確認を行うとともに、保健師や相談員による訪問指導を行います。	1	2	3
④ 精神障害者 社会適応 訓練事業	一般の協力事業所で一定期間、通所による就労訓練を行います。訓練手当の支給が伸びます。	1	2	3

(11) 難病患者に関する支援

サービス名	サービスの内容	回答はこちらに ↓		
		1 現在 利用している	2 今後 利用したい	3 今は利用 を 考えて いない
① 在宅難病 患者一時 入院事業	難病医療の給付を認めている 方で、介護者が一時的に介護できな くなった場合、東京都が委託してい る病院内に短期間入院すること ができます。	1	2	3
② パーキンソン 体操教室	パーキンソン病対象疾患の 患者及び家族の方に、理学 療法士による運動の指導を行 います。	1	2	3
③ 難病患者・ 家族会 「しんじゆく 難病サロン」	難病を抱えながらも自分らし く生活するため、療養生活の 情報交換や体験を分かち合う ことができます。	1	2	3

(12) 災害や将来への備え

サービス名	サービスの内容	回答はこちらに ↓		
		1 現在 利用している	2 今後 利用したい	3 今は利用 を 考えて いない
① 成年後見 制度支援事業	判断能力が不十分で、自分の 財産や権利を守ることが困難な 方に対して援助を行います。	1	2	3
② 地域福祉権利 擁護事業	障害などの理由で判断能力 が十分ではない方の金銭管理 やサービス利用などをお手伝い する制度です。	1	2	3
③ 災害時 要援護者登録 名簿への登録	災害発生時に自分の身を守ること が困難な方々を本人の申し出に より事前に把握して、災害時に迅速 な援助を行います。	1	2	3
④ 緊急通報 システム・火災 安全システム	ひとり暮らし等の在宅重度 心身障害者等が緊急事態 に陥ったとき、無線発報器等に より救護を行います。	1	2	3

問35 あなたには、サービス利用に関して困っていることがありますか。
(○はいくつでも)

- 1 サービスに関する情報が少ない
- 2 区役所での手続きが大変
- 3 利用できる回数や日数が少ない
- 4 事業者との利用日等の調整が大変
- 5 サービスの質が良くない
- 6 利用したいサービスが利用できない
- 7 利用者負担(自己負担)が大き
- 8 その他
- 9 特にない

問36～38を回答するにあたっての解説

障害者の方のより良い生活を実現するため、障害福祉サービスを利用する方は「サービス等利用計画」を作ることとなります。自分で自分のサービスを組み立てるセルフプランもあります。

● サービス等利用計画
障害者総合支援法が定めている障害福祉サービスを利用する際に必要な、ご本人のための計画です。
ご本人・ご家族から、区の指定を受けた特定相談支援事業所の相談支援専門員に依頼して、ご本人・ご家族の希望する生活やサービスの利用意向に基づいた計画を作成してもらいます。

ご本人がサービスを実際に利用しようとする場合には、サービス提供事業所(ホームヘルパーや短期入所、就労支援事業所等)の手配が必要です。「サービス等利用計画」を作成すると、相談支援専門員が、サービス提供事業所の手配や連絡調整を行います。

新宿区が指定した18歳以上の方のための特定相談支援事業所は、区役所の障害者福祉課基幹相談支援センターを始め、19 所の民間の事業所があります(平成28年11月現在)。

● セルフプラン
相談支援専門員に依頼せずに、ご本人・ご家族や身近な支援者が計画を作成することもできます。サービス提供事業所の手配はご本人・ご家族が行うこととなります。

問36 障害福祉サービスを利用している方にお聞きします。
サービス等利用計画について、現状を教えてください。
(○はいくつ)

- 1 相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している
→1に○をつけた方は問37、38へ進んでください
- 2 自分たち家族や支援者とセルフプランを作成している
- 3 介護保険と障害福祉サービスの併給を受けているので、ケアマネジャーにケアプランを作成依頼している

→2、3に○をつけた方は問39へ進んでください

問37 問36で「1」と回答した方にお聞きします。サービス等利用計画を作成しようとした理由は何か(○はいくつでも)

- 1 相談支援専門員から利用可能なサービスを教えてもらえなかったから
- 2 利用したいサービスの提供事業所を一緒に探してもらえなかったから
- 3 生活上の様々なことを相談できると思ったから
- 4 その他()
- 5 特にない

問38 問36で「1」と回答した方にお聞きします。サービス等利用計画を作成してみたいか(○はいくつでも)

- 1 思った通りに相談できてよかった
- 2 思ったほど相談できなかつた
- 3 書類作成などの事務手続きが複雑で、負担に感じた
- 4 家庭訪問をされて面接・相談するのが、負担に感じた
- 5 その他()
- 6 特にない

問39 65歳以上の方（40～64歳で特定疾病の方を含みます）にお聞きします。
（○はひとつ）

- 1 要介護・要支援認定を受けており、介護保険サービスと障害福祉サービスを合わせて利用している
- 2 要介護・要支援認定を受けており、介護保険サービスだけを利用している
- 3 要介護・要支援認定を受けているが、介護保険サービスも障害福祉サービスも利用していない
- 4 要介護・要支援認定を受けていないし、介護保険サービスも障害福祉サービスも利用していない
- 5 介護保険が利用できる年齢に到達しているが、障害固有のサービス（同行援護や就労支援など）を利用中なので、介護保険サービスを利用していない
- 6 要介護・要支援認定で非該当になったので、介護保険サービスを利用せず、障害福祉サービスを利用している
- 7 その他（ ）

問40 65歳以上の方（40～64歳で特定疾病の方を含みます）で、以前は障害福祉サービスを利用し、現在は介護保険サービスを利用中の方にお聞きします。
サービス利用に関してどんなことがありますか（○はいくつでも）

- 1 ケアマネージャーに何でも相談できるようになってよかった
- 2 福祉用具がレンタルできるようになってよかった
- 3 障害福祉サービスにない訪問リハビリ、夜間対応型訪問といった介護保険サービスが使えるようになってよかった
- 4 サービスの支給量が減ってしまった
- 5 同じサービス提供事業所を利用し続けることができず、介護保険事業所に変更することになった
- 6 利用者自己負担が増額した
- 7 障害福祉サービスの上乗せの相談手続きが煩雑だった
- 8 その他（ ）
- 9 特になし

7 権利擁護について

問41 障害者差別解消法が平成28年4月1日に施行（運用開始）されたことを知っていますか。（○はひとつ）

- 1 内容まで知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない
- 4 わからない

問41～44 を回答するにあたっての解説

障害者差別解消法

平成28年4月1日からスタートした障害者差別解消法では「不当な差別的取扱い」を禁止し、「合理的配慮の提供」を求めています。そのことにより、障害のある人もない人も共に暮らせる社会を目指しています。

● 「不当な差別的取扱いの禁止」とは

この法律では、国・都道府県・市町村などの行政機関や、会社やお店などの事業者が、障害のある人に対して、正当な理由なく、障害を理由として差別することを禁止しています。これを「不当な差別的取扱いの禁止」といいます。

例：「障害を理由に窓口対応を拒否される」「車いすを理由に交通機関の乗車を拒否される」など

● 「合理的配慮の提供」とは

障害のある人は、社会の中にあるバリアによって生活しづらい場合があります。この法律では、国・都道府県・市町村などの行政機関や、会社やお店などの事業者に対して、障害のある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたとき（※）に、負担が重すぎない範囲で対応すること（事業者に代わって、対応を努めること）を求めています。これを「合理的配慮の提供」といいます。

※言語（手話を含む）、点字、拡大文字、筆談、実物を示すことや身振りなどのサインによる合図、触覚など様々な手段により意思が伝えられることをいいます。通訳や障害のある人の家族、支援者、介助者、法定代理人など、障害のある人のコミュニケーションを支援する人のサポートにより本人の意思が伝えられることも含まれます。

問42 あなたは最近3年間で、障害があることが原因で、差別と感じる取扱いを受けた経験がありますか。あてはまる場面の番号を【 】内に記入し、
 内に具体的な内容をご記入ください。(3つまで)

- 1 区役所などの行政機関で
- 2 公共交通、公共施設などで
- 3 職場で
- 4 学校、教育の場面で
- 5 病院・診療所などで
- 6 民間サービス(飲食店、習い事など)で
- 7 福祉サービスで
- 8 住む場所や家を借りる場面で
- 9 情報、コミュニケーションで
- 10 近隣、地域で
- 11 その他()
- 12 特にない

番号【 】

具体的な内容:

番号【 】

具体的な内容:

番号【 】

具体的な内容:

問43 あなたが平成28年4月の障害者差別解消法の施行と関連して障害者への配慮として良いと思ったこと、配慮があつて助かったこと、改善されたと感じたことはありますか。あてはまる場面の番号を【 】内に記入し、
 内に具体的な内容をご記入ください。(3つまで)

- 1 区役所などの行政機関で
- 2 公共交通、公共施設などで
- 3 職場で
- 4 学校、教育の場面で
- 5 病院・診療所などで
- 6 民間サービス(飲食店、習い事など)で
- 7 福祉サービスで
- 8 住む場所や家を借りる場面で
- 9 情報、コミュニケーションで
- 10 近隣、地域で
- 11 その他()
- 12 特にない

番号【 】

具体的な内容:

番号【 】

具体的な内容:

番号【 】

具体的な内容:

問44 障害者差別の解消を推進するために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 障害者差別に関する相談・紛争解決の体制整備
- 2 障害者差別解消に向けた取り組みに関する情報提供・発信
- 3 障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するリーフレットの発行
- 4 障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するイベントの開催
- 5 地域や学校等で交流の機会を増やすこと
- 6 地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと
- 7 学校や生涯学習での障害に関する教育や情報
- 8 障害についての講演会や疑似体験会の開催
- 9 障害者的一般就労の促進
- 10 その他 ()
- 11 特になし

8 収入について

問45 あなたご本人の年収額をお聞きます。税金等を差し引く前の額でお答えください。(〇はひとつ)

- 1 収入はない
- 2 80万円未満
- 3 80万円以上～150万円未満
- 4 150万円以上～250万円未満
- 5 250万円以上～500万円未満
- 6 500万円以上～1,000万円未満
- 7 1,000万円以上

問46 あなたご本人の主な収入の内訳をお聞きます。(〇は2つまで)

- 1 年金 (障害基礎年金など)
- 2 給与・報酬 (一般就労)
- 3 工賃など (福祉的就労)
- 4 事業収入 (自営業等)
- 5 手当 (障害者手当など)
- 6 生活保護費
- 7 親族の扶養または援助
- 8 その他 ()

9 災害対策について

問47 あなたが、地震などの災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 災害の情報を知る方法がない
- 2 助けを求める方法がない
- 3 近くに助けてくれる人がいない
- 4 一人では避難できない
- 5 避難所の設備が障害に配慮しているか不安
- 6 避難所で必要な支援が受けられるか不安
- 7 避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい
- 8 薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安
- 9 医療機器の電源確保が心配
- 10 その他 ()
- 11 特になし

問48 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。
(○はいくつでも)

- 1 日頃から家族で災害時の対応を話し合っている
- 2 非常持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている
- 3 疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている
- 4 近所の人や知人等に、災害が発生したときの助けをお願いしている
- 5 新宿区の「災害時要援護者登録名簿」に登録している
- 6 その他()
- 7 特にない

10 将来について

問49 あなたは今後、どのような生活を希望しますか。(○はひとつ)

- 1 必要に応じてサービスを利用してしながら地域で在宅生活を継続する
- 2 区内のグループホームに入居する
- 3 区内の障害者の入所施設に入所する
- 4 区外でもいいのでグループホームに入所する
- 5 区外でもいいので障害者の入所施設に入所する
- 6 高齢者の入所施設に入所する
- 7 その他()
- 8 わからない

問50 あなたが地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 障害理解・障害者差別解消の推進
- 2 医療に関するサービスの充実
- 3 医療的ケアの必要な障害者に対する支援の充実
- 4 教育・療育の充実
- 5 雇用・就労支援の充実
- 6 相談支援体制の充実
- 7 訪問系サービスの充実
- 8 日中活動系サービスの充実
- 9 短期入所の充実
- 10 意思疎通支援の充実
- 11 福祉機器・補装具などの充実
- 12 グループホームの整備・充実
- 13 入所施設の整備・充実
- 14 障害者向けの住まいの確保、居住支援の充実(住まい探しなど)
- 15 建物・道路などのバリアフリー化
- 16 当事者同士で支援しあえる仕組みづくり
- 17 趣味やスポーツ活動の充実
- 18 経済的支援の充実
- 19 災害時支援の充実
- 20 障害者の家族を対象とした支援
- 21 障害者福祉の人材確保・人材育成の充実
- 22 その他()
- 23 特にない

11 自由意見

問51 区の障害者福祉施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

※ お書きいただいたご意見・ご要望に、個別にお答えすることはできませんが、計画策定の際の参考にさせていただきます。

質問は以上で終わりです。

この度は調査にご協力いただき、誠にありがとうございます。

平成28年11月28日(月)までに、同封の「返信用封筒」に、ご回答いただいたこの調査票を入れて、ポストに投函してください。

封筒に切手を貼る必要はありません。

また、個人情報保護の観点から、調査票や封筒に、ご住所お名前をお書きにならないよう、お願いします。

施設に入所している方

区民の生活のニーズに関する調査

日頃から、新宿区の福祉行政にご理解ご協力... 新宿区では、皆様のご生活実態や意向を把握して、福祉施策を計画的に進めていくための基礎資料とするために、調査を実施します。

ご回答いただいた内容は、統計的に集計・分析して、報告書として発行するとともに新宿区公式ホームページでもお知らせします。この調査は定期的に実施しており、前回調査（平成25年度）において皆様から得られたご回答は、福祉施策や事業の充実・改善のための貴重な資料となりました。

◇ 問合せ先 ◇

福祉部 障害者福祉課 福祉推進係 電話 03(5273)4516、ファクス 03(3209)3441 〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1 新宿区役所2階

◇ 返送期限について ◇

平成28年11月28日(月)までに、ポストに投函してください 同封の「返信用封筒」に、回答を書き入れたこの調査票を入れて、ポストに投函してください。

記入上のお願い

- この調査票には、名前を書かないでください。
● 回答は、この調査票に直接書いてください。
● 回答は、あてはまる番号に○印をつけてください。
● 質問によっては、一部の方のみに回答していただくものもあります。
● 回答が「その他」になる場合は、()内にその内容を書いてください。
● 回答したくない質問は答えずに、次の質問に進んでください。
● 回答に要する時間はおおむね15分程度です。

ここから調査がはじまります

この調査票で、「あなた」とあるのは、『あて名ご本人』のことです。

できるかぎりあて名ご本人がお答えください。ご本人が回答できない場合は、ご家族や施設の職員の方が、あて名ご本人の立場や利益に沿った回答となるよう、現在の状況を踏まえてご回答ください。

問1 この調査票に回答していただく方はどなたですか。(○はひとつ)

- 1 あて名ご本人
2 ご家族の方
3 施設の職員
4 その他

1 ご本人について

問2 あなたの性別をお聞きます。(○はひとつ)

- 1 男性
2 女性

問3 あなたの年齢をお聞きします。平成28年11月1日現在の満年齢をお書きください。

歳

問4 あなたが持っている手帳の種類をお聞きします。手帳をお持ちの方は、等級・程度にも〇をつけてください。(〇はいくつでも)

- 1 身体障害者手帳 (1級 2級 3級 4級 5級 6級)
- ① 肢体不自由 (上肢・下肢・体幹等)
- ② 音声・言語・そしゃく機能障害
- ③ 視覚障害
- ④ 聴覚・平衡機能障害
- ⑤ 内部障害 (心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能、肝臓)
- 2 愛の手帳 (1度 2度 3度 4度)
- 3 精神障害者保健福祉手帳 (1級 2級 3級)
- 4 これらの手帳は持っていない

2 施設入所について

問5 あなたが現在入所している施設で利用している日中活動に〇をつけてください。(〇はひとつ。障害福祉サービス受給者証の記載内容をご確認ください)

- 1 生活介護
- 2 療養介護
- 3 自立訓練 (機能訓練・生活訓練)
- 4 就労継続支援 (B型・非雇用型)
- 5 その他 ()

問6 あなたが現在入所している施設のある地域をお聞きします。(〇はひとつ)

- 1 新宿区内
- 2 23区内
- 3 東京都 (23区内を除く)
- 4 関東甲信越 (東京都を除く)
- 5 東北
- 6 その他 ()

問7 あなたが現在の施設に入所してからの年数をお聞きします。(〇はひとつ)

- 1 1年未満
- 2 1年以上～3年未満
- 3 3年以上～5年未満
- 4 5年以上～10年未満
- 5 10年以上～20年未満
- 6 20年以上
- 7 わからない

問8 あなたが現在の施設に入所することになった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 家族から自立するため
- 2 リハビリや生活面の訓練を受けるため
- 3 生活が保障され安心感があるため
- 4 家族による介助が難しくなったため
- 5 常時介助が必要のため
- 6 医療的なケアが必要のため
- 7 住まいに支障があったため
- 8 在宅福祉サービスが不十分のため
- 9 家族などに勧められたため
- 10 その他 ()
- 11 わからない

3 施設での生活について

問9 あなたが一時、出身世帯（施設に入居前に住んでいた家）に帰るときな
どに困ることはありますか。（○はいくつでも）

- 1 帰る手段がない、または移動が難しい
- 2 帰るときに介助者がいない
- 3 交通費などにお金がかかると
- 4 出身世帯の建物が障害に配慮していない
- 5 出身世帯では十分な介助が受けられない
- 6 帰ったときは一人でいることが多い
- 7 家族や親族がいない
- 8 緊急の場台が不安である
- 9 その他
- 10 特に困ることはない

問10 あなたは、施設での生活に満足していますか。（○はひとつ）

- 1 非常に満足している
- 2 やや満足している
- 3 やや不満である
- 4 非常に不満である
- 5 わからない

問11 あなたが現在の暮らしの中で、困ることや不安に感じていることはあります
か。（○はいくつでも）

- 1 身の回りのことが自分では十分にできない
- 2 健康状態に不安がある
- 3 フライシジャーが十分に保たれない
- 4 1日の生活のリズムが自由にならない
- 5 施設の設備に不満がある
- 6 仕事や訓練に不満がある
- 7 外出の機会が少ない
- 8 施設の職員との対応に不満がある
- 9 人間関係がうまく築けない
- 10 困ったとき相談する相手がいない
- 11 家族とあまり会えない
- 12 将来の生活に何となく不安を感じる
- 13 その他
- 14 特に困ることはない

問12 あなたは、現在入所している施設に対して、どのような要望があります
か。（○はいくつでも）

- 1 介護・看護の質の向上
- 2 健康への配慮
- 3 フライシジャーへの配慮
- 4 生活内容（食事・入浴等）の改善
- 5 施設の設備の改善
- 6 仕事や訓練の改善
- 7 外出機会の増加
- 8 職員の対応の改善
- 9 余暇活動の充実
- 10 相談体制の充実
- 11 地域生活に向けた訓練の充実
- 12 その他
- 13 特にない

問13 医療的ケアについて伺います。あなたは日常的に必要としている医療的
ケアがありますか（○はひとつ）

- 1 施設入所前から今に至るまで医療的ケアがある
 - 2 施設入所した当時は必要なかったが、今は必要な医療的ケアがある
 - 3 なし
- 「1」または「2」に○をつけた方は問14へ
→「3」に○をつけた方は問15へ

問14 問13で「1」または「2」と回答された方にお聞きします。
あなたが日常的に必要としている医療的ケアの内容はどのようなもので
すか。（○はいくつでも）

- 1 服薬の支援
- 2 吸引
- 3 吸入・ネブライザー
- 4 経管栄養
- 5 中心静脈栄養
- 6 導尿
- 7 酸素療法
- 8 咽頭エアウェイ
- 9 バルブオキシメーター
- 10 気管切開部の管理（ガーゼ交換等）
- 11 人工呼吸器の管理
- 12 その他

4 相談や福祉の情報の提供について

問18 あなたが困ったときに相談する相手は誰ですか。(○はいくつでも)

- 1 家族や親族
- 2 施設の職員
- 3 第三者委員会等
- 4 友人・知人
- 5 卒業した学校の教職員
- 6 障害等の当事者会や家族の会
- 7 サービス等利用計画を作成した相談支援専門員
- 8 医療関係者(医師、看護師、リハビリ-)
- 9 官公庁の窓口(区の障害者福祉課等)
- 10 保健センター
- 11 社会福祉協議会
- 12 インターネット等の情報
- 13 その他
- 14 相談する相手はいない

問19 あなたは、福祉に関する情報を、主にどこから得ていますか。(○はいくつでも)

- 1 家族や親族
- 2 相談支援専門員
- 3 知人・友人
- 4 官公庁の広報紙
- 5 官公庁のホームページ
- 6 官公庁の窓口(区の障害者福祉課等)
- 7 保健センター
- 8 テレビ・ラジオ
- 9 インターネット
- 10 新聞・書籍
- 11 障害等の当事者会や家族の会
- 12 医療機関
- 13 施設の職員
- 14 その他
- 15 特になし

問15 全ての方にお聞きします。あなたが入っている施設で提供可能な医療的ケアについてうかがいます。現在あなたには必要ない医療的ケアについても実施可能なものがあれば教えてください。(○はいくつでも)

※ 回答にあたっては、施設職員にご確認いただけたらと助かります。ご不明な場合は「14 わからない」とご回答ください。

- 1 服薬の支援
- 2 吸引
- 3 吸入・ネブライザー
- 4 経管栄養
- 5 中心静脈栄養
- 6 導尿
- 7 酸素療法
- 8 咽頭エアウェイ
- 9 バルブオキシメーター
- 10 気管切開部の管理(ガーゼ交換等)
- 11 人工呼吸器の管理
- 12 その他
- 13 施設からの医療的ケアの提供はない
- 14 わからない

問16 あなたはどのくらいの頻度で外出していますか。(○はひとつ)

- 1 ほぼ毎日
- 2 週に3~4回
- 3 週に1~2回
- 4 月に1~3回
- 5 あまり外出しない

問17 あなたご本人の主な収入の内訳をお聞きます。(○は2つまで)

- 1 年金(障害基礎年金など)
- 2 工賃など(福祉的就労)
- 3 生活保護費
- 4 親族の扶養または援助
- 5 その他
- 6 特になし

問23 あなたは最近3年間で、障害があることが原因で、差別と感じる取扱いを受けた経験がありますか。あてはまる場面の番号を【 】内に記入し、【 】内に具体的な内容をご記入ください。(3つまで)

- 1 区役所などの行政機関で
- 2 公共交通、公共施設などで
- 3 病院・診療所などで
- 4 民間サービス(飲食店など)で
- 5 福祉施設で
- 6 情報、コミュニケーションで
- 7 その他()
- 8 特にない

番号【 】

具体的な内容:

番号【 】

具体的な内容:

番号【 】

具体的な内容:

問24 あなたが、平成28年4月の障害者差別解消法の施行と関連して障害者への配慮として良いと思ったこと、配慮があつて助かったこと、改善されたと感じたことはありますか。あてはまる場面の番号を【 】内に記入し、【 】内に具体的な内容をご記入ください。(3つまで)

- 1 区役所などの行政機関で
- 2 公共交通、公共施設などで
- 3 病院・診療所などで
- 4 民間サービス(飲食店など)で
- 5 福祉施設で
- 6 情報、コミュニケーションで
- 7 その他()
- 8 特にない

番号【 】

具体的な内容:

番号【 】

具体的な内容:

番号【 】

具体的な内容:

6 今後の暮らし方について

問25 あなたは今後、どのような生活を希望しますか。(○はひとつ)

- 1 施設を退所して、必要に応じてサービスを利用しながら新宿区内で生活したい
- 2 施設を退所して、新宿区内のグループホームで生活したい
- 3 施設を退所して、今の施設周辺のグループホームで生活したい
- 4 現在の施設で生活したい →4に○をつけた方は問26へ
- 5 別の施設で暮らしたい
- 6 わからない

→4以外に○をつけた方は問27へ

問26 問25で「4 現在の施設で生活したい」と回答した方にお聞きします。
現在の施設での生活を続けたい理由は何か。(○はいくつでも)

- 1 入所者や施設職員との関係が良好なため
- 2 環境や日中活動の内容等に満足している
- 3 今の施設で技術や能力を身につけた
- 4 すぐに入所できるグループホームなどがない
- 5 在宅福祉サービスが充実していない
- 6 自宅の構造が障壁に対応していない
- 7 健康面などで不安がある
- 8 経済的に難しい
- 9 家族の受け入れ体制が整っていない
- 10 地域で友人関係が持てるか不安がある
- 11 その他()
- 12 特に理由はない

問27 全ての方にお聞きします。障害者が地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 障害理解・障害者差別解消の推進
- 2 医療に関するサービスの充実
- 3 医療的ケアの必要な障害者に対する支援の充実
- 4 教育・療育の充実
- 5 雇用・就労支援の充実
- 6 相談支援体制の充実
- 7 訪問系サービスの充実
- 8 日中活動系サービスの充実
- 9 短期入所の充実
- 10 意思疎通支援の充実
- 11 福祉機器・補装具などの充実
- 12 グループホームの整備・充実
- 13 入所施設の整備・充実
- 14 障害者向けの住まいの確保、居住支援の充実(住まい探しなど)
- 15 建物・道路などのバリアフリー化
- 16 当事者同士の支援しあえる仕組みづくり
- 17 趣味やスポーツ活動の充実
- 18 経済的支援の充実
- 19 災害時支援の充実
- 20 障害者(障害児)の家族を対象とした支援
- 21 障害者福祉の人材確保・人材育成の充実
- 22 その他()
- 23 特にない

7 自由意見

問28 障害者施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

※ お書きいただいたご意見・ご要望に、個別にお答えすることはできませんが、計画策定の際の参考にさせていただきます。

質問は以上で終わりです。

この度は調査にご協力いただき、誠にありがとうございます。

平成28年11月28日(月)までに、同封の「返信用封筒」に、ご回答いただいたこの調査票を入れて、ポストに投函してください。

封筒に切手を貼る必要はありません。

また、個人情報保護の観点から、調査票や封筒に、ご住所お名前をお書きにならないよう、お願いいたします。

ここから調査がはじまります

問1 この調査票に回答していただく方は、あて名のお子さんから見ても、どなたにあたりますか。(○はひとつ)

- 1 父親
2 母親
3 両親以外の家族
4 その他 ()

1 お子さんについて

問2 お子さんの性別をお聞きます。(○はひとつ)

- 1 男性
2 女性

問3 お子さんの年齢をお聞きます。平成28年11月1日現在の満年齢をお書きください。

 歳

問4 あて名のお子さんと一緒に住んでいるのは誰ですか。(○はいくつでも)

- 1 父親
2 母親
3 兄弟姉妹
4 祖父母
5 その他親族
6 その他 ()

2 障害や健康の状況について

問5 お子さんが持っている手帳や医療券などの種類をお聞きます。手帳をお持ちの方は、等級・程度もご記入ください。また、自立支援医療や難病医療の給付を受けていたり、発達障害、高次脳機能障害などの診断を受けている方は、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 身体障害者手帳 (級)
2 精神障害者保健福祉手帳 (級)
3 自立支援医療(精神通院医療)の給付
4 難病医療の給付
(病名:)
(診断を受けてからの期間: 年 ヶ月)
5 高次脳機能障害

→1~5のいずれかに○がついた方は問7~問9へ

- 6 愛の手帳 (度)
7 発達障害 ※下記選択肢の中からあてはまる診断名に○を

- ①自閉症スペクトラム ③学習障害LD
②注意欠陥多動性障害 ADHD ④発達性協調運動障害

8 これらの手帳等は持っていないし、診断も受けていない

→1~5と8に○がつかなかった方は問11へ

問6 問5で「8 これらの手帳等は持っていないし、診断も受けていない」と回答された方にお聞きます。

お子さんの発達の特徴として心配なことはありますか。(○はいくつでも)

- 1 言葉が遅れている
2 落ち着かない
3 こだわりが強い
4 コミュニケーションが苦手
5 感覚の問題(感覚過敏、感覚鈍麻) ()
6 発達に偏りがある
7 不器用なところがある
8 かんしゃくが強い
9 なんとなく他の子と違うと感じる
10 その他
11 あてはまるものはない

→問11へ進んでください。

問7 問5で「1 身体障害者手帳」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は問8へお進みください。どのような障害がありますか。(○はいくつでも)

- 1 肢体不自由(上肢・下肢・体幹等)
 - 2 音声・言語・そしゃく機能障害
 - 3 視覚障害
 - 4 聴覚・平衡機能障害
 - 5 内部障害(心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能、肝臓)
- 問8～問10の設問文を讀んで、あてはまるものがあれば回答してください。

問8 問5で「2 精神障害者保健福祉手帳」または「3 自立支援医療(精神通院医療)の給付」、もしくは両方を回答された方にお聞きします。それ以外の方は問9へお進みください。どのような障害がありますか。(○はいくつでも)

- 1 統合失調症
 - 2 気分障害(うつ病・双極性障害)
 - 3 神経症(不安障害・パニック障害・強迫性障害・PTSD・摂食障害など)
 - 4 依存症(薬物・ネット・スマホ・ゲーム等)
 - 5 その他()
 - 6 わからない
- 問9～問10の設問文を讀んで、あてはまるものがあれば回答してください。

問9 問5で「4 難病医療の給付」と回答された方にお聞きします。平成25年4月以降、障害福祉サービスの対象者に難病の方が追加されていますが、知っていましたか。(※平成27年7月時点での指定難病は332疾病となっています。)(○はひとつ)

- 1 知っている
 - 2 知らない
- 問10の設問文を讀んで、あてはまる方は問10に回答してください。

問10 問5で「5 高次脳機能障害」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は問11へお進みください。

お子さんには、次のような症状がありますか。(○はいくつでも)

- 1 ミスが多い。じつくりと物事に集中できない(注意障害)
 - 2 新しいことを覚えることができない(記憶障害)
 - 3 日常生活や仕事の内容を計画して実行できない(遂行機能障害)
 - 4 自分の行動や感情をコントロールすることができない(感情失禁・興奮状態)
 - 5 目の前の空間の半分に注意が向かない(半側空間無視)
 - 6 話す、聞いて理解する、書く、読むことがうまくできない(失語症)
 - 7 動作の手順や物の使い方がわからない(失行症)
 - 8 麻痺している身体のことを忘れてしまう(半側身体失認)
 - 9 地理や場所がわからなくなる(地誌的障害)
 - 10 見ているものや聞いているものがわからなくなる(失認症)
 - 11 その他(抑うつ状態・幻覚妄想等)
- ()
- 問11へ進んでください。

ここからは全ての方にお聞きします。

問11 お子さんの障害や心身の不調について、ご家族の方などが最初に気づいた時期をお聞きします。(○はひとつ)

- | | | |
|----------|------|----------|
| 1 生まれたとき | 5 3歳 | 8 6～8歳 |
| 2 0歳 | 6 4歳 | 9 9～11歳 |
| 3 1歳 | 7 5歳 | 10 12歳以上 |
| 4 2歳 | | |

問 12 お子さんの障害や心身の不調について、はじめてわかったのは、どのようなときでしたか。(○はいくつ)

- 1 生まれまもなく知らされた
- 2 家族や周りの人が気づいた
- 3 乳幼児健診で知らされた
- 4 育児相談などで知らされた
- 5 医療機関で診察したときに知らされた
- 6 保育園、子ども園、幼稚園の先生が気づいた
- 7 学校の先生が気づいた
- 8 その他
- 9 わからない

問 13 お子さんは日常的に必要なとしている医療的ケアがありますか。(○はいくつ)

- 1 服薬の支援
- 2 吸引
- 3 吸入・ネブライザー
- 4 経管栄養
- 5 中心静脈栄養
- 6 導尿
- 7 酸素療法
- 8 咽頭エアウェイ
- 9 バルブオキシメーター
- 10 気管切開部の管理 (ガーゼ交換等)
- 11 人工呼吸器の管理
- 12 その他
- 13 特に必要としていない

問 14 お子さんの障害や心身の不調について、どのような医療機関で治療を受けたり、相談をしたりしていますか。(○はいくつ)

- 1 専門の診療所・クリニック
- 2 一般病院・大学病院
- 3 専門病院 (療育・リハビリ科・精神科など)
- 4 その他
- 5 医療機関には相談していない

問 15 お子さんには、問 14 の医療機関以外に、普段の健康や体調が悪い時(風邪など)に気軽に相談できる診療所などの「かかりつけ医」がいますか。(あてはまるものに○)

- 1 診療所・クリニック (通院)
- 2 診療所・クリニック (往診や訪問診療)
- 3 その他
- 4 なし

「かかりつけ医」とは、身近な地域の診療所などで日常的に医療を受けたり、健康に関する相談ができたりする医師のことです。

問 16 障害等について、受診状況等をお聞きます。(あてはまるものに○)

- 1 定期的に通院している
- 2 定期的に訪問診療を受けている
- 3 定期的に訪問看護を受けている
- 4 現在入院している
- 5 その他
- 6 現在は通院していない

3 相談や福祉の情報について

問 17 お子さんは、毎日の生活の中で、どのような介助や支援が必要ですか。
(○はいくつでも)

- 1 食事
 - 2 排せつ
 - 3 入浴
 - 4 寝返り
 - 5 着替え
 - 6 室内の移動
 - 7 洗顔・歯磨き
 - 8 通院、通園・通学
 - 9 通院、通園・通学以外の外出
 - 10 日常生活に必要な意思の伝達
 - 11 日常生活動作の見守り
 - 12 学習の支援
 - 13 その他
 - ()
 - 14 介助や支援は必要ない
- 14に○をつけた方は問 20へ

問 20 お子さんが、日常生活で困っていることがありますか。(○はいくつでも)
(ご本人(お子さん)の思いをご回答ください)

- 1 健康状態に不安がある
- 2 障害のため、身の回りのことが十分でない
- 3 介助者に負担をかけている
- 4 外出が大変である
- 5 住まいに不便を感じている
- 6 災害時の避難に不安がある
- 7 緊急時の対応に不安がある
- 8 学校などの先生とうまくいかない
- 9 友だちとの関係がうまくいかない
- 10 障害や病気に対する周りの理解がない
- 11 困ったとき相談する相手がいない
- 12 病气や障害を理解した上で診てもらえる診療所が近くにない
- 13 生活にお金がかかることに不安がある
- 14 将来に不安を感じている
- 15 その他()
- 16 特にない

問 18 毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きます。
お子さんを主に介助・支援している人はどなたですか。(○はひとつ)

- | | | |
|------|-----------|----------|
| 1 父親 | 3 その他親族 | 5 ボランティア |
| 2 母親 | 4 ホームヘルパー | 6 その他 |
| () | () | () |

問 19 毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きます。
主な介助者はどのような悩みや不安を抱えていますか。(○はいくつでも)

- 1 介助してくれぬ人が足りない
- 2 何かあった時に介助を頼める人がいない
- 3 他の家族の筋力が少ない
- 4 仕事に出られない
- 5 長期的な外出ができない
- 6 介助や支援の方法がわからない
- 7 休養やくつろぐ時間がない
- 8 身体的な負担が大きい
- 9 健康について不安がある
- 10 体調不良でも病院に行く時間がない
- 11 睡眠が不足している
- 12 精神的な負担が大きい
- 13 経済的な負担が大きい
- 14 周囲の人や職場などの理解がない
- 15 きょうだい児の世話が十分にできない
- 16 その他
- ()
- 17 特に悩みや不安はない

問 21 お子さんやご家族の方が困ったときに相談する相手は誰ですか。

(○はいくつでも)

- 1 家族や親族
- 2 友人・知人・近所の人
- 3 学校の先生
- 4 保育園・子ども園・幼稚園の先生
- 5 民生委員・児童委員
- 6 障害等の当事者や家族の会
- 7 身体障害者相談員・知的障害者相談員
- 8 ヘルパー等福祉従事者
- 9 医療関係者（医師・看護師・ソーシャルワーカー）
- 10 障害者福祉課の窓口
- 11 障害者福祉課以外の区の窓口
- 12 保健センター（保健師）
- 13 子ども総合センター（発達支援コーナーあいあい）
- 14 子ども総合センター（総合相談係）
- 15 子ども総合センター以外の児童発達支援などの療育機関
- 16 子ども家庭支援センター
- 17 教育委員会・教育センター
- 18 区立障害者福祉センター
- 19 新宿区社会福祉協議会
- 20 児童相談センター
- 21 インターネット等の情報（メール相談、SNS等を含む）
- 22 その他
- 23 相談する相手はいない

問 23 障害に関する知識や福祉に関する情報を、主にどこから得ていますか。

(○はいくつでも)

- 1 区の広報紙
- 2 区のホームページ
- 3 区の窓口
- 4 保健センター
- 5 テレビ・ラジオ
- 6 インターネット
- 7 新聞・書籍
- 8 障害等の当事者会や家族の会
- 9 医療機関
- 10 学校の先生
- 11 保育園・子ども園・幼稚園の先生
- 12 児童発達支援などの療育機関
- 13 その他
- 14 知る方法がわからない

問 22 区役所などに気軽に相談するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 電話やFAXでの相談
- 2 電子メールでの相談
- 3 自宅を訪問する相談
- 4 休日や夜間の相談
- 5 専門性の高い相談
- 6 身近な地域での相談
- 7 定期的な相談
- 8 障害者（児）や家族など同じ立場の人による相談
- 9 どんな相談にも対応できる総合窓口
- 10 相談窓口に関する情報提供
- 11 プライバシーの遵守
- 12 その他
- 13 特にない

4 教育・保育について

問 24 お子さんが通園・通学などをしているところをお聞きます。
(あてはまるものに○)

A 小学校入学前

- 1 保育園
- 2 子ども園
- 3 幼稚園
- 4 子ども総合センター
(発達支援コーナーあり)
- 5 子ども総合センター以外の児童発達支援などの
療育機関
- 6 その他 ()
- 7 通園・通所はしていない
→Aにあてはまる方は問 25、問 26へ

B 学校在学中

- 8 小学校の通常の学級
- 9 小学校のまなびの教室
- 10 小学校の特別支援学級
- 11 特別支援学校の小学部
- 12 中学校の通常の学級
- 13 中学校の通級指導学級
- 14 中学校の特別支援学級
- 15 特別支援学校の中学部
- 16 高等学校
- 17 特別支援学校の高等部
- 18 その他の学校 ()

C 義務教育終了後、通学はしていない

具体的には何をしていますか。

()
→Cにあてはまる方は問 33へ

→Bにあてはまる方は問 27、問 28へ

問 25 問 24 で「A 小学校入学前(1～7)」と回答した方にお聞きます。

通園生活や今後の進路等で困っていることや心配していることはありませんか。(○はい/×でも)

- 1 通園の送迎が大変
- 2 周囲の子どもの関係が心配
- 3 園の先生の指導の仕方が心配
- 4 本人の成長が心配
- 5 今後の進路について迷っている
- 6 子どもの将来に不安がある
- 7 保育や教育・療育に関する情報が少ない
- 8 療育・リハビリテーションの機会が少ない
- 9 費用など経済的な負担が大変
- 10 その他 ()
- 11 特に困っていることや心配はない

問 26 問 24 で「A 小学校入学前(1～7)」と回答した方にお聞きます。

小学校はどの教育機関を希望しますか。(○はひとつ)

- 1 小学校の通常の学級
- 2 小学校の通常の学級とまなびの教室
- 3 小学校の特別支援学級
- 4 特別支援学校の小学部
- 5 わからない

→問 29、問 30へ進んでください。

問 27 問 24 で「B 学校在学中(8~18)」と回答した方にお聞きします。

通学生活等で困っていることや心配していることはありませんか。

(○はいくつでも)

- 1 通学の送迎が大変
- 2 周囲の子どもの関係が心配
- 3 いじめについて心配
- 4 先生の指導の仕方が心配
- 5 本人の成長が心配 ()
- 6 今後の進路について迷っている
- 7 子どもの将来に不安がある
- 8 教育や療育に関する情報が少ない
- 9 療育・リハビリテーションの機会が少ない
- 10 費用など経済的な負担が大きい
- 11 その他 ()
- 12 特に困っていることや心配はない

問 28 問 24 で「B 学校在学中(8~18)」と回答した方にお聞きします。

就学にあたって相談した機関や活用した事柄を教えてください。

(○はいくつでも)

- 1 教育委員会の就学相談を受けた
- 2 通園していた園の先生に相談した
- 3 子ども総合センター（発達支援コーナーあいあい）に相談した
- 4 医療機関に相談した
- 5 同じタイプの子どもを持つ親の会に相談した
- 6 就学支援シートを作成した
- 7 その他 ()
- 8 家族以外とは相談しなかった

→問 29、問 30 へ進んでください。

問 29 問 24 で「A 小学校入学前(1~7)」または「B 学校在学中(8~18)」と回

答した方にお聞きします。

放課後や長期休業中など、幼稚園や保育園、子ども園、学校等にいる以外の時間は、お子さんがどのように過ごしていますか。(○はいくつでも)

- 1 家族といる
- 2 友人、知人といる
- 3 一人で行く
- 4 ハルバーなどと外出する
- 5 学童クラブへ行く ()
- 6 放課後子どもひろばに行く
- 7 タイムケア事業を利用する
- 8 児童発達支援 放課後サービスを利用する
- 9 習い事や塾へ行く
- 10 その他 ()
- 11 特に何もしていない

問 30 問 24 で「A 小学校入学前(1~7)」または「B 学校在学中(8~18)」と回

答した方にお聞きします。

放課後や長期休業中など、幼稚園や保育園、子ども園、学校等にいる以外の時間は、お子さんがどのように過ごすることを希望していますか。

(○はいくつでも)

- 1 地域の同世代の子どもと遊ばせたい
- 2 学童クラブを利用したい
- 3 放課後子どもひろばを利用したい
- 4 習い事や塾に行かせたい
- 5 タイムケア事業を利用したい ()
- 6 ショートステイを利用したい
- 7 児童発達支援 放課後サービスを利用したい
- 8 その他 ()
- 9 特にない

→問 31 へ進んでください。

問 31 小学校(小学部)、または中学校(中学部)に通っていると回答した方にお聞き

します。それ以外の方は問 32 へ進んでください。

中学校(中学部)卒業後はどのような進路を希望しますか。

(○はひとつ)

- 1 高等学校に通う
- 2 特別支援学校の高等部に通う
- 3 専門学校・専修学校に通う ()
- 4 障害者向けの日中活動に通う
- 5 仕事をする
- 6 その他 ()
- 7 わからない

→問 33 へ進んでください。

問 32 問 24 で「16 高等学校」、または「17 特別支援学校の高等部」に通っていると回答した方にお聞きします。それ以外の方は問 33 へ進んでください。
高等学校（高等部）卒業後はどのような進路を希望しますか。

（○はいくつでも）

※ この設問では、「お子さんの希望」と「保護者の方の希望」をそれぞれ伺います。

お子さんの希望

- 1 大学や短期大学へ通う
- 2 専門学校や専修学校へ通う
- 3 職業訓練学校へ通う
- 4 企業等へ就職する（一般就労）
- 5 自分で仕事をする（自営業など）
- 6 就労移行支援や就労継続支援の事業所へ通う（福祉作業所、わーくすこ・からなど）
- 7 自立訓練（生活訓練・機能訓練）事業所へ通う
（視覚障害者生活支援センターなど）
- 8 生活介護事業所へ通う（あゆみの家、生活実習所があれば福祉園など）
- 9 その他（ ）
- 10 わからない

保護者の方の希望

- 1 大学や短期大学へ通う
- 2 専門学校や専修学校へ通う
- 3 職業訓練学校へ通う
- 4 企業等へ就職する（一般就労）
- 5 自分で仕事をする（自営業など）
- 6 就労移行支援や就労継続支援の事業所へ通う（福祉作業所、わーくすこ・からなど）
- 7 自立訓練（生活訓練・機能訓練）事業所へ通う
（視覚障害者生活支援センターなど）
- 8 生活介護事業所へ通う（あゆみの家、生活実習所があれば福祉園など）
- 9 その他（ ）
- 10 わからない

5 外出やバリアフリーについて

問 33 お子さんは、どのくらいの頻度で外出していますか。（○はひとつ）

- 1 ほぼ毎日
- 2 週に3～4回
- 3 週に1～2回
- 4 月に1～3回
- 5 あまり外出しない

問 34 お子さんは、外出（通園・通学以外）に関してどのようなことで困っていますか。（○は3つまで）

- 1 歩道の段差や傾斜があると移動が困難
- 2 建物の段差や階段があると移動が困難
- 3 ハスやタクシーの利用が困難
- 4 駅構内の移動や乗り換えが困難
- 5 券売機の利用が困難
- 6 トイレの利用が困難
- 7 疲れたときの休憩場所がない
- 8 自動車・自転車に危険を感じる
- 9 立て看板や路上駐輪などにより、交通に支障がある
- 10 外出するのに支援が必要である
- 11 外出したくても介助者がいない
- 12 その他（ ）
- 13 特にない

問 35 お子さんは、住まいに関してどのような支援を必要としていますか。（○はいくつでも）

- 1 住宅改造費用の貸付・助成
- 2 家具転倒防止や耐震化など災害対策
- 3 公営住宅への優先入居の拡充
- 4 民間賃貸住宅の入居支援
（部屋探しを含む）
- 5 グループホームなどの整備
- 6 その他（ ）
- 7 特にない

6 福祉サービスについて

問 36 お子さんは、次のようなサービスを利用していますか。また、今後（2～3年以内）に利用したいと思えますか。既に利用しており、今後も利用したい方は「1」、「2」両方に○をつけてください。

※ 問 36 でお伺いするサービスは、障害福祉サービス等です。

A 主に18歳未満の方が利用するサービス

(1) 主に18歳未満の方が利用するサービス

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はこちらに ↓		
		1 現在利用している	2 今後利用したい	3 今は利用していない
① 児童発達支援	療育を必要とする障害児等が施設に通い、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練を行います。	1	2	3
② 医療型児童発達支援	肢体不自由があり、理学療法等の機能訓練や、医学的管理下での支援が必要な児童のための通所支援です。	1	2	3
③ 放課後等デイサービス	就学している障害児に、放課後や休校日に生活能力の訓練、社会交流機会を提供します。	1	2	3
④ 保育所等訪問支援	保育所等に通う障害児が集団生活に適応するために必要な専門的支援を提供します。	1	2	3
⑤ 障害児入所支援	福祉型障害児入所施設と医療型障害児入所施設の2種類。入所手続きは児童相談センターが窓口です。	1	2	3
⑥ 日中一時支援事業(障害児等タイムケア)	障害児の放課後及び夏休み等の長期学校休校中の活動場所を提供します。	1	2	3
⑦ 在宅児等訪問支援	障害児等の自宅を訪問し、遊びや生活の指導、情報提供を行います。	1	2	3
⑧ 障害幼児一時保育	一時的に保育が必要なとき、障害幼児等の保育を行います。	1	2	3

B 児童期～成人期を通じて利用できるサービス

(2) 自宅での生活を支援するサービス

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はこちらに ↓		
		1 現在利用している	2 今後利用したい	3 今は利用していない
① 居宅介護(ホームヘルプ)	自宅で身体介護・家事援助や通院等介助を行います。	1	2	3
② 重度障害者等包括支援	常に介護を必要として、意思疎通に著しい困難を有する最重度の障害者に、包括的なサービスを提供します。	1	2	3

(3) 外出を支援するサービス

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はこちらに ↓		
		1 現在利用している	2 今後利用したい	3 今は利用していない
① 行動援護	行動障害のある方に、移動介護や危険回避の援護などを行います。	1	2	3
② 同行援護	視覚障害者の外出に同行し、移動の援護や移動に必要な情報の提供をします。	1	2	3
③ 移動支援事業	社会参加のための移動に必要な支援をヘルパーが行います。	1	2	3
④ タクシー利用券	下肢の障害者等で、日常生活を営むのに支障がある方にタクシー券を交付します。リフト付きタクシーの予約、迎車、ストレッチャー利用券を別に交付します。	1	2	3
⑤ リフト付きタクシーの運行	車いすやストレッチャーで乗車できるタクシーを運行します。	1	2	3
⑥ 自動車燃料費助成	自動車等の燃料費を助成します。	1	2	3

(4) 一時的な支援を行うサービス

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はこちらに ↓		
		1 現在利用している	2 今後利用したい	3 今は利用を 考えていない
① 短期入所 (ショートステイ)	介護者が介護できないとき、短期間の入所による介護を行います。	1	2	3
② 日中一時支援 事業(日中ショート)	介護を行う方の都合等で一時的に見守りなどが必要な方に対し、日中、入浴や食事などの介助を行います。	1	2	3

(5) 補装具費・日常生活用具・住宅設備改善

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はこちらに ↓		
		1 現在利用している	2 今後利用したい	3 今は利用を 考えていない
① 補装具費の支給等	障害者の身体機能を補完するために作成された補装具の費用を支給します。	1	2	3
② 日常生活用具 給付事業	日常生活における福祉用具の給付を行います。	1	2	3
③ 住宅設備改善 費の給付	在宅の重度の障害者の住宅設備を事前の申請により改善します。	1	2	3

(6) 日常生活のサービス

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はこちらに ↓		
		1 現在利用している	2 今後利用したい	3 今は利用を 考えていない
① 相談支援事業	地域生活を支援するための様々な相談に応じます。	1	2	3
② 意思疎通支援 事業	手話通訳者、要約筆記者等の派遣により、コミュニケーションを支援します。	1	2	3
③ 心身障害者理 美容サービス	外出が困難な方等に、理容師等が自宅に出張して調整するための費用を助成します。	1	2	3
④ 介護人休養	重度心身障害者を常時介護している方に、介護人を派遣して休養の機会を提供します。	1	2	3

(6) 日常生活のサービス(続き)

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はこちらに ↓		
		1 現在利用している	2 今後利用したい	3 今は利用を 考えていない
⑤ 在宅重症心身 障害児等在宅 レスパイトサ ービス	医療的ケアの必要な重症心身障害児(者)の自宅において、訪問看護師が、医療的ケアをともなう見守りを行います。	1	2	3
⑥ 紙おむつ費用 助成	重度心身障害者に、紙おむつ費用を助成します。	1	2	3
⑦ 巡回入浴 サービス	在宅で滞りださりの重度心身障害者に、巡回入浴車を派遣して、入浴の機会を提供します。	1	2	3

(7) 医療に関する支援

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はこちらに ↓		
		1 現在利用している	2 今後利用したい	3 今は利用を 考えていない
① 歯科診療	専門の医療機関で診察を行います。	1	2	3
② 医療費助成	身体障害者手帳、愛の手帳所持者難病医療券をお持ちの方、及び小児の精神障害で入院している方が、医療保険で診察等を受けた場合、自己負担分の費用を助成します。	1	2	3
③ 自立支援医療	障害を軽減する医療(更生医療・育成医療・精神通院)を給付します。	1	2	3
④ 在宅難病患者 一時入院事業	難病医療の給付を受けている方で、介護者が一時的に介護できなくなった場合、東京都が委託している病院に短期間入院することがあります。	1	2	3

C 主に18歳以上の方が利用するサービス

(8) 自宅での生活を支援するサービス

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はこちらに ↓		
		1 現在 利用している	2 今後 利用したい	3 今は利用を 考えていない
① 重度訪問介護	重度の障害者に、総合的な介護を行います。	/	2	3
② 生活サポート事業	必要に応じて、家事などの支援を行います。	/	2	3

(9) 昼間の活動を支援するサービス

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はこちらに ↓		
		1 現在 利用している	2 今後 利用したい	3 今は利用を 考えていない
① 生活介護	常に介護を必要とする障害者に、施設などで介護や活動機会を提供します。	/	2	3
② 地域活動支援センター事業	地域活動支援センターで、日中活動の支援を行います。	/	2	3
③ 日中一時支援事業（土曜ケアサポート）	生活介護の支給を受けている方を対象に、土曜日の日中に、施設での活動の場を提供します。	/	2	3

(10) 自立や就労を支援するサービス

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はこちらに ↓		
		1 現在 利用している	2 今後 利用したい	3 今は利用を 考えていない
① 自立訓練（機能訓練・生活訓練）	自立生活のために、身体機能や生活能力向上のための訓練を行います。	/	2	3
② 就労移行支援	一般就労を希望する障害者に、一定期間就労のための訓練を行います。	/	2	3
③ 就労継続支援（A型・雇用型）	障害者に雇用の就労や生産活動の機会を提供します。	/	2	3
④ 就労継続支援（B型・非雇用型）	障害者に就労や生産活動の機会を提供します。	/	2	3

(10) 自立や就労を支援するサービス（続き）

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はこちらに ↓		
		1 現在 利用している	2 今後 利用したい	3 今は利用を 考えていない
⑤ 障害者就労支援事業	障害者の一般就労に向けた支援、職場定着への支援、日常生活への支援などを専門のコーディネーターにより実施します。	/	2	3
⑥ 自立生活援助※平成30年度以降の新たなサービス	定期的な巡回訪問や随時の対応により、円滑な地域生活に向けた相談・助言等を行います。	/	2	3
⑦ 就労定着支援※平成30年度以降の新たなサービス	就業に伴う生活面の課題に対応するため、事業所・家族との連絡調整等の支援を行います。	/	2	3

(11) 住まいの場・住まいに関するサービス

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はこちらに ↓		
		1 現在 利用している	2 今後 利用したい	3 今は利用を 考えていない
① 施設入所支援	障害者支援施設に入所する障害者に、介護などの支援を提供します。	/	2	3
② 療養介護	医療を必要とする障害者に、病院などで機能訓練や看護・介護を行います。	/	2	3
③ 共同生活援助（グループホーム）	共同生活を営む住居で、日常生活の援助を行います。居室は原則個室です。	/	2	3
④ 福祉ホーム	低額な料金で居室等を提供するとともに、日常生活に必要な支援を行います。	/	2	3
⑤ 居住サポート	保証人がいない等の理由で入居が困難な方に、入居に必要な支援を行います。	/	2	3

(12) 災害や将来への備え

サービス名	サービスの内容	↓ 回答はここに ↓		
		1 現在 利用している	2 今後 利用したい	3 今は利用を 考えていない
① 災害時要援護者登録名簿への登録 ※児童期から登録可能	災害発生時に自分の身を守ることに困難な方々を本人の申し出により事前に把握して、災害時に迅速な援助を行います。	1	2	3
② 成年後見制度支援事業	判断能力が不十分で、自分の財産や権利を守ることが困難な方々に対して援助を行います。		2	3
③ 地域福祉権利擁護事業	障害などの理由で判断能力が十分ではない方の金銭管理やサービス利用などをお手伝いする制度です。		2	3
④ 緊急通報システム・火災安全システム	ひとり暮らし等の在宅重度心身障害者が緊急事態に陥ったとき、無線発報器等により救護を行います。		2	3

問37 お子さん（あなた）には、サービス利用に関して困っていることがありますか。（○はいくつでも）

- 1 サービスに関する情報が少ない
- 2 区役所での手続きが大変
- 3 利用できる回数や日数が少ない
- 4 事業者との利用日等の調整が大変
- 5 サービスの質が良くない
- 6 利用したいサービスが利用できない
- 7 利用者負担（自己負担）が大変
- 8 その他
- 9 特にない



問38～40を回答するにあたっての解説

障害者（児）の方のより良い生活を実現するため、障害福祉サービスを利用する方は「サービス等利用計画」や「障害児支援利用計画」を作ることになっていきます。自分や家族がサービスを組み立てるセルフプランもあります。

● サービス等利用計画

障害者総合支援法が定めている障害福祉サービスを利用する際に必要な、ご本人のための計画です。

● 障害児支援利用計画

児童福祉法が定めている障害児向けサービスを利用する際に必要な、ご本人のための計画です。ご本人・ご家族から、区の指定を受けた障害児相談支援事業所の相談支援専門員に依頼をして、ご本人・ご家族の希望する生活やサービスの利用意向に基づいた計画を作成してもらいます。ご本人がサービスを実際に利用しようとする場合には、サービス提供事業所（ホームヘルパーや短期入所、児童発達支援等）の手配が必要になります。「サービス等利用計画」「障害児支援利用計画」を作成すると、相談支援専門員が、サービス提供事業所の手配や連絡調整を行います。新宿区が指定した18歳未満の方のための相談支援事業所は、区役所の障害者福祉課基幹相談支援センター、子ども総合センターのほか、4か所の民間の事業所があります（平成28年11月現在）。

● セルフプラン

相談支援専門員に依頼せずに、ご本人・ご家族や身近な支援者が計画を作成することもできます。サービス提供事業所の手配は家族が行うことになります。

7 権利擁護について

問 41 障害者差別解消法が平成 28 年 4 月 1 日に施行（運用開始）されたことを知っていますか。(○はひとつ)

- 1 内容まで知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない
- 4 わからない

問 41～44 を回答するにあたっての解説

障害者差別解消法

平成 28 年 4 月 1 日からスタートした障害者差別解消法では「不当な差別的取扱い」を禁止し、「合理的配慮の提供」を求めています。そのことよって、障害のある人もない人も共に暮らせる社会を目指しています。

● 「不当な差別的取扱いの禁止」とは

この法律では、国・都道府県・市町村などの行政機関や、会社やお店などの事業者が、障害のある人に対して、正当な理由なく、障害を理由として差別することを禁止しています。これを「不当な差別的取扱いの禁止」といいます。

例：「障害を理由に窓口対応を拒否される」「車いすを理由に交通機関の乗車を拒否される」など

● 「合理的配慮の提供」とは

障害のある人は、社会の中にあるバリアによって生活しづらい場合があります。この法律では、国・都道府県・市町村などの行政機関や、会社やお店などの事業者に対して、障害のある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としている、意思が伝えられたとき(※)に、負担が重すぎない範囲で対応すること(事業者に対しては、対応に努めること)を求めています。これを「合理的配慮の提供」といいます。

※言語(手話を含む。)、点字、拡大文字、筆談、実物を示すことや身振りなどのサインによる合図、触覚など様々な手段により意思が伝えられることをいいます。通訳や障害のある人の家族、支援者、介助者、法定代理人など、障害のある人のコミュニケーションを支援する人のサポートにより本人の意思が伝えられることも含まれます。

問 38 障害福祉サービス・児童福祉法に基づくサービスを利用している方にお聞きします。

サービス等利用計画・障害児支援利用計画の作成について、現状を教えてください。(○はひとつ)

- 1 相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している
→1に○をつけられた方は問 39、40へ進んでください
- 2 自分たち家族や支援者とセルフプランを作成している
→2に○をつけられた方は問 41へ進んでください

問 39 問 38 で1と回答した方にお聞きします。

サービス等利用計画・障害児支援利用計画を作成しようとした理由は何ですか (○はいくつでも)

- 1 相談支援専門員から利用可能なサービスを教えてもらえるところから
- 2 利用したいサービスの提供事業所と一緒に探してもらえるところから
- 3 生活上の様々なことを相談できるところから
- 4 その他 ()
- 5 持たない

問 40 問 38 で1と回答した方にお聞きします。

サービス等利用計画・障害児支援利用計画を作成してみて実際はいかがでしたか (○はいくつでも)

- 1 思った通りに相談できてよかった
- 2 思ったほど相談できなかった
- 3 書類作成などの事務手続きが複雑で、負担に感じた
- 4 家庭訪問をされて面接・相談するのが、負担に感じた
- 5 その他 ()
- 6 持たない

問 42 あなたのお子さんは最近3年間で、障害があることが原因で、差別と感
 じる取扱いを受けた経験がありますか。あてはまる場面の番号を【 】内に
 記入し、□内に具体的な内容をご記入ください。(3つまで)

- 1 区役所などの行政機関で
- 2 公共交通、公共施設などで
- 3 学校、教育の場面で
- 4 病院・診療所などで
- 5 民間サービス(飲食店、習い事など)で
- 6 福祉サービスで
- 7 住む場所や家のこと
- 8 情報、コミュニケーションで
- 9 近隣、地域で
- 10 その他()
- 11 特にない

番号【 】

具体的な内容：

番号【 】

具体的な内容：

番号【 】

具体的な内容：

問 43 平成28年4月の障害者差別解消法の施行と関連して障害者への配慮とし
 て良いと思ったこと、配慮があつて助かったこと、改善されたと感じたこ
 とはありませんか。あてはまる場面の番号を【 】内に記入し、□内に
 具体的な内容をご記入ください。(3つまで)

- 1 区役所などの行政機関で
- 2 公共交通、公共施設などで
- 3 学校、教育の場面で
- 4 病院・診療所などで
- 5 民間サービス(飲食店、習い事など)で
- 6 福祉サービスで
- 7 住む場所や家のこと
- 8 情報、コミュニケーションで
- 9 近隣、地域で
- 10 その他()
- 11 特にない

番号【 】

具体的な内容：

番号【 】

具体的な内容：

番号【 】

具体的な内容：

問 44 障害者差別の解消を推進するために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 障害者差別に関する相談・紛争解決の体制整備
- 2 障害者差別解消に向けた取り組みに関わる情報の提供・発信
- 3 障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するリーフレットの発行
- 4 障害者差別解消法の趣旨を普及啓発するイベントの開催
- 5 地域や学校等で交流の機会を増やすこと
- 6 地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと
- 7 学校や生涯学習での障害に関する教育や情報
- 8 障害についての講演会や疑似体験会の開催
- 9 障害者の一般就労の促進
- 10 その他 ()
- 11 特にない

8 収入・利用者負担について

問 45 あなたの世帯の年収額をお聞きします。税金等を差し引く前の額でお答えください。(〇はひとつ)

- 1 収入はない
- 2 80万円未満
- 3 80万円以上～150万円未満
- 4 150万円以上～250万円未満
- 5 250万円以上～500万円未満
- 6 500万円以上～1,000万円未満
- 7 1,000万円以上

問 46 あなたは、利用者負担（自己負担）をどのように感じていますか。(〇はひとつ)

- 1 非常に負担を感じる
- 2 やや負担を感じる
- 3 あまり負担に感じない
- 4 利用者負担は支払っていない
- 5 サービスを利用していない

9 災害対策について

問 47 お子さんやご家族の方が、地震などの災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 災害の情報をする方法がない
- 2 助けを求めする方法がない
- 3 近くに助けてくれる人がいない
- 4 一人では避難できない
- 5 避難所の設備が障害に配慮しているか不安
- 6 避難所で必要な支援が受けられるか不安
- 7 避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい
- 8 薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安
- 9 医療機器の電源確保が心配
- 10 その他 ()
- 11 特にない

問 48 お子さんやご家族の方は、災害に対してどのような備えをしていますか。
(○はいくつでも)

- 1 日頃から家族で災害時の対応を話し合っている
- 2 非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている
- 3 疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている
- 4 近所の人や知人等に、災害が発生したときの助けをお願いしている
- 5 新宿区の「災害時要援護者登録名簿」に登録している
- 6 その他 ()
- 7 特にない

10 将来について

問 49 おさんは将来、どのような生活を希望していますか。(○はひとつ)

- 1 必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する
- 2 区内のグループホームに入居する
- 3 区内の障害者の入所施設に入所する
- 4 区外でもいいのでグループホームに入所する
- 5 区外でもいいので障害者の入所施設に入所する
- 6 その他 ()
- 7 わからない

問 50 おさんが地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 障害理解・障害者差別解消の推進
- 2 医療に関するサービスの充実
- 3 医療的ケアの必要な障害児に対する支援の充実
- 4 教育・療育の充実
- 5 雇用・就労支援の充実
- 6 相談支援体制の充実
- 7 訪問系サービスの充実
- 8 日中活動系サービスの充実
- 9 短期入所の充実
- 10 意思疎通支援の充実
- 11 福祉機器・補装具などの充実
- 12 グループホームの整備・充実
- 13 入所施設の整備・充実
- 14 障害者向けの住まいの確保、居住支援の充実 (住まい探しなど)
- 15 建物・道路などのバリアフリー化
- 16 当事者同士で支援しあえる仕組みづくり
- 17 趣味やスポーツ活動の充実
- 18 経済的支援の充実
- 19 災害時支援の充実
- 20 障害児の家族を対象とした支援
- 21 障害者福祉の人材確保・人材育成の充実
- 22 その他 ()
- 23 特にない

11 自由意見

問51 区の障害者福祉施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

※ お書きいただいたご意見・ご要望に、個別にお答えすることはできませんが、計画策定の際の参考にさせていただきます。

質問は以上で終わりです。
この度は調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

平成28年11月28日(月)までに、同封の「返信用封筒」に、ご回答いただいたこの調査票を入れて、ポストに投函してください。

封筒に切手を貼る必要はありません。

また、個人情報保護の観点から、調査票や封筒に、ご住所お名前をお書きにならないよう、お願いします。

問2 貴事業所の開業年をお聞きます。

昭和・平成 年 (西暦) 年

問3 貴事業所で提供している障害福祉サービス、相談支援、児童福祉法に基づく障害児サービス等をお聞きます。(〇はいくつでも)

※ 介護保険サービスは含まないでください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 居宅介護 | 16 計画相談支援 |
| 2 重度訪問介護 | (サービス等利用計画・モニタリング) |
| 3 行動援護 | 17 地域活動支援センター事業 |
| 4 重度障害者等包括支援 | 18 移動支援事業 |
| 5 同行援護 | 19 日中一時支援事業 |
| 6 短期入所 | 20 児童発達支援 |
| 7 生活介護 | 21 医療型児童発達支援 |
| 8 療養介護 | 22 放課後等デイサービス |
| 9 自立訓練 (機能訓練・生活訓練) | 23 保育所等訪問支援 |
| 10 就労移行支援 | 24 障害児相談支援 |
| 11 就労継続支援 (A型) | 25 その他 |
| 12 就労継続支援 (B型) | (|
| 13 共同生活援助 (グループホーム) |) |
| 14 施設入所支援 | |
| 15 地域相談支援 | (地域移行支援・地域定着支援) |

問4 貴事業所が事業を展開しているエリア (サービス利用対象者がお住まいの範囲)をお答えください。(〇はいくつでも)

- 1 新宿区内の一部 (地域))
- 2 新宿区内全域)
- 3 23区内 (地域))
- 4 東京都内 (地域))
- 5 首都圏 (地域))
- 6 その他 ()

問5 貴事業所でサービスを提供している利用者数をお聞きます。障害別にお答えください。
重症障害の方については主たる障害についてご回答ください。

障害の種類	人数
身体障害	人
知的障害	人
精神障害 (発達障害、高次脳機能障害を含まない)	人
発達障害	人
高次脳機能障害	人
難病	人

2 職員について

問6 貴事業所の平成27年度の事業の収支をお聞きます。(○はひとつ)

- 1 黒字だった
- 2 ほぼ収支が均衡した
- 3 やや赤字だった
- 4 大幅な赤字だった
- 5 わからない

問7 貴事業所を運営していく上で課題となっていることは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 職員の確保が難しい
- 2 職員の待遇改善ができない
- 3 職員の資質向上が難しい
- 4 事務作業量が多い
- 5 施設・設備の改善が難しい
- 6 制度改正などへの対応が難しい
- 7 収益の確保が困難
- 8 運転資金の調達が難しい
- 9 他の事業者との連携が難しい
- 10 行政との連携が難しい
- 11 地域の理解を得るのが難しい
- 12 その他 ()

問8 貴事業所の職員数をお聞きます。

職員	人数
常勤職員	人
非常勤職員	人

問9 貴事業所の業務量に対して、職員の充足状況(人手)はいかがですか。(○はひとつ)

- 1 十分である
- 2 やや不足している
- 3 非常に不足している
- 4 わからない

問10 貴事業所では、人材確保のための取り組みをしていますか。(○はいくつでも)

- 1 求人誌などに人材広告を掲載した
- 2 インターネットの求人サイトを利用した
- 3 人材募集のチラシを配布した
- 4 ハローワークを通じて募集した
- 5 福祉専門学校等で求人を行った
- 6 知人経由・人づてで探した
- 7 ボランティアを受け入れた
- 8 その他 ()

問 11 貴事業所では、人材育成のための取り組みをしていますか。

(○はいくつでも)

- 1 法人内で研修等を実施
- 2 外部団体が実施する研修等へ参加
- 3 都や区が実施する研修等へ参加
- 4 職員の自主学習や資格取得への支援
- 5 日常業務が文変で研修等へ参加している余裕はない
- 6 その他 ()

問 12 貴事業所の職員の方は、どのようなことで困っていますか。

(○はいくつでも)

- 1 勤務時間が長い
- 2 体力的にきつい
- 3 精神的にきつい
- 4 収入が少ない
- 5 能力向上の機会が少ない
- 6 キャリアアップが難しい
- 7 利用者が重変化・高齢化して対応が難しい
- 8 利用者の家族への対応が難しい
- 9 他の関係者との連携が十分取れない
- 10 必要な事務作業が多い
- 11 その他 ()
- 12 特にない

3 サービス提供について

問 13 貴事業所でサービスを提供する上で、課題となっていることは何ですか。

(○はいくつでも)

- 1 量的に、利用者の希望通りの提供できていない
- 2 質的に、利用者の希望通りの提供できていない
- 3 契約やサービス内容についての説明が十分できていない
- 4 利用者や家族とのコミュニケーションが難しい
- 5 困難事例への対応が難しい
- 6 休日や夜間の対応が難しい
- 7 変更やキャンセルが多い
- 8 苦情やトラブルが多い
- 9 その他 ()

問 14 貴事業所では、サービス向上のためにどのようなことに取り組んでいますか。(○はいくつでも)

- 1 困難事例のケース検討会などの開催
- 2 事業者独自の評価
- 3 利用者による評価
- 4 第三者機関の評価
- 5 専門職の配置
- 6 サービス提供マニュアルの作成
- 7 緊急時マニュアルの作成
- 8 虐待防止マニュアルの作成
- 9 事故防止対策
- 10 感染症対策
- 11 利用者への説明の徹底
- 12 苦情や相談の受付体制の整備
- 13 その他
- 14 特にない

問 15 問 14 で「5. 専門職の配置」を選択された事業所にお聞かせします。
貴事業所で、配置している専門職について、職種名をご記入の上、雇用形
態別に人数もご記入ください。

職種名	常勤	非常勤	嘱託
医師	人	人	人
保健師	人	人	人
看護師	人	人	人
理学療法士	人	人	人
作業療法士	人	人	人
言語聴覚士	人	人	人
社会福祉士	人	人	人
介護福祉士	人	人	人
精神保健福祉士	人	人	人
保育士	人	人	人
管理栄養士	人	人	人
調理師	人	人	人
その他 ()	人	人	人

問 16 貴事業所では、今後新規に障害福祉サービス等への参入を検討しています
か。(○はいくつでも)

※ 介護保険サービス等は含めないでください。

- 1 居宅介護
- 2 重度訪問介護
- 3 行動援護
- 4 重度障害者等包括支援
- 5 同行援護
- 6 短期入所
- 7 生活介護
- 8 療養介護
- 9 自立訓練（機能訓練・生活訓練）
- 10 就労移行支援
- 11 就労継続支援（A型）
- 12 就労継続支援（B型）
- 13 共同生活援助（グループホーム）
- 14 施設入所支援
- 15 地域相談支援
- 16 計画相談支援
- 17 地域活動支援センター事業
- 18 移動支援事業
- 19 日中一時支援事業
- 20 児童発達支援
- 21 医療型児童発達支援
- 22 放課後等デイサービス
- 23 保育所等訪問支援
- 24 障害児相談支援
- 25 その他 ()

問 17 貴事業所には、介護保険事業所を併設していますか。(○はひとつ)

- 1 介護保険サービスも併設している →1に○を付けた方は問 19 へ進んでください
- 2 法人（事業者）内に介護保険事業所があるが、現事業所には併設していない
- 3 障害者総合支援法の障害福祉サービス・障害者支援施設だけを運営中である
→2、3に○を付けた方は問 18 へ進んでください

問 18 問 17 で2及び3と回答した事業所の方にお聞きします。
貴事業所では、新たに介護保険事業所の指定を受ける予定はありますか。
(○はひとつ)

- 1 障害者福祉の専門性を高めているので、介護保険事業所の指定を受ける予定はない
- 2 65 歳に到達した障害者に引き続きサービス提供ができるよう、介護保険事業所の指定を検討中である
- 3 その他 ()
- 4 わからない

問 19 貴事業所では、虐待防止マニュアルを整備していますか。
(○はひとつ)

- 1 事業所として整備している
- 2 事業所では整備していないが、法人(事業者)では整備している
- 3 整備に向けて準備中である
- 4 整備していない

問 20 貴事業所で、障害者差別解消の推進に向けて取り組んでいることを教えてください。
(○はいくつでも)

- 1 対応マニュアルを整備した
- 2 法人(事業者)内研修を実施した
- 3 外部研修・説明会等に参加した
- 4 その他 ()
- 5 特にない

問 21 貴事業所では、今後の障害者施策について、どのようなことを期待していますか。(○はいくつでも)

- 1 利用者負担の軽減
- 2 自立支援給付費の見直し
- 3 地域生活基盤の充実のための施策
- 4 一般就労の促進のための施策
- 5 福祉的就労における工賃向上
- 6 福祉人材の確保のための施策
- 7 事務手続きの簡素化
- 8 障害支援区分の見直し
- 9 障害者総合支援法施行3年目の改正
- 10 その他 ()
- 11 特にない

《ここからは、特例子会社の方が回答してください》

4 特例子会社について

問 22 貴社の主な業種は、どのようなものですか。
(○は主なものにひとつ)

- 1 清掃・クリーニング業務
- 2 緑地・植栽の維持管理
- 3 郵便物の集配、封入
- 4 物品の製造、加工、梱包作業
- 5 食品製造・販売
- 6 名刺等印刷物作成
- 7 テーダ入力・ホームページ作成
- 8 マッサージ、ヘルスキーパー
- 9 その他 ()

問 23 貴社の従業員数を教えてください。

従業員数	貴社（特例子会社）		親会社
	障害者	人（うち新宿区民 人）	
スタッフ		人	人

問 24 貴社で雇用している障害者の障害種別と、雇用形態を教えてください。「重度障害者」は障害者雇用促進法上の重度判定を受けた方のことです。該当する欄に人数をご記入ください。

障害の種類	人数			雇用形態		
	（ ）のうち重度障害者	正社員	契約社員	パート		
身体障害	視覚障害	人（ ）	人	人	人	人
	聴覚、平衡機能、音声・言語障害	人（ ）	人	人	人	人
	肢体不自由	人（ ）	人	人	人	人
	内部障害	人（ ）	人	人	人	人
	重複障害	人（ ）	人	人	人	人
知的障害	人（ ）	人	人	人	人	人
精神障害（発達障害、高次脳機能障害を含まない）		人	人	人	人	人
		人	人	人	人	人
発達障害		人	人	人	人	人
高次脳機能障害		人	人	人	人	人
難病		人	人	人	人	人
合計		人	人	人	人	人

問 25 貴社で雇用されている障害者の平均給与（税込み月額）を教えてください。雇用形態別に、（ ）内に該当する番号を記載してください。

正社員（ ）	契約社員（ ）	パート（ ）
--------	---------	--------

- 1 5万円未満
- 2 5万円以上10万円未満
- 3 10万円以上15万円未満
- 4 15万円以上20万円未満
- 5 20万円以上

問 26 採用する障害者の障害種別を限定している（例：現在は知的障害者だけを採用している）会社にお聞きします。障害種別を拡大する際に懸念される課題はどのようなものですか。（○はいくつでも）

- 1 [身体障害（視覚障害・聴覚障害・聴覚障害・肢体不自由・内部障害）・知的障害・精神障害・発達障害・高次脳機能障害・難病]を雇用了た経験がないのでノウハウの蓄積がない
- 2 建物・情報アクセシビリティ等のバリアフリー化が進んでいない
- 3 コミュニケーションをとることができる担当社員の配置が困難
- 4 突発的な事象・急変に対して、どうすればよいかかわからない
- 5 その他

（ ）

問 27 在籍期間別で、雇用中の障害者の人数をご記入ください。

在籍期間	人数
採用から半年未満	人
半年以上1年未満	人
1年以上3年未満	人
3年以上5年未満	人
5年以上10年未満	人
10年以上	人

5 自由意見

問 31 区の障害者施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

問 28 障害者の採用促進、職場定着を向上させるために、どのようなことが重要と考えますか。(〇はいくつでも)

- 1 企業等での職場見学・職場実習等のマッチングの支援や委託訓練による職業訓練
 - 2 障害者就労を支援する専門人材の育成・確保
 - 3 障害者雇用の場と機会の拡充
 - 4 障害者雇用に取り組み企業への支援の拡充
 - 5 特別支援学校等での職業的自立を目指す教育の推進
 - 6 就労支援コーディネーター、ジョブコーチ等による就労定着支援の拡充
 - 7 その他
- ()

問 29 職場定着を向上させるために、貴社で取り組んでいる支援をお答えください。(〇はいくつでも)

- 1 ハローワーク、障害者就労支援機関、障害者就業・生活支援センターとの連携
 - 2 特別支援学校、障害者就労支援施設（就労移行支援事業所等）との連携
 - 3 マッチングの支援ツール（キャリア形成シート）の活用
 - 4 定着支援担当者の配置
 - 5 障害理解やノウハウ共有のための社内研修の実施
 - 6 その他
- ()

問 30 平成 28 年 4 月改正の障害者雇用促進法に基づき、障害者からの合理的配慮の提供に係る相談に対応する窓口を整備しましたか。(〇はひとつ)

- 1 整備できている
- 2 検討中（29年度内に整備予定）
- 3 未整備・未着手
- 4 その他 ()

質問は以上で終わりです。
この度は調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

平成 28 年 11 月 28 日(月)までに、同封の「返信用封筒」に、ご回答いただいたこの調査票を入れて、ポストに投函してください。

封筒に切手を貼る必要はありません。